

東関東自動車道
下小野第二高架橋耐震補強工事

設 計 図
【栄町高架橋（上り線）】

令和 7 年 2 月

東日本高速道路株式会社
関東支社 千葉管理事務所

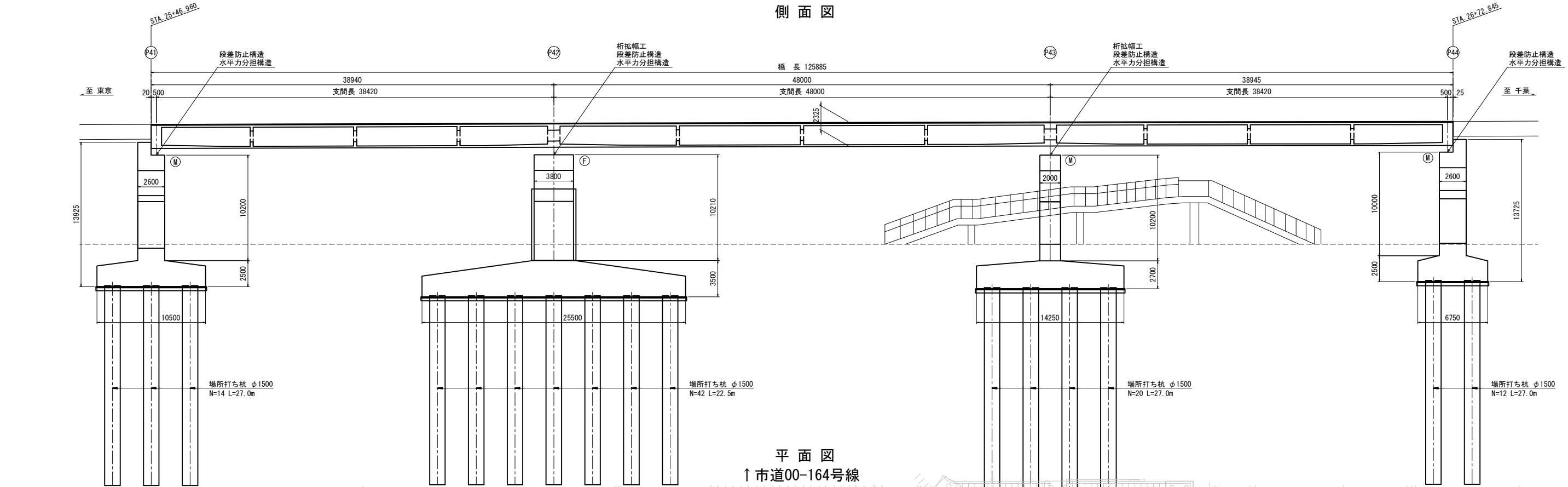
図 面 目 次

図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名
1, 2	栄町高架橋（上り線）P 4 1～P 4 4 耐震補強橋梁一般図（その１），（その２）	4 1	栄町高架橋（上り線）P 4 4 橋脚 段差防止構造詳細図
3, 4	栄町高架橋（上り線）P 6 3～P 6 6 耐震補強橋梁一般図（その１），（その２）	4 2	栄町高架橋（上り線）P 6 3 橋脚 段差防止構造詳細図
5	栄町高架橋（上り線）P 4 1 橋脚 水平力分担構造配置図	4 3	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 段差防止構造詳細図
6, 7	栄町高架橋（上り線）P 4 1 橋脚 水平力分担構造詳細図（その１），（その２）	4 4	栄町高架橋（上り線）P 6 5 橋脚 段差防止構造詳細図
8	栄町高架橋（上り線）P 4 1 橋脚 水平力分担構造詳細図（その３）（参考図）	4 5, 4 6	栄町高架橋（上り線）P 6 6 橋脚 段差防止構造詳細図（その１），（その２）
9	栄町高架橋（上り線）P 4 2 橋脚 水平力分担構造配置図	4 7	栄町高架橋（上り線）P 4 2 橋脚 桁拡幅工構造図
1 0	栄町高架橋（上り線）P 4 2 橋脚 水平力分担構造詳細図（その１）（参考図）	4 8	栄町高架橋（上り線）P 4 2 橋脚 桁拡幅工詳細図
1 1, 1 2	栄町高架橋（上り線）P 4 2 橋脚 水平力分担構造詳細図（その２），（その３）	4 9	栄町高架橋（上り線）P 4 3 橋脚 桁拡幅工構造図
1 3	栄町高架橋（上り線）P 4 3 橋脚 水平力分担構造配置図	5 0	栄町高架橋（上り線）P 4 3 橋脚 桁拡幅工詳細図
1 4, 1 5	栄町高架橋（上り線）P 4 3 橋脚 水平力分担構造詳細図（その１），（その２）	5 1	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 桁拡幅工構造図
1 6	栄町高架橋（上り線）P 4 3 橋脚 水平力分担構造詳細図（その３）（参考図）	5 2	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 桁拡幅工詳細図
1 7	栄町高架橋（上り線）P 4 4 橋脚 水平力分担構造配置図	5 3	栄町高架橋（上り線）P 6 5 橋脚 桁拡幅工構造図
1 8, 1 9	栄町高架橋（上り線）P 4 4 橋脚 水平力分担構造詳細図（その１），（その２）	5 4	栄町高架橋（上り線）P 6 5 橋脚 桁拡幅工詳細図
2 0	栄町高架橋（上り線）P 4 4 橋脚 水平力分担構造詳細図（その３）（参考図）	5 5～5 7	栄町高架橋（上り線）P 4 1 橋脚 検査路撤去図（その１）～（その３）
2 1	栄町高架橋（上り線）P 6 3 橋脚 水平力分担構造配置図	5 8, 5 9	栄町高架橋（上り線）P 4 2 橋脚 検査路撤去図（その１），（その２）
2 2, 2 3	栄町高架橋（上り線）P 6 3 橋脚 水平力分担構造詳細図（その１），（その２）	6 0, 6 1	栄町高架橋（上り線）P 4 3 橋脚 検査路撤去図（その１），（その２）
2 4	栄町高架橋（上り線）P 6 3 橋脚 水平力分担構造詳細図（その３）（参考図）	6 2, 6 3	栄町高架橋（上り線）P 4 4 橋脚 検査路撤去図（その１），（その２）
2 5	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 水平力分担構造配置図	6 4～6 6	栄町高架橋（上り線）P 6 3 橋脚 検査路撤去図（その１）～（その３）
2 6, 2 7	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 水平力分担構造詳細図（その１），（その２）	6 7, 6 8	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 検査路撤去図（その１），（その２）
2 8	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 水平力分担構造詳細図（その３）（参考図）	6 9, 7 0	栄町高架橋（上り線）P 6 5 橋脚 検査路撤去図（その１），（その２）
2 9	栄町高架橋（上り線）P 6 5 橋脚 水平力分担構造配置図	7 1, 7 2	栄町高架橋（上り線）P 6 6 橋脚 検査路撤去図（その１），（その２）
3 0	栄町高架橋（上り線）P 6 5 橋脚 水平力分担構造詳細図（その１）（参考図）	7 3～7 8	栄町高架橋（上り線）P 4 1 橋脚 検査路設置図（その１）～（その６）
3 1, 3 2	栄町高架橋（上り線）P 6 5 橋脚 水平力分担構造詳細図（その２），（その３）	7 9～8 6	栄町高架橋（上り線）P 4 2 橋脚 検査路設置図（その１）～（その８）
3 3	栄町高架橋（上り線）P 6 6 橋脚 水平力分担構造配置図	8 7～9 2	栄町高架橋（上り線）P 4 3 橋脚 検査路設置図（その１）～（その６）
3 4～3 6	栄町高架橋（上り線）P 6 6 橋脚 水平力分担構造詳細図（その１）～（その３）	9 3～9 6	栄町高架橋（上り線）P 4 4 橋脚 検査路設置図（その１）～（その４）
3 7	栄町高架橋（上り線）P 6 6 橋脚 水平力分担構造詳細図（その４）（参考図）	9 7～1 0 2	栄町高架橋（上り線）P 6 3 橋脚 検査路設置図（その１）～（その６）
3 8	栄町高架橋（上り線）P 4 1 橋脚 段差防止構造詳細図	1 0 3～1 0 8	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 検査路設置図（その１）～（その６）
3 9	栄町高架橋（上り線）P 4 2 橋脚 段差防止構造詳細図	1 0 9～1 1 5	栄町高架橋（上り線）P 6 5 橋脚 検査路設置図（その１）～（その７）
4 0	栄町高架橋（上り線）P 4 3 橋脚 段差防止構造詳細図	1 1 6～1 2 0	栄町高架橋（上り線）P 6 6 橋脚 検査路設置図（その１）～（その５）

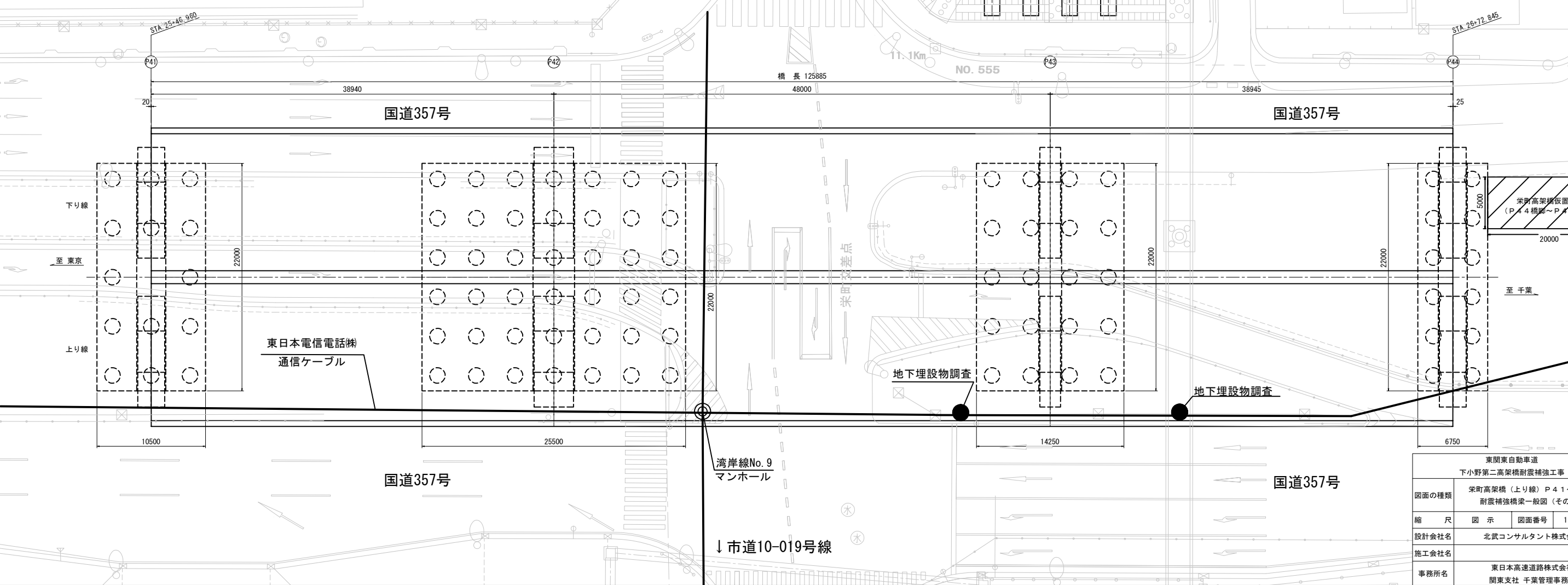
図 面 目 次 (2)

[illegible]

側面図

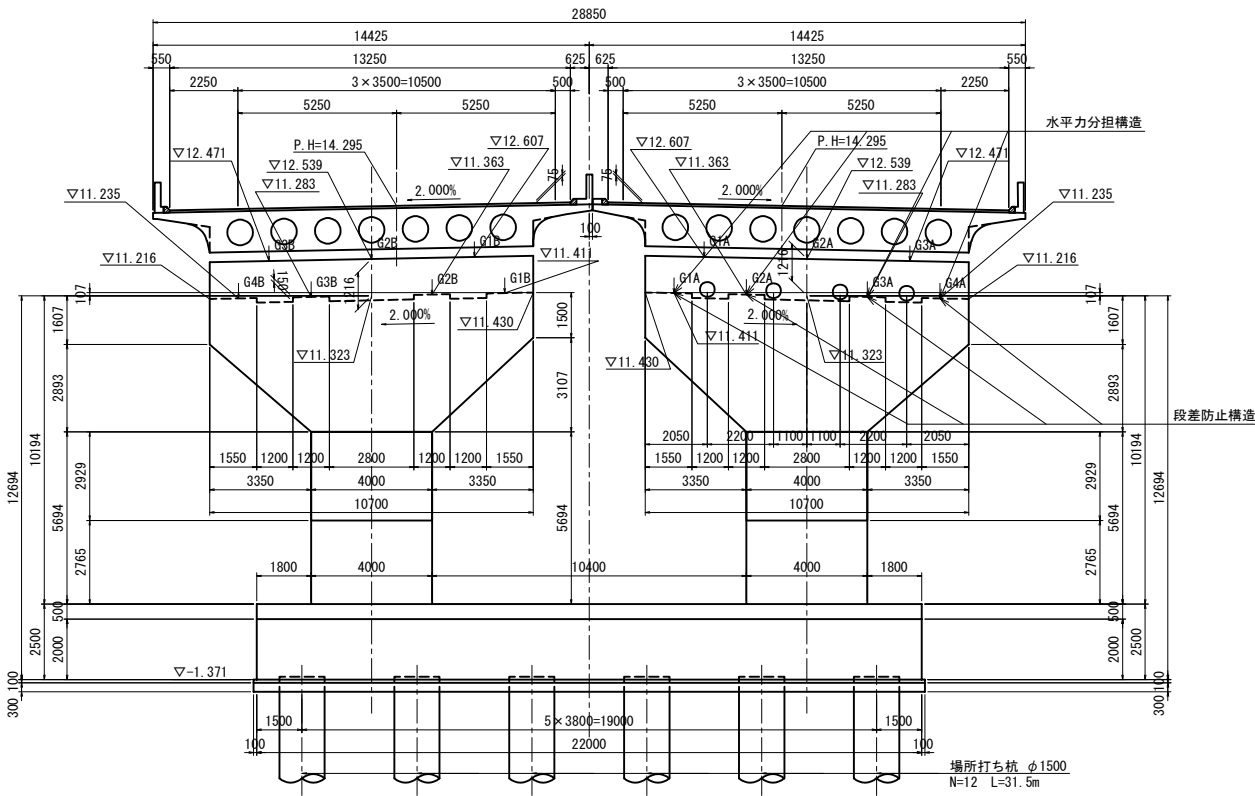


平面図
↑ 市道00-164号線

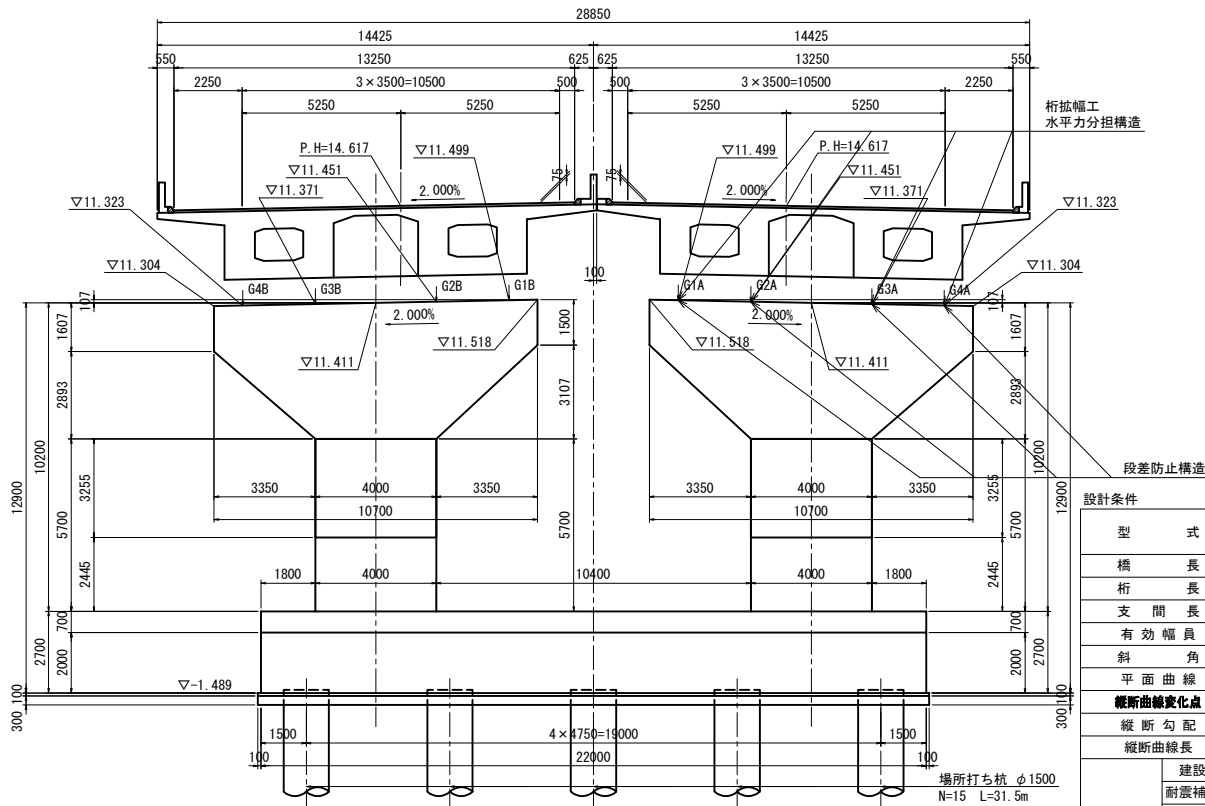


東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1～P 4 4 耐震補強橋梁一般図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

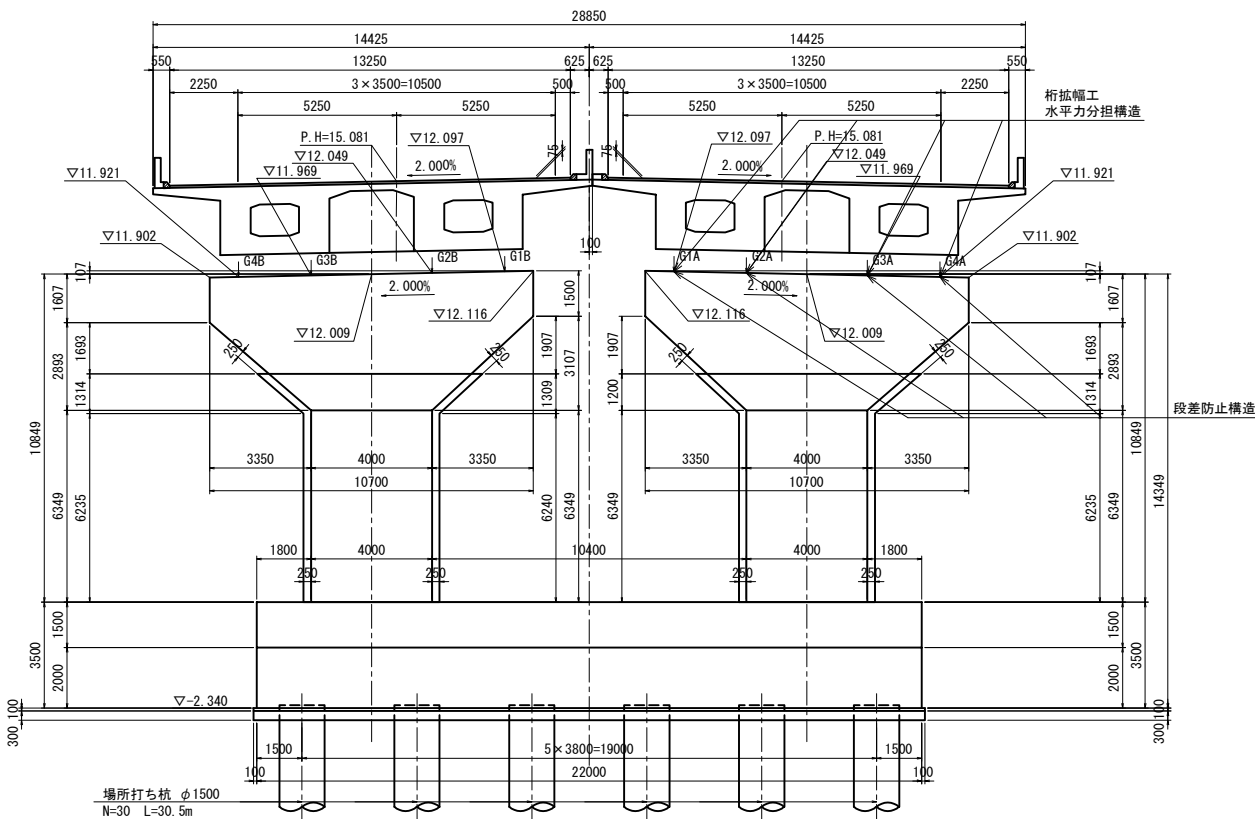
P63 橋脚 断面図



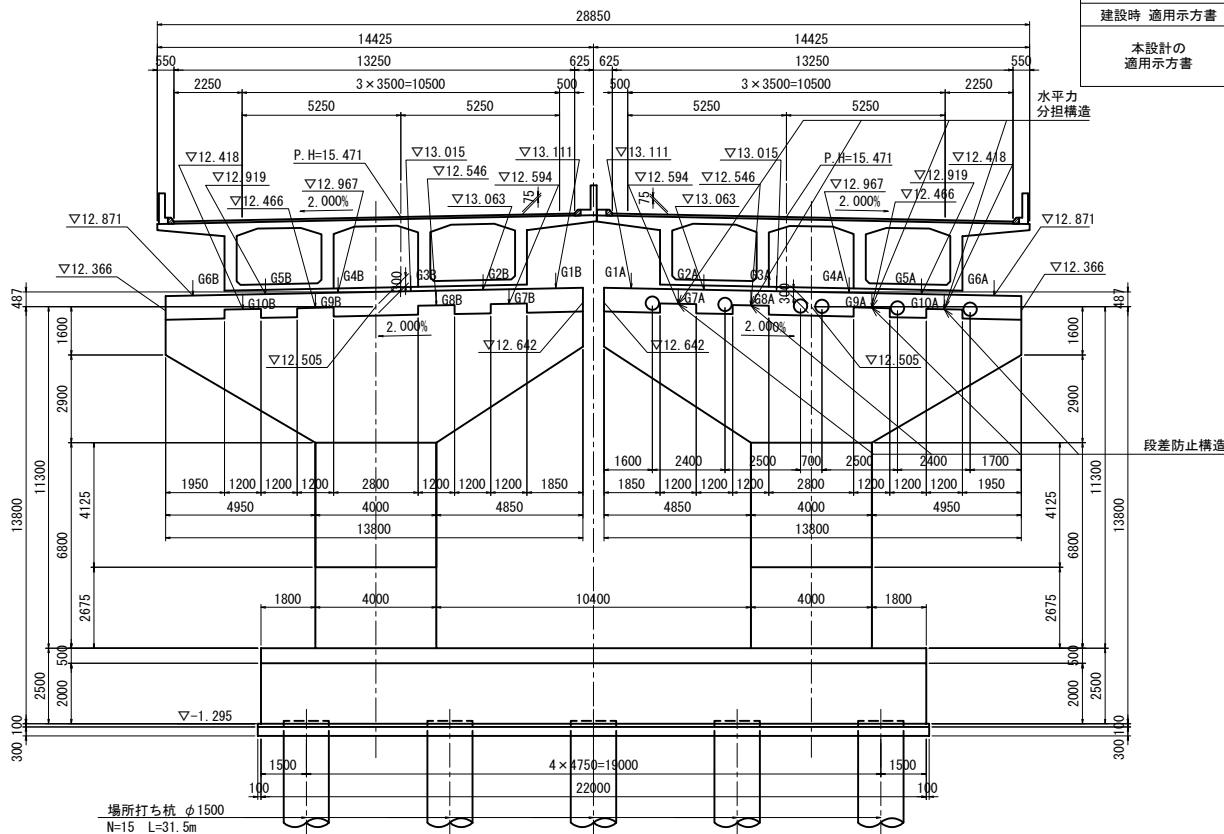
P64 橋脚 断面図



P65 橋脚 断面図



P66 橋脚 断面図



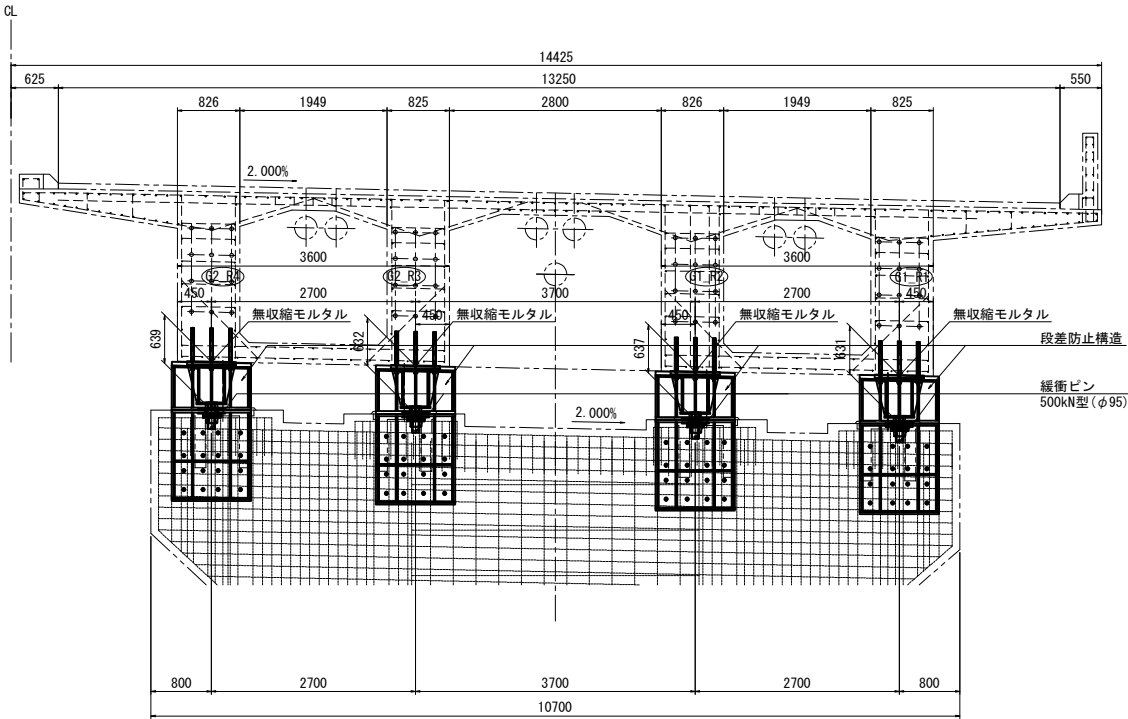
設計条件		上り線	下り線
型 式		PC3径間連続箱桁	PC3径間連続箱桁
橋 長		125.960	125.960
桁 長		125.840	125.840
支 間 長		38.42+48.00+38.42	38.42+48.00+38.42
有 効 幅 員		13.250	13.250
斜 角		90° 00' 00"	90° 00' 00"
平 面 曲 線		R=∞	R=∞
縦断面曲線化点		STA. 31+10	STA. 31+10
縦 断 勾 配		1.000%	1.000%
縦断面曲線長		400	400
設計水平 震 度	建設時	kh=0.24	
	耐震補強時	不明	
設計水平 震 度	本設計	(橋軸方向) P65 (Fix) : khe=0.46 (直角方向) P63 : khe=0.46, P64 : khe=0.67 P65 : khe=0.46, P66 : khe=0.46	
	下部工形式	P63～P66 : 柱式橋脚	
基礎工形式		P63～P66 : 場所打ち杭 φ1500	
	建設時 下部工	コンクリート 鉄 筋	
耐震補強 (施工済)		σ ck=24N/mm ²	
	鉄 筋	SD295	
本設計における地盤種別		Ⅲ種	
	架 設 年	昭和57年	
柱 補 強 年		平成8年 橋脚耐震補強 (P63～P66)	
	建設時 適用示方書	道路橋示方書 (S53)	
本設計の 適用示方書		道路橋示方書 (H2) 及び道路橋示方書 (H24)	
		「兵庫県南部地震により被災した道路橋の復旧に係る仕様」 の準用に関する参考資料 (案)	

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 3～P 6 6 耐震補強橋梁一般図（その2）	縮 尺	図 示 図面番号 4 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社	施工会社名	東日本高速道路株式会社
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

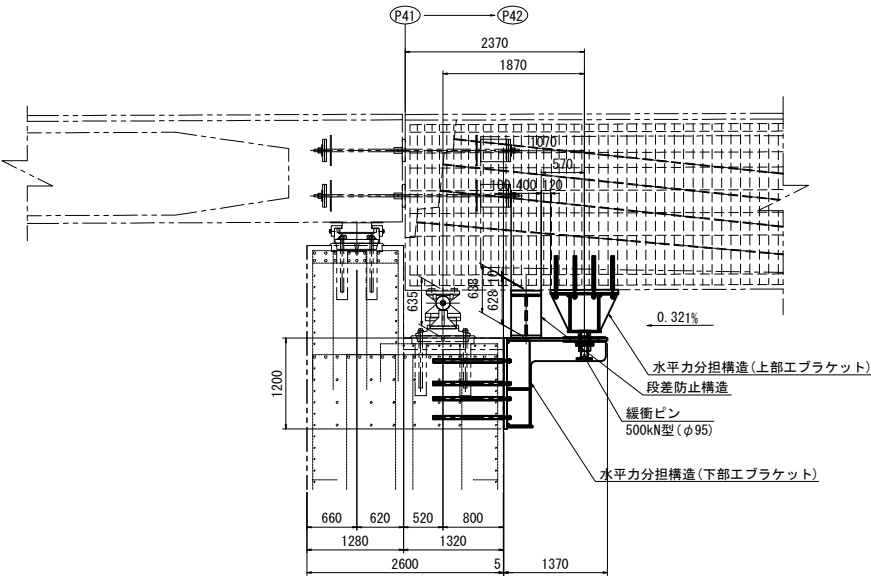
栄町高架橋（上り線）P 4 1 橋脚 水平力分担構造配置図
水平力分担構造 P—1

S=1:100

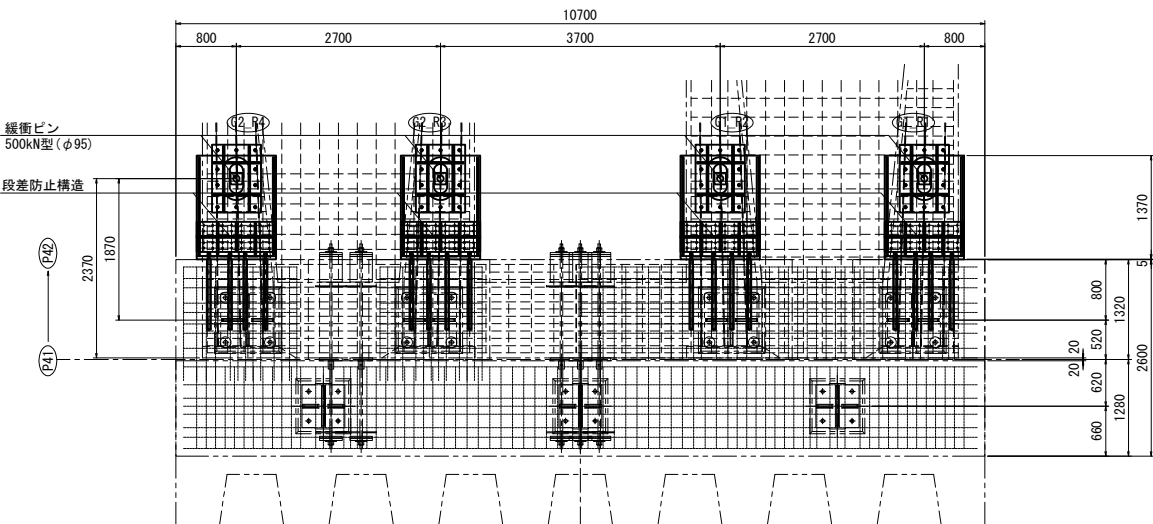
正面図



側面図



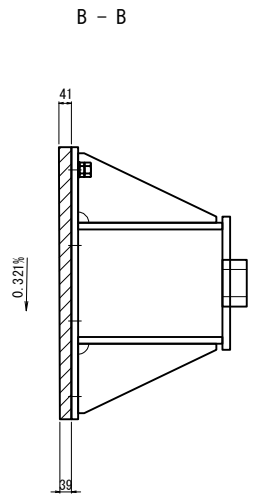
平面図



- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 上部工および下部エブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 1 橋脚 水平力分担構造配置図			
	縮 尺	図 示	図面番号	5 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

上部工用アンカーボルト詳細図



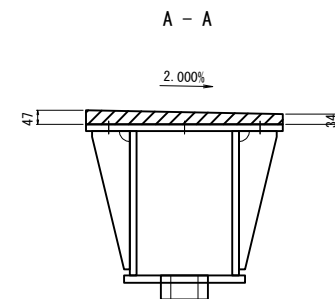
TYPE-1

1-アンカーボルト D20 (M27) × 555L (SD345)

1-ナット (1種) M27 (SS400)

1-ナット (3種) M27 (SS400)

1-ワッシャー M27 (SS400)

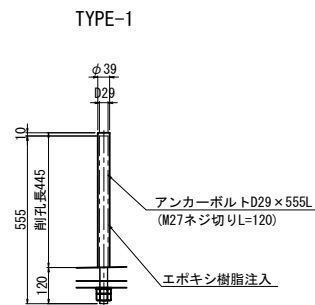


※無収縮モルタルは注入による施工とする。

注入時は以下に留意すること。

- ・ 注入ホースは勾配の低い側、排出ホースは勾配の高い側に設置すること。
- ・ 排出ホースは注入ホースより高い位置に設置することとし、必要に応じて上部工を少しはつつて設置すること。

上部工用アンカーボルト取付詳細図

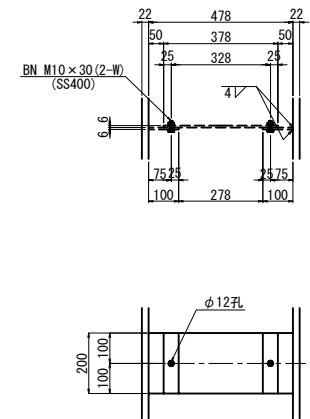
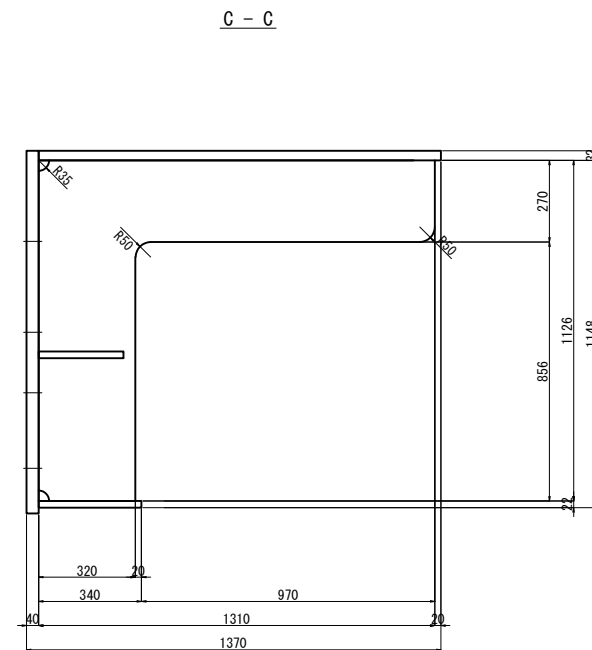


※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。

- 【注記】
- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 - 2) 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
 - 3) 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
 - 4) 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
 - 5) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
 - 6) 特記なきスカーラップはR35とする。
 - 7) 無収縮モルタルの $\sigma_{ck}=36N/mm^2$ （既設上部工の同強度）
 - 8) 溶接記号の尾に「FF」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

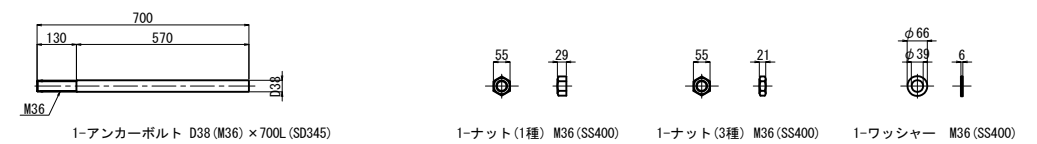
東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 1 橋脚 水平力分担構造詳細図（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	6 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

“a”部詳細図

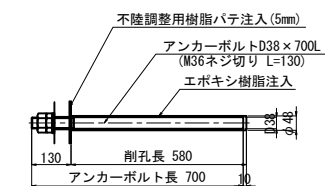


	B1	B2	B3	B4	B5
G1R1	160	253	200	297	140
G1R2	140	228	264	278	140
G2R3	140	278	264	228	140
G2R4	140	297	200	253	160

下部工用アンカーボルト詳細図

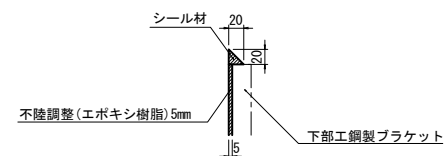


下部工用アンカーボルト取付詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。

不陸調整・シール材詳細



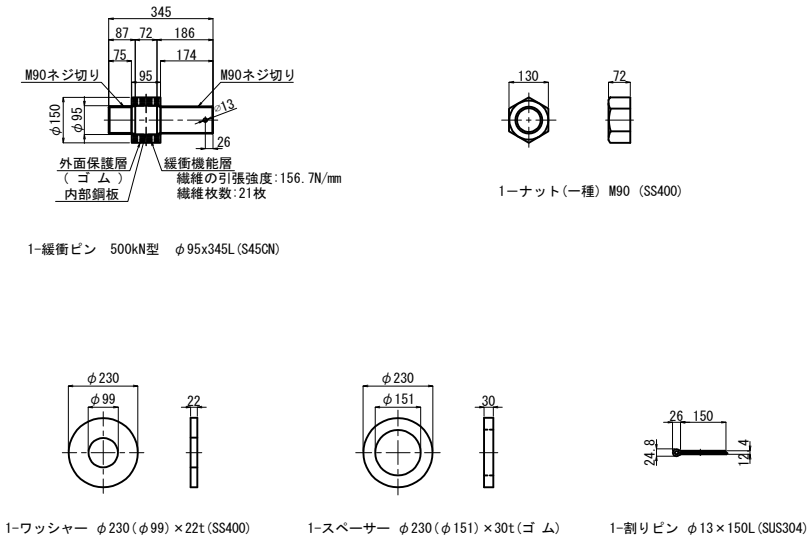
※不陸調整範囲は、下部エブラケットと橋台コンクリートが接する面(1200×1050)とする。

- (注記)
- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 - 2) 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
 - 3) 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
 - 4) 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
 - 5) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
 - 6) 特記なきスカーップはR35とする。
 - 7) 溶接記号の尾に「FF」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

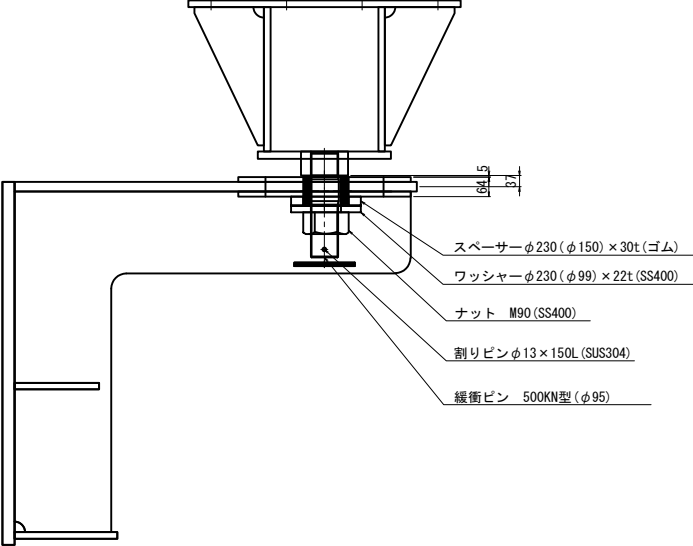
東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P4 1 橋脚 水平力分相補強詳細図（その2）			
縮 尺	図 示	図面番号	7 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

緩衝ピン詳細図

製作数:4基(終点側4基)



緩衝ピン取付詳細図



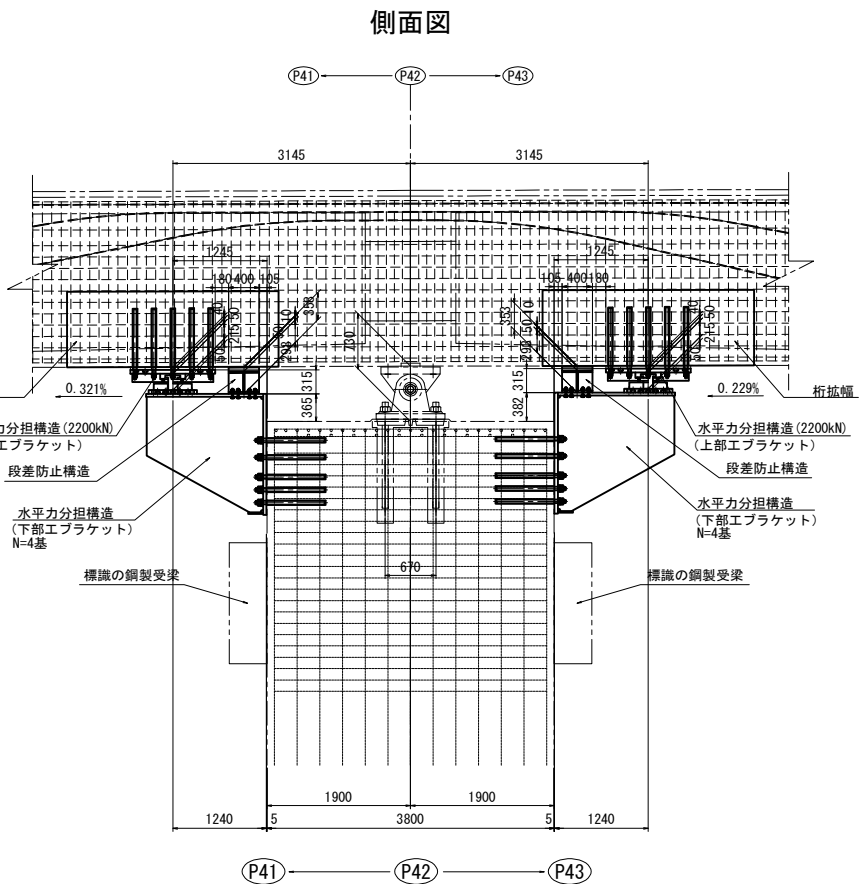
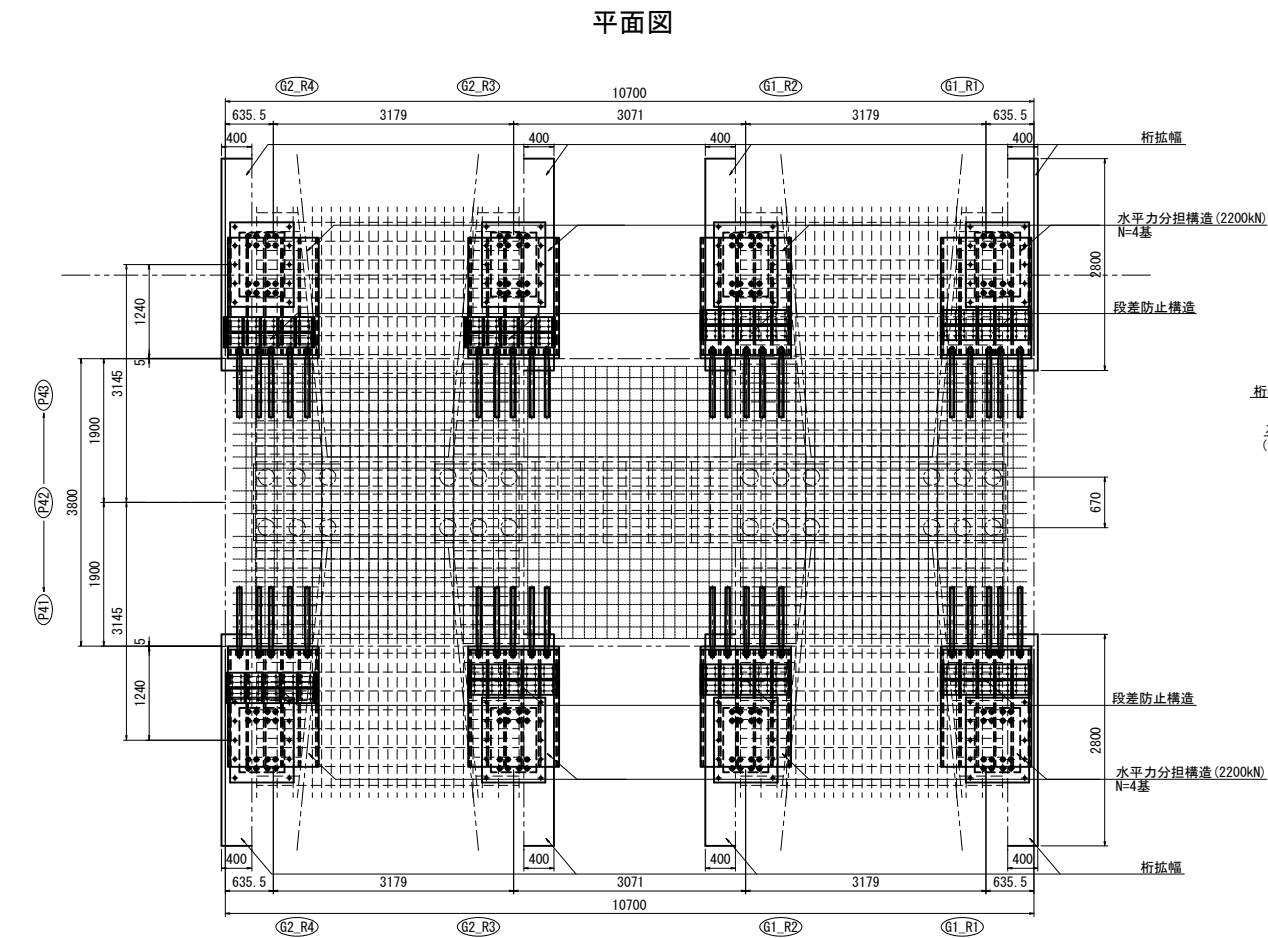
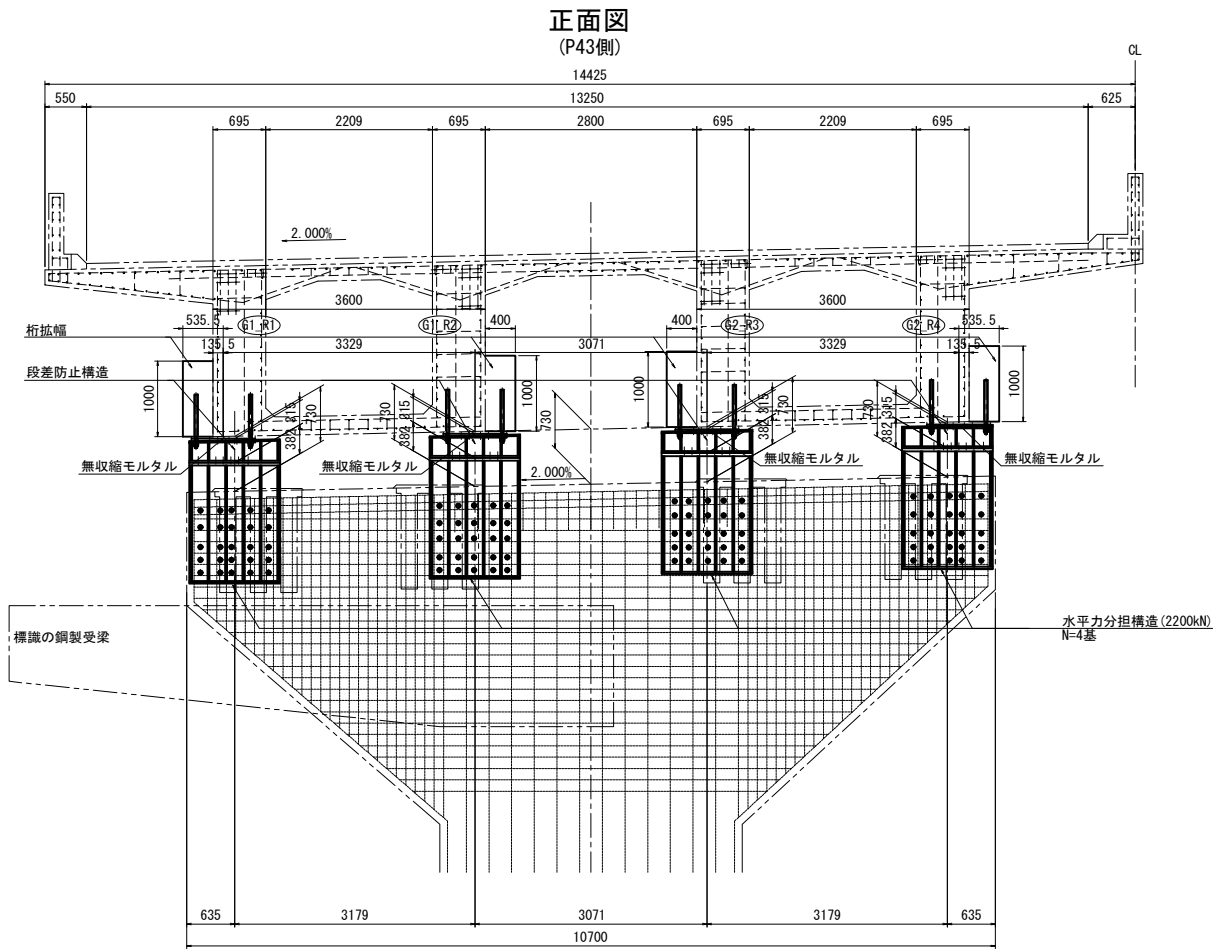
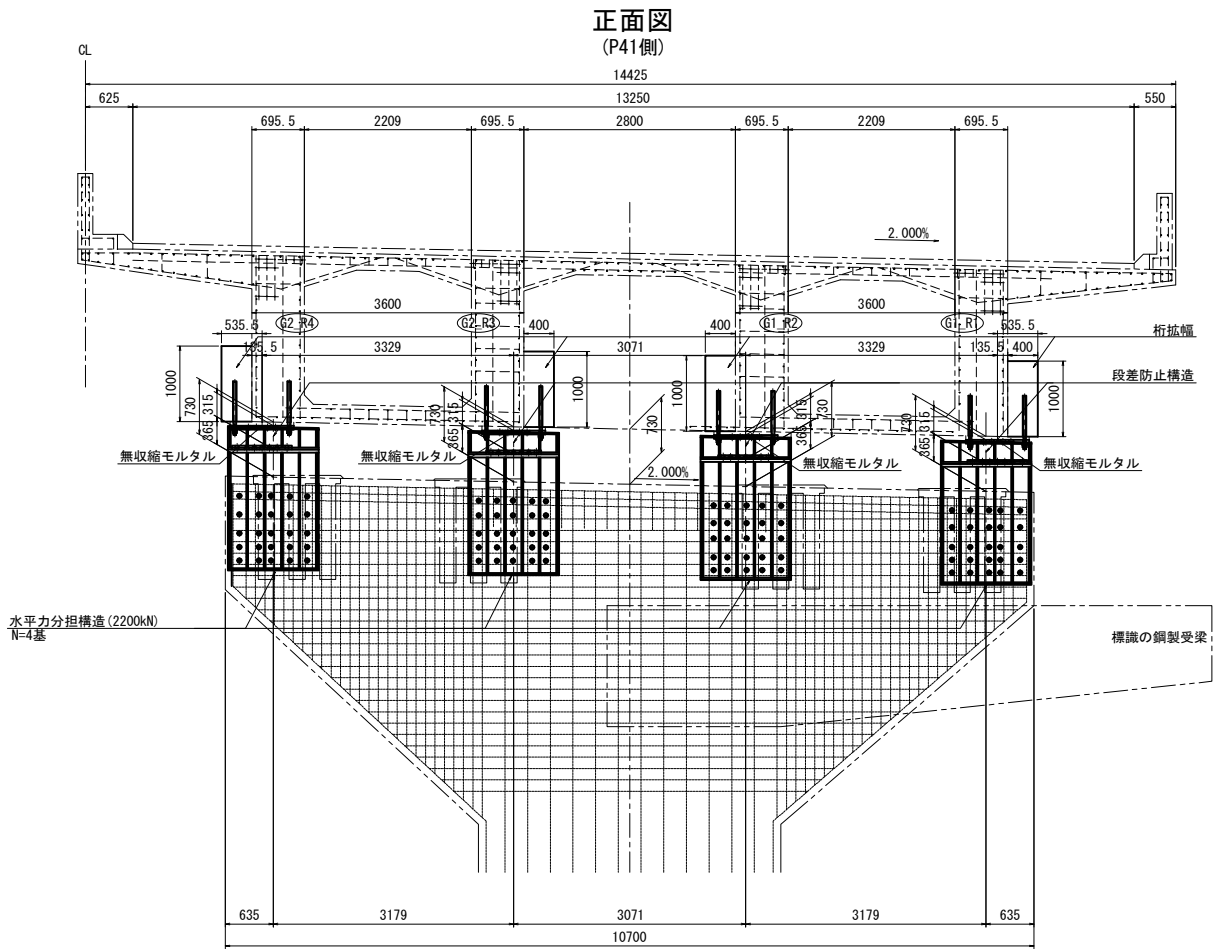
注記)

- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 2) 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 3) 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 4) SS400部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1 橋脚 水平力分担構造詳細図（その3）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	8 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

栄町高架橋（上り線）P 4 2 橋脚 水平力分担構造配置図
水平力分担構造 P—7

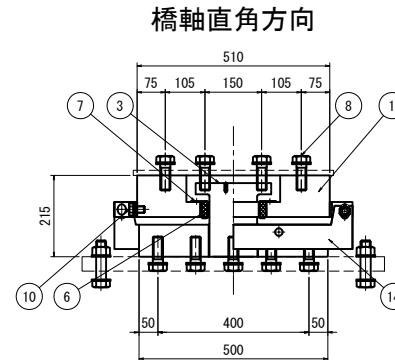
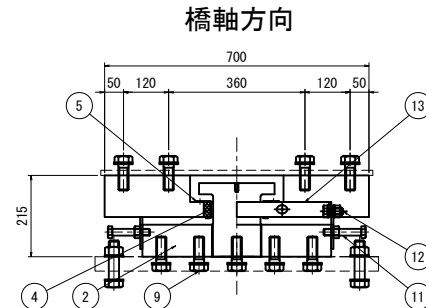
S=1:100



- 注記
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 上部工取付プレートおよび下部工ブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探索するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 水平力分担構造配置図		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

取付詳細図

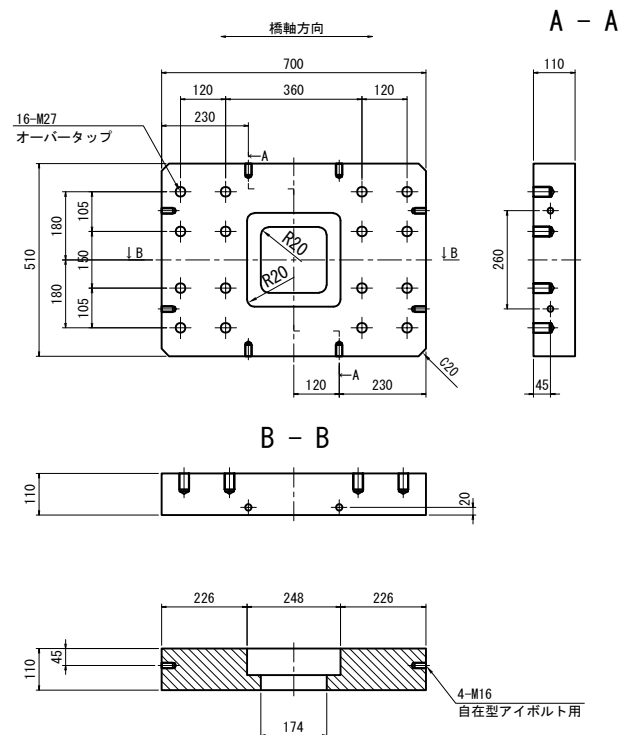


材 料 表(ストッパータイプ1基当たり)

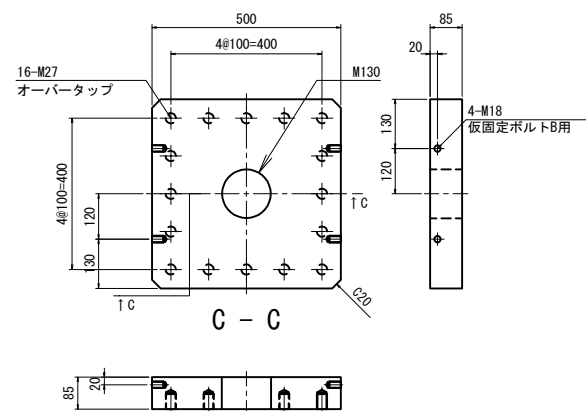
全8基

部番	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
1	ソールプレート	2200KNタイプ-固定	個	1	SM490A:垂鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	2200KNタイプ	個	1	SM490A:垂鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	2200KNタイプ	本	1	SCM435:ダクロタイズド処理,DMコート
4	バッファァーA	2200KNタイプ	個	2	クロロブレンゴム
5	バッファァーガイドA	2200KNタイプ	個	2	SUS
6	バッファァーB	2200KNタイプ	個	2	クロロブレンゴム
7	バッファァーガイドB	2200KNタイプ	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	M27x75 1W,1SW付	組	16	強度区分8.8:垂鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)	M27x70 1W付	組	16	強度区分8.8:垂鉛めっき(HDZ35)
納入時用品材					
10	仮固定ボルトA	M18x 30 1W付	組	4	SS400相当品:電気めっき
11	仮固定ボルトB	M18x100 1N付	組	4	SS400相当品:電気めっき
12	仮固定ボルトC	M18x 40 1W,1N付	組	4	SS400相当品:電気めっき
13	仮固定フレームA	2200KNタイプ	個	2	SS400:電気めっき
14	仮固定フレームB	2200KNタイプ	個	2	SS400:電気めっき
15	自在型アイボルト	M16			

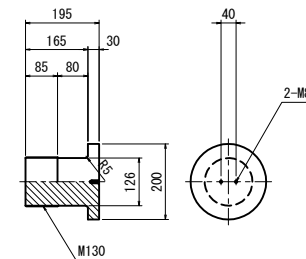
① ソールプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



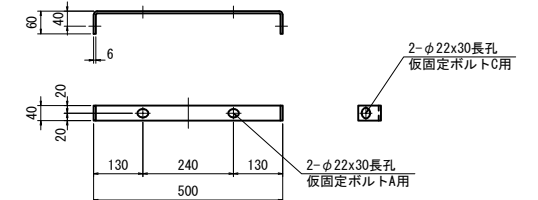
② リミットピンプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



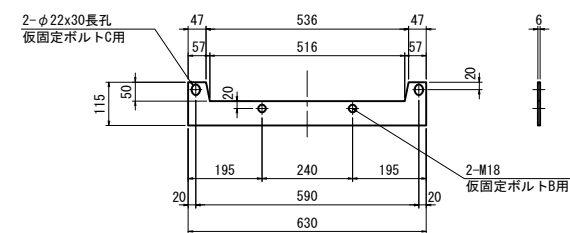
③ リミットピン
(SCM435:DMコート)



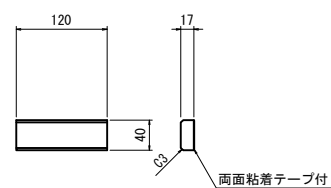
⑬ 仮固定フレームA
(SS400:電気めっき)



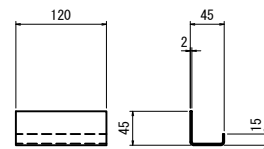
⑭ 仮固定フレームB
(SS400:電気めっき)



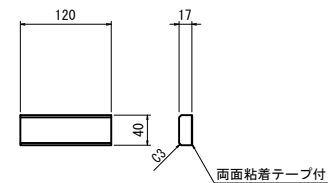
④ バッファ－A S=1:10
(クロロプレンゴム)



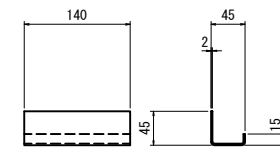
⑤ バッファガイドA S=1:10
(SUS)



⑥ バッファ- B $S=1:10$
(クロロプレノム)



⑦ バッファガイドB S=1:10
(SUS)



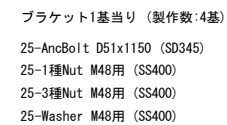
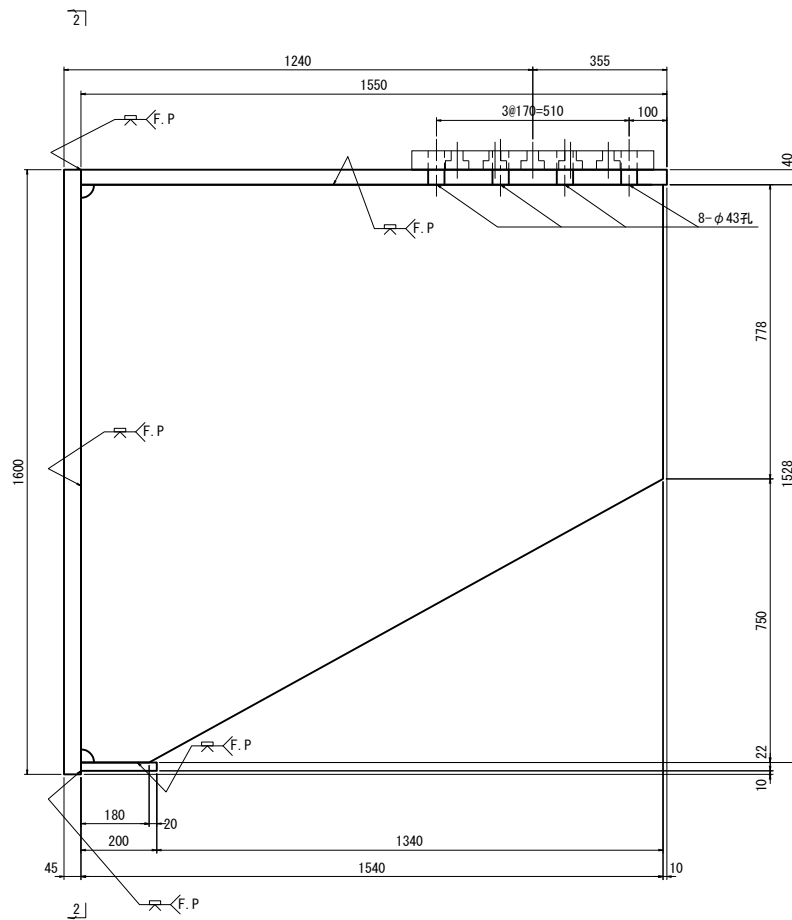
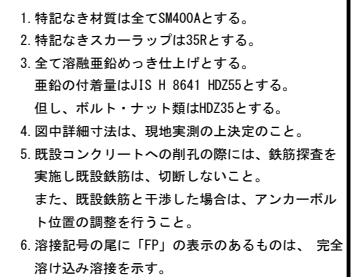
注記)

1. ストッパータイプの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂パテ材または樹脂ボルトで埋めること。
4. 吊り金具は、自在型アイボルト (M16) を1カ所当たり8個付属する。

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P42橋脚 水平力分担構造詳細図（その1）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	10 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

既設部

注記)



設置位置		H1	H2	H3	H4	H5	H6	B1	B2	B3	B4	B5	B6
起点側	G1R1	621	219	260	170	170	160	150	240	250	150	260	150
	G2R4	621	239	250	180	180	130	150	260	160	250	230	150
終点側	G1R1	638	219	260	170	170	143	150	260	150	250	240	150
	G2R4	638	239	250	180	180	113	150	230	250	160	260	150

東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P4 2 橋脚 水平力分担構造詳細図（その２）		
縮 尺	図 示	図面番号	11 / 144
設計社社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

水平力分担構造 P-7

下部エブラケット詳細図

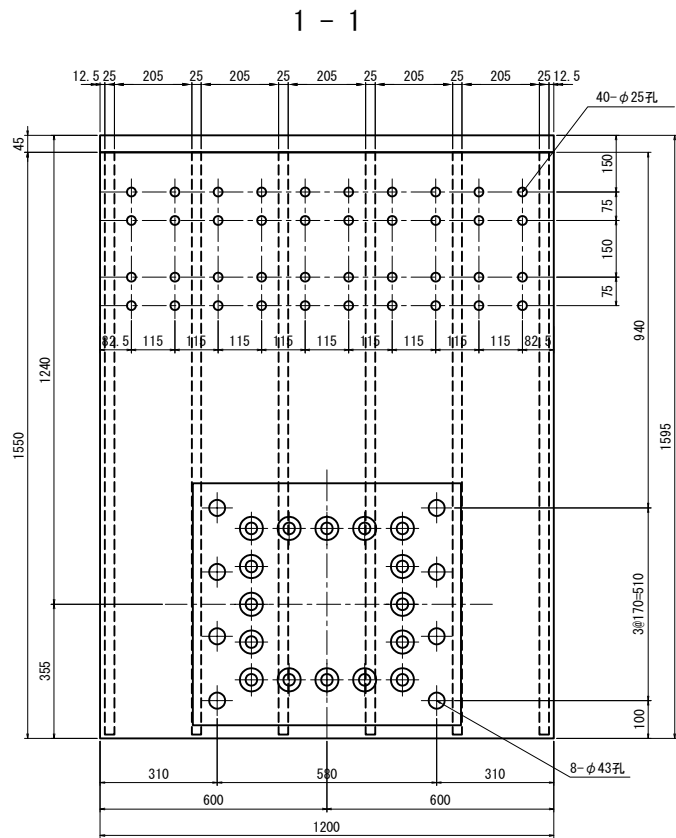
上部工取付プレート

G 1 R 2, G 2 R 3

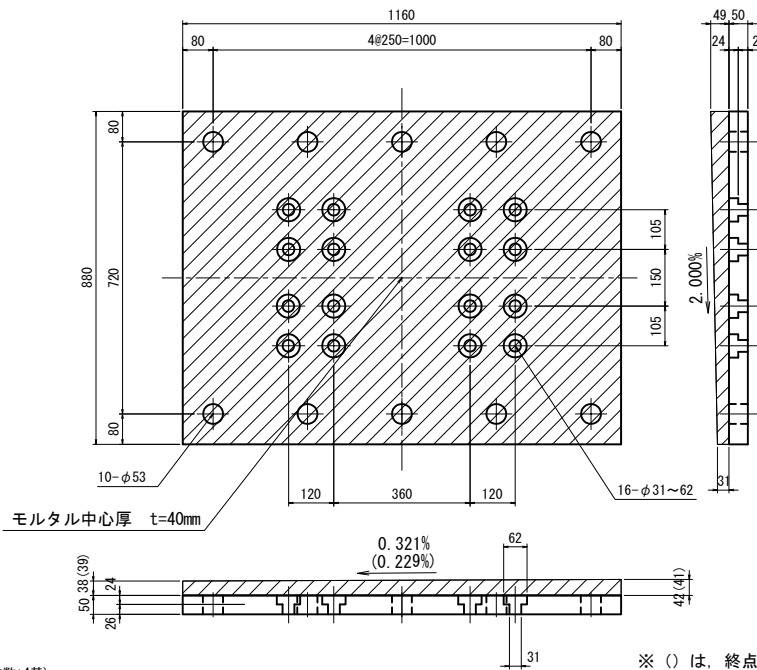
下部工取付プレート

上部エアンカーボルト詳細図

既設部

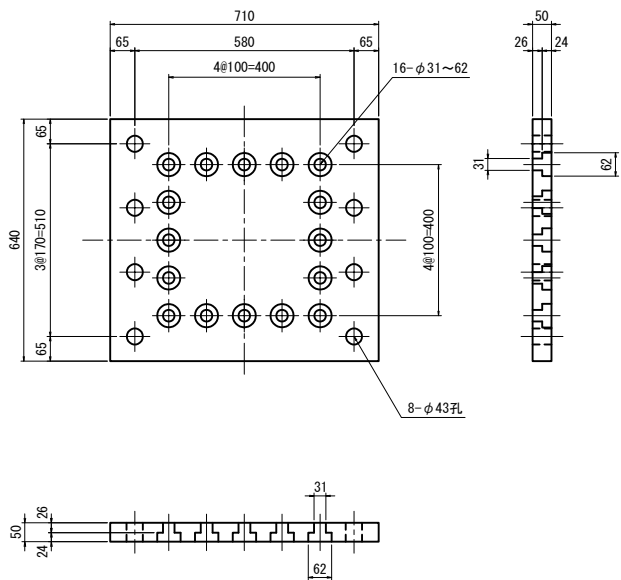


ブラケット1基当り（製作数:4基）
1-PL 1600x45x1200 (SM490YB)
1-PL 1550x40x1200 (SM490YB)
1-PL 200x22x1200 (SM490YB)
6-PL 1540x25x1528 (SM490YB) (Net:78%)

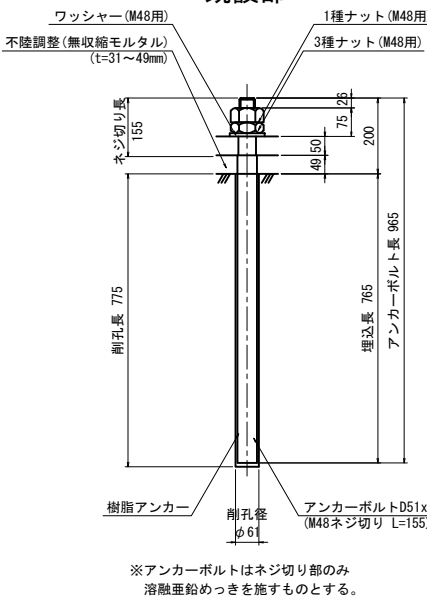


ブラケット1基当り（製作数:4基）
1-PL 880x50x1160 (SM520C)

※ () は、終点側を示す。



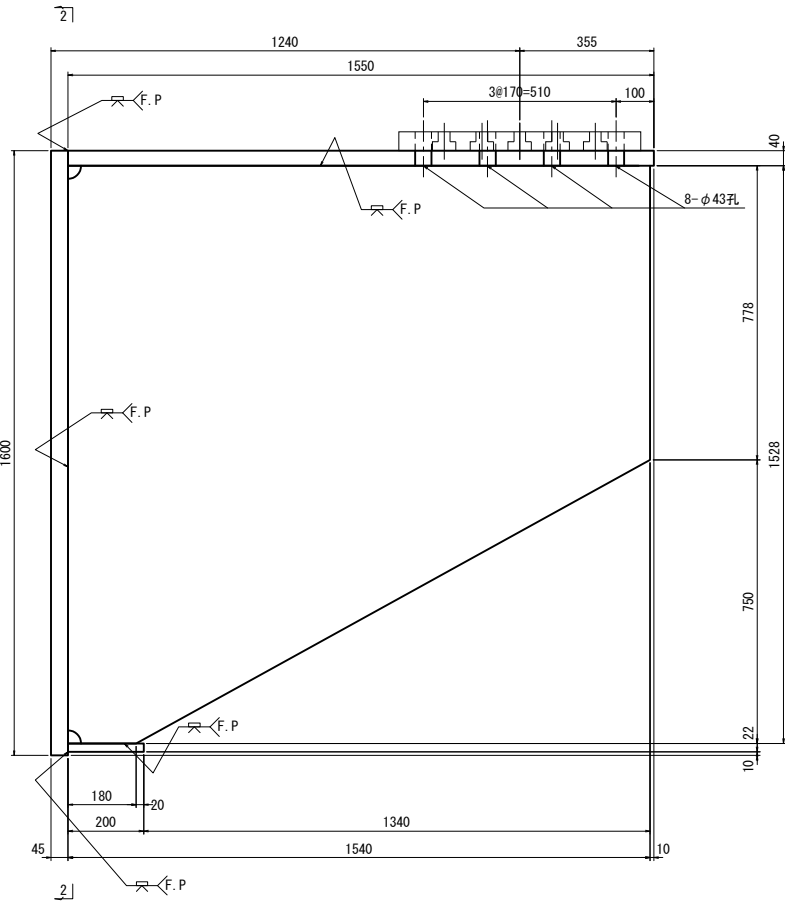
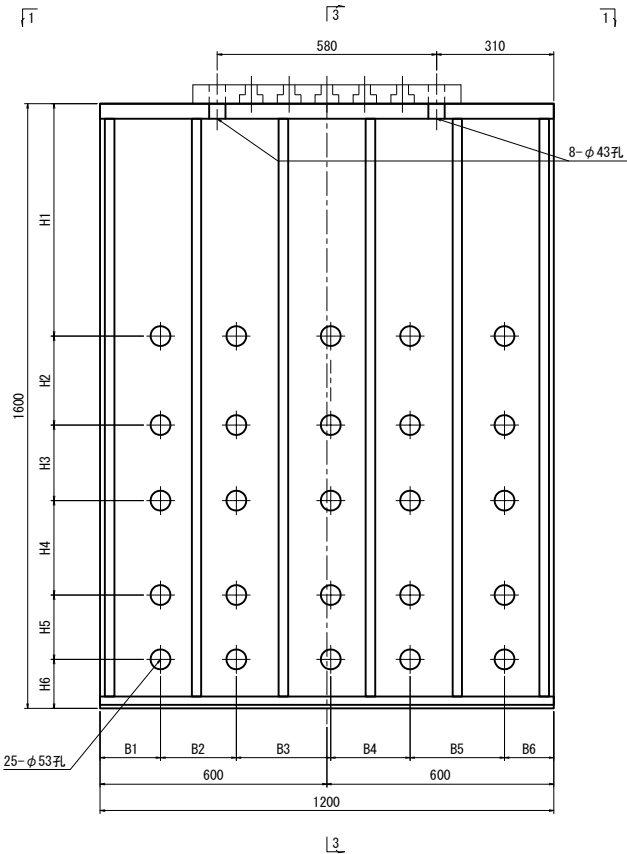
ブラケット1基当り（製作数:4基）
1-PL 640x50x710 (SM520C)
8-Bolt M39x160 (強度区分8.8)
[1-N, 2-W, 1-SW]



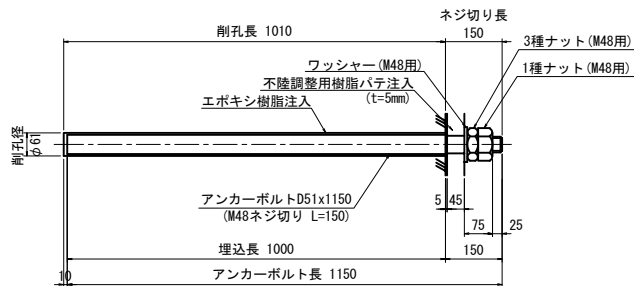
※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融垂鉛めつきを施すものとする。

2 - 2

3 - 3



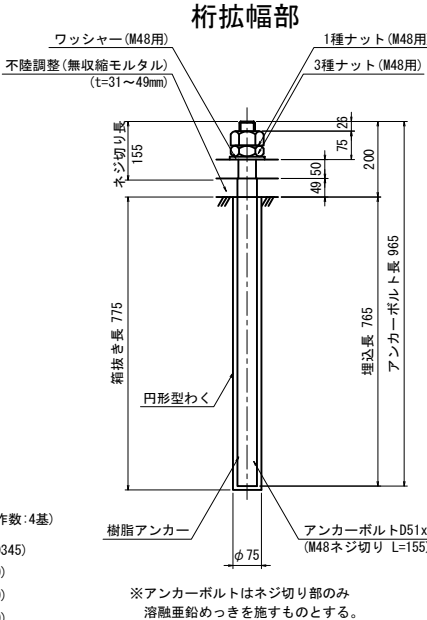
下部エアンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めつきを施すものとする。

ブラケット1基当り（製作数:4基）
25-AncBolt D51x1150 (SD345)
25-1種Nut M48用 (SS400)
25-3種Nut M48用 (SS400)
25-Washer M48用 (SS400)

ブラケット1基当り（製作数:4基）
10-AncBolt D51x965 (SD345)
10-1種Nut M48用 (SS400)
10-3種Nut M48用 (SS400)
10-Washer M48用 (SS400)



※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融垂鉛めつきを施すものとする。

- 注記
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは35Rとする。
 - 全て溶融垂鉛めつき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 - 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 - 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
 - 溶接記号の尾に「FP」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

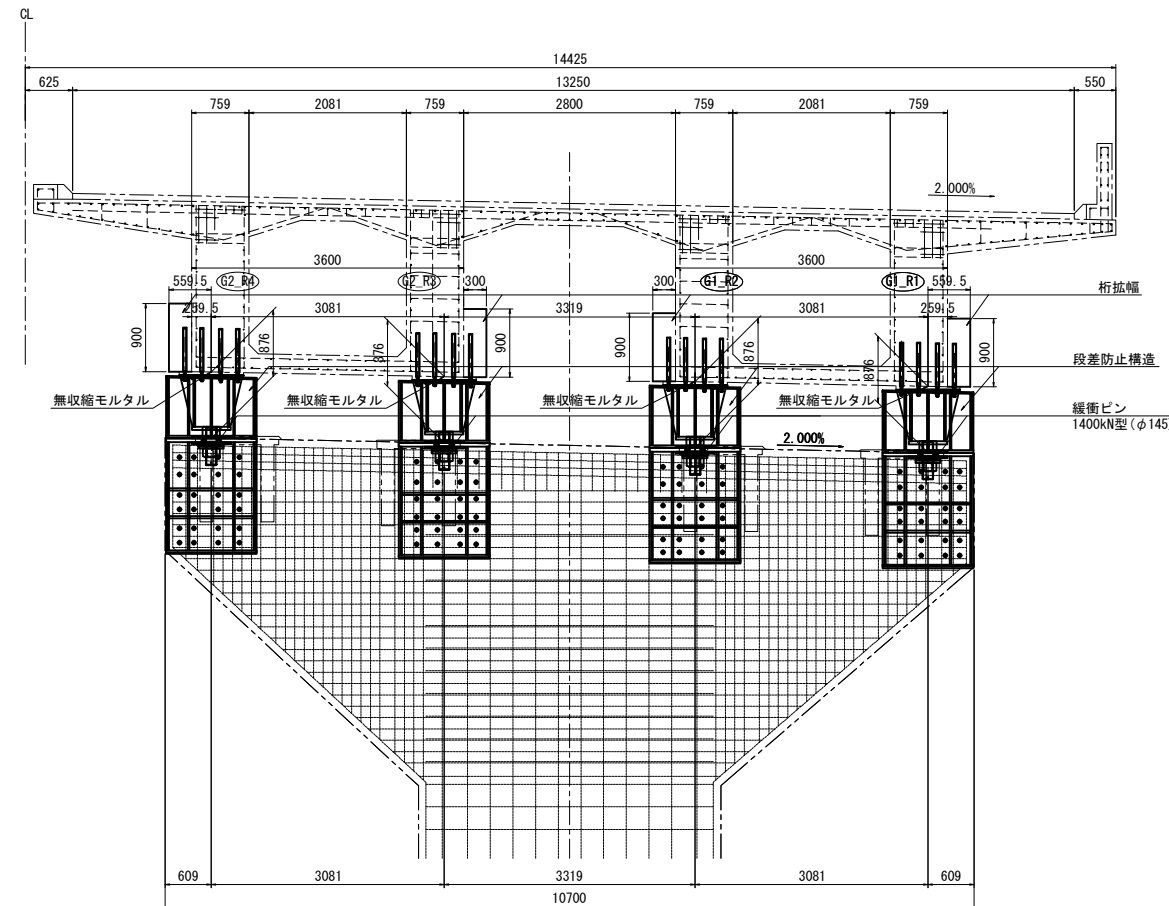
P42橋脚

設置位置	H1	H2	H3	H4	H5	H6	B1	B2	B3	B4	B5	B6
起点側	G1R2	621	229	200	250	170	130	173	183	254	210	130
	G2R3	620	190	240	180	180	190	140	240	210	254	173
終点側	G1R2	638	229	200	250	170	113	130	250	210	254	173
	G2R3	637	190	240	180	180	173	173	183	254	210	140

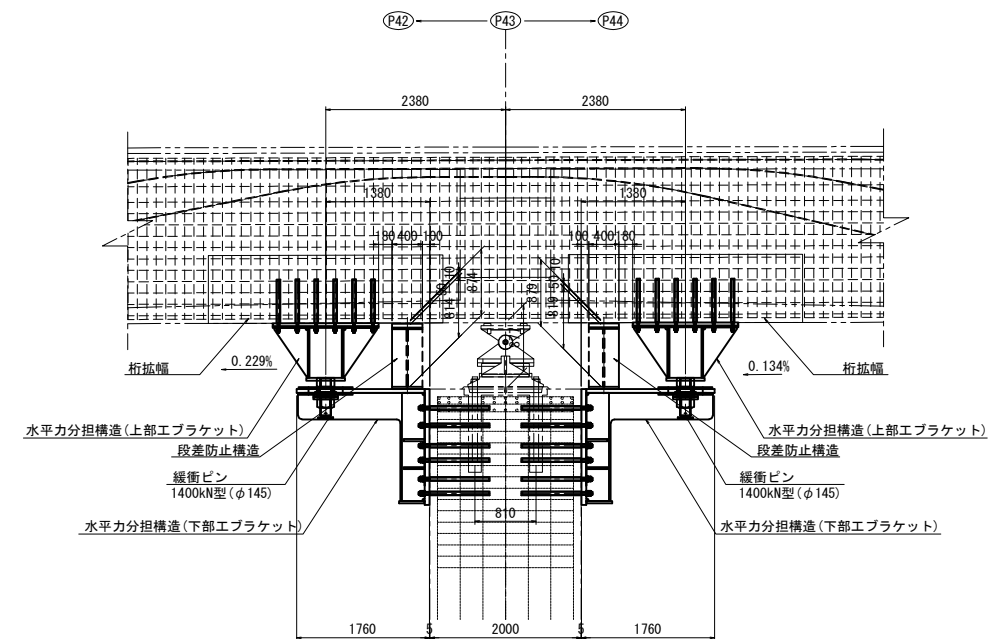
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 2 橋脚 水平力分担構造詳細図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	12 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

水平力分担構造 P—4

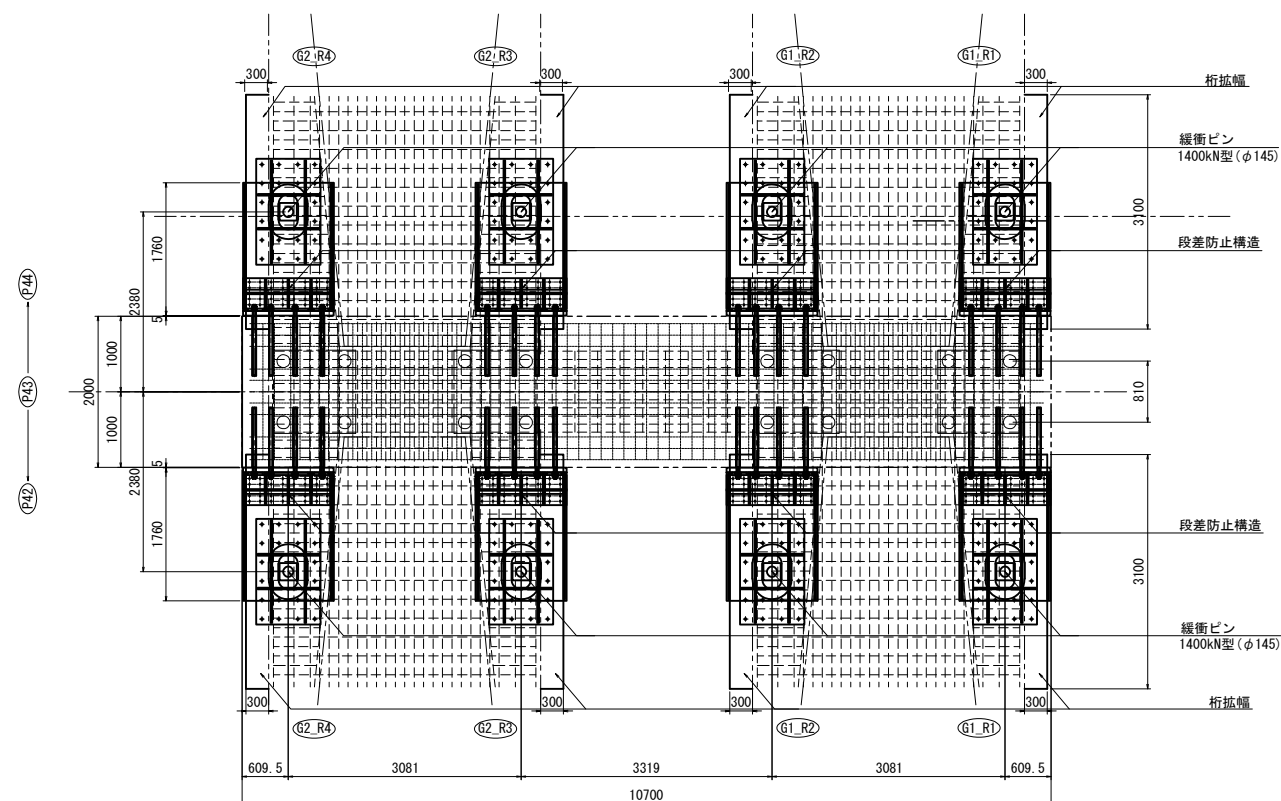
正面図



側面図



平面图



注記)

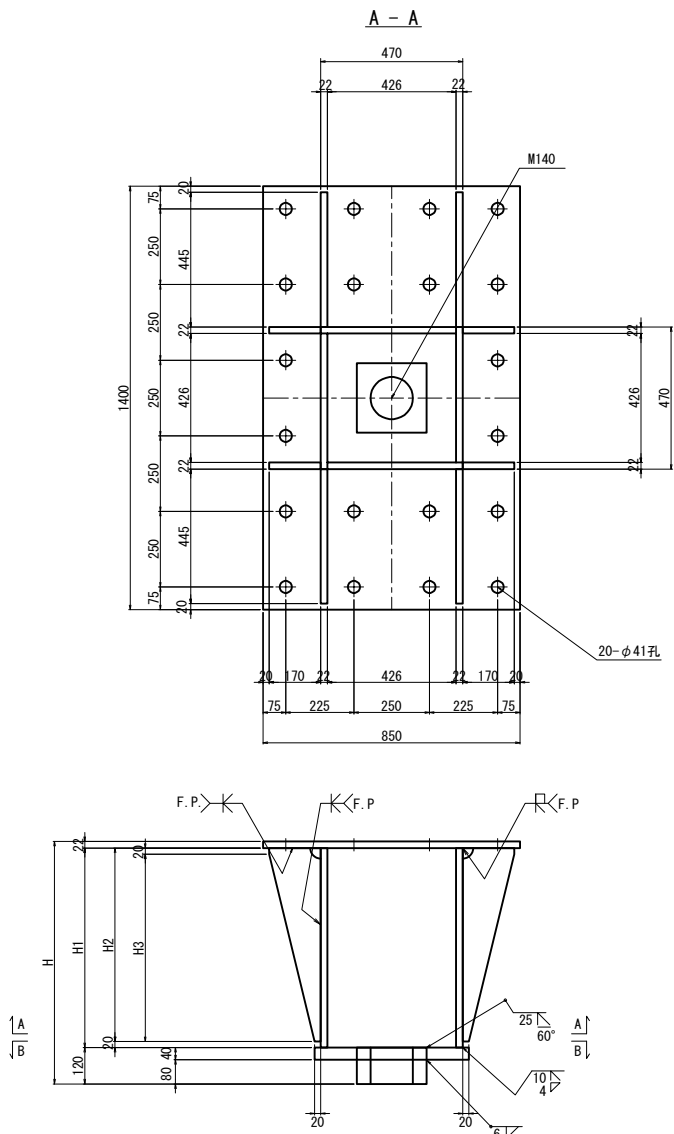
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
3. 上部工および下部工ブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋検査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、
実測結果を反映のこと。

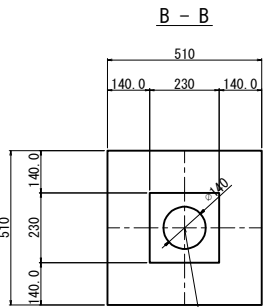
3. 上部工および下部エラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 3 橋脚 水平力分担橋脚配置図			
縮 尺	図 示	図面番号	13 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

上部エブラケット詳細図

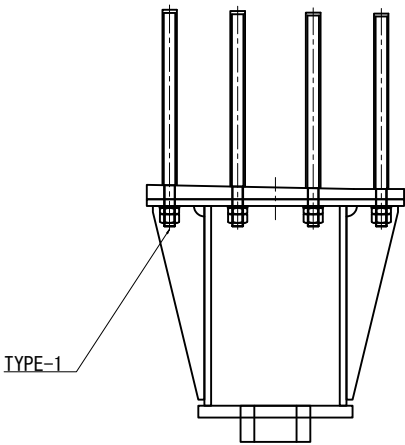


設置位置	H	H1	H2	H3
起点側	802	660	640	620
終点側	810	668	648	628



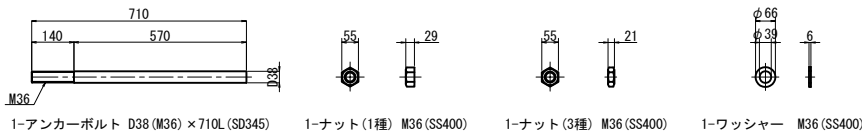
M140
(めねじ加工)

上部工用アンカーボルト詳細図



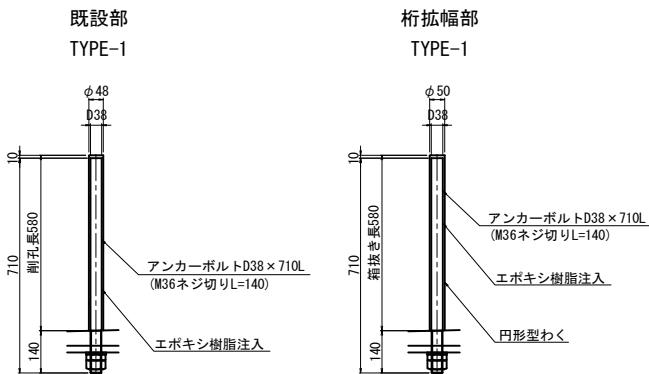
※削孔長は上部工用アンカーボルト取付詳細図に記載の通りである。

TYPE-1



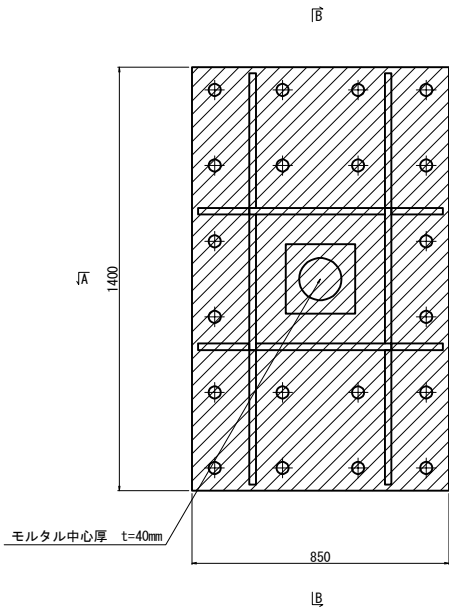
※無収縮モルタルは注入による施工とする。
注入時は以下に留意すること。
・注入ホースは勾配の低い側、排出ホースは勾配の高い側に設置すること。
・排出ホースは注入ホースより高い位置に設置することとし、必要に応じて上部工を少しはつつて設置すること。

上部工用アンカーボルト取付詳細図(削孔用)

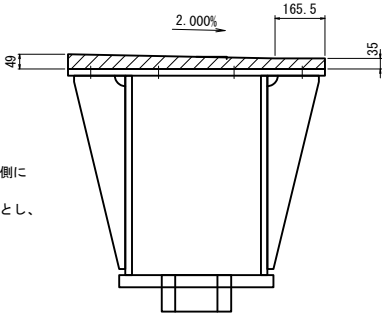


※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。

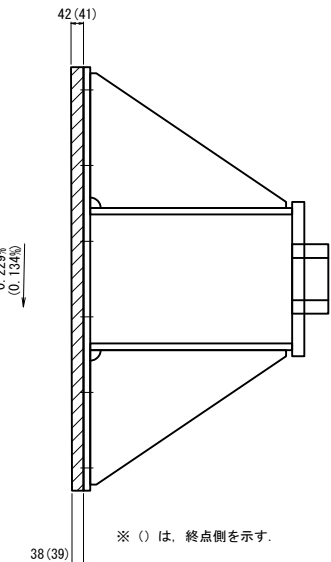
台座無収縮モルタル詳細図



A - A
(G1R1, G2R3)



B - B



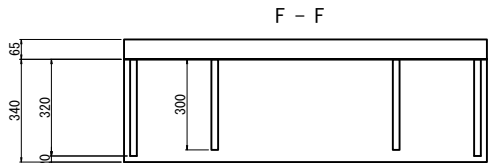
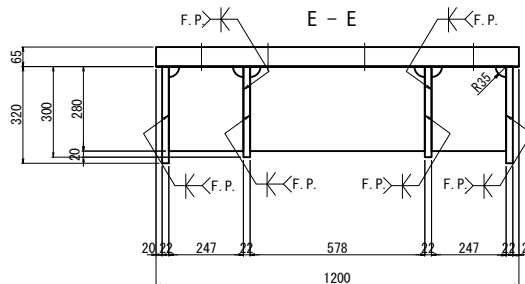
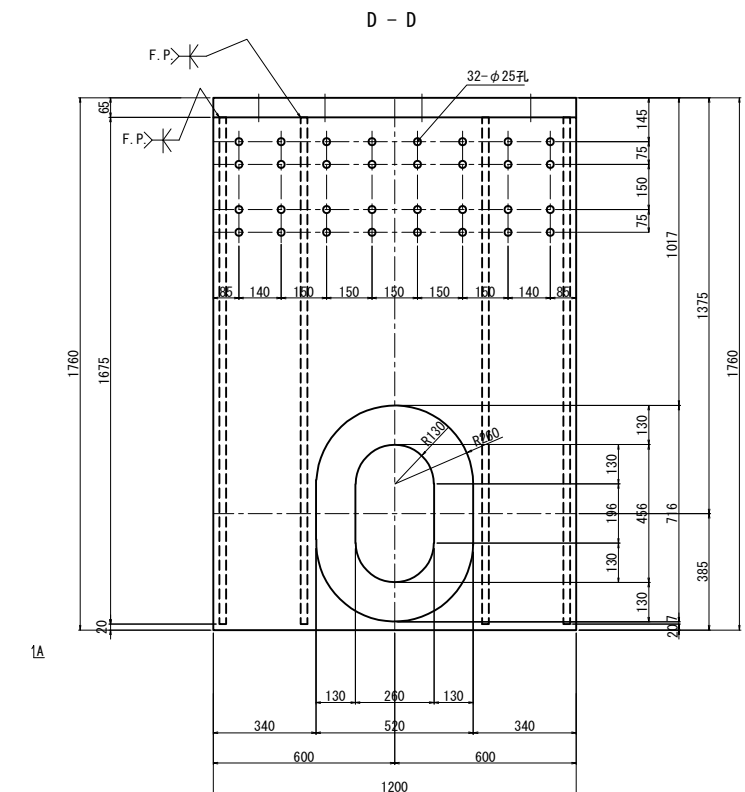
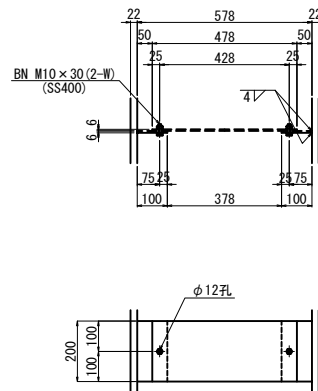
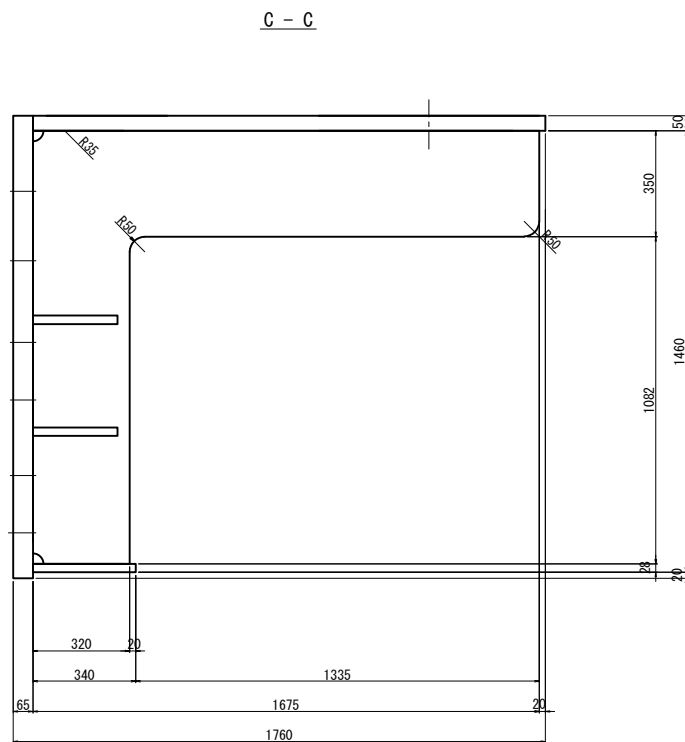
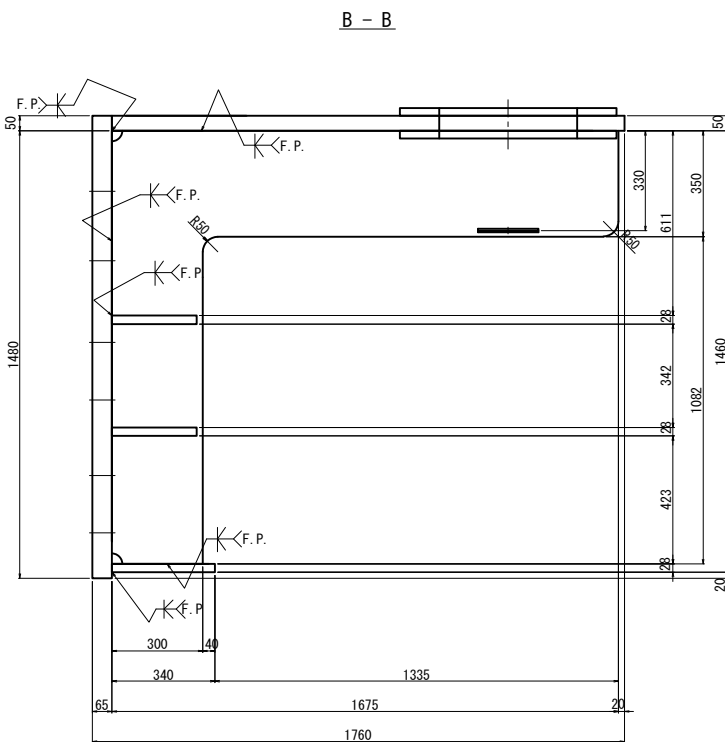
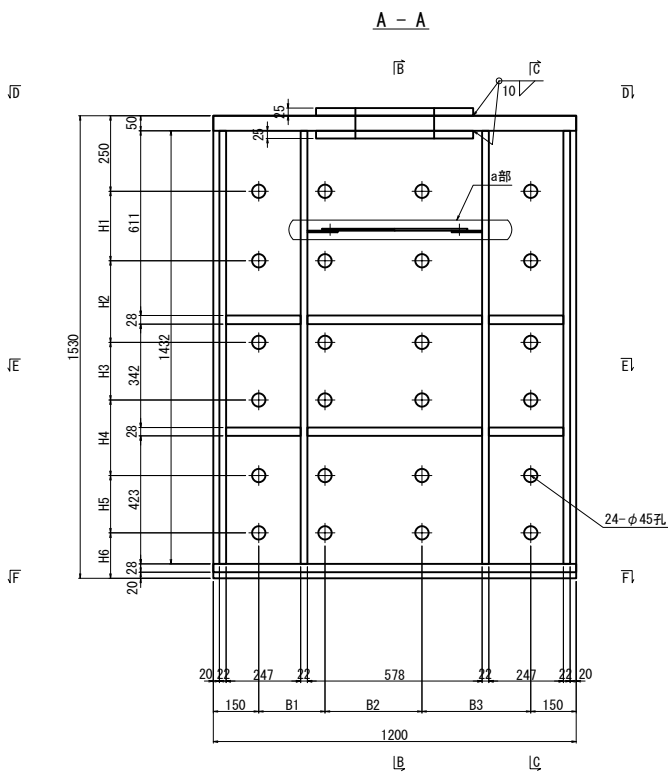
※ () は、終点側を示す。

- 注記)
- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 - 2) 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
 - 3) 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
 - 4) 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
 - 5) 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
 - 6) 特記なきスカーラップはR35とする。
 - 7) 無収縮モルタル $\sigma_{ck}=36\text{N/mm}^2$ (既設上部工の同強度)
 - 8) 溶接記号の尾に「FP」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 3 橋脚 水平力分担構造詳細図（その 1）			
縮 尺	図 示	図面番号	14 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

下部エブラケット詳細図

“a”部詳細図



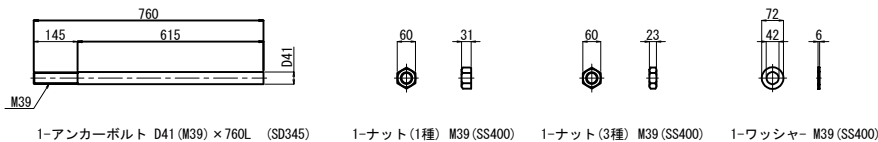
P43橋脚

設置位置	H1	H2	H3	H4	H5	H6	B1	B2	B3
起点側	G1R1 210	280	170	250	200	170	281	320	190
	G1R2 230	280	170	280	170	150	215	300	276
	G2R3 270	220	240	170	190	190	276	300	215
	G2R4 230	270	190	250	190	150	190	320	281
終点側	G1R1 210	280	170	250	200	170	190	320	281
	G1R2 230	280	170	280	170	150	276	300	215
	G2R3 270	220	240	170	190	190	215	300	276
	G2R4 230	270	190	250	190	150	281	320	190

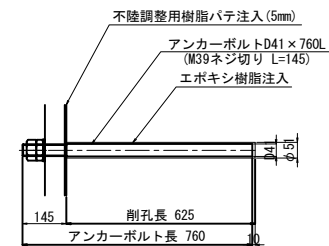
1基あたり(製作数:8基(起点側4基+終点側4基))

- 1- Base PL 1200×65×1530 (SM490C)
- 1- Flg PL 1695×50×1200 (SM490C) (Net:95%)
- 2- Cov PL 716×25×520 (SM490A) (Net:56%)
- 2- Rib PL 1432×22×1675 (SM490A) (Net:39%)
- 2- Rib PL 1432×22×1675 (SM490A) (Net:38%)
- 4- Rib PL 280×28×247 (SM490A)
- 2- Rib PL 280×28×578 (SM490A)
- 1- Rib PL 340×28×1200 (SM490A)
- 24- Anc. B D41×760 (SD345)
- 24- Nut (1種) M39 (SS400)
- 24- Nut (3種) M39 (SS400)
- 24- Wash M39 (SS400)
- 2- PL 100×6×200 (SM400A)
- 1- PL 200×6×478 (SM400A)
- 2- B. N M10×30 (SS400) (2W)

下部工用アンカーボルト詳細図

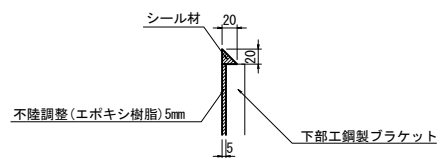


下部工用アンカーボルト取付詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。

不陸調整・シール材詳細



※不陸調整範囲は、下部エブラケットと橋台コンクリートが接する面(1530×1200)とする。

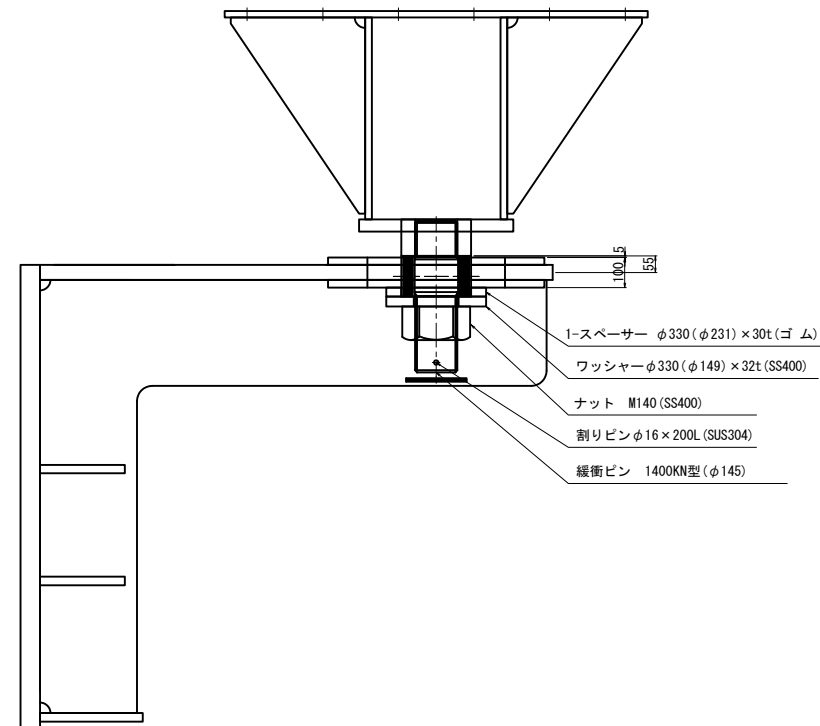
- 注記)
- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 - 2) 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
 - 3) 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
 - 4) 部材は、全て溶融亜鉛めっき処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
 - 5) 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
 - 6) 特記なきスカーラップはR35とする。
 - 7) 溶接記号の尾に「FP」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 3 橋脚 水平力分担構造詳細図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	15 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

緩衝ピン取付詳細図

(注記)

- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 2) 縦衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 3) 縦衝ピンの縦衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて縦衝部の応力計算を行うこと。
- 4) SS400材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

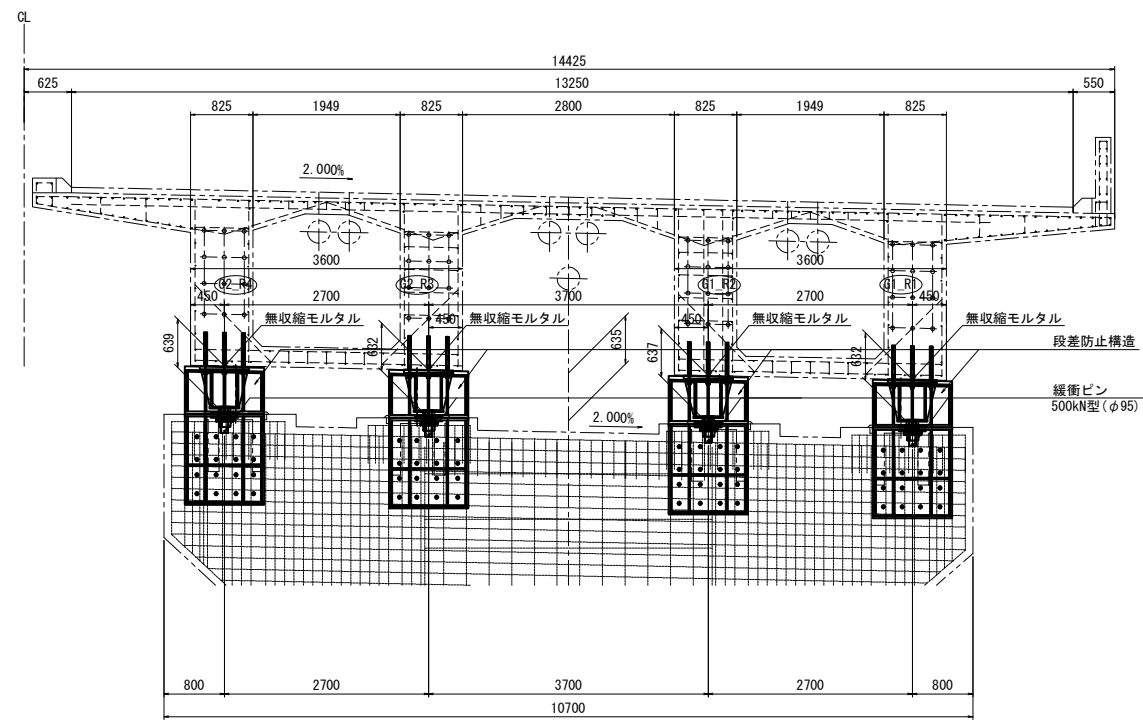


東関東自動車道	
下小野第二高架橋耐震補強工事	
図面の種類	米町高架橋（上り線）P43橋脚 水平分示担道透詳細図（その3）（参考図）
縮 尺	図 示 図面番号 16 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所

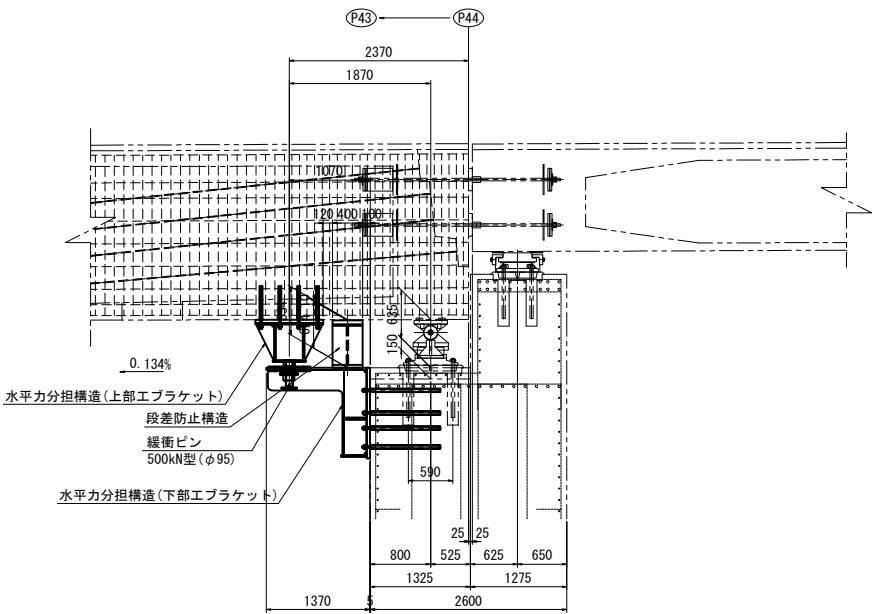
栄町高架橋（上り線）P 4 4 橋脚 水平力分担構造配置図
水平力分担構造 P—1

S=1:100

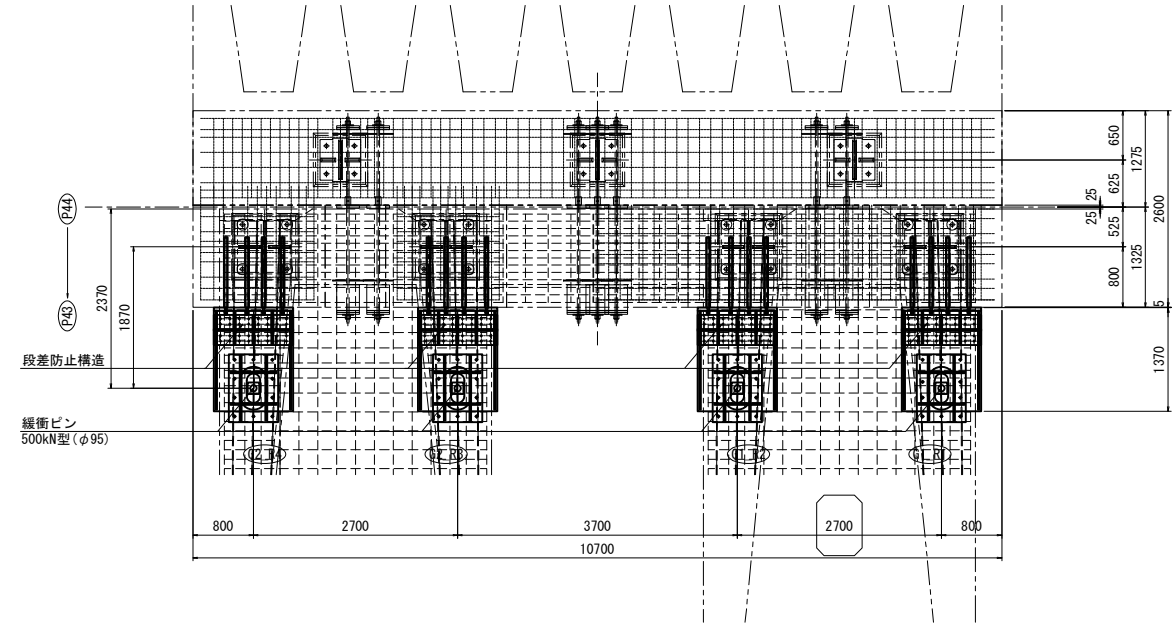
正面図



側面図



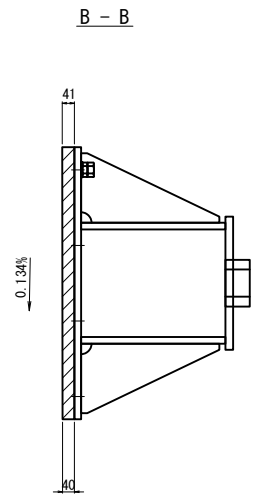
平面図



- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 上部工および下部工ブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探索するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 4 橋脚 水平力分担構造配置図			
	縮 尺	図 示	図面番号	17 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

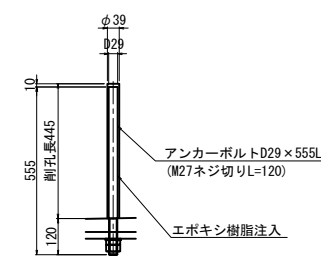
上部エブラケット側
台座無収縮モルタル詳細図



A - A

1-アンカーボルト D27 (M27) ×555 (SD345)
 1-ナット (1種) M27 (SS400)
 1-ナット (3種) M27 (SS400)
 1-ワッシャー M27 (SS400)

TYPE-1

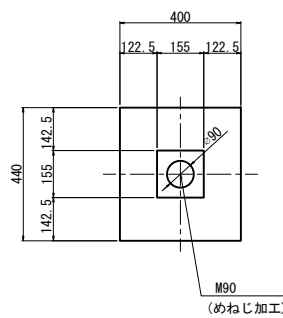


【注記】

- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 2) 緩衝ビンのビン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてビン本体の応力計算を行うこと。
- 3) 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 4) 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
- 5) 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 6) 特記なきスカーラップはR35とする。
- 7) 無収縮モルタルσ_{ck}=36N/mm²（既設上部工の同強度）
- 8) 溶接記号の尾に「FPJ」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

1基あたり(製作数:4基(起点側4基))

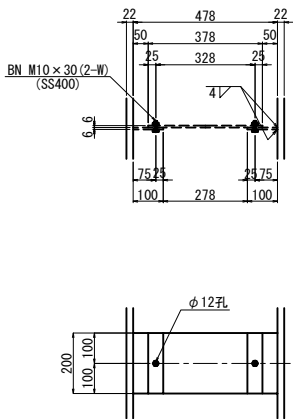
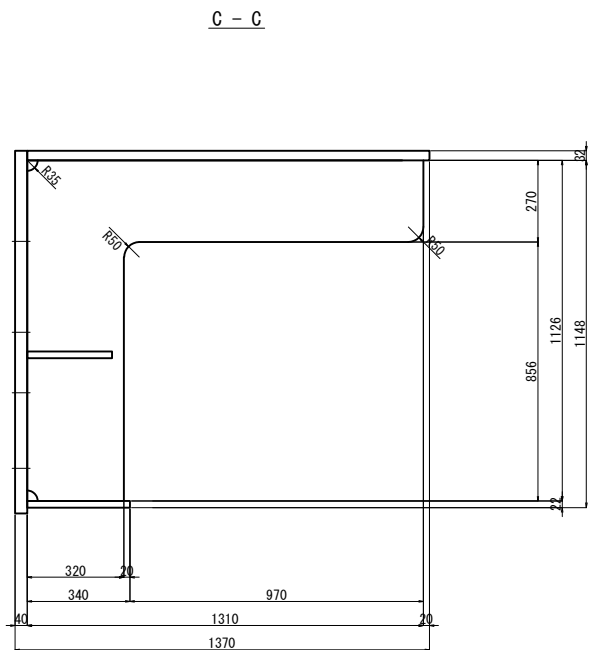
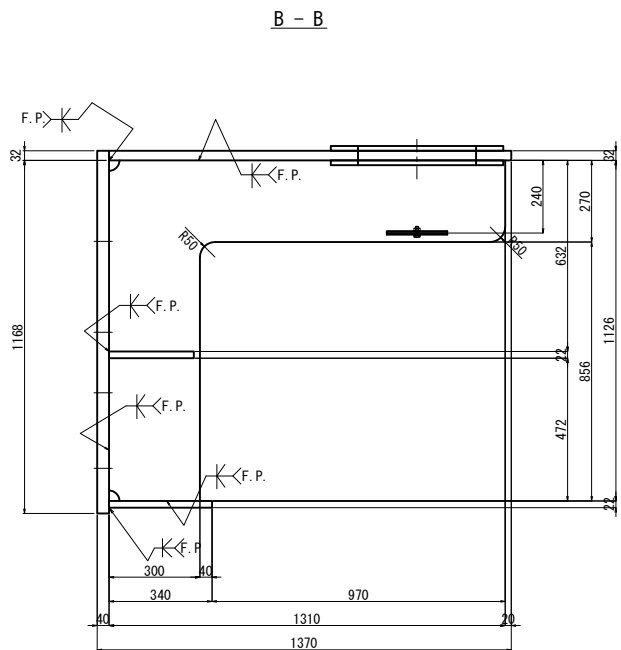
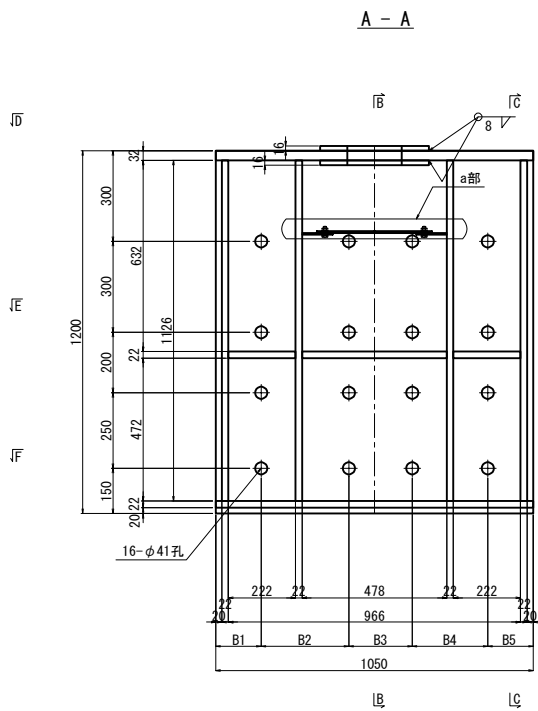
1-Base	PL	650 × 22 × 900	(SM490A)
2-	PL	H1 × 22 × 378	(SM490B)
2-	PL	H1 × 22 × 338	(SM490B)
4-Rib	PL	H2 × 22 × 125	(SM490A) (Net: 60%)
4-Rib	PL	H2 × 22 × 230	(SM490A) (Net: 56%)
1-	PL	400 × 25 × 440	(SM490C) (Net: 86%)
1-	PL	155 × 80 × 155	(SM490C)
10-アンカーボルト		D29 × 555L	(SD345)
10-ナット(1種)	M27		(SS440)
10-ナット(3種)	M27		(SS440)
10-ワッシャー	M27		(SS440)



東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P４４橋脚 水平分相招構造詳細図（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	18 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

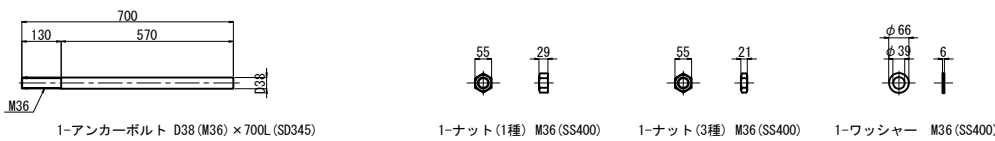
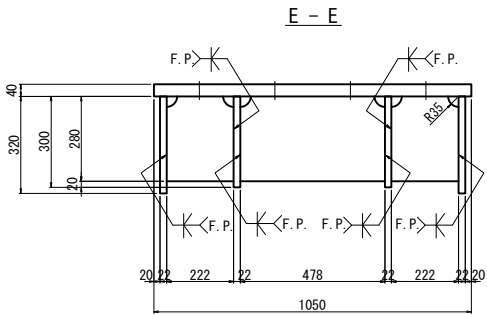
下部エブラケット詳細図

“a”部詳細図

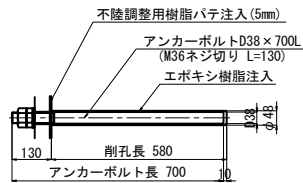


P44橋脚

	B1	B2	B3	B4	B5
G1R1	140	250	242	258	160
G1R2	140	278	264	228	140
G2R3	140	228	264	278	140
G2R4	160	253	265	233	140



下部工用アンカーボルト取付詳細図



- 注記)
- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 - 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
 - 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
 - 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 4 橋脚 水平力分担構造詳細図（その2）			
縮 尺	図 示	図面番号	19	/ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名	東日本高速道路株式会社			
事務所名	関東支社 千葉管理事務所			

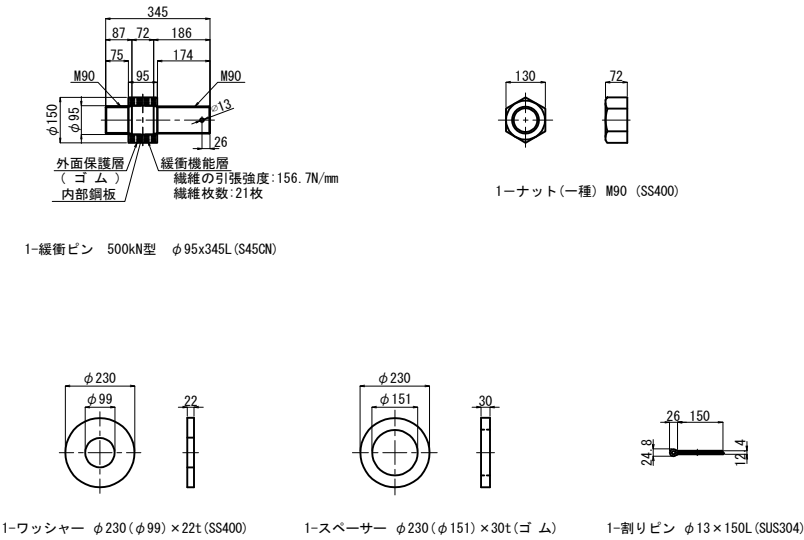
1基あたり（製作数：4基（起点側4基））

- 1- Base PL 1200×40×1050 (SM490B)
- 1- Flg PL 1330×32×1050 (SM490B) (Net:96%)
- 2- Cov PL 556×16×360 (SM490A) (Net:56%)
- 2- Rib PL 1126×22×1310 (SM490A) (Net:43%)
- 2- Rib PL 1126×22×1310 (SM490A) (Net:41%)
- 2- Rib PL 280×22×222 (SM490A)
- 1- Rib PL 280×22×478 (SM490A)
- 1- Rib PL 340×22×1050 (SM490A)
- 16- Anc. B D38×700 (SD345)
- 16- Nut (1種) M36 (SS400)
- 16- Nut (3種) M36 (SS400)
- 16- Wash M36 (SS400)
- 2- PL 100×6×200 (SM400A)
- 1- PL 200×6×378 (SM400A)
- 2- B. N M10×30 (SS400) (2W)

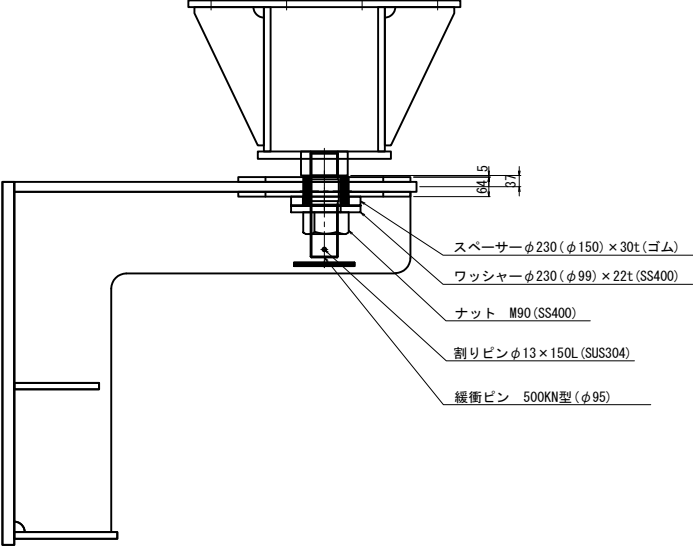
※不陸調整範囲は、下部エブラケットと橋台コンクリートが接する面(1200×1050)とする。

緩衝ピン詳細図

製作数：4基（起点側4基）



緩衝ピン取付詳細図



注記)

1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。

2) 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。

3) 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。

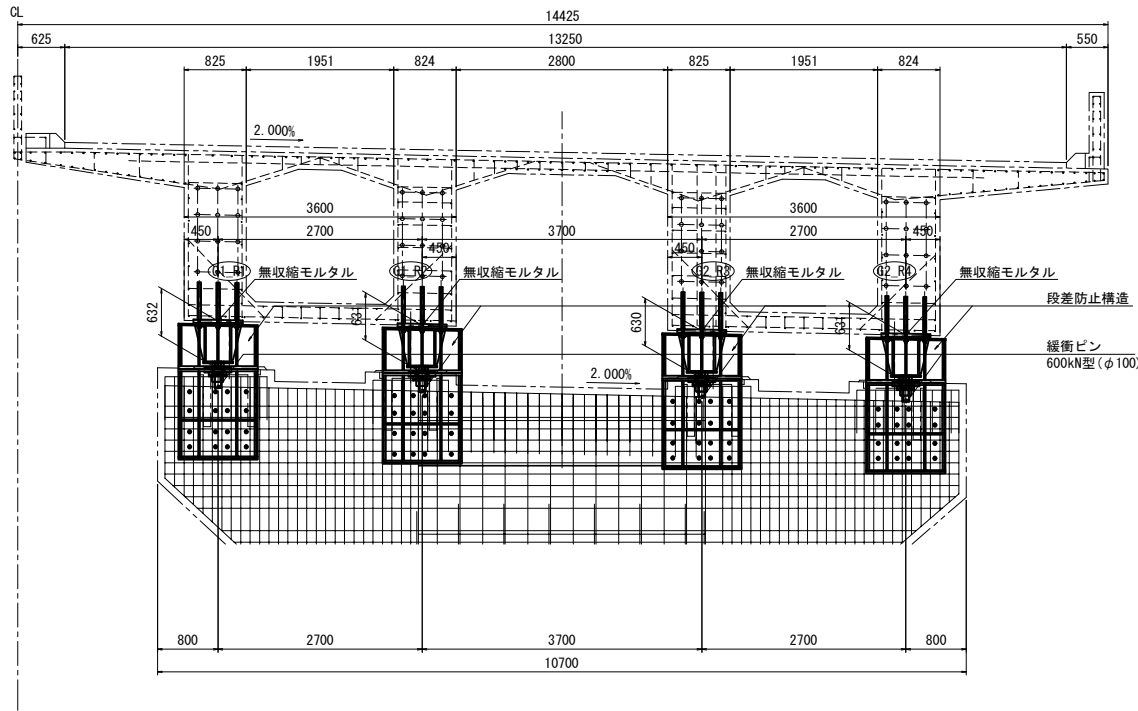
4) SS400部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 4 橋脚 水平力分担構造詳細図（その3）（参考図）			
	縮	尺	図 示	図面番号 20 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

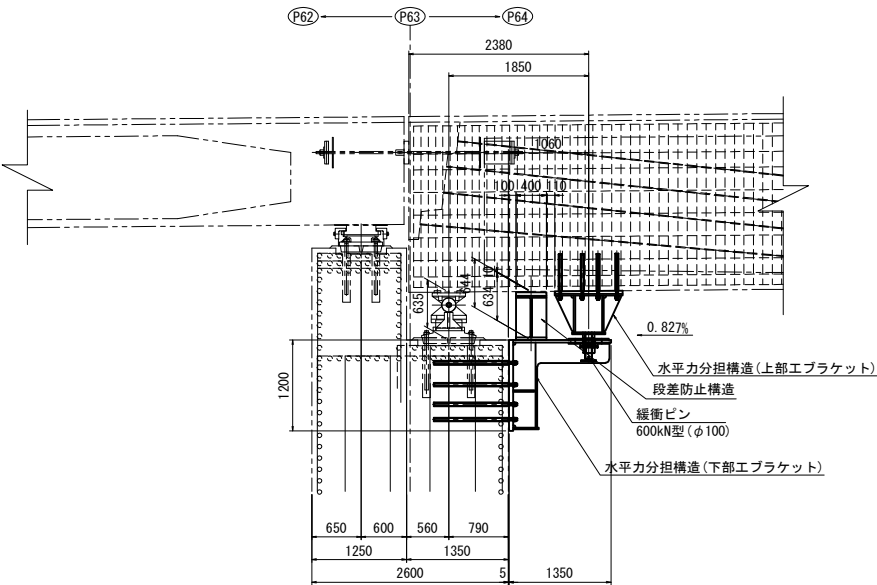
栄町高架橋（上り線）P 6 3 橋脚 水平力分担構造配置図
水平力分担構造 P—2

S=1:100

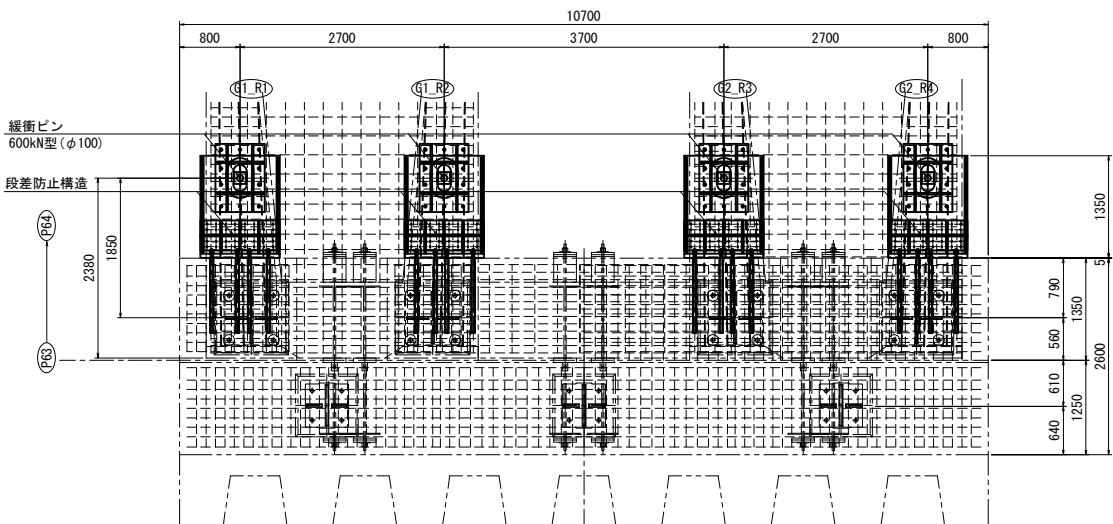
正面図



側面図



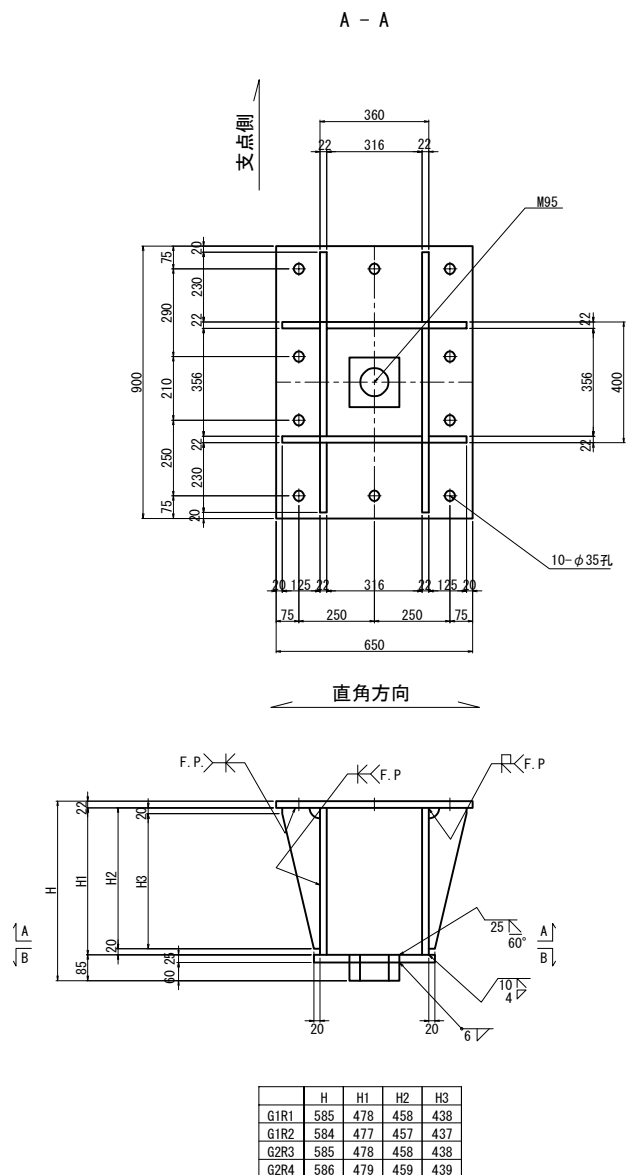
平面図



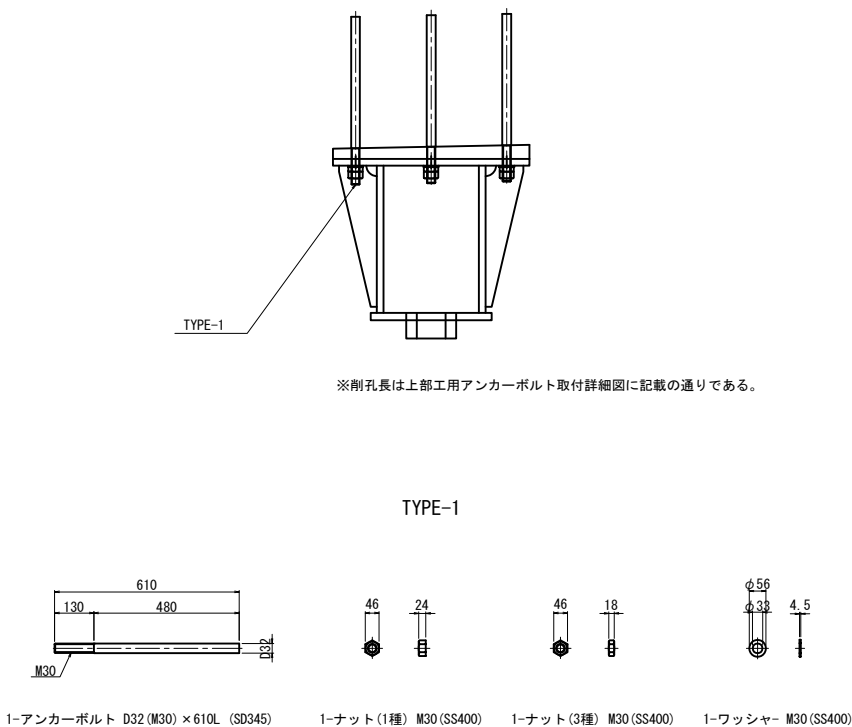
- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 上部工および下部エブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 3 橋脚 水平力分担構造配置図			
	縮 尺	図 示	図面番号	21 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

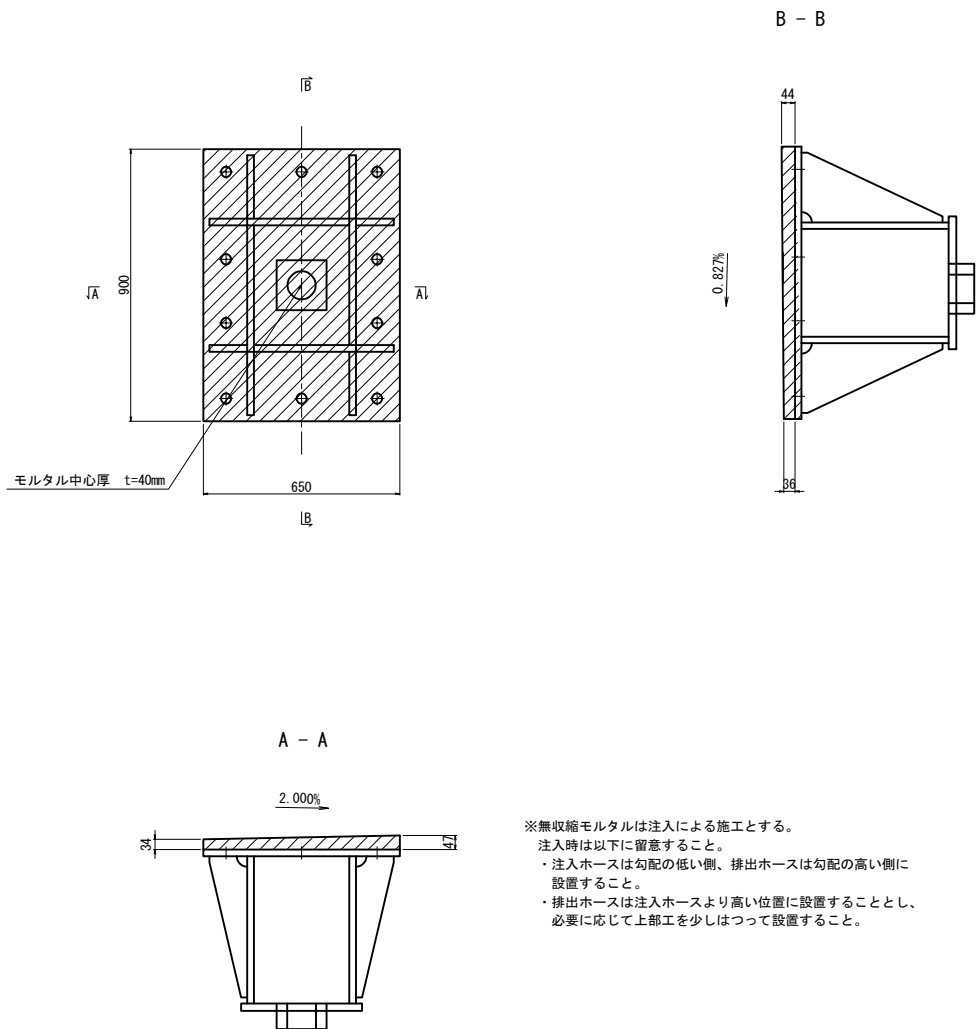
上部エブラケット詳細図



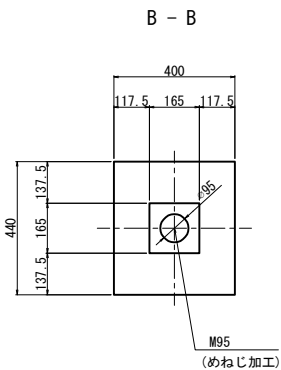
上部工用アンカーボルト詳細図



上部エブラケット側
台座無収縮モルタル詳細図

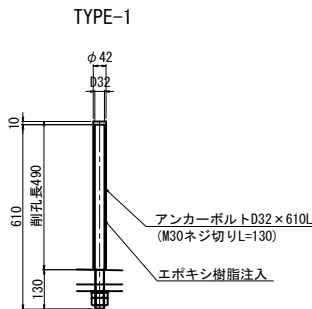


上部工用アンカーボルト取付詳細図



1基あたり (製作数:4基 (終点側4基))

- 1-Base PL 650 × 22 × 900 (SM490A)
- 2- PL H1 × 22 × 378 (SM490B)
- 2- PL H1 × 22 × 338 (SM490B)
- 4-Rib PL H2 × 22 × 125 (SM490A) (Net:60%)
- 4-Rib PL H2 × 22 × 230 (SM490A) (Net:56%)
- 1- PL 400 × 25 × 440 (SM490C) (Net:85%)
- 1- PL 165 × 85 × 165 (SM490C)
- 10-アンカーボルト D32 × 610L (SD345)
- 10-ナット (1種) M30 (SS400)
- 10-ナット (3種) M30 (SS400)
- 10-ワッシャー M30 (SS400)

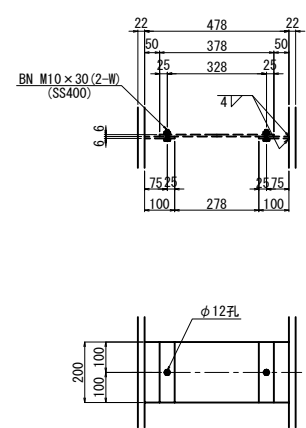
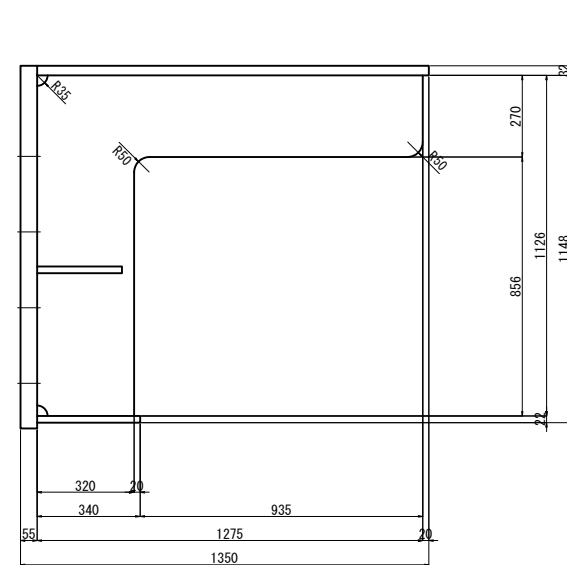


※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。

- 注記)
- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 - 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
 - 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HD255とする。但しボルトナットの付着量は、HD235とする。)
 - 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - 無収縮モルタルσ_{ck}=36N/mm² (既設上部工の同強度)
 - 溶接記号の尾に「FP」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 3 橋脚 水平力分担構造詳細図（その 1）			
縮 尺	図 示	図面番号	22 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

C - C



P63橋脚

	H1	H2	H3	H4	H5	B1	B2	B3	B4	B5
G1R1	300	250	280	200	170	150	250	160	340	150
G1R2	300	230	270	272	128	140	350	150	250	160
G2R3	300	291	259	200	150	160	250	150	350	140
G2R4	350	210	240	200	200	142	348	152	250	159

Technical drawing of a rectangular plate with the following dimensions:

- Total width: 700
- Distance from left edge to center of hole: 130
- Distance from center of hole to right edge: 570
- Hole diameter: Ø38
- Hole label: M36

1-アンカーボルト D38 (M36) × 700L (SD345)

1-ナット(1種) M36(SS400)

1-ナット(3種) M36(SS400)

1-ワッシャー M36 (SS400)

Technical drawing of a rectangular plate with a central oval hole. The drawing includes dimensions and reinforcement details.

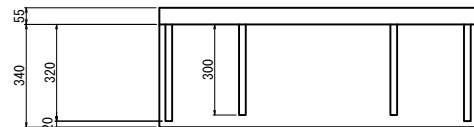
Dimensions:

- Overall width: 1050
- Overall height: 1350
- Plate thickness: 20
- Reinforcement spacing (horizontal): 90, 120, 180, 120, 130, 120, 180, 120, 90
- Reinforcement spacing (vertical): 90, 172, 90, 342, 542, 295
- Central oval hole dimensions: 345, 360, 345 (width); 90, 180, 90 (height)

Reinforcement Details:

- Top reinforcement: $F.P. \times$
- Bottom reinforcement: $F.P. \times$
- Reinforcement bars: $32-\phi 25 \text{ 7L}$
- Radius of central hole: $R300$

F - F



1基あたり(製作数:4基(終点側4基))

- | | | | | |
|---|----------|----------------|------------------|---------------------|
| 1 | - Base | PL | 1200 × 55 × 1050 | (SM490B) |
| 1 | - Rib | PL | 295 × 32 × 1050 | (SM490B) (Net: 96%) |
| 2 | - Cov | PL | 532 × 16 × 360 | (SM490A) (Net: 56%) |
| 2 | - Rib | PL | 216 × 22 × 1275 | (SM490A) (Net: 43%) |
| 2 | - Rib | PL | 1186 × 22 × 1275 | (SM490A) (Net: 42%) |
| 2 | - Rib | PL | 280 × 22 × 222 | (SM490A) |
| 1 | - Rib | PL | 280 × 22 × 478 | (SM490A) |
| 1 | - Rib | PL | 340 × 22 × 1050 | (SM490A) |
| 6 | - Anc. B | D38 × 700 | (SD345) | |
| | Nut (1種) | M36 | (SS400) | |
| | Nut (2種) | M36 | (SS400) | |
| 6 | - Wash | M36 | (SS400) | |
| 2 | - PL | M100 × 6 × 200 | (SM400A) | |
| 1 | - PL | 200 × 6 × 378 | (SM400A) | |
| 2 | - B. N | M10 × 30 | (SS400) (2W) | |

※不陸調整範囲は、下部エブラケットと橋台コンクリートが接する面(1050×1200)とする。

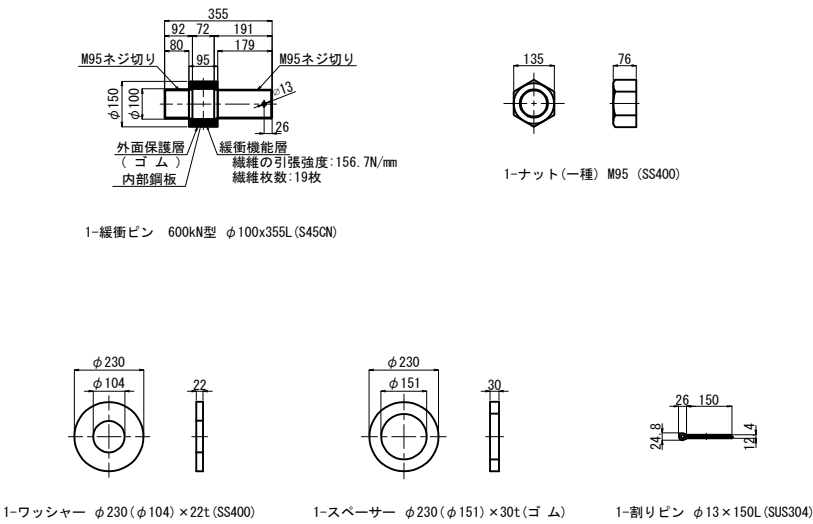
注記)

- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 2) 緩衝ピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 3) 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 4) 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ5とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
- 5) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 6) 特記なきスカーリングはR35とする。
- 7) 溶接接ぎの尾に「FP」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

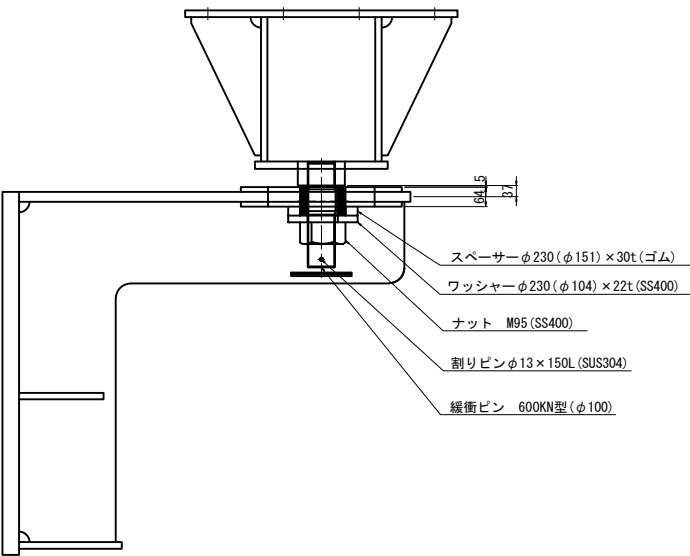
東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 3 橋脚 水平力分担構造物詳細図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	23 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

緩衝ピン詳細図

製作数：4基（終点側4基）



緩衝ピン取付詳細図



注記)

1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。

2) 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。

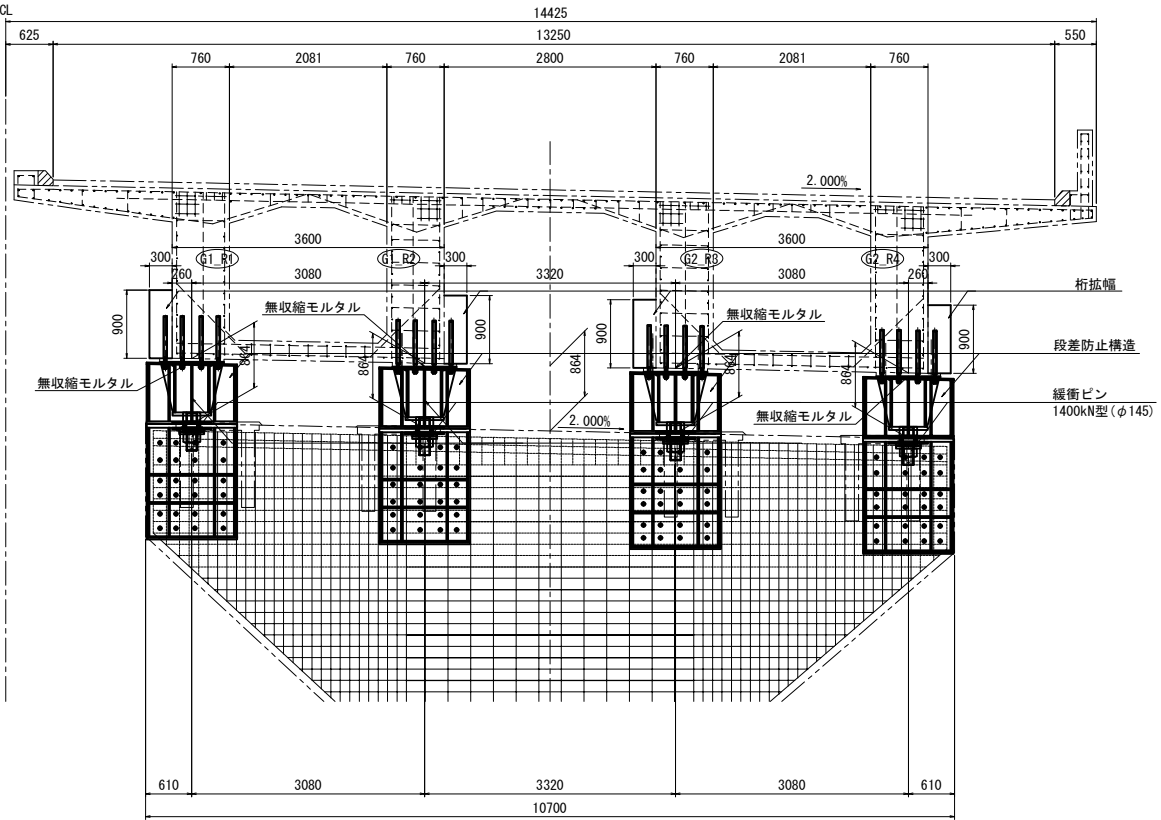
3) 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。

4) SS400部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

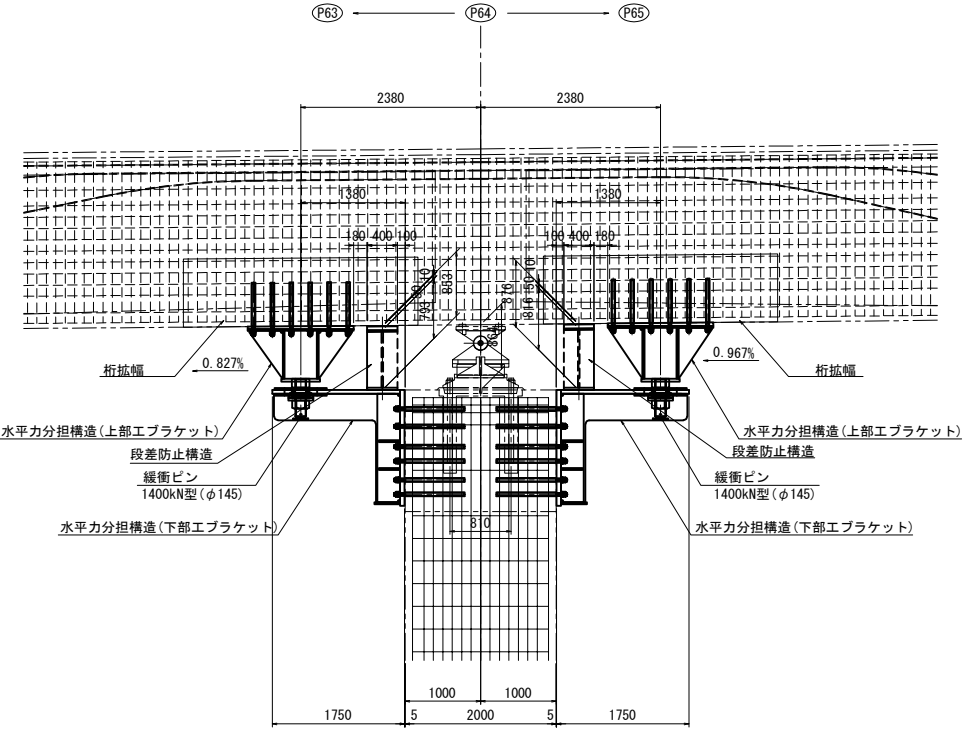
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 3 橋脚 水平力分担構造詳細図（その3）（参考図）			
	縮 尺	図 示	図面番号	24 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

水平力分担構造 P—5

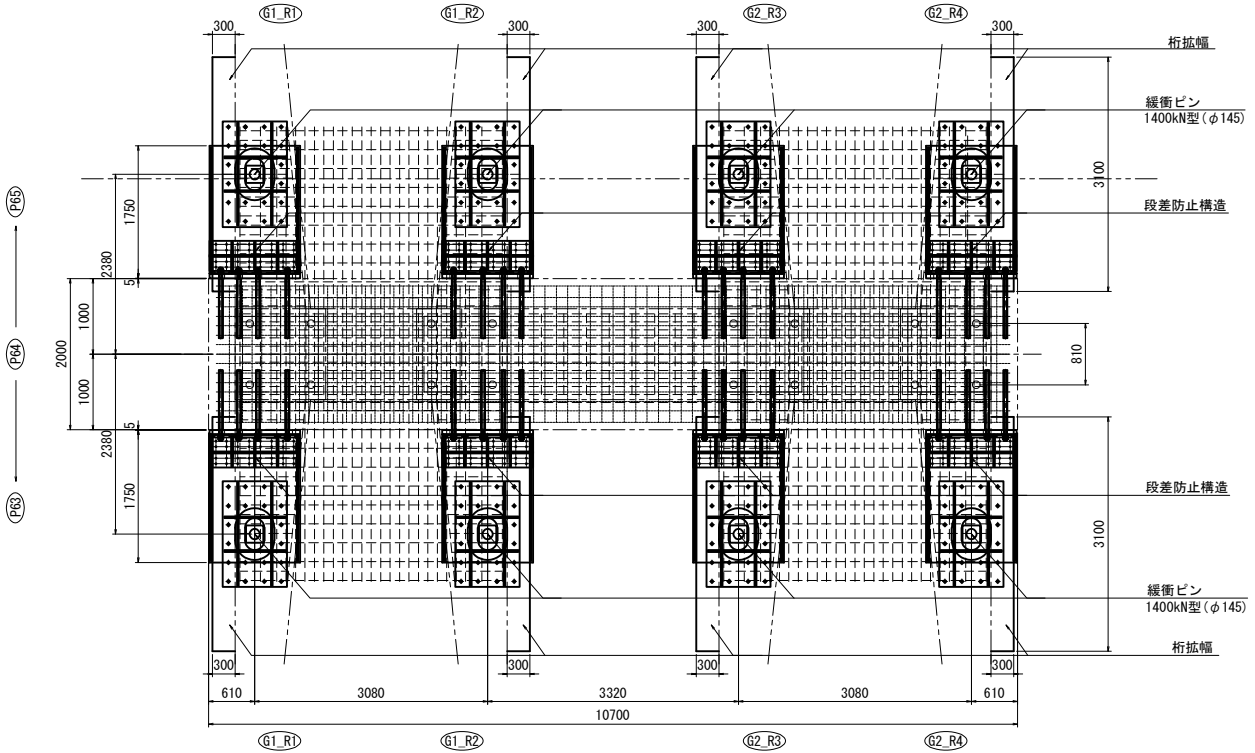
正面図
(P63側)



側面図



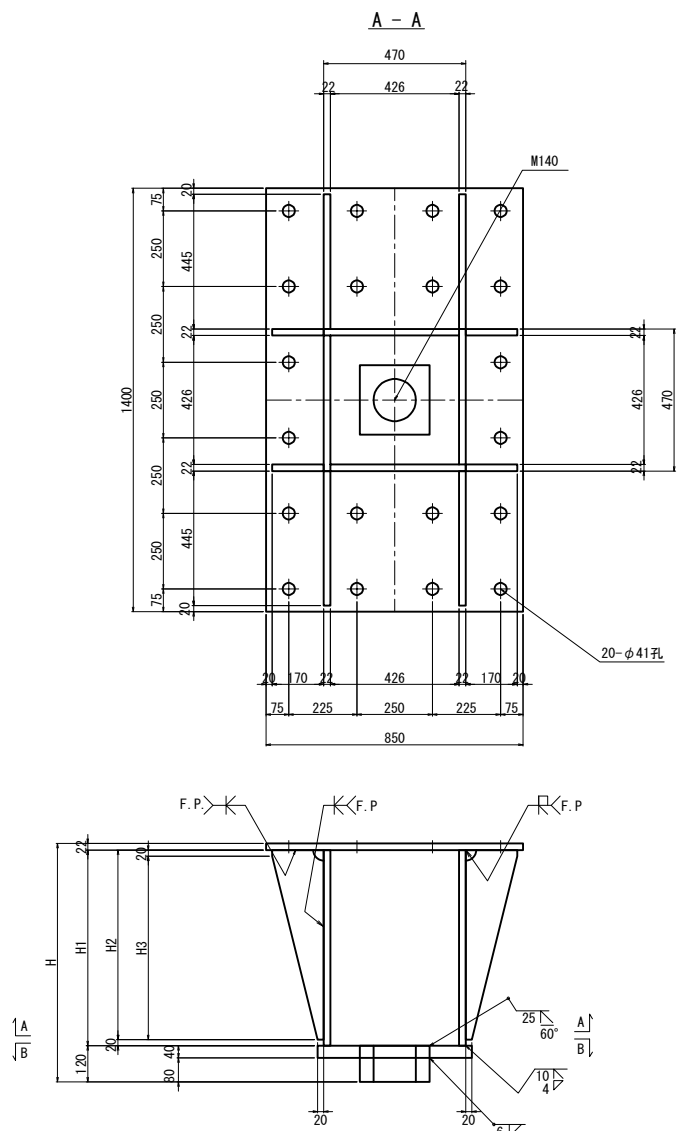
平面図



- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 上部工および下部工の配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探索するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

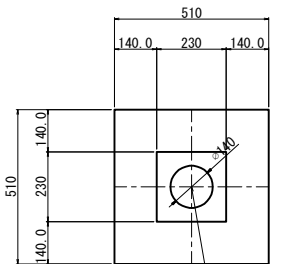
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 4 橋脚 水平力分担構造配置図			
縮 尺	図 示	図面番号	25	/ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

上部エブラケット詳細図



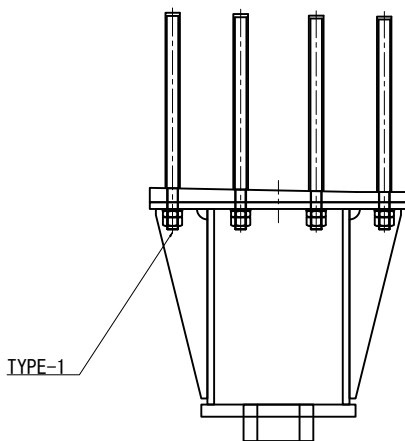
設置位置	H	H1	H2	H3
起点側	774	632	612	592
終点側	817	675	655	635

B - B



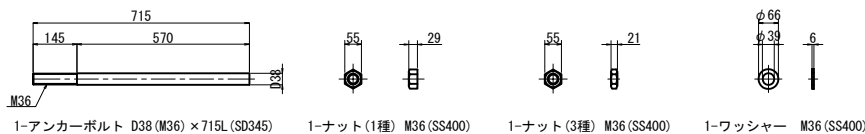
1基あたり（製作数：8基（起点側4基・終点側4基））
1-Base PL 1400 × 22 × 850 (SM490A)
4- PL H1 × 22 × 448 (SM490B)
4-Rib PL H2 × 22 × 445 (SM490A) (Net:54%)
4-Rib PL H2 × 22 × 170 (SM490A) (Net:57%)
1- PL 510 × 40 × 510 (SM490C) (Net:80%)
1- PL 230 × 120 × 230 (SM490C)
20-アンカーボルト D38 × 715L (SD345)
20-ナット (1種) M36 (SS400)
20-ナット (3種) M36 (SS400)
20-ワッシャー M36 (SS400)

上部工用アンカーボルト詳細図



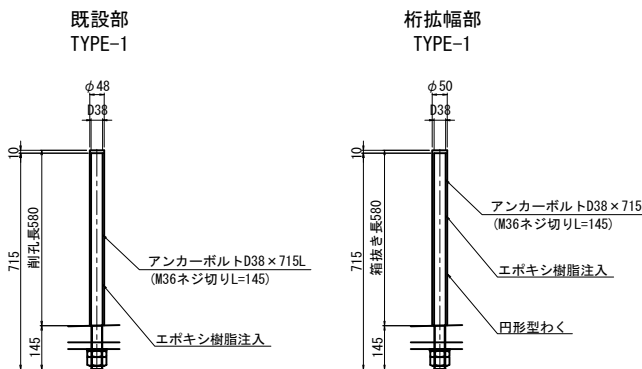
※削孔長は上部工用アンカーボルト取付詳細図に記載の通りである。

TYPE-1



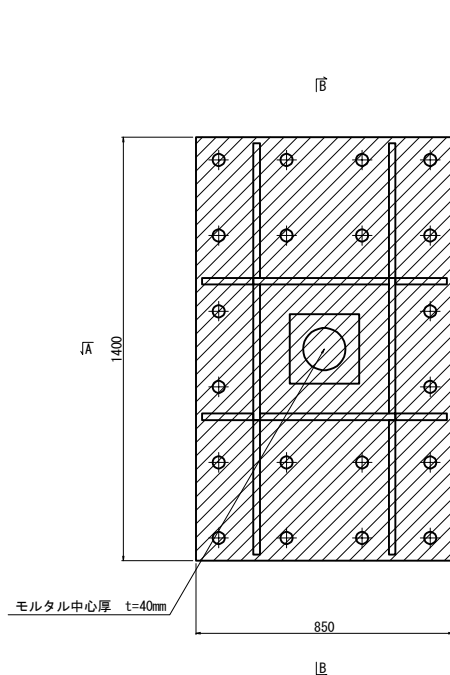
※無収縮モルタルは注入による施工とする。
注入時は以下に留意すること。
・注入ホースは勾配の低い側、排出ホースは勾配の高い側に設置すること。
・排出ホースは注入ホースより高い位置に設置することとし、必要に応じて上部工を少しはつつて設置すること。

上部工用アンカーボルト取付詳細図（削孔用）



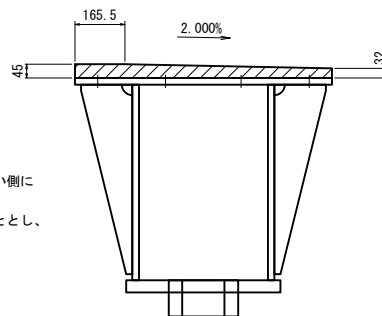
※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。

台座無収縮モルタル詳細図

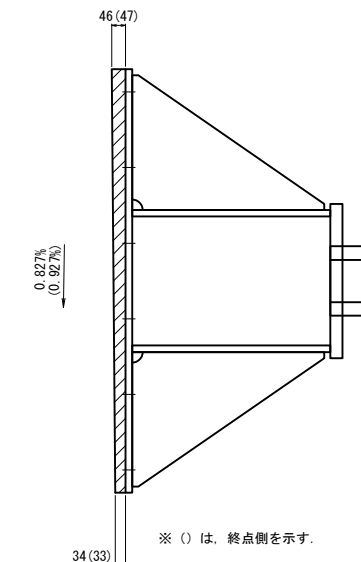


A - A

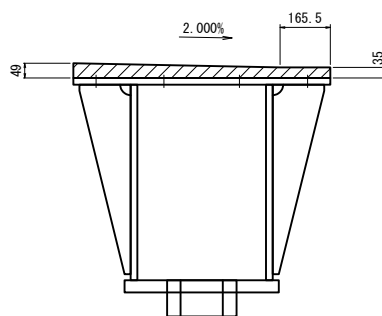
(G1R1, G2R3)



B - B



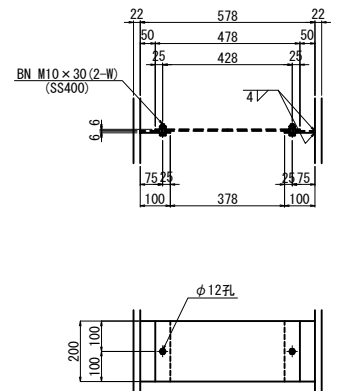
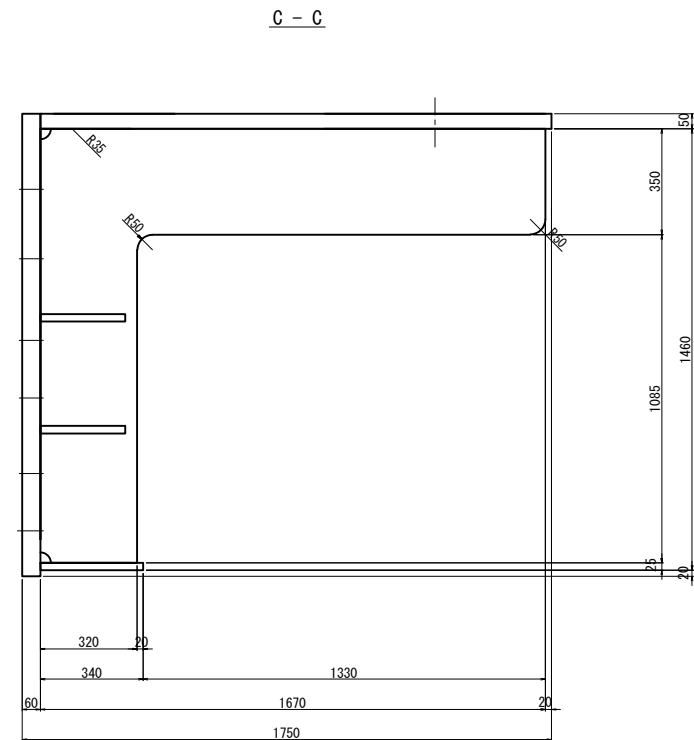
(G1R2, G2R4)







- 注記)
- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 - 2) 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
 - 3) 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
 - 4) 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
 - 5) 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
 - 6) 特記なきスカーラップはR35とする。
 - 7) 無収縮モルタル $\sigma_{ck}=36\text{N/mm}^2$ （既設上部工の同強度）
 - 8) 溶接記号の尾に「FP」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 水平力分担構造詳細図（その 1）			
縮 尺	図 示	図面番号	26 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

"a"部詳細図



1-アンカーボルト D41 (M39) × 755L (SD345) 1-ナット (1種) M39 (SS400) 1-ナット (3種) M39 (SS400) 1-ワッシャー M39 (SS400)

不陸調整用樹脂パテ注入 (5mm)

アンカーボルト D41 x 755
(M39ネジ切り L=140)

エポキシ樹脂注入

140

削孔長 625

アンカーボルト長 755

240

51

※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。

(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

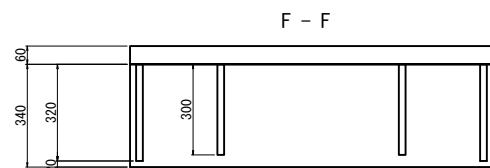
5) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。

6) 特記なきスカーラップはR35とする。

7) 溶接記号の尾に「FP」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

Figure 1: Cross-section diagram of the connection between the main structure and the lower steel bracket. The diagram shows a vertical section with dimensions: 20mm for the top flange, 20mm for the vertical plate, and 5mm for the bottom flange. Labels include 'シーリング材' (Sealing material) at the top, '不陸調整 (エポキシ樹脂) 5mm' (Unevenness adjustment (epoxy resin) 5mm) for the bottom flange, and '下部工鋼製ブラケット' (Lower steel bracket) for the bottom part.

※不陸調整範囲は、下部エブラケットと橋台コンクリートが接する面(1530×1200)とする。



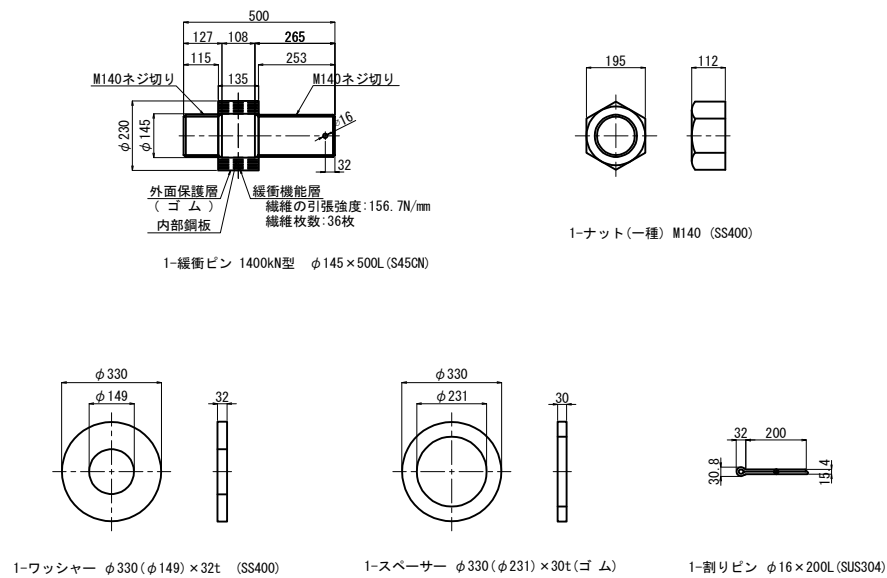
	設置位置	H1	H2	H3	H4	H5	H6	B1	B2	B3	B4	B5
起点側	G1R1	230	270	190	250	190	150	180	210	250	380	180
	G1R2	270	220	230	170	200	190	180	360	270	215	176
	G2R3	230	280	170	280	170	150	176	224	260	360	180
	G2R4	210	280	170	250	200	170	180	380	250	210	180
終点側	G1R1	230	270	190	250	190	150	180	380	250	210	180
	G1R2	270	220	230	170	200	190	176	215	270	360	180
	G2R3	230	280	170	280	170	150	180	360	260	224	176
	G2R4	210	280	170	250	200	170	180	210	250	360	180

1基あたり(製作数:8基(起点側4基+終点側4基))

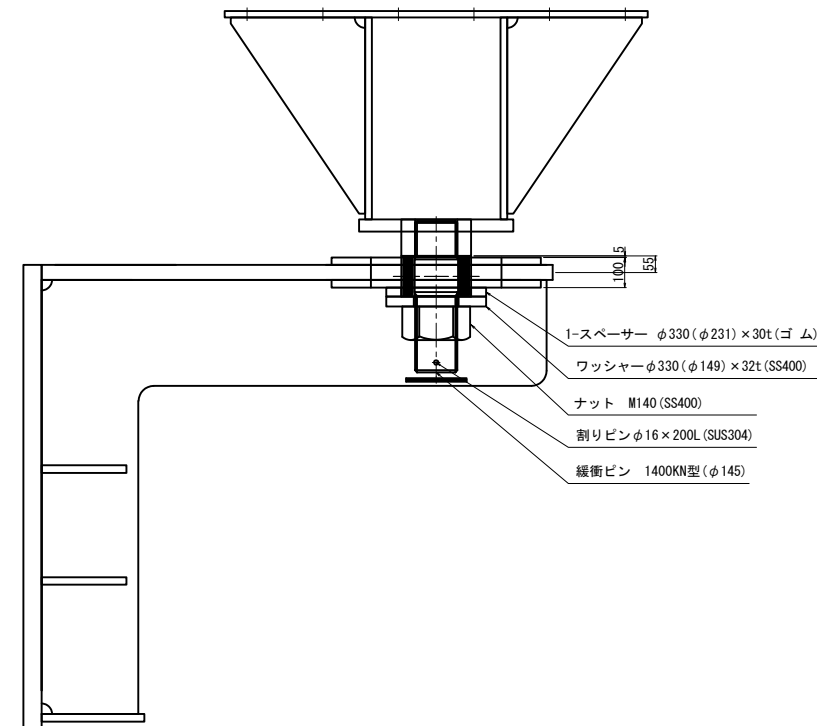
- | | | | |
|----------|----------|------------------|---------------------|
| 1- Base | PL | 1200 × 60 × 1530 | (SM490C) |
| 1- Fgl | PL | 1690 × 50 × 1200 | (SM490C) (Net: 95%) |
| 2- Cov | PL | 692 × 25 × 520 | (SM490A) (Net: 57%) |
| 2- Rib | PL | 1435 × 22 × 1670 | (SM490A) (Net: 39%) |
| 2- Rib | PL | 1435 × 22 × 1670 | (SM490A) (Net: 38%) |
| 4- Rib | PL | 280 × 25 × 247 | (SM490A) |
| 4- Rib | PL | 280 × 25 × 578 | (SM490A) |
| 4- Rib | PL | 340 × 25 × 1200 | (SM490A) |
| 24- Arc | B D41 | × 755 | (SD345) |
| 24- Nut | (1種) | M39 | (SS400) |
| 24- Nut | (3種) | M39 | (SS400) |
| 24- Wash | M39 | | (SS400) |
| 2- PL | 100 × | 6 × 200 | (SM400A) |
| 1- PL | 200 × | 6 × 478 | (SM400A) |
| 2- B. N | M10 × 30 | | (SS400) (ZW) |

東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 水平力分担構造詳細図（その２）		
縮 尺	図 示	図面番号	27 / 144
設計社社名	北武コンサルタント株式会社		
施工社社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

緩衝ピン詳細図
製作数:8基(起点側4基+終点側4基)



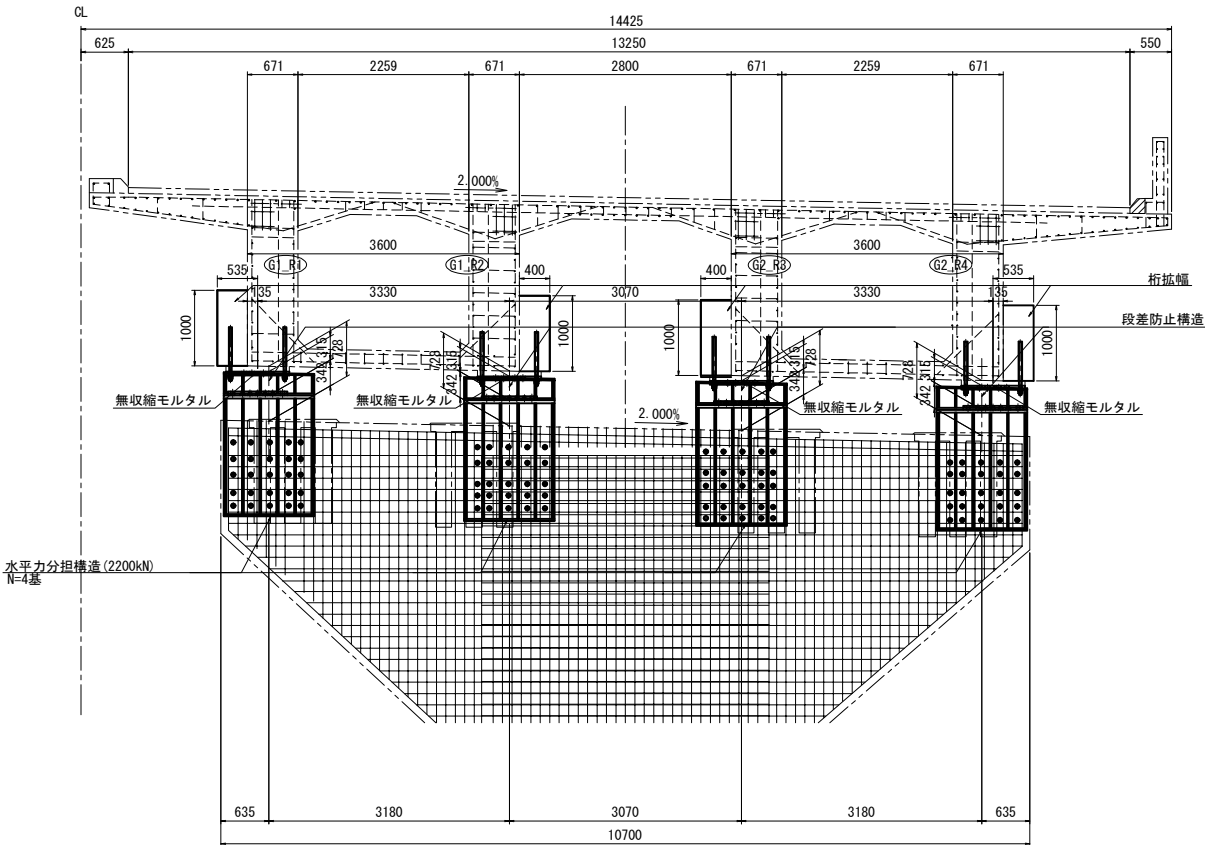
緩衝ピン取付詳細図



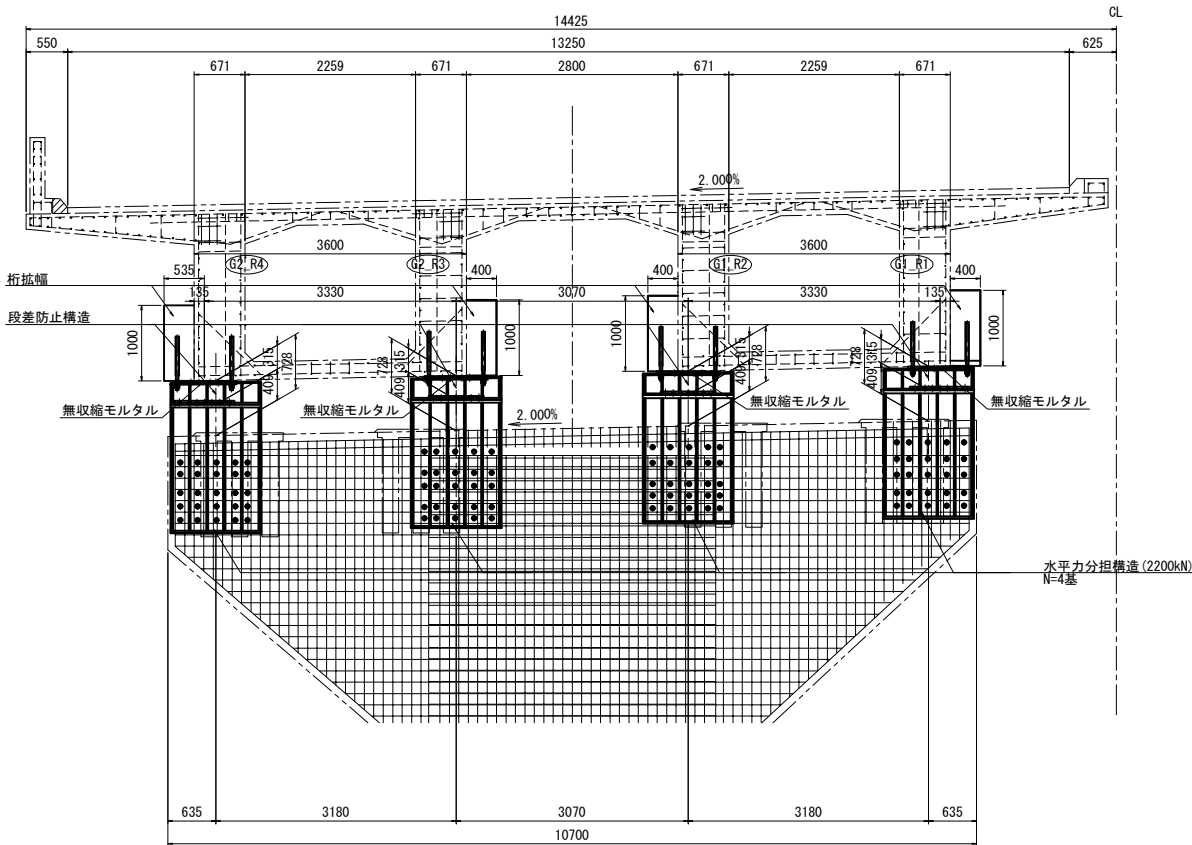
- 注記)
- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 - 2) 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
 - 3) 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
 - 4) SS400部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 水平力分担構造詳細図（その3）（参考図）			
	縮 尺	図 示	図面番号	28 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

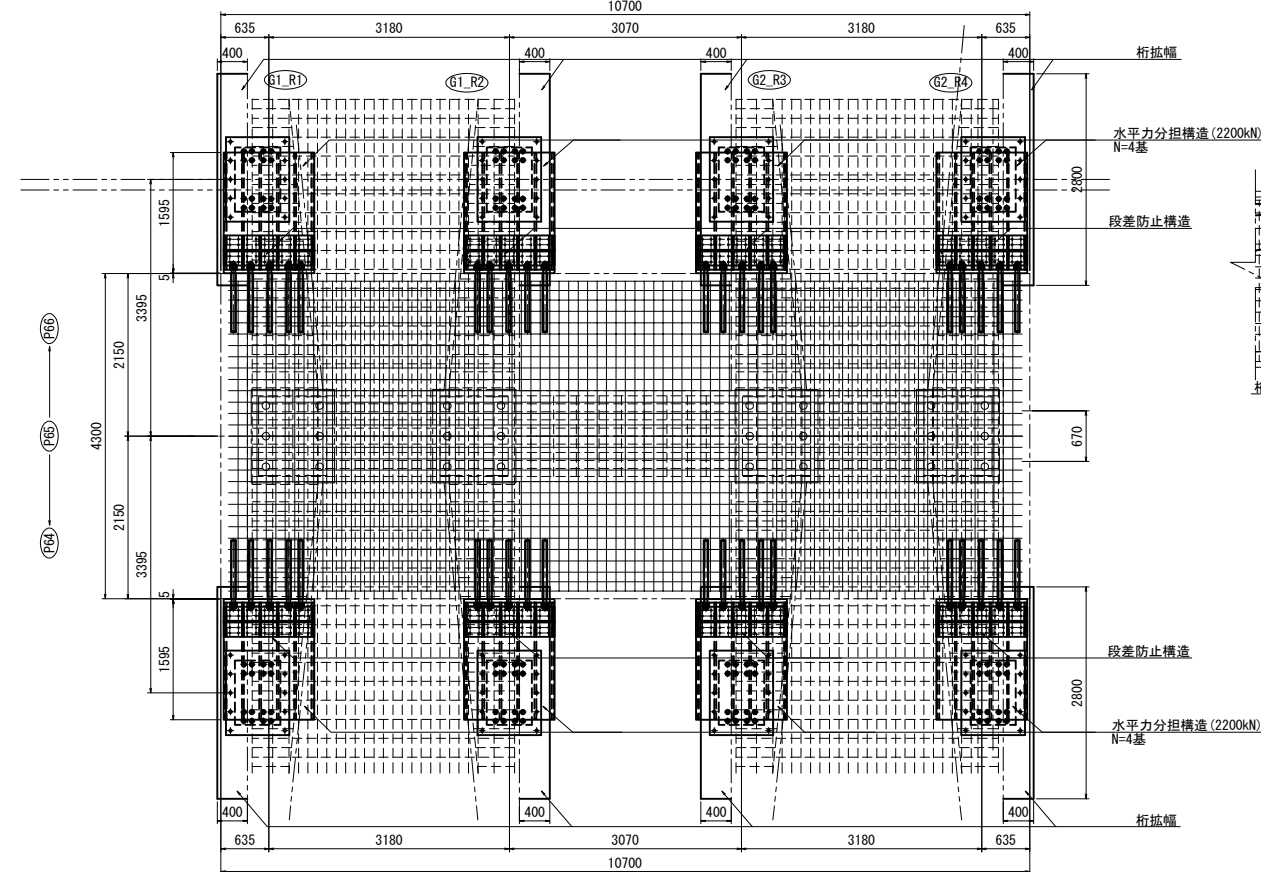
正面図
(P64側)



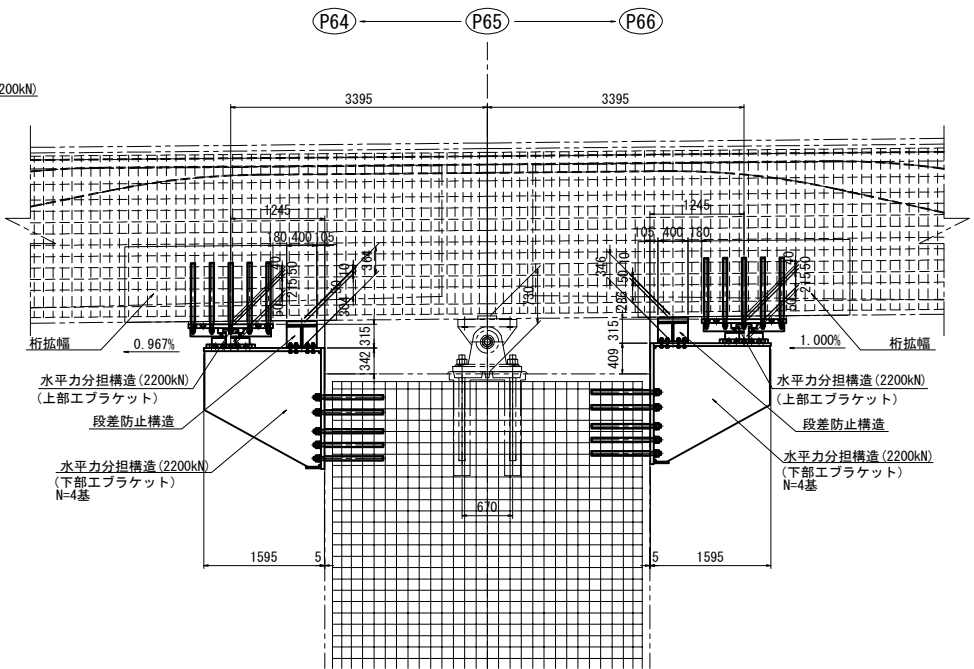
正面図
(P66側)



平面図



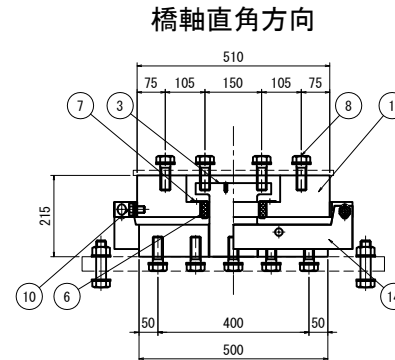
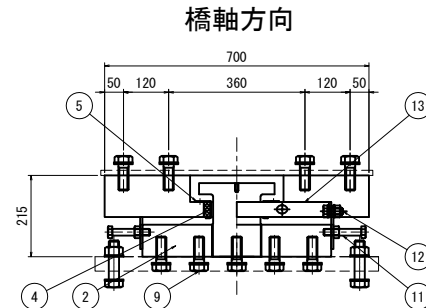
側面図



- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 上部工取付プレートおよび下部工ブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 5 橋脚 水平力分担構造配置図		
縮 尺	図 示	図面番号	29 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

取付詳細図

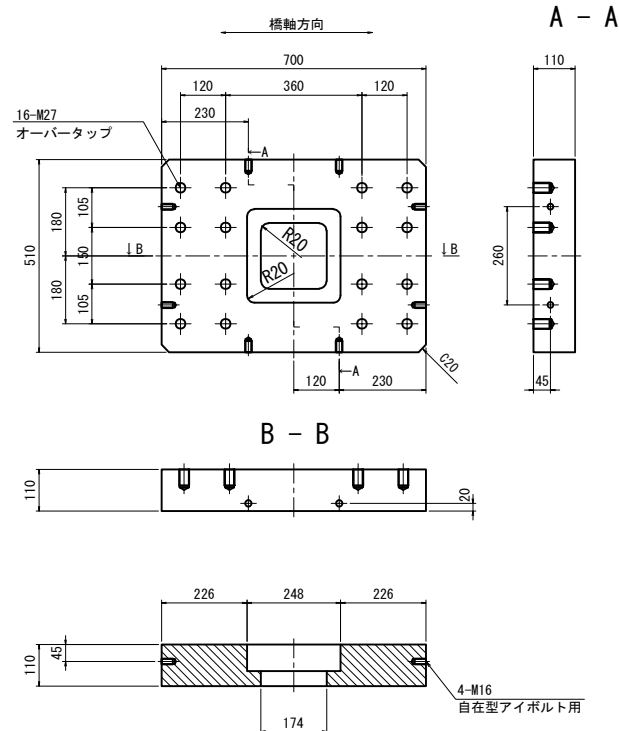


材 料 表(ストッパータイプ1基当たり)

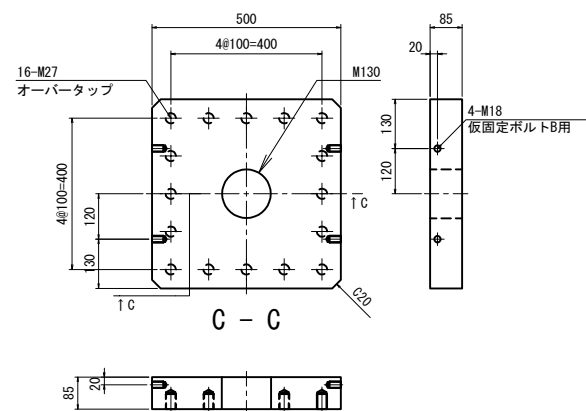
全8基

部 番	名 称	規 格	単位	数量	摘 要
1	ソールプレート	2200KNタイプ-固定	個	1	SM490A; 亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	2200KNタイプ	個	1	SM490A; 亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	2200KNタイプ	本	1	SCM435; ダクロタイズ処理, DMコート
4	バッファーA	2200KNタイプ	個	2	クロロブレンゴム
5	バッファーガイドA	2200KNタイプ	個	2	SUS
6	バッファーB	2200KNタイプ	個	2	クロロブレンゴム
7	バッファーガイドB	2200KNタイプ	個	2	SUS
8	セットボルト (上側)	M27x75 1W, 1SW付	組	16	強度区分8.8; 亜鉛めっき (HDZ35)
9	セットボルト (下側)	M27x70 1W付	組	16	強度区分8.8; 亜鉛めっき (HDZ35)
納入時用部材					
10	仮固定ボルトA	M18x 30 1W付	組	4	SS400相当品; 電気めっき
11	仮固定ボルトB	M18x100 1N付	組	4	SS400相当品; 電気めっき
12	仮固定ボルトC	M18x 40 1W, 1N付	組	4	SS400相当品; 電気めっき
13	仮固定フレームA	2200KNタイプ	個	2	SS400; 電気めっき
14	仮固定フレームB	2200KNタイプ	個	2	SS400; 電気めっき
15	自在型アイボルト	M16			

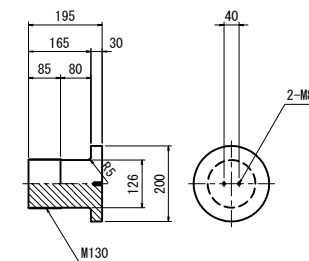
① ソールプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



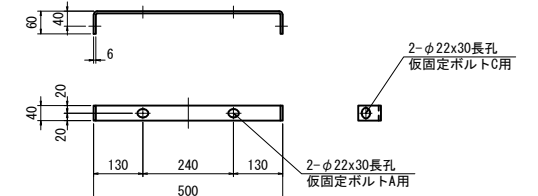
② リミットピンプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



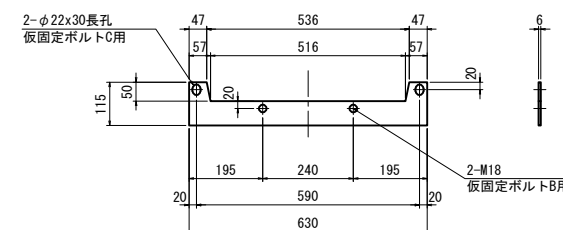
③ リミットピン
(SCM435:DMコート)



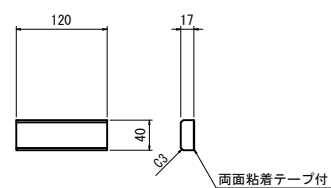
⑬ 仮固定フレームA
(SS400:電気めっき)



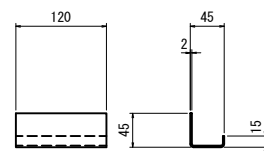
⑭ 仮固定フレームB
(SS400:電気めっき)



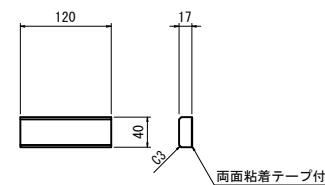
④ バッファ－A S=1:10
(クロロプレノゴム)



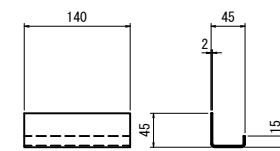
⑤ バッファガイドA S=1:10
(SUS)



⑥ バッファ- B $S=1:10$
(クロロプレンゴム)



⑦ バッファガイドB S=1:10
(SUS)



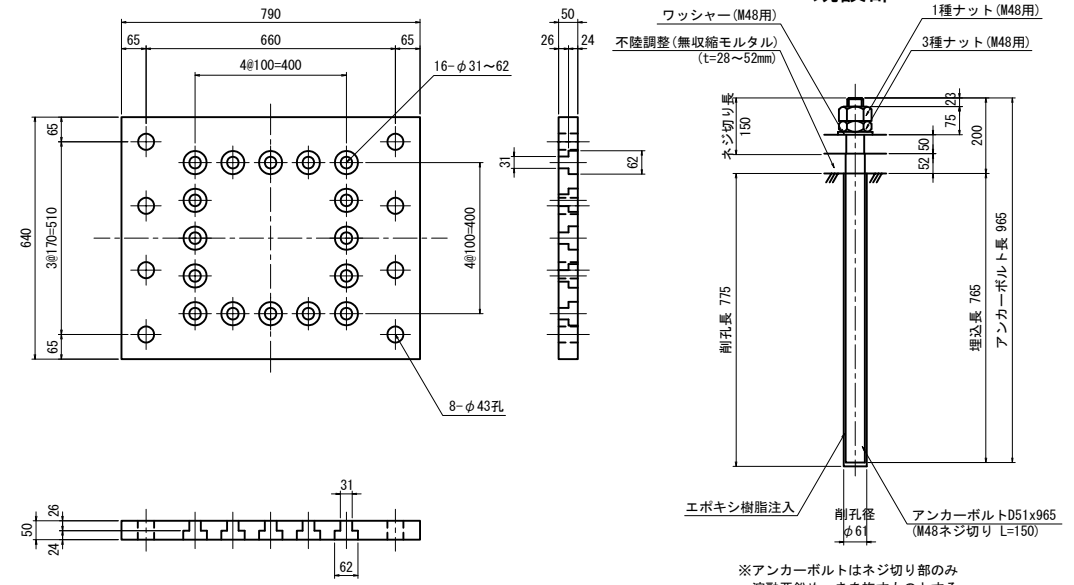
注記)

1. ストッパータイプの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂パテ材または樹脂ボルトで埋めること。
4. 吊り金具は、自在型アルボルト (M16) を1カ所当たり8個付属する。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P65橋脚 水平力分担構造詳細図（その1）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	30 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

上部工取付プレート G 1 R 1, G 2 R 4

上部エアンカーボルト詳細図



1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 全てで溶融亜鉛めっき仕上とする。

垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。

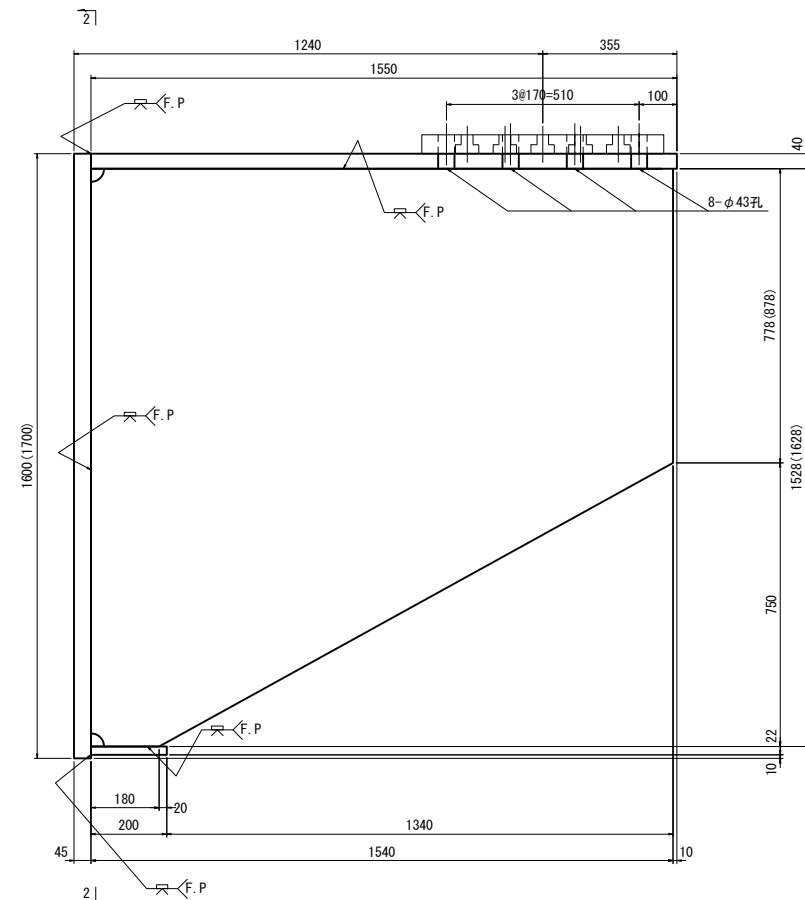
但し、ポルト・ナット類はHDZ35とする。

図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。

また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

6. 溶接記号の尾に「FPJ」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。



設置位置		H1	H2	H3	H4	H5	H6	B1	B2	B3	B4	B5	B6
起点側	G1R1	620	220	210	240	170	140	130	230	250	250	160	180
	G2R4	700	200	250	180	180	140	180	160	250	250	230	130
終点側	G1R1	687	220	210	240	170	173	180	160	250	250	230	130
	G2R4	767	200	250	180	180	173	130	230	250	250	160	180

東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P６５橋脚 水平力分担構造詳細図（その２）		
縮 尺	図 示	図面番号	31 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

水平力分担構造 P-7

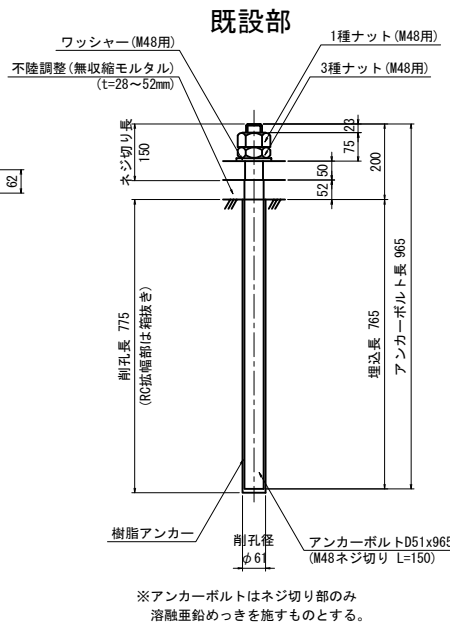
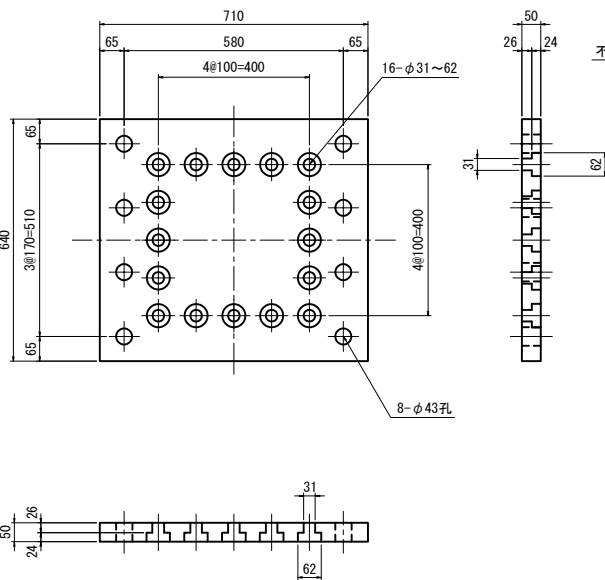
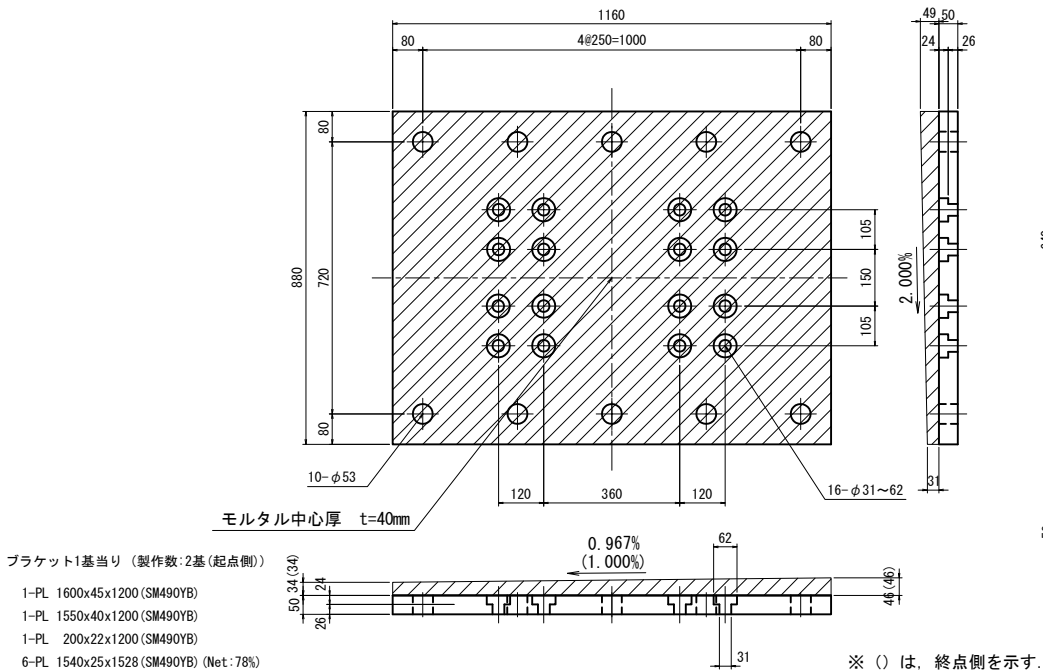
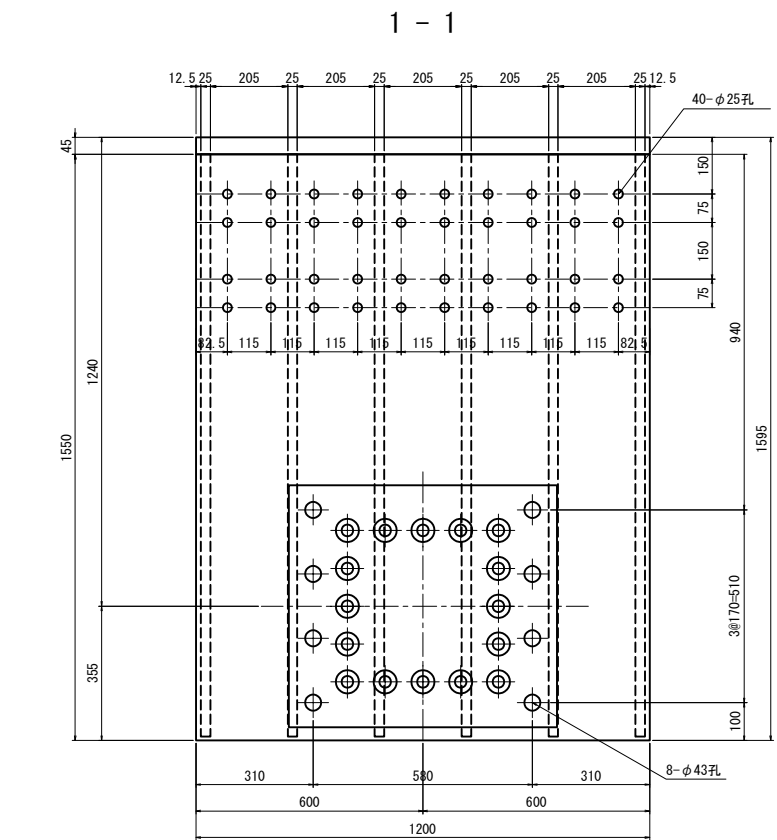
下部エブラケット詳細図

上部エ取付プレート

G 1 R 2, G 2 R 3

下部エ取付プレート

上部エアンカーボルト詳細図



2 - 2

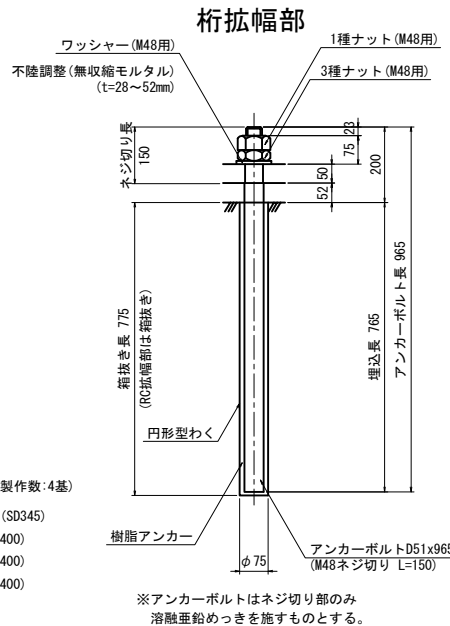
ブラケット1基当り（製作数:2基(起点側)）
1-PL 1600x45x1200 (SM490YB)
1-PL 1550x40x1200 (SM490YB)
1-PL 200x22x1200 (SM490YB)
6-PL 1540x25x1528 (SM490YB) (Net:78%)

ブラケット1基当り（製作数:2基(終点側)）
1-PL 1700x45x1200 (SM490YB)
1-PL 1550x40x1200 (SM490YB)
1-PL 200x22x1200 (SM490YB)
6-PL 1540x25x1628 (SM490YB) (Net:80%)

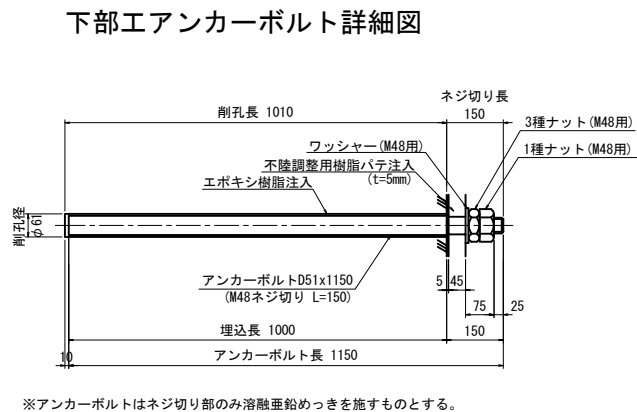
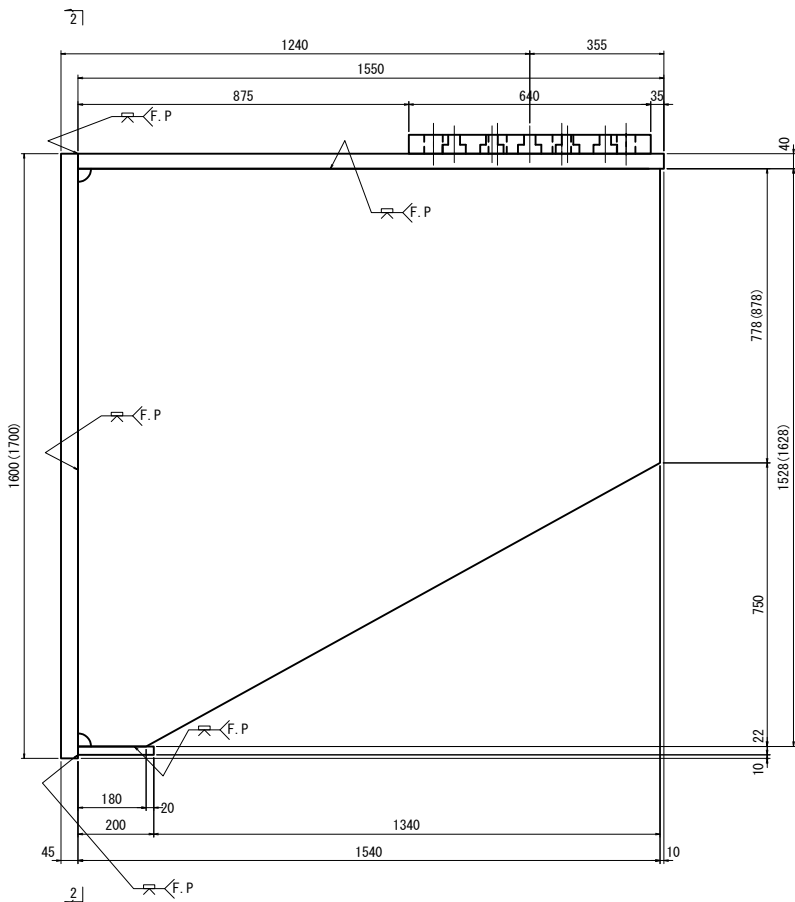
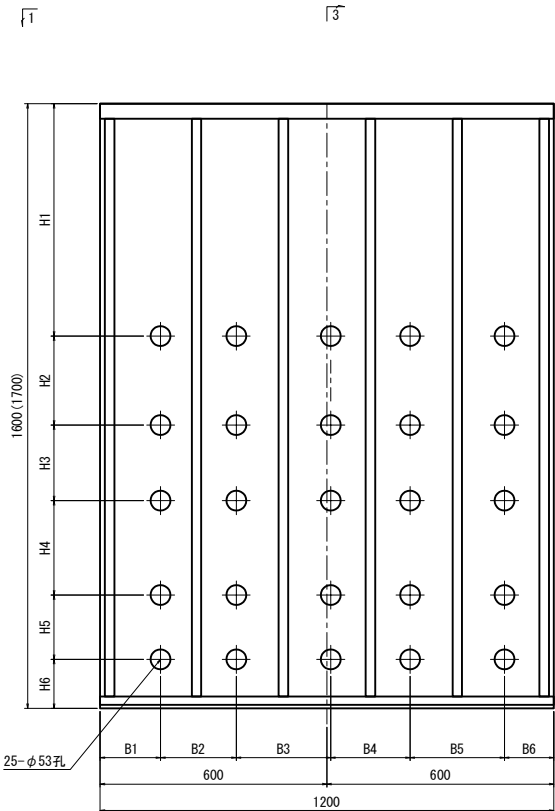
ブラケット1基当り（製作数:4基）
1-PL 880x50x1160 (SM520C)

※ () は、終点側を示す。

ブラケット1基当り（製作数:4基）
1-PL 640x50x710 (SM520C)
8-Bolt M39x160 (強度区分8.8)
[1-N, 2-W, 1-SW]



- 注記
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは35Rとする。
 - 全て溶融亜鉛めっき仕上とする。
亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 - 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 - 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
 - 溶接記号の尾に「FP」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り（製作数:4基）
25-AncBolt D51x1150 (SD345)
25-1種Nut M48用 (SS400)
25-3種Nut M48用 (SS400)
25-Washer M48用 (SS400)

ブラケット1基当り（製作数:4基）
10-AncBolt D51x965 (SD345)
10-1種Nut M48用 (SS400)
10-3種Nut M48用 (SS400)
10-Washer M48用 (SS400)

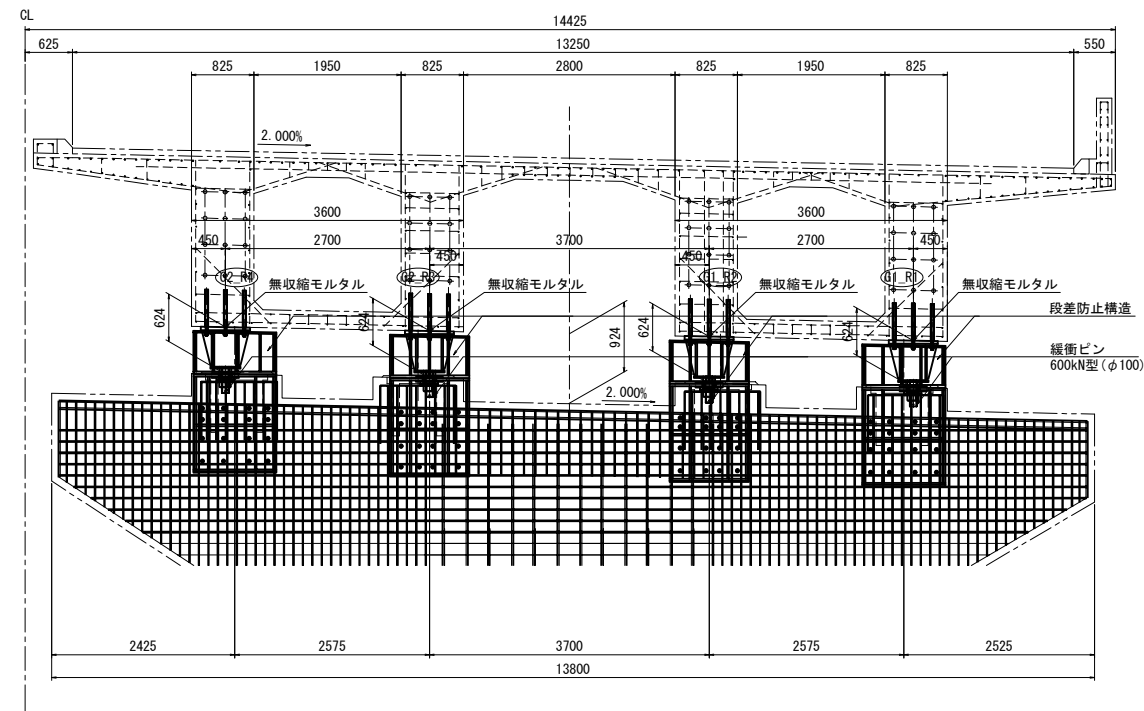
P65橋脚

設置位置	H1	H2	H3	H4	H5	H6	B1	B2	B3	B4	B5	B6
起点側	G1R2	620	210	280	150	170	170	180	157	250	250	130
	G2R3	620	280	170	280	150	100	130	233	250	250	180
終点側	G1R2	687	210	280	150	170	203	130	233	250	157	180
	G2R3	687	280	170	280	150	133	180	157	250	250	130

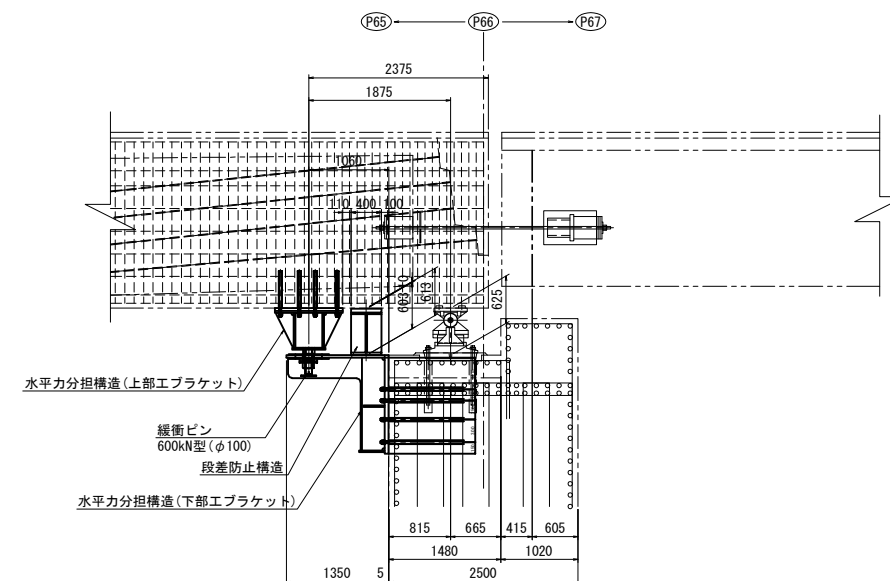
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 5 橋脚 水平力分担構造詳細図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	32 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

水平力分担構造 P—2

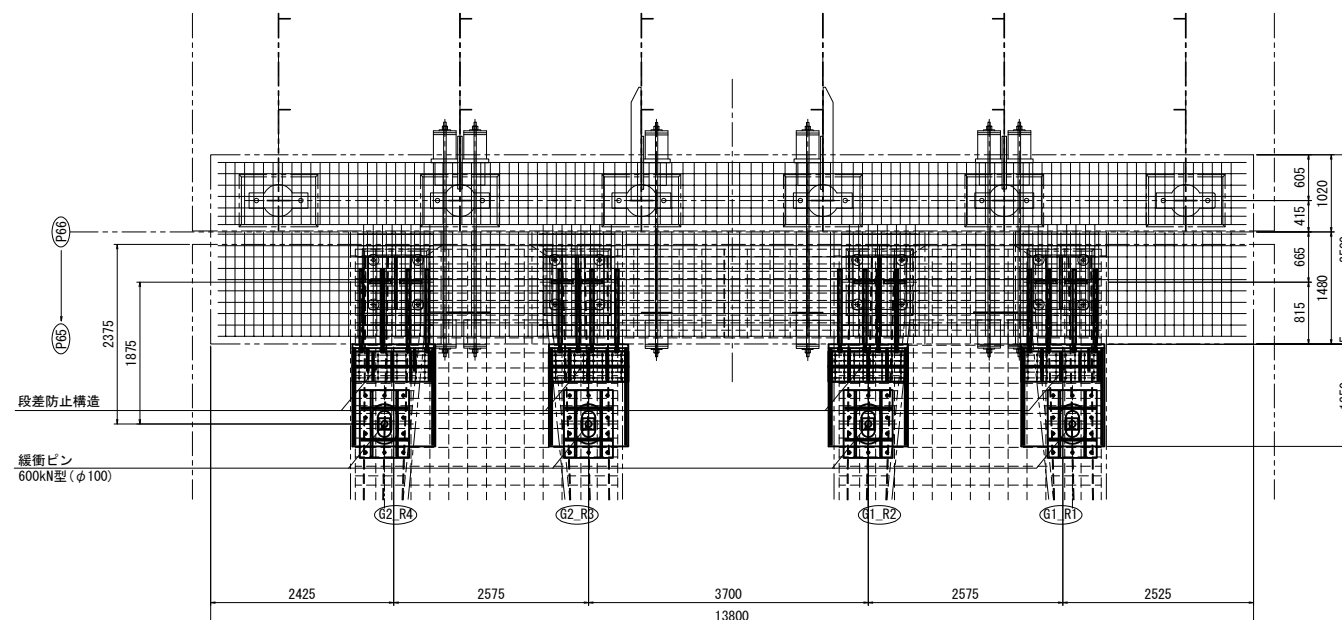
正面図



側面図



平面图

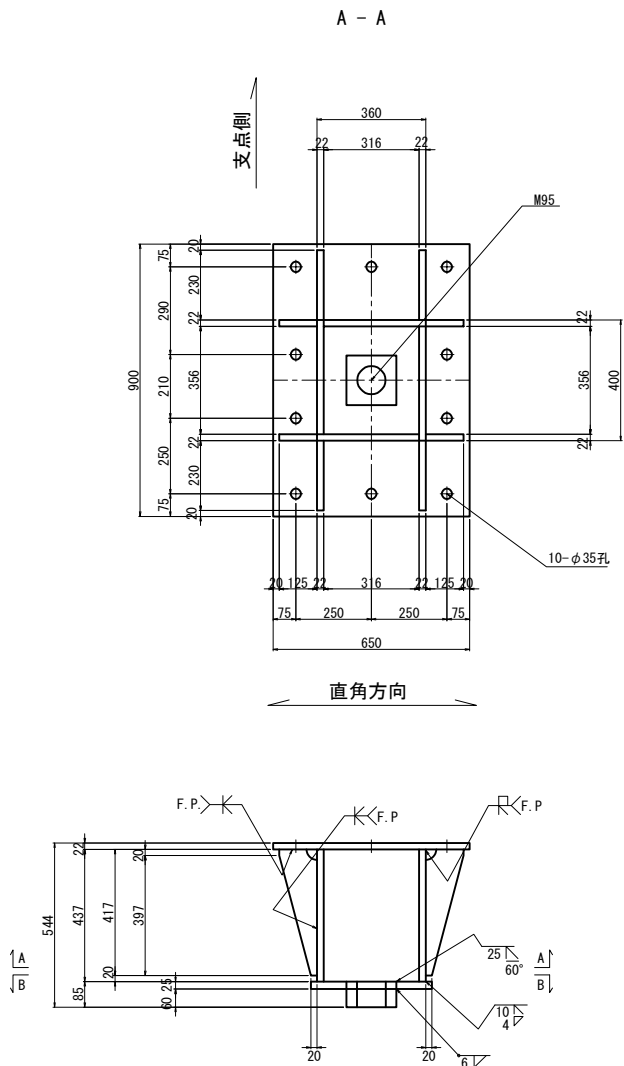


注記)

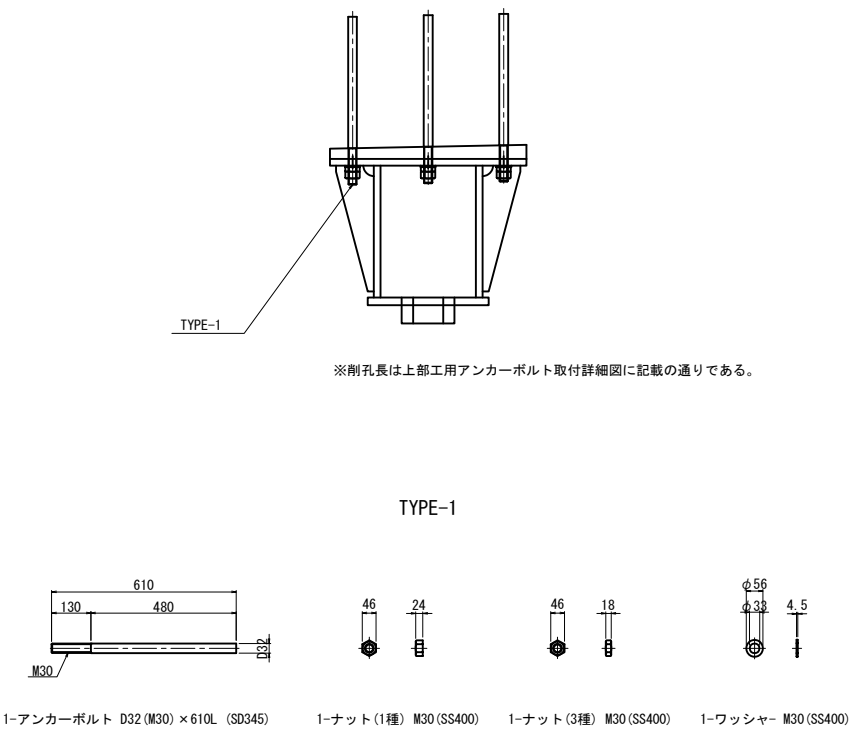
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
3. 上部工および下部エブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探索するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	采野高架橋（上り線） P 6 5 橋脚 水平力分担措置配置図		
縮 尺	図 示	図面番号	33 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	日本東高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

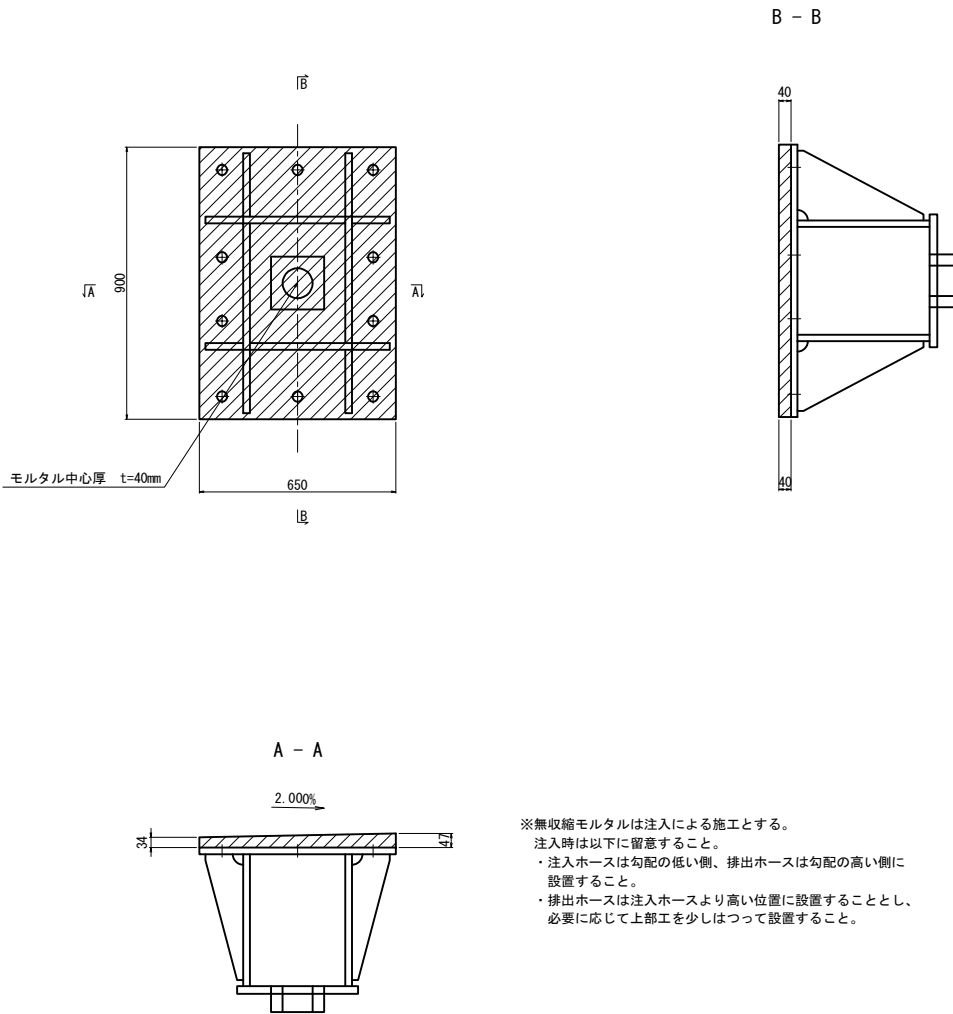
上部エブラケット詳細図



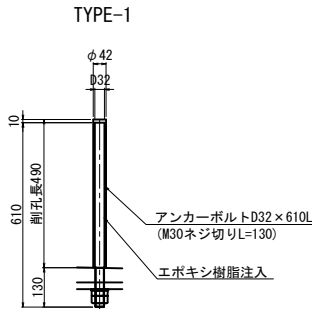
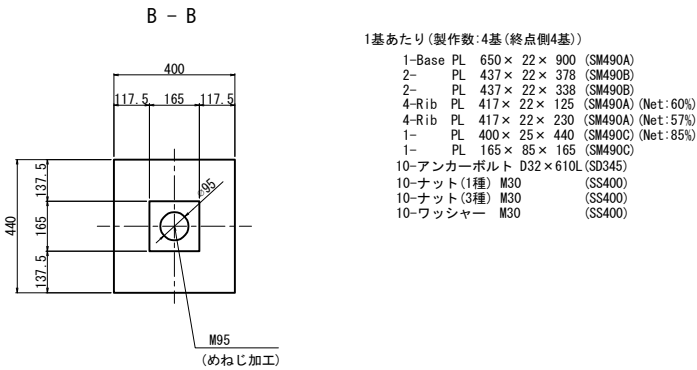
上部工用アンカーボルト詳細図



上部エブラケット側
台座無収縮モルタル詳細図



上部工用アンカーボルト取付詳細図

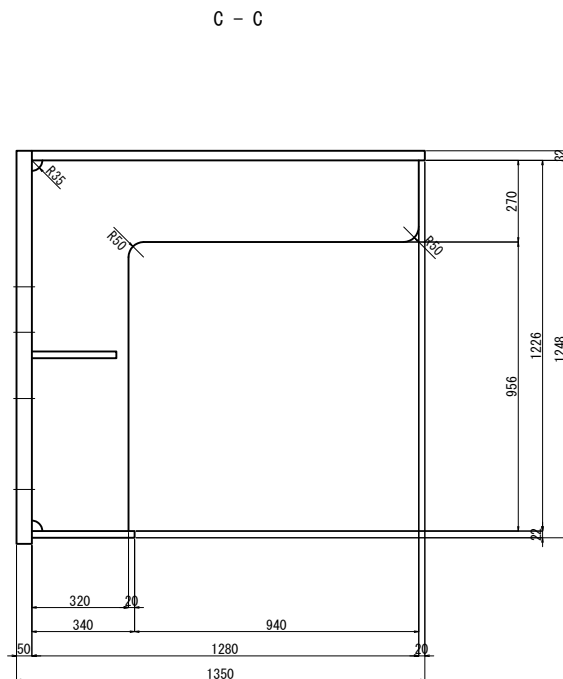
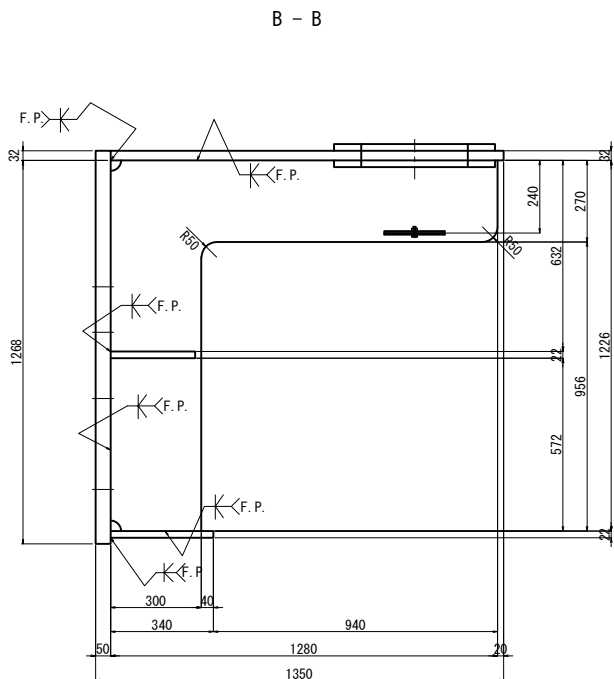
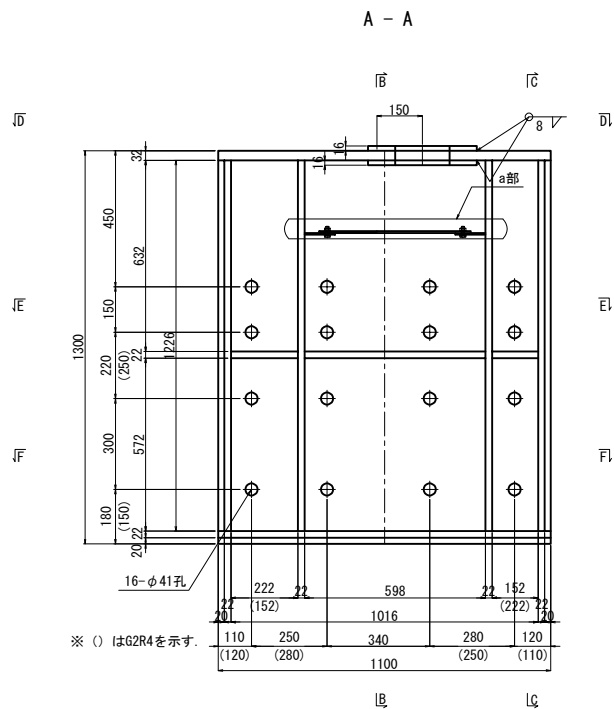


※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。

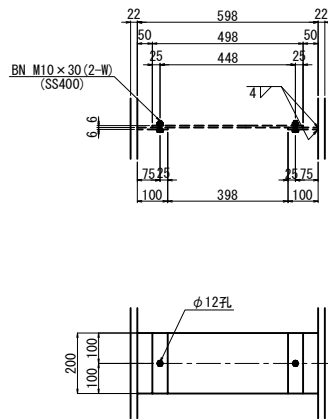
- 注記)
- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 - 2) 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
 - 3) 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
 - 4) 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HD255とする。但しボルトナットの付着量は、HD235とする。)
 - 5) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
 - 6) 特記なきスカーラップはR35とする。
 - 7) 無収縮モルタルσck=36N/mm² (既設上部工の同強度)
 - 8) 溶接記号の尾に「FP」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 6 橋脚 水平力分担構造詳細図（その１）			
縮 尺	図 示	図面番号	34 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

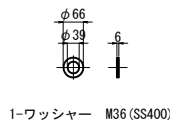
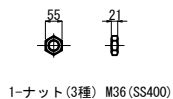
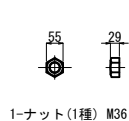
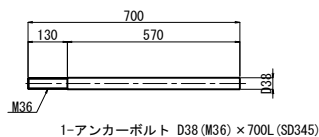
下部エブラケット詳細図



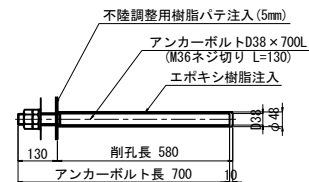
“a”部詳細図



下部工用アンカーボルト詳細図

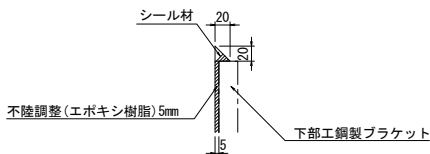


下部工用アンカーボルト取付詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。

不陸調整・シール材詳細



※不陸調整範囲は、下部エブラケットと橋台コンクリートが接する面(1300×1100)とする。

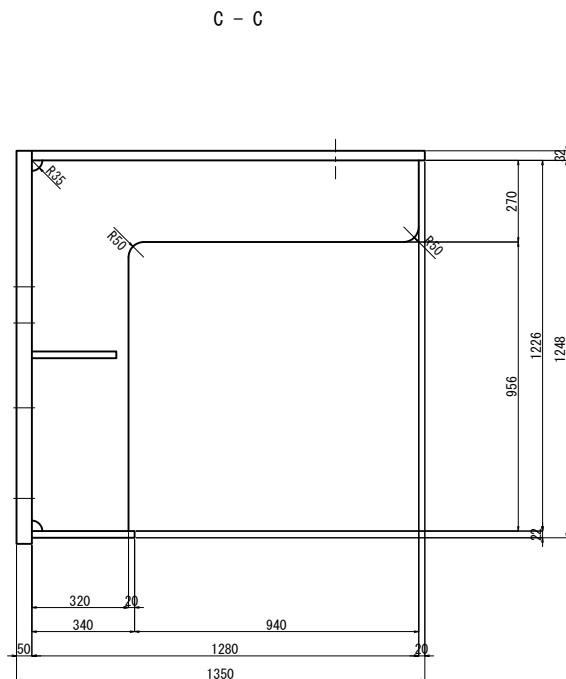
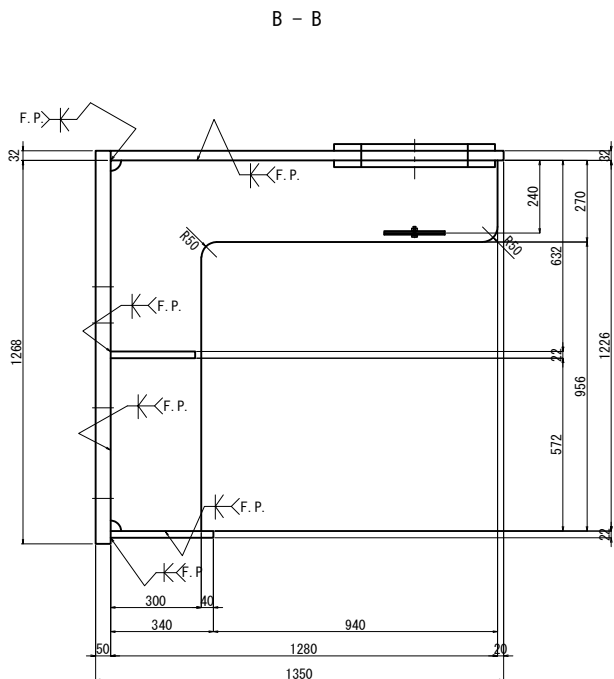
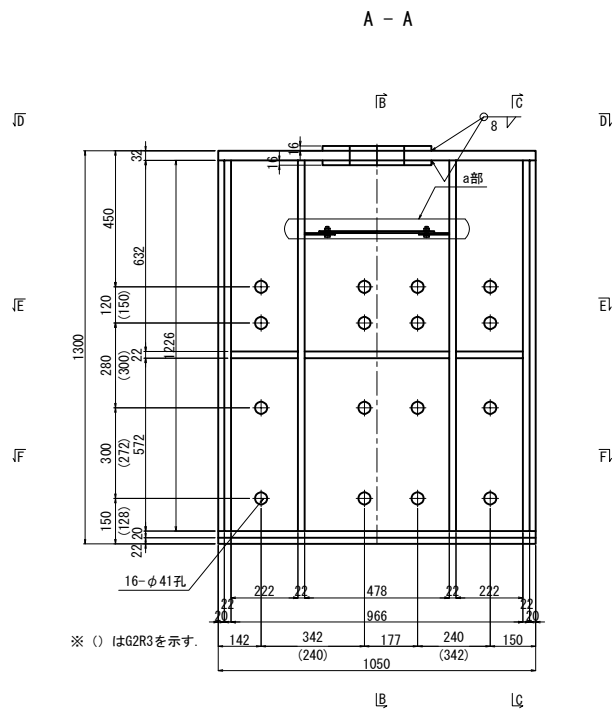
- 注記)
- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 - 2) 緩衝ビンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
 - 3) 緩衝ビンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
 - 4) 部材は、全て溶融亜鉛めっき処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
 - 5) 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、鉄筋を切らないようにすること。
 - 6) 特記なきスカーラップはR35とする。
 - 7) 溶接記号の尾に「FP」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

1基あたり(製作数:2基(起点側2基))

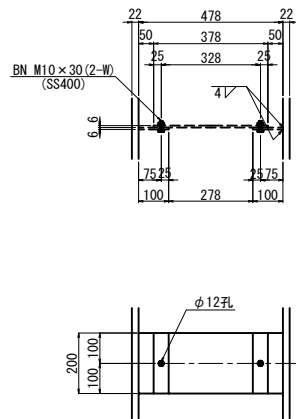
- 1- Base PL 1300×50×1100 (SM490B)
- 1- Flg PL 1300×32×1100 (SM490B) (Net:96%)
- 2- Cov PL 532×16×360 (SM490A) (Net:56%)
- 2- Rib PL 1226×22×1280 (SM490A) (Net:42%)
- 2- Rib PL 1226×22×1280 (SM490A) (Net:40%)
- 1- Rib PL 280×22×152 (SM490A)
- 1- Rib PL 280×22×222 (SM490A)
- 1- Rib PL 280×22×598 (SM490A)
- 1- Rib PL 340×22×1100 (SM490A)
- 16- Anc. B D38×700 (SD345)
- 16- Nut (1種) M36 (SS400)
- 16- Nut (3種) M36 (SS400)
- 16- Wash M36 (SS400)
- 2- PL 100×6×200 (SM400A)
- 1- PL 200×6×498 (SM400A)
- 2- B. N M10×30 (SS400) (2W)

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 6 橋脚 水平力分担構造詳細図（その2）			
縮 尺	図 示	図面番号	35 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

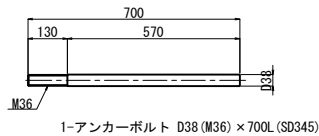
下部エブラケット詳細図



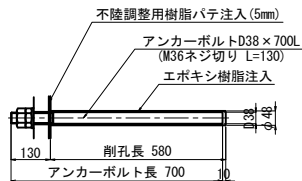
“a”部詳細図



下部工用アンカーボルト詳細図

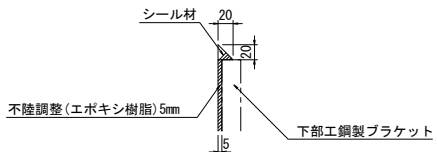


下部工用アンカーボルト取付詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ
溶融亜鉛めっきを施すものとする。

不陸調整・シール材詳細



※不陸調整範囲は、下部エブラケットと橋台コンクリートが接する面 (1300×1050) とする。

- 注記)
- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 - 2) 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
 - 3) 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
 - 4) 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
 - 5) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
 - 6) 特記なきスカーラップはR35とする。
 - 7) 溶接記号の尾に「FP」の表示のあるものは、完全溶け込み溶接を示す。

1基あたり (製作数: 2基 (起点側2基))

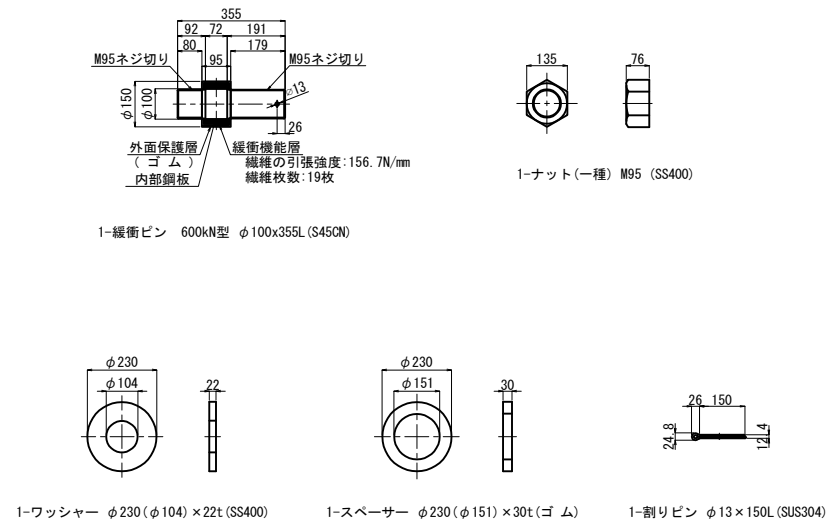
- 1- Base PL 1300×50×1050 (SM490B)
- 1- Flg PL 1300×32×1050 (SM490B) (Net: 96%)
- 2- Cov PL 532×16× 360 (SM490A) (Net: 56%)
- 2- Rib PL 1226×22×1280 (SM490A) (Net: 42%)
- 2- Rib PL 1226×22×1280 (SM490A) (Net: 40%)
- 2- Rib PL 280×22× 222 (SM490A)
- 1- Rib PL 280×22× 478 (SM490A)
- 1- Rib PL 340×22×1050 (SM490A)
- 16- Anc. B D38×700 (SD345)
- 16- Nut (1種) M36 (SS400)
- 16- Nut (3種) M36 (SS400)
- 16- Wash M36 (SS400)
- 2- PL 100× 6×200 (SM400A)
- 1- PL 200× 6×378 (SM400A)
- 2- B. N M10×30 (SS400) (2W)

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 6 橋脚 水平力分担構造詳細図（その3）			
縮 尺	図 示	図面番号	36 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

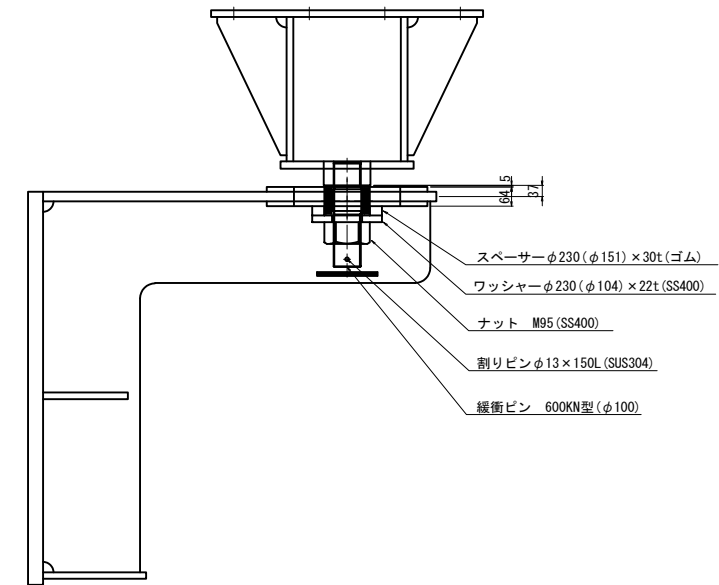
水平力分担構造 P—2

緩衝ピン詳細図

製作数:4基(起点側4基)



緩衝ピン取付詳細図



注記)

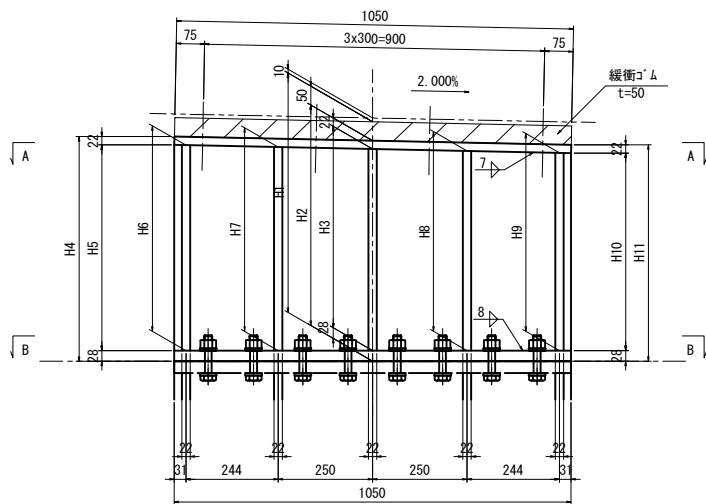
- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 2) 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 3) 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 4) SS400部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 H255とする。但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P66橋脚 水平力分担構造詳細図（その4）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	37 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

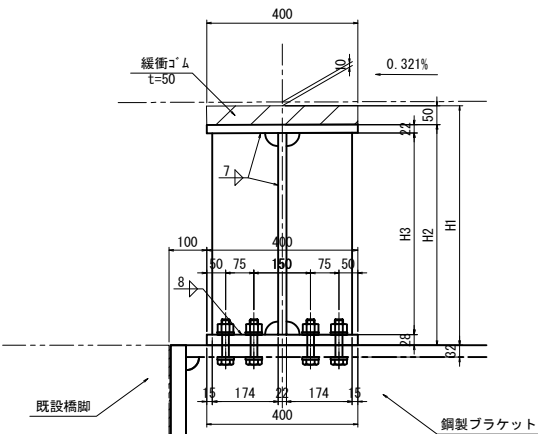
栄町高架橋（上り線） P 4 1 橋脚 段差防止構造詳細図
段差防止構造M S - 1

S=1:20

正面図



側面図

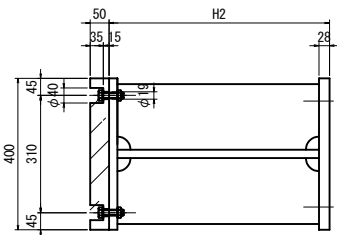
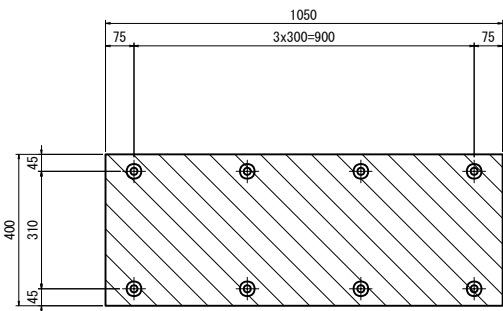


P41橋脚

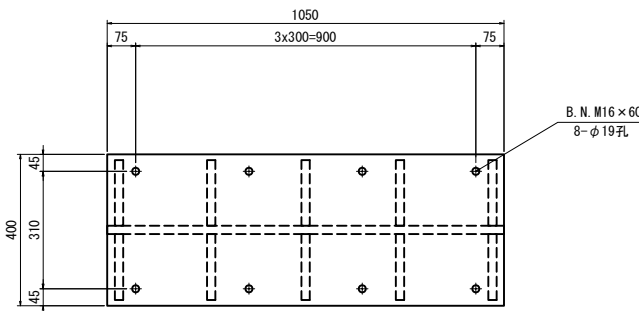
設置位置	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11
G1R1	625	575	525	586	536	535	530	520	515	514	564
G1R2	631	581	531	592	542	541	536	526	521	520	570
G2R3	626	576	526	587	537	536	531	521	516	515	565
G2R4	633	583	533	594	544	543	538	528	523	522	572

1箇所当り (製作数 : 共4箇所)
1-FLG PL 400x22x1050
1-FLG PL 400x28x1050
1-WEB PL H5x22x1050 (Net: 98%)
2-RIB PL H9x22x174
2-RIB PL H8x22x174
2-RIB PL H3x22x174
2-RIB PL H7x22x174
2-RIB PL H6x22x174
32-HTB M22x100 (F8T)
※ 1-緩衝材 400x50x1050 (クロロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
8-BN M16x60 (1-W, 1-割りヒン付, ナット3種) (SS400)

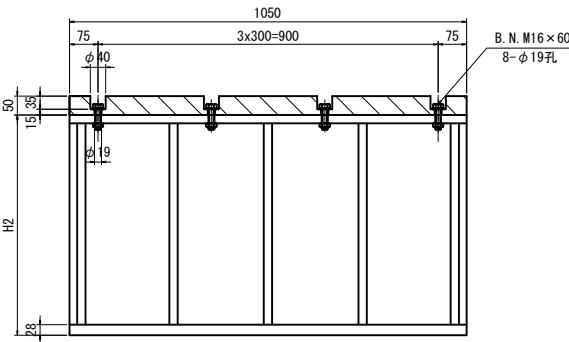
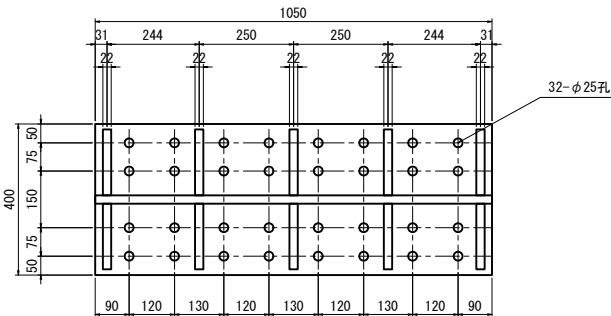
緩衝材詳細図



A - A



B - B



- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 4. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
 5. ※印以外の部材は、全て溶融垂鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

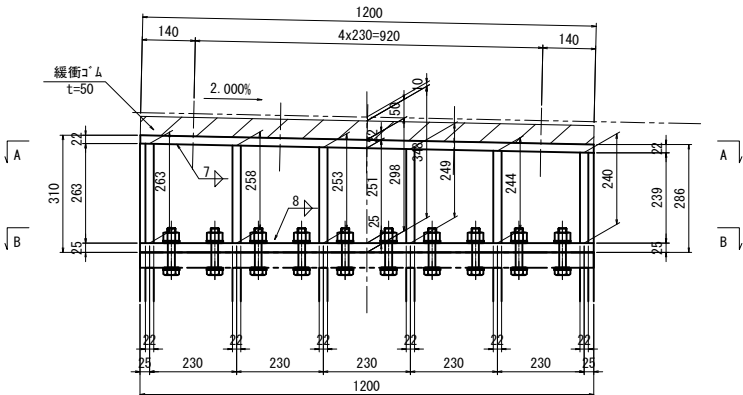
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 1 橋脚 段差防止構造詳細図			
縮 尺	図 示	図面番号	38	／ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

P 4 1 側

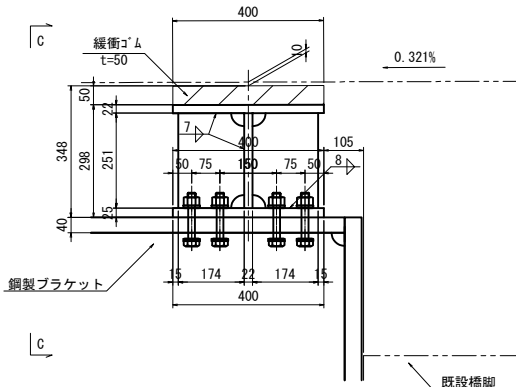
段差防止構造M S－1

P 4 3 側

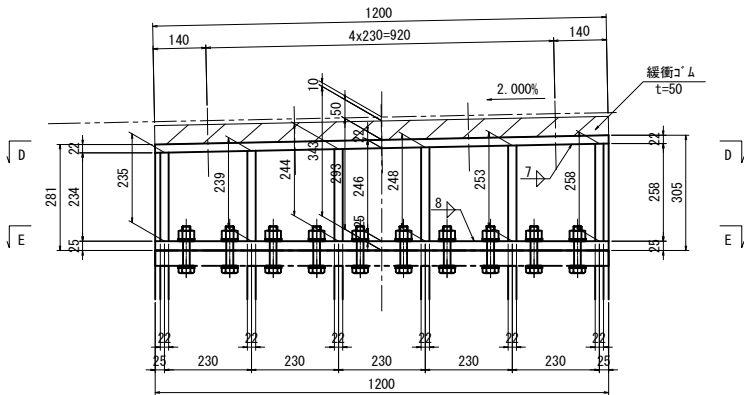
正面図
(C－C)



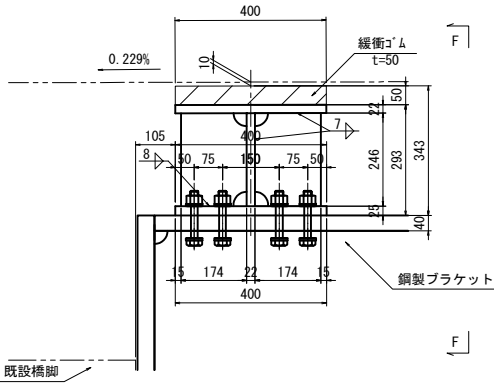
側面図



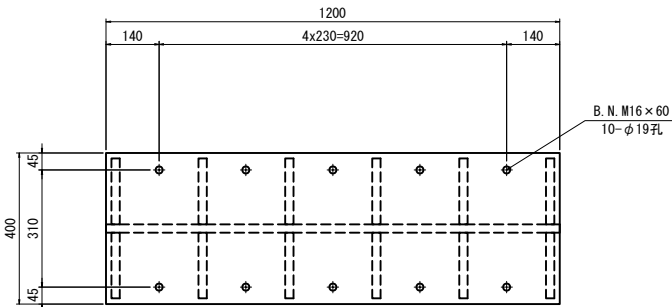
正面図
(F－F)



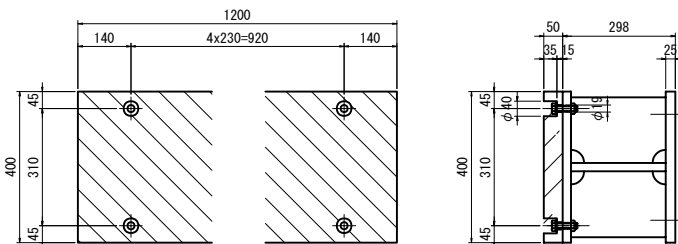
側面図



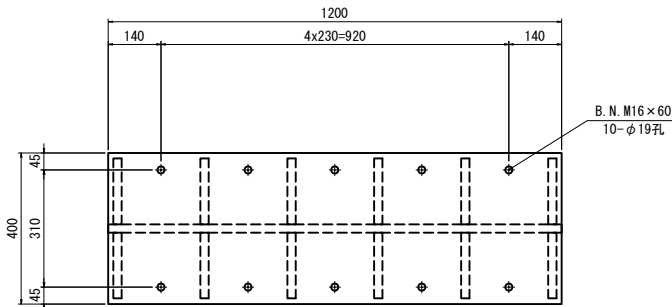
A－A



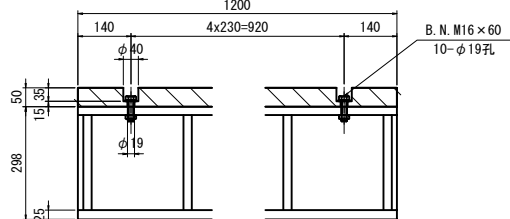
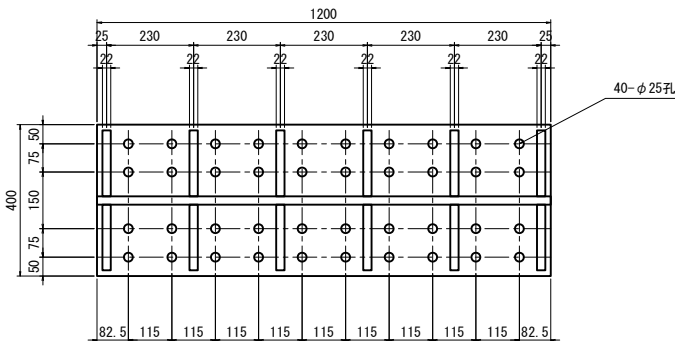
緩衝材詳細図



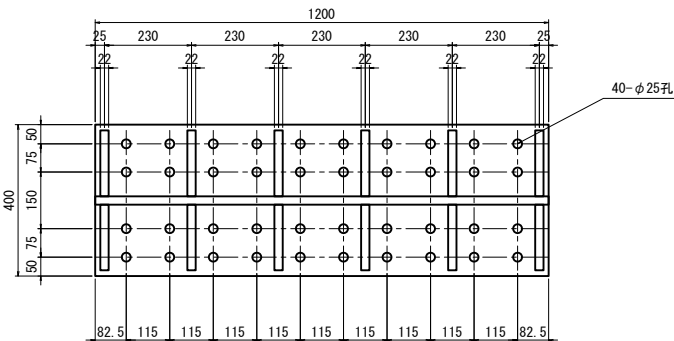
D－D



B－B



E－E



1箇所当り (製作数：共4箇所)
1-FLG PL 400x22x1200
1-FLG PL 400x25x1200
1-WEB PL 263x22x1200 (Net: 95%)
2-RIB PL 263x22x174
2-RIB PL 258x22x174
2-RIB PL 253x22x174
2-RIB PL 249x22x174
2-RIB PL 244x22x174
2-RIB PL 240x22x174
40-HTB M22x105 (F8T)
※ 1-緩衝材 400x50x1200 (クロロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
10-BN M16x60 (1-W, 1-割リピン付, ナット3種) (SS400)

1箇所当り (製作数：共4箇所)
1-FLG PL 400x22x1200
1-FLG PL 400x25x1200
1-WEB PL 258x22x1200 (Net: 95%)
2-RIB PL 235x22x174
2-RIB PL 239x22x174
2-RIB PL 244x22x174
2-RIB PL 248x22x174
2-RIB PL 253x22x174
2-RIB PL 258x22x174
40-HTB M22x105 (F8T)
※ 1-緩衝材 400x50x1200 (クロロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
10-BN M16x60 (1-W, 1-割リピン付, ナット3種) (SS400)

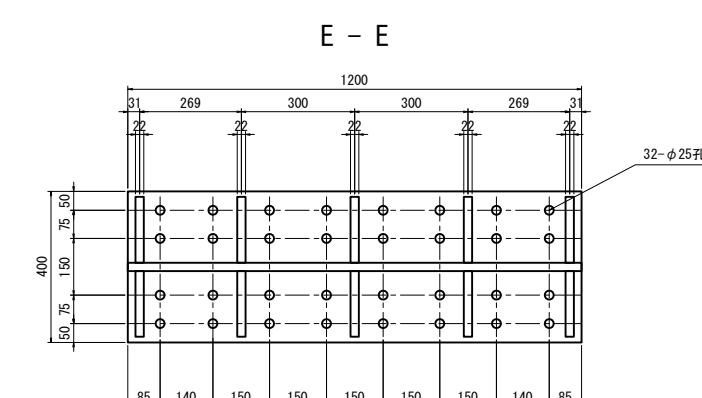
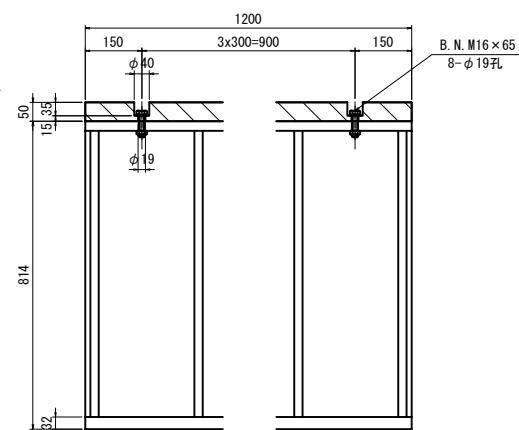
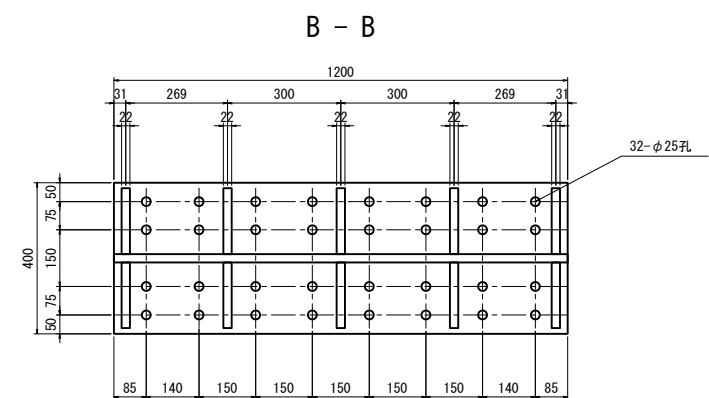
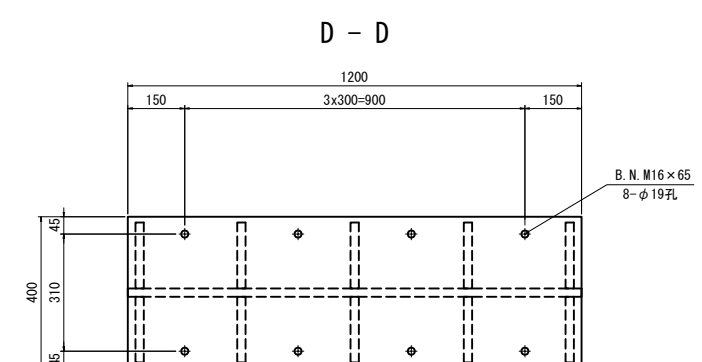
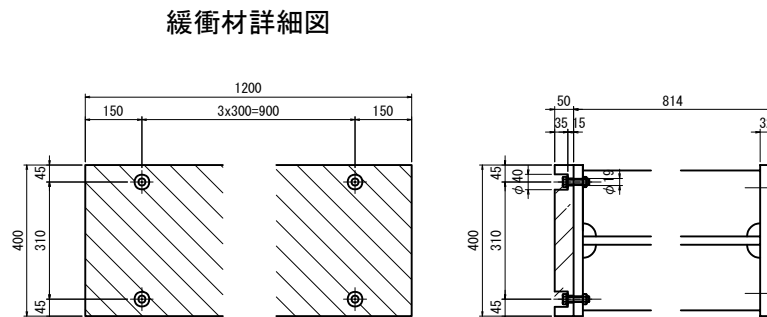
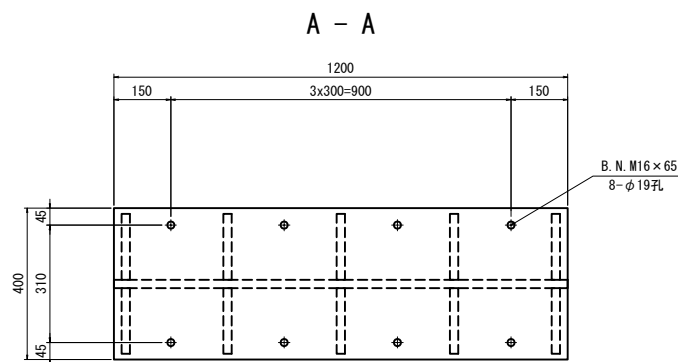
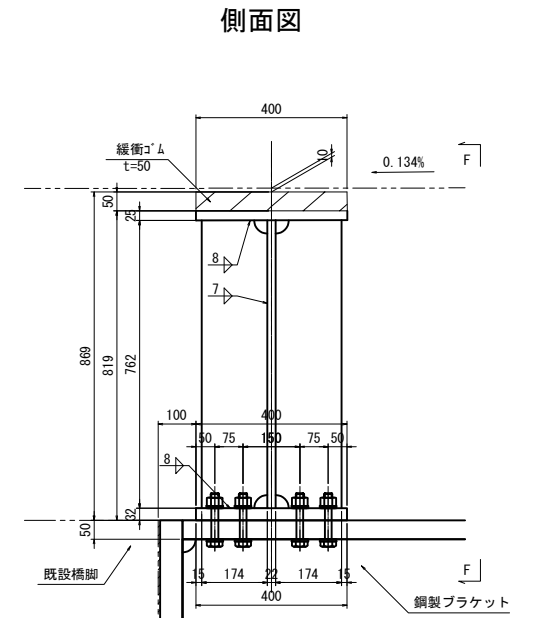
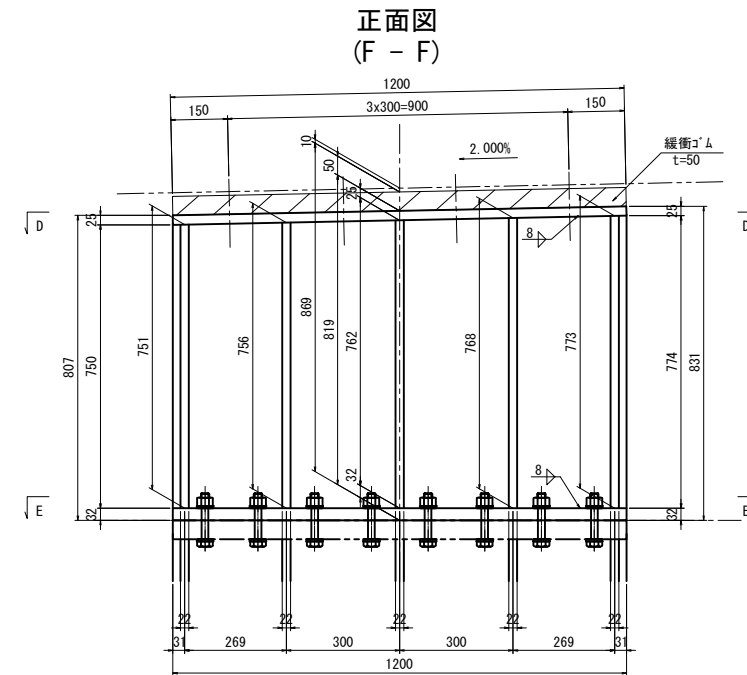
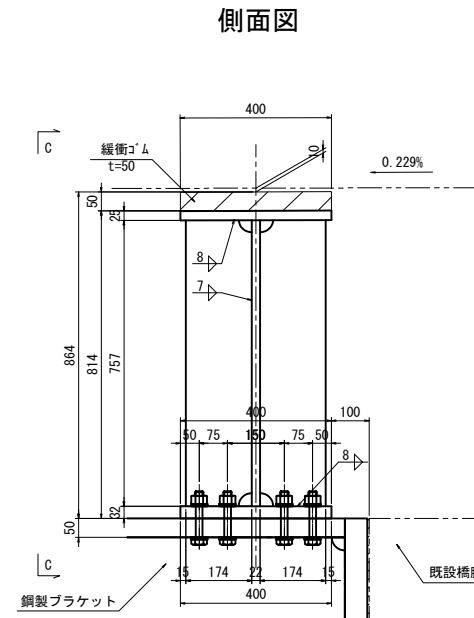
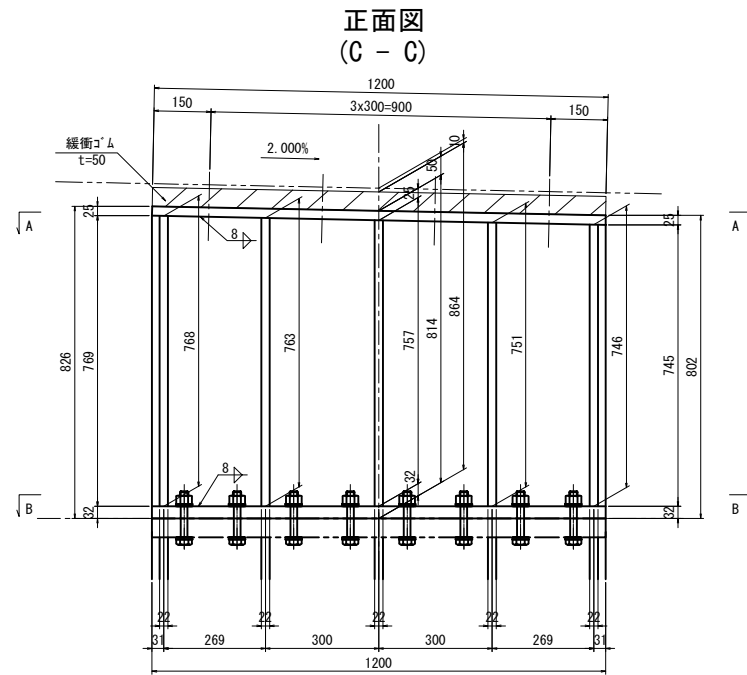
注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
4. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
5. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 段差防止構造詳細図			
縮 尺	図 示	図面番号	39	/ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

P 4 2 側

段差防止構造M S-1

P 4 4 側



1箇所当り (製作数: +4箇所)

- 1-FLG PL 400x25x1200
- 1-FLG PL 400x32x1200
- 1-WEB PL 769x22x1200 (Net: 98%)
- 2-R1B PL 768x22x174
- 2-R1B PL 763x22x174
- 2-R1B PL 757x22x174
- 2-R1B PL 751x22x174
- 2-R1B PL 746x22x174

32-HTB M22x125 (F8T)

※ 1-緩衝材 400x50x1200 (クロロプレナム、硬度55° ±5° 程度)
8-BN M16x65 (1-W、1-割り付、ナツツ3種) (SS400)

1箇所当り (製作数：共4箇所)

- 1-FLG PL 400x25x1200
- 1-FLG PL 400x32x1200
- 1-WEB PL 774x22x1200 (Net:98%)
- 2-RIB PL 751x22x174
- 2-RIB PL 756x22x174
- 2-RIB PL 762x22x174
- 2-RIB PL 768x22x174
- 2-RIB PL 773x22x174
- 32-HTB M22x125 (F8T)

※ 1-縁衝材 400x50x1200(クロロレンゾム、硬度55° ±5° 程度)
8-BN M16x65(1-W、1-割りピン付、ナツト3種)(SS400)

(注記)

1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行っている。

2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映とする。

3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

4. 特記なきスカラーは全てR35とする。

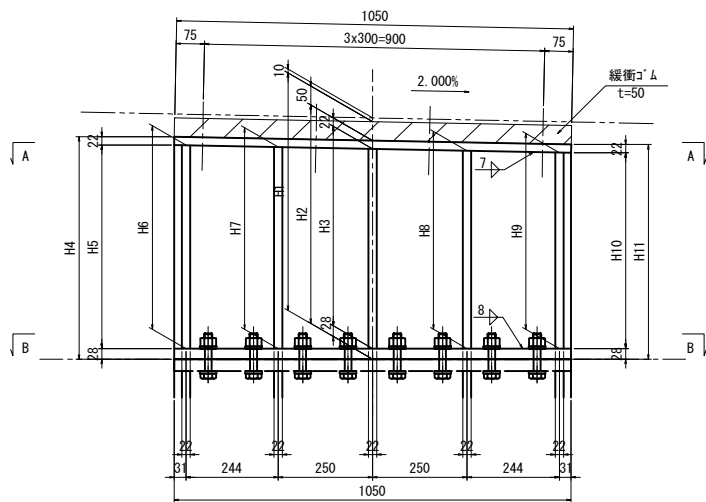
5. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 H8655とする。
但しボルトナットの付着量は、H8635とする。)

東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 3 橋脚 段差防止構造詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	40 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

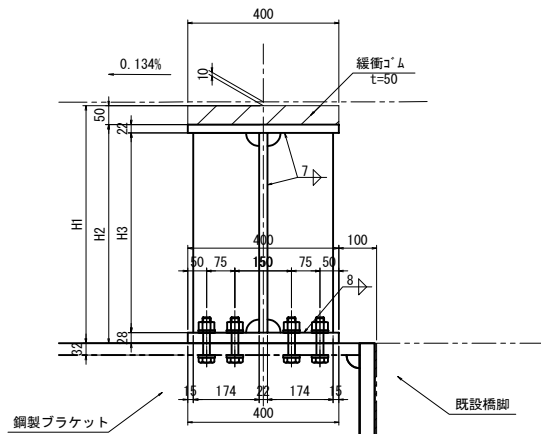
栄町高架橋（上り線） P 4 4 橋脚 段差防止構造詳細図
段差防止構造M S－1

S=1:20

正面図



側面図

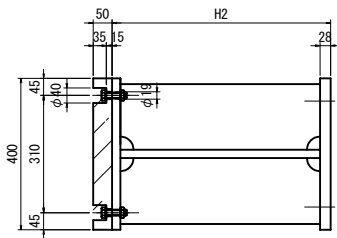
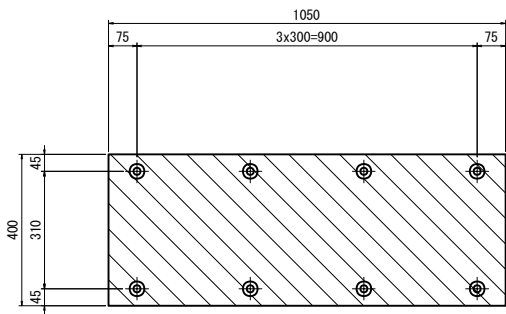


P44橋脚

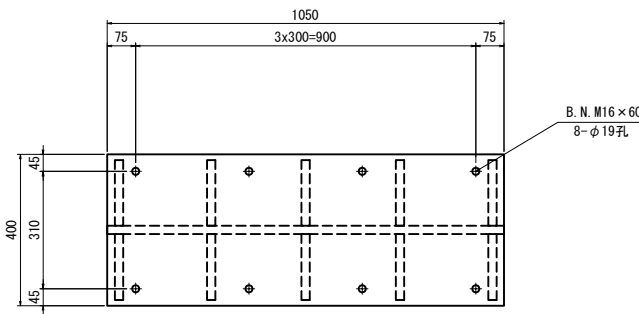
設置位置		H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11
起点側	G1R1	620	570	520	581	531	530	525	515	510	509	559
	G1R2	626	576	526	587	537	536	531	521	516	515	565
	G2R3	621	571	521	582	532	531	526	516	511	510	560
	G2R4	628	578	528	589	539	538	533	523	518	517	567

1箇所当り(製作数:共4箇所)
1-FLG PL 400x22x1050
1-FLG PL 400x28x1050
1-WEB PL H5x22x1050 (Net:98%)
2-RIB PL H9x22x174
2-RIB PL H8x22x174
2-RIB PL H3x22x174
2-RIB PL H7x22x174
2-RIB PL H6x22x174
32-HTB M22x100 (F8T)
※ 1-緩衝材 400x50x1050 (クロロレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
8-BN M16x60 (1-W, 1-割りヒン付, ナット3種) (SS400)

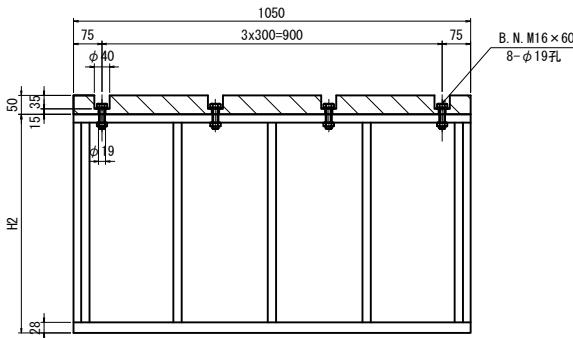
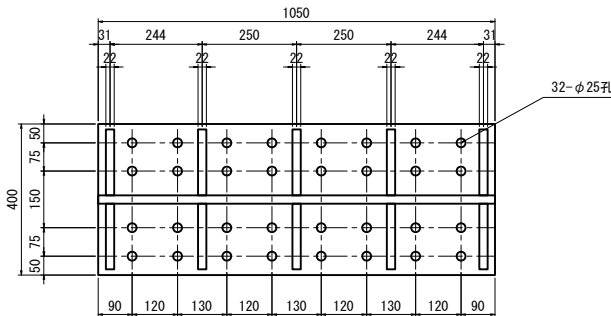
緩衝材詳細図



A - A



B - B

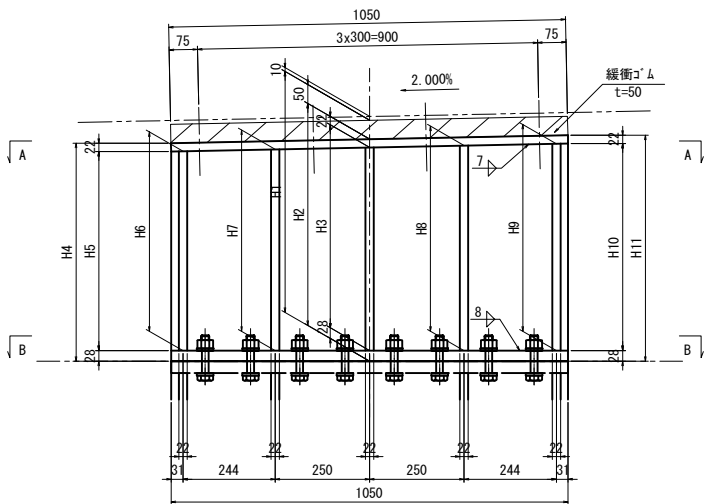


- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 4. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
 5. ※印以外の部材は、全て溶融垂鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

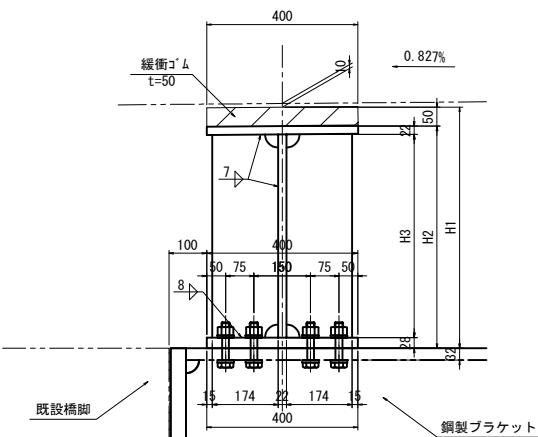
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 4 橋脚 段差防止構造詳細図			
縮 尺	図 示	図面番号	41	／ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

段差防止構造M S-1

正面図



側面図

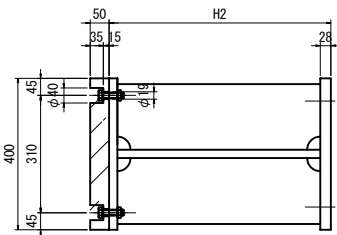
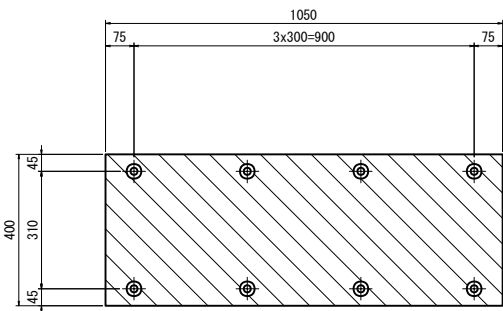


P63橋脚

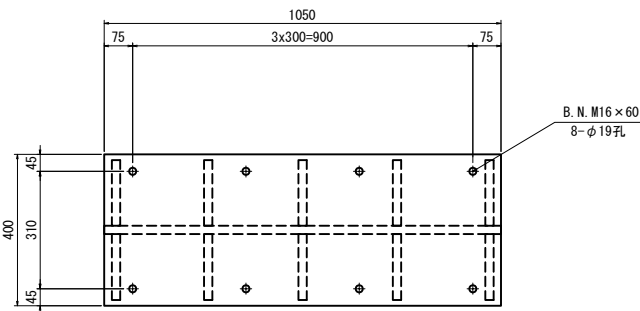
設置位置		H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11
終点側	G1R1	630	580	530	591	541	540	535	525	520	519	569
	G1R2	629	579	529	590	540	539	534	524	519	518	568
	G2R3	630	580	530	591	541	540	535	525	520	519	569
	G2R4	631	581	531	592	542	541	536	526	521	520	570

1箇所当り(製作数:共4箇所)
1-FLG PL 400x22x1050
1-FLG PL 400x28x1050
1-WEB PL H10x22x1050 (Net:98%)
2-RIB PL H9x22x174
2-RIB PL H8x22x174
2-RIB PL H3x22x174
2-RIB PL H7x22x174
2-RIB PL H6x22x174
32-HTB M22x100 (F8T)
※ 1-緩衝材 400x50x1050 (クロロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
8-BN M16x60 (1-W, 1-割りヒン付、ナット3種) (SS400)

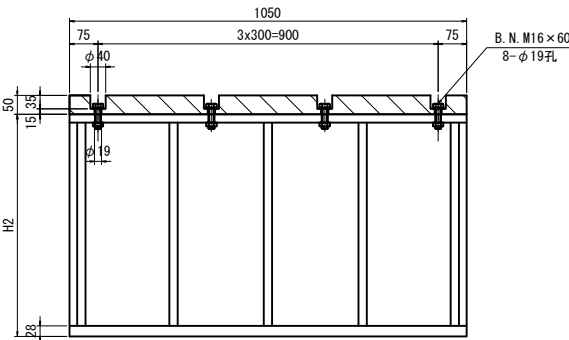
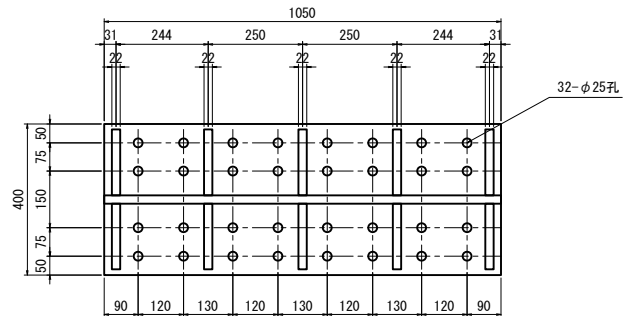
緩衝材詳細図



A - A



B - B



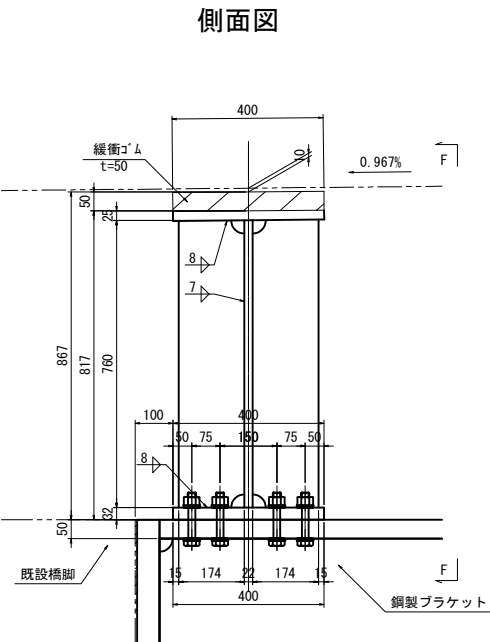
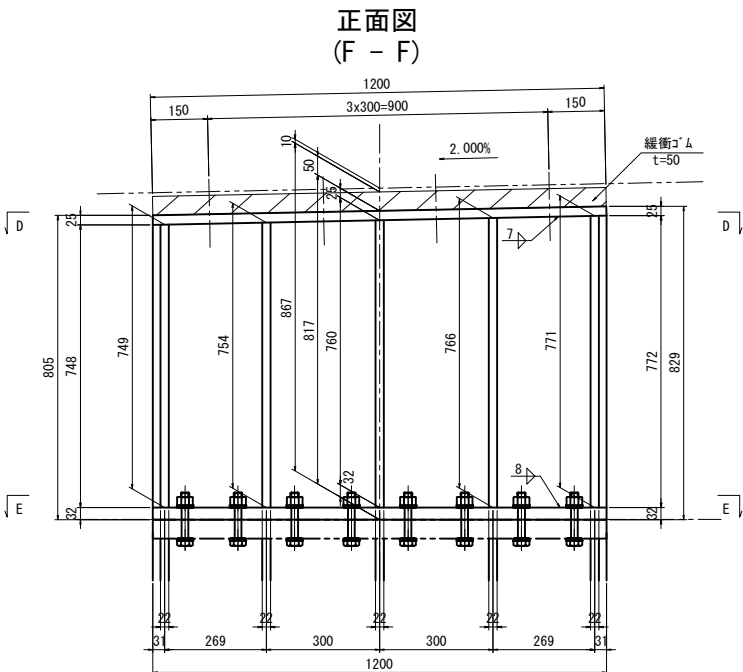
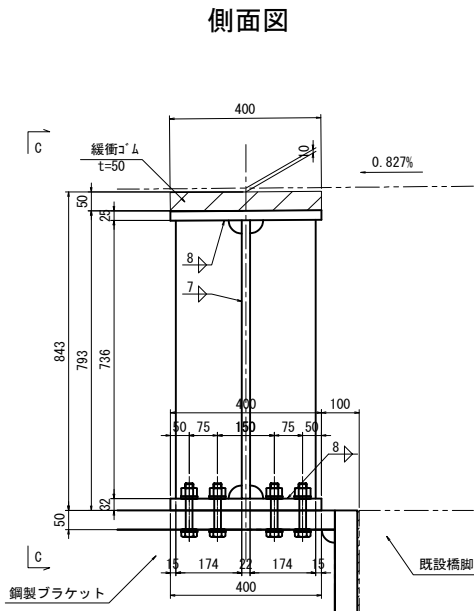
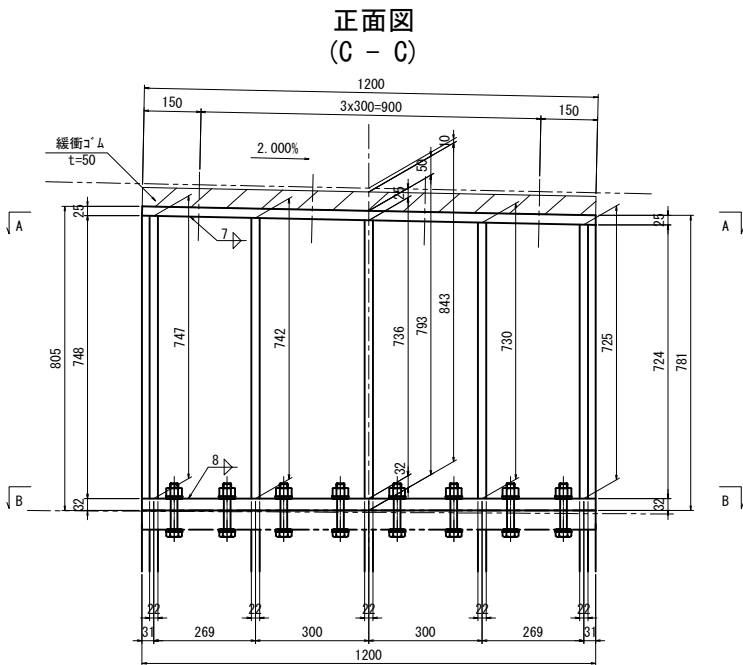
- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 4. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
 5. ※印以外の部材は、全て溶融垂鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 3 橋脚 段差防止構造詳細図			
縮 尺	図 示	図面番号	42	／ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

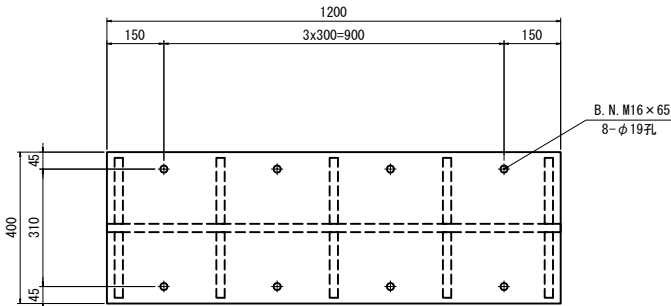
P 6 3 側

段差防止構造M S - 1

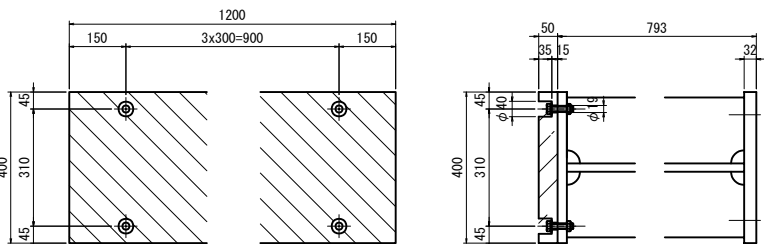
P 6 5 側



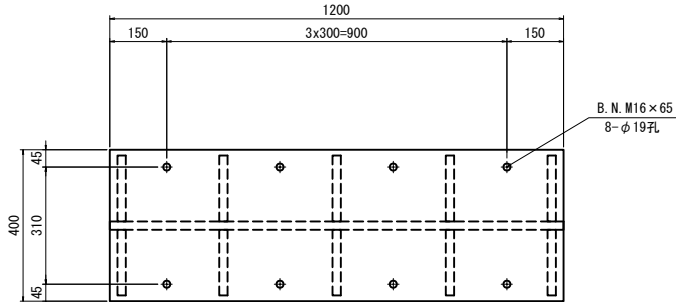
A - A



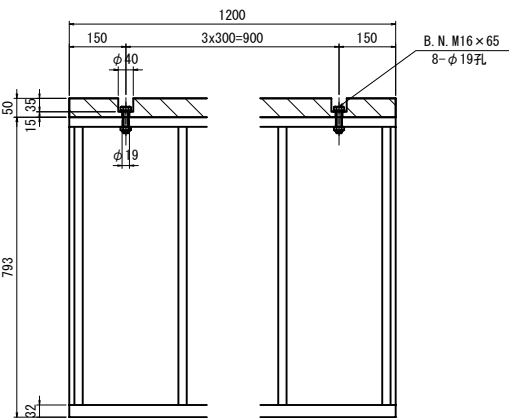
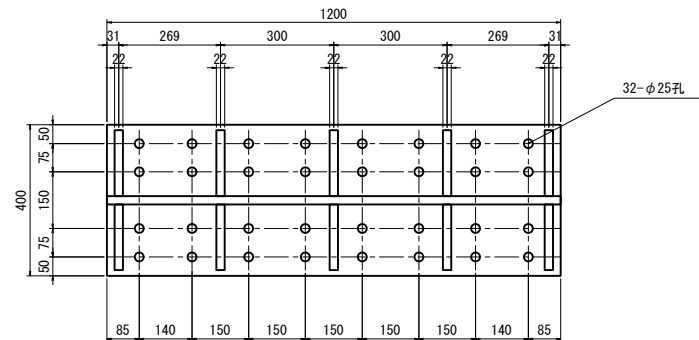
緩衝材詳細図



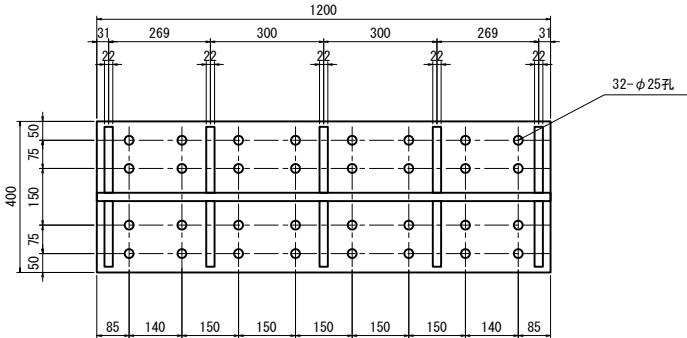
D - D



B - B



E - E



1箇所当り（製作数：共4箇所）
1-FLG PL 400x25x1200
1-FLG PL 400x32x1200
1-WEB PL 748x22x1200 (Net:98%)
2-RIB PL 747x22x174
2-RIB PL 742x22x174
2-RIB PL 736x22x174
2-RIB PL 730x22x174
2-RIB PL 725x22x174
32-HTB M22x125 (F8T)
※ 1-緩衝材 400x50x1200 (クロロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
8-BN M16x65 (1-W, 1-割リピン付, ナット3種) (SS400)

1箇所当り（製作数：共4箇所）
1-FLG PL 400x25x1200
1-FLG PL 400x32x1200
1-WEB PL 772x22x1200 (Net:98%)
2-RIB PL 749x22x174
2-RIB PL 754x22x174
2-RIB PL 760x22x174
2-RIB PL 766x22x174
2-RIB PL 771x22x174
32-HTB M22x125 (F8T)
※ 1-緩衝材 400x50x1200 (クロロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
8-BN M16x65 (1-W, 1-割リピン付, ナット3種) (SS400)

- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 4. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
 5. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

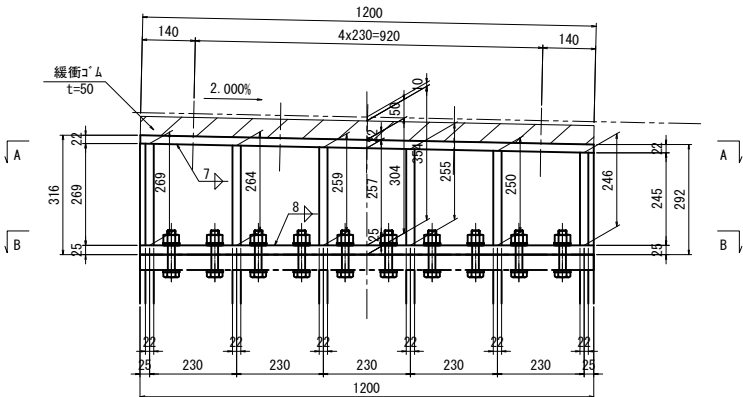
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 4 橋脚 段差防止構造詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	43 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

P 6 4 側

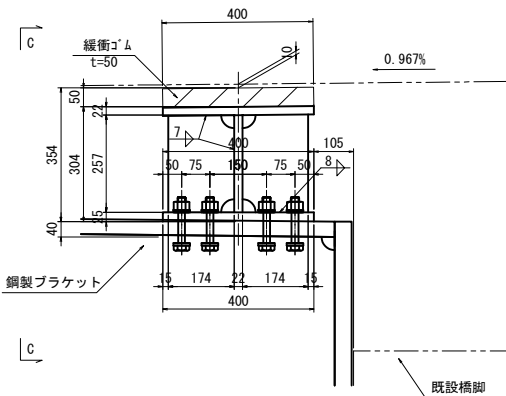
段差防止構造M S－1

P 6 6 側

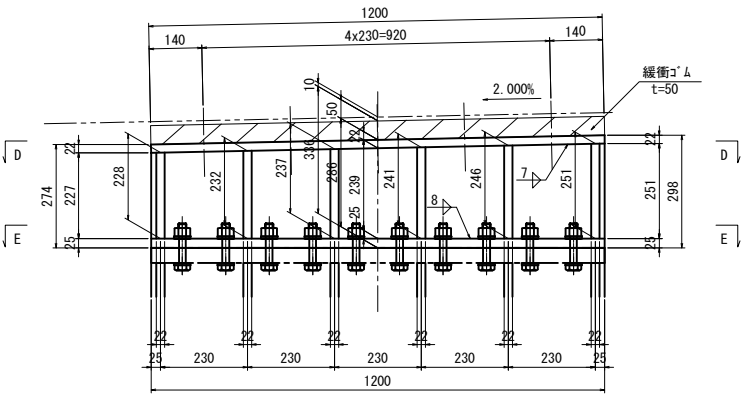
正面図
(C－C)



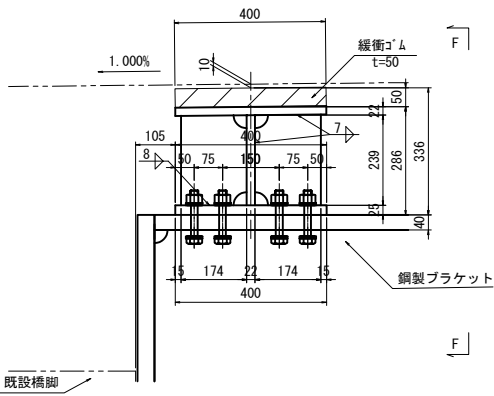
側面図



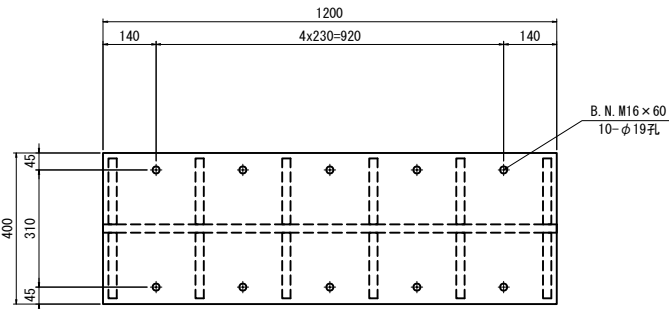
正面図
(F－F)



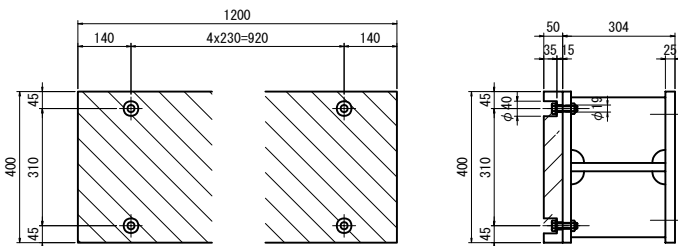
側面図



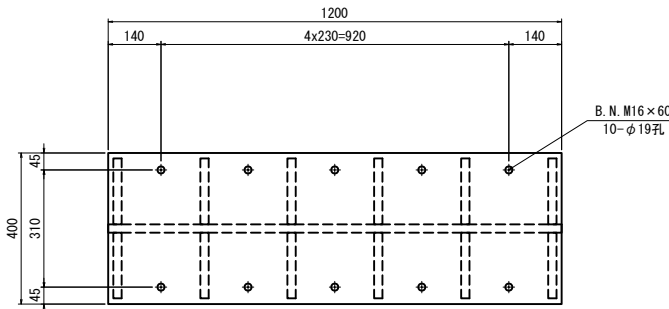
A－A



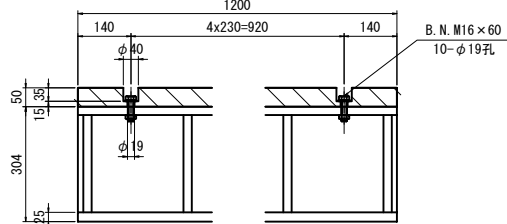
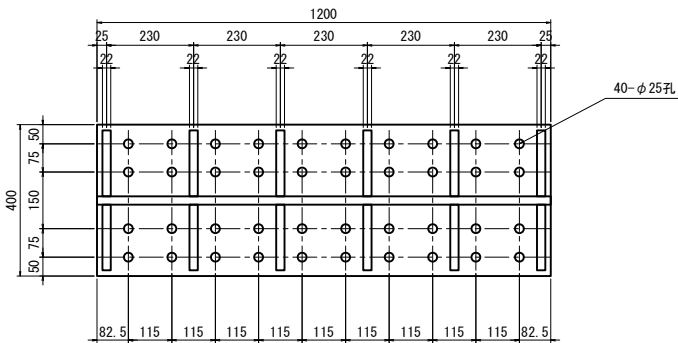
緩衝材詳細図



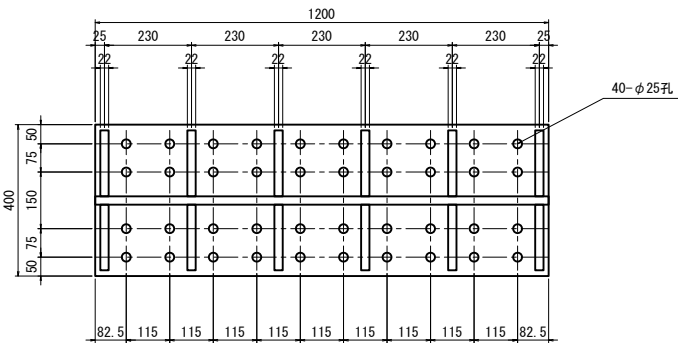
D－D



B－B



E－E



1箇所当り(製作数:共4箇所)
1-FLG PL 400x22x1200
1-FLG PL 400x25x1200
1-WEB PL 251x22x1200(Net:96%)
2-RIB PL 269x22x174
2-RIB PL 264x22x174
2-RIB PL 259x22x174
2-RIB PL 255x22x174
2-RIB PL 250x22x174
2-RIB PL 246x22x174
40-HTB M22x105(F8T)
※ 1-緩衝材 400x50x1200(クロプロレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
10-BN M16x60(1-W, 1-割リヒン付, ナット3種)(SS400)

1箇所当り(製作数:共4箇所)
1-FLG PL 400x22x1200
1-FLG PL 400x25x1200
1-WEB PL 251x22x1200(Net:95%)
2-RIB PL 228x22x174
2-RIB PL 232x22x174
2-RIB PL 237x22x174
2-RIB PL 241x22x174
2-RIB PL 246x22x174
2-RIB PL 251x22x174
40-HTB M22x105(F8T)
※ 1-緩衝材 400x50x1200(クロプロレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
10-BN M16x60(1-W, 1-割リヒン付, ナット3種)(SS400)

注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
4. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
5. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

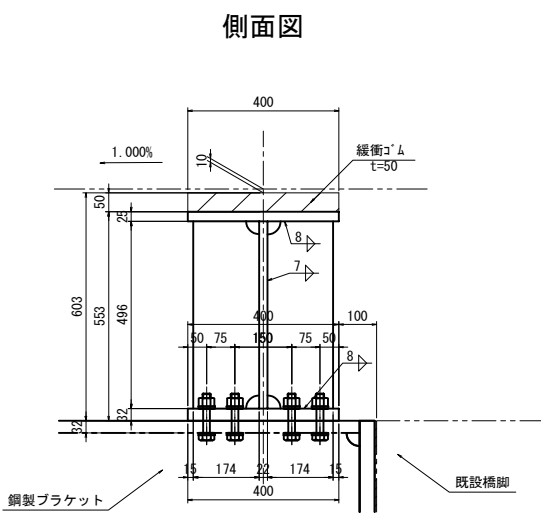
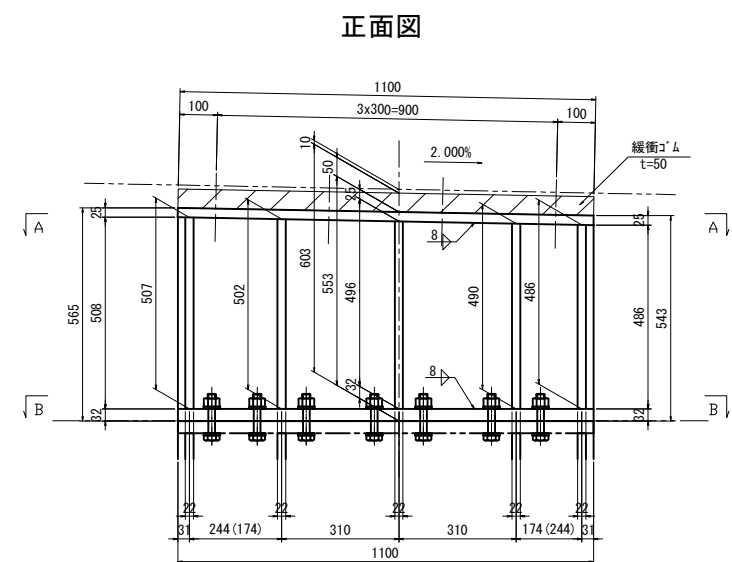
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 5 橋脚 段差防止構造詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	44 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

栄町高架橋（上り線）P 6 6 橋脚 段差防止構造詳細図（その 1）

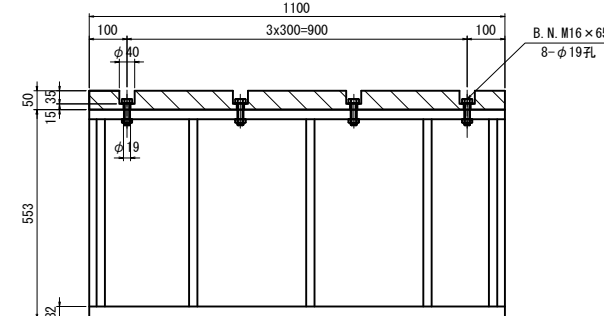
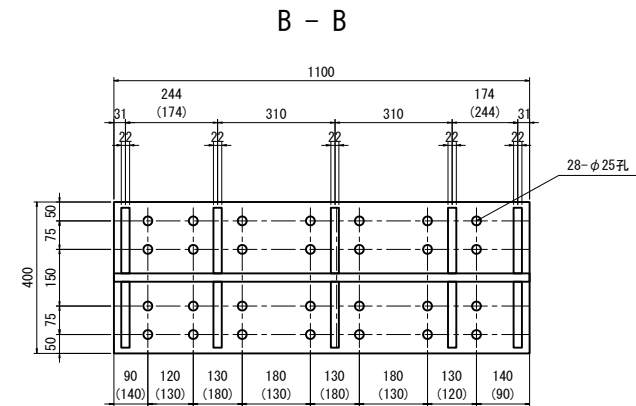
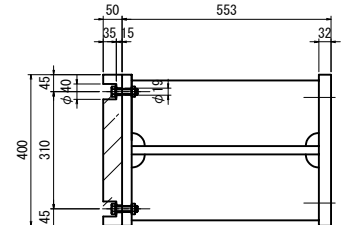
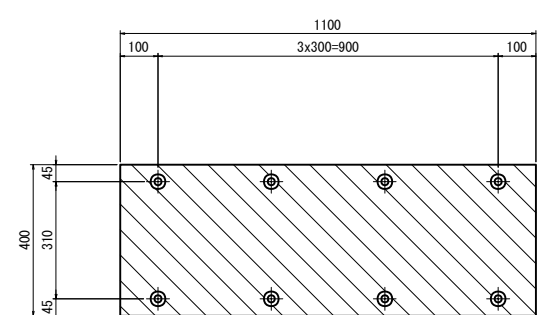
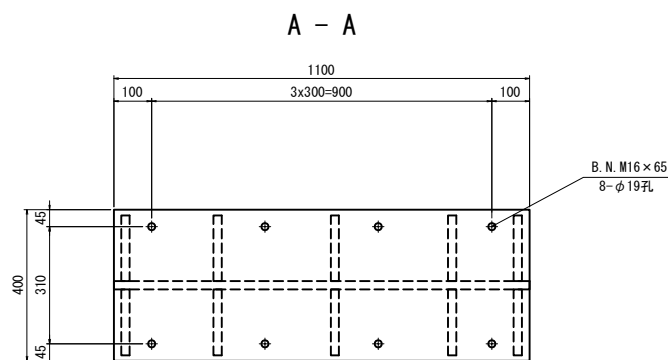
S=1:20

段差防止構造M S-1

G 1 R 1, G 2 R 4



1箇所当り (製作数: 共2箇所)
1-FLG PL 400x25x1100
1-FLG PL 400x32x1100
1-WEB PL 508x22x1100 (Net: 98%)
2-R1B PL 507x22x174
2-R1B PL 502x22x174
2-R1B PL 496x22x174
2-R1B PL 490x22x174
2-R1B PL 486x22x174
28-HTB W22x105 (F8T)
※ 1-緩衝材 400x50x1100 (クロロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
8-BN M16x65 (1-W, 1-割りヒン付、ナット3種) (SS400)



※上記寸法はG1R1である。 ()内はG2R4の数値とする。

注記)

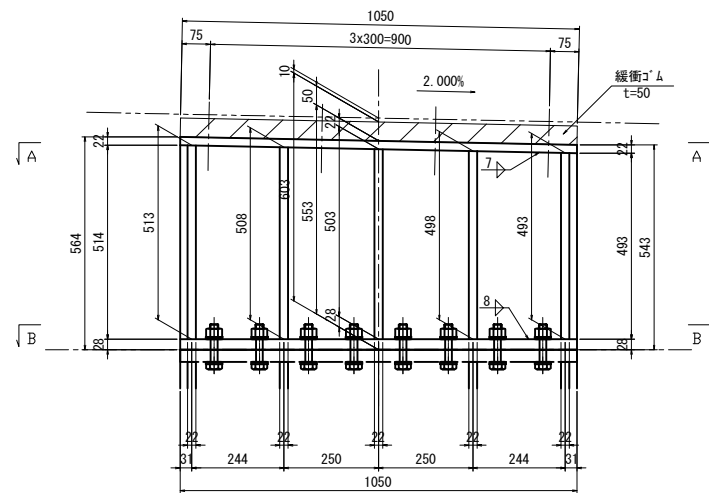
- 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
- 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは全てR35とする。
- ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 6 橋脚 段差防止構造詳細図（その 1）			
	縮 尺	図 示	図面番号	45 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

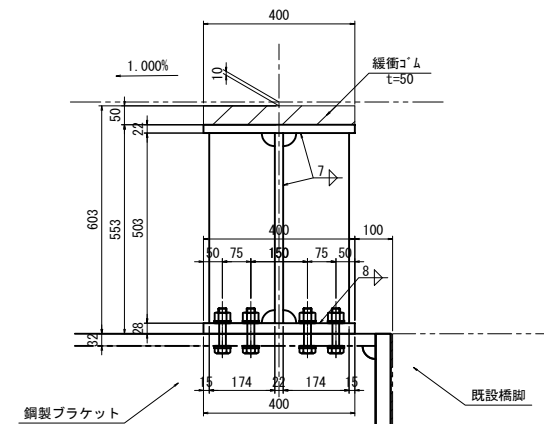
段差防止構造M S-1

G 1 R 2, G 2 R 3

正面図



側面図



1箇所当り 製作数：共2箇所)

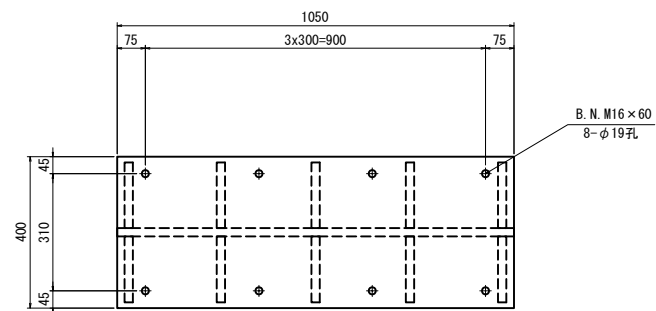
- 1-FLG PL 400x22x1050
- 1-FLG PL 400x28x1050
- 1-WEB PL 514x22x1050 (Net: 98%)
- 2-R1B PL 513x22x174
- 2-R1B PL 508x22x174
- 2-R1B PL 503x22x174
- 2-R1B PL 498x22x174
- 2-R1B PL 493x22x174

32-HTB M22x100 (F8T)

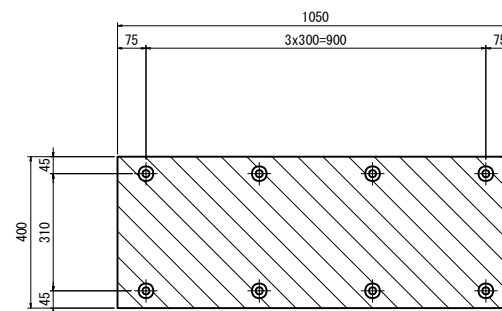
※ 1-緩衝材 400x50x1100 (クロロプレナム、硬度55° ±5°)

8-BN M16x60 (1-溝、1-割りピン付、ナット3種) (SS400)

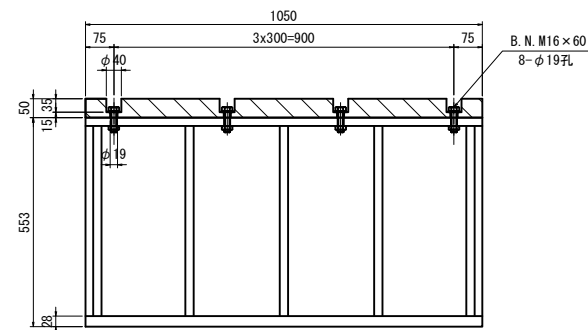
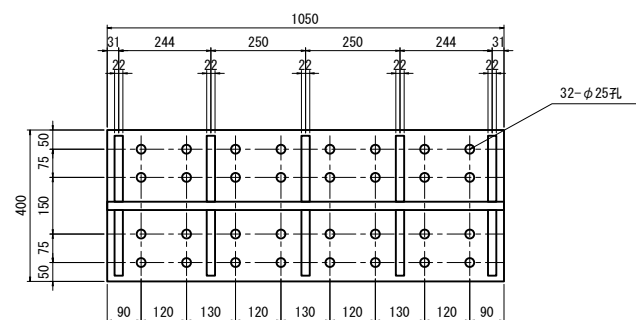
A - A



緩衝材詳細図



B - B

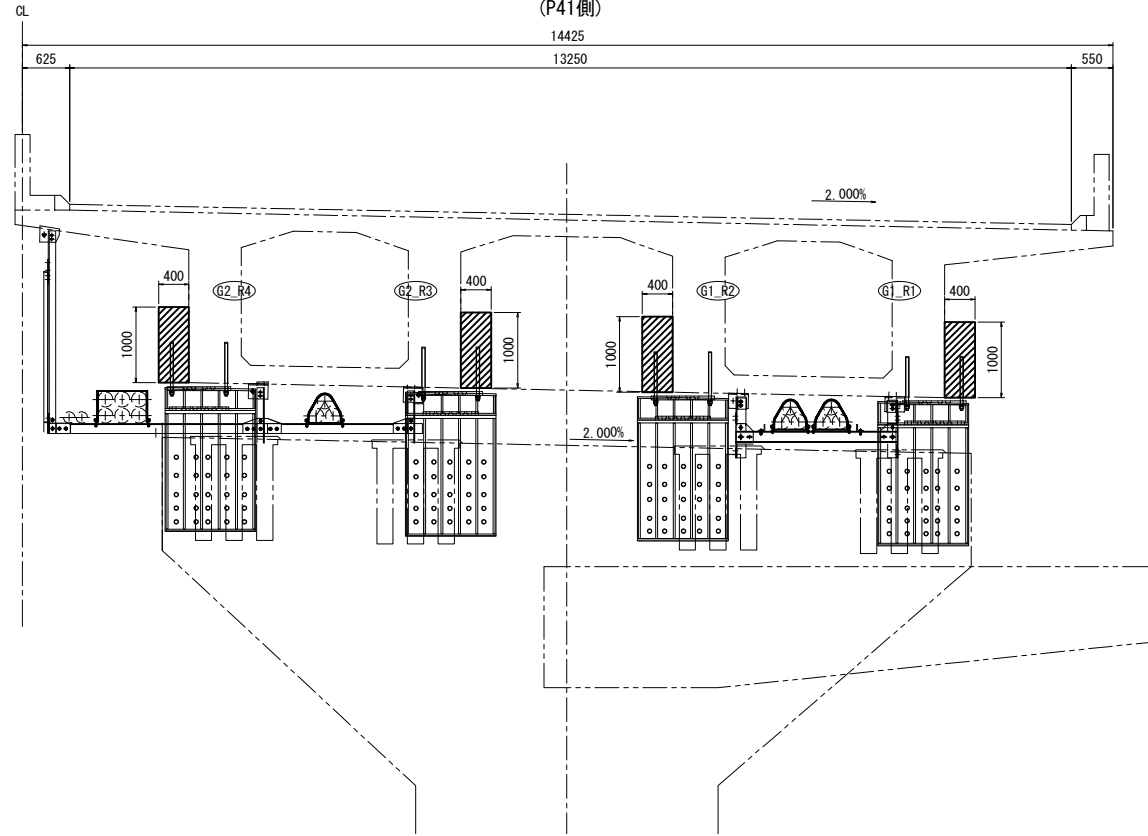


注記)

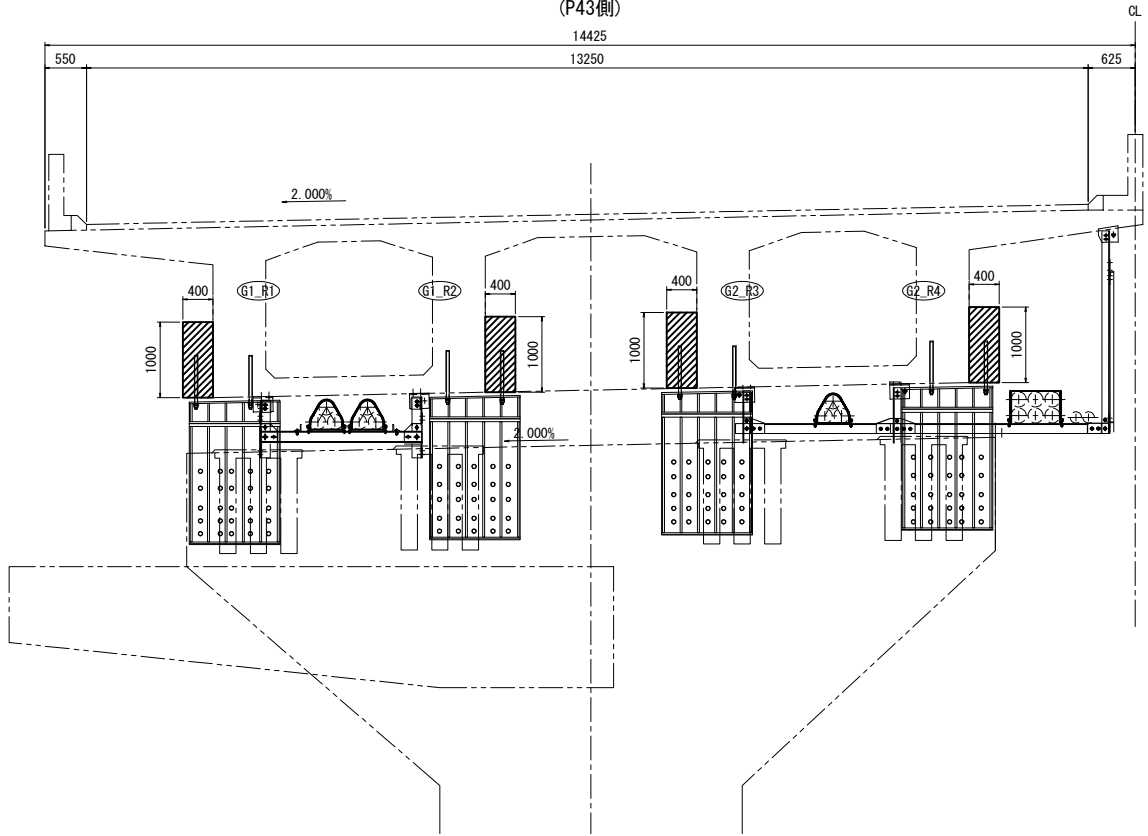
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて既設図面に基に作図を行っている。
2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
4. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
5. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HD25とする。
但しボルトナットの付着量は、HD235とする。)

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 6 橋脚 段差防止構造詳細図（その 2）			
縮 尺	図 示	図面番号	46 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名	東日本高速道路株式会社			
事務所名	関東支社 千葉管理事務所			

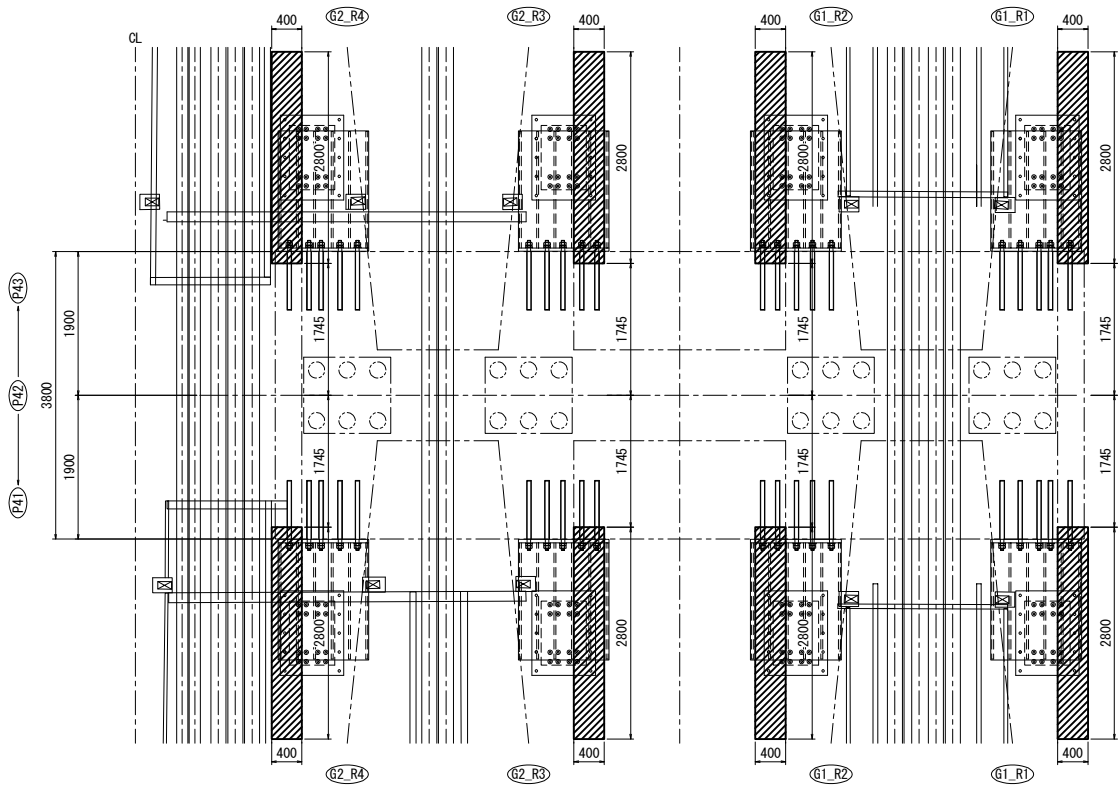
正面図
(P41側)



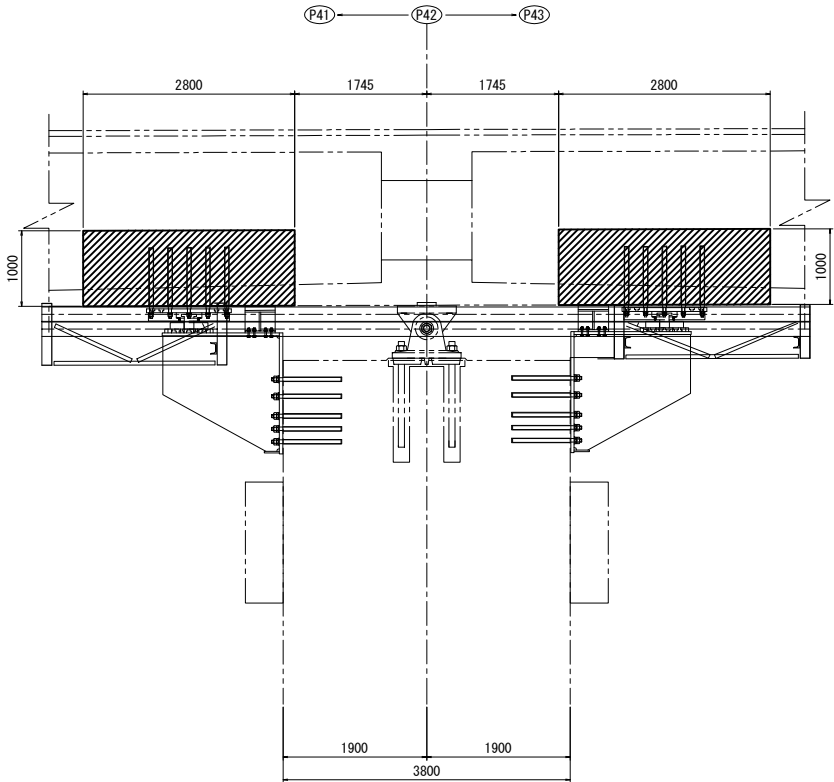
正面図
(P43側)



平面図



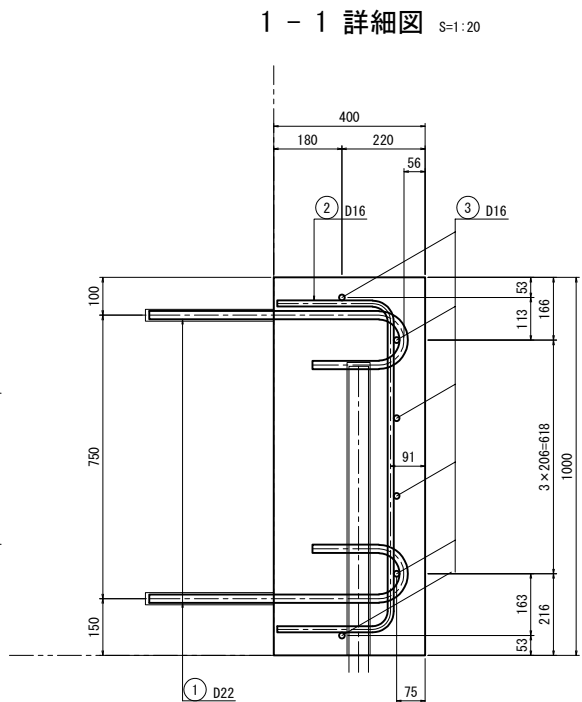
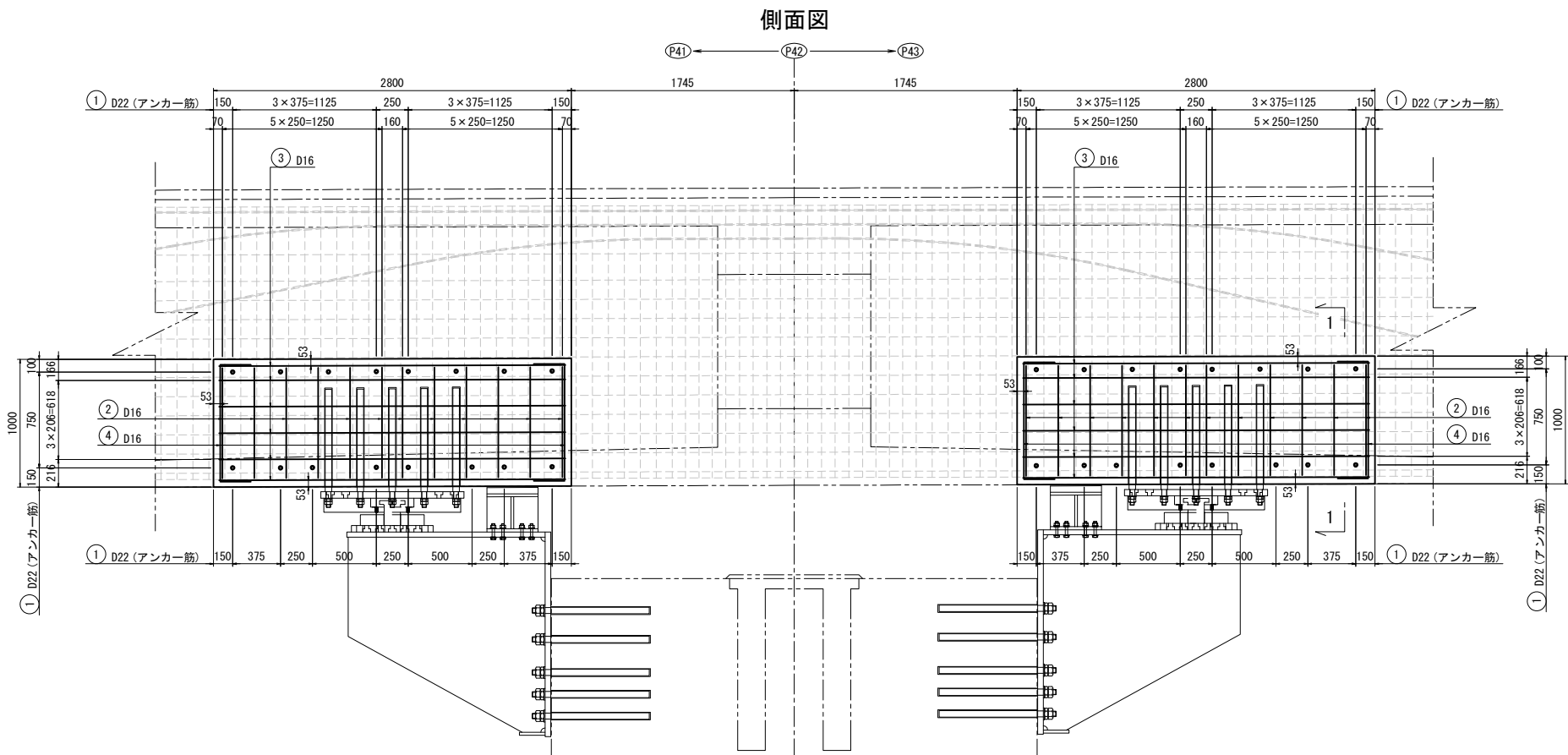
側面図



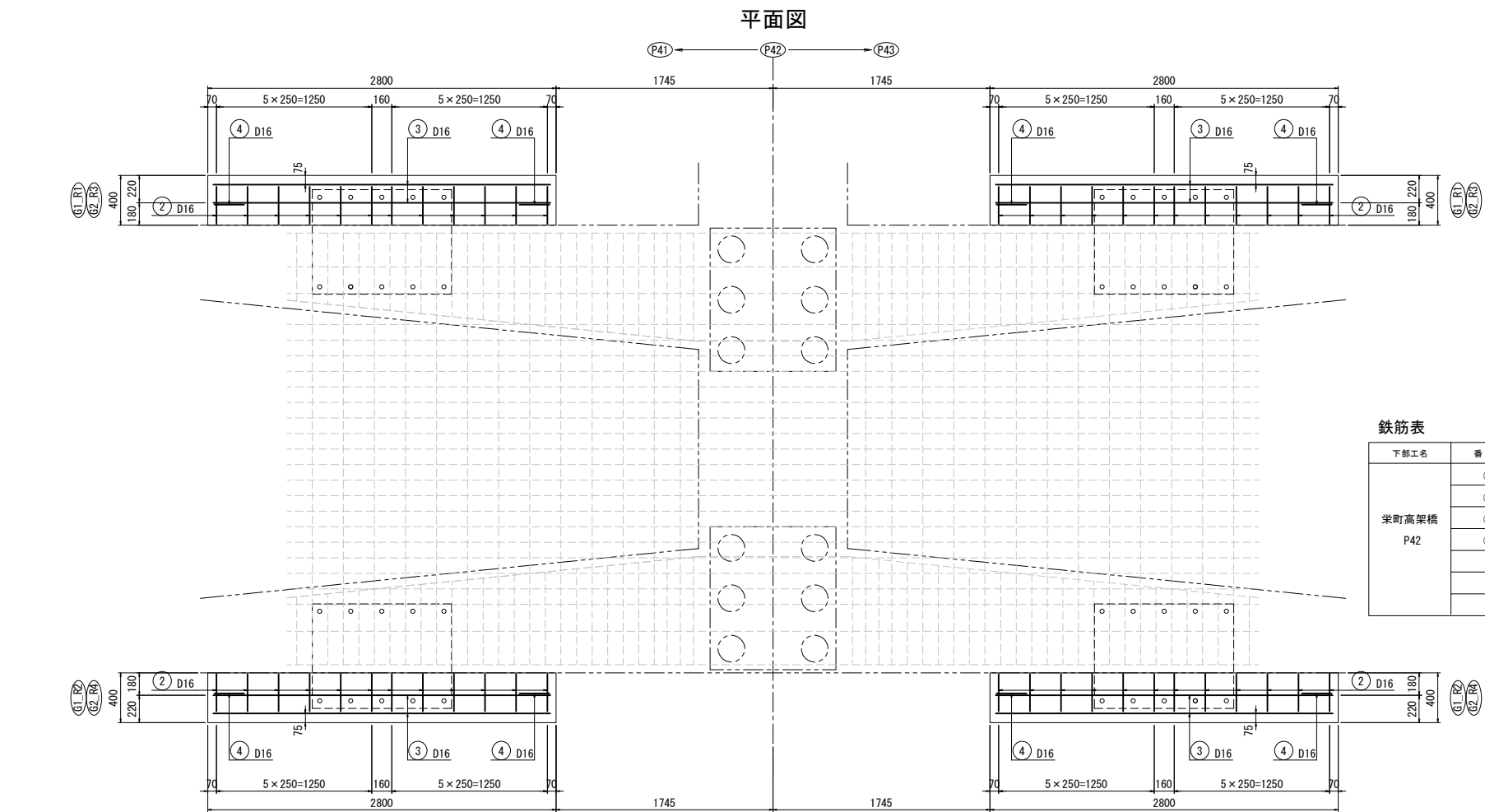
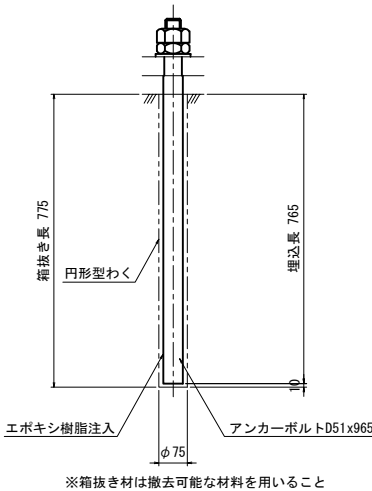
桁拡幅部

- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 上部工および下部工ブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋検査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確認した上で決定すること。

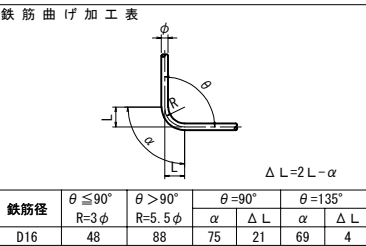
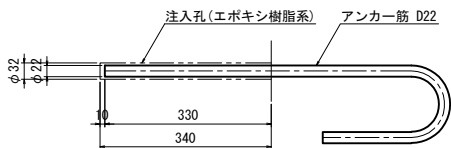
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 桁拡幅工構造図		
縮 尺	図 示	図面番号	47 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		



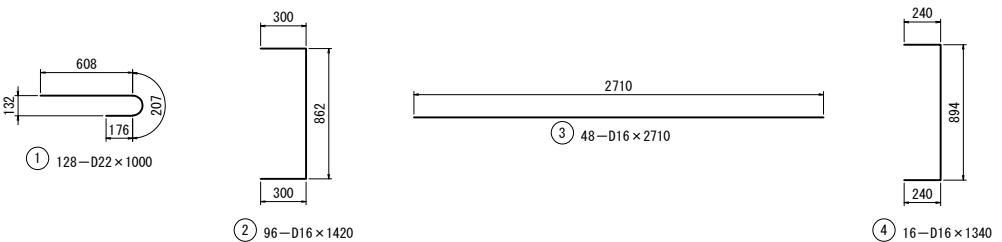
水平力分担構造
上部工付きアンカー箱抜き図 S=1:20



アンカー掘削孔詳細 S=1:15



鉄筋加工図



鉄筋表

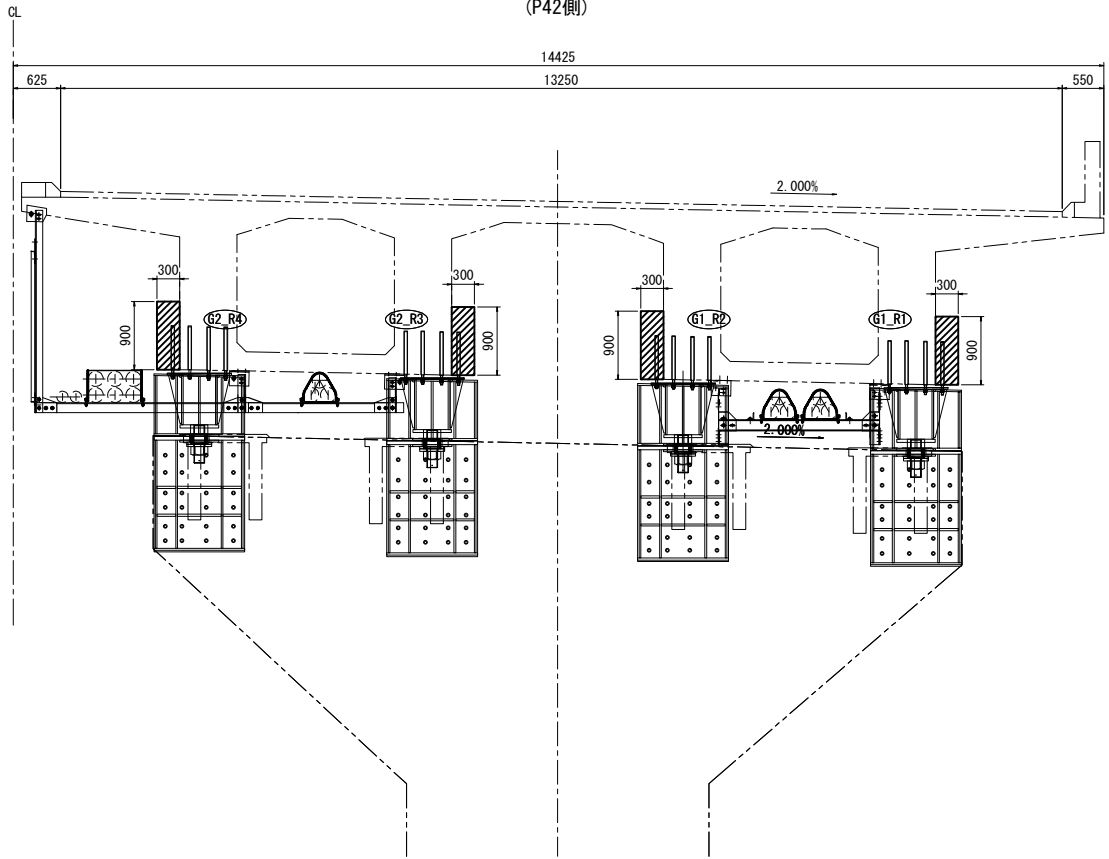
下部工名	番 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	材 質
栄町高架橋 P42	①	D22	1 000	128	3.04	3.04	389	SD345
	②	D16	1 420	96	1.56	2.22	213	
	③	D16	2 710	48	1.56	4.23	203	
	④	D16	1 340	16	1.56	2.09	33	
D22							389	kg
D16							449	kg
合 計							838	kg

注記)

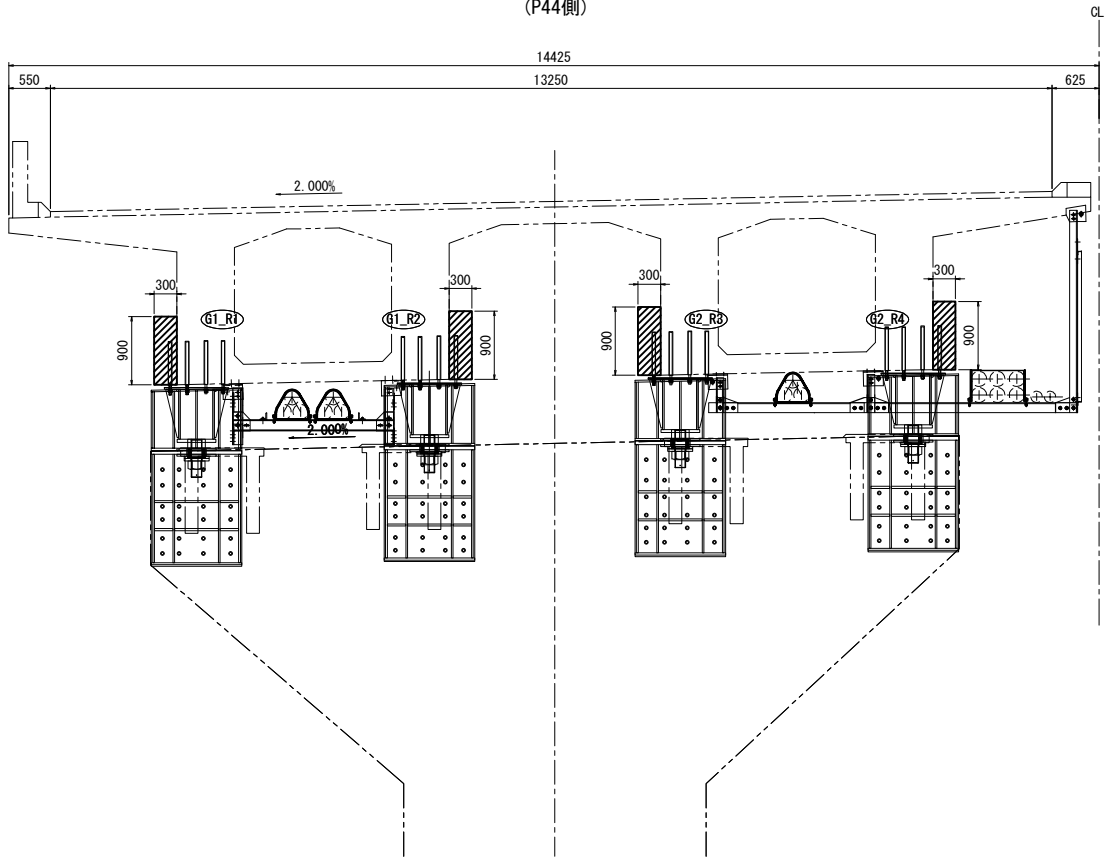
- 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基に作図を行なっている。
- 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
- 上部工および下部工ブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探索するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。
- 鉄筋本数は、全本数を示す。
- $\sigma_{sk}=35\text{N/mm}^2$ (既設上部工と同強度)

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 桁拡幅工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	48 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

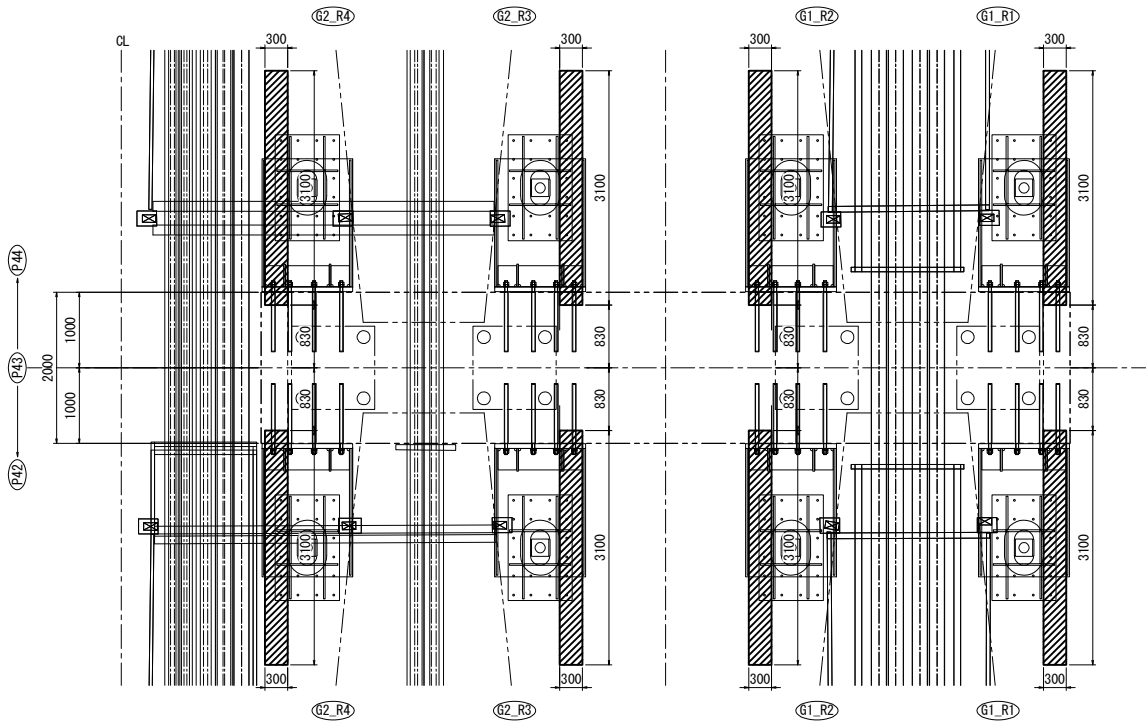
正面図
(P42側)



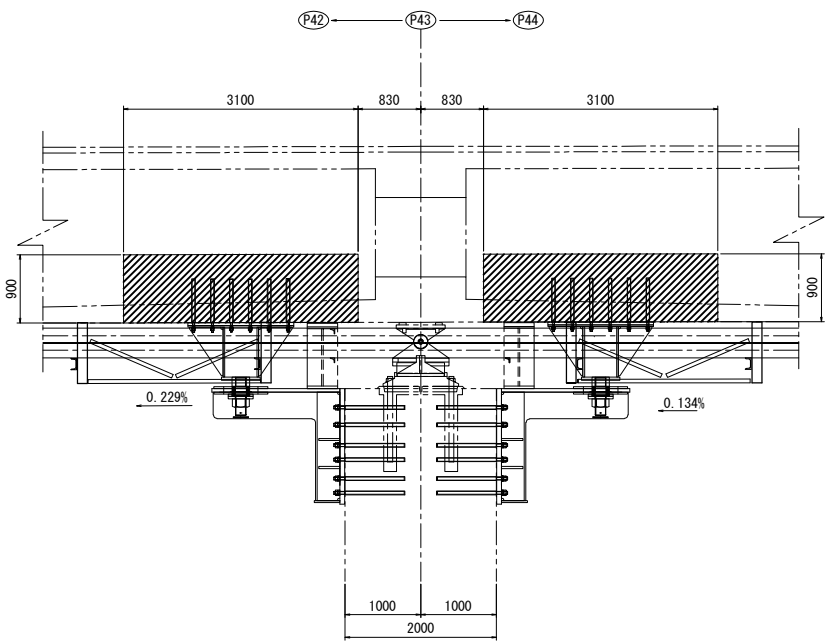
正面図
(P44側)



平面図



側面図



桁拡幅部

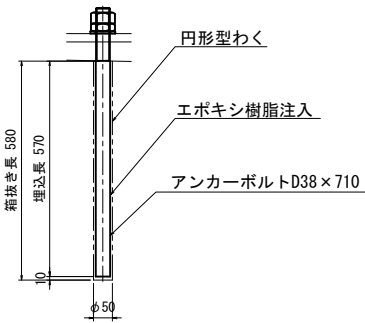
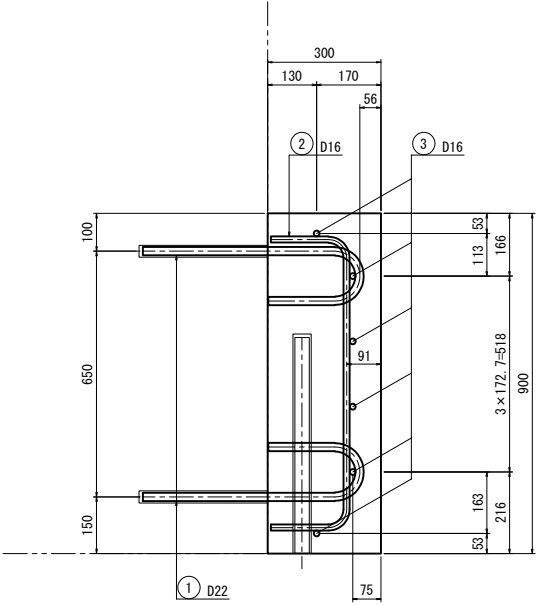
- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 上部工および下部工の配筋については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 3 橋脚 桁拡幅工構造図			
縮 尺	図 示	図面番号	49	/ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名	東日本高速道路株式会社			
事務所名	関東支社 千葉管理事務所			

側面図

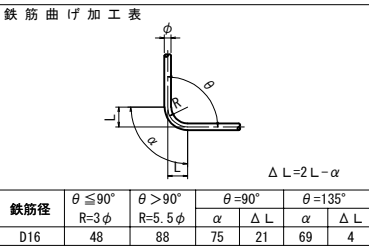
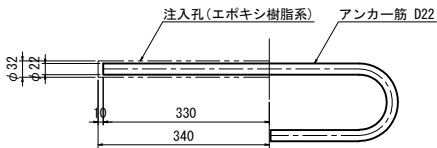
1 - 1 詳細図 S=1:20

水平力分担構造
上部工付きアンカー箱抜き図 S=1:20



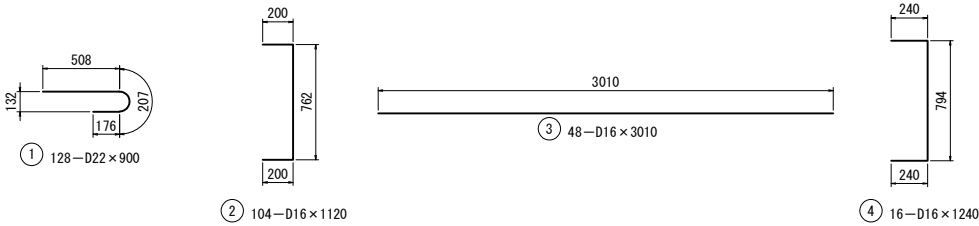
※箱抜き材は撤去可能な材料を用いること

アンカー掘削孔詳細 S=1:15



平面図

鉄筋加工図



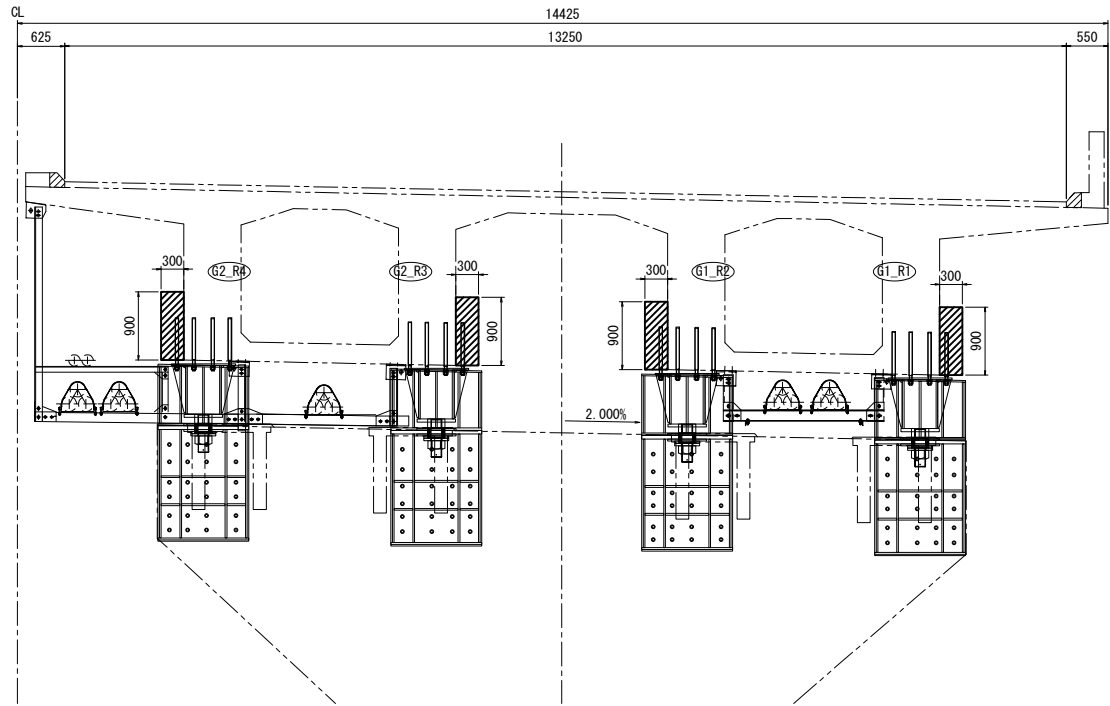
鉄筋表

下部工名	番 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	材 質
栄町高架橋 P43	①	D22	900	128	3.04	2.74	351	SD345
	②	D16	1 120	104	1.56	1.75	182	
	③	D16	3 010	48	1.56	4.70	226	
	④	D16	1 240	16	1.56	1.93	31	
		D22					351	
		D16					439	
		合 計					790	

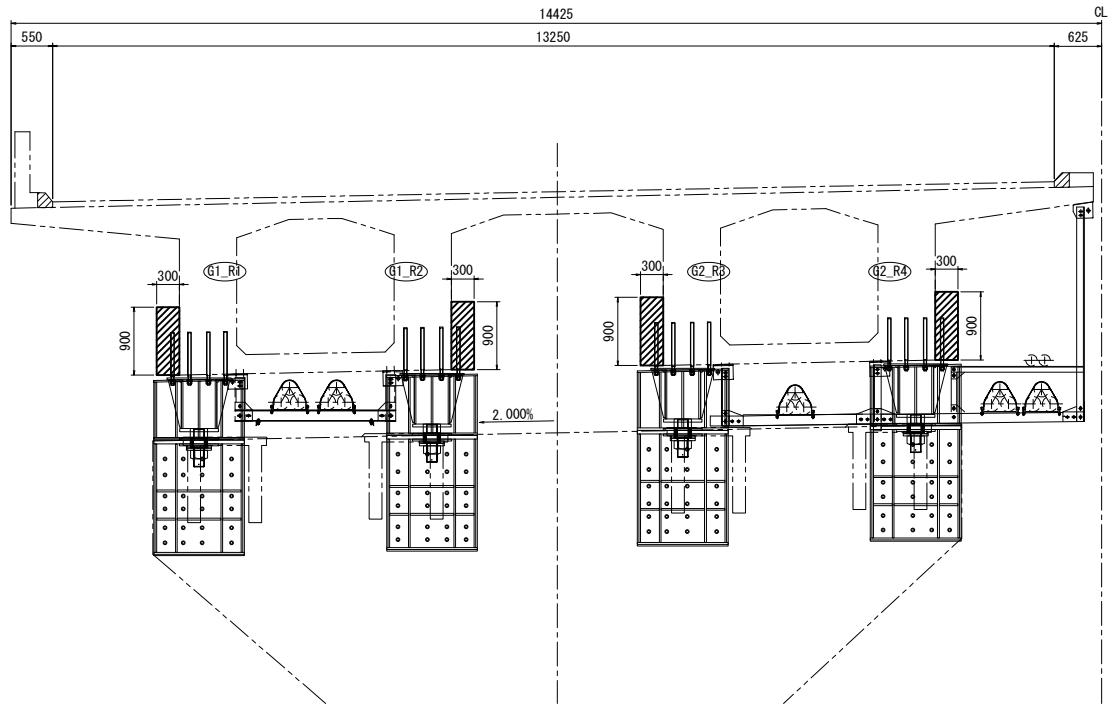
- 注記)
- 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基に作図を行なっている。
 - 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 上部工および下部工ブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探索するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。
 - 鉄筋本数は、全本数を示す。
 - $\sigma_{sk}=35\text{N/mm}^2$ (既設上部工と同強度)

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 3 橋脚 桁拡幅工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	50 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

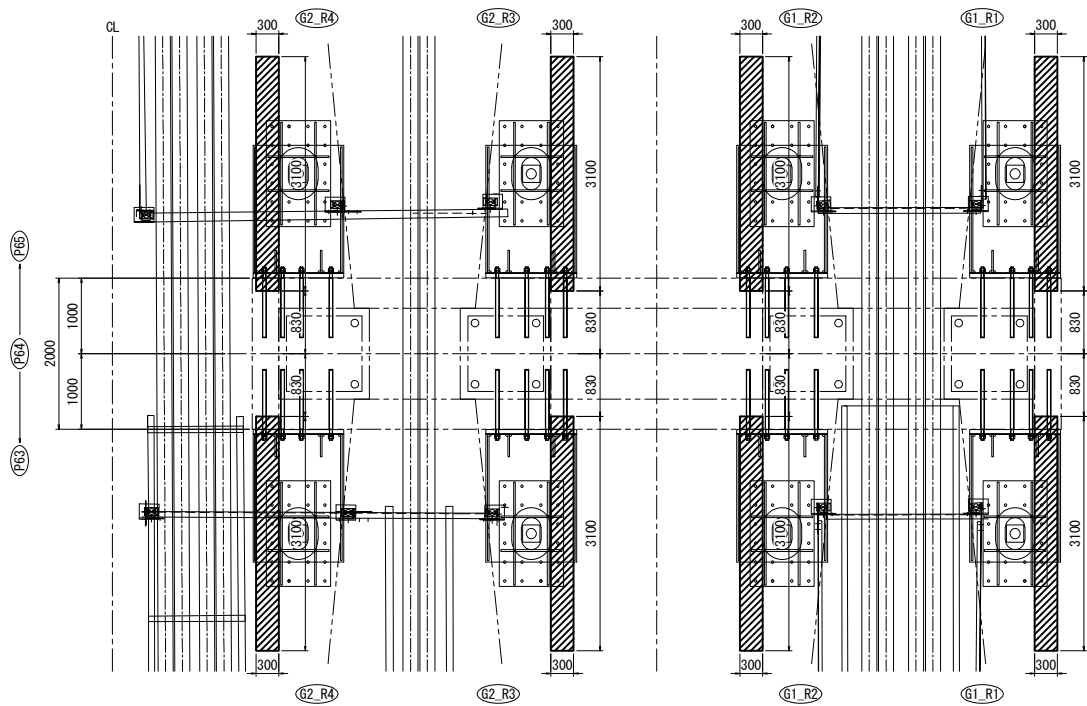
正面図
(P63側)



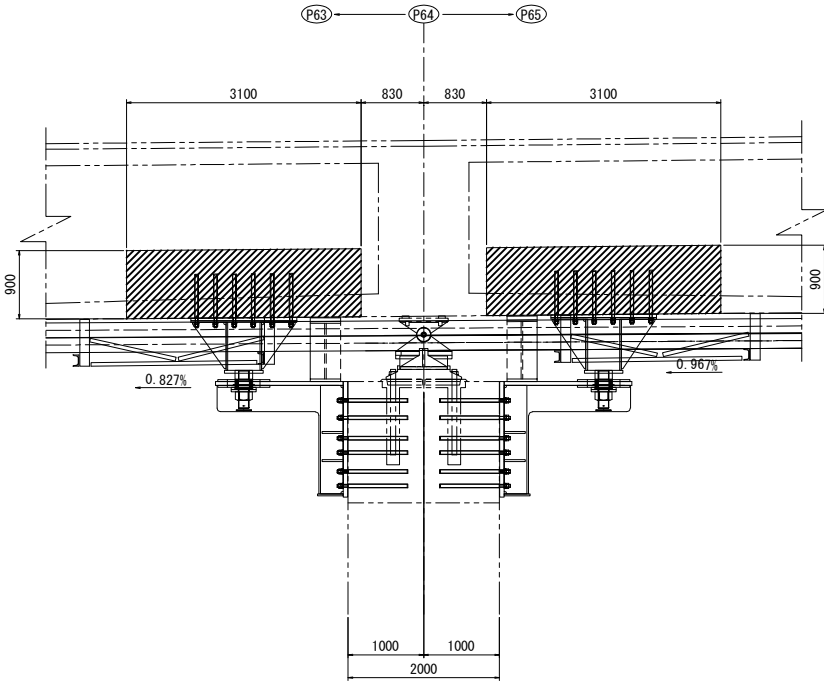
正面図
(P65側)



平面図



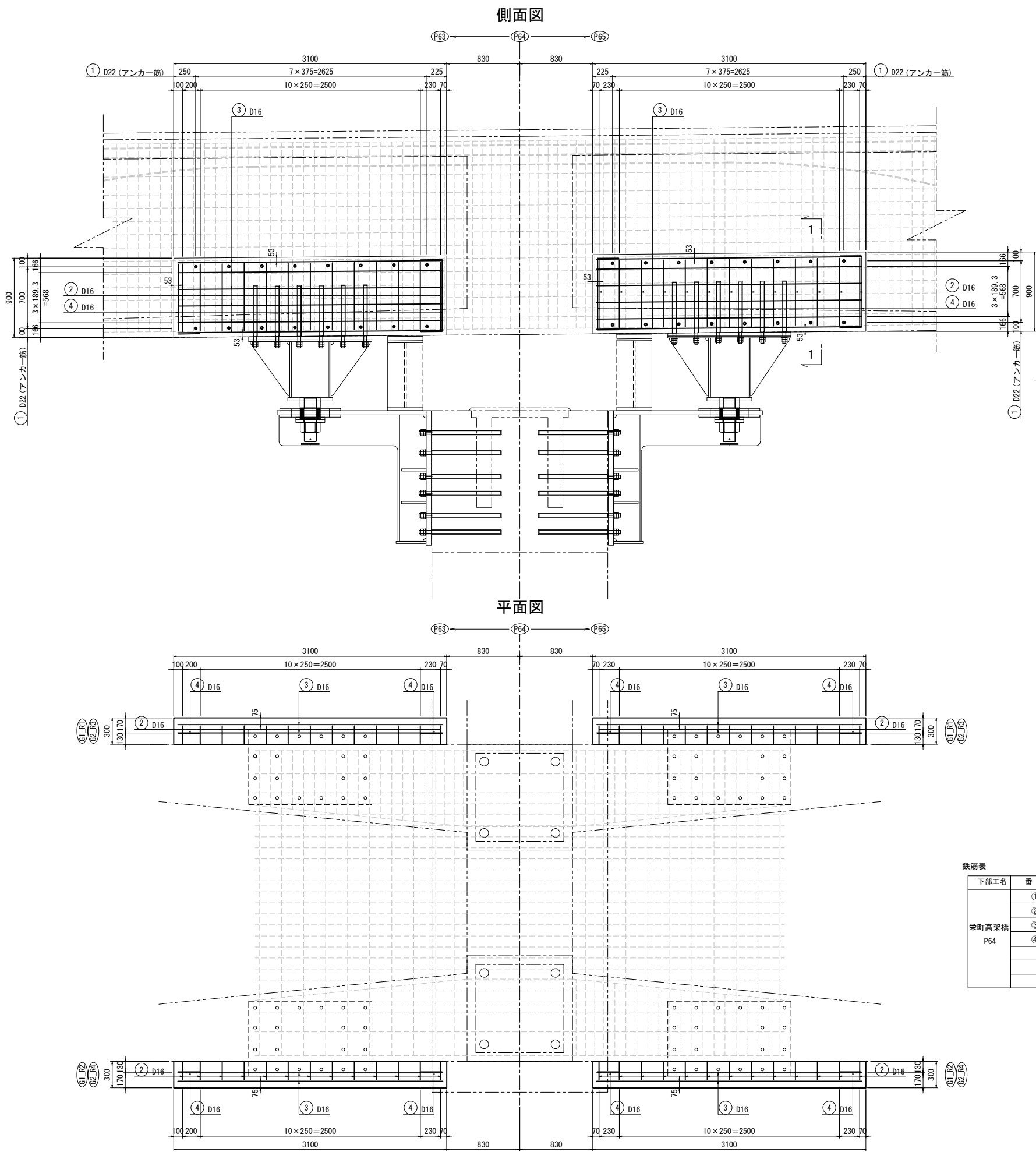
側面図



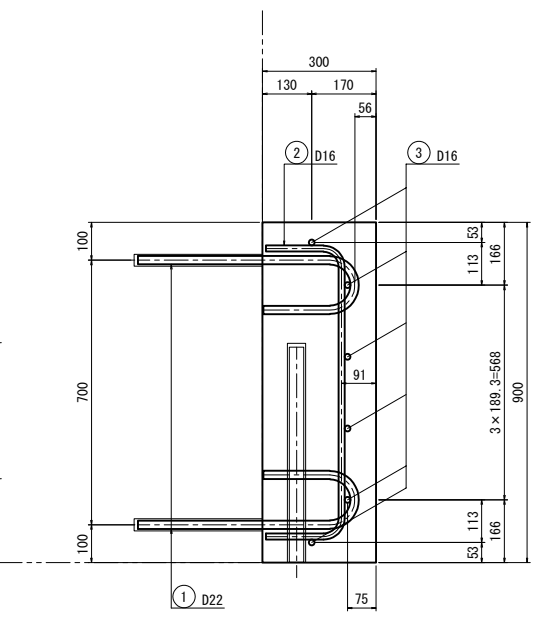
桁拡幅部

- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基いて作図を行っている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 上部工および下部工の配筋については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

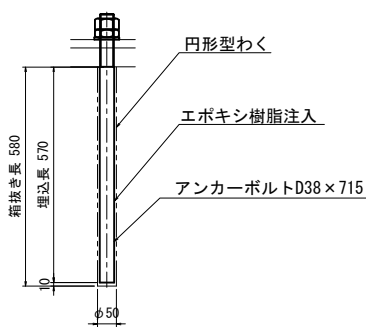
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 4 橋脚 桁拡幅構造図		
縮 尺	図 示	図面番号	51 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		



1 - 1 詳細図 S=1:20

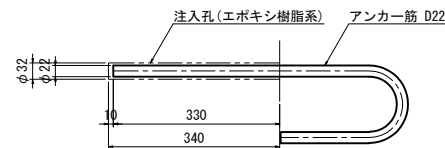


水平力分担構造
上部工付きアンカー箱抜き図 S=1:20



※箱抜き材は撤去可能な材料を用いること

アンカー掘削孔詳細 S=1:15

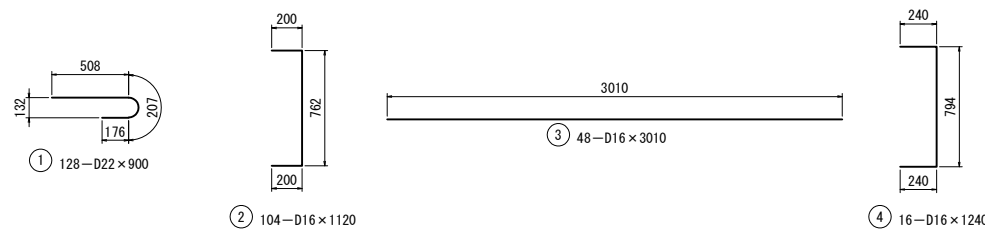


鉄筋曲げ加工表

鉄筋径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			α	ΔL	α	ΔL
D16	48	88	75	21	69	4

ΔL=2L-α

鉄筋加工図



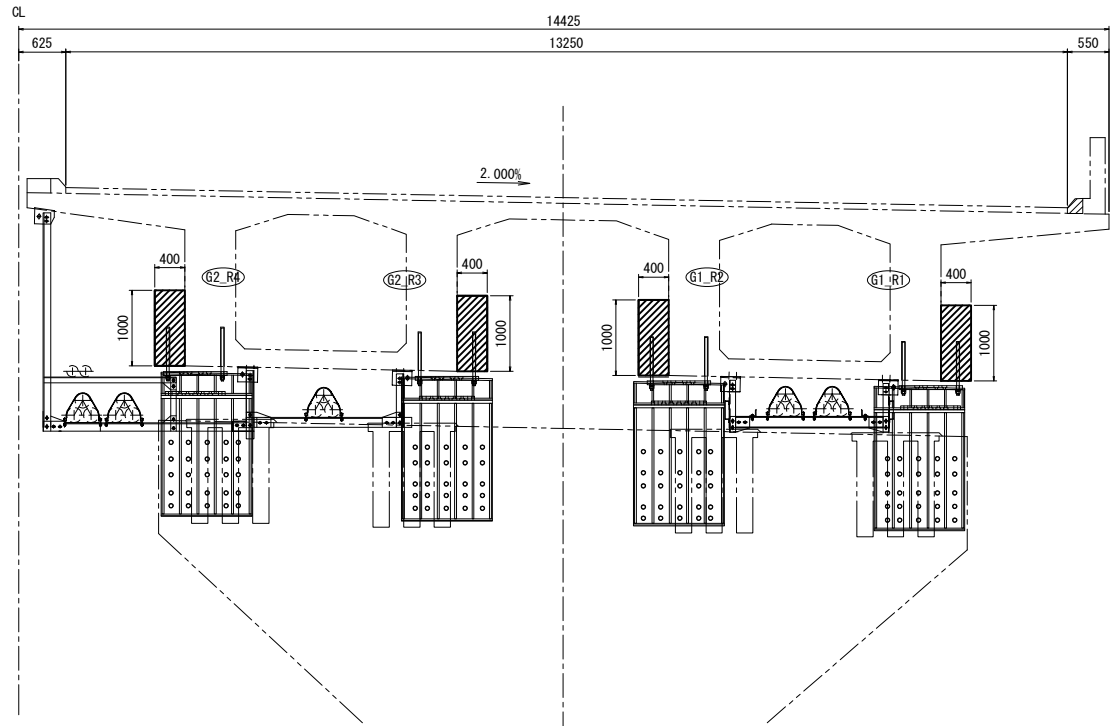
鉄筋表

下部工名	番 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	材 質
栄町高架橋 P64	①	D22	900	128	3.04	2.74	351	SD345
	②	D16	1 120	104	1.56	1.75	182	
	③	D16	3 010	48	1.56	4.70	226	
	④	D16	1 240	16	1.56	1.93	31	
	D22						351	kg
	D16						439	kg
	合 計						790	kg

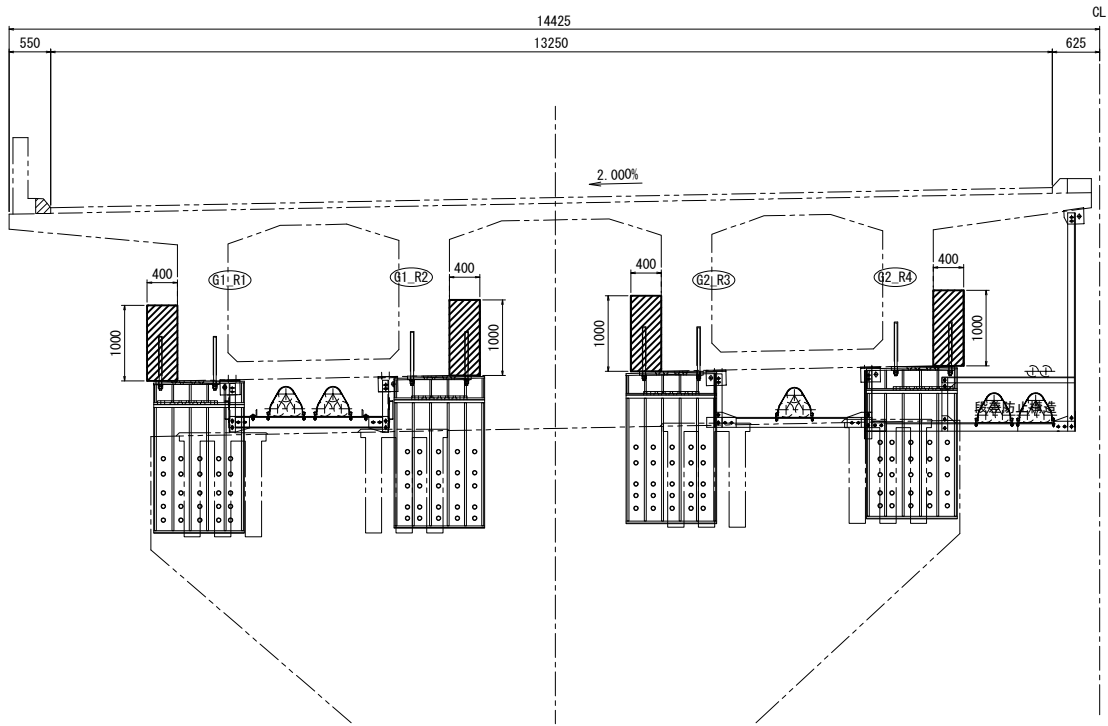
- 注記)
- 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行っている。
 - 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 上部工および下部工ブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探索するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。
 - 鉄筋本数は、全本数を示す。
 - σ_{ok}=35N/mm² (既設上部工と同強度)

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 4 橋脚 桁拡幅工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	52 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

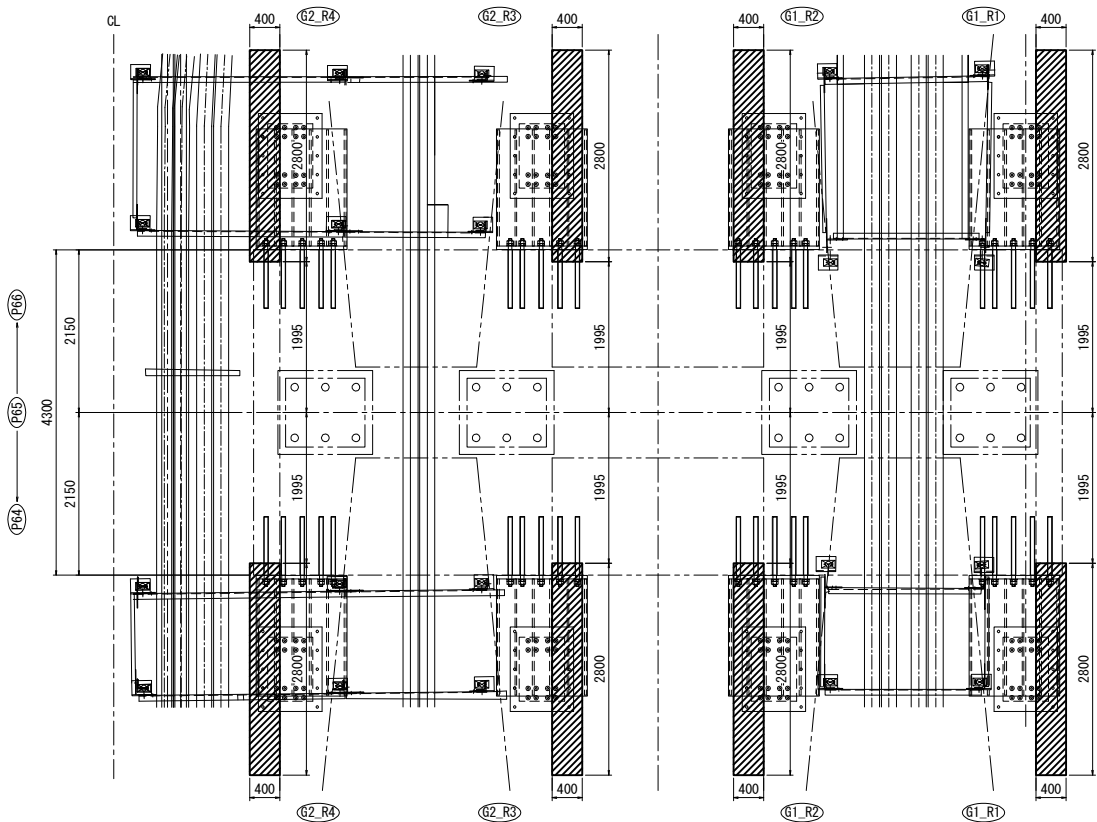
正面図
(P64側)



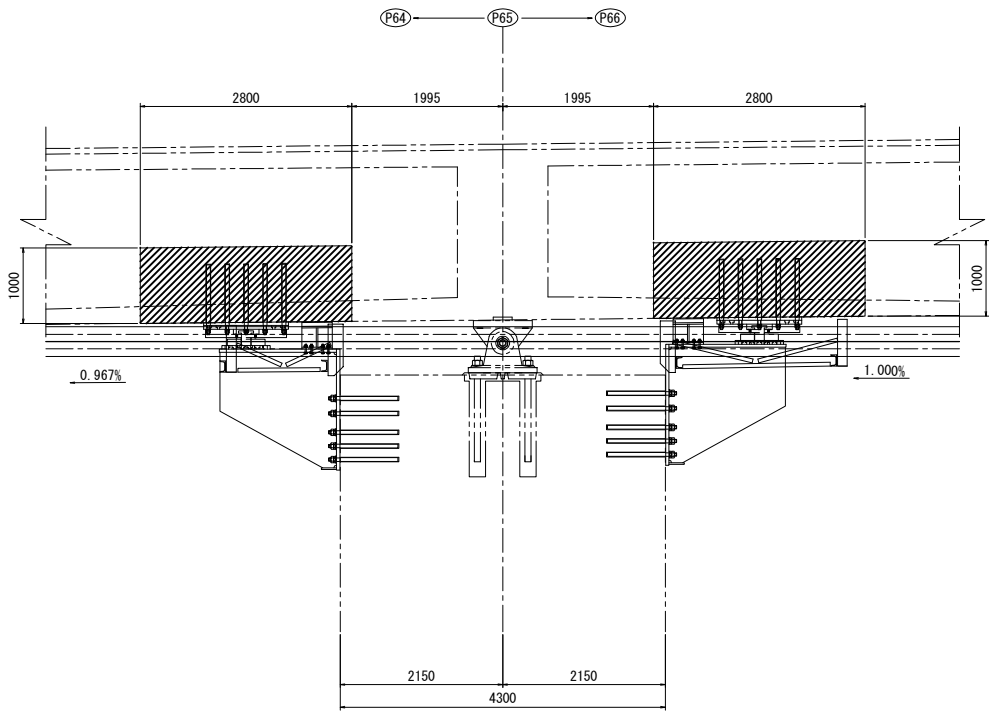
正面図
(P66側)



平面図



側面図

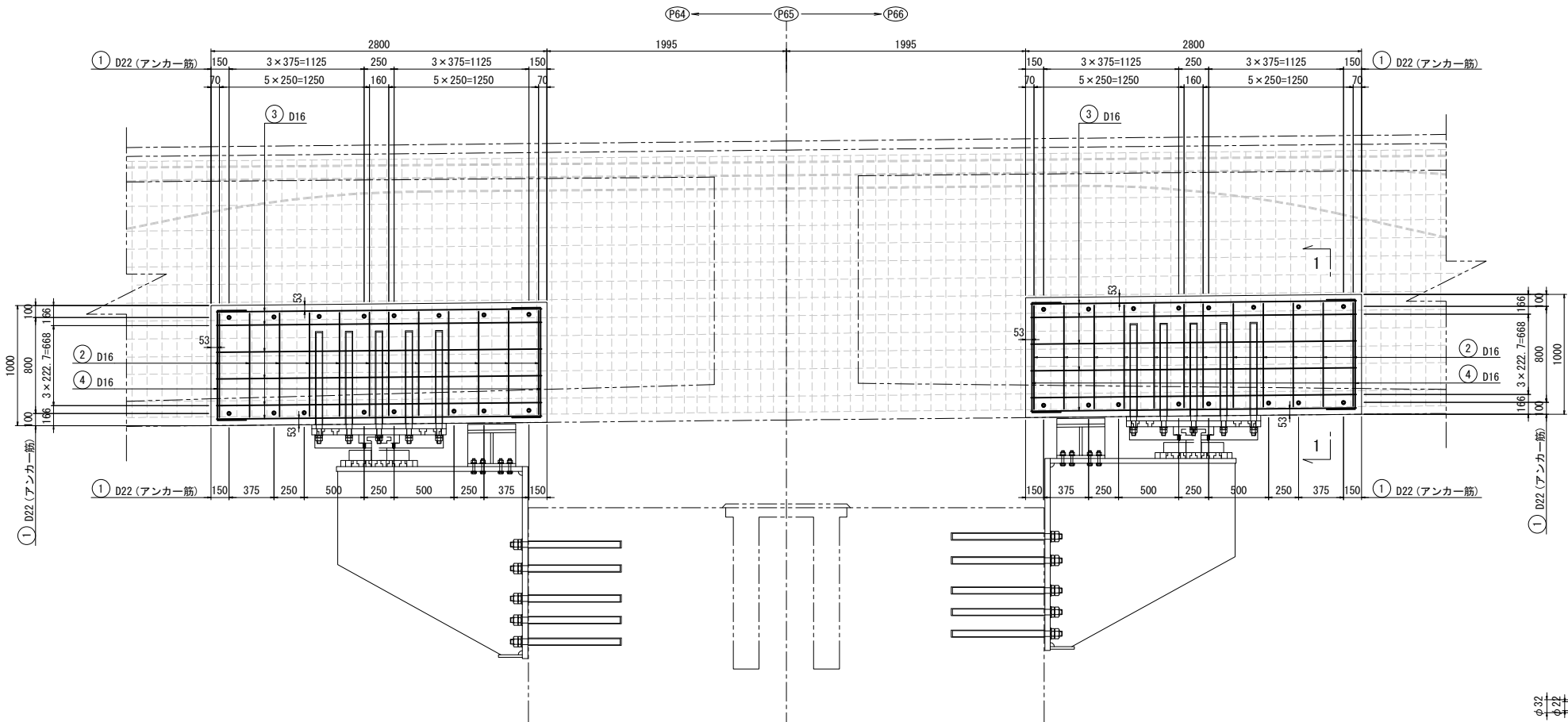


桁拡幅部

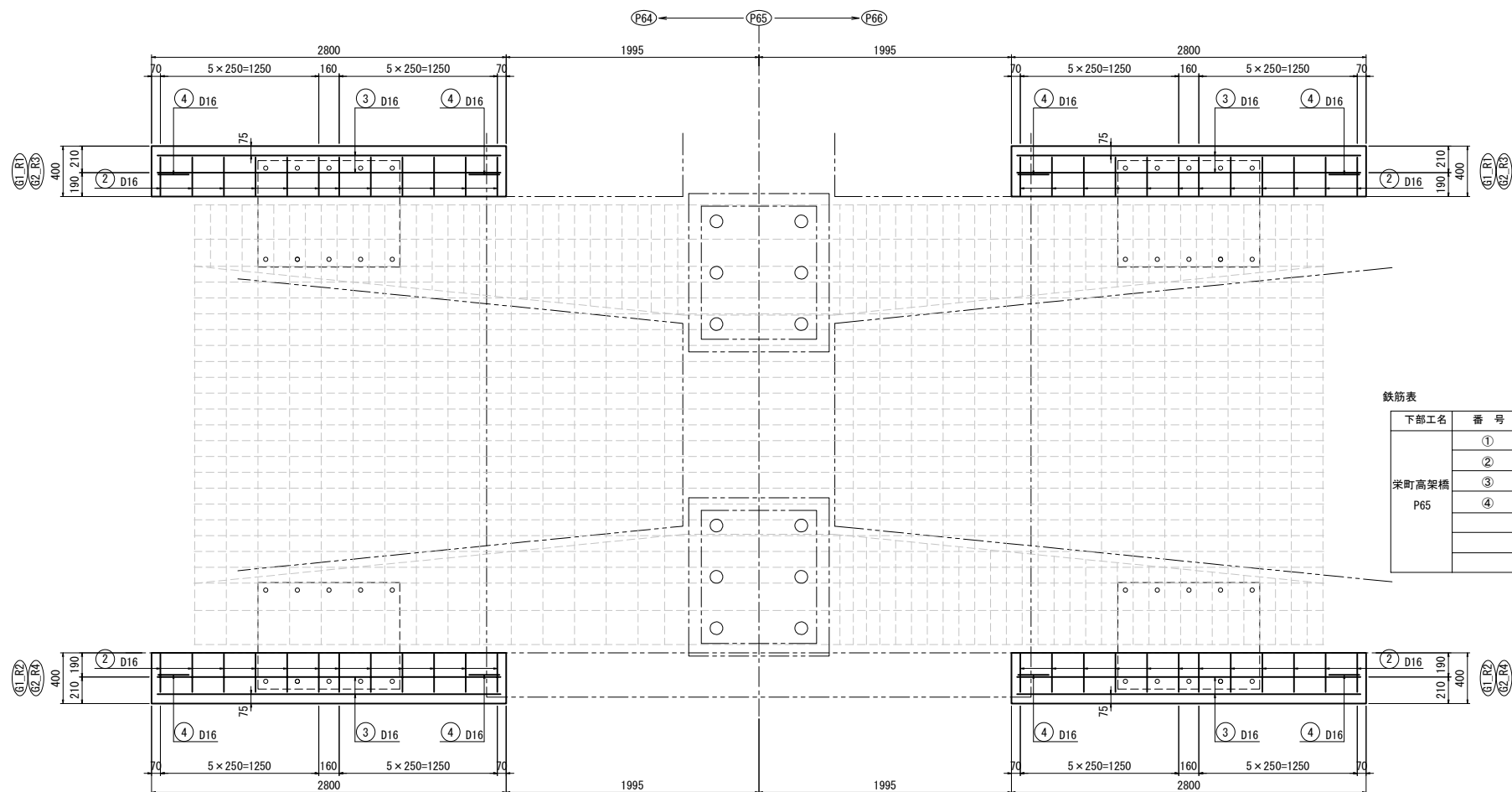
- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 上部工および下部工ブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 5 橋脚 桁拡幅工構造図		
縮 尺	図 示	図面番号	53 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

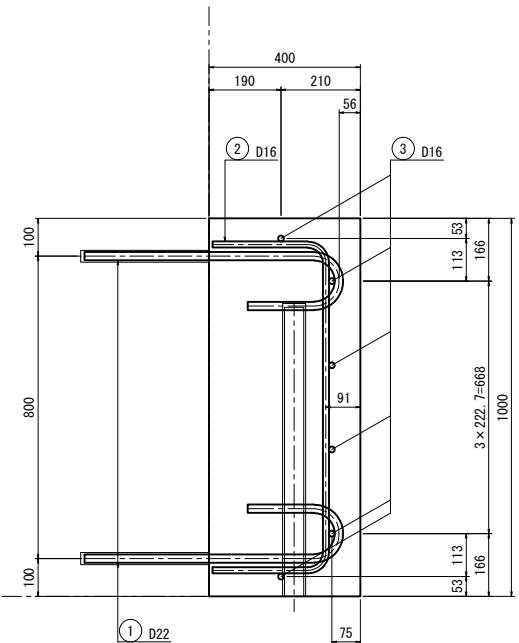
側面図



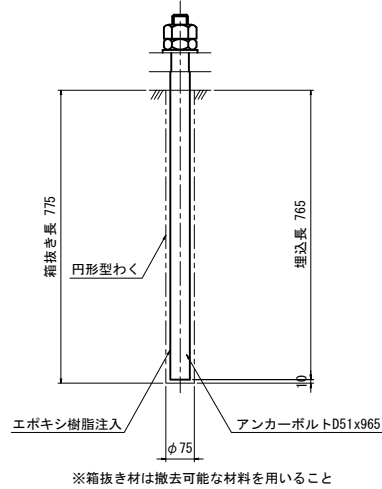
平面図



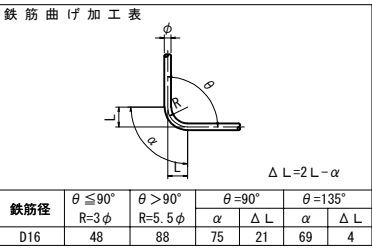
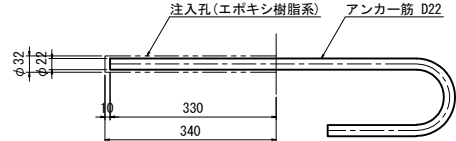
1 - 1 詳細図 S=1:20



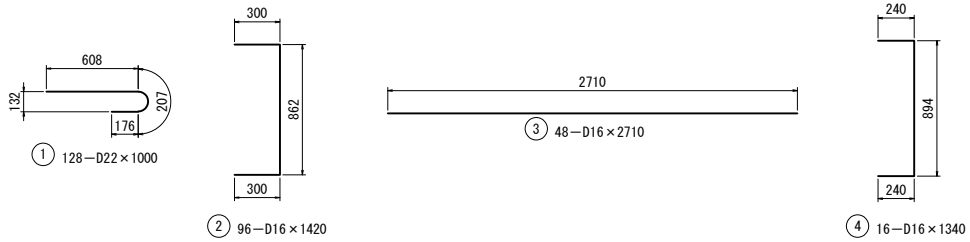
水平力分担構造
上部工付きアンカー箱抜き図 S=1:20



アンカー掘削孔詳細 S=1:15



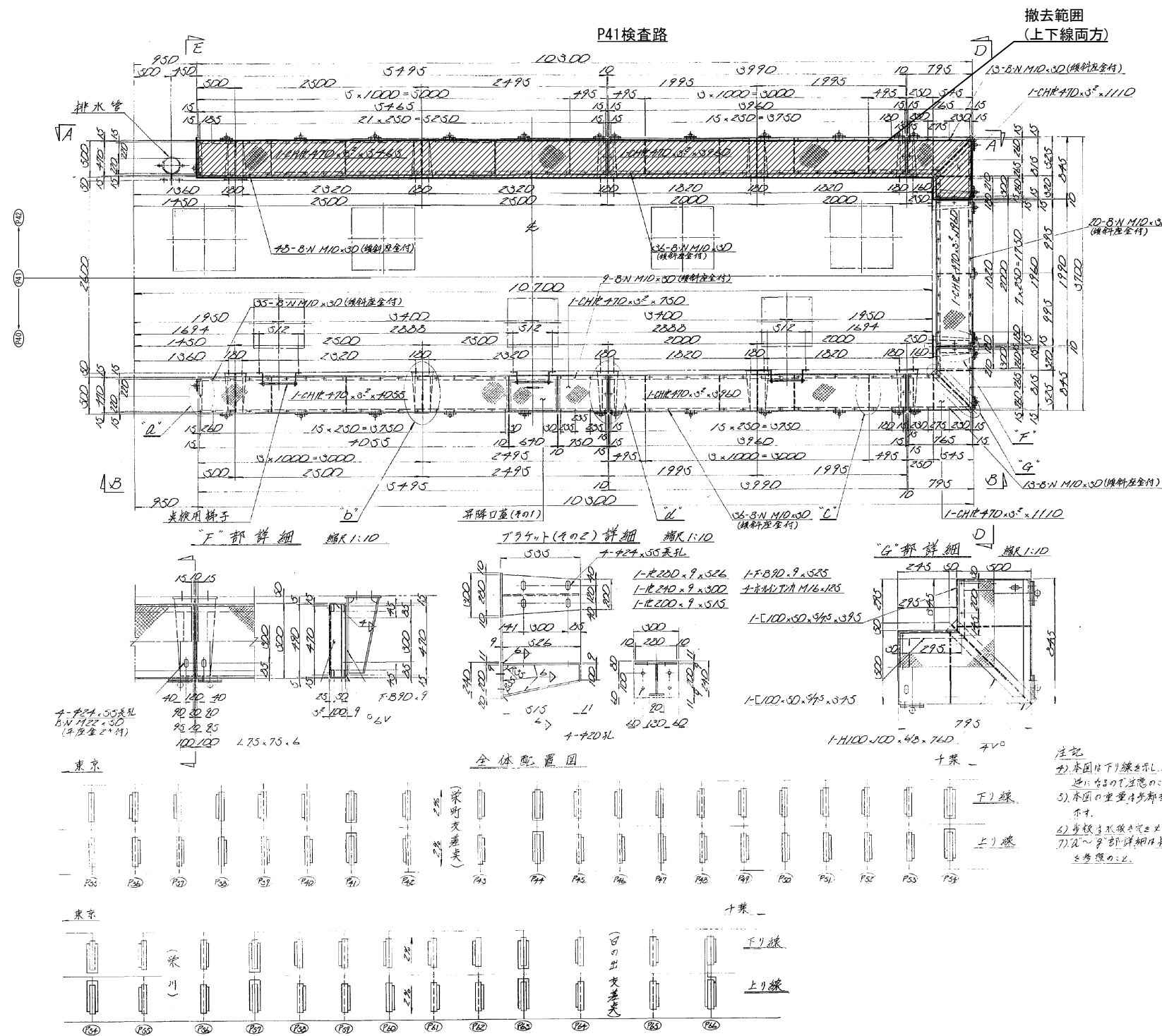
鉄筋加工図



鉄筋表								
下部工名	番 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	材 質
栄町高架橋 P65	①	D22	1 000	128	3.04	3.04	389	SD345
	②	D16	1 420	96	1.56	2.22	213	
	③	D16	2 710	48	1.56	4.23	203	
	④	D16	1 340	16	1.56	2.09	33	
	D22						389	kg
	D16						449	kg
	合 計						838	kg

- 注記
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 上部工および下部工ブラケットの配置については、上部工および下部工の配筋を鉄筋探索するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。
 4. 鉄筋本数は、全本数を示す。
 5. $\sigma_{ok}=35\text{N/mm}^2$ （既設上部工と同強度）

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 5 橋脚 桁拡幅工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	54 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		



材料表

材料	断面	長さ	数量	重量(kg)	材質	
CHPL	470×3.2	5465	1	68.7	SS41	
CHPL	470	4055	1	51.1	SS41	
CHPL	470	3960	2	100.9	SS41	
CHPL	470	1960	1	24.7	SS41	
CHPL	470	1110	2	28.0	SS41	
CHPL	470	750	1	9.3	SS41	
CHPL	470	640	1	8.0	SS41	
CHPL	470	515	21.2	109.4	SS41	
CHPL	470	330	7.00	70.0	SS41	
CHPL	470	526	19.8	124.8	SS41	
CHPL	470	300	2	10.8	SS41	
CHPL	470×9	515	2	14.8	SS41	
CHPL	470	470	6	19.8	SS41	
CHPL	160×8	180	66	107.8	SS41	
CHPL	404×3.5	470	14	0.8	SS41	
CHPL	470	500	2	10.8	SS41	
CHPL	470	525	2	10.8	SS41	
CHPL	470	470	12	35.9	SS41	
CHPL	470	490	21	36.3	SS41	
CHPL	470	580	2	2.9	SS41	
CHPL	470	400	2	1.9	SS41	
CHPL	470	380	2	1.7	SS41	
CHPL	470	368	2	0.5	SS41	
CHPL	470	200	1	0.3	SS41	
CHPL	470	75×75×6	490	12	37.5	SS41
CHPL	470	75×75×6	490	12	40.8	SS41
CHPL	100×50×5/8	5495	4	205.7	SS41	
CHPL	100×50×5/8	3990	4	149.4	SS41	
CHPL	100×50×5/8	1990	2	37.3	SS41	
CHPL	100×50×5/8	845	2	15.8	SS41	
CHPL	100×50×5/8	795	2	14.9	SS41	
CHPL	100×50×5/8	500	2	9.7	SS41	
CHPL	100×50×5/8	395	2	7.7	SS41	
CHPL	100×50×5/8	345	2	6.8	SS41	
CHPL	100×100×6/8	760	2	26.1	SS41	
CHPL	470	R・B	φ19	670	1.5	SR235
CHPL	470	R・B	φ16	500	0.8	SR235
CHPL	470	SGP	25A	5472	2.43	SGP
CHPL	470	SGP	25A	3950	19.2	SGP
CHPL	470	SGP	25A	1950	1.7	SGP
CHPL	470	SGP	25A	1190	30	SGP
CHPL	470	SGP	25A	772	2	SGP
CHPL	470	SGP	25A	752	2	SGP
CHPL	470	SGP	25A	497	2	SGP
CHPL	470	SGP	20A	100	5	SGP
CHPL	470	SGP	20A	70	2	SGP
CHPL	470	SGP	15A	986	28	SGP
CHPL	470	SGP	15A	886	13	SGP
CHPL	470	SGP	15A	690	4	SGP
CHPL	470	SGP	15A	556	4	SGP
CHPL	470	SGP	15A	390	4	SGP
CHPL	470	SGP	15A	380	4	SGP
CHPL	470	SGP	15A	105	4	SGP
CHPL	470	SGP	25A	38.1	4	SGP
CHPL	470	SGP	15A	38.1	8	SGP
CHPL	470	BN	M22	55	16.5	SS41
CHPL	470	BN	M16	40	11.9	SS41
CHPL	470	BN	M10	30	10.2	SS41
CHPL	470	W	18用		13.6	SS41
CHPL	470	割ピン	φ6.5	40	2	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41
CHPL	470	打込式Anc	M16	125	48	SS41

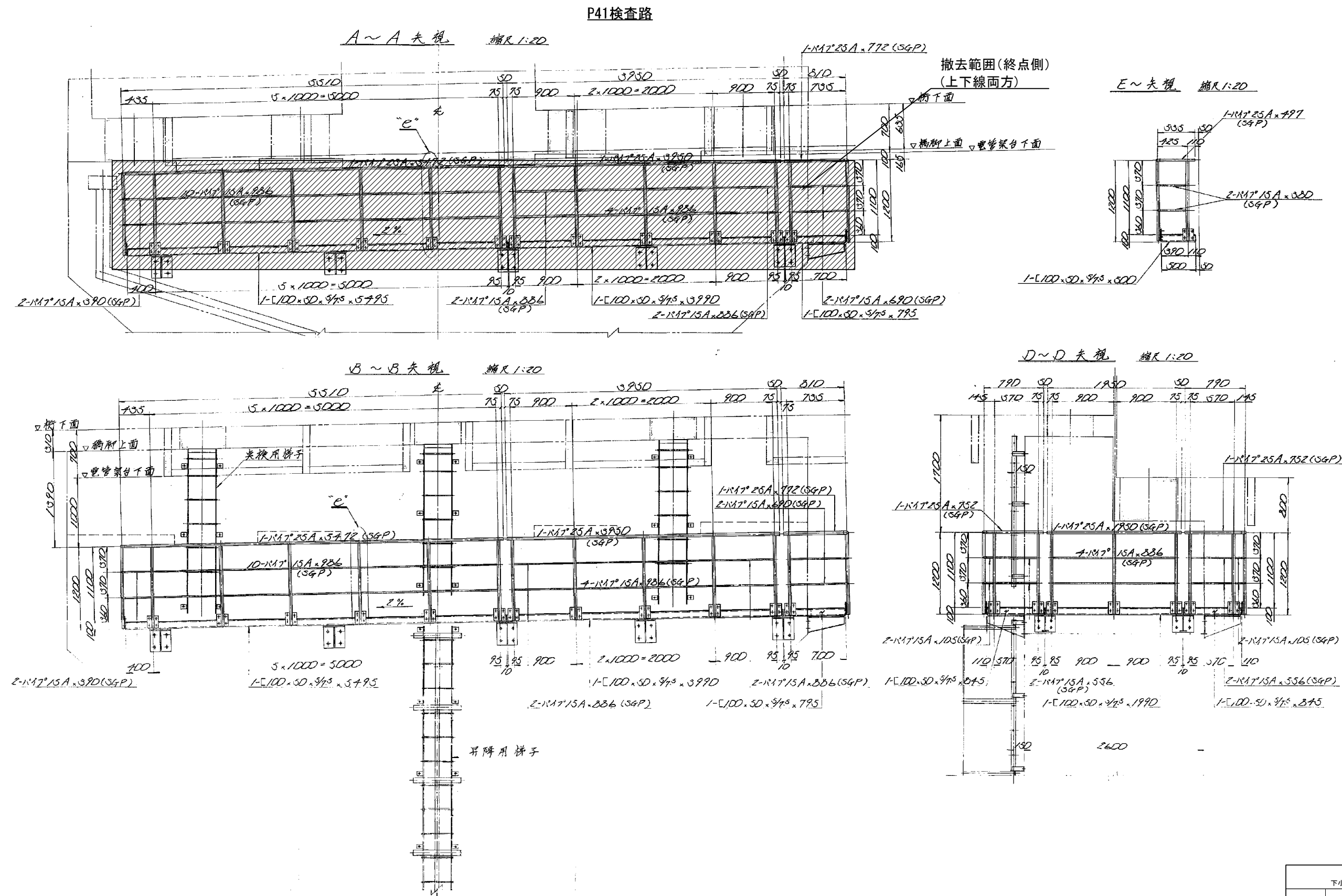
搬入鋼材重量集計表 (P41,44)										
No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	材 質	ネット
1	CHPL	470	3.2	5465	26.790	68.8	1	69	SS400	100
2	CHPL	470		4055	26.790	51.1	1	51	SS400	100
3	CHPL	470	3.2	3960	26.790	49.9	2	100	SS400	100
4	CHPL	470	3.2	1960	26.790	24.7	1	25	SS400	100
5	CHPL	470	3.2	1110	26.790	14.0	2	28	SS400	100
6	CHPL	470	3.2	750	26.790	9.44	1	9	SS400	100
7	CHPL	470	3.2	640	26.790	8.06	1	8	SS400	100
8	PL	300	9	515	21.2	10.9	10	109	SS400	100
9	PL	300	9	330	21.2	7.00	10	70	SS400	100
10	PL	280	9	526	19.8	10.4	12	125	SS400	100
11	PL	240	9	300	17.0	5.10	2	10	SS400	100
12	PL	200	9	515	14.1	7.26	2	15	SS400	100
13	PL	200	9	470	14.1	6.63	6	40	SS400	100
14	PL	160	9	180	11.3	2.03	66	134	SS400	100
15	PL	φ34	3.2	34	0.9	0.0306	14	1	SS400	78
16	FB	90	9	525	6.4	3.36	2	7	SS400	100
17	FB	90	9	470	6.4	3.01	12	36	SS400	100
18	FB	75	6	490	3.5	1.72	21	36	SS400	100
19	FB	50	6	580	2.4	1.39	2	3	SS400	100
20	FB	50	6	400	2.4	0.96	2	2	SS400	100
21	FB	50	6	380	2.4	0.912	2	2	SS400	100
22	FB	50	6	368	2.4	0.883	2	2	SS400	100
23	FB	50	6	200	2.4	0.48	1	1	SS400	100
24	L形	75×75	6	490	6.850	3.36	12	40	SS400	100
25	溝形	100×50	5/7.5	5495	9.360	51.4	4	206	SS400	100
26	溝形	100×50	5/7.5	3990	9.360	37.3	4	149	SS400	100
27	溝形	100×50	5/7.5	1990	9.360	18.6	2	37	SS400	100
28	溝形	100×50	5/7.5	845	9.360	7.91	2	16	SS400	100
29	溝形	100×50	5/7.5	795	9.360	7.44	2	15	SS400	100
30	溝形	100×50	5/7.5	500	9.360	4.68	2	9	SS400	100
31	溝形	100×50	5/7.5	395	9.360	3.70	2	7	SS400	100
32	溝形	100×50	5/7.5	345	9.360	3.23	2	6	SS400	100
33	H形	100×100	6/8	760	16.900	12.8	2	26	SS400	100
34	R・B	φ19		670	2.230	1.49	1	1	SR235	100
35	R・B	φ16		500	1.580	0.79	1	1	SR235	100
36	SGP	25A		5472	2.430	13.3	2	27	SGP	100
37	SGP	25A		3950	2.430	9.60	2	19	SGP	100
38	SGP	25A		1950	2.430	4.74	1	5	SGP	100
39	SGP	25A		1190	2.430	2.89	33	95	SGP	100
40	SGP	25A		772	2.430	1.88	2	4	SGP	100
41	SGP	25A		752	2.430	1.83	2	4	SGP	100
42	SGP	25A		497	2.430	1.21	2	2	SGP	100
43	SGP	20A		100	1.680	0.168	5	1	SGP	100
44	SGP	20A		70	1.680	0.118	2	1	SGP	100
45	SGP	15A		986	1.310	1.29	28	36	SGP	100
46	SGP	15A		886	1.310	1.16	12	14	SGP	100
47	SGP	15A		690	1.310	0.904	4	4	SGP	100
48	SGP	15A		556	1.310	0.728	4	3	SGP	100
49	SGP	15A		390	1.310	0.511	4	2	SGP	100
50	SGP	15A		380	1.310	0.498	4	2	SGP	100
51	SGP	15A		105	1.310	0.138	4	1	SGP	100
52	90° エルボ	25A		38.1	2.430	0.0926	4	1	SGP	
53	90° エルボ	15A		38.1	1.310	0.0499	8	1	SGP	
54	BN	M22		55	0.357	48	17	SS400		
55	BN	M16		40	0.149	132	20	SS400		
56	BN	M10		30	0.049	210	10	SS400		
57	W	18用			0.015	2	1	SS400		
58	割ピン	φ6.5		40.0	0.012	2	1	SWRM3		
59	打込式Anc	M16		125.0	0.330	48	16	SS400		
合 計									1683	kg

【撤去重量の算出】
検査路全面積 10.3 x 0.5 x 2 +
(3.7 - 0.5 x 2) x 0.5 = 11.65 m²
検査路撤去面積 10.3 x 0.5 +
(0.845 - 0.5) x 0.5 = 5.32 m²

【撤去面積比】
5.32 / 11.65 = 0.457 =46%
【検査路重量】
1683kg x 46% = 774kg

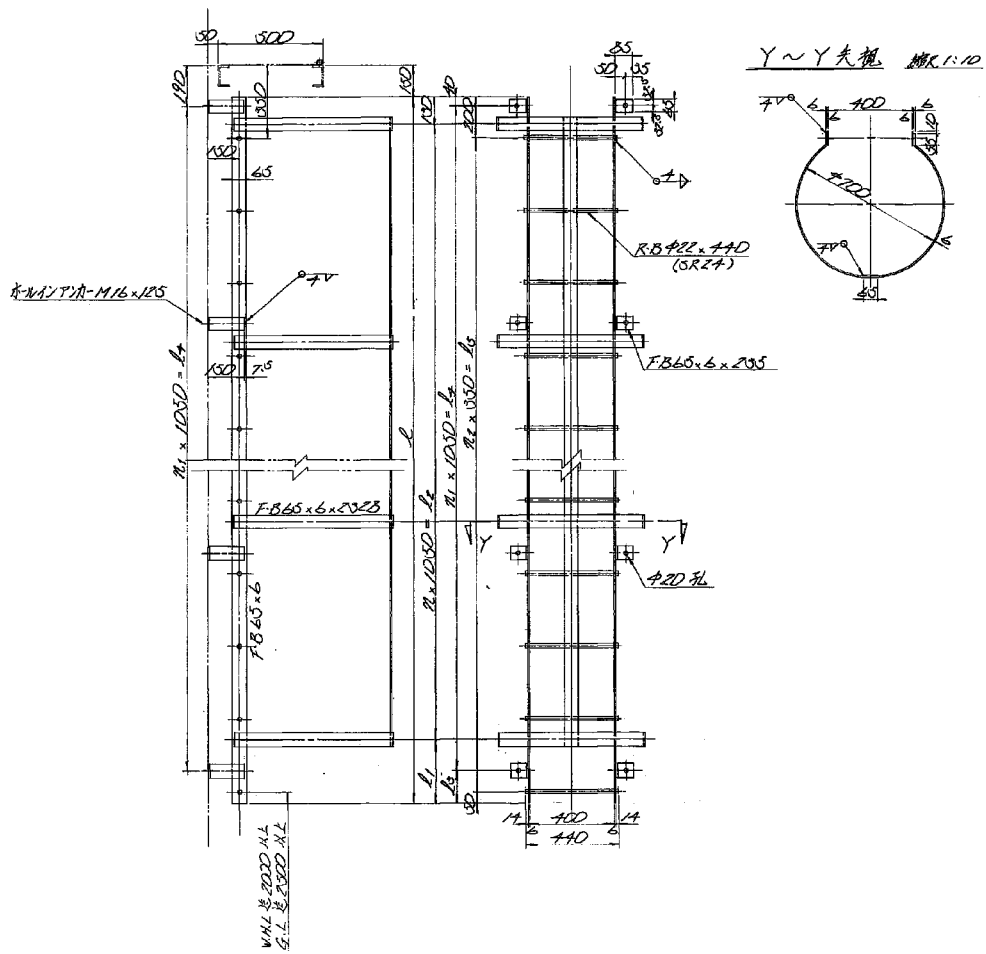
項目	数量(kg)	備考
検査路 新設工	2,339	
検査路 撤去工(発生材)	881	

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 1 橋脚 検査路撤去図（その１）			
縮 尺	図 示	図面番号	55 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P41橋脚 検査路撤去図（その2）		
	縮 尺	図 示	図面番号 56 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

P 4 1 点検用梯子



撤去鋼材重量集計表（P41上り、P44下り点検用梯子TYPE-4）										
No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	材 質	ネット
①	FB	65	6	4800	3.1	14.9	2	30	SS400	100
②	FB	65	6	4265	3.1	13.2	1	13	SS400	100
③	FB	65	6	2328	3.1	7.22	5	36	SS400	100
④	FB	65	6	235	3.1	0.729	10	7	SS400	100
⑤	R・B	φ22		440	2.980	1.31	14	18	SR235	100
⑥	打込式Anc	M16		125		0.330	10	3	SS400	100
合 計								107	kg	

昇降用梯子寸法表

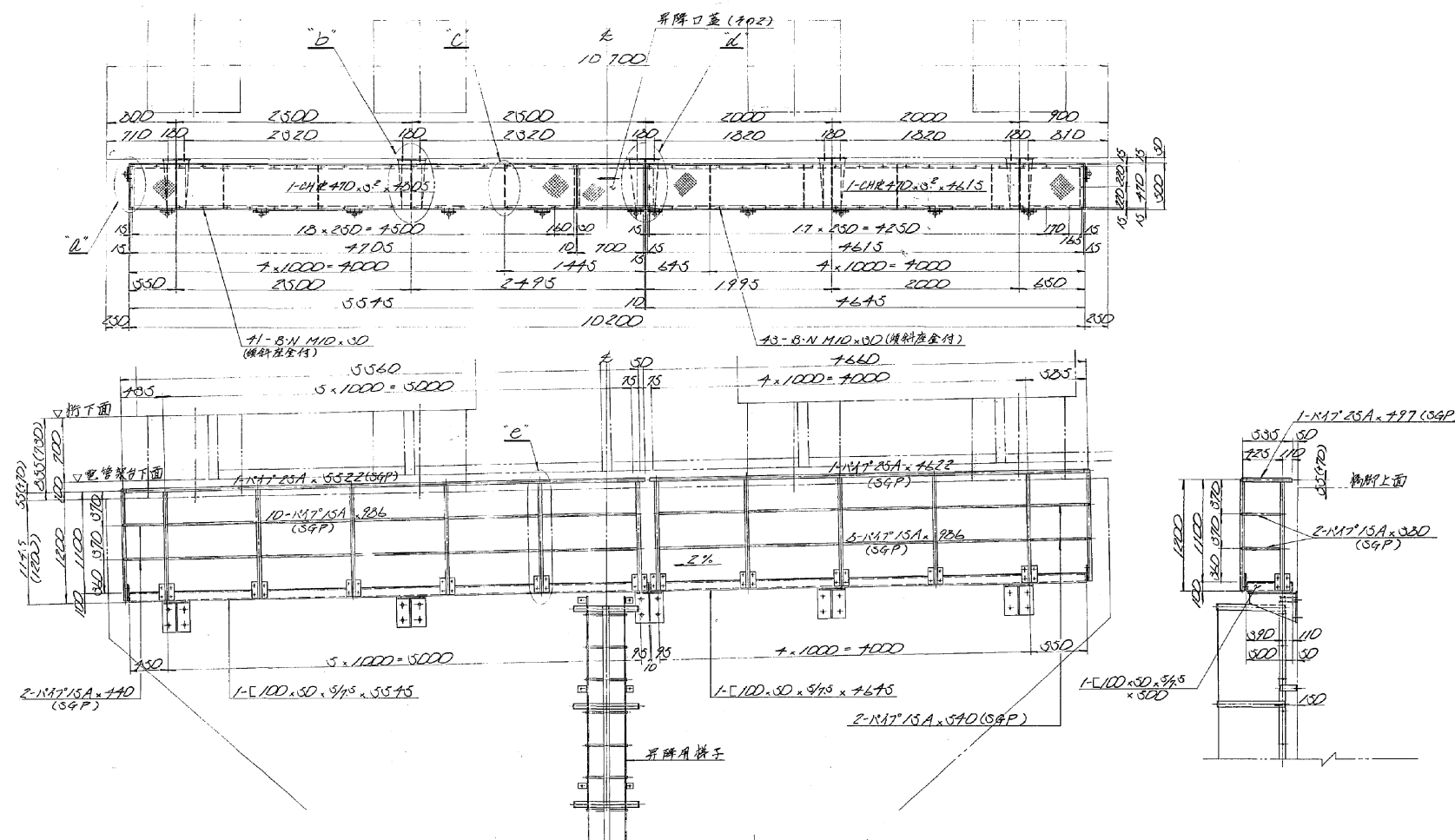
記号	TYPE-1	TYPE-2	TYPE-3	TYPE-4	TYPE-5	TYPE-6
橋脚 NO.	P36 P34(上り線) P37(下り線)	P34(下り線) P37(上り線)	P37,38,39	P41,44,50,52 P39,55,56,58 P39,63	P39,70,72,73 P45,76,78,79 P41,64	P47,60,62 P45
数量	4	2	6	20	20	5
h	2700	2800	4450	4800	5500	5850
h1	470	570	120	470	120	470
h2	2	2	4	4	5	5
h3	2100	2100	4200	4200	5250	5250
h4	560	660	210	560	210	560
h5	2	2	4	4	5	5
h6	2100	2100	4200	4200	5250	5250
h7	7	7	12	13	15	16
h8	2450	2450	4200	4550	5250	5600

昇降用梯子(TYPE-4)材料表

種類	断面	長さ	数量	重量(t)	材質
F.B.	65x6	4800	2	29.7	SS41
"	"	4265	1	13.2	"
"	"	2328	5	35.6	"
"	"	235	10	7.2	"
R.B.	φ22	440	14	18.4	SR24
Anc.	M16	125	10	0.1	SS41
1基分合計重量				106.5kg	
20基分合計重量				2136.0kg	

注記)
1. マイクロ図の材料表記(幅・厚さ・長さ)を基に撤去重量を再計算しているため、重量は同一ではない。

材料表



规格	断面	长度	数量	重量(kg)	材質
GHK	170 × 3.5	1505	1	40.2	SS41
"	"	1615	1	53.2	"
"	"	700	1	8.8	"
"	"	"	"	127.4	"
K	300 × 9	515	5	57.6	SS41
"	"	300	5	51.0	"
"	220 × 9	526	5	52.0	"
"	100 × 9	170	4	26.6	"
"	160 × 9	120	26	52.9	"
"	135 × 5.2	"	7	0.1	"
"	"	"	"	212.0	"
FB	90 × 9	1112	2	6.0	SS41
"	75 × 6	1120	3	10.8	"
"	50 × 6	480	2	2.0	"
"	"	100	1	0.9	"
"	"	320	2	1.8	"
"	"	263	2	1.7	"
"	"	300	1	0.5	"
"	"	"	"	27.5	"
L	75 × 75 × 6	1120	2	6.7	SS41
C	100 × 50 × 5 1/2	5515	2	103.8	SS41
"	"	7615	2	87.0	"
"	"	400	2	9.4	"
"	"	"	"	200.2	"
R.B	φ19	730	1	1.6	SR24
"	φ16	500	1	0.8	"
"	"	"	"	2.4	"
K17	25A	5322	1	13.7	SGP
"	"	4622	1	11.2	"
"	"	1120	13	37.6	"
"	"	197	2	2.4	"
"	15A	226	13	23.2	"
"	"	540	2	1.7	"
"	"	440	2	1.2	"
"	"	320	7	2.0	"
"	"	200	7	1.2	"
"	20A	100	7	1.2	"
"	"	"	"	29.6	"
1024	25A	33.1	2	0.9	SGP
"	15A	"	2	0.9	"
"	"	"	"	0.6	"
B.N	M22	50	20	4.9	SS41
"	M16	40	52	6.7	"
"	M12	30	33	4.0	"
"	"	"	"	17.6	"
144	M16	125	20	6.2	SS41
144金	13用	"	2	—	SS41
144金	φ6.5	40	2	—	SWRM5
1 基合計重量 700.4					kg
2 基合計重量 5603.2					kg

- 注意:
- 1) 材料完全材料完全 $SSA = 1$ である。
- 2) 材料完全 \rightarrow 溶融凝固材料完全の中心に (材料完全量 $SSH = 64.4 \times 10^3 \text{ HOF} = 55 \text{ Kcal}$ $SSH = 64.4 \times 10^3 \text{ HOF} = 55 \text{ Kcal}$ とする)。
- 3) 詳細は別図の詳細図面を参照のこと。
- 4) P_{22} , P_{62} の 2 列線 P_{22} , P_{62} の 1: 線速度は 0.8 m/s である。注意のこと。
- 5) 1) 内寸法 P_{22} , P_{62} を示すこと。
- 6) 本図の重量は每部 4 g である。
- 7) 本図は 1 枚の図である。図 1 のこと。
- 8) 1 枚の部詳細図は別図 (0106) を参照のこと。

撤去鋼材重量集計表 (P42, P43)

[illegible]

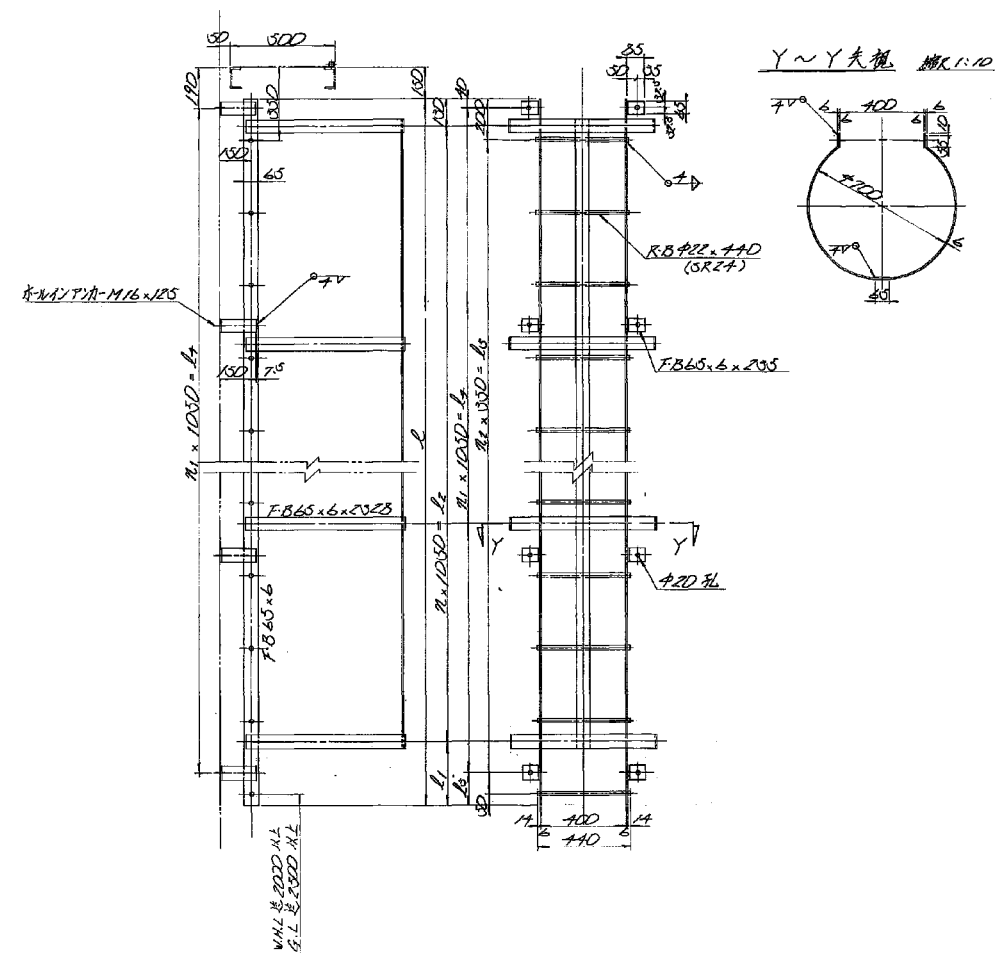
注記)

1. マイクロ図の材料表記(幅・厚さ・長さ)を基に撤去重量を再計算しているため、重量は同一ではない。
2. 撤去鋼材重量表のCHPLの単位重量は、m² 当たりとする。

項 目		数量(kg)	備考
検査路 新設工	新 規	8,996	
検査路 撤去工(発生材)	撤去・処分材	837	

東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 検査路撤去図（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	58 / 144
設計会社名	北武コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

P 4 2 点検用梯子



撤去鋼材重量集計表 (P42, P43点検用梯子TYPE-5)										
No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	材 質	ネット
①	FB	65	6	5500	3.1	17.1	2	34	SS400	100
②	FB	65	6	5315	3.1	16.5	1	17	SS400	100
③	FB	65	6	2328	3.1	7.22	6	43	SS400	100
④	FB	65	6	235	3.1	0.729	12	9	SS400	100
⑤	R・B	φ22		440	2.980	1.31	16	21	SR235	100
⑥	打込式Anc	M16		125		0.330	12	4	SS400	100
合 計								128	kg	

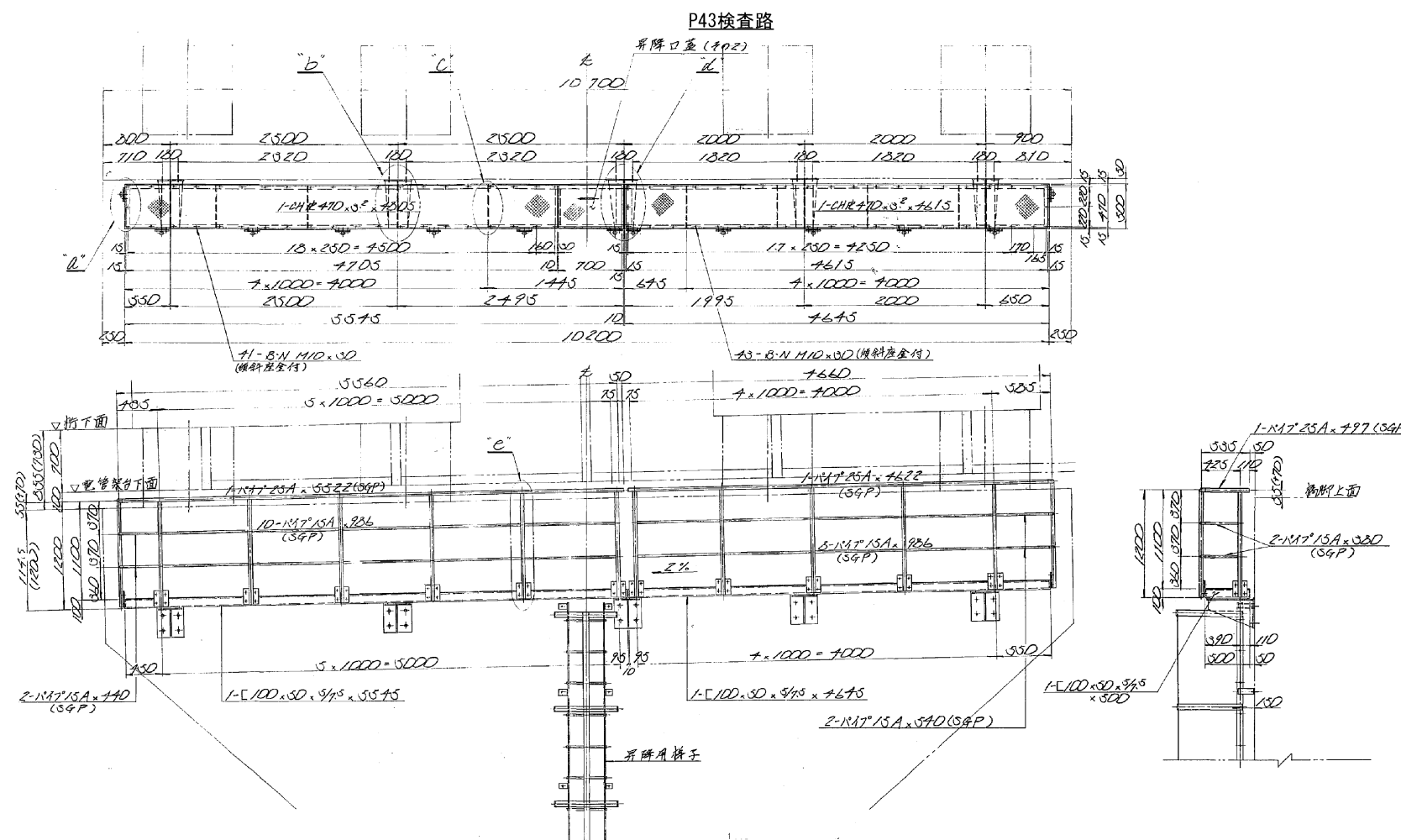
昇降用梯子寸法表

記号	TYPE-1	TYPE-2	TYPE-3	TYPE-4	TYPE-5	TYPE-6
橋脚 NO.	P36 P54(上)線) P57(下)線)	P54(上)線) P57(下)線)	P37,50,51	P41,44,50,52 P39,55,56,58 P39,63	P39,70,72,73 P45,76,78,79 P61,64	P47,60,62 P65
数量	4	2	6	20	20	3
ℓ	2700	2800	4450	4800	5500	5850
ℓ1	470	570	120	470	120	470
ℓ	2	2	4	4	5	5
ℓ2	2100	2100	4200	4600	5250	5250
ℓ3	560	660	210	560	210	560
ℓ1	2	2	4	4	5	5
ℓ4	2100	2100	4200	4200	5250	5250
ℓ5	7	7	12	13	15	16
ℓ6	2450	2450	4200	4550	5250	5600

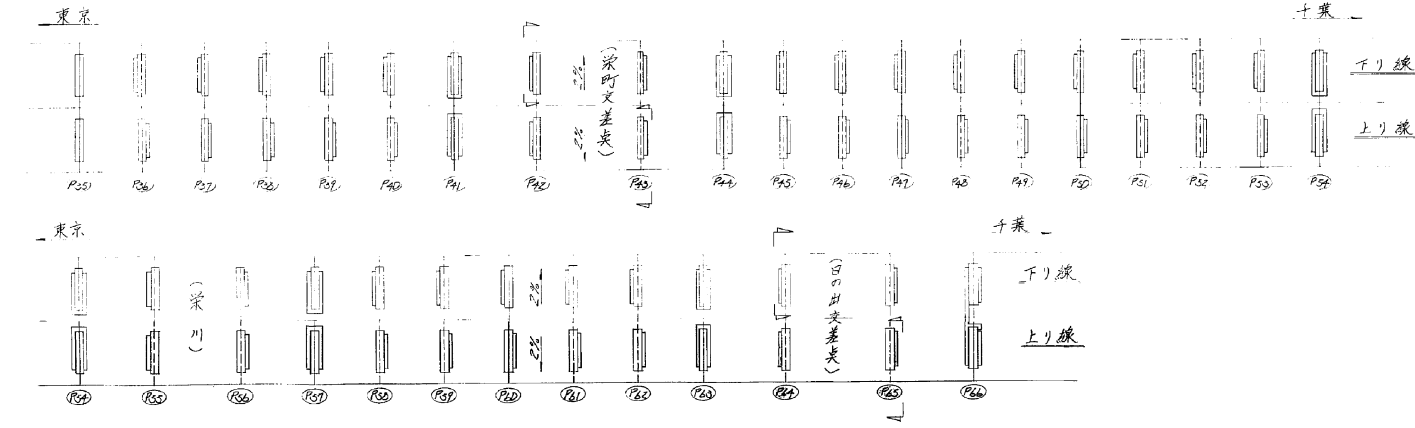
昇降用梯子(TYPE-5)材料表

種別	断面	長さ	数量	重量(kg)	材質
F.B	65×6	5500	2	33.7	SS41
"	"	5315	1	16.5	"
"	"	2328	6	12.7	"
"	"	235	12	3.6	"
				101.6	
R.B	φ22	440	16	21.0	SR24
R.B Anc	M16	125	12	3.9	SS41
				126.3	
				2526.0	

注記)
1. マイクロ図の材料表記(幅・厚さ・長さ)を基に撤去重量を再計算しているため、重量は同一ではない。



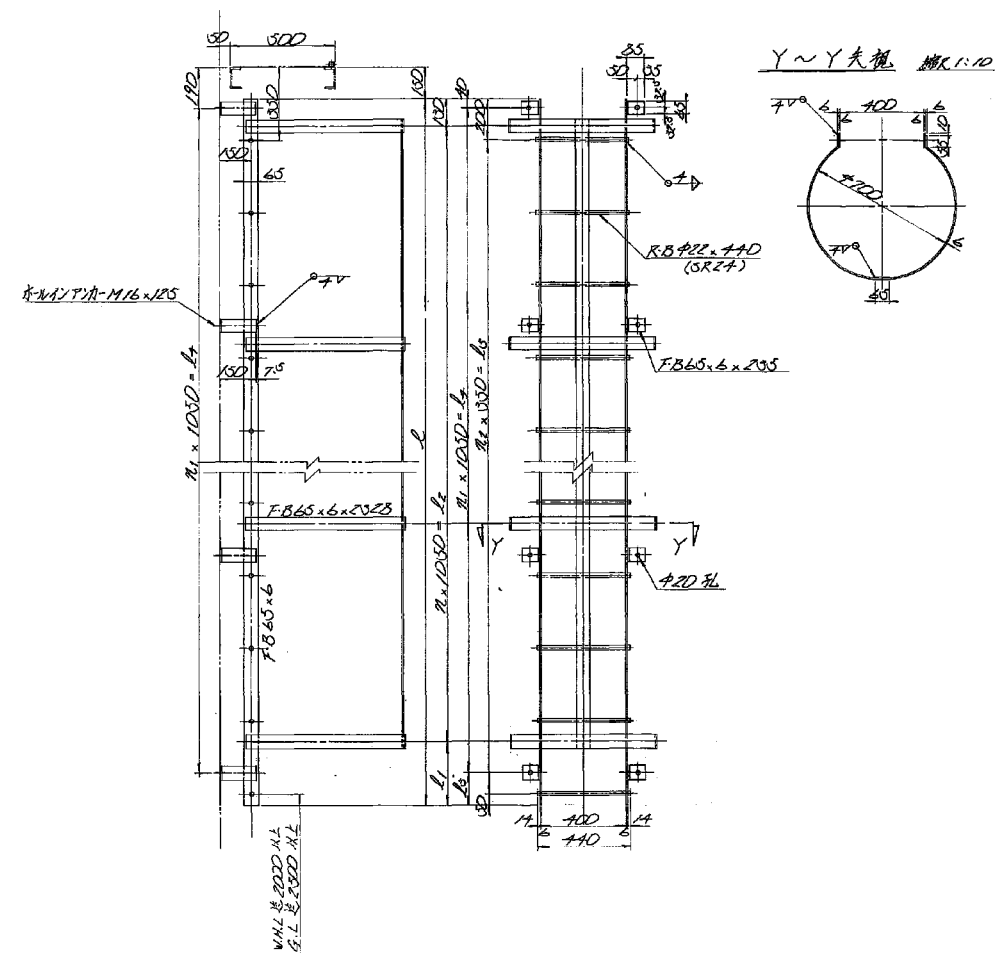
全体配置図



材料表

種別	断面	長さ	数量	重量(kg)	材質
CHPL	170×3.2	1200	1	40.6	SS41
"	"	1400	1	53.5	"
"	"	1600	1	66.4	"
"	"	1800	1	79.3	"
"	"	2000	1	92.2	"
"	"	2200	1	105.1	"
"	"	2400	1	118.0	"
"	"	2600	1	130.9	"
"	"	2800	1	143.8	"
"	"	3000	1	156.7	"
"	"	3200	1	169.6	"
"	"	3400	1	182.5	"
"	"	3600	1	195.4	"
"	"	3800	1	208.3	"
"	"	4000	1	221.2	"
"	"	4200	1	234.1	"
"	"	4400	1	247.0	"
"	"	4600	1	259.9	"
"	"	4800	1	272.8	"
"	"	5000	1	285.7	"
"	"	5200	1	298.6	"
"	"	5400	1	311.5	"
"	"	5600	1	324.4	"
"	"	5800	1	337.3	"
"	"	6000	1	350.2	"
"	"	6200	1	363.1	"
"	"	6400	1	376.0	"
"	"	6600	1	388.9	"
"	"	6800	1	401.8	"
"	"	7000	1	414.7	"
"	"	7200	1	427.6	"
"	"	7400	1	440.5	"
"	"	7600	1	453.4	"
"	"	7800	1	466.3	"
"	"	8000	1	479.2	"
"	"	8200	1	492.1	"
"	"	8400	1	505.0	"
"	"	8600	1	517.9	"
"	"	8800	1	530.8	"
"	"	9000	1	543.7	"
"	"	9200	1	556.6	"
"	"	9400	1	569.5	"
"	"	9600	1	582.4	"
"	"	9800	1	595.3	"
"	"	10000	1	608.2	"
"	"	10200	1	621.1	"
"	"	10400	1	634.0	"
"	"	10600	1	646.9	"
"	"	10800	1	659.8	"
"	"	11000	1	672.7	"
"	"	11200	1	685.6	"
"	"	11400	1	698.5	"
"	"	11600	1	711.4	"
"	"	11800	1	724.3	"
"	"	12000	1	737.2	"
"	"	12200	1	750.1	"
"	"	12400	1	763.0	"
"	"	12600	1	775.9	"
"	"	12800	1	788.8	"
"	"	13000	1	801.7	"
"	"	13200	1	814.6	"
"	"	13400	1	827.5	"
"	"	13600	1	840.4	"
"	"	13800	1	853.3	"
"	"	14000	1	866.2	"
"	"	14200	1	879.1	"
"	"	14400	1	892.0	"
"	"	14600	1	904.9	"
"	"	14800	1	917.8	"
"	"	15000	1	930.7	"
"	"	15200	1	943.6	"
"	"	15400	1	956.5	"
"	"	15600	1	969.4	"
"	"	15800	1	982.3	"
"	"	16000	1	995.2	"
"	"	16200	1	1008.1	"
"	"	16400	1	1021.0	"
"	"	16600	1	1033.9	"
"	"	16800	1	1046.8	"
"	"	17000	1	1059.7	"
"	"	17200	1	1072.6	"
"	"	17400	1	1085.5	"
"	"	17600	1	1098.4	"
"	"	17800	1	1111.3	"
"	"	18000	1	1124.2	"
"	"	18200	1	1137.1	"
"	"	18400	1	1150.0	"
"	"	18600	1	1162.9	"
"	"	18800	1	1175.8	"
"	"	19000	1	1188.7	"
"	"	19200	1	1201.6	"
"	"	19400	1	1214.5	"
"	"	19600	1	1227.4	"
"	"	19800	1	1240.3	"
"	"	20000	1	1253.2	"
"	"	20200	1	1266.1	"
"	"	20400	1	1279.0	"
"	"	20600	1	1291.9	"
"	"	20800	1	1304.8	"
"	"	21000	1	1317.7	"
"	"	21200	1	1330.6	"
"	"	21400	1	1343.5	"
"	"	21600	1	1356.4	"
"	"	21800	1	1369.3	"
"	"	22000	1	1382.2	"
"	"	22200	1	1395.1	"
"	"	22400	1	1408.0	"
"	"	22600	1	1420.9	"
"	"	22800	1	1433.8	"
"	"	23000	1	1446.7	"
"	"	23200	1	1459.6	"
"	"	23400	1	1472.5	"
"	"	23600	1	1485.4	"
"	"	23800	1	1498.3	"
"	"	24000	1	1511.2	"
"	"	24200	1	1524.1	"
"	"	24400	1	1537.0	"
"	"	24600	1	1549.9	"
"	"	24800	1	1562.8	"
"	"	25000	1	1575.7	"
"	"	25200	1	1588.6	"
"	"	25400	1	1601.5	"
"	"	25600	1	1614.4	"
"	"	25800	1	1627.3	"
"	"	26000	1	1640.2	"
"	"	26200	1	1653.1	"
"	"	26400	1	1666.0	"
"	"	26600	1	1678.9	"
"	"	26800	1	1691.8	"
"	"	27000	1	1704.7	"
"	"	27200	1	1717.6	"
"	"	27400	1	1730.5	"
"	"	27600	1	1743.4	"
"	"	27800	1	1756.3	"
"	"	28000	1	1769.2	"
"	"	28200	1	1782.1	"
"	"	28400	1	1795.0	"
"	"	28600	1	1807.9	"
"	"	28800	1	1820.8	"
"	"	29000	1	1833.7	"
"	"	29200	1	1846.6	"
"	"	29400	1	1859.5	"
"	"	29600	1	1872.4	"
"	"	29800	1	1885.3	"
"	"	30000	1	1898.2	"
"	"	30200	1	1911.1	"
"	"	30400	1	1924.0	"
"	"	30600	1	1936.9	"
"	"	30800	1	1949.8	"
"	"	31000	1	1962.7	"
"	"	31200	1	1975.6	"
"	"	31400	1	1988.5	"
"	"	31600	1	2001.4	"
"	"	31800	1	2014.3	"
"	"	32000	1	2027.2	"
"	"	32200	1	2040.1	"
"	"	32400	1	2053.0	"
"	"	32600	1	2065.9	"
"	"	32800	1	2078.8	"
"	"	33000	1	2091.7	"
"	"	33200	1	2104.6	"
"	"	33400	1	2117.5	"
"	"	33600	1	2130.4	"
"	"	33800	1	2143.3	"
"	"	34000	1	2156.2	"
"	"	34200	1	2169.1	"
"	"	34400	1	2182.0	"
"	"	34600	1	2194.9	"
"	"	34800	1	2207.8	"
"	"	35000	1	2220.7	"
"	"	35200	1	2233.6	"
"	"	35400	1	2246.5	"
"	"	35600	1	2259.4	"
"	"	35800	1	2272.3	"
"	"	36000	1	2285.2	"
"	"	36200	1	2298.1	"
"	"	36400	1	2311.0	"
"	"	36600	1	2323.9	"
"	"	36800	1	2336.8	"
"	"	37000	1	2349.7	"
"	"	37200	1	2362.6	"
"	"	37400	1	2375.5	"
"	"	37600	1	2388.4	"
"	"	37800	1	2401.3	"
"	"	38000	1	2414.2	"
"	"	38200	1	2427.1	"
"	"	38400	1	2440.0	"
"	"	38600	1	2452.9	"
"	"	38800	1	2465.8	"
"	"	39000	1	2478.7	"
"	"	39200	1	2491.6	"
"	"	39400	1	2504.5	"
"	"	39600	1	2517.4	"
"	"	39800	1	2530.3	"
"	"	40000	1	2543.2	"
"	"	40200	1	2556.1	"
"	"	40400	1	2569.0	"
"	"	40600	1	2581.9	"
"	"	40800	1	2594.8	"
"	"	41000	1	2607.7	"
"	"	41200	1	2620.6	"
"	"	41400	1	2633.5	"
"	"	41600	1	2646.4	"
"	"	41800	1	2659.3	"
"	"	42000	1	2672.2	"
"	"	42200	1	2685.1	"
"	"	42400	1	2698.0	"
"	"	42600	1	2710.9	"
"	"	42800	1	2723.8	"
"	"	43000	1	2736.7	"
"	"	43200	1	2749.6	"
"	"	43400	1	2762.5	"
"	"	43600	1	2775.4	"
"	"	43800	1	2788.3	"
"	"	44000	1	2801.2	"
"	"	44200	1	2814.1	"
"	"	44400	1	2827.0	"
"	"	44600	1	2839.9	"
"	"	44800	1	2852.8	"
"	"	45000	1	2865.7	"
"	"	45200	1	2878.6	"
"	"	45400	1	2891.5	"
"	"	45600	1	2904.4	"
"	"	45800	1	2917.3	"
"	"	46000	1	2930.2	"
"	"	46200	1	2943.1	"
"	"	46400	1	2956.0	"
"	"	46600	1	2968.9	"
"	"	46800	1	2981.8	"
"	"	47000	1	2994.7	"
"	"	47200	1	3007.6	"
"	"	47400	1	3020.5	"
"	"	47600	1	3033.4	"
"	"	47800	1	3046.3	"
"	"	48000	1	3059.2	"
"	"	48200	1	3072.1	"
"	"	48400	1	3085.0	"
"	"	48600	1	3097.9	"
"	"	48800	1	3110.8	"
"	"	49000	1	3123.7	"
"	"	49200	1	3136.6	"
"	"	49400	1	3149.5	"
"	"	49600	1	3162.4	"
"	"	49800	1	3175.3	"
"	"	50000	1	3188.2	"
"	"	50200	1	3201.1	"
"	"	50400	1	3214.0	"
"	"	50600	1	3226.9	"
"	"	50800	1	3239.8	"
"	"	51000	1	3252.7	"
"	"	51200	1	3265.6	"
"	"	51400	1	3278.5	"
"	"	51600	1	3291.4	"
"	"	51800	1	3304.3	"
"	"	52000	1	3317.2	"
"	"	52200	1	3330.1	"
"	"	52400	1	3343.0	"
"	"	52600	1	3355.9	"
"	"	52800	1	3368.8	"
"	"	53000	1	3381.7	"
"	"	53200	1	3394.6	"
"	"	53400	1	3407.5	"
"	"	53600	1	3420.4	"
"	"	53800	1	3433.3	"
"	"	54000	1	3446.2	"
"	"	54200	1	3459.1	"
"	"	54400	1	3472.0	"
"	"	54600	1	3484.9	"
"	"	54800	1	3497.8	"
"	"	55000	1	3510.7	"
"	"	55200	1	3	

P 4 3 点検用梯子



撤去鋼材重量集計表 (P42, P43点検用梯子TYPE-5)

No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	材 質	ネット
①	FB	65	6	5500	3.1	17.1	2	34	SS400	100
②	FB	65	6	5315	3.1	16.5	1	17	SS400	100
③	FB	65	6	2328	3.1	7.22	6	43	SS400	100
④	FB	65	6	235	3.1	0.729	12	9	SS400	100
⑤	R・B	φ22		440	2.980	1.31	16	21	SR235	100
⑥	打込式Anc	M16		125		0.330	12	4	SS400	100
合 計										128 kg

昇降用梯子寸法表

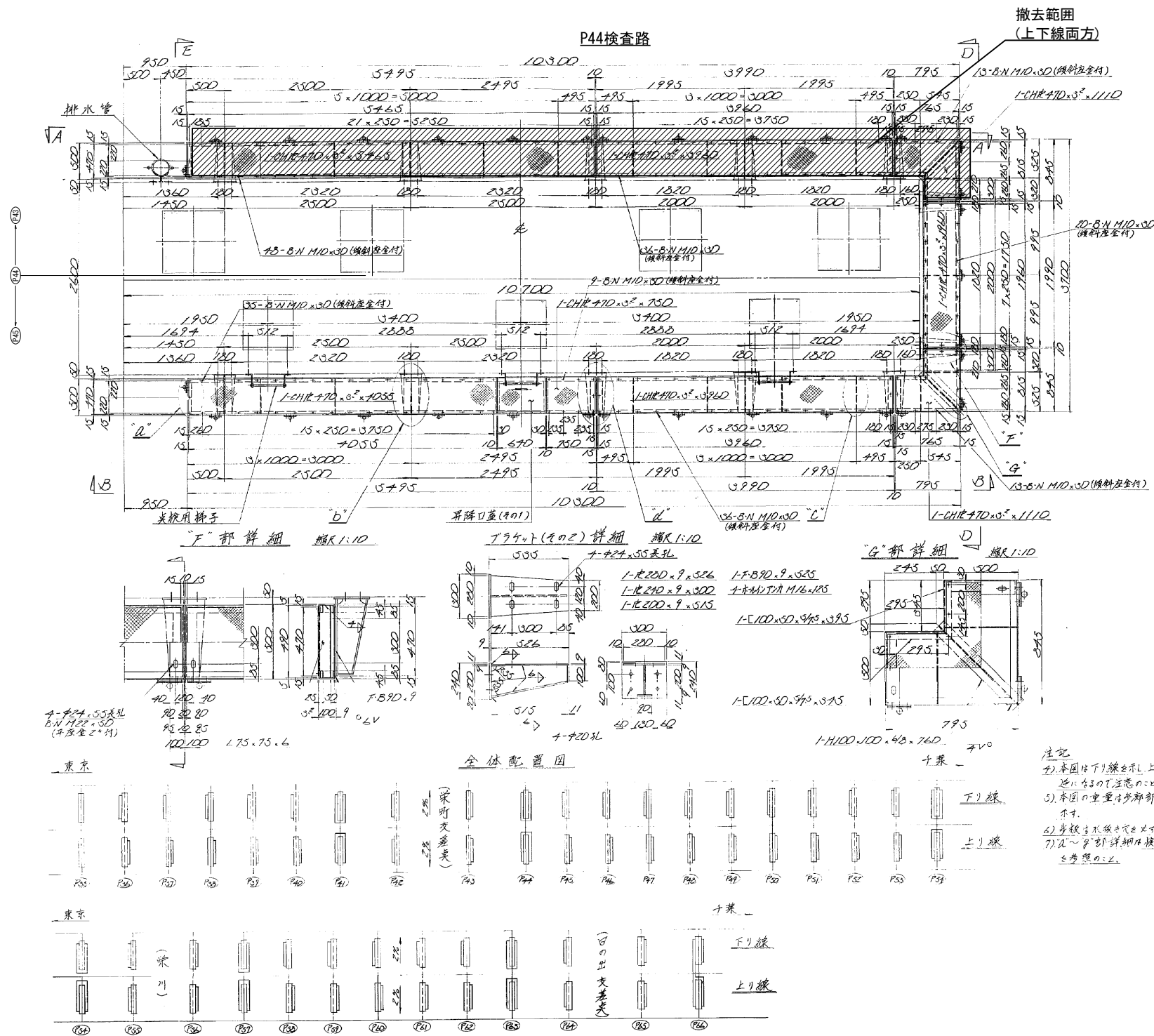
記号	TYPE-1	TYPE-2	TYPE-3	TYPE-4	TYPE-5	TYPE-6
橋脚 NO.	P36 P54(上)線 P57(下)線	P54(上)線 P57(下)線	P37,50,51	P41,44,50,52 P39,55,56,58 P39,63	P39,70,72,73 P45,76,78,79 P61,64	P47,60,62 P65
数量	4	2	6	20	20	3
l	2700	2800	4450	4800	5500	5850
l1	470	570	120	470	120	470
l2	2	2	4	4	5	5
l3	2100	2100	4200	4600	5250	5250
l3	560	660	210	560	210	560
l1	2	2	4	4	5	5
l4	2100	2100	4200	4200	5250	5250
l5	7	7	12	13	15	16
l6	2450	2450	4200	4550	5250	5600

昇降用梯子(TYPE-5)材料表

種別	断面	長さ	数量	重量(kg)	材質
F.B	65×6	5500	2	33.7	SS41
"	"	5315	1	16.5	"
"	"	2328	6	42.7	"
"	"	235	12	8.6	"
				101.6	
R.B	φ22	440	16	21.0	SR24
打込式Anc	M16	125	12	3.9	SS41
				126.3	
				2526.0	

注記)
1. マイクロ図の材料表記(幅・厚さ・長さ)を基に撤去重量を再計算しているため、重量は同一ではない。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 3 橋脚 検査路撤去図（その2）			
	縮 尺	図 示	図面番号	61 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



材料表

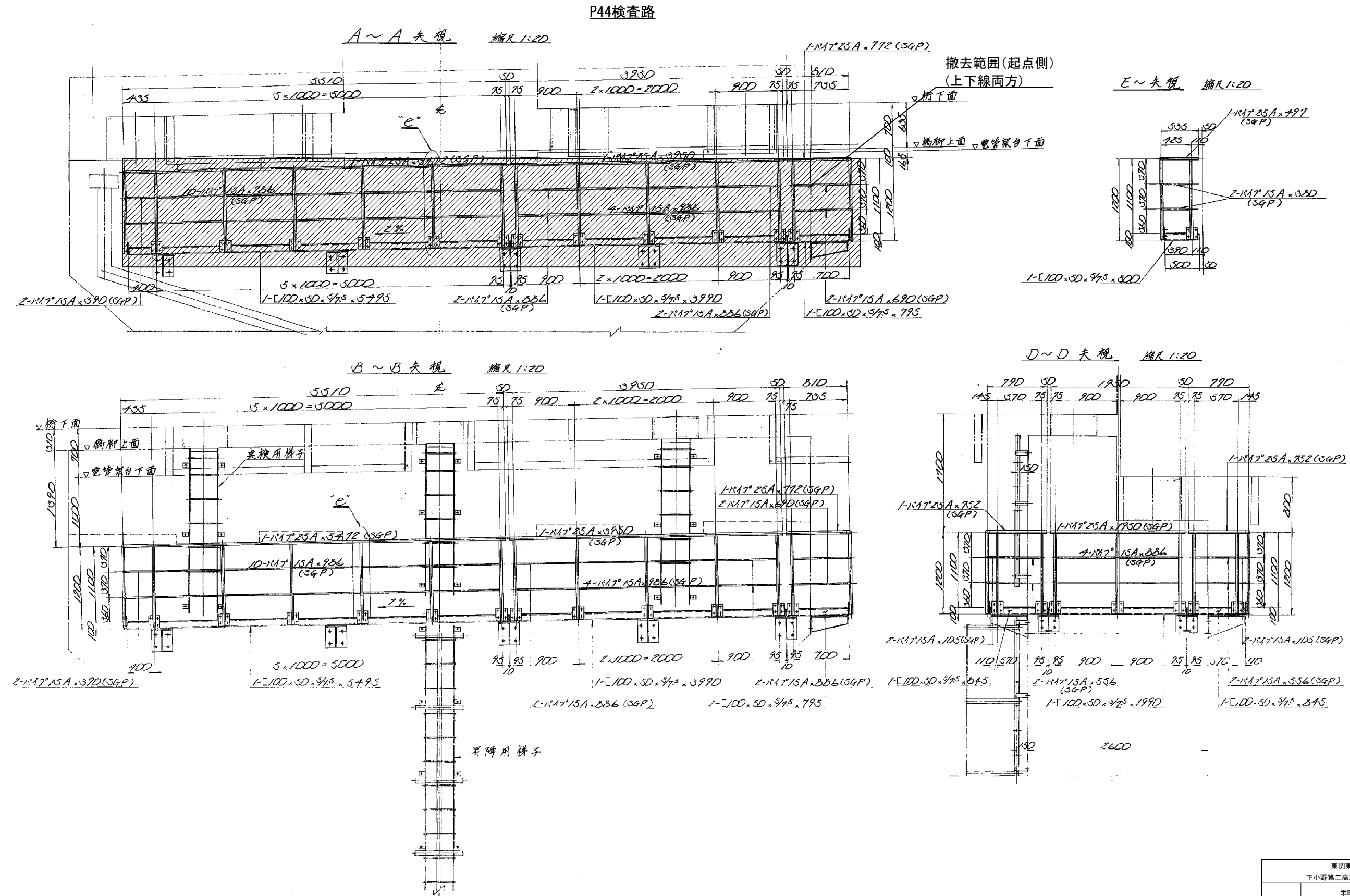
種別	断面	長さ	数量	重量(kg)	材質
CHPL	470 x 3.2	5465	1	68.7	SS400
		4055	1	51.1	SS400
		3960	2	100	SS400
		1960	1	24.7	SS400
		1110	2	28.0	SS400
		750	1	9.3	SS400
		640	1	8.1	SS400
				590.2	SS400
PL	300 x 9	515	10	109.7	SS400
		330	10	62.9	SS400
	280 x 9	526	12	125.7	SS400
	240 x 9	300	2	10.2	SS400
	200 x 9	515	2	15.4	SS400
		470	6	40.3	SS400
	160 x 9	480	2	10.2	SS400
	160 x 9	380	2	8.0	SS400
	160 x 9	368	2	7.7	SS400
	160 x 9	200	1	1.7	SS400
				87.5	SS400
				40.3	SS400
F.B	70 x 9	325	2	6.7	SS400
		470	12	35.3	SS400
	75 x 6	480	2	16.3	SS400
	80 x 6	480	2	17.9	SS400
		400	2	1.9	SS400
		380	2	1.8	SS400
		368	2	1.7	SS400
		200	1	0.3	SS400
				87.5	SS400
L	75 x 75 x 6	470	12	40.3	SS400
[100 x 50 x 5/8	5495	4	205.7	SS400
		3970	4	159.4	SS400
		1970	2	57.3	SS400
		245	2	15.3	SS400
		795	2	17.9	SS400
		500	2	9.4	SS400
		385	2	7.7	SS400
		375	2	6.5	SS400
				446.9	SS400
H	100 x 100 x 4/8	760	2	26.1	SS400
R.B	419	470	1	1.5	SR24
	416	500	1	2.0	SR24
				2.3	SR24
NAT	25A	5472	2	26.6	SGP
		3950	2	19.2	SGP
		1930	1	4.7	SGP
		1170	10	95.4	SGP
		775	2	3.3	SGP
		752	2	3.7	SGP
		757	2	3.4	SGP
	50A	100	5	0.8	SGP
		70	2	0.2	SGP
	15A	986	20	36.2	SGP
		886	12	13.9	SGP
		690	4	3.6	SGP
		556	4	2.9	SGP
		370	4	2.0	SGP
		360	4	2.0	SGP
		108	4	0.3	SGP
				219.0	SGP
30mm	25A	30.1	4	0.6	SGP
	15A		3	0.6	SGP
				1.2	SGP
8N	1725	55	40	16.5	SS400
	1716	40	132	16.7	SS400
	1710	30	270	10.5	SS400
				40.6	SS400
平金 板	18用 4.5	40	3	—	SS400
板	1716	125	40	14.0	SS400
				1673.6	SS400
				100.1	SS400

注記

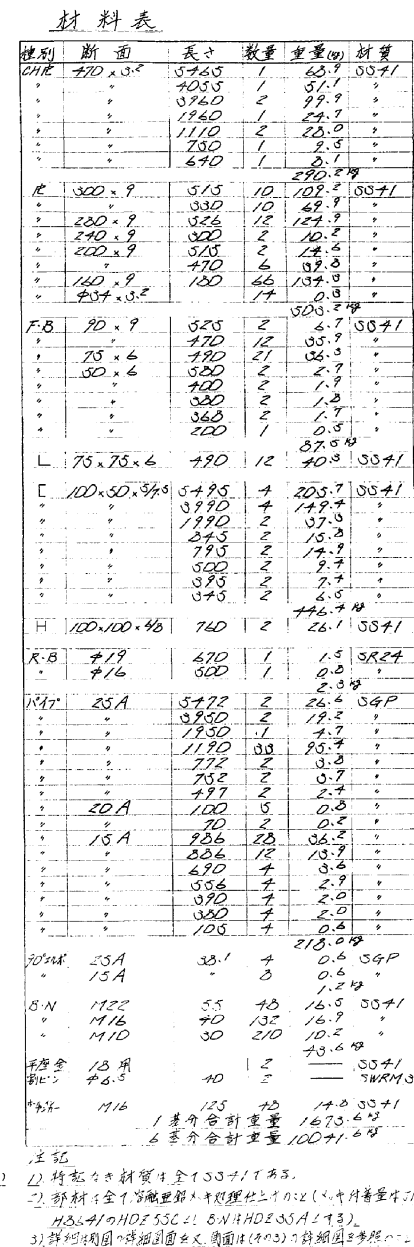
① 材料は全て新製で全てSS400とした。

② 部材は全て常識量で、本図に記した寸法は(1)部材重量を以て、H36x100H455Cに、8N、40H455Cとした。

③ 詳細図面と部材表を以て、部材表(40N)と部材表(8N)を参照。



東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P44橋脚 検査路撤去図（その2）		
	縮尺	図示	図面番号 63 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		



搬去鋼材重量表										
No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	材 質	ネット
1	CHPL	470	3.2	5465	26.790	68.8	1	69	SS400	100
2	CHPL	470	3.2	4055	26.790	51.1	1	51	SS400	100
3	CHPL	470	3.2	3960	26.790	48.9	2	100	SS400	100
4	CHPL	470	3.2	1960	26.790	24.7	1	25	SS400	100
5	CHPL	470	3.2	1110	26.790	14.0	2	28	SS400	100
6	CHPL	470	3.2	750	26.790	9.44	1	9	SS400	100
7	CHPL	470	3.2	640	26.790	8.06	1	8	SS400	100
8	PL	300	9	515	21.2	10.9	10	109	SS400	100
9	PL	300	9	330	21.2	7.00	10	70	SS400	100
10	PL	280	9	526	19.8	10.4	12	125	SS400	100
11	PL	240	9	300	17.0	5.10	2	10	SS400	100
12	PL	200	9	515	14.1	7.26	2	15	SS400	100
13	PL	200	9	470	14.1	6.63	6	40	SS400	100
14	PL	160	9	180	11.3	2.03	66	134	SS400	100
15	PL	φ34	3.2	34	0.9	0.0306	14	1	SS400	78
16	FB	90	9	525	6.4	3.36	2	7	SS400	100
17	FB	90	9	470	6.4	3.01	12	36	SS400	100
18	FB	75	6	490	3.5	1.72	21	36	SS400	100
19	FB	50	6	580	2.4	1.39	2	3	SS400	100
20	FB	50	6	400	2.4	0.96	2	2	SS400	100
21	FB	50	6	380	2.4	0.912	2	2	SS400	100
22	FB	50	6	368	2.4	0.883	2	2	SS400	100
23	FB	50	6	200	2.4	0.48	1	1	SS400	100
24	L形	75×75	6	490	6.850	3.36	12	40	SS400	100
25	溝形	100×50	5/7.5	5495	9.360	51.4	4	206	SS400	100
26	溝形	100×50	5/7.5	3990	9.360	37.3	4	149	SS400	100
27	溝形	100×50	5/7.5	1990	9.360	18.6	2	37	SS400	100
28	溝形	100×50	5/7.5	845	9.360	7.91	2	16	SS400	100
29	溝形	100×50	5/7.5	795	9.360	7.44	2	15	SS400	100
30	溝形	100×50	5/7.5	500	9.360	4.68	2	9	SS400	100
31	溝形	100×50	5/7.5	395	9.360	3.70	2	7	SS400	100
32	溝形	100×50	5/7.5	345	9.360	3.23	2	6	SS400	100
33	H形	100×100	6/8	760	16.900	12.8	2	26	SS400	100
34	R・B	φ19		670	2.230	1.49	1	1	SR235	100
35	R・B	φ16		500	1.580	0.79	1	1	SR235	100
36	SGP	25A		5472	2.430	13.3	2	27	SGP	100
37	SGP	25A		3950	2.430	9.60	2	19	SGP	100
38	SGP	25A		1950	2.430	4.74	1	5	SGP	100
39	SGP	25A		1190	2.430	2.89	33	95	SGP	100
40	SGP	25A		772	2.430	1.88	2	4	SGP	100
41	SGP	25A		752	2.430	1.83	2	4	SGP	100
42	SGP	25A		497	2.430	1.21	2	2	SGP	100
43	SGP	20A		100	1.680	0.168	5	1	SGP	100
44	SGP	20A		70	1.680	0.118	2	1	SGP	100
45	SGP	15A		986	1.310	1.29	28	36	SGP	100
46	SGP	15A		886	1.310	1.16	12	14	SGP	100
47	SGP	15A		690	1.310	0.904	4	4	SGP	100
48	SGP	15A		556	1.310	0.728	4	3	SGP	100
49	SGP	15A		390	1.310	0.511	4	2	SGP	100
50	SGP	15A		380	1.310	0.498	4	2	SGP	100
51	SGP	15A		105	1.310	0.138	4	1	SGP	100
52	90° 工角材	25A		38.1	2.430	0.0926	4	1	SGP	
53	90° 工角材	15A		38.1	1.310	0.0499	8	1	SGP	
54	BN	M22		55		0.357	48	17	SS400	
55	BN	M16		40		0.149	132	20	SS400	
56	BN	M10		30		0.049	210	10	SS400	
57	W	18用				0.015	2	1	SS400	
58	割ピン	φ6.5		40.0		0.012	2	1	SWRM3	
59	打込式Anc	M16		125.0		0.330	48	16	SS400	
合 計									1683	kg

注記)

1. マイクロ図の材料表記(幅・厚さ・長さ)を基に撤去重量を再計算しているため、重量は同一ではない。
2. 撤去鋼材重量表のCHPLの単位重量は、 m^2 当たりとする。

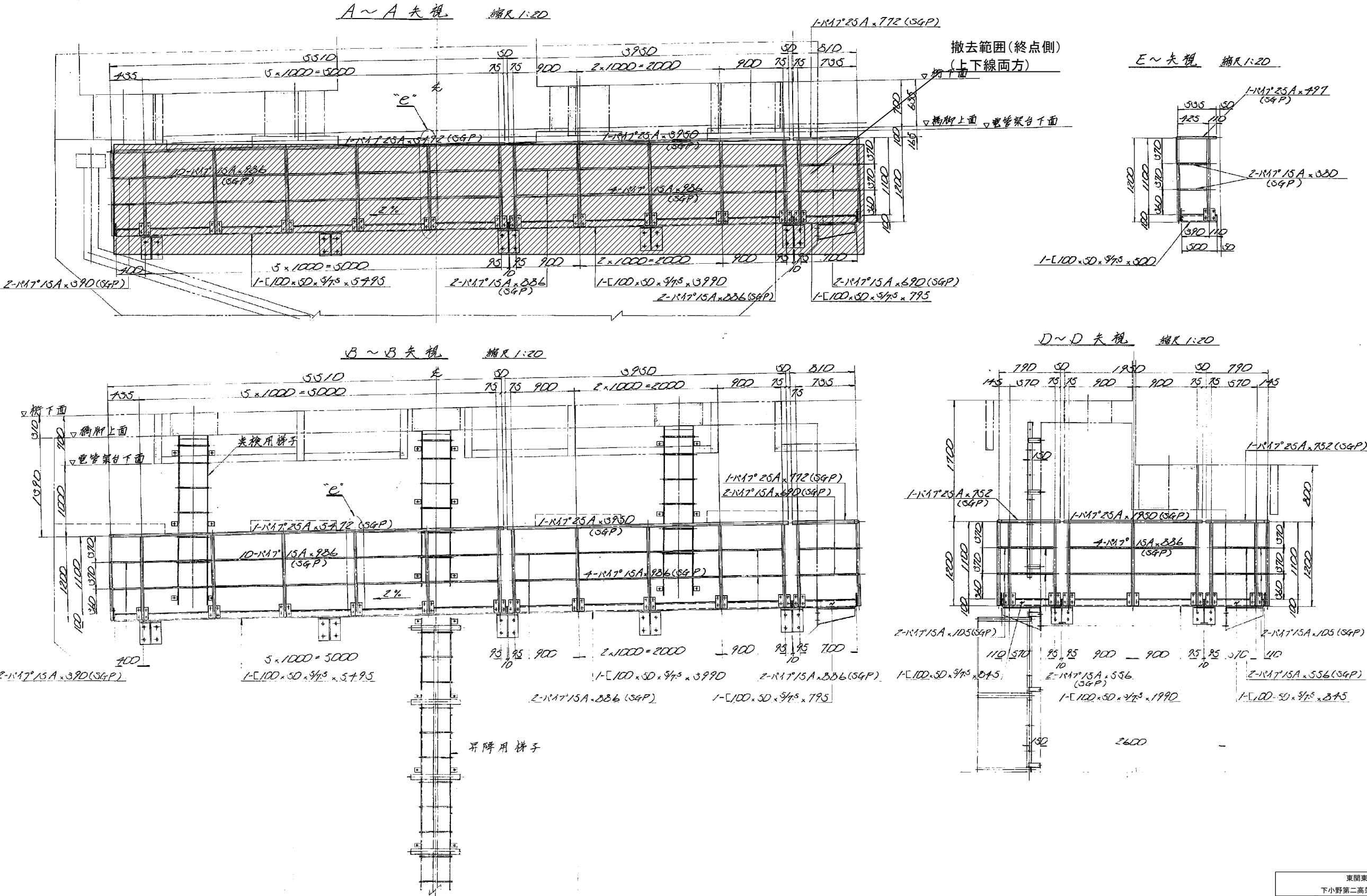
東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	采町高架橋（上り線） P 6 3 橋脚 検査撤去図（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	64 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

【撤去重量の算出】
 検査路全面積 $10.3 \times 0.5 \times 2 + (3.7 - 0.5 \times 2) \times 0.5 = 11.65 \text{ m}^2$
 検査路撤去面積 $10.3 \times 0.5 + (0.845 - 0.5) \times 0.5 = 5.32 \text{ m}^2$

【撤去面積比】
 $5.32 / 11.65 = 0.457 = 46\%$
 【検査路重量】
 $1683\text{kg} \times 46\% = 774\text{kg}$

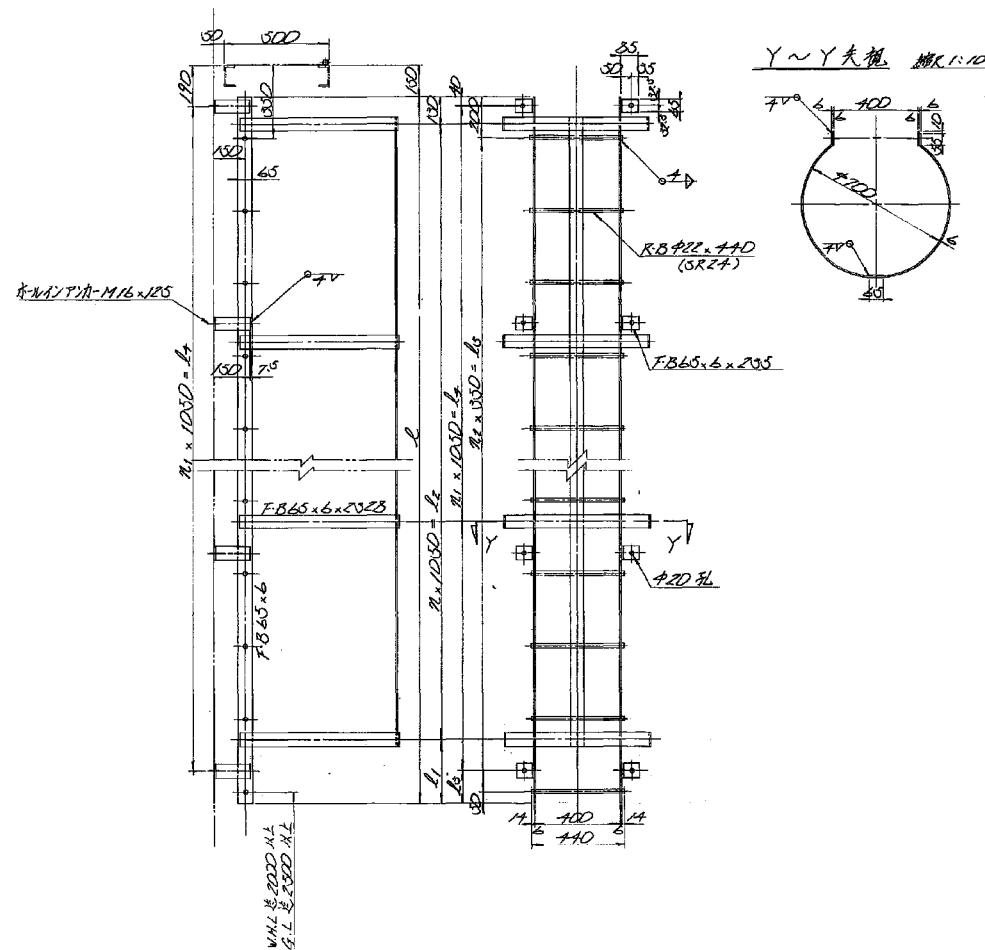
項 目		数量(kg)	備考
検査路 新設工	新 規	2,354	
検査路 撤去工(発生材)	撤去・処分材	881	

P63検査路



東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
栄町高架橋（上り線） P63橋脚 検査路撤去図（その2）			
図面の種類	図示	図面番号	65 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

P 6 3 点検用梯子



撤去鋼材重量集計表 (P63点検用梯子TYPE-4)										
No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	材 質	ネット
①	FB	65	6	4800	3.1	14.9	2	30	SS400	100
②	FB	65	6	4265	3.1	13.2	1	13	SS400	100
③	FB	65	6	2328	3.1	7.22	5	36	SS400	100
④	FB	65	6	235	3.1	0.729	10	7	SS400	100
⑤	R・B	φ22		440	2.980	1.31	14	18	SR235	100
⑥	打込式Anc	M16		125		0.330	10	3	SS400	100
合 計								107	kg	

昇降用梯子寸法表

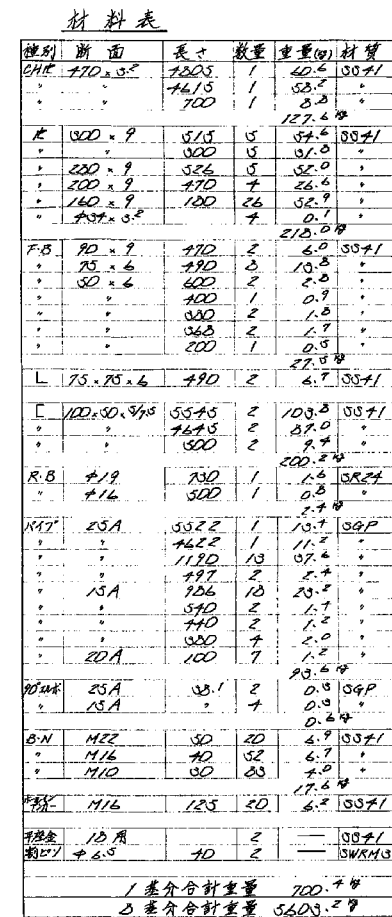
記号	TYPE-1	TYPE-2	TYPE-3	TYPE-4	TYPE-5	TYPE-6
橋脚 NO.	P36 P34(上)線 P37(下)線	P34(下)線 P37(上)線	P37,38,39	P41,44,30,32 P39,35,36,38 P39,40	P39,40,42,43 P45,46,48,49 P41,44	P47,40,42 P45
数量	4	2	6	20	20	5
h	2700	2800	4450	4800	5300	5250
h1	470	570	120	470	120	470
h2	2	2	4	4	5	5
h3	2100	2100	4200	4200	5250	5250
h4	560	660	210	560	210	560
h5	2	2	4	4	5	5
h6	2100	2100	4200	4200	5250	5250
h7	7	7	12	13	15	16
h8	2450	2450	4200	4550	5250	5600

昇降用梯子(TYPE-4)材料表

種類	断面	長さ	数量	重量(kg)	材質
F.B	65×6	4800	2	29.7	SS41
"	"	4265	1	13.2	"
"	"	2328	5	35.6	"
"	"	235	10	7.2	"
R.B	φ22	440	14	18.4	SR24
ボルト・ナット	M16	125	10	3.3	SS41
1基分合計重量				106.5kg	
20基分合計重量				2136.0kg	

注記)
1. マイクロ図の材料表記(幅・厚さ・長さ)を基に撤去重量を再計算しているため、重量は同一ではない。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 3 橋脚 検査路撤去図（その 3）			
縮 尺	図 示	図面番号	66 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



撤去鋼材重量集計表 (P64)

[illegible]

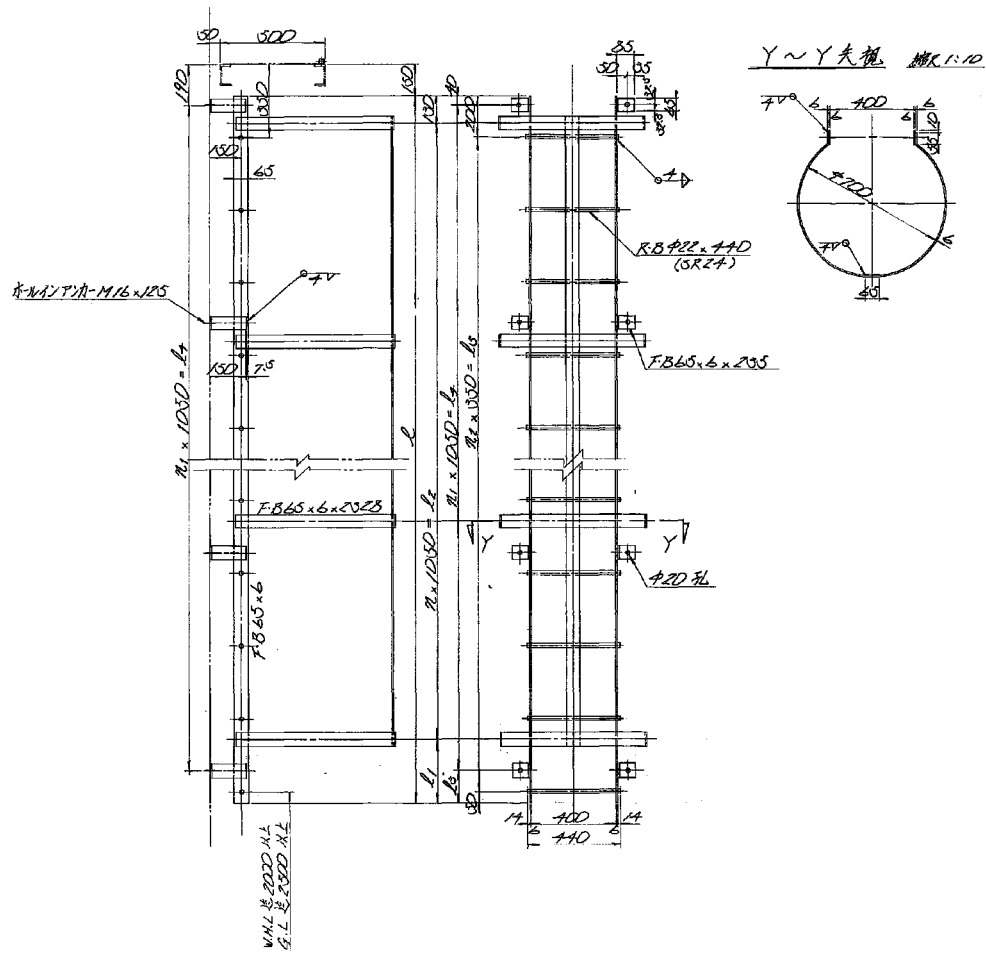
注記)

1. マイクロ図の材料表記(幅・厚さ・長さ)を基に撤去重量を再計算しているため、重量は同一ではない。
2. 撤去鋼材重量表のCHPLの単位重量は、 m^2 当たりとする。

項 目		数量(kg)	備考
検査路 新設工	新 規	5,326	
検査路 撤去工(発生材)	撤去・処分材	837	

東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 4 橋脚 検査路撤去図（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	67 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

P 6 4 点検用梯子



撤去鋼材重量集計表 (P64点検用梯子TYPE-5)

No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	材 質	ネット
①	FB	65	6	5500	3.1	17.1	2	34	SS400	100
②	FB	65	6	5315	3.1	16.5	1	17	SS400	100
③	FB	65	6	2328	3.1	7.22	6	43	SS400	100
④	FB	65	6	235	3.1	0.729	12	9	SS400	100
⑤	R・B	φ22		440	2.980	1.31	16	21	SR235	100
⑥	打込式Anc	M16		125		0.330	12	4	SS400	100
合 計									128	kg

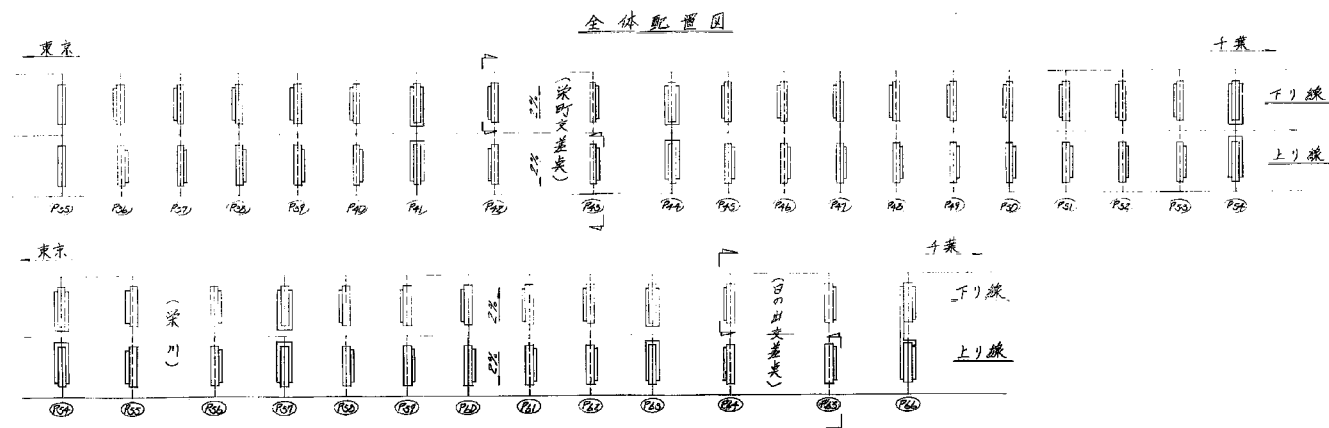
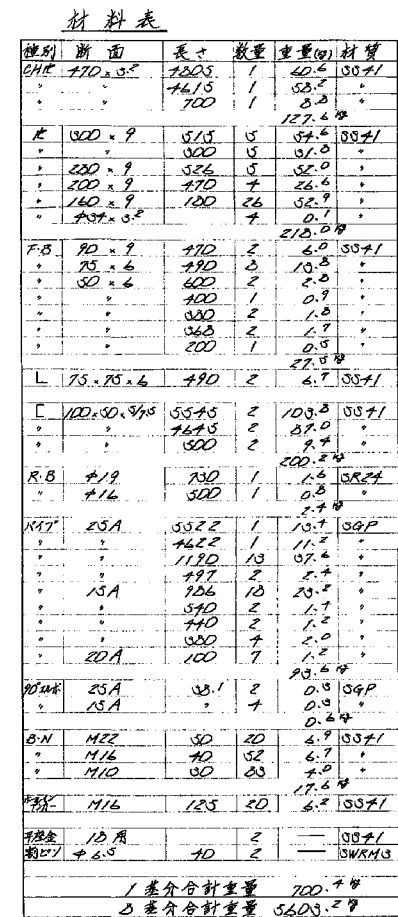
昇降用梯子寸法表

記号	TYPE-1	TYPE-2	TYPE-3	TYPE-4	TYPE-5	TYPE-6
橋脚 NO.	P26 P34(上り線) P37(下り線)	P34(上り線) P37(下り線)	P37,30,31	P41,44,50,52 P33,35,36,38 P39,43	P39,40,42,43 P45,46,48,49 P61,64	P47,40,62 P65
数量	4	2	6	20	20	3
l	2700	2800	4450	4200	5500	5250
l1	470	570	120	470	120	470
l2	2	2	4	4	5	5
l3	2100	2100	4200	4200	5250	5250
l4	560	660	210	560	210	560
l5	2	2	4	4	5	5
l6	2100	2100	4200	4200	5250	5250
l7	7	7	12	13	15	16
l8	2450	2450	4200	4550	5250	5600

昇降用梯子(TYPE-5)材料表

種別	断面	長さ	数量	重量(kg)	材質
F.B	65×6	5500	2	33.7	SS41
"	"	5315	1	16.5	"
"	"	2328	6	42.7	"
"	"	235	12	8.6	"
				101.6	
R.B	φ22	440	16	21.0	SR24
R.B	φ22	440	16	21.0	SR24
Anc	M16	125	12	3.7	SS41
				126.3	
				2526.0	

注記)
1. マイクロ図の材料表記(幅・厚さ・長さ)を基に撤去重量を再計算しているため、重量は同一ではない。



No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	材 質	ネット
1	CHPL	470	3.2	4805	26.790	60.5	1	61	SS400	100
2	CHPL	470	3.2	4615	26.790	58.1	1	58	SS400	100
3	CHPL	470	3.2	700	26.790	8.81	1	9	SS400	100
4	PL	300	9	515	21.2	10.9	5	55	SS400	100
5	PL	300	9	300	21.2	6.36	5	32	SS400	100
6	PL	280	9	526	19.8	10.4	5	52	SS400	100
7	PL	200	9	470	14.1	6.63	4	27	SS400	100
8	PL	160	9	180	11.3	2.03	26	53	SS400	100
9	PL	φ34	3.2	34	0.9	0.0306	4	1	SS400	78
10	FB	90	9	470	6.4	3.01	2	6	SS400	100
11	FB	75	6	490	3.5	1.72	8	14	SS400	100
12	FB	50	6	600	2.4	1.44	2	3	SS400	100
13	FB	50	6	400	2.4	0.96	1	1	SS400	100
14	FB	50	6	380	2.4	0.912	2	2	SS400	100
15	FB	50	6	368	2.4	0.883	2	2	SS400	100
16	FB	50	6	200	2.4	0.48	1	1	SS400	100
17	L形	75×75	6	490	6.850	3.36	2	7	SS400	100
18	溝形	100×50	5/7.5	5545	9.360	51.9	2	104	SS400	100
19	溝形	100×50	5/7.5	4645	9.360	43.5	2	87	SS400	100
20	溝形	100×50	5/7.5	500	9.360	4.68	2	9	SS400	100
21	R・B	φ19		730	2.230	1.63	1	2	SR235	100
22	R・B	φ16		500	1.580	0.79	1	1	SR235	100
23	SGP	25A		5522	2.430	13.4	1	13	SGP	100
24	SGP	25A		4622	2.430	11.2	1	11	SGP	100
25	SGP	25A		1190	2.430	2.89	13	38	SGP	100
26	SGP	25A		497	2.430	1.21	2	2	SGP	100
28	SGP	15A		986	1.310	1.29	18	23	SGP	100
29	SGP	15A		540	1.310	0.707	2	1	SGP	100
30	SGP	15A		440	1.310	0.576	2	1	SGP	100
31	SGP	15A		380	1.310	0.498	4	2	SGP	100
27	SGP	20A		100	1.680	0.168	7	1	SGP	100
32	90° エルボ	25A		38.1	2.430	0.0926	2	1	SGP	
33	90° エルボ	15A		38.1	1.310	0.0499	4	1	SGP	
34	BN	M22		50		0.342	20	7	SS400	
35	BN	M16		40		0.149	52	8	SS400	
36	BN	M10		30		0.049	83	4	SS400	
39	打込式Anc	M16		125.0		0.330	20	7	SS400	
37	W	18用				0.015	2	1	SS400	
38	割ピン	φ6.5		40.0		0.012	2	1	SWRM3	
合 計									709 kg	

注記

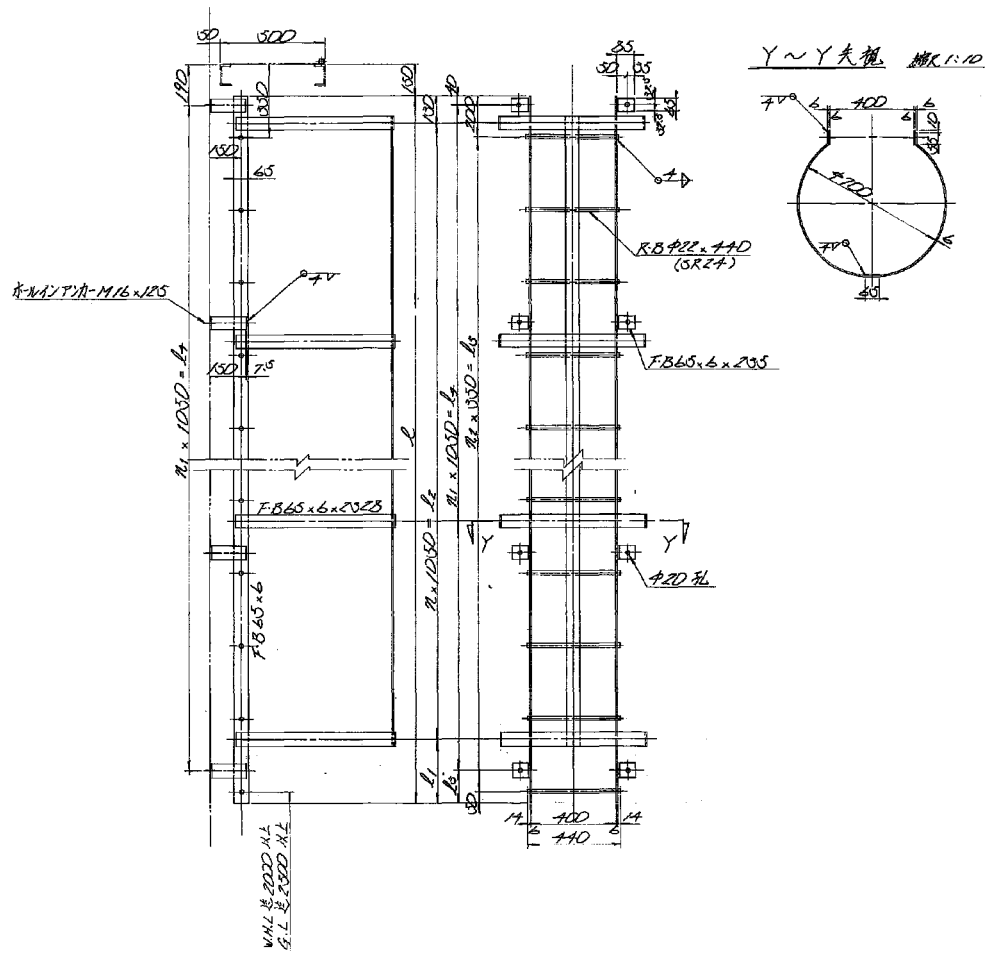
- 1) 特別定款料實現令了 SS 41 7 63。
- 2) 特別定款料實現令了海賊部郵政部長官に於ての特別定款料實現令の施行規則。HDE 55 C 21。B 41 HDE 55 A 2 3。
- 3) 詳細に關し詳細圖表を参照せよ。
- 4) P 46 P 47 2 課 L P 43, P 45 2 課 L 總務課が郵政事務に關係し、注意せよ。
- 5) 1) 注意法に P 46, P 45 2 課 L。
- 6) 本國に重要料を郵政部長官に送付す。
- 7) 特別定款料實現令を發行せよ。
- 8) 注意に 2 課特別定款料實現令を参照せよ。

注記)

1. マイクロ図の材料表記(幅・厚さ・長さ)を基に撤去重量を再計算しているため、重量は同一ではない。
2. 撤去鋼材重量表のCHPLの単位重量は、m² 当たりとする。

項 目		数量(kg)	備考
検査路 新設工	新 規	8,703	
検査路 撤去工(発生材)	撤去・処分材	840	

P 6 5 点検用梯子



撤去鋼材重量集計表（P65点検用梯子TYPE-6）

No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	材 質	ネット
①	FB	65	6	5850	3.1	18.1	2	36	SS400	100
②	FB	65	6	5315	3.1	16.5	1	17	SS400	100
③	FB	65	6	2328	3.1	7.22	6	43	SS400	100
④	FB	65	6	235	3.1	0.729	12	9	SS400	100
⑤	R・B	φ22		440	2.980	1.31	17	22	SR235	100
⑥	打込式Anc	M16		125		0.330	12	4	SS400	100
合 計									131 kg	

昇降用梯子寸法表

記号	TYPE-1	TYPE-2	TYPE-3	TYPE-4	TYPE-5	TYPE-6
橋脚 NO.	P26 P34(上り線) P37(下り線)	P34(上り線) P37(下り線)	P37,30,31	P41,44,50,52 P39,55,56,58 P45,46,48,49 P61,64	P39,70,72,73 P45,46,48,49 P61,64	P47,40,62 P65
数量	4	2	6	20	20	3
l	2700	2800	4450	4200	5500	5250
l ₁	470	570	120	470	120	470
l ₂	2	2	4	4	5	5
l ₃	2100	2100	4200	4200	5250	5250
l ₄	560	660	210	560	210	560
l ₅	2	2	4	4	5	5
l ₆	2100	2100	4200	4200	5250	5250
l ₇	7	7	12	13	15	16
l ₈	2450	2450	4200	4550	5250	5600

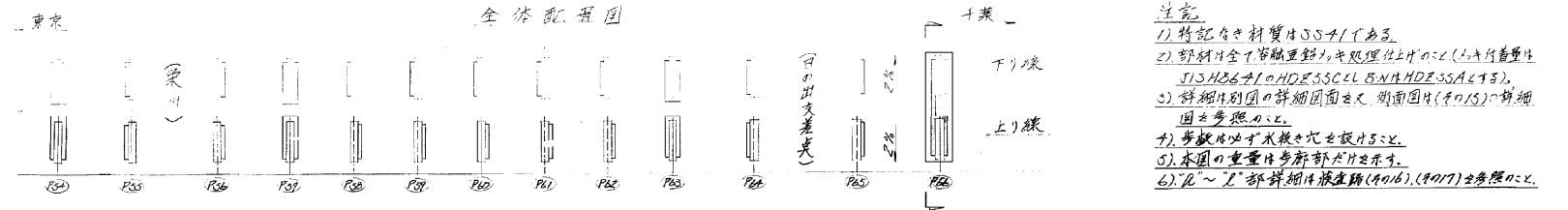
昇降用梯子(TYPE-6)材料表

種別	断面	長さ	数量	重量(g)	材質
F.B	65×6	5850	2	35.8	100#1
"	"	5315	1	16.5	"
"	"	2328	6	42.7	"
"	"	235	12	8.6	"
R.B	φ22	440	17	22.3	SR24
打込式Anc	M16	125	12	3.7	SS41
1基分合計重量					129.4g
3基分合計重量					1035.2g

注記)
1. マイクロ図の材料表記(幅・厚さ・長さ)を基に撤去重量を再計算しているため、重量は同一ではない。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 5 橋脚 検査路撤去図（その2）			
	縮 尺	図 示	図面番号	70 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

71 / 144



No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	材 質	ネット
1	PL	280	9	626	19.8	12.4	1	12	SS400	100
2	PL	240	9	300	17.0	5.10	1	5	SS400	100
3	PL	200	9	615	14.1	8.67	1	9	SS400	100
4	FB	90	9	623	6.4	3.99	1	4	SS400	100
5	打込式Anc	M16		125.0		0.330	4	1	SS400	
						1基あたり	31	kg		

TYPE④												
No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	搬入員数	搬去合計	材 質	ネット
1	CHPL	470	3.2	2305	26.790	29	1	29	0.5	15	SS400	100
2	PL	160	9	180	11.3	2.03	8	16	4	8	SS400	100
3	PL	φ34	3.2	34	0.0306	0.9	2	1	1	1	SS400	78
4	FB	90	9	470	6.4	3.01	3	9	1.5	5	SS400	100
5	FB	75	6	490	3.5	1.72	2	3	1	2	SS400	100
6	L形	75×75	6	490	6.850	3.36	3	10	1.5	5	SS400	100
7	溝形	100×50	5/7.5	1990	9.360	18.6	1	19	0.5	9	SS400	100
8	溝形	100×50	5/7.5	745	9.360	6.97	2	14	1	7	SS400	100
9	溝形	100×50	5/7.5	395	9.360	3.70	2	7	1	4	SS400	100
10	SGP	25A		1950	2.430	4.74	1	5	0.5	2	SGP	100
11	SGP	25A		1190	2.430	2.89	3	9	1.5	4	SGP	100
12	SGP	25A		890	2.430	2.16	1	2	0.5	1	SGP	100
13	SGP	15A		886	1.310	1.16	4	5	2	2	SGP	100
14	BN	M22		50		0.342	6	2	3	1	SS400	
15	BN	M16		40		0.149	16	2	8	1	SS400	
16	BN	M10		30		0.049	25	1	12.5	1	SS400	
1基辺り							134	kg	68	kg		

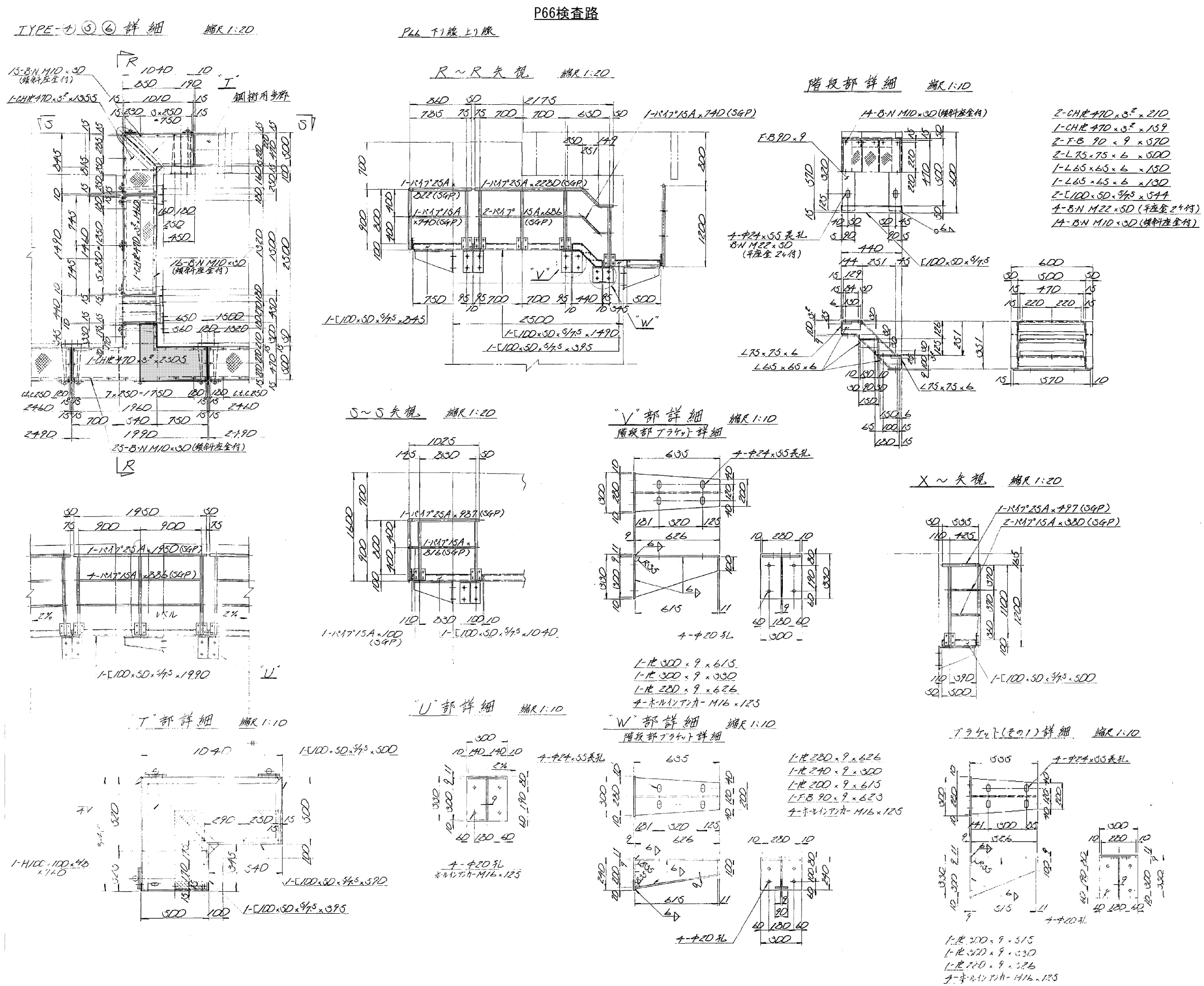
No	記号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合計	材質	ネット
1	CHPL	470	3.2	1355	26.790	17.1	1	17	SS400	100
2	PL	200	9	470	14.1	6.63	1	7	SS400	100
3	PL	160	9	180	11.3	2.03	6	12	SS400	100
4	PL	φ34	3.2	34	0.9	0.0306	2	1	SS400	78
5	FB	90	9	470	6.4	3.01	1	3	SS400	100
6	FB	75	6	490	3.5	1.72	1	2	SS400	100
7	L形	75×75	6	490	6.850	3.36	1	3	SS400	100
8	溝形	100×50	5/7.5	1040	9.360	9.73	1	10	SS400	100
9	溝形	100×50	5/7.5	845	9.360	7.91	1	8	SS400	100
10	溝形	100×50	5/7.5	590	9.360	5.52	1	6	SS400	100
11	溝形	100×50	5/7.5	500	9.360	4.68	1	5	SS400	100
12	溝形	100×50	5/7.5	395	9.360	3.70	1	4	SS400	100
13	H形	100×100	6/8	760	16.900	12.8	1	13	SS400	100
14	SGP	25A		987	2.430	2.40	1	2	SGP	100
15	SGP	25A		890	2.430	2.16	3	6	SGP	100
16	SGP	25A		822	2.430	2.00	1	2	SGP	100
17	SGP	15A		816	1.310	1.07	1	1	SGP	100
18	SGP	15A		740	1.310	0.969	1	1	SGP	100
19	SGP	15A		100	1.310	0.131	1	1	SGP	100
20	90°エルボ	25A		38.1	2.430	0.0926	1	1	SGP	
21	90°エルボ	15A		38.1	1.310	0.0499	1	1	SGP	
22	BN	M22		50		0.342	6	2	SS400	
23	BN	M16		40		0.149	12	2	SS400	
24	BN	M10		30		0.049	15	1	SS400	

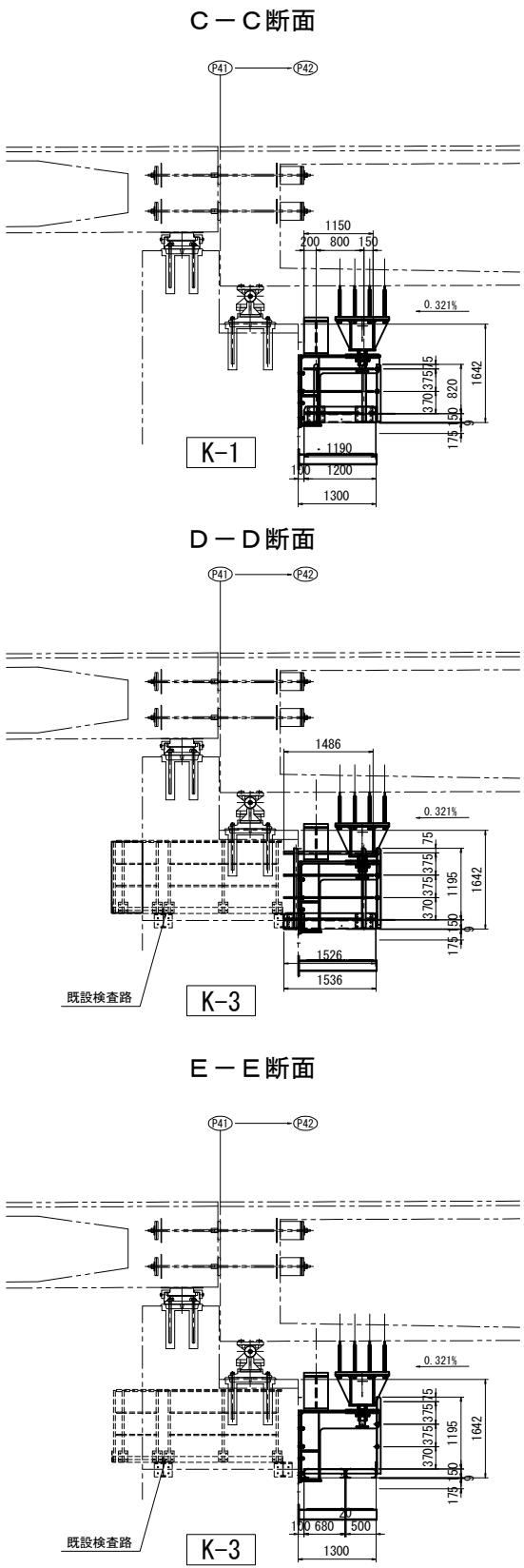
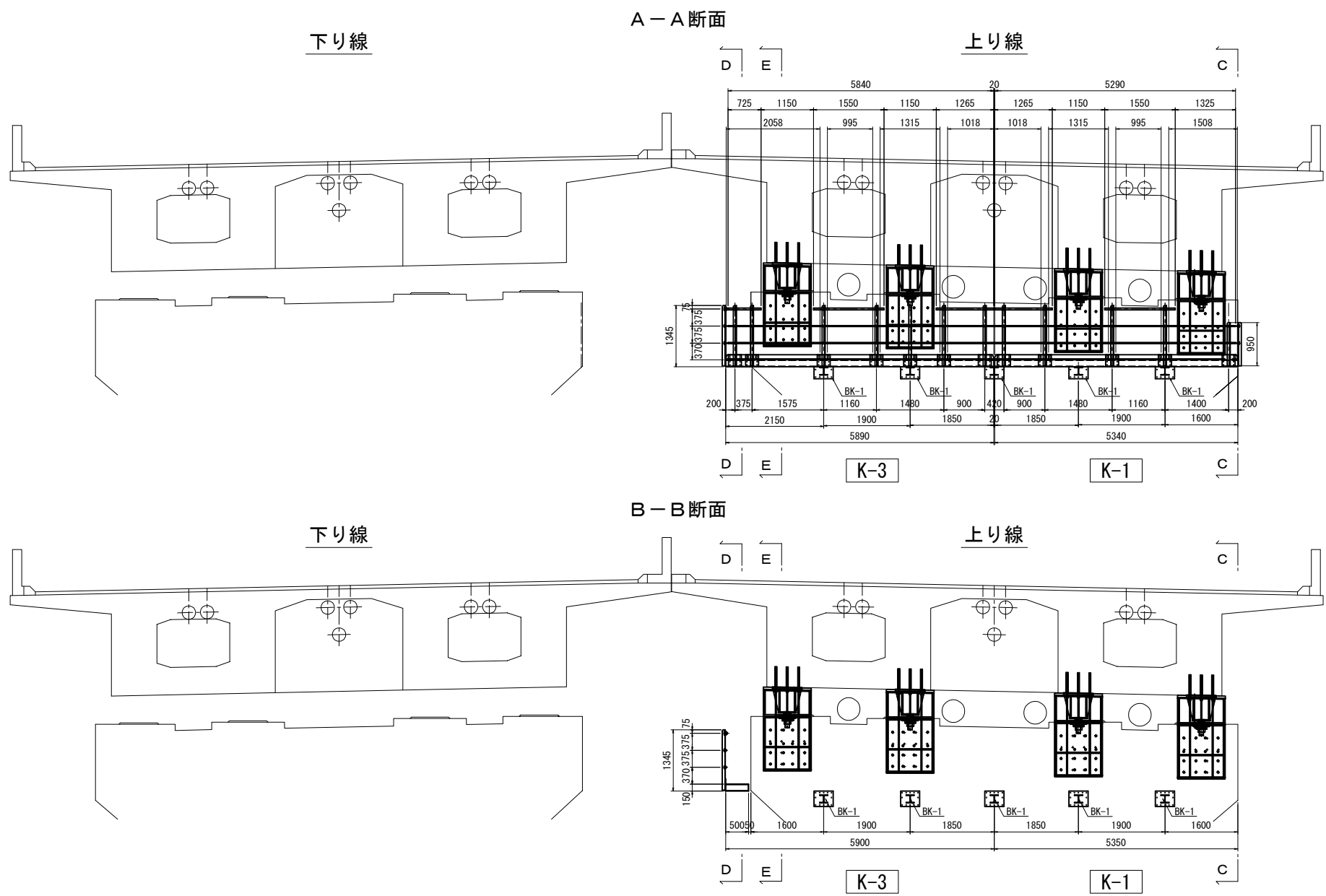
1基辺り 111 kg

階段部									
No	記 号	幅	板厚	長さ	単位重量	重量/個	員数	合 計	材 質 ネット
1	QHPL	470	3.2	210	26.790	2.64	2	5	SS400 100
2	QHPL	470	3.2	159	26.790	2	1	2	SS400 100
3	FB	90	9	570	6.4	3.65	2	7	SS400 100
4	L形	75 × 75	6	500	6.850	3.43	2	7	SS400 100
5	L形	65 × 65	6	150	5.910	0.887	1	1	SS400 100
6	L形	65 × 65	6	130	5.910	0.768	2	2	SS400 100
7	溝形	100 × 50	5/7.5	544	9.360	5.09	2	10	SS400 100
8	BN	M22		50		0.342	4	1	SS400
9	BN	M10		30		0.049	14	1	SS400
						1基辺り	36	kg	

1. 撤去鋼材重量表のCHPLの単位重量は、 m^2 当りとする。

東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 6 橋脚 検査路撤去図（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	71 / 144
設計会社名	北武コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		





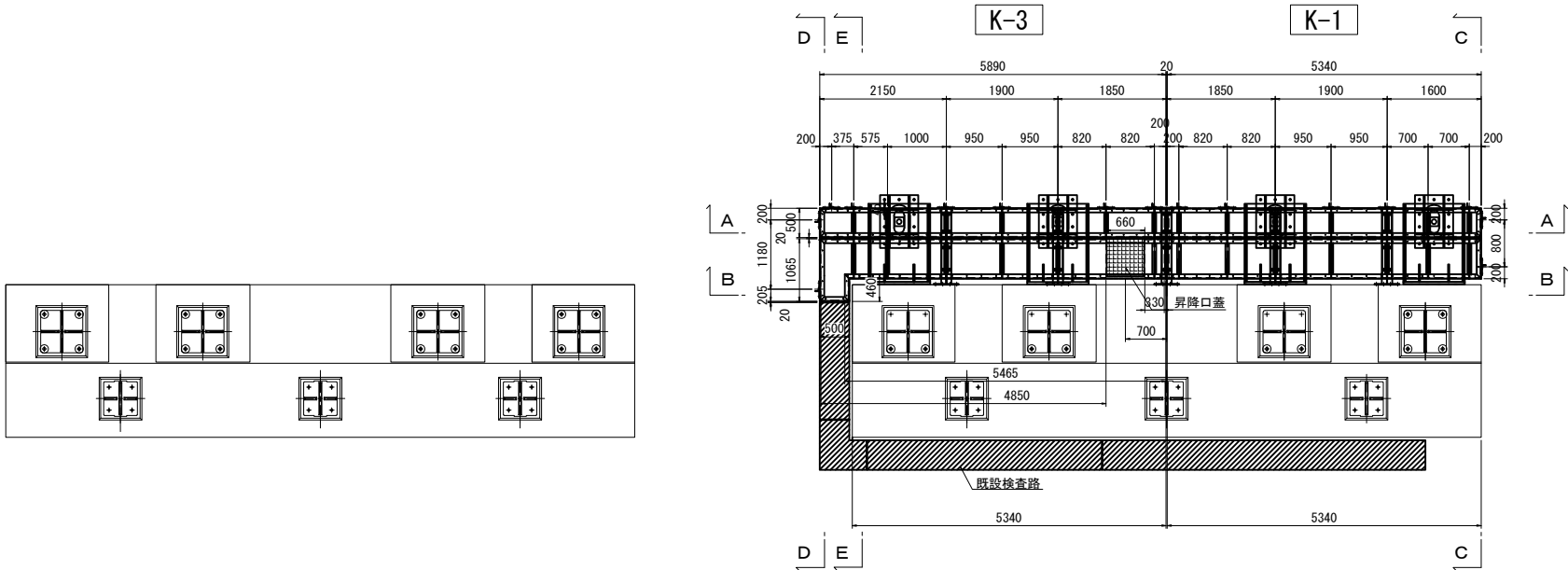
注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

項 目	数量 (kg)	備考
検査路 新設工	2,339	

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 1 橋脚 検査路設置図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	73 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

下り線

上り線



K-1 (製作数=1組)

1-PIPE	φ42.7×2.3×1550 (STK400)	1-CH. PL	640×3.2×5290 (SS400相当品)
1-PIPE	φ42.7×2.3×1265 (STK400)	1-CH. PL	460×3.2×5290 (SS400相当品)
2-PIPE	φ21.7×1.9×5290 (STK400)	4-CH	150×75×6.5×10×5340
2-PIPE	φ21.7×1.9×1150 (STK400)	1-CH	150×75×6.5×10×500
4-L	65×65×6×1325	1-CH	150×75×6.5×10×680
3-L	65×65×6×950	1-L	75×75×6×487
1-PL	90×3.2×1508	1-L	75×75×6×667
1-PL	90×3.2×995	7-FB	65×6×350
1-PL	90×3.2×1315	7-FB	75×9×487
1-PL	90×3.2×1018	7-FB	65×6×530
1-PL	90×3.2×1190	7-FB	75×9×667
7-PL	255×15×285 (SM400A)	2-PL	160×9×480 (SM400A)
28-BN	M16×50 (2-W付)	2-PL	160×9×660 (SM400A)
28-BN	M10×40 (2-W付)	1-PL	60×9×480 (SM400A)
4-Uボルト	呼び 32C	1-PL	60×9×660 (SM400A)
14-Uボルト	呼び 15C	100-BN	M10×35 (1-W, 1-TW付)

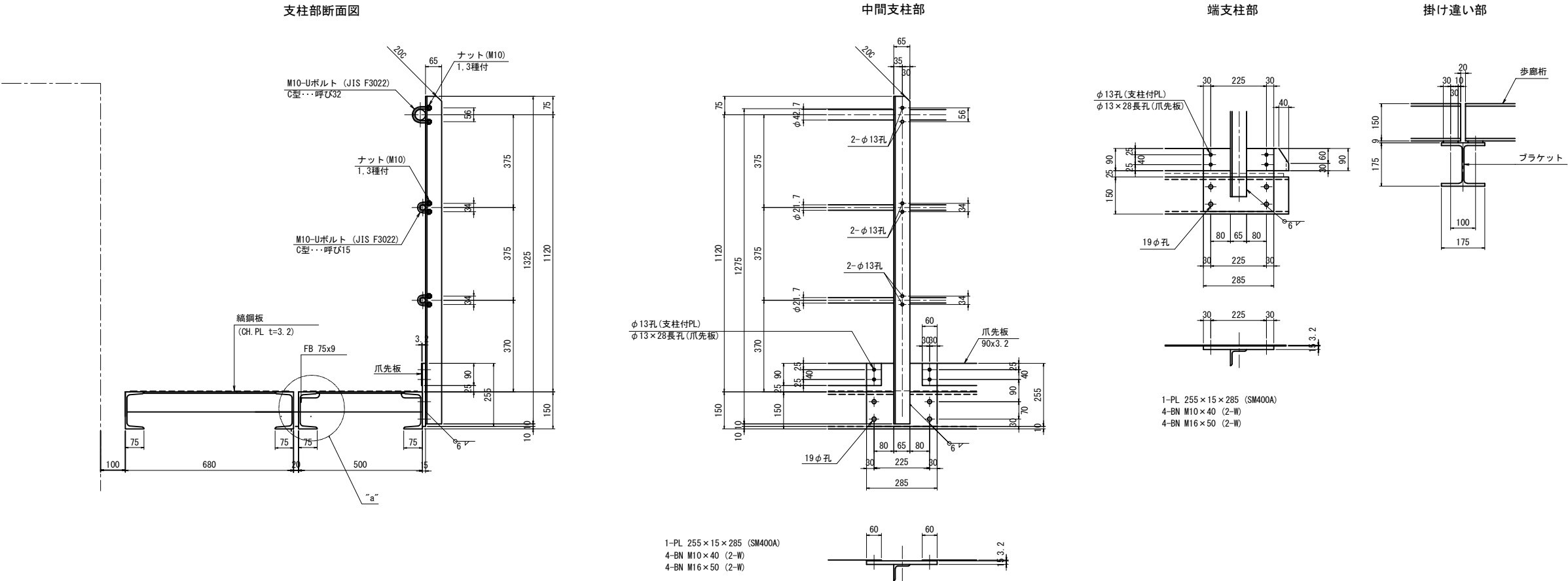
K-3 (製作数=1組)

1-PIPE	φ42.7×2.3×1550 (STK400)	1-CH. PL	460×3.2×5840 (SS400相当品)
1-PIPE	φ42.7×2.3×1265 (STK400)	1-CH. PL	640×3.2×330 (SS400相当品)
1-PIPE	φ42.7×2.3×725 (STK400)	1-CH. PL	1025×3.2×4650 (Net166%) (SS400相当品)
1-PIPE	φ42.7×2.3×1486 (STK400)	3-CH	150×75×6.5×10×5890
2-PIPE	φ21.7×1.9×5840 (STK400)	1-CH	150×75×6.5×10×5465
2-PIPE	φ21.7×1.9×1486 (STK400)	2-CH	150×75×6.5×10×500
8-L	65×65×6×1325	1-CH	150×75×6.5×10×1065
1-PL	90×3.2×2058	1-CH	150×75×6.5×10×460
1-PL	90×3.2×995	1-L	75×75×6×487
1-PL	90×3.2×1315	1-L	75×75×6×667
1-PL	90×3.2×1018	7-FB	65×6×350
1-PL	90×3.2×1526	7-FB	75×9×487
8-PL	255×15×285 (SM400A)	6-FB	65×6×530
32-BN	M16×50 (2-W付)	6-FB	75×9×667
32-BN	M10×40 (2-W付)	2-PL	160×9×480 (SM400A)
8-Uボルト	呼び 32C	2-PL	160×9×660 (SM400A)
16-Uボルト	呼び 15C	1-PL	60×9×480 (SM400A)
		1-PL	60×9×660 (SM400A)
		110-BN	M10×35 (1-W, 1-TW付)

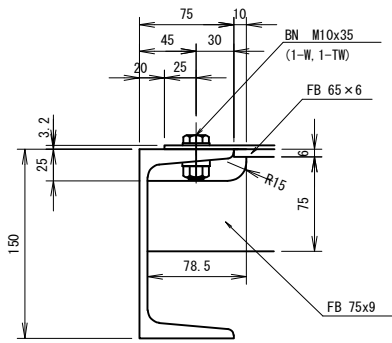
- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ35~HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 - 床材に鉄鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m²)程度に1個所程度設けるのが良い。
 - 下り線の昇降用梯子は既設の梯子を利用するものとする。
 - 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 1 橋脚 検査路設置図（その2）			
縮 尺	図 示	図面番号	74	／ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

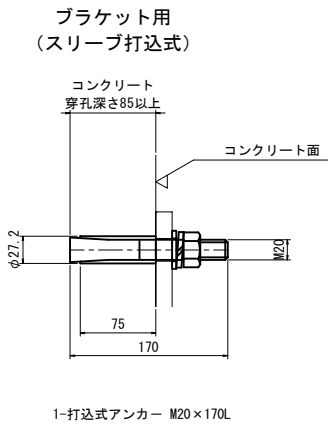
手摺詳細図



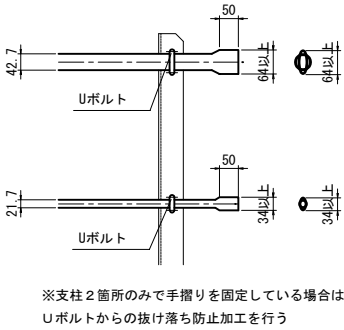
a部詳細 S=1:6



打込式アンカー詳細 S=1:7.5



手摺り抜け落ち防止加工詳細

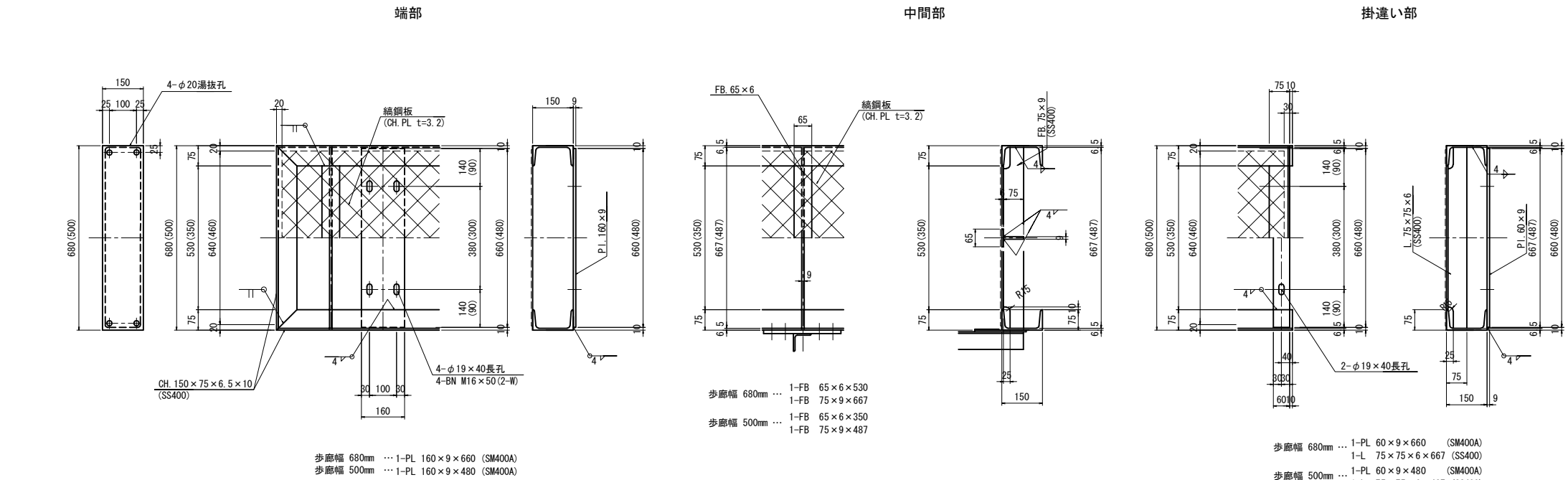


注記)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格：JIS H8641)
厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

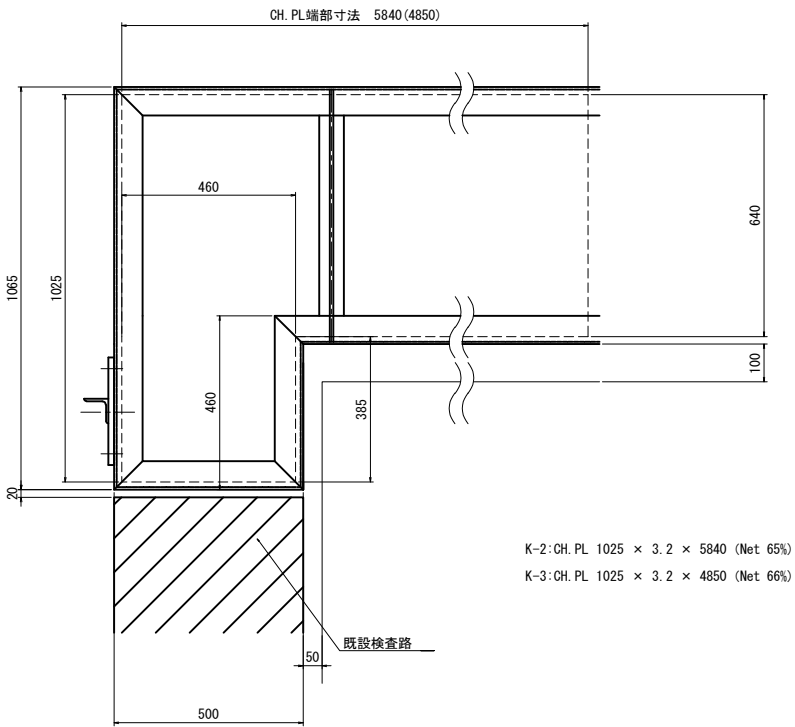
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 1 橋脚 検査路設置図（その3）			
	縮 尺	図 示	図面番号	75 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

歩廊詳細



既設検査路接続部詳細

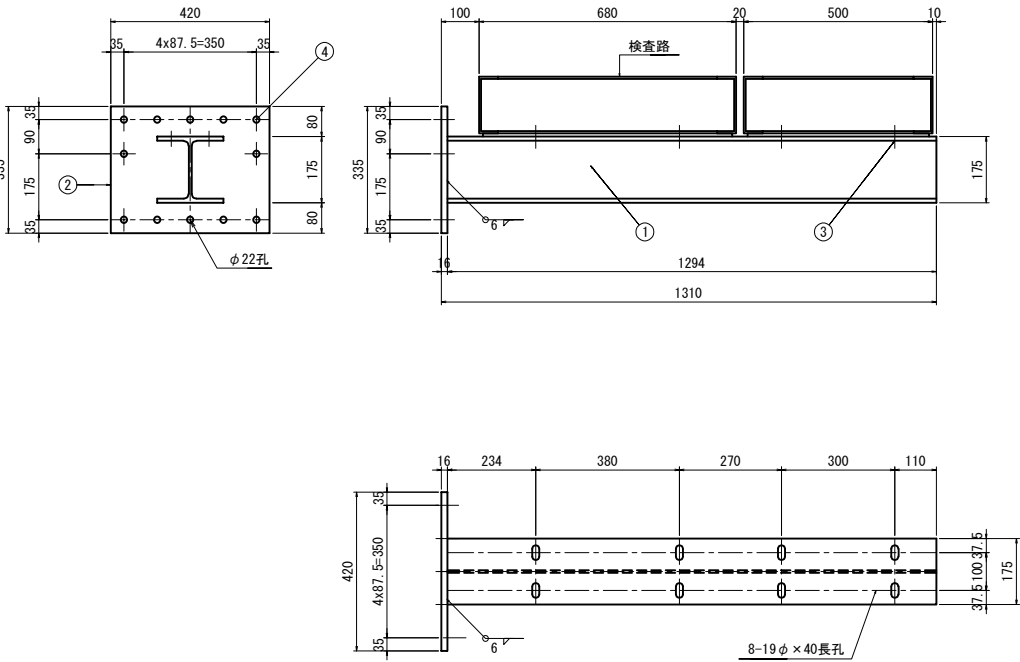
K-2 (K-3)



ブラケット詳細図

BK-1

(N=10組)

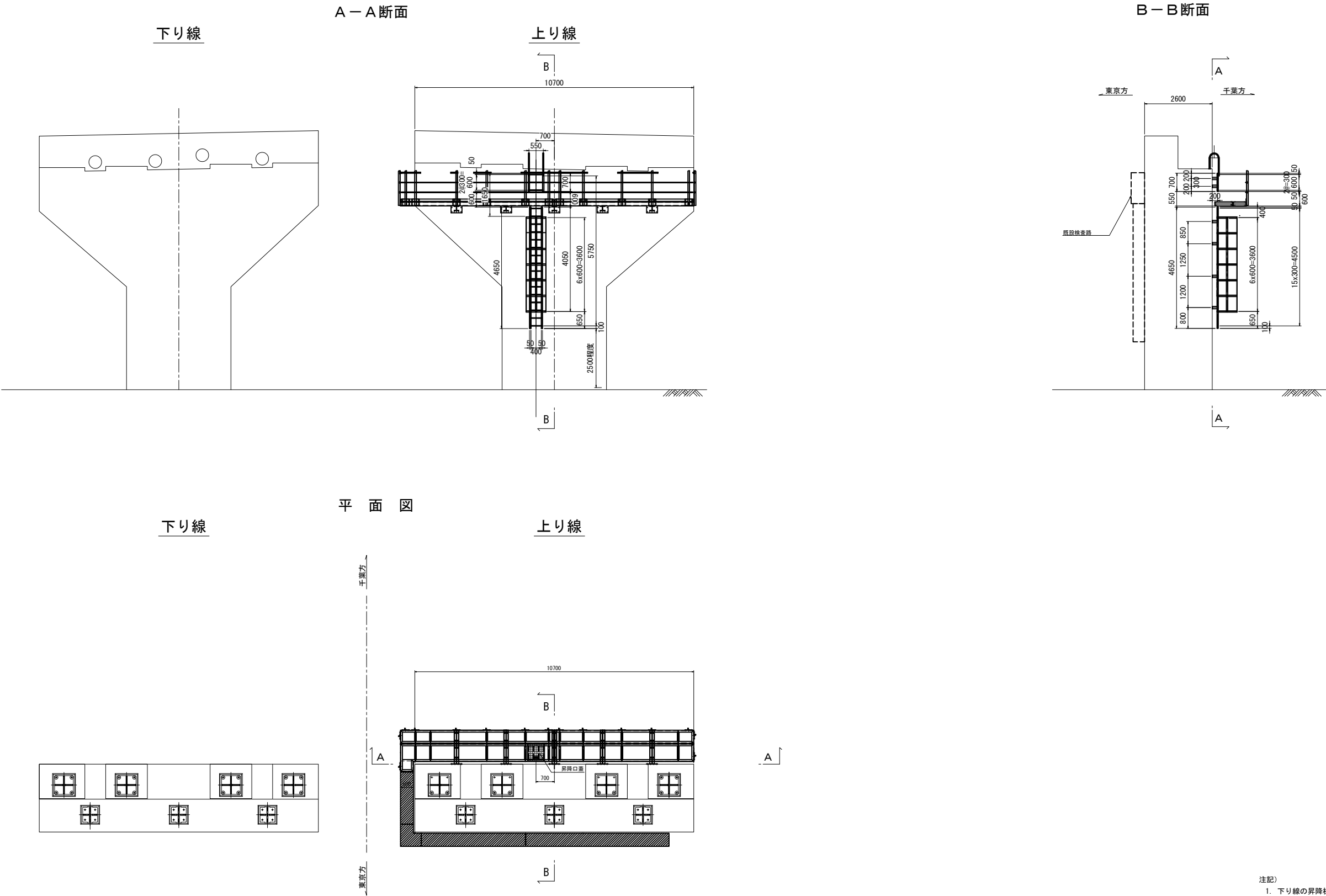


- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
 - 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
 - 部材は、全て溶融垂鉛めっきとする。(JIS規格：JIS H8641)
厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

- 1-H 175×175×7.5×11×1294
- 1-BASE PL 420×16×335 (SM400A)
- 8-BN M16×50 (2-W)
- 12-打込式アンカー M20×170L

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 1 橋脚 検査路設置図（その4）			
縮 尺	図 示	図面番号	76	/ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

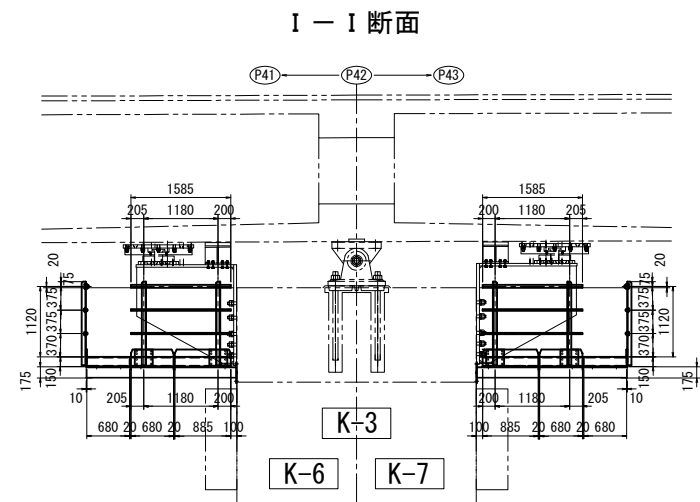
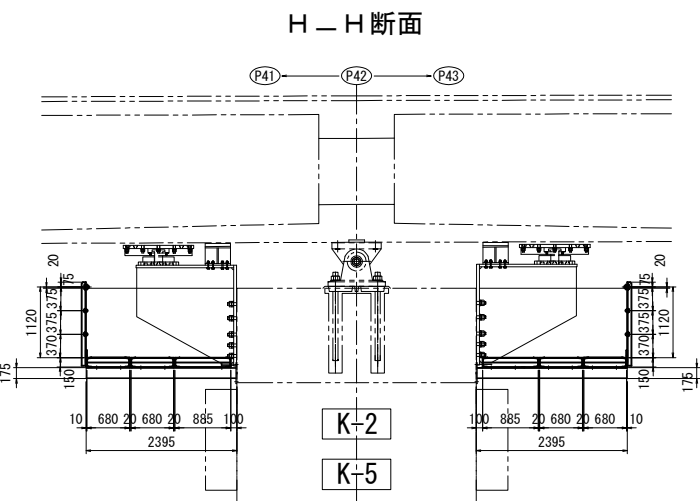
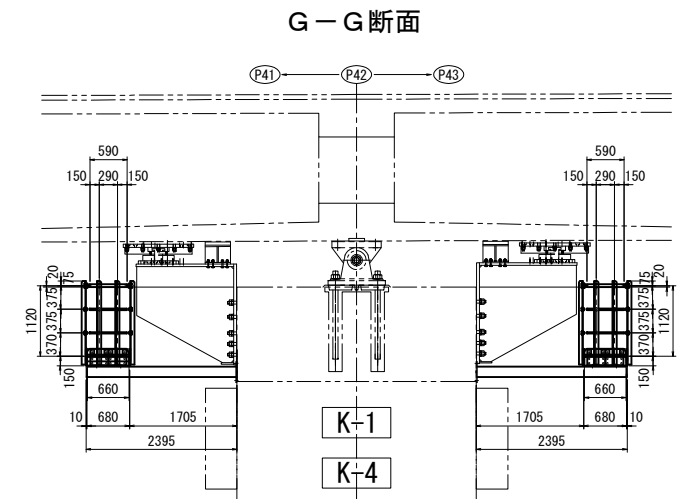
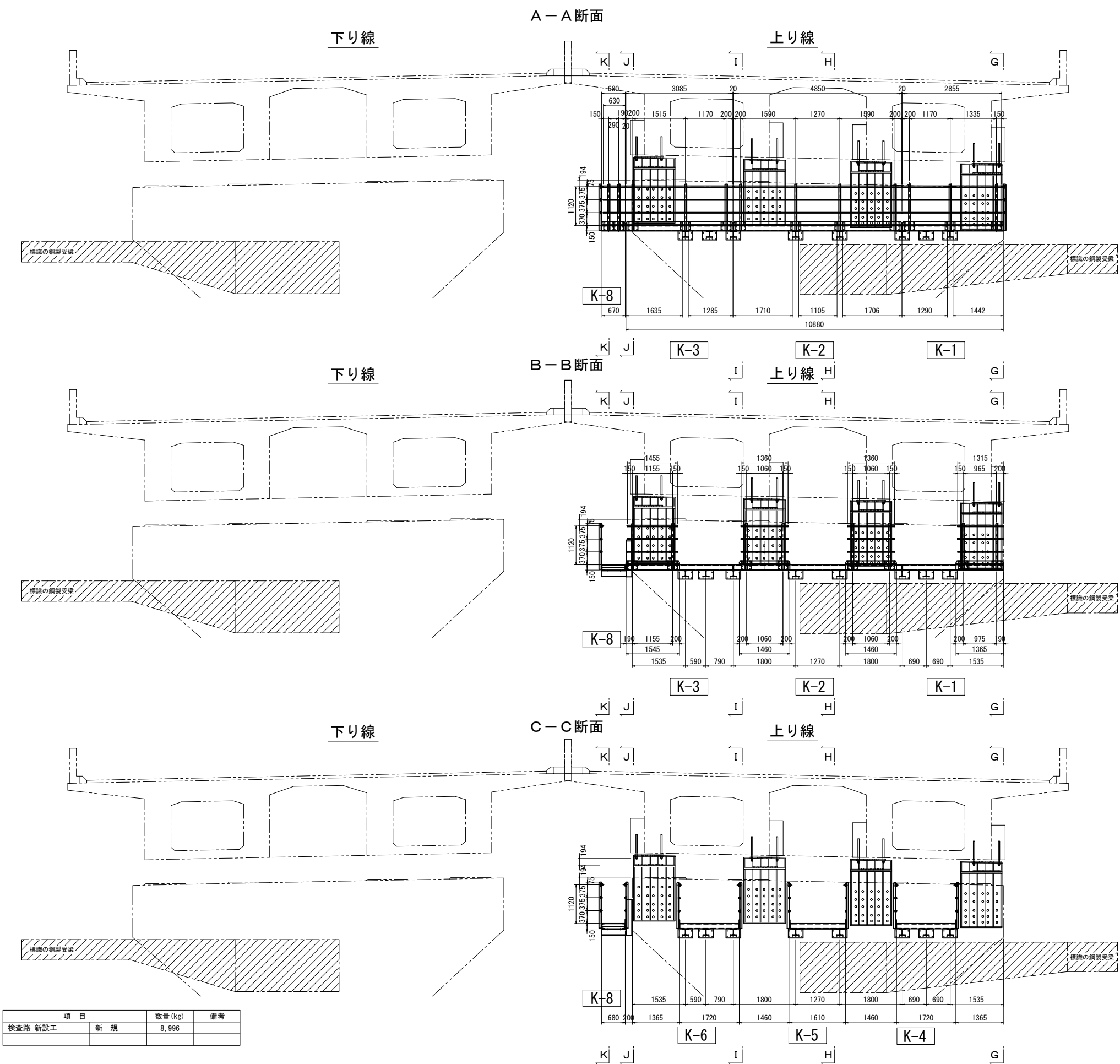
昇降設備詳細図



注記)
1. 下り線の昇降梯子は既設の梯子(起点側)をそのまま利用する。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 1 橋脚 検査路設置図（その5）			
	縮 尺	図 示	図面番号	77 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社			
	関東支社 千葉管理事務所			

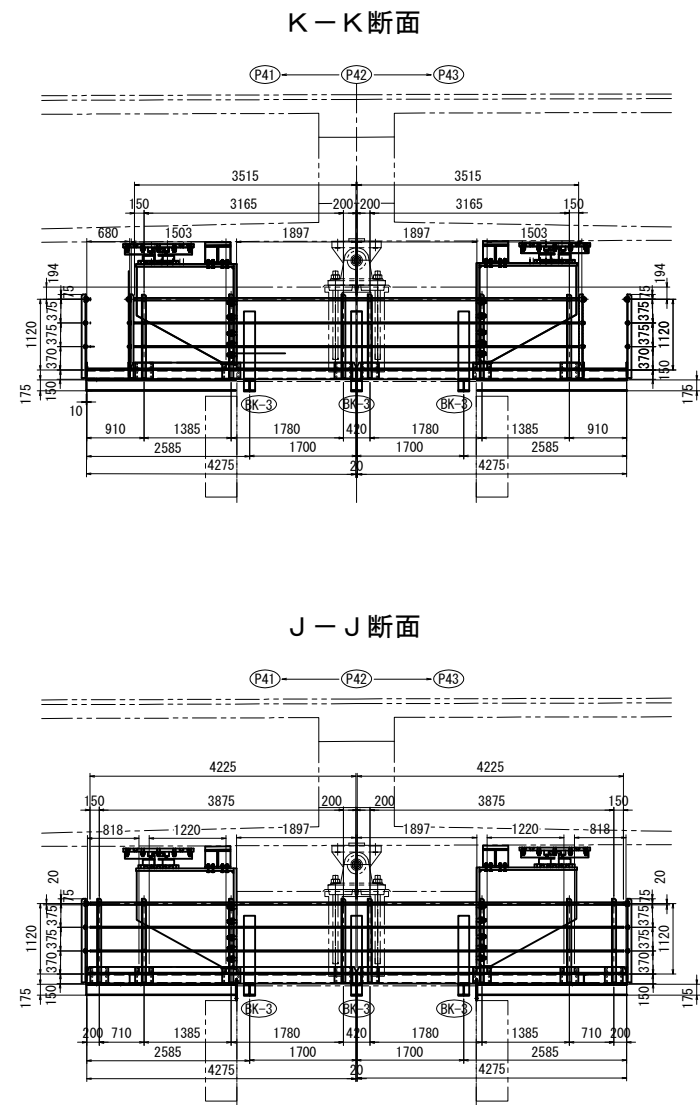
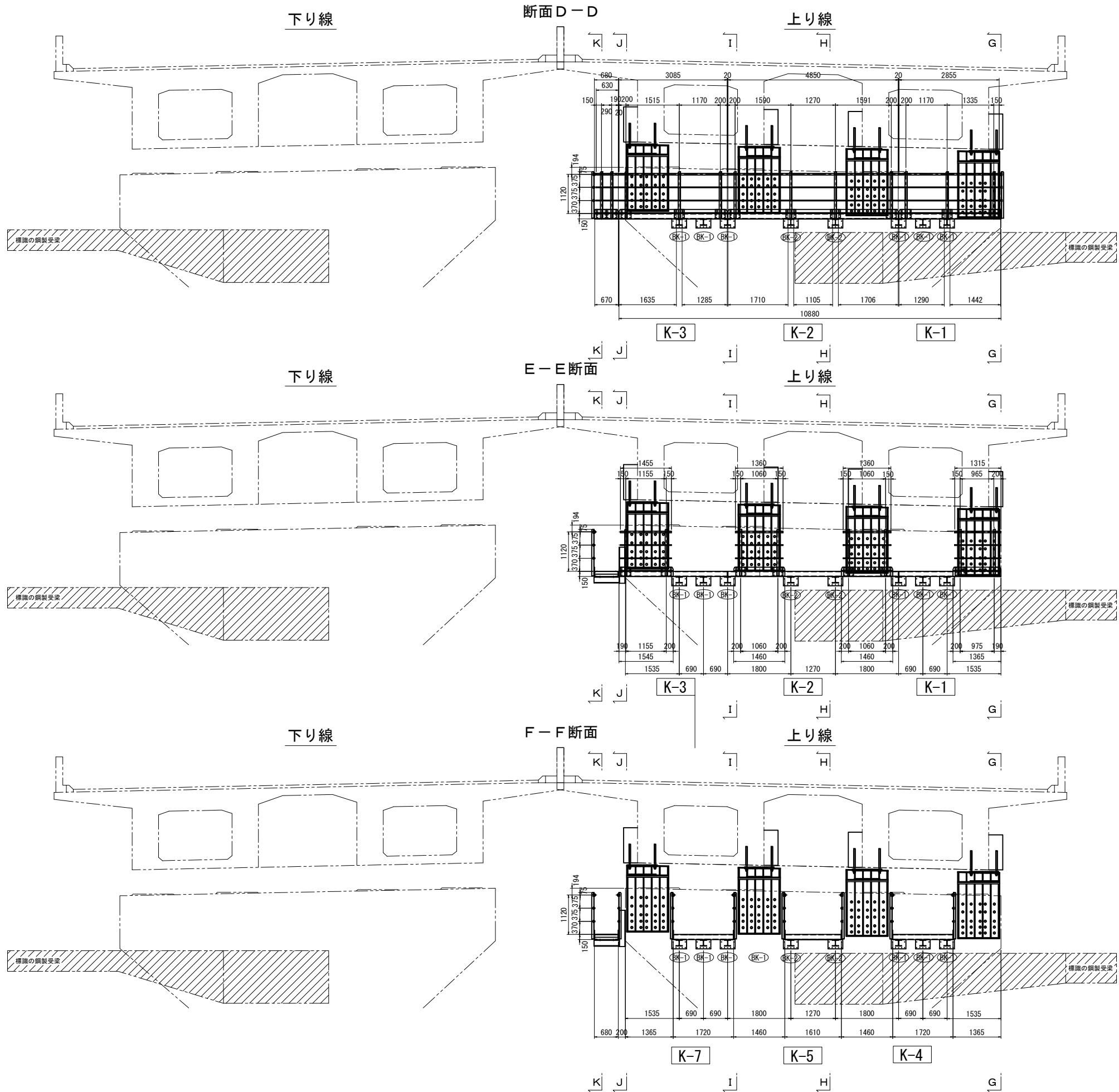
東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 1 橋脚 検査路設置図（その６）		
縮 尺	図 示	図面番号	78 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		



注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

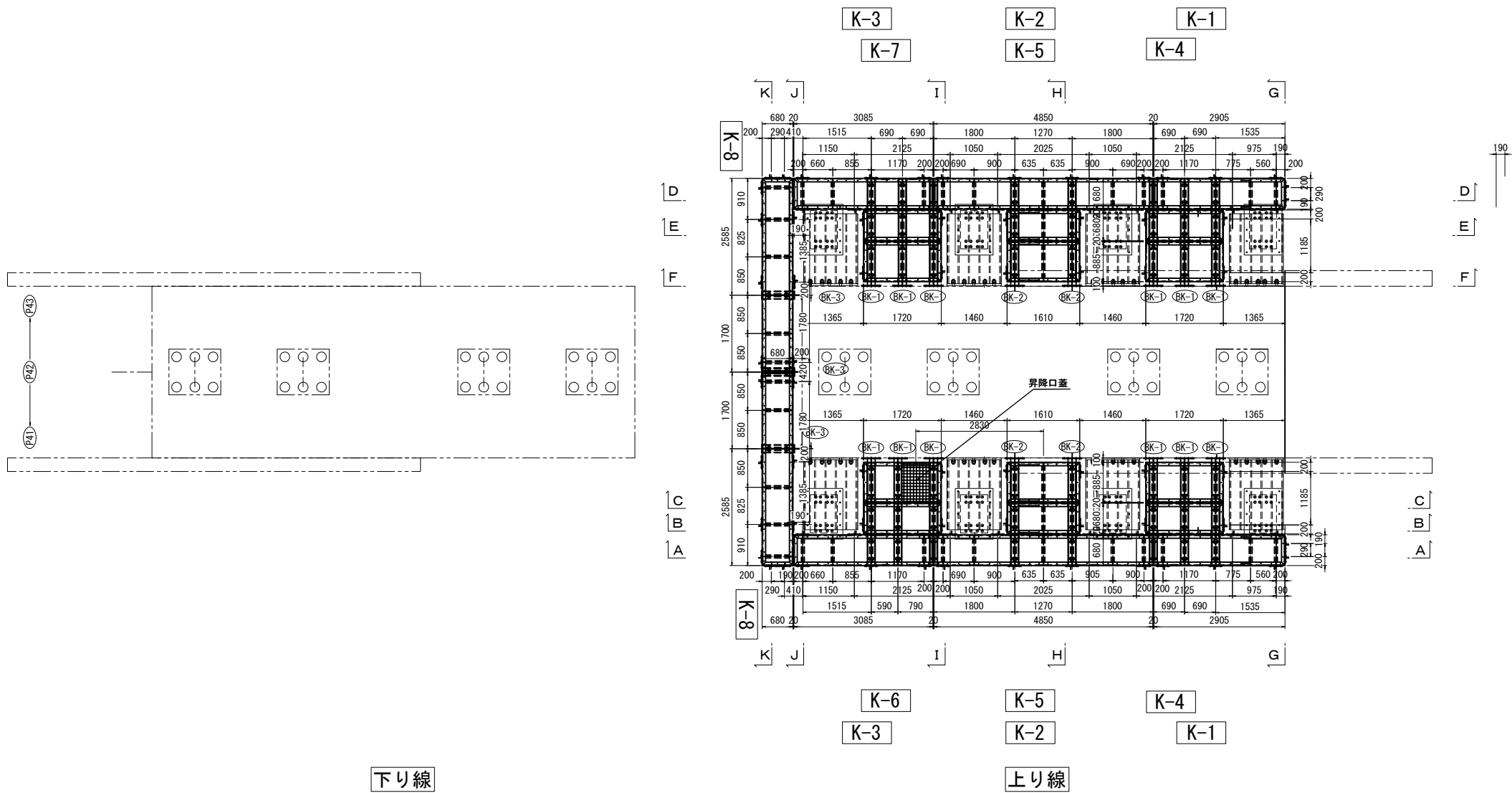
項 目	数量 (kg)	備考
検査路 新設工	8,996	

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 検査路設置図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	79 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		



注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 検査路設置図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	80 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		



K-1 (製作数=2組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2855$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1315$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 590$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2855$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1315$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 590$ (STK400)
- 7-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1442$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1290$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1365$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 660$
- 7-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 28-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 28-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 7-Uボルト 呼び 32C
- 14-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 2855$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 2905$
- 1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 5-FB $65 \times 6 \times 530$
- 5-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 28-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-2 (製作数=2組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4850$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1360$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4850$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1360$ (STK400)
- 8-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1710$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1706$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1105$
- 8-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 32-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 32-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 8-Uボルト 呼び 32C
- 16-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 4790$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 4850$
- 2-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 7-FB $65 \times 6 \times 530$
- 7-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 2-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 44-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-3 (製作数=2組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 3085$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1455$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 3085$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1455$ (STK400)
- 5-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1545$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1285$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1635$
- 5-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 20-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 20-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 5-Uボルト 呼び 32C
- 10-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 3035$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 3085$
- 1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 5-FB $65 \times 6 \times 530$
- 5-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 30-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-4 (製作数=2組)

- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1585$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1585$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 680$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 885$
- 4-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 16-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 16-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1680$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $845 \times 3.2 \times 1680$ (SS400相当品)
- 4-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1720$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 885$
- 3-FB $65 \times 6 \times 530$
- 3-FB $65 \times 6 \times 735$
- 3-FB $75 \times 9 \times 667$
- 3-FB $75 \times 9 \times 872$
- 3-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 3-PL $160 \times 9 \times 865$ (SM400A)
- 42-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-5 (製作数=2組)

- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1585$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1585$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 680$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 885$
- 4-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 16-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 16-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1570$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $845 \times 3.2 \times 1570$ (SS400相当品)
- 4-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1610$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 885$
- 3-FB $65 \times 6 \times 530$
- 3-FB $65 \times 6 \times 735$
- 3-FB $75 \times 9 \times 667$
- 3-FB $75 \times 9 \times 872$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 2-PL $160 \times 9 \times 865$ (SM400A)
- 42-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-6 (製作数=1組)

- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1585$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1585$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 680$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 885$
- 4-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 16-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 16-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1680$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $845 \times 3.2 \times 245$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $845 \times 3.2 \times 775$ (SS400相当品)
- 4-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1720$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 885$
- 3-FB $65 \times 6 \times 530$
- 3-FB $65 \times 6 \times 735$
- 3-FB $75 \times 9 \times 667$
- 3-FB $75 \times 9 \times 872$
- 3-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 3-PL $160 \times 9 \times 865$ (SM400A)
- 36-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-7 (製作数=1組)

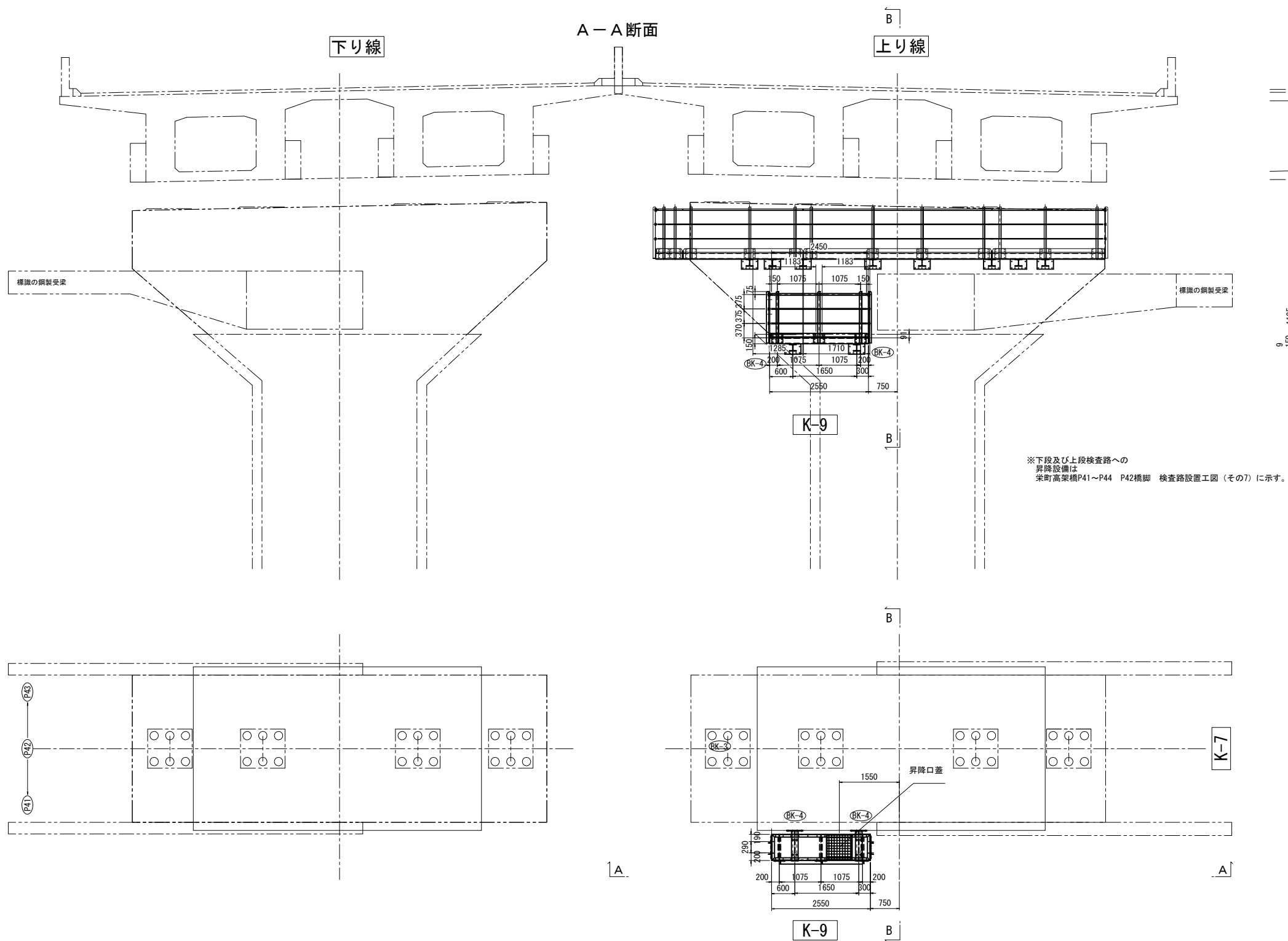
- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1585$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1585$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 680$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 885$
- 4-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 16-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 16-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1680$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $845 \times 3.2 \times 1680$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $845 \times 3.2 \times 775$ (SS400相当品)
- 4-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1720$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 885$
- 3-FB $65 \times 6 \times 530$
- 3-FB $65 \times 6 \times 735$
- 3-FB $75 \times 9 \times 667$
- 3-FB $75 \times 9 \times 872$
- 3-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 3-PL $160 \times 9 \times 865$ (SM400A)
- 42-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-8 (製作数=2組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 3515$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4225$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 3515$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4225$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
- 9-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 818$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1220$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1897$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1503$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1897$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 670$
- 9-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 36-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 36-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 9-Uボルト 呼び 32C
- 18-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 4225$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 4275$
- 1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 6-FB $65 \times 6 \times 530$
- 6-FB $75 \times 9 \times 667$
- 1-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 42-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
垂鉛の付着料は、JIS H8641 HDZ35~HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縁鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 検査路設置図（その3）			
	縮 尺	図 示	図面番号	81 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



K-9 (製作数=1組)

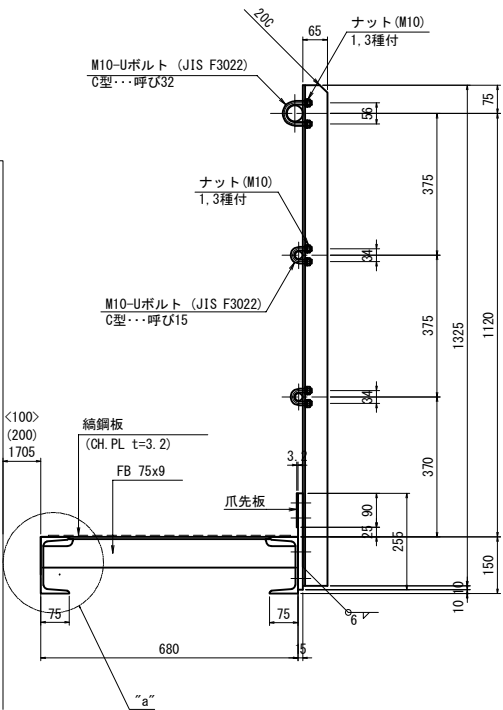
- 1-PPIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2450$ (STK400)
- 2-PPIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 590$ (STK400)
- 2-PPIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2450$ (STK400)
- 4-PPIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 590$ (STK400)
- 7-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 670$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 1183$
- 7-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 28-BN M16 $\times 50$ (2-W付)
- 28-BN M10 $\times 40$ (2-W付)
- 7-Uボルト 呼び 32C
- 14-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 440$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1390$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 2550$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 3-FB $65 \times 6 \times 530$
- 3-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 22-BN M10 $\times 35$ (1-W, 1-TW付)

- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ35～HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 - 床材に編銅板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m (0.7m²) 程度に1箇所程度設けるのが良い。
 - 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

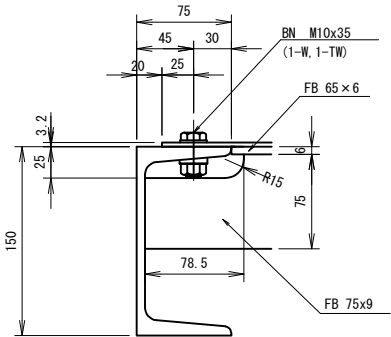
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 検査路設置図（その4）			
	縮 尺	図 示	図面番号	82 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

手摺詳細図

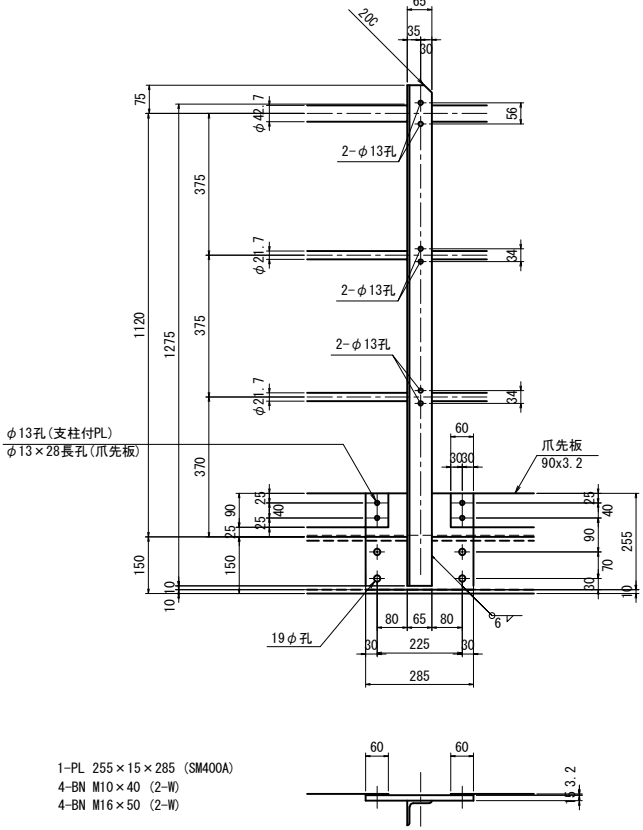
K-1～K-3 (K-8) <K-4～K-7>



a部詳細 S=1:6

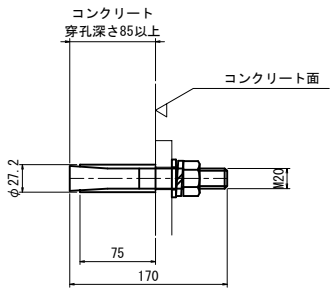


中間支柱部

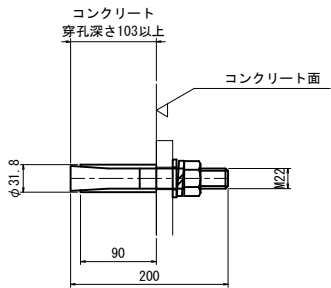


打込式アンカー詳細 S=1:3

ブラケット用
(スリーブ打込式)

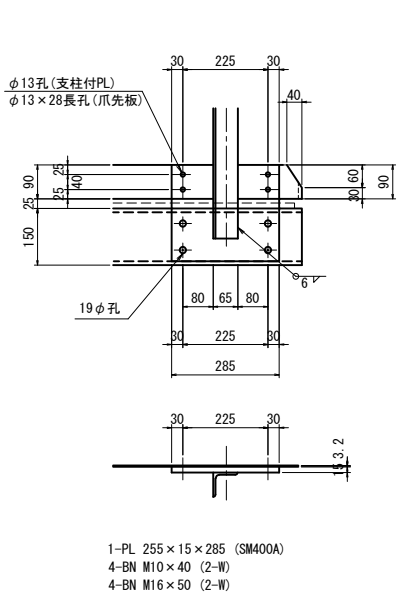


1-打込式アンカー M20×170L

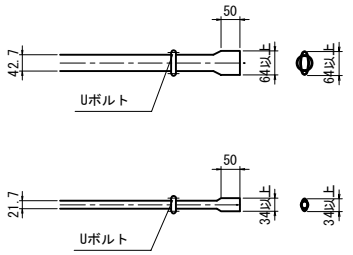


1-打込式アンカー M22×200L

端支柱部

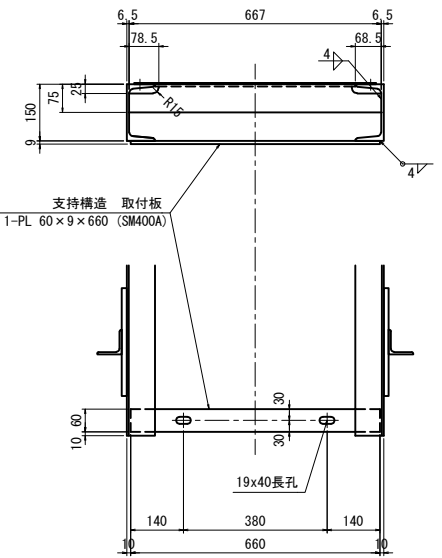
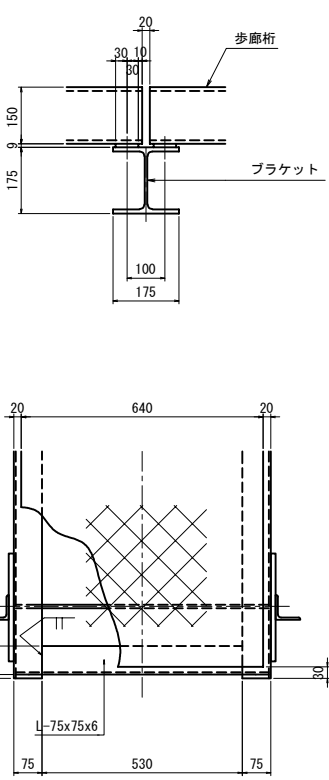


手摺り抜け落ち防止加工詳細



※支柱2箇所のみで手摺りを固定している場合は
Uボルトからの抜け落ち防止加工を行う

掛け違い部



注記)

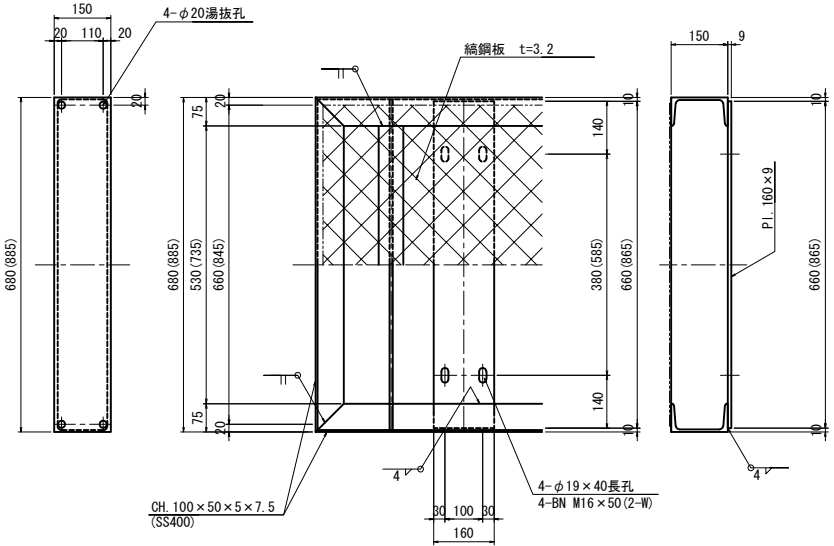
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格：JIS H8641)
 - 厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
 - 厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
 - 厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 検査路設置図（その5）			
	縮 尺	図 示	図面番号	83 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名	東日本高速道路株式会社			
事務所名	関東支社 千葉管理事務所			

歩廊詳細

端部

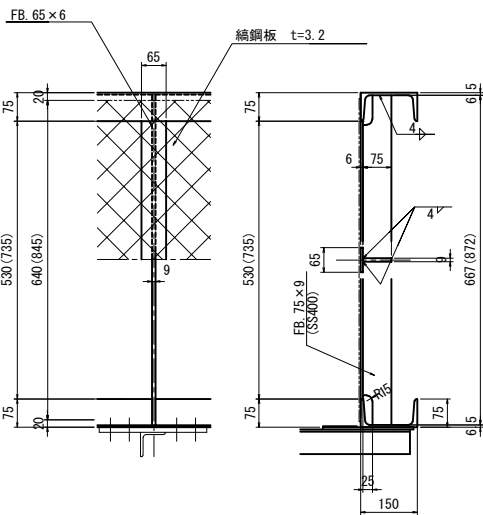
() 内はK-4~7の歩廊幅850mm部の数値



歩廊幅680mm : 1-PL 160×9×660 (SM400A)
歩廊幅885mm : 1-PL 160×9×865 (SM400A)

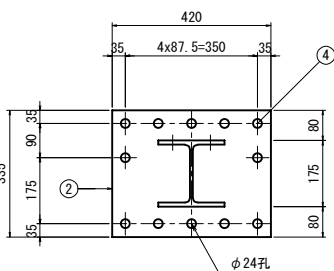
中間部

() 内はK-4~7の歩廊幅850mm部の数値

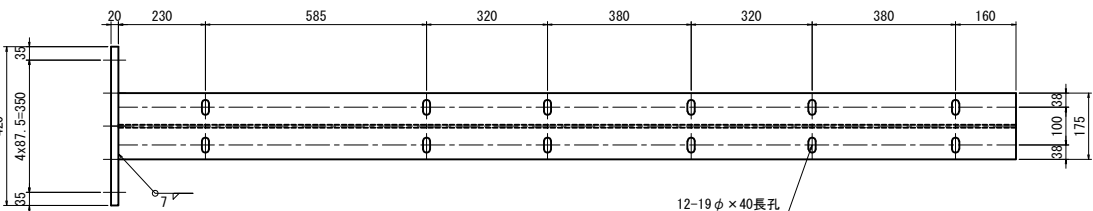
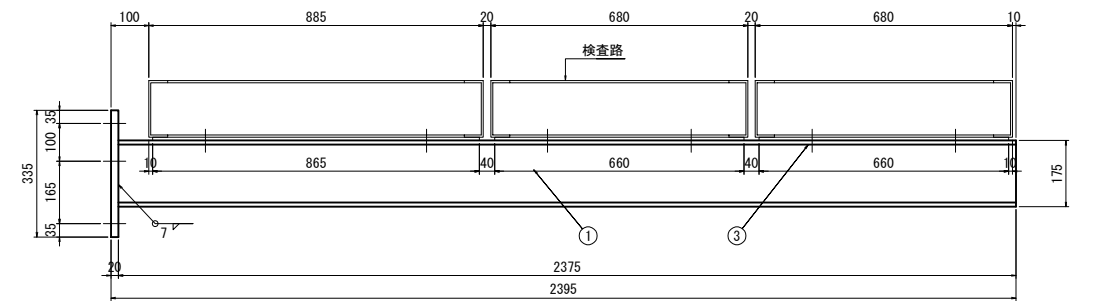


歩廊幅 680mm : 1-FB 65×6×530
1-FB 75×9×667
歩廊幅 885mm : 1-FB 65×6×735
1-FB 75×9×872

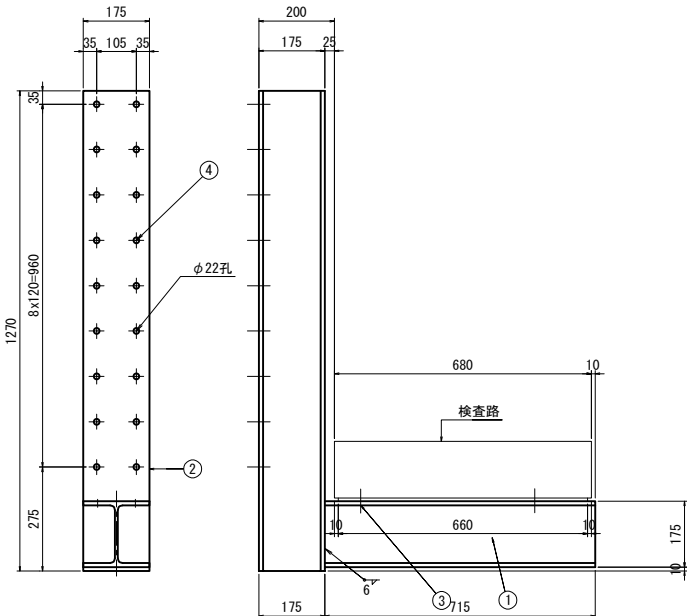
BK-1
(N=12組)



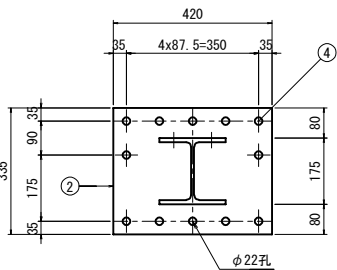
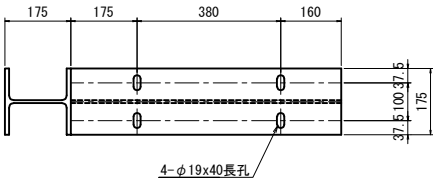
- ① 1-H 175×175×7.5×11×2375
- ② 1-BASE PL 420×20×335 (SM400A)
- ③ 12-BN M16×50(2-W)
- ④ 12-打込式アンカー M22×200L



BK-3
(N=3組)



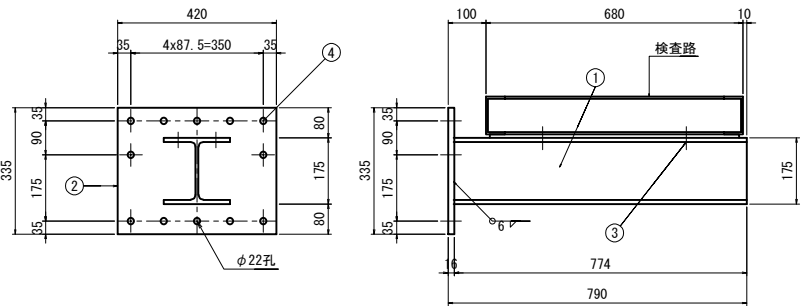
- ① 1-H 175×175×7.5×11×1270
- ② 1-H 175×175×7.5×11×715
- ③ 4-BN M16×50(2-W)
- ④ 18-打込式アンカー M20×170L



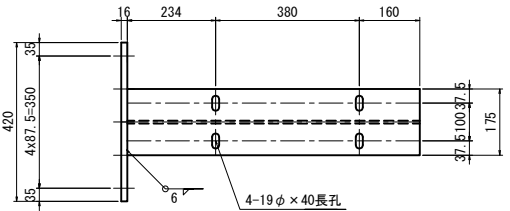
- ① 1-H 175×175×7.5×11×2379
- ② 1-BASE PL 420×16×335 (SM400A)
- ③ 12-BN M16×50(2-W)
- ④ 12-打込式アンカー M20×170L

ブラケット詳細図

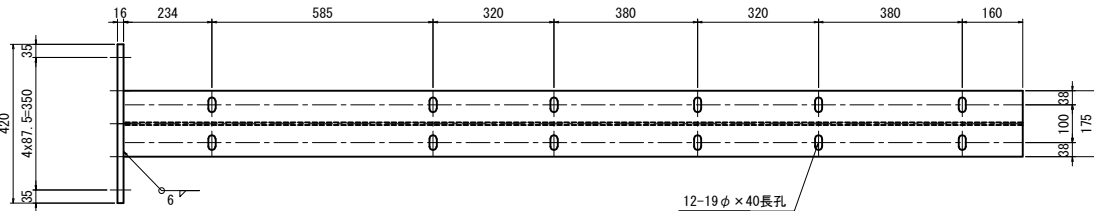
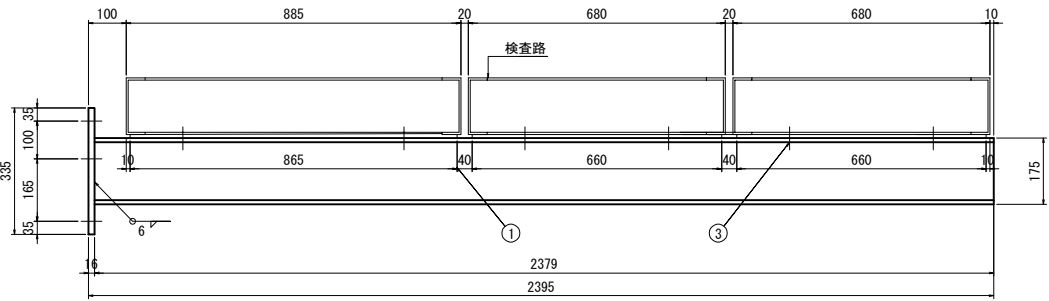
BK-4
(N=2組)



- ① 1-H 175×175×7.5×11×774
- ② 1-BASE PL 420×16×335 (SM400A)
- ③ 4-BN M16×50(2-W)
- ④ 12-打込式アンカー M20×170L



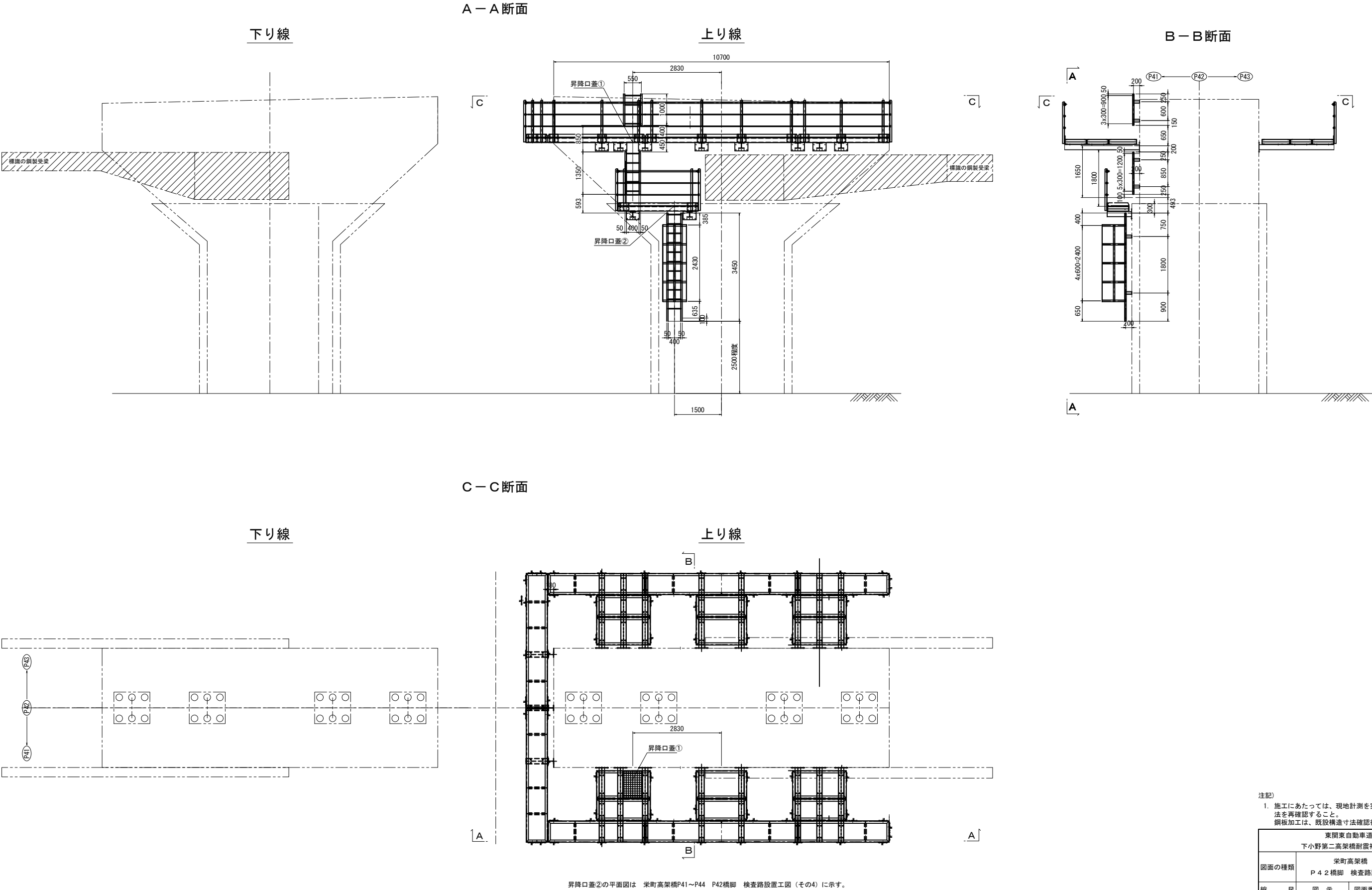
BK-2
(N=4組)



注記)

- 1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 2. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
- 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格 : JIS H8641)
厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

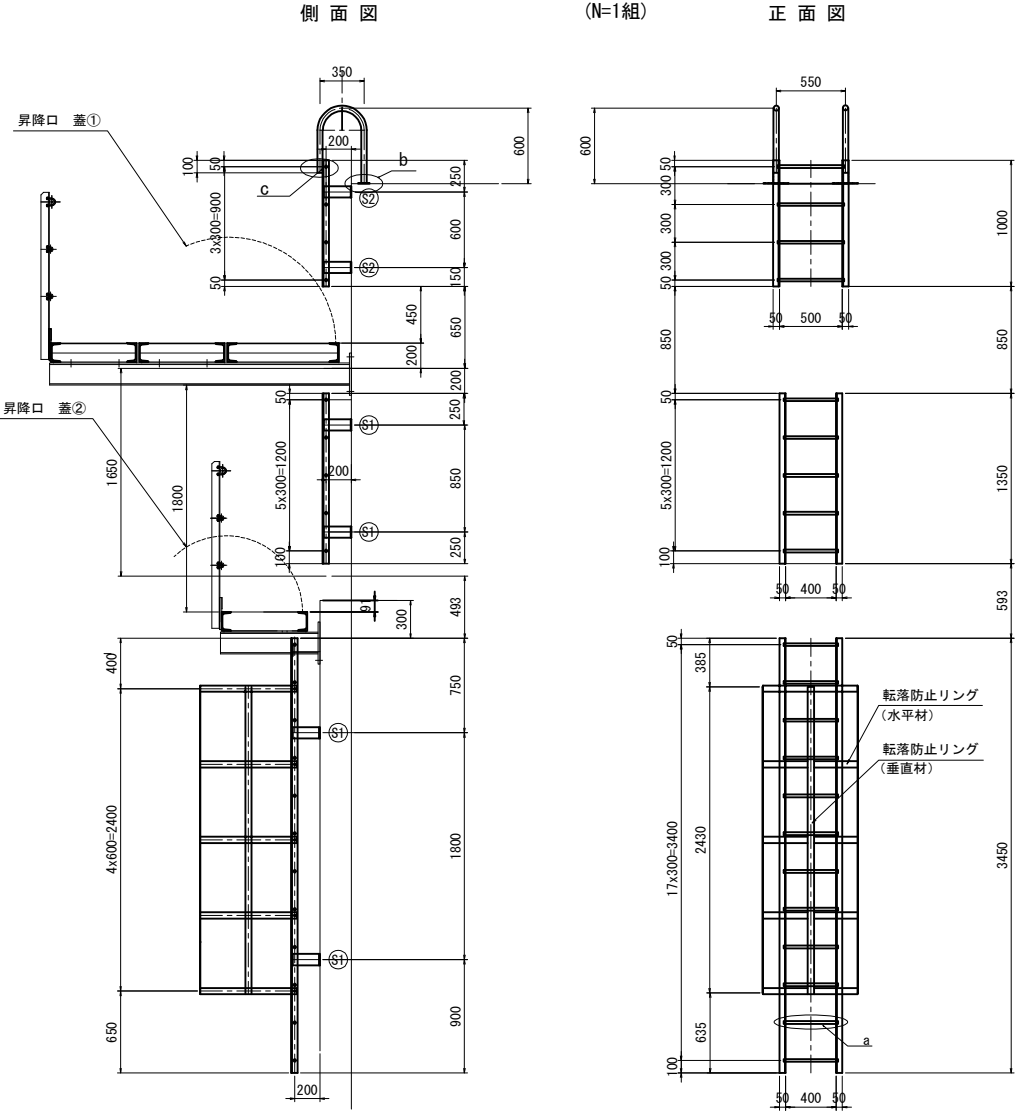
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 検査路設置図（その6）		
	縮 尺	図 示	図面番号 84 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		



注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 検査路設置図（その 7）		
	縮 尺	図 示	図面番号 85 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

昇降梯子
(N=1組)



昇降梯子

2-L 50×50×6×1000
2-L 50×50×6×1350
2-L 50×50×6×3450
17-RB φ22×430 (SR235)
4-RB φ22×530 (SR235)
2-PIPE φ42.7x2.3x1318 (STK400)

転落防止リング

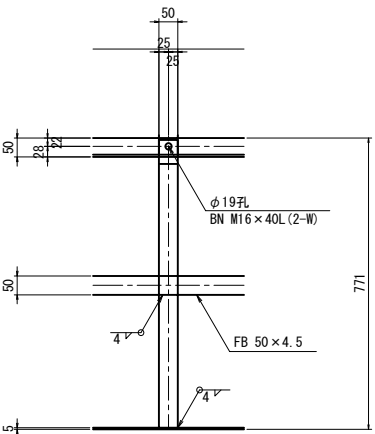
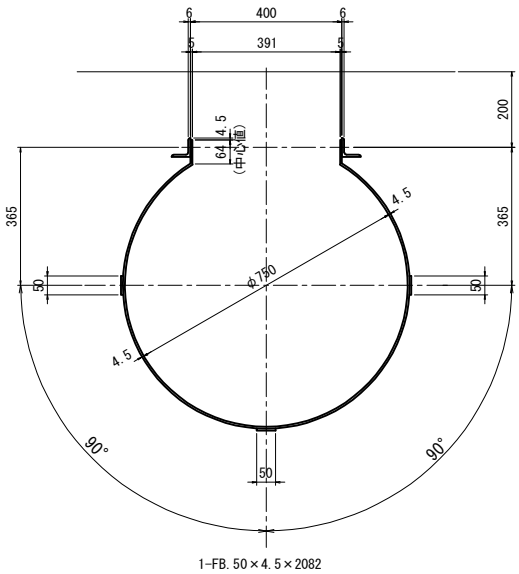
5-FB 50×4.5×2082
3-FB 50×4.5×2430
10-BN M16×40 (2-W)

支持金具

梯子支持
12-FB 90×6×318
12-打込式アンカー M16×125L
12-BN M16×40 (2-W)

天端支持
2-FB 90×6×200
4-打込式アンカー M16×125L

転落防止リング詳細 S=1:20

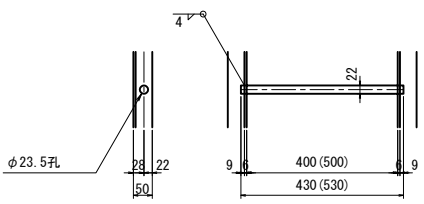


支持金具詳細
S1 (S2)

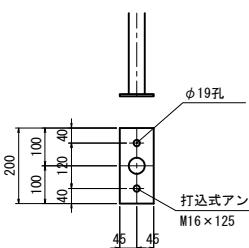
S=1:20

a 部詳細 S=1:20

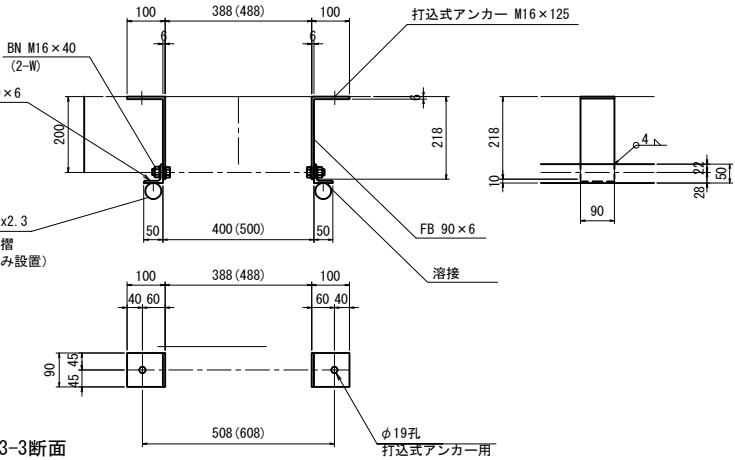
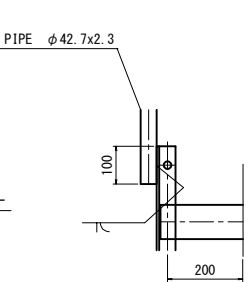
S1 (S2)



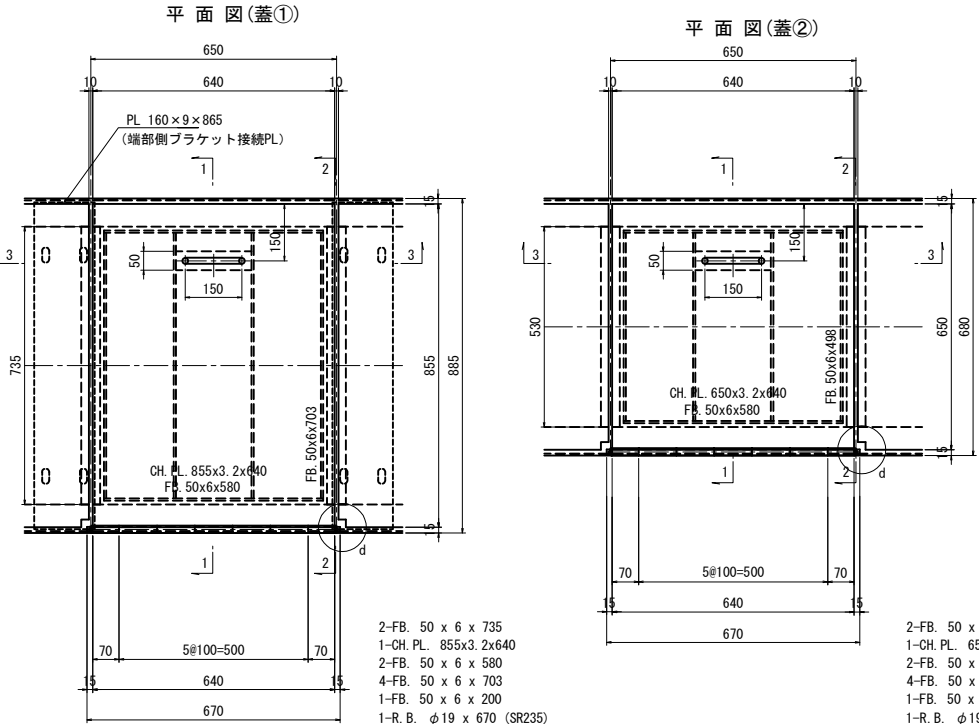
b 部詳細



c 部詳細



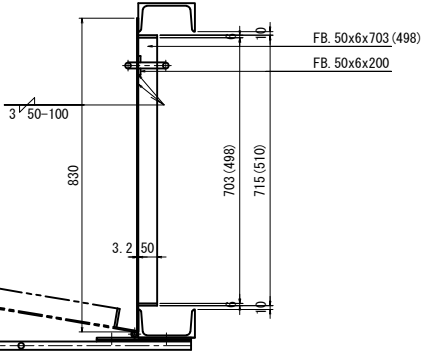
昇降口蓋詳細 S=1:20



平面図(蓋①)

平面図(蓋②)

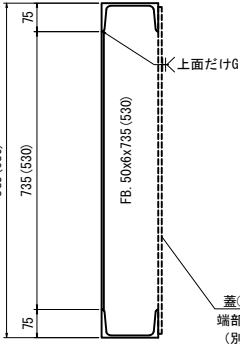
1-1断面
蓋①(蓋②)



取手詳細

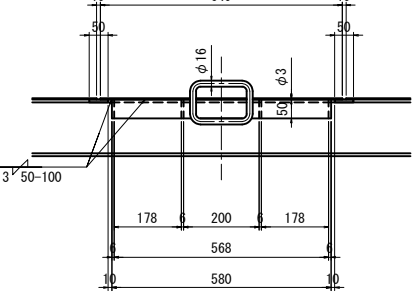
S=1:10

2-2断面
蓋①(蓋②)



d 部詳細

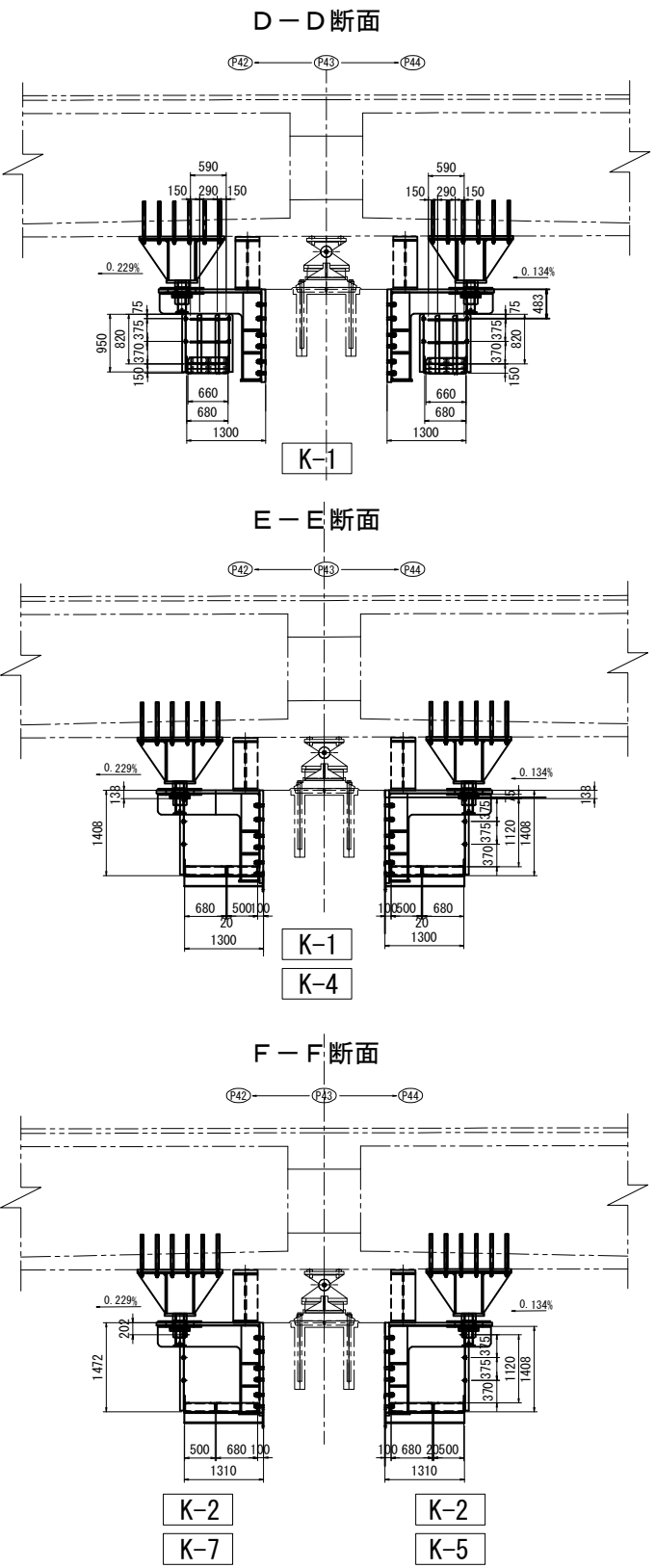
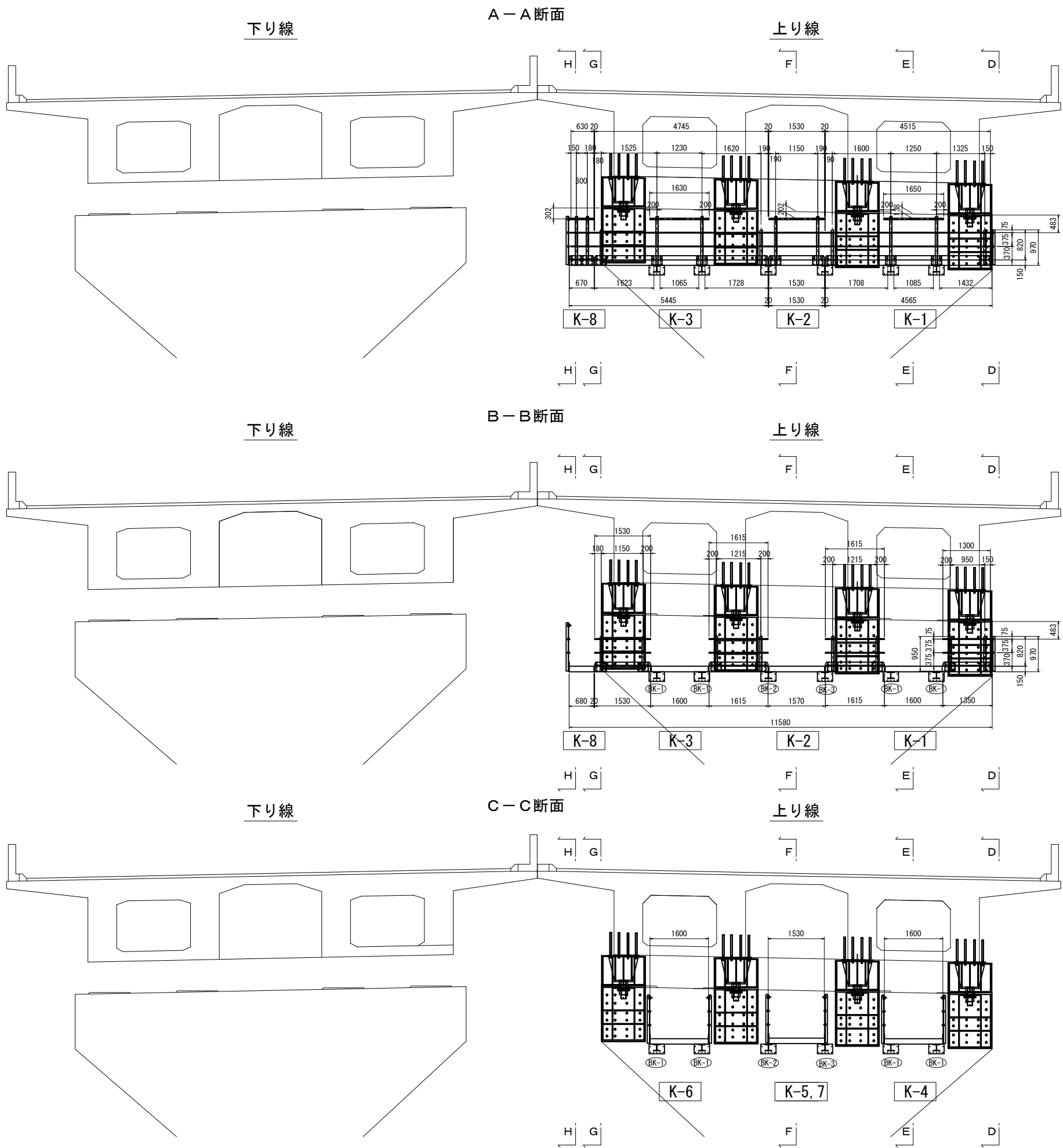
S=1:5



注記)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格: JIS H8641)
厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 2 橋脚 検査路設置図（その 8）		
縮 尺	図 示	図面番号	86 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		



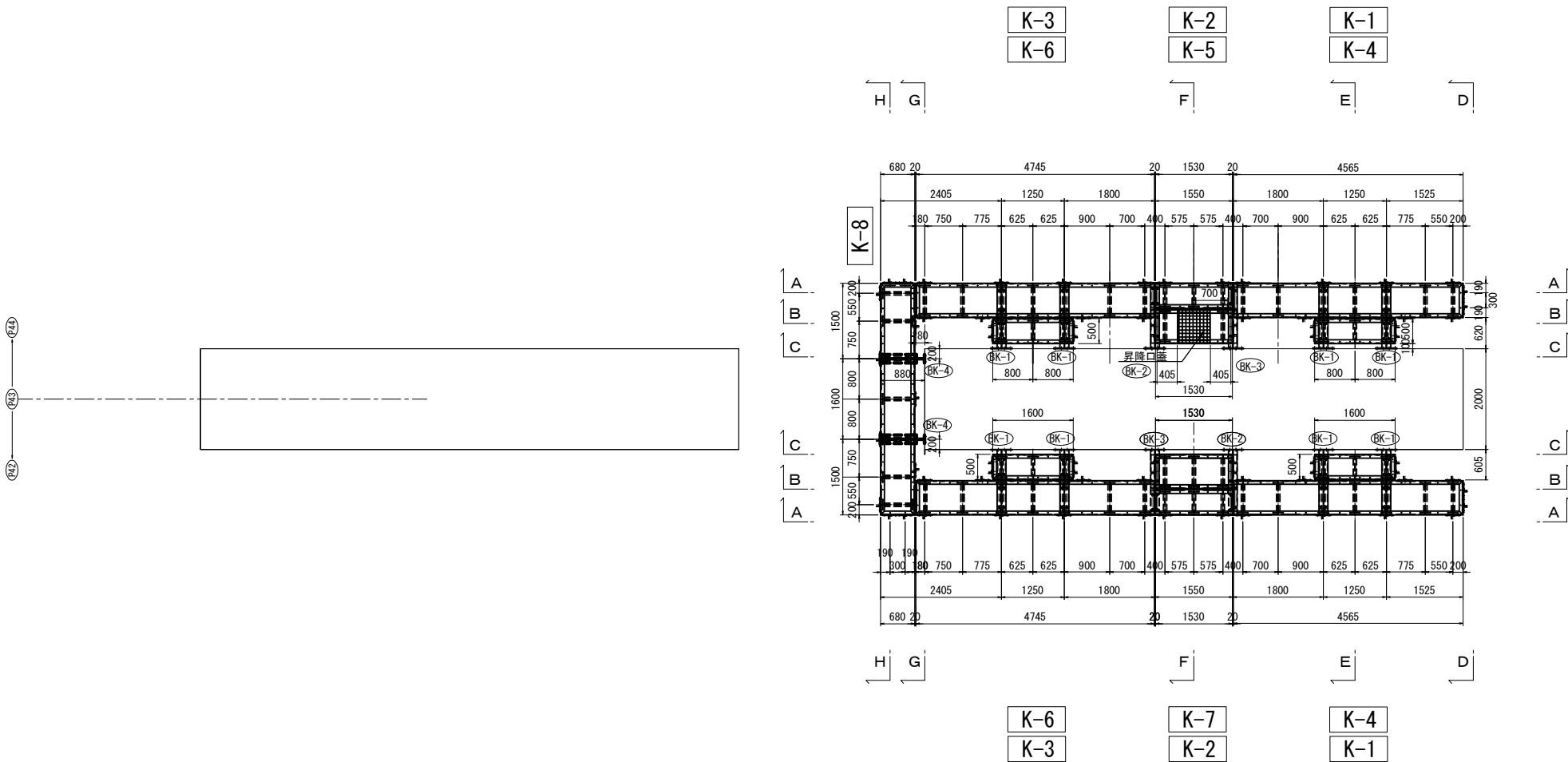
注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

項目	数量 (kg)	備考
検査路 新設工	新 規	5,325

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 3 橋脚 検査路設置図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	87 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

下り線

上り線



K-1 (製作数=2組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1650$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 590$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4515$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1300$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1615$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 590$ (STK400)
- 2-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 8-L $65 \times 65 \times 6 \times 950$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1350$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1615$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1432$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1085$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1708$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 660$
- 10-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 40-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 40-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 2-Uボルト 呼び 32C
- 20-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 4515$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 4565$
- 1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 7-FB $65 \times 6 \times 530$
- 7-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 46-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-2 (製作数=2組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1530$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1530$ (STK400)
- 2-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1530$
- 2-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 8-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 8-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 2-Uボルト 呼び 32C
- 4-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $460 \times 3.2 \times 1470$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1530$
- 2-L $75 \times 75 \times 6 \times 487$
- 3-FB $65 \times 6 \times 350$
- 3-FB $75 \times 9 \times 487$
- 2-PL $60 \times 9 \times 480$ (SM400A)
- 16-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-3 (製作数=2組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1630$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1615$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1530$ (STK400)
- 2-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 6-L $65 \times 65 \times 6 \times 950$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1615$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1530$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1728$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1065$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1623$
- 8-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 32-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 32-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 2-Uボルト 呼び 32C
- 16-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 4695$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 4745$
- 1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 7-FB $65 \times 6 \times 530$
- 7-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 48-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-4 (製作数=2組)

- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 500$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 500$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 500$
- 2-PL $255 \times 15 \times 400$ (SM400A)
- 12-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 8-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $460 \times 3.2 \times 1560$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1600$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 500$
- 3-FB $65 \times 6 \times 350$
- 3-FB $75 \times 9 \times 487$
- 20-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)
- 2-PL $160 \times 9 \times 480$ (SM400A)

K-5 (製作数=1組)

- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 500$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 500$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 500$
- 2-PL $255 \times 15 \times 400$ (SM400A)
- 12-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 8-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 2-CH. PL $640 \times 3.2 \times 405$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1530$
- 2-FB $65 \times 6 \times 530$
- 2-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 2-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 8-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)
- 2-PL $150 \times 6 \times 680$ (SM400A)

K-6 (製作数=2組)

- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 500$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 500$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 500$
- 2-PL $255 \times 15 \times 400$ (SM400A)
- 12-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 8-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $460 \times 3.2 \times 1560$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1600$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 500$
- 3-FB $65 \times 6 \times 350$
- 3-FB $75 \times 9 \times 487$
- 20-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)
- 2-PL $160 \times 9 \times 480$ (SM400A)

K-7 (製作数=1組)

- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 500$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 500$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 500$
- 2-PL $255 \times 15 \times 400$ (SM400A)
- 12-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 8-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1470$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1530$
- 3-FB $65 \times 6 \times 530$
- 3-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 2-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 16-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)
- 2-PL $150 \times 6 \times 680$ (SM400A)

K-8 (製作数=1組)

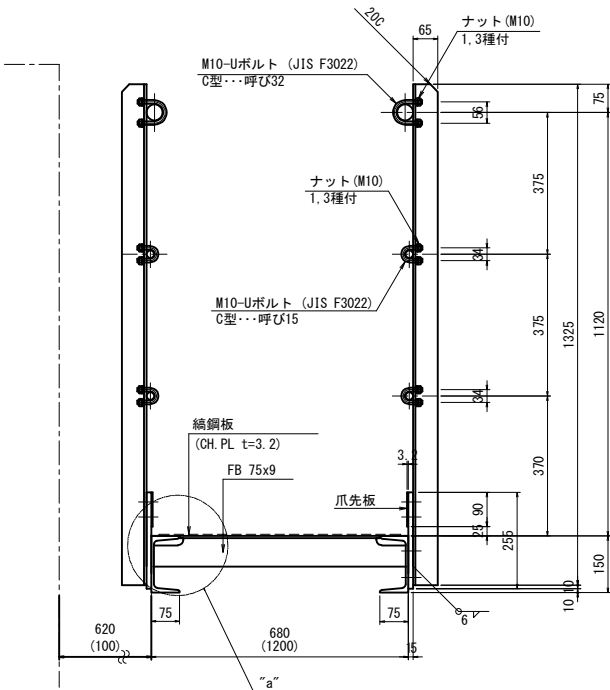
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4500$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 3140$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4500$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 3140$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
- 11-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 1538$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 2208$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 670$
- 11-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 44-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 44-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 11-Uボルト 呼び 32C
- 22-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 4560$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 4600$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 7-FB $65 \times 6 \times 530$
- 7-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 52-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ35~HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に鋼鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m²)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

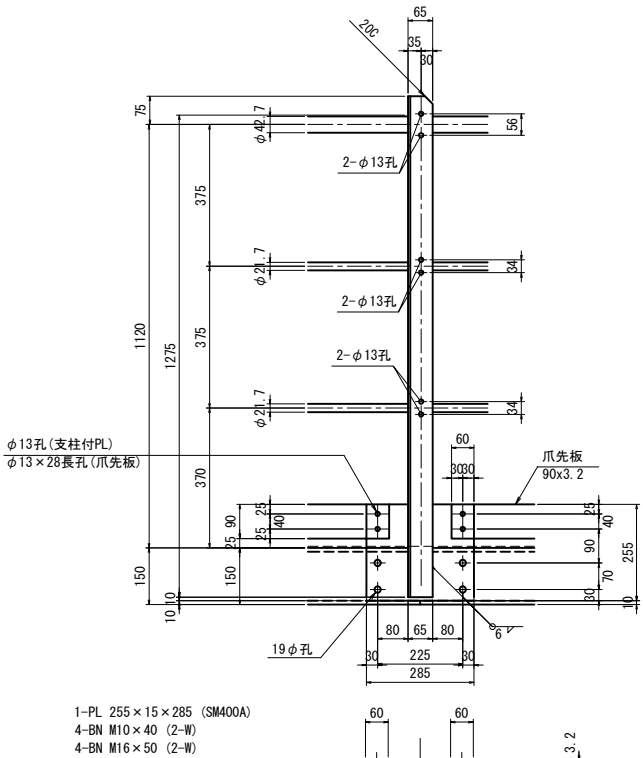
東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 3 橋脚 検査路設置図（その2）			
縮 尺	図 示	図面番号	88 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

手摺詳細図

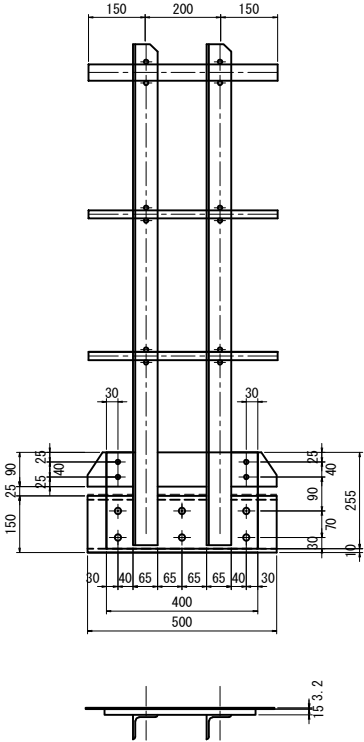
支柱部断面図



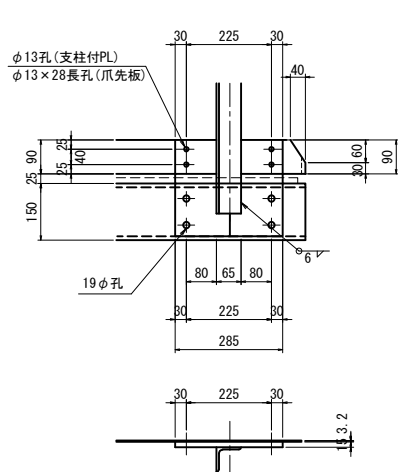
中間支柱部



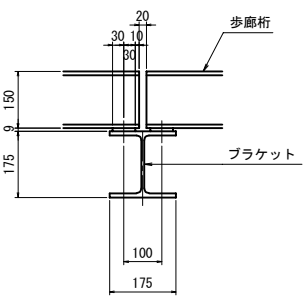
K-4, K-6 歩廊端部
(手摺構造・爪先板はK-5, K-7も同様)



端支柱部

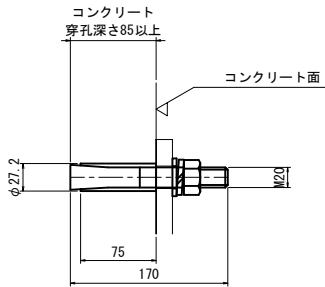


掛け違い部

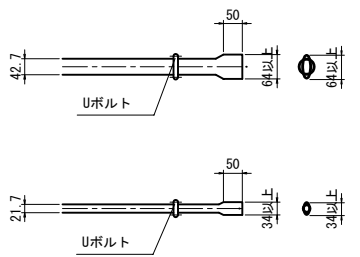


打込式アンカー詳細 S=1:6

ブラケット用
(スリーブ打込式)



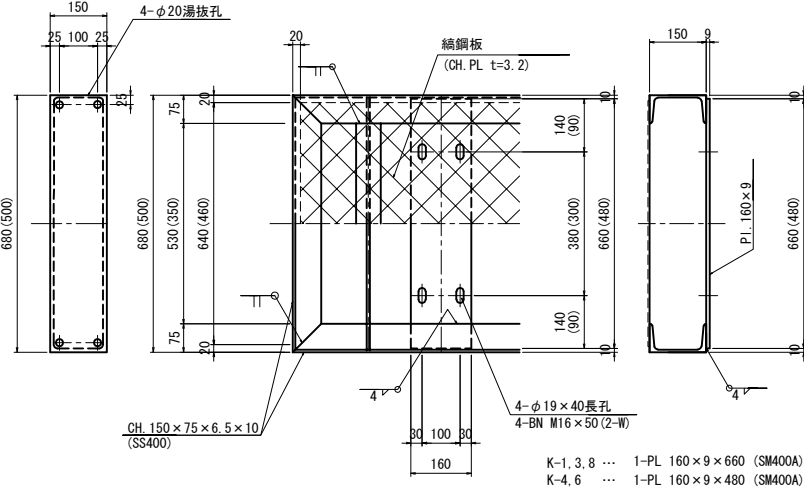
手摺り抜け落ち防止加工詳細



歩廊詳細

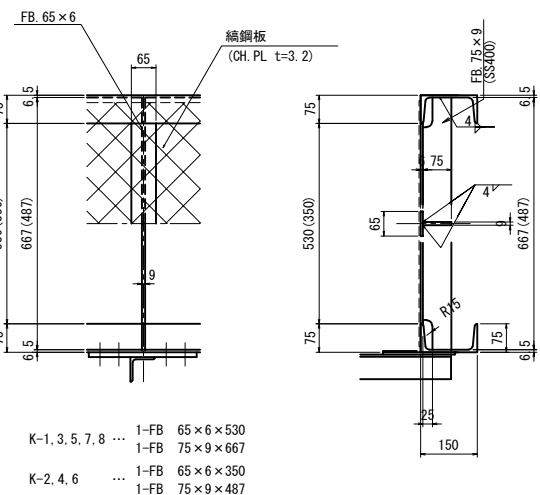
端部

K-1, K-3, K-8, (K-4, K-6)



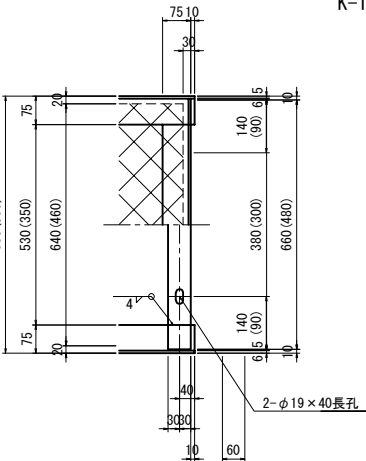
中間部

K-1, 3, 5, 7 (K-2, 4, 6)

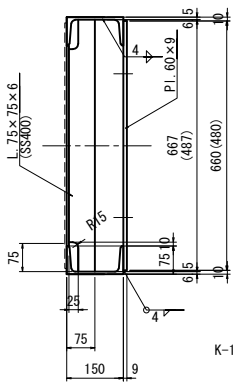


掛け違い部

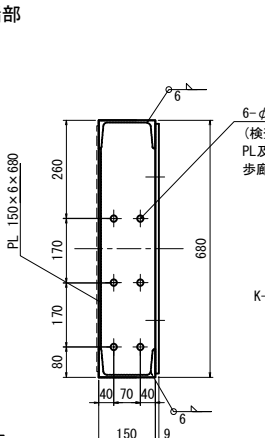
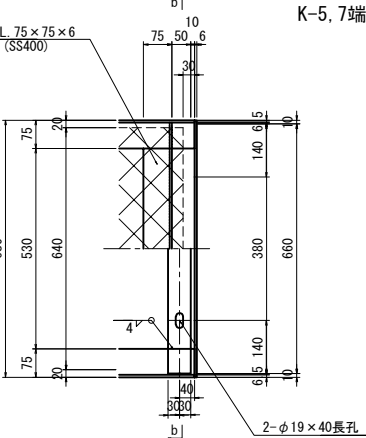
K-1, 3 (K-2)



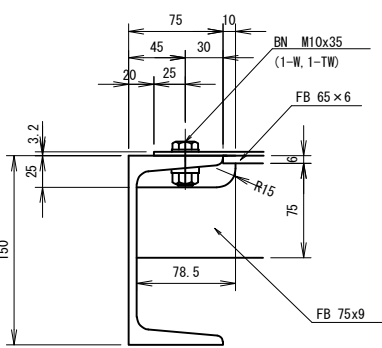
※K-5, 7端部 b-b断面も同様



K-5, 7端部



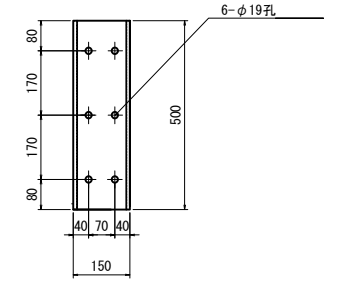
a部詳細 S=1:6



注記

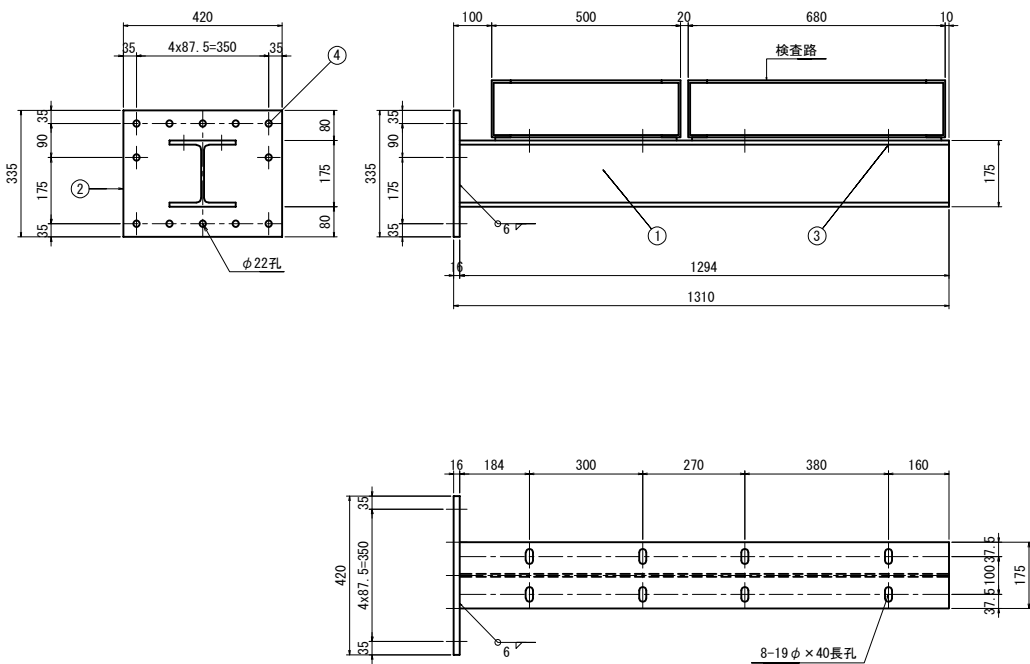
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
 3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。(JIS規格：JIS H8641)
 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格：JIS H8641)
- 厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
- 厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
- 厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

K-4, K-6 端部孔明詳細 (手摺取付PL用)



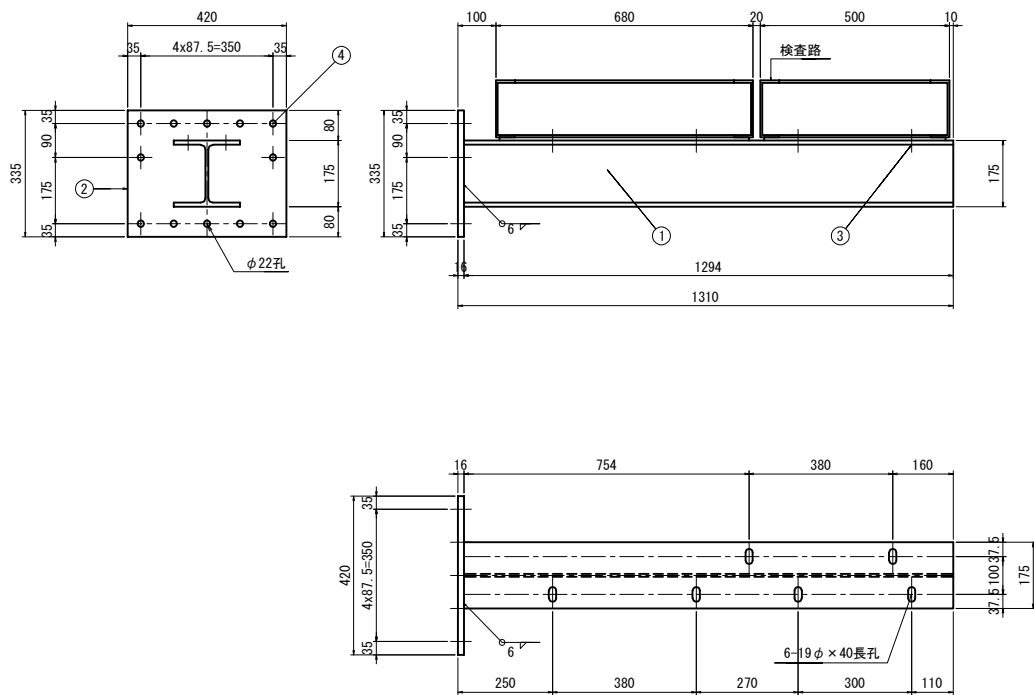
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 3 橋脚 検査路設置図（その3）			
縮 尺	図 示	図面番号	89 / 14	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

BK-1
(N=8組)



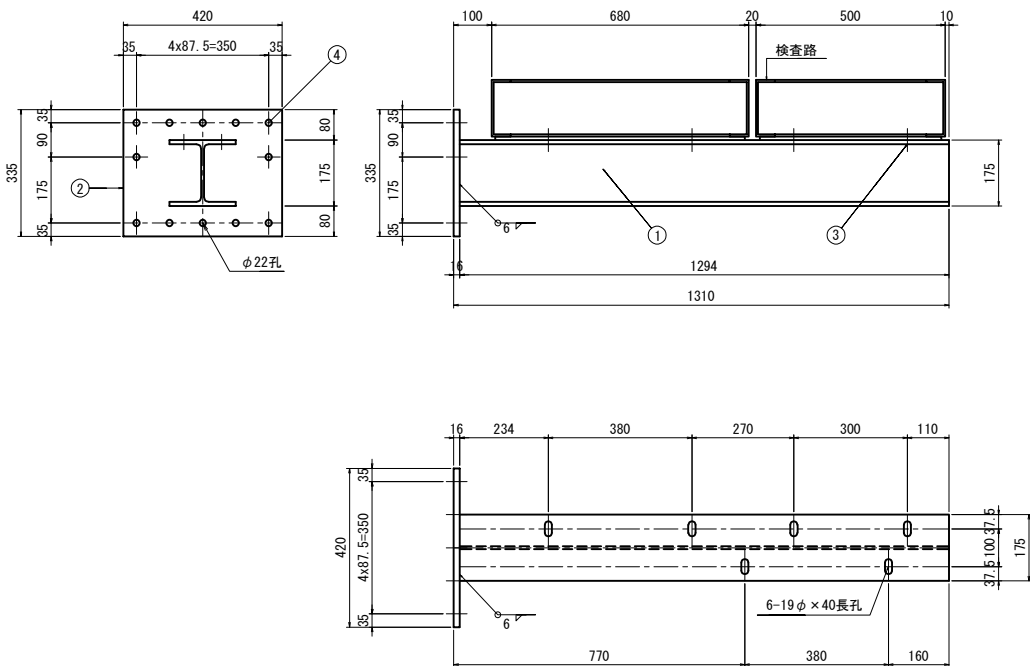
- ① 1-H 175×175×7.5×11×1294
② 1-BASE PL 420×16×335 (SM400A)
③ 8-BN M16×50 (2-W)
④ 12-打込式アンカー M20×170L

BK-2
(N=2組)



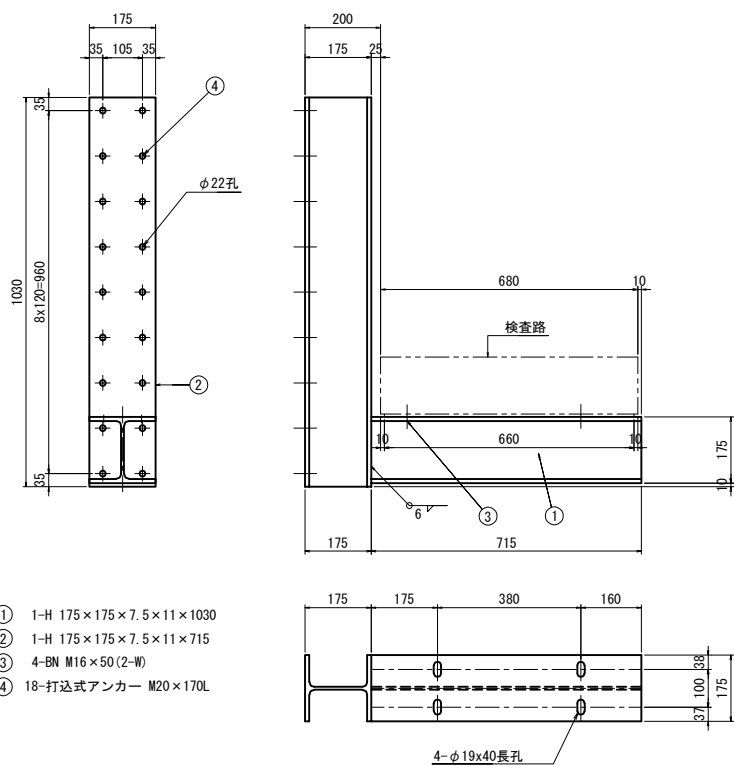
- ① 1-H 175×175×7.5×11×1294
② 1-BASE PL 420×16×335 (SM400A)
③ 6-BN M16×50 (2-W)
④ 12-打込式アンカー M20×170L

BK-3
(N=2組)



- ① 1-H 175×175×7.5×11×1294
② 1-BASE PL 420×16×335 (SM400A)
③ 6-BN M16×50 (2-W)
④ 12-打込式アンカー M20×170L

BK-4
(N=2組)



- ① 1-H 175×175×7.5×11×1030
② 1-H 175×175×7.5×11×715
③ 4-BN M16×50 (2-W)
④ 18-打込式アンカー M20×170L

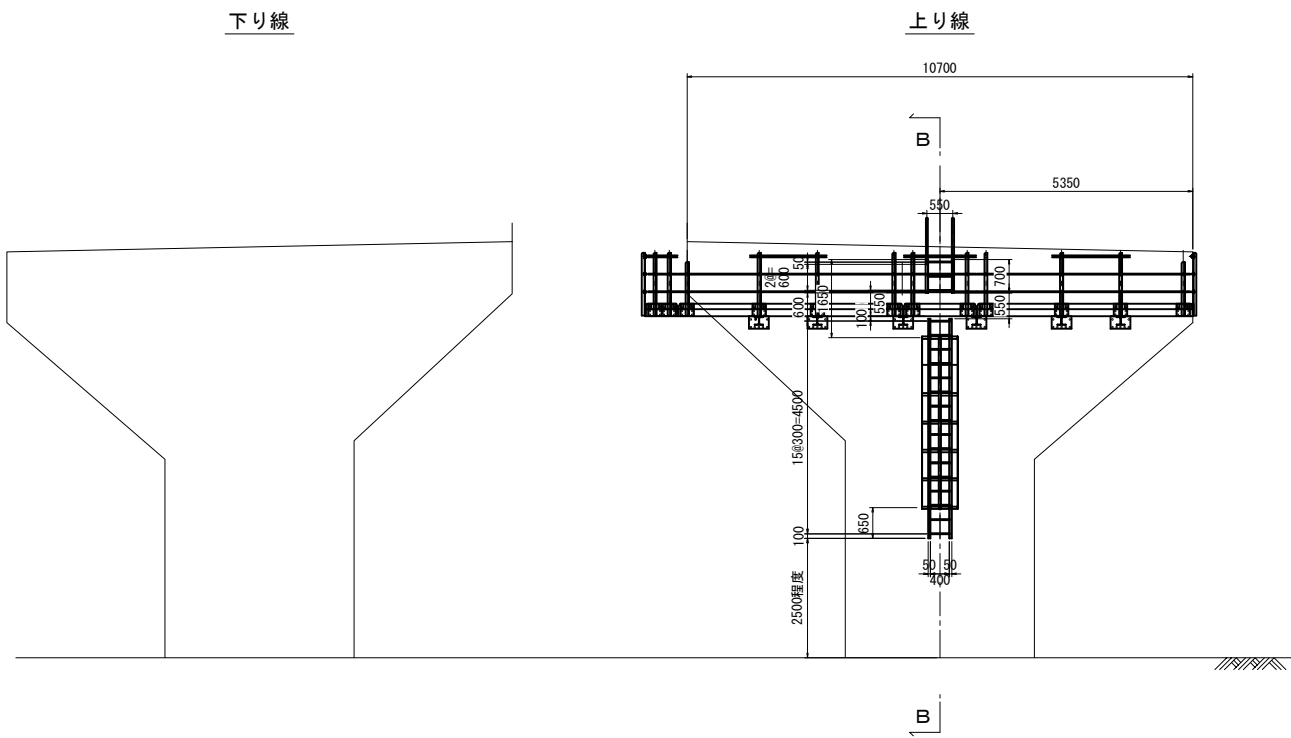
注記)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
4. 部材は、全て溶融面鉛めっきとする。(JIS規格：JIS H8641)
厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

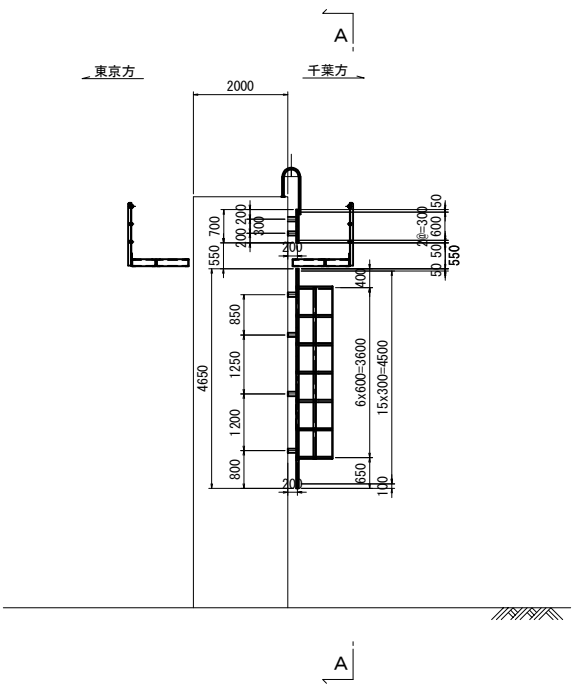
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 3 橋脚 検査路設置図（その4）			
	縮 尺	図 示	図面番号	90 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

昇降設備詳細図

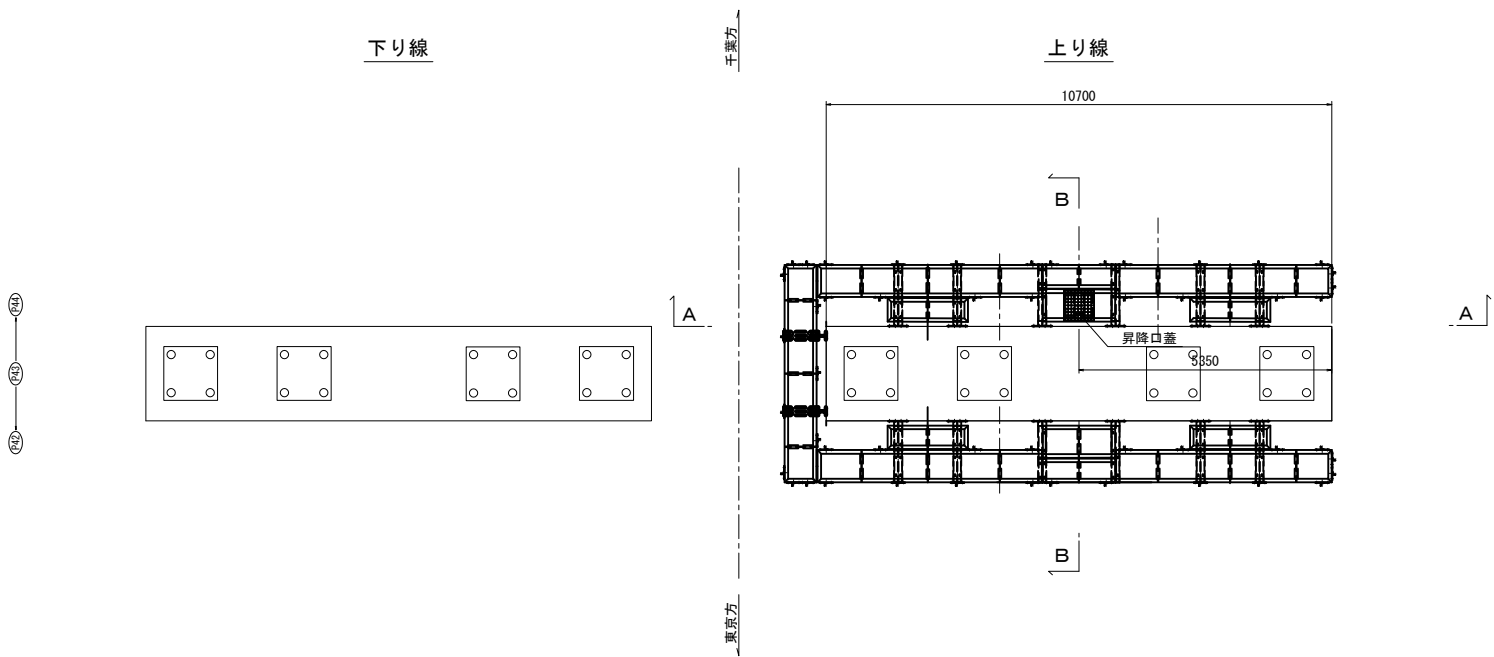
A－A断面



B－B断面



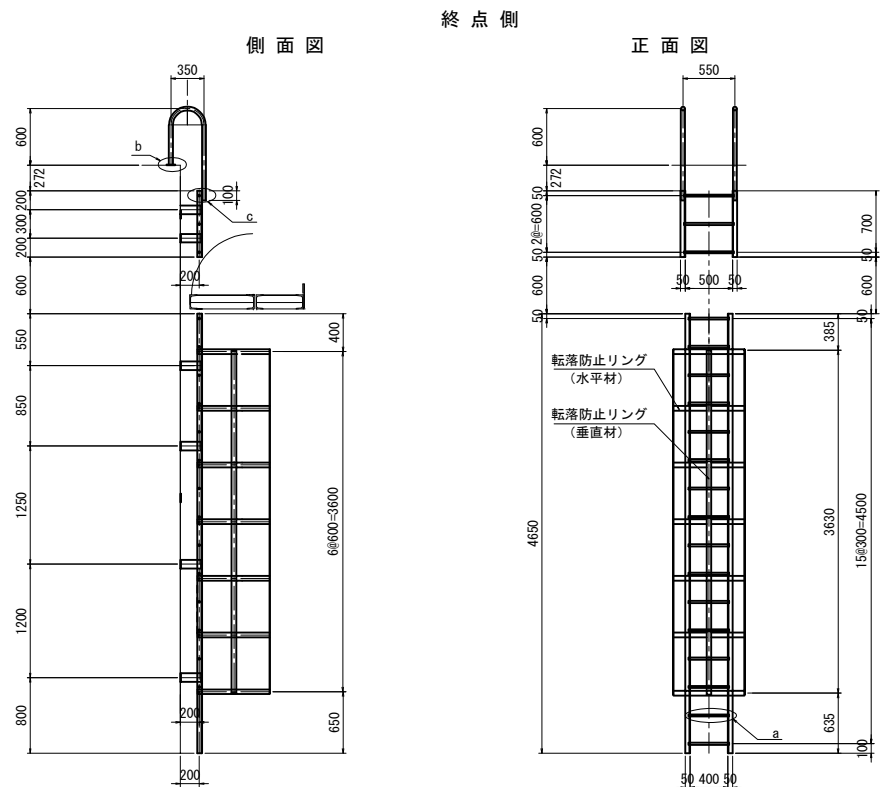
平面図



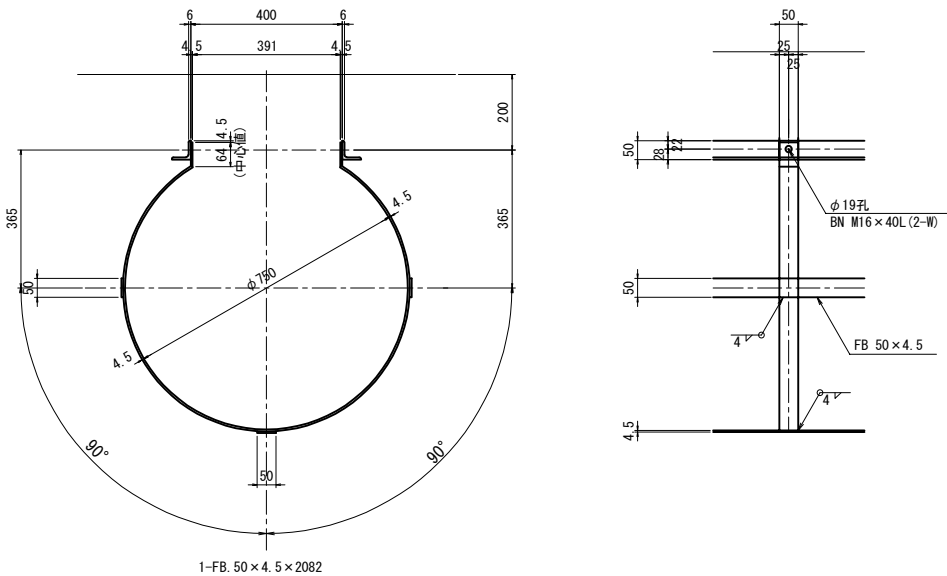
注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 3 橋脚 検査路設置図（その5）			
	縮 尺	図 示	図面番号	91 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

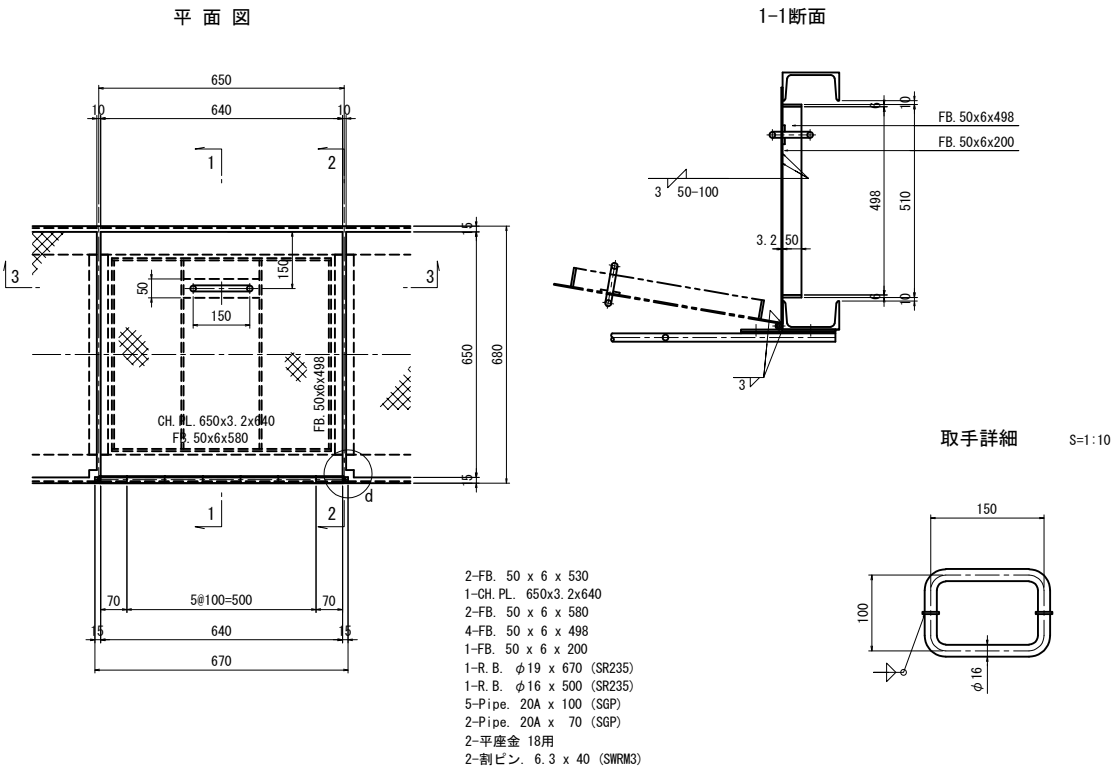
昇降梯子 S=1:80



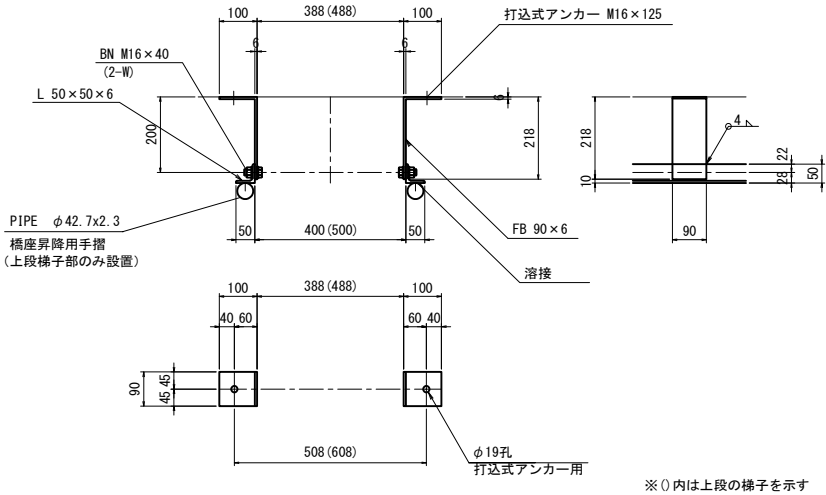
転落防止リング詳細



昇降口蓋詳細



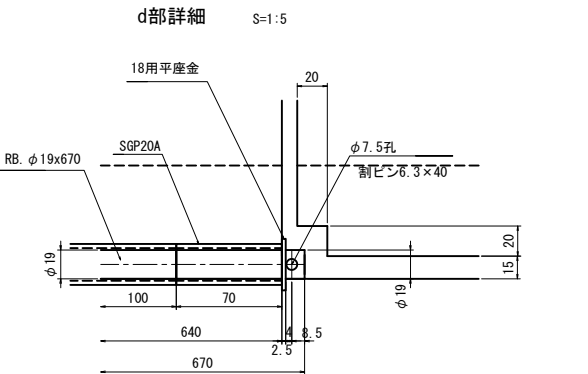
支持金具詳細



a部詳細

b部詳細

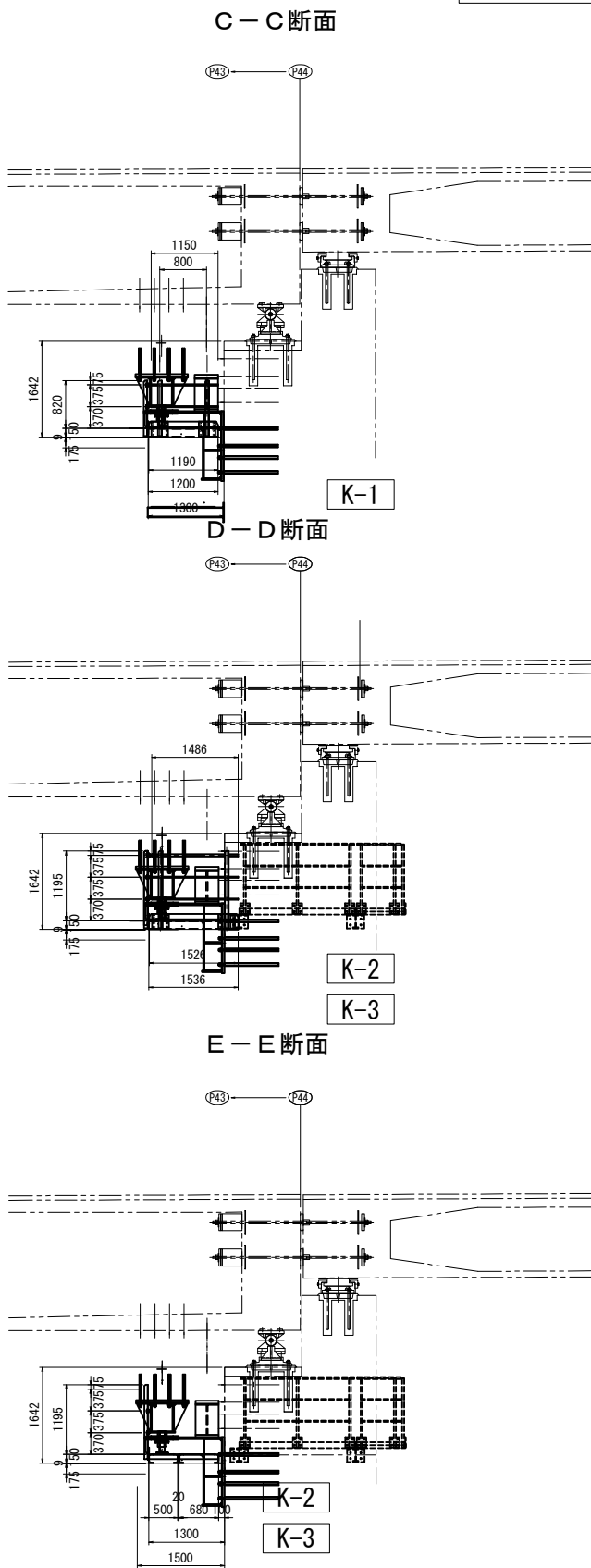
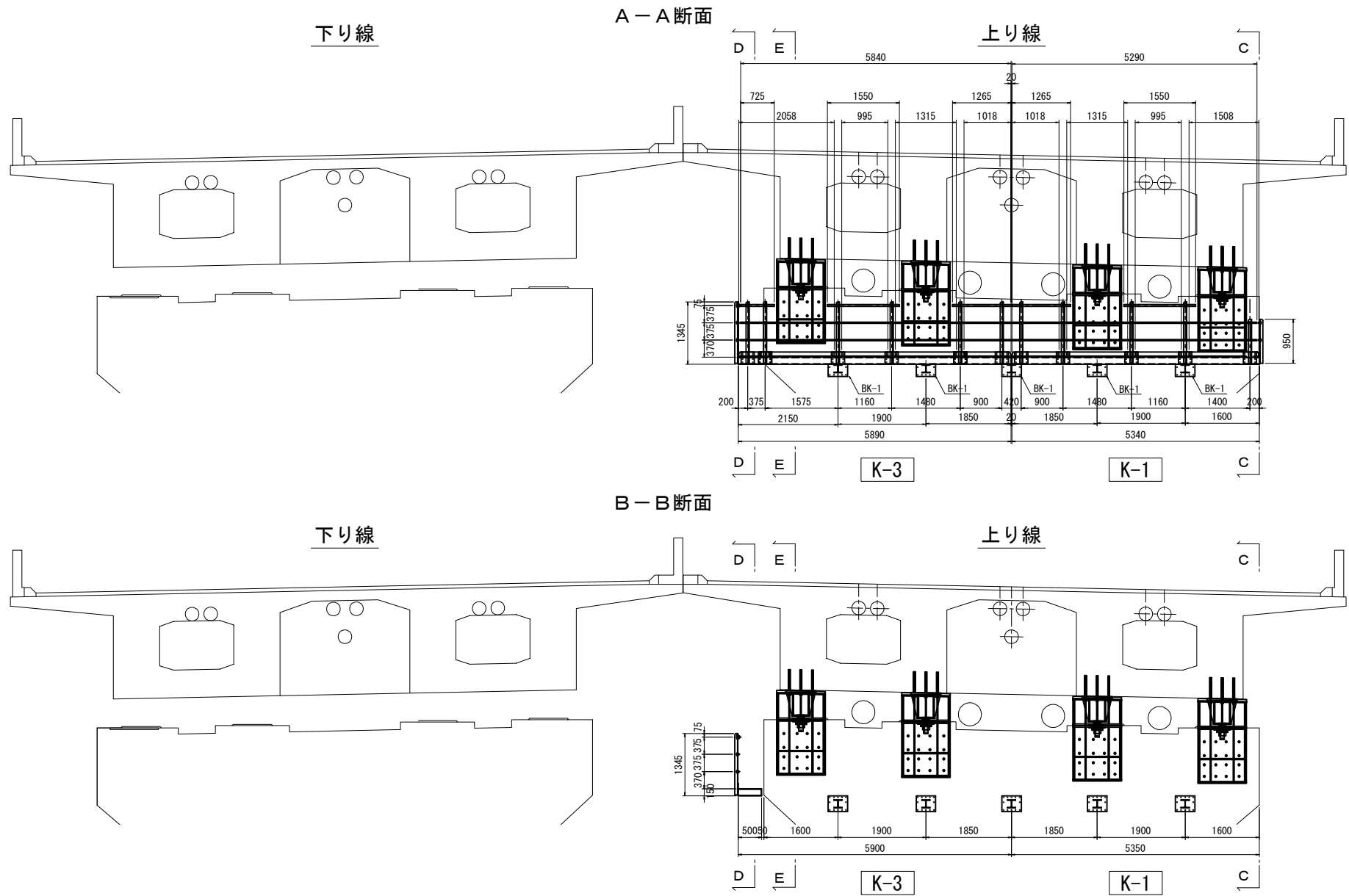
c部詳細



注記)

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格: JIS H8641)
厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 3 橋脚 検査路設置図（その6）			
縮 尺	図 示	図面番号	92	/ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

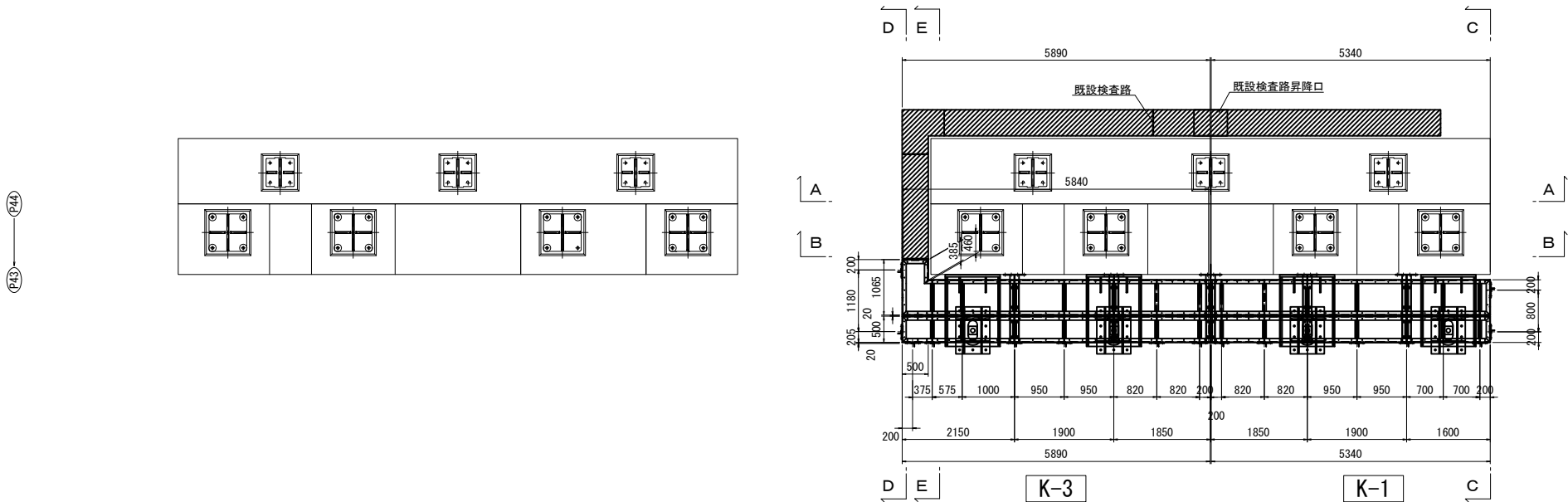
項 目	数量 (kg)	備考
検査路 新設工	2,173	

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 4 橋脚 検査路設置図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	93 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

下り線

上り線

平面図



K-1 (製作数=1組)

1-PIPE	φ42.7×2.3×1550 (STK400)	1-CH. PL	640×3.2×5290 (SS400相当品)
1-PIPE	φ42.7×2.3×1265 (STK400)	1-CH. PL	460×3.2×5290 (SS400相当品)
2-PIPE	φ21.7×1.9×5290 (STK400)	4-CH	150×75×6.5×10×5340
2-PIPE	φ21.7×1.9×1150 (STK400)	1-CH	150×75×6.5×10×500
4-L	65×65×6×1325	1-CH	150×75×6.5×10×680
3-L	65×65×6×950	1-L	75×75×6×487
1-PL	90×3.2×1508	1-L	75×75×6×667
1-PL	90×3.2×995	7-FB	65×6×350
1-PL	90×3.2×1315	7-FB	75×9×487
1-PL	90×3.2×1018	7-FB	65×6×530
1-PL	90×3.2×1190	7-FB	75×9×667
7-PL	255×15×285 (SM400A)	2-PL	160×9×480 (SM400A)
28-BN	M16×50 (2-W付)	2-PL	160×9×660 (SM400A)
28-BN	M10×40 (2-W付)	1-PL	60×9×480 (SM400A)
4-Uボルト	呼び 32C	1-PL	60×9×660 (SM400A)
14-Uボルト	呼び 15C	100-BN	M10×35 (1-W, 1-TW付)

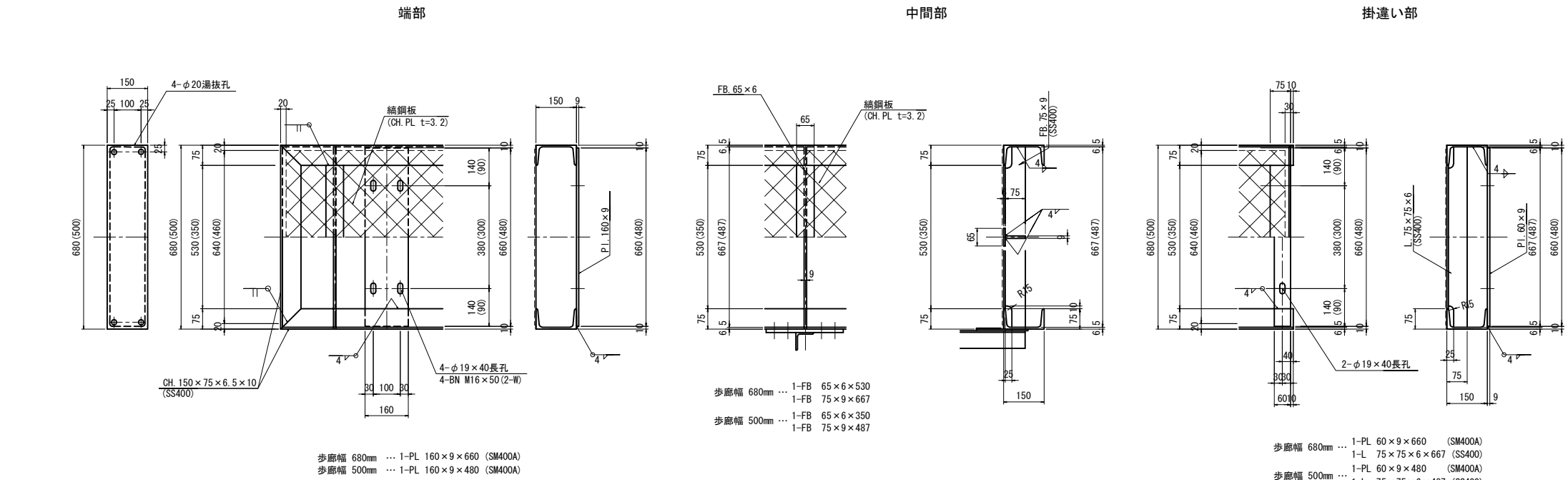
K-3 (製作数=1組)

1-PIPE	φ42.7×2.3×1550 (STK400)	1-CH. PL	460×3.2×5840 (SS400相当品)
1-PIPE	φ42.7×2.3×1265 (STK400)	1-CH. PL	1025×3.2×5840 (Net65%) (SS400相当品)
1-PIPE	φ42.7×2.3×725 (STK400)	3-CH	150×75×6.5×10×5890
1-PIPE	φ42.7×2.3×1486 (STK400)	1-CH	150×75×6.5×10×5465
2-PIPE	φ21.7×1.9×5840 (STK400)	2-CH	150×75×6.5×10×500
2-PIPE	φ21.7×1.9×1486 (STK400)	1-CH	150×75×6.5×10×1065
8-L	65×65×6×1325	1-CH	150×75×6.5×10×460
1-PL	90×3.2×2058	1-L	75×75×6×487
1-PL	90×3.2×995	1-L	75×75×6×667
1-PL	90×3.2×1315	7-FB	65×6×350
1-PL	90×3.2×1018	7-FB	75×9×487
1-PL	90×3.2×1526	7-FB	65×6×530
8-PL	255×15×285 (SM400A)	7-FB	75×9×667
32-BN	M16×50 (2-W付)	2-PL	160×9×480 (SM400A)
32-BN	M10×40 (2-W付)	2-PL	160×9×660 (SM400A)
8-Uボルト	呼び 32C	1-PL	60×9×480 (SM400A)
16-Uボルト	呼び 15C	1-PL	60×9×660 (SM400A)
		116-BN	M10×35 (1-W, 1-TW付)

- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ35~HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 - 床材に編鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m²)程度に1個所程度設けるのが良い。
 - 上り線の昇降用梯子は既設の梯子を利用するものとする。
 - 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

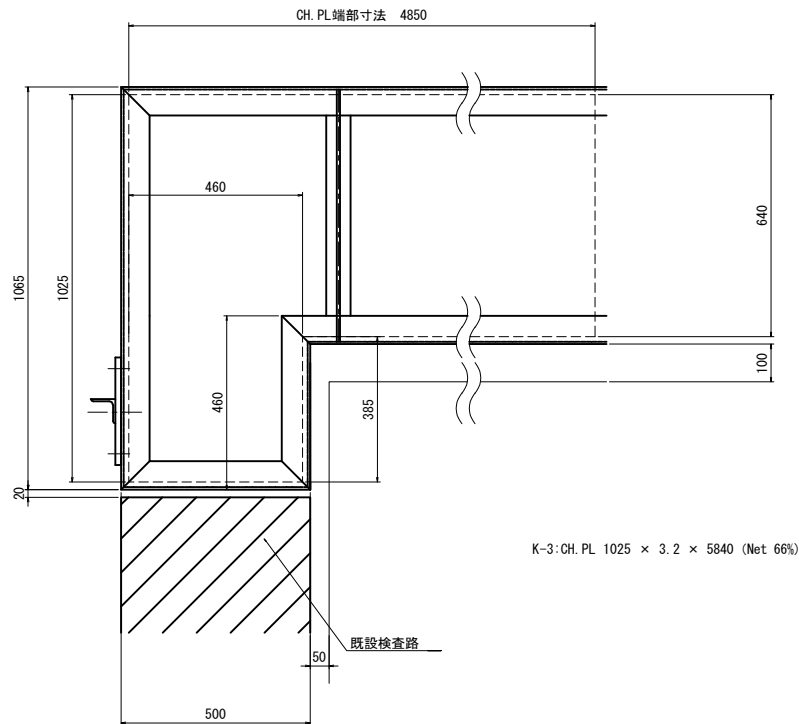
東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）			
	P 4 4 橋脚 検査路設置図（その2）			
縮 尺	図 示	図面番号	94 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社			
	関東支社 千葉管理事務所			

歩廊詳細



既設検査路接続部詳細

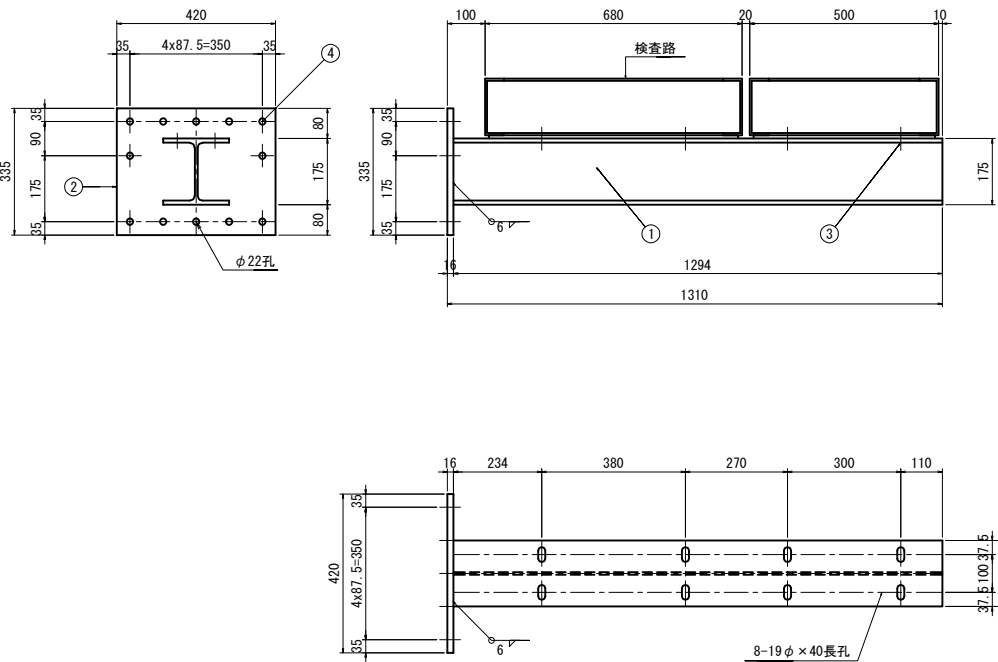
K-3



ブラケット詳細図

BK-1

(N=5組)

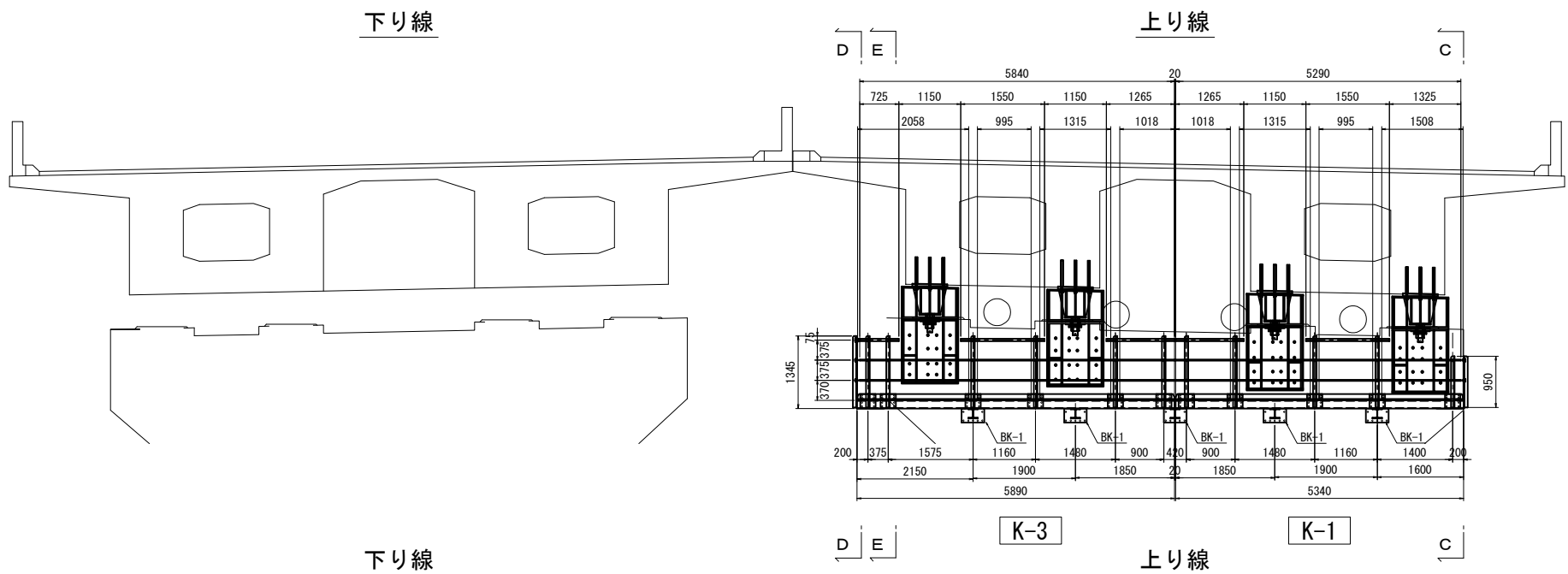


注記

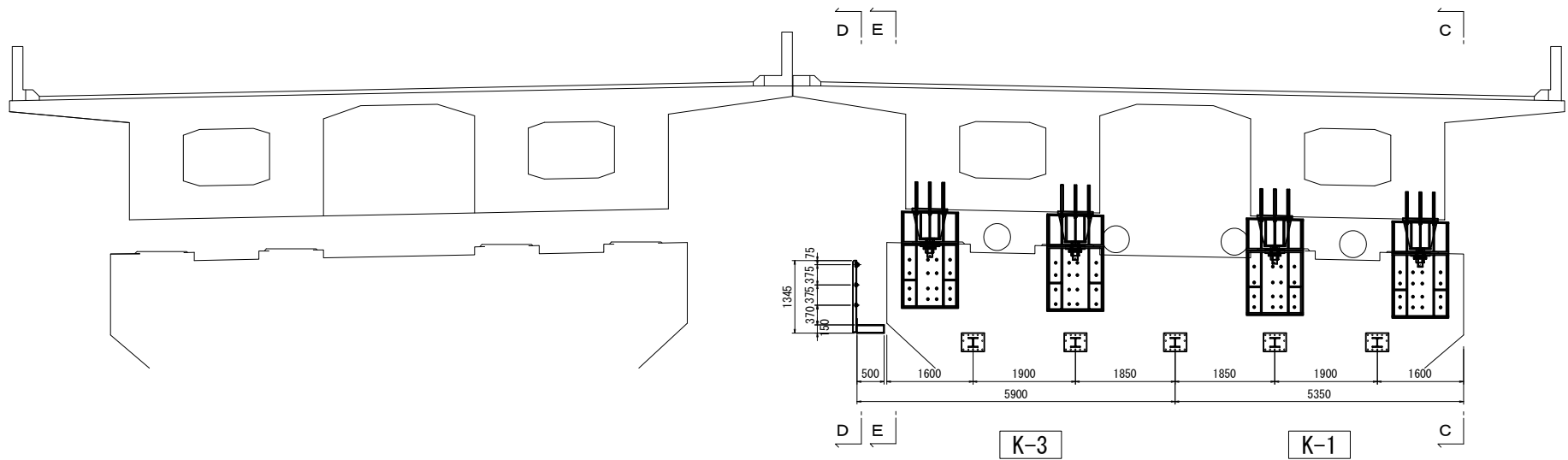
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
4. 部材は、全て溶融垂鉛めっきとする。(JIS規格: JIS H8641)
厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HD255
厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HD245
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HD235

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 4 橋脚 検査路設置図（その4）			
縮 尺	図 示	図面番号	96	/ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

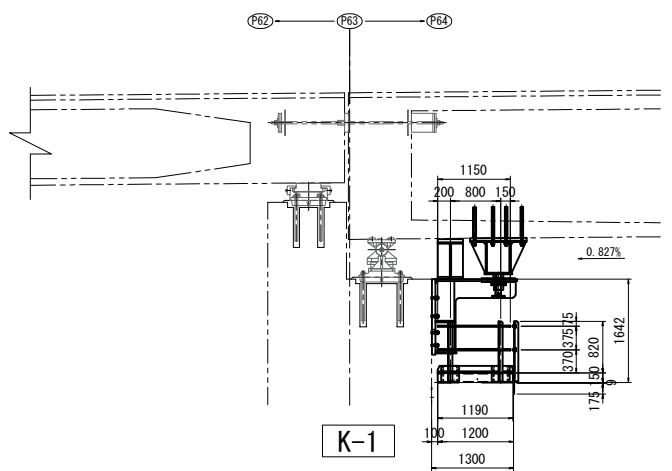
A-A断面



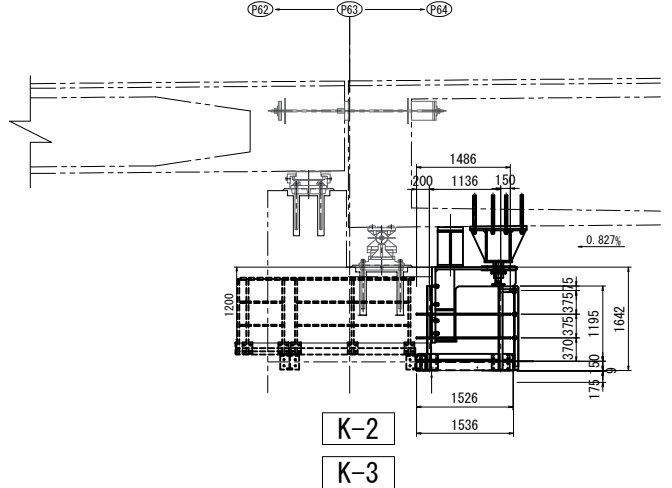
B-B断面



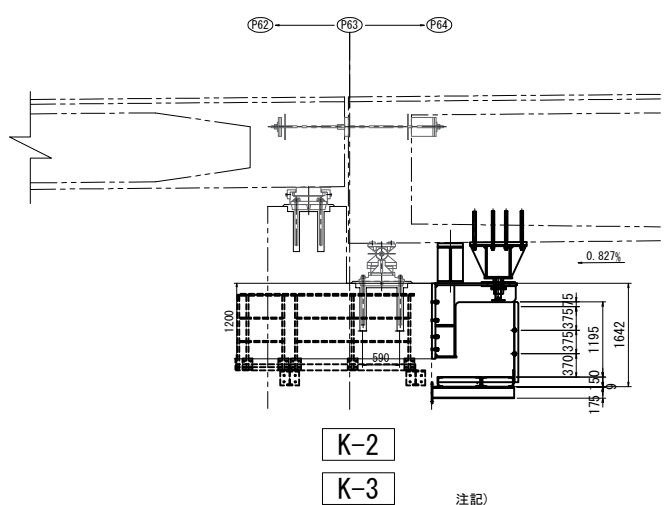
C-C断面



D-D断面



E-E断面



注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

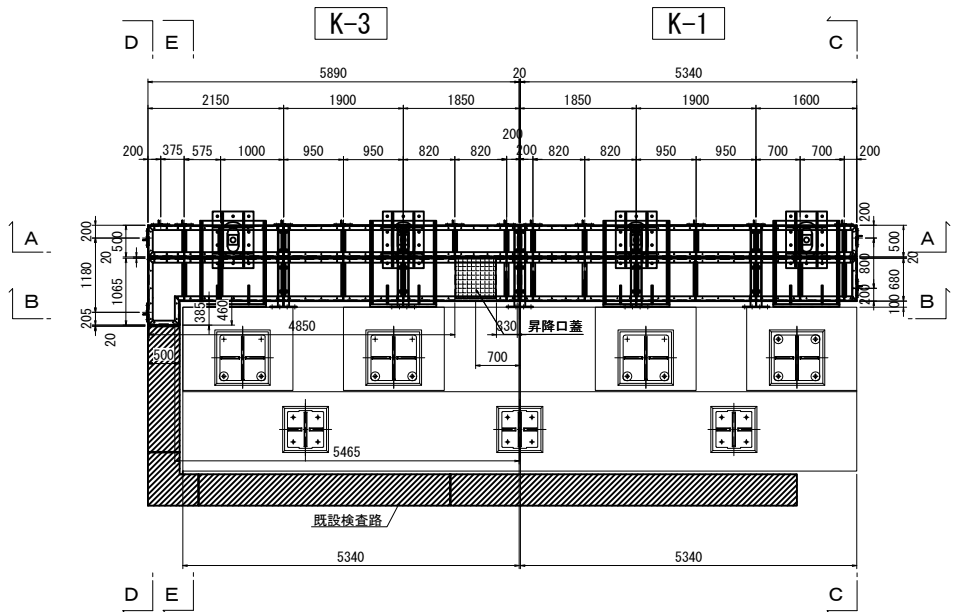
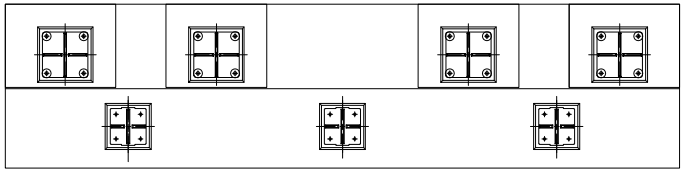
東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 3 橋脚 検査路設置図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	97 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

項 目	数量 (kg)	備考
検査路 新設工	新 規	2,354

下り線

上り線

PE24
PE3
PE2



K-1 (製作数=1組)

1-PIPE	φ42.7×2.3×1550 (STK400)	1-CH. PL	640×3.2×5290 (SS400相当品)
1-PIPE	φ42.7×2.3×1265 (STK400)	1-CH. PL	460×3.2×5290 (SS400相当品)
2-PIPE	φ21.7×1.9×5290 (STK400)	4-CH	150×75×6.5×10×5340
2-PIPE	φ21.7×1.9×1150 (STK400)	1-CH	150×75×6.5×10×500
4-L	65×65×6×1325	1-CH	150×75×6.5×10×680
3-L	65×65×6×950	1-L	75×75×6×487
1-PL	90×3.2×1508	1-L	75×75×6×667
1-PL	90×3.2×995	7-FB	65×6×350
1-PL	90×3.2×1315	7-FB	75×9×487
1-PL	90×3.2×1018	7-FB	65×6×530
1-PL	90×3.2×1190	7-FB	75×9×667
7-PL	255×15×285 (SM400A)	2-PL	160×9×480 (SM400A)
28-BN	M16×50 (2-W付)	2-PL	160×9×660 (SM400A)
28-BN	M10×40 (2-W付)	1-PL	60×9×480 (SM400A)
4-Uボルト	呼び 32C	1-PL	60×9×660 (SM400A)
14-Uボルト	呼び 15C	100-BN	M10×35 (1-W, 1-TW付)

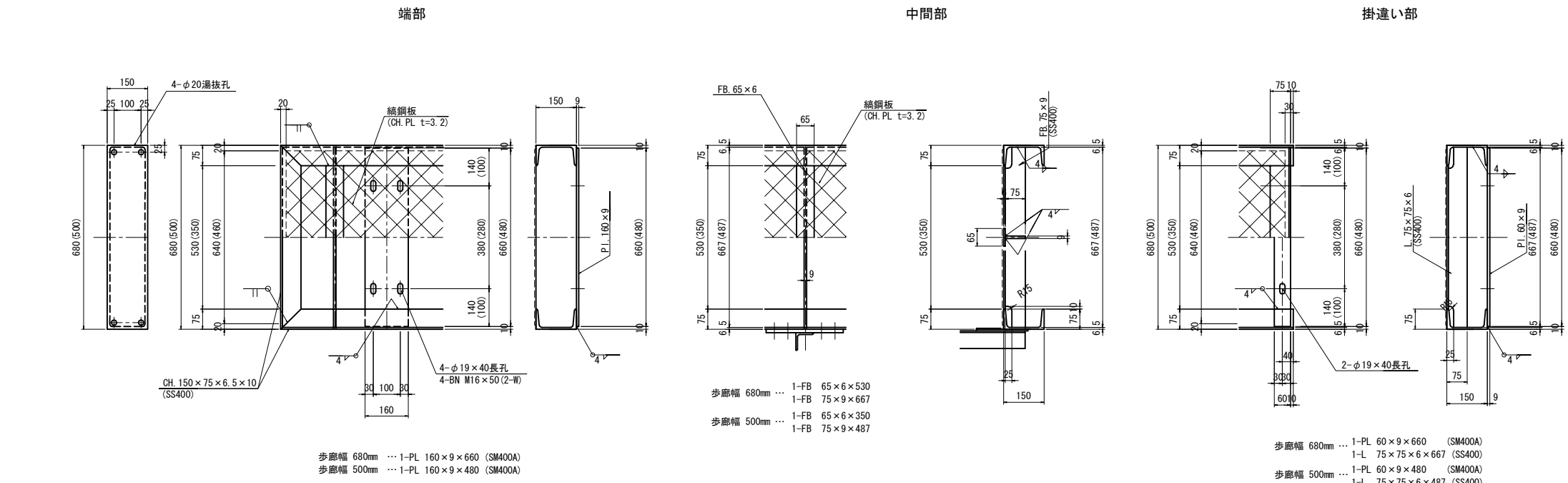
K-3 (製作数=1組)

1-PIPE	φ42.7×2.3×1550 (STK400)	1-CH. PL	460×3.2×5840 (SS400相当品)
1-PIPE	φ42.7×2.3×1265 (STK400)	1-CH. PL	640×3.2×330 (SS400相当品)
1-PIPE	φ42.7×2.3×725 (STK400)	1-CH. PL	1025×3.2×4850 (Net66%) (SS400相当品)
1-PIPE	φ42.7×2.3×1486 (STK400)	3-CH	150×75×6.5×10×5890
2-PIPE	φ21.7×1.9×5840 (STK400)	1-CH	150×75×6.5×10×5465
2-PIPE	φ21.7×1.9×1486 (STK400)	2-CH	150×75×6.5×10×500
8-L	65×65×6×1325	1-CH	150×75×6.5×10×1065
1-PL	90×3.2×2058	1-CH	150×75×6.5×10×460
1-PL	90×3.2×995	1-L	75×75×6×487
1-PL	90×3.2×1315	1-L	75×75×6×667
1-PL	90×3.2×1018	7-FB	65×6×350
1-PL	90×3.2×1526	7-FB	75×9×487
8-PL	255×15×285 (SM400A)	6-FB	65×6×530
32-BN	M16×50 (2-W付)	6-FB	75×9×667
32-BN	M10×40 (2-W付)	2-PL	160×9×480 (SM400A)
8-Uボルト	呼び 32C	2-PL	160×9×660 (SM400A)
16-Uボルト	呼び 15C	1-PL	60×9×480 (SM400A)
		1-PL	60×9×660 (SM400A)
		110-BN	M10×35 (1-W, 1-TW付)

- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ35~HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
 - 床材に鉄鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m²)程度に1個所程度設けるのが良い。
 - 上り線の昇降用梯子は既設の梯子を利用するものとする。
 - 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

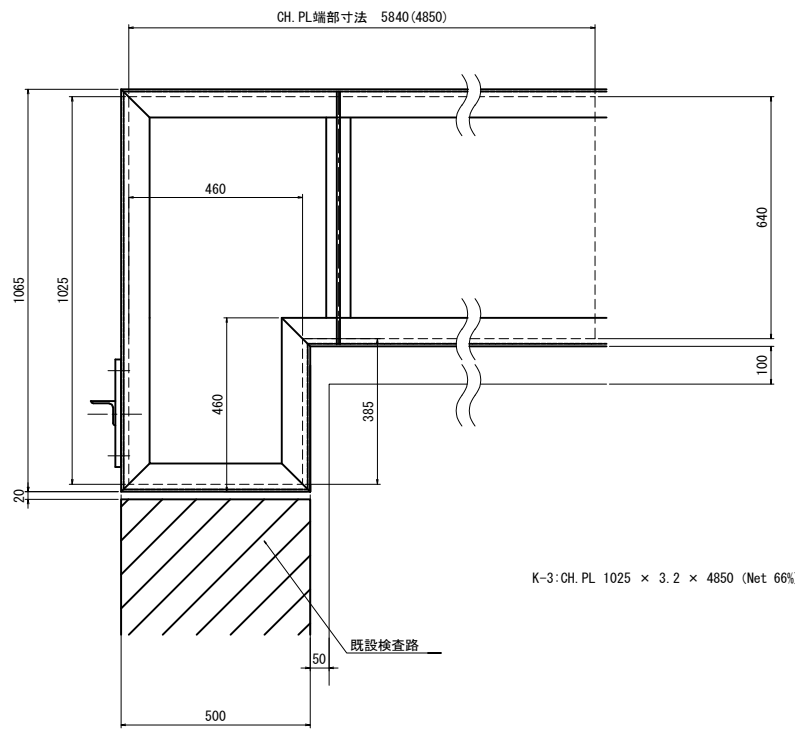
東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 3 橋脚 検査路設置図（その2）			
縮 尺	図 示	図面番号	98	/ 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

歩廊詳細



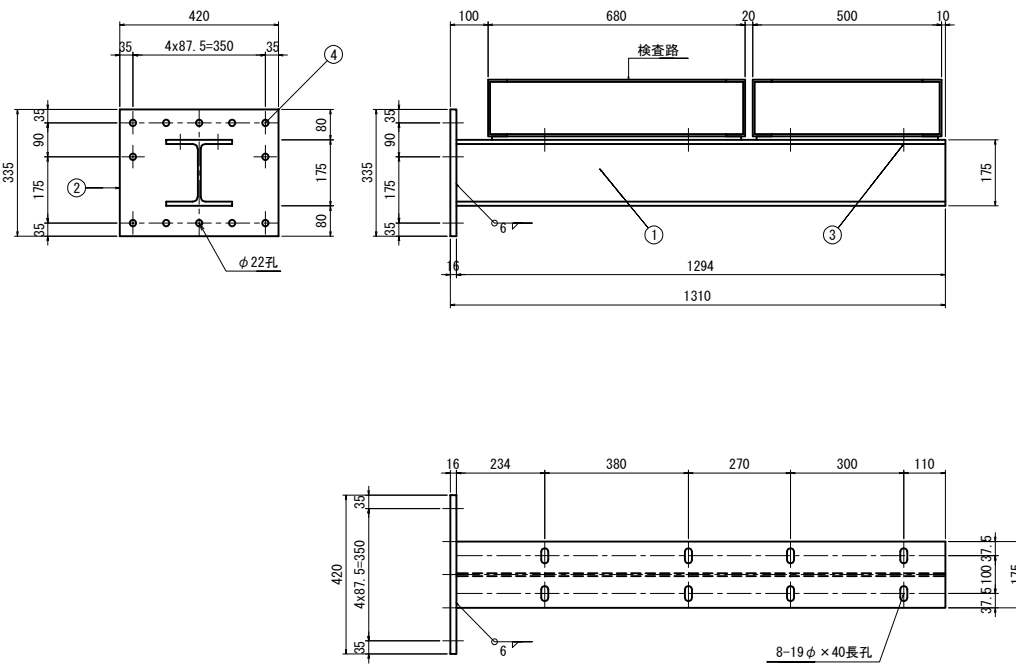
既設検査路接続部詳細

K-3



ブラケット詳細図

BK-1
(N=5組)



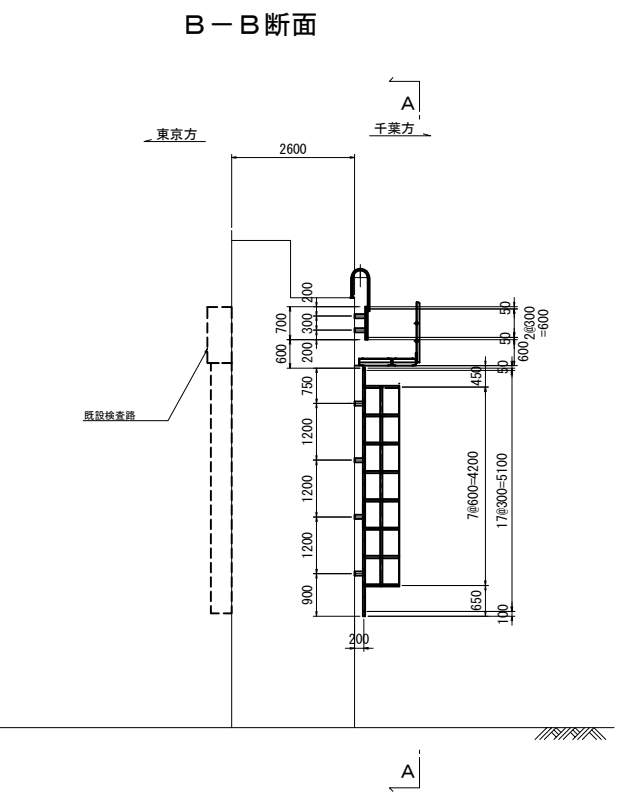
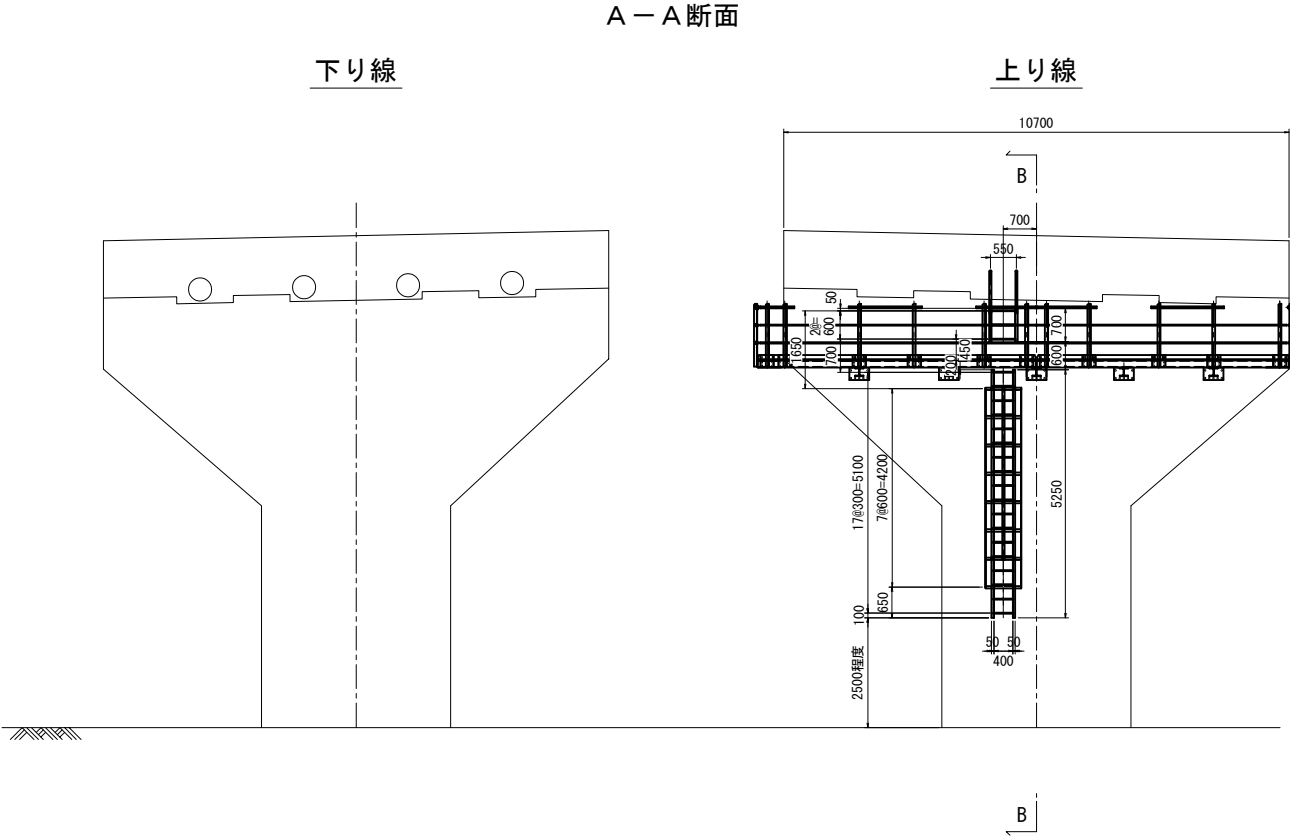
注記)

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格：JIS H8641)
厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

- ① 1-H 175×175×7.5×11×1294
- ② 1-BASE PL 420×16×335(SM400A)
- ③ 8-BN M16×50(2-W)
- ④ 12-打込式アンカー M20×170L

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 3 橋脚 検査路設置図（その４）			
縮 尺	図 示	図面番号	100 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

昇降設備詳細図



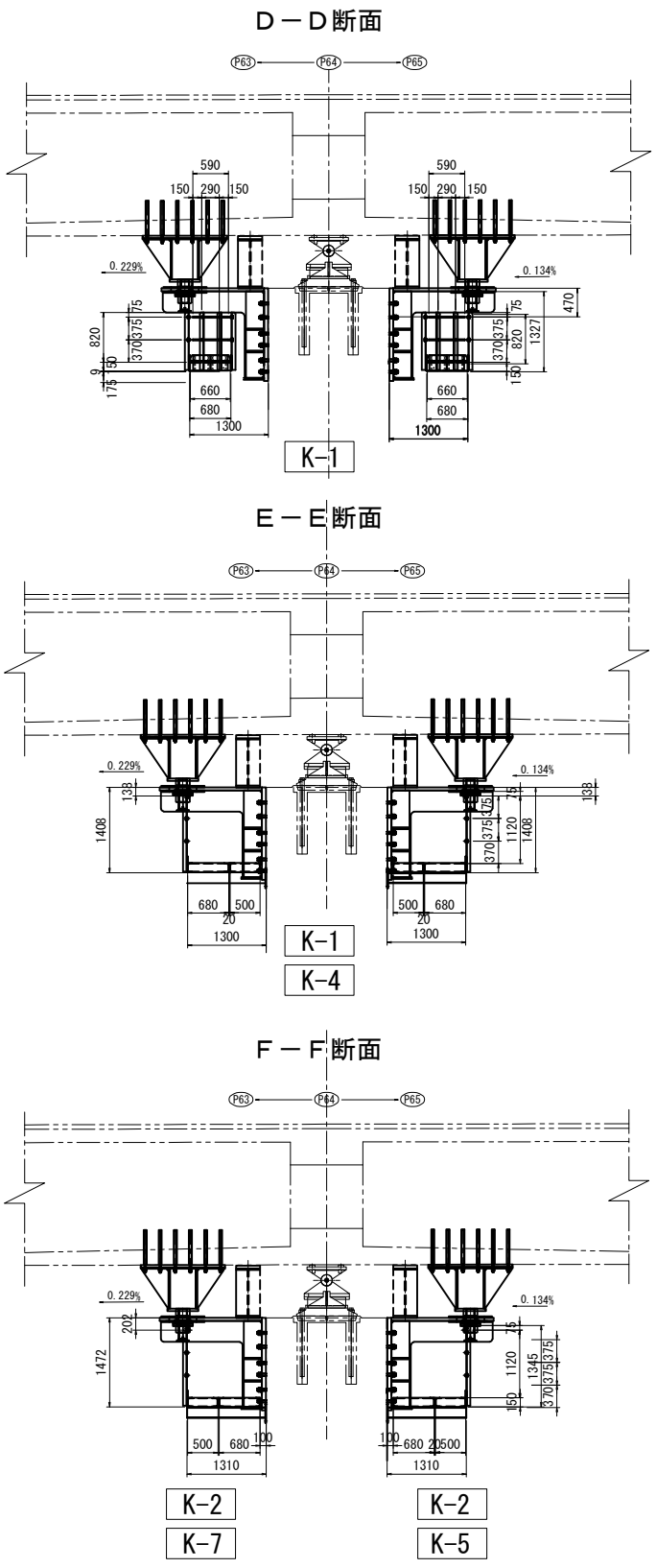
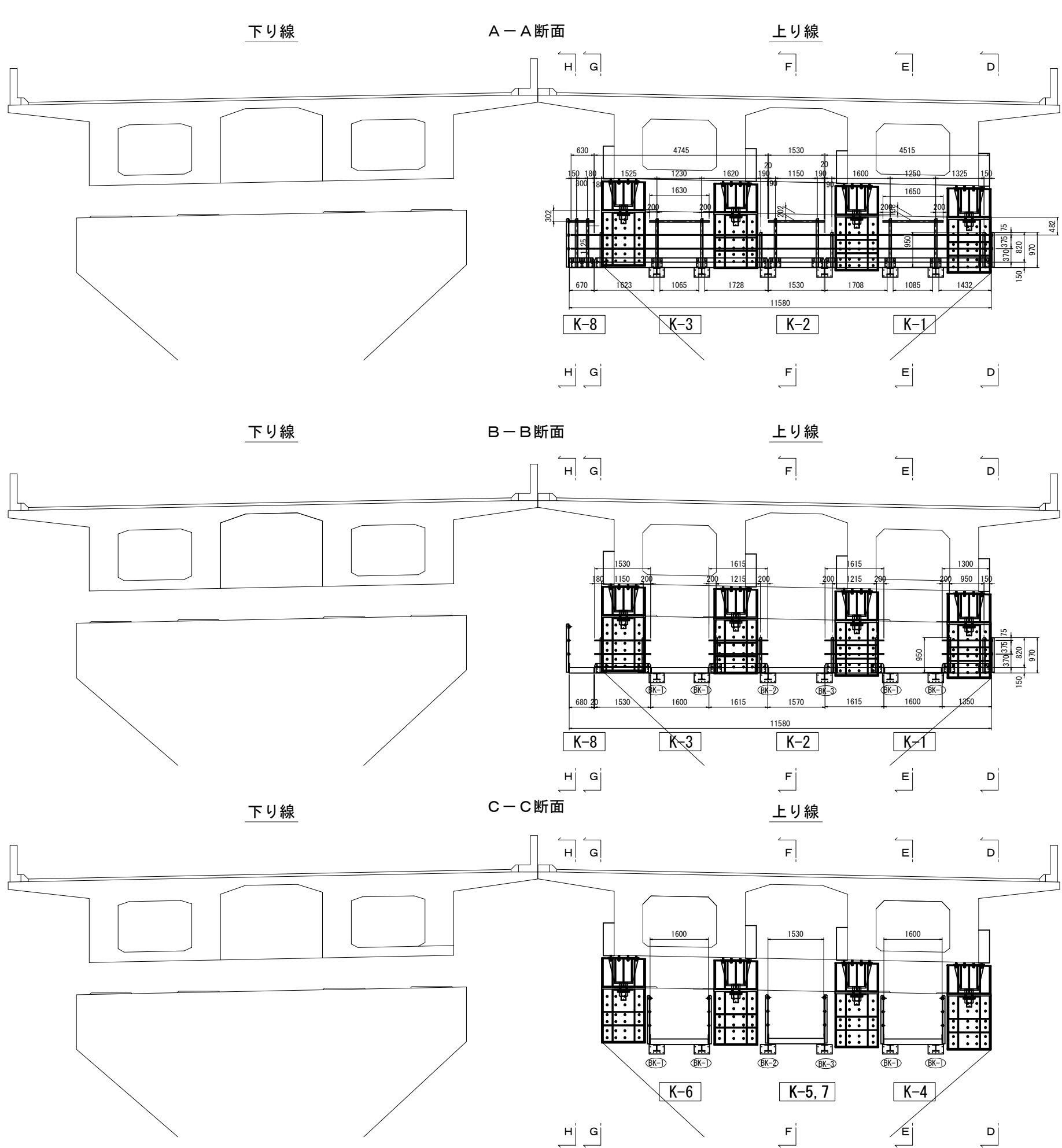
平面図



注記)

- 下り線の昇降梯子は既設の梯子(起点側)をそのまま利用する。
- 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 3 橋脚 検査路設置図（その5）			
縮 尺	図 示	図面番号	101 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



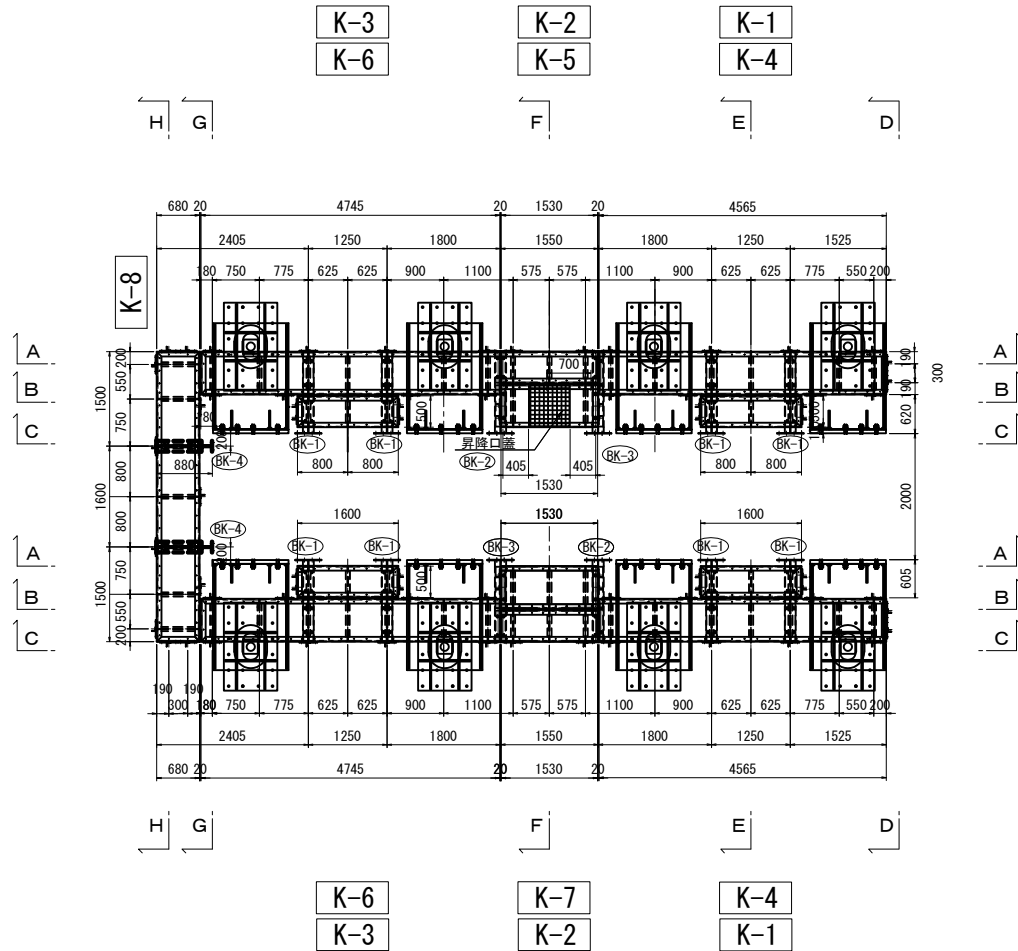
注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

項目	数量 (kg)	備考
検査路 新設工	新 規	5,326

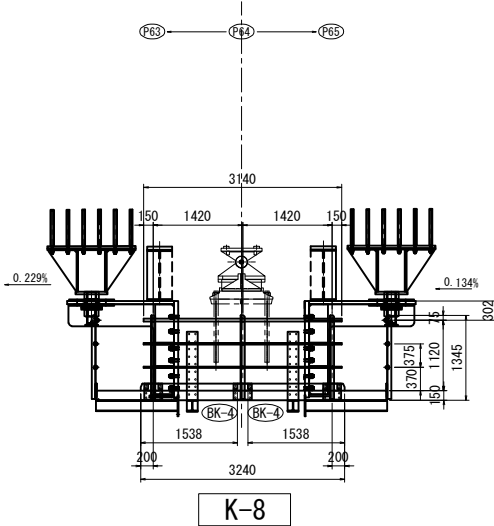
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 4 橋脚 検査路設置図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	103 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

下り線

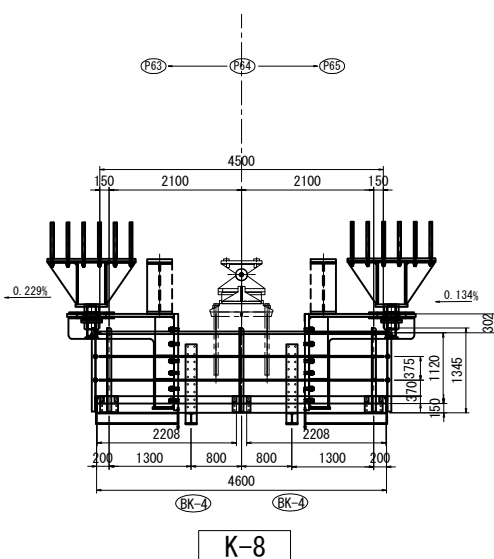
上り線



G-G断面



H-H断面



K-1 (製作数=2組)

1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1650$ (STK400)
1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 590$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4515$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1300$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1615$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 590$ (STK400)
2-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
8-L $65 \times 65 \times 6 \times 950$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1432$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1085$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1708$
1-PL $90 \times 3.2 \times 660$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1350$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1615$
10-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
40-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
40-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
2-Uボルト 呼び 32C
20-Uボルト 呼び 15C
1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 4515$ (SS400相当品)
2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 4565$
1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
7-FB $65 \times 6 \times 530$
7-FB $75 \times 9 \times 667$
2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
46-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-2 (製作数=2組)

1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1530$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1530$ (STK400)
2-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1530$
2-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
8-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
8-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
2-Uボルト 呼び 32C
4-Uボルト 呼び 15C
1-CH. PL $460 \times 3.2 \times 1470$ (SS400相当品)
2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1530$
2-L $75 \times 75 \times 6 \times 487$
3-FB $65 \times 6 \times 350$
3-FB $75 \times 9 \times 487$
2-PL $60 \times 9 \times 480$ (SM400A)
16-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-3 (製作数=2組)

1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1630$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4745$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1615$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1530$ (STK400)
2-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
6-L $65 \times 65 \times 6 \times 950$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1728$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1065$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1623$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1530$
1-PL $90 \times 3.2 \times 1615$
8-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
32-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
32-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
2-Uボルト 呼び 32C
16-Uボルト 呼び 15C
1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 4695$ (SS400相当品)
2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 4745$
1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
7-FB $65 \times 6 \times 530$
7-FB $75 \times 9 \times 667$
2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
48-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-4 (製作数=2組)

2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 500$ (STK400)
4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 500$ (STK400)
4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
2-PL $90 \times 3.2 \times 500$
2-PL $255 \times 15 \times 400$ (SM400A)
12-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
8-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
4-Uボルト 呼び 32C
8-Uボルト 呼び 15C
1-CH. PL $460 \times 3.2 \times 1560$ (SS400相当品)
2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1600$
2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 500$
3-FB $65 \times 6 \times 350$
3-FB $75 \times 9 \times 487$
20-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)
2-PL $160 \times 9 \times 480$ (SM400A)

K-5 (製作数=1組)

2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 500$ (STK400)
4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 500$ (STK400)
4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
2-PL $90 \times 3.2 \times 500$
2-PL $255 \times 15 \times 400$ (SM400A)
12-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
8-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
4-Uボルト 呼び 32C
8-Uボルト 呼び 15C
1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 405$ (SS400相当品)
2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1530$
2-FB $65 \times 6 \times 530$
2-FB $75 \times 9 \times 667$
2-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
2-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
8-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)
2-PL $150 \times 6 \times 680$ (SM400A)

K-6 (製作数=2組)

2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 500$ (STK400)
4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 500$ (STK400)
4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
2-PL $90 \times 3.2 \times 500$
2-PL $255 \times 15 \times 400$ (SM400A)
12-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
8-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
4-Uボルト 呼び 32C
8-Uボルト 呼び 15C
1-CH. PL $460 \times 3.2 \times 1560$ (SS400相当品)
2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1600$
2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 500$
3-FB $65 \times 6 \times 350$
3-FB $75 \times 9 \times 487$
20-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)
2-PL $160 \times 9 \times 480$ (SM400A)

K-7 (製作数=1組)

2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 500$ (STK400)
4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 500$ (STK400)
4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
2-PL $90 \times 3.2 \times 500$
2-PL $255 \times 15 \times 400$ (SM400A)
12-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
8-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
4-Uボルト 呼び 32C
8-Uボルト 呼び 15C
1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1470$ (SS400相当品)
2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1530$
2-FB $65 \times 6 \times 530$
3-FB $75 \times 9 \times 667$
2-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
2-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
16-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)
2-PL $150 \times 6 \times 680$ (SM400A)

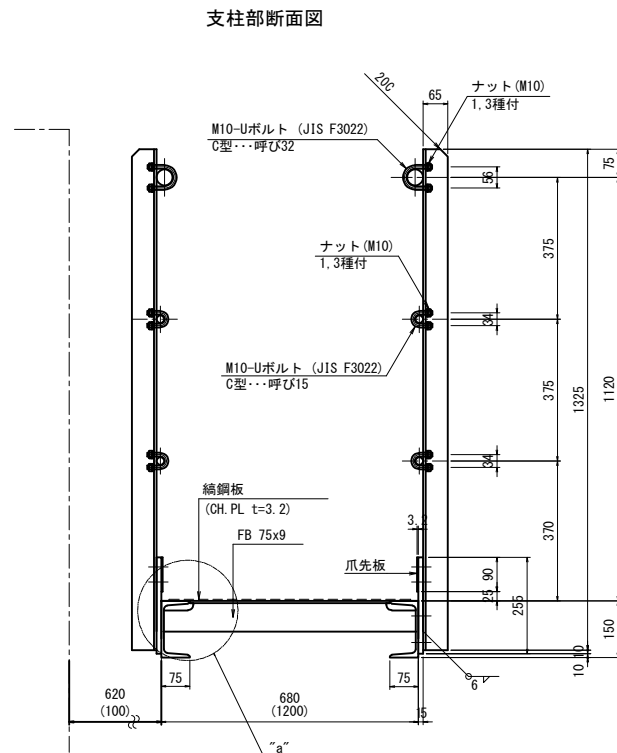
K-8 (製作数=1組)

1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4500$ (STK400)
1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 3140$ (STK400)
2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4500$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 3140$ (STK400)
4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
11-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
2-PL $90 \times 3.2 \times 1538$
2-PL $90 \times 3.2 \times 2208$
2-PL $90 \times 3.2 \times 670$
11-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
44-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
44-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
11-Uボルト 呼び 32C
22-Uボルト 呼び 15C
1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 4560$ (SS400相当品)
2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 4600$
2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
7-FB $65 \times 6 \times 530$
7-FB $75 \times 9 \times 667$
2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
52-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

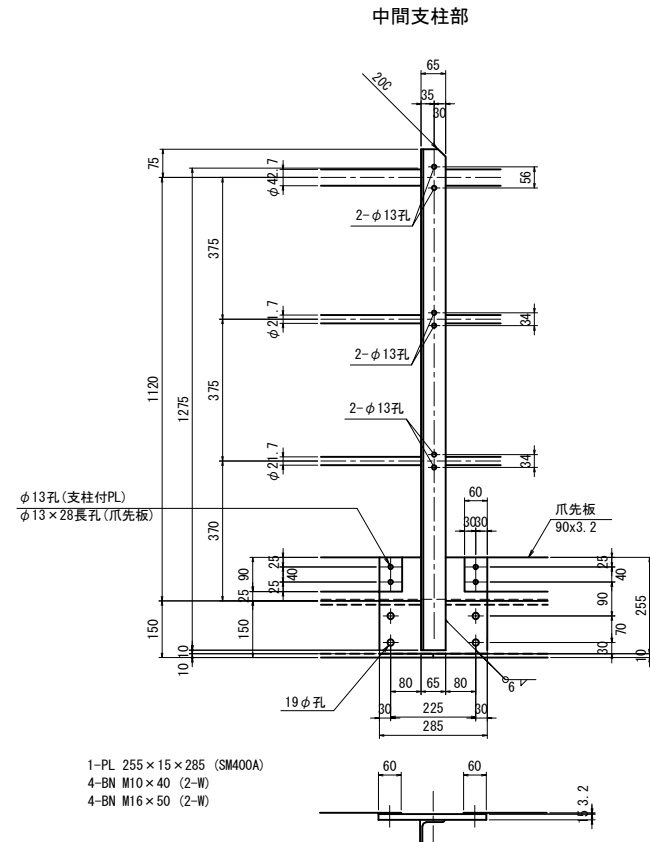
- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ35~HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
 - 床材に鋼鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m²)程度に1箇所程度設けるのが良い。
 - 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類		栄町高架橋（上り線） P 6 4 橋脚 検査路設置図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	104 / 144	
設計会社名		北武コンサルタント株式会社		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

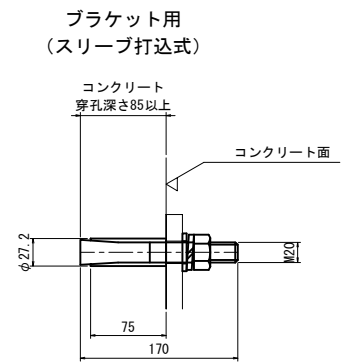
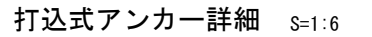
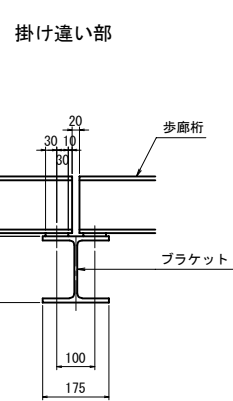
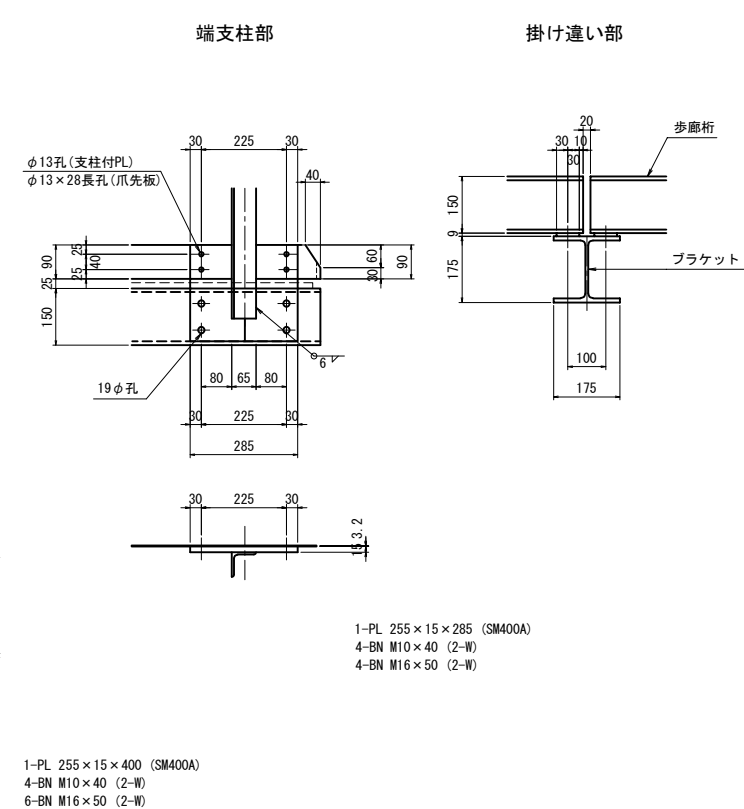
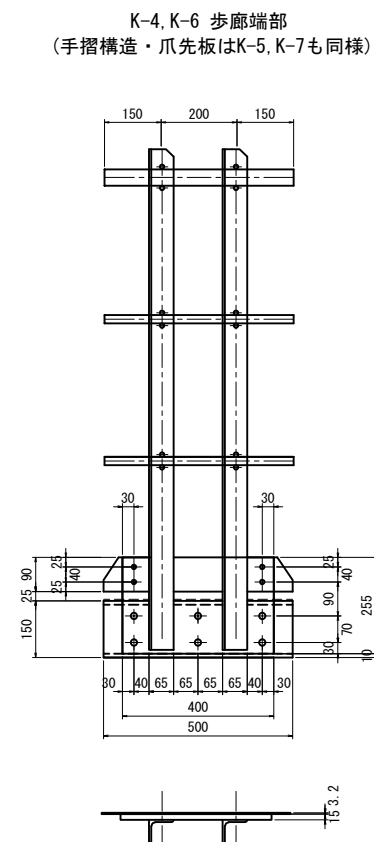
手摺詳細図



※()内は歩廊2列部の寸法。歩廊2列部は躯体側の手すりはなし

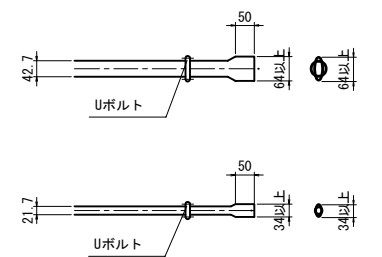


歩廊詳細



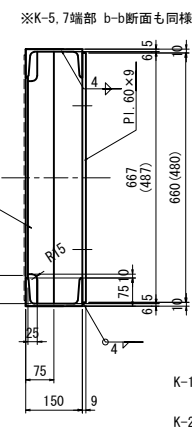
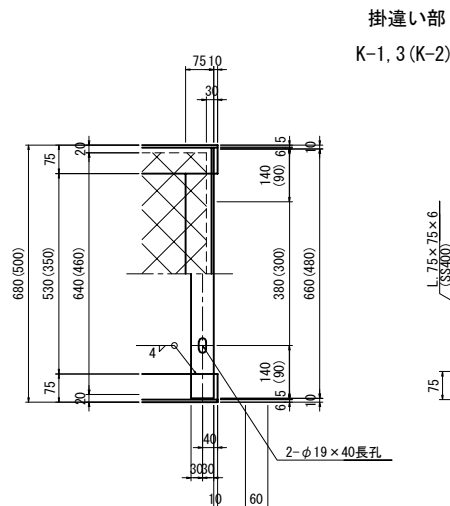
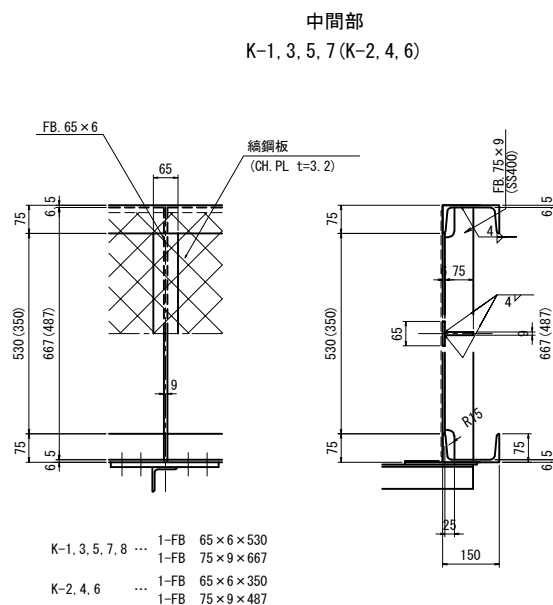
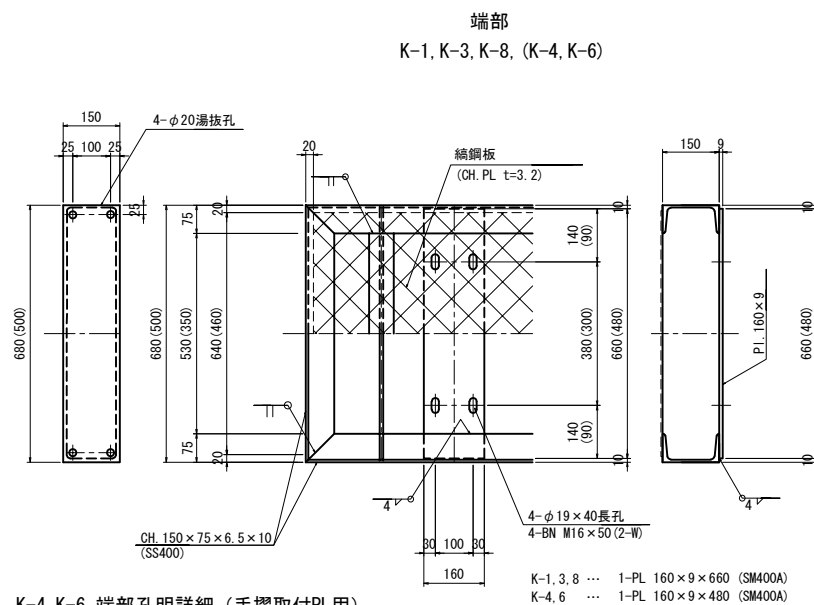
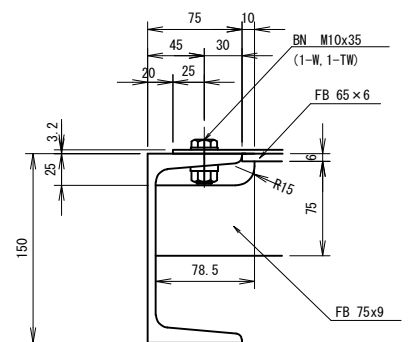
1-打込式アンカー M20×170L

手摺り抜け落ち防止加工詳細

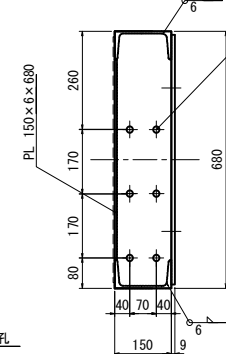
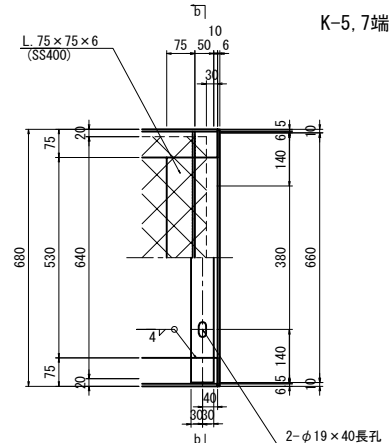
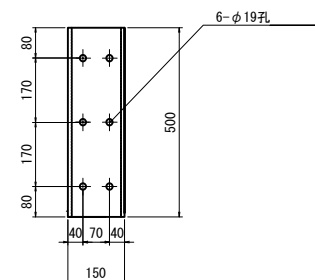
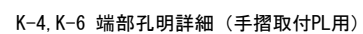


※支柱2箇所のみで手摺りを固定している場合は
Uボルトからの抜け落ち防止加工を行う

a部詳細 S=1:6



K-1, 3	...	1-PL 60 × 9 × 660 (SM400A)
		1-L 75 × 75 × 6 × 667 (SS400)
K-2	...	1-PL 60 × 9 × 480 (SM400A)
		1-L 75 × 75 × 6 × 487 (SS400)



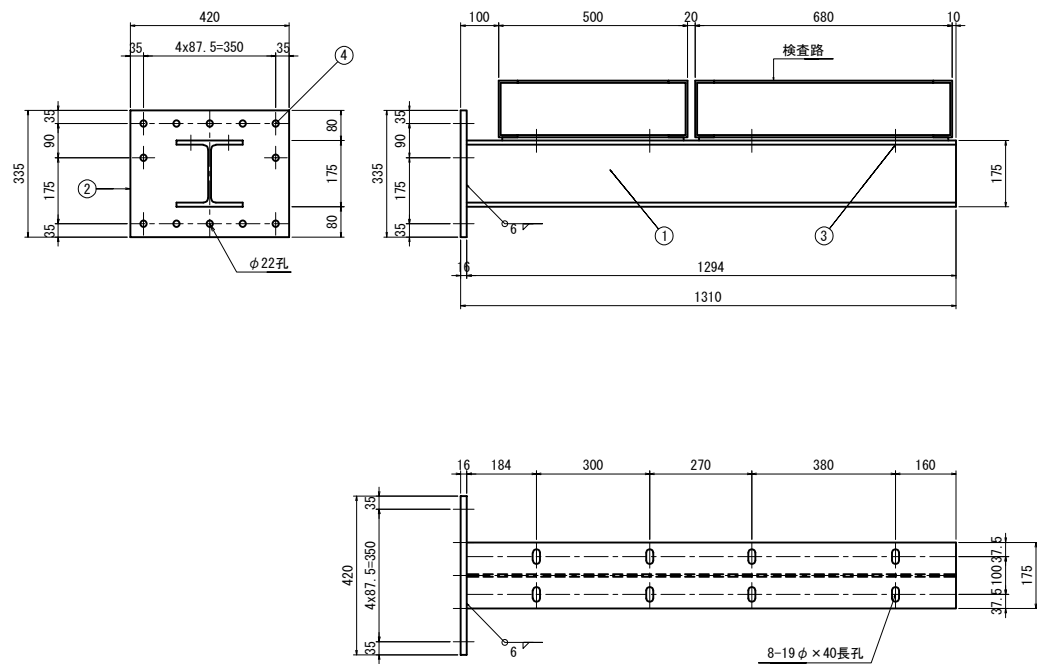
K-5, 7...
1-PL 60 × 9 × 660 (SM400A)
1-PL 150 × 6 × 680 (SM400A)
1-L 75 × 75 × 6 × 667 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格：JIS H8641)
- | | | | |
|----|------------------------|----|-------|
| 度さ | t-6. 0mm以下の鋼材 | 規格 | HDZ55 |
| 度さ | t-3. 2mm以上5mm以下の鋼材 | 規格 | HDZ45 |
| 度さ | t-3. 2mm未満の鋼材及びボルトナット類 | 規格 | HDZ35 |

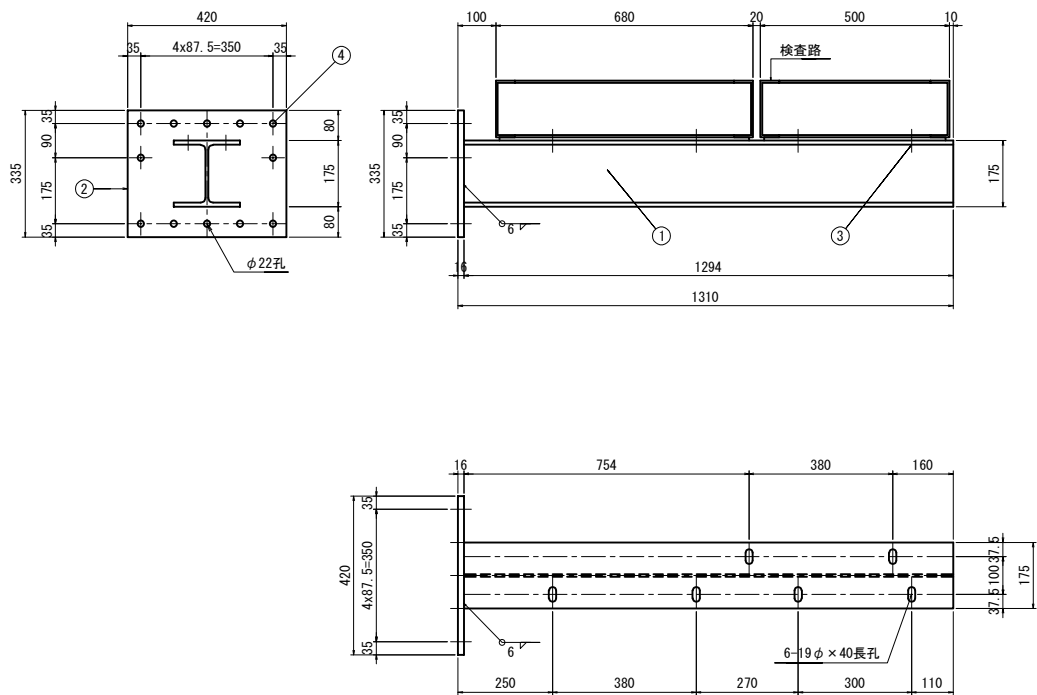
東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 4 橋脚 検査踏査位置図（その 3）			
縮 尺	図 示	図面番号	105 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

BK-1
(N=8組)



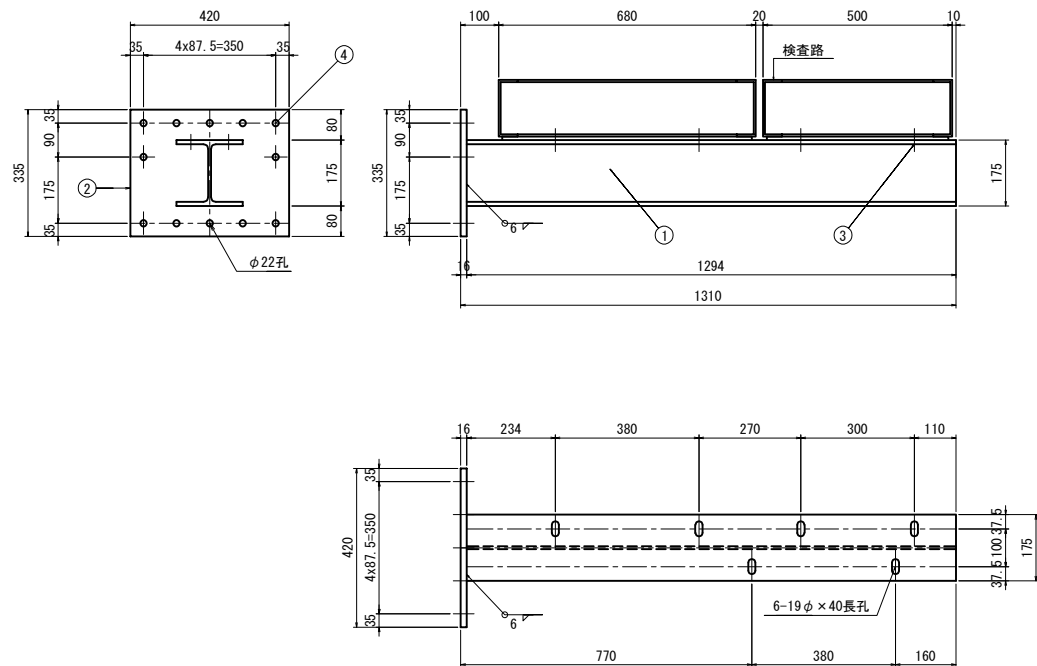
- ① 1-H 175×175×7.5×11×1294
- ② 1-BASE PL 420×16×335 (SM400A)
- ③ 8-BN M16×50 (2-W)
- ④ 12-打込式アンカー M20×170L

BK-2
(N=2組)



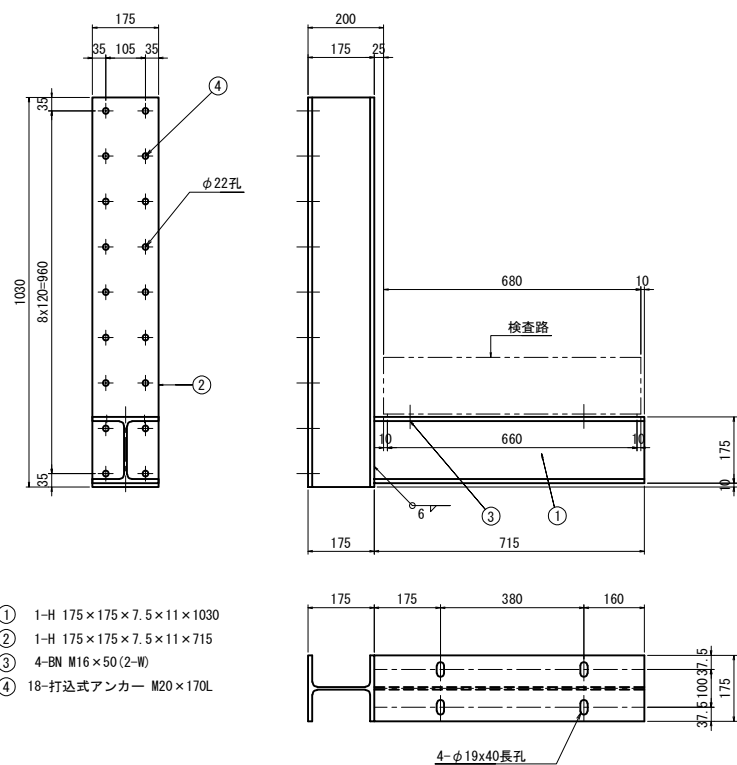
- ① 1-H 175×175×7.5×11×1294
- ② 1-BASE PL 420×16×335 (SM400A)
- ③ 6-BN M16×50 (2-W)
- ④ 12-打込式アンカー M20×170L

BK-3
(N=2組)



- ① 1-H 175×175×7.5×11×1294
- ② 1-BASE PL 420×16×335 (SM400A)
- ③ 6-BN M16×50 (2-W)
- ④ 12-打込式アンカー M20×170L

BK-4
(N=2組)



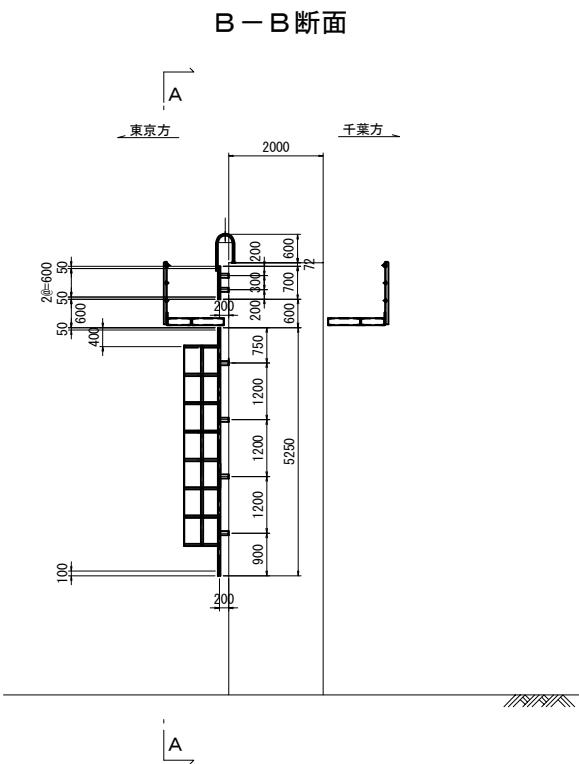
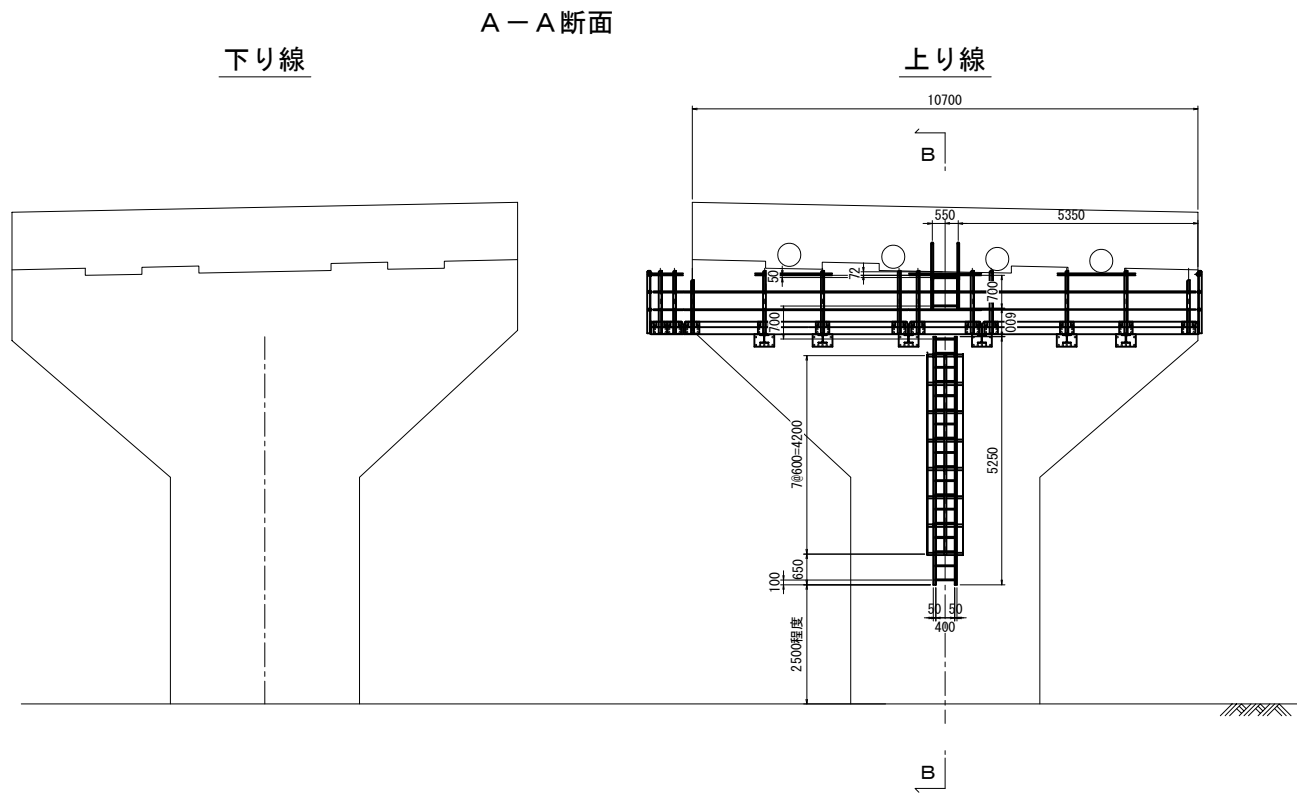
- ① 1-H 175×175×7.5×11×1030
- ② 1-H 175×175×7.5×11×715
- ③ 4-BN M16×50 (2-W)
- ④ 18-打込式アンカー M20×170L

注記)

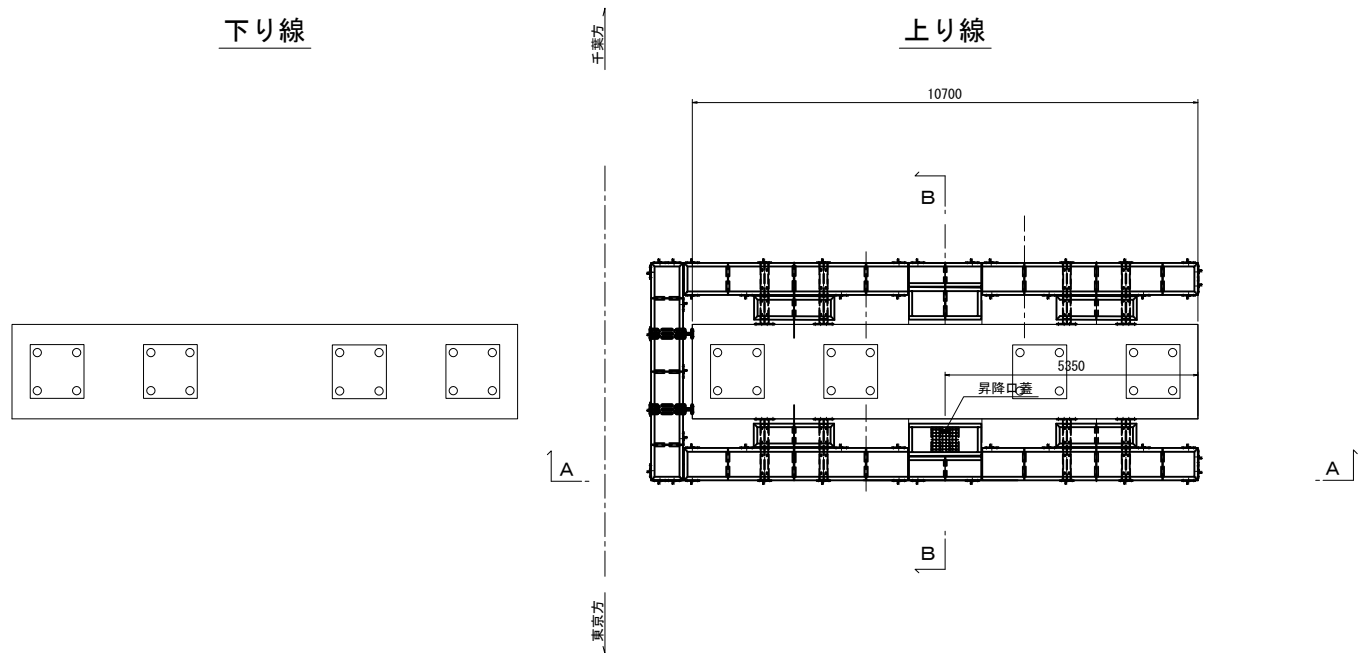
- 1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 2. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
- 4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格: JIS H8641)
 - 厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
 - 厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
 - 厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 4 橋脚 検査路設置図（その4）			
	縮 尺	図 示	図面番号	106 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

昇降設備詳細図



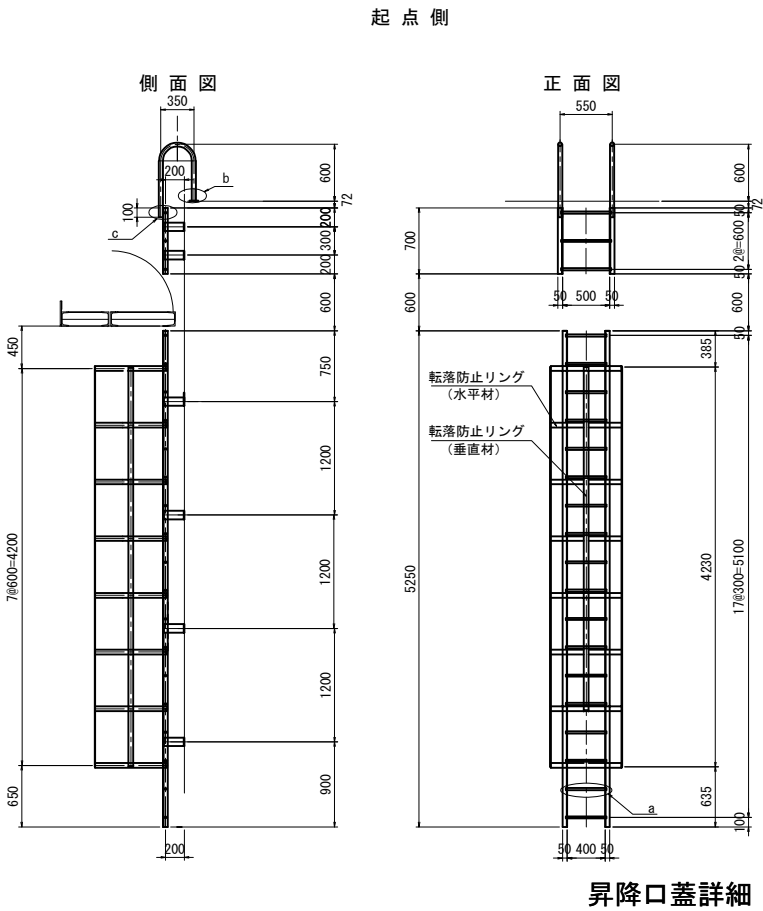
平面図



注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 4 橋脚 検査路設置図（その5）			
	縮 尺	図 示	図面番号	107 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

昇降梯子 S=1:80



昇降梯子

2-L 50×50×6×700
2-L 50×50×6×5250
18-RB φ22×430 (SR235)
3-RB φ22×530 (SR235)
2-PIPE φ42.7×2.3×1572 (STK400)

転落防止リング

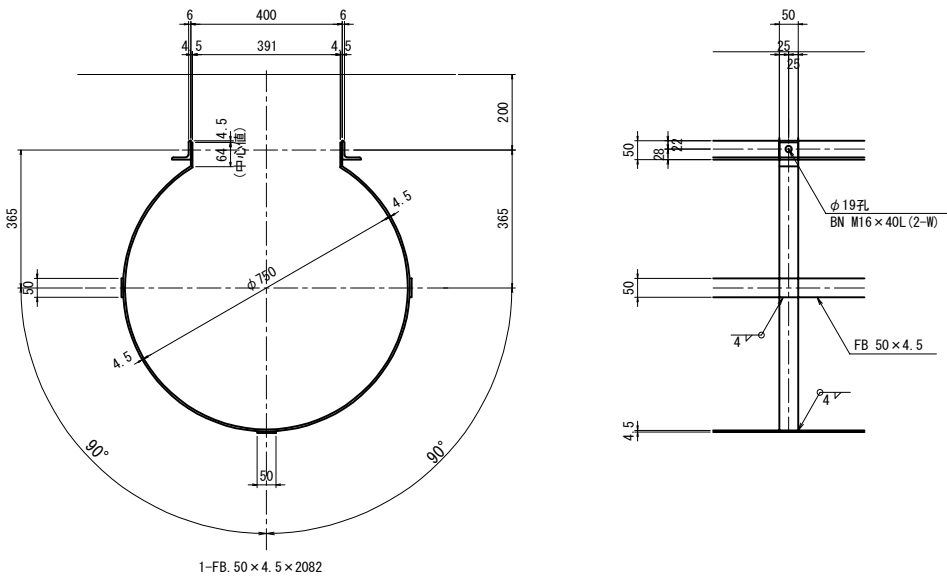
8-FB 50×4.5×2082
3-FB 50×4.5×4230
16-BN M16×40 (2-W)

支持金具

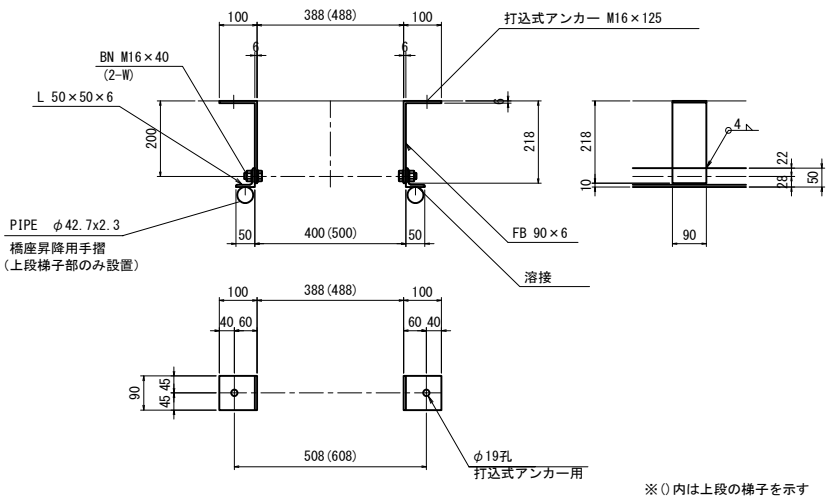
天端支持
2-FB 90×6×200
4-打込式アンカー M16×125L

梯子支持
12-FB 90×6×318
12-BN M16×40 (2-W)
12-打込式アンカー M16×125L

転落防止リング詳細

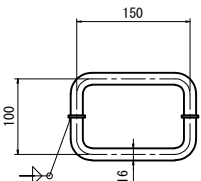


支持金具詳細

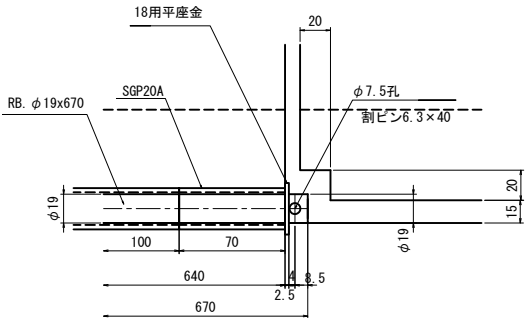


※○内は上段の梯子を示す

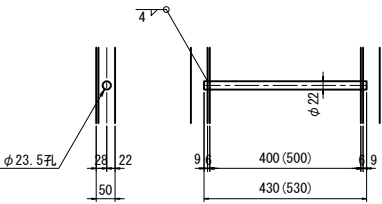
取手詳細 S=1:10



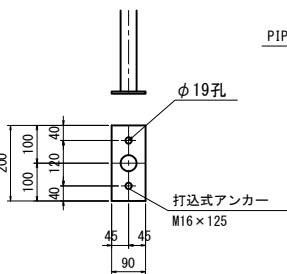
d部詳細 S=1:5



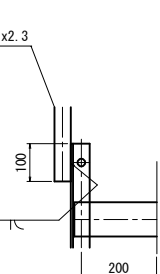
a部詳細



b部詳細



c部詳細

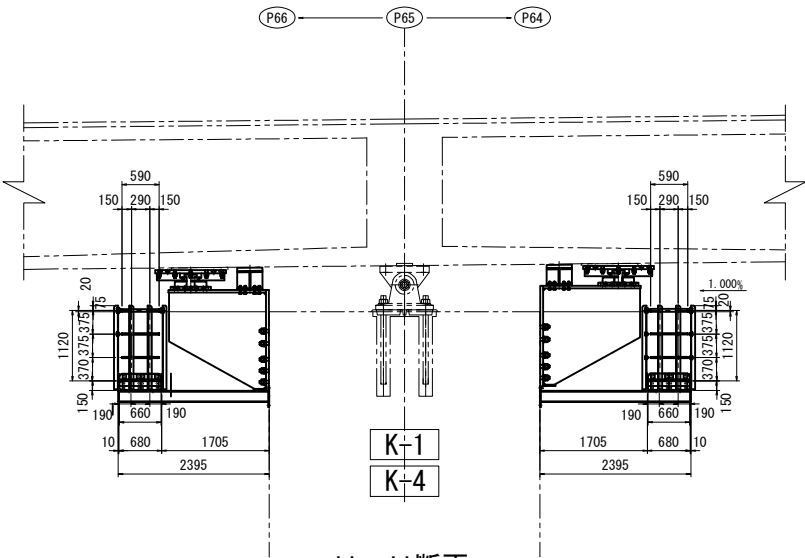


注記)

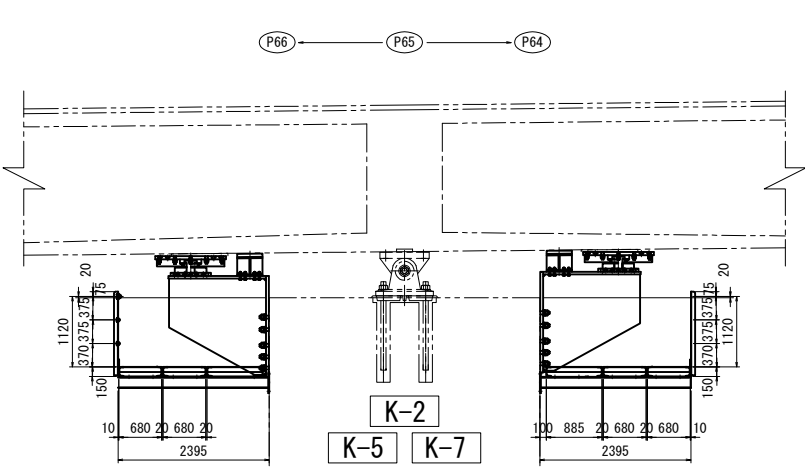
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格: JIS H8641)
厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 4 橋脚 検査路設置図（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	108 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

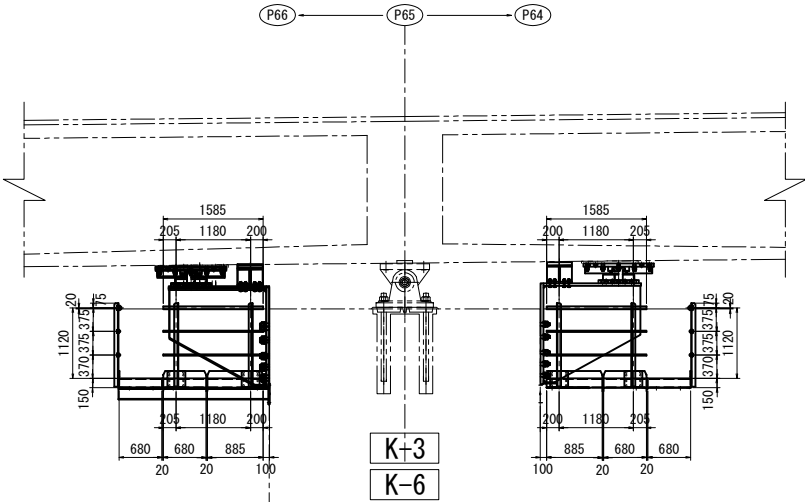
G－G断面



H－H断面



I－I断面



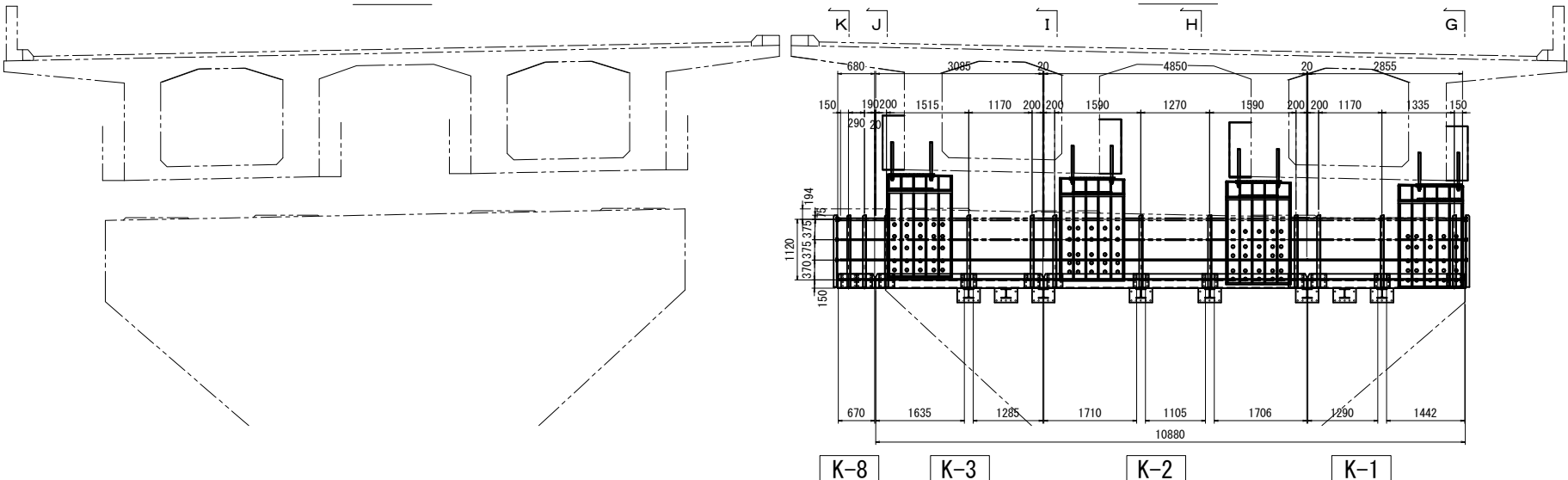
注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 5 橋脚 検査路設置図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	109 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

項 目	数量(kg)	備考
検査路 新設工	新 規	8,703

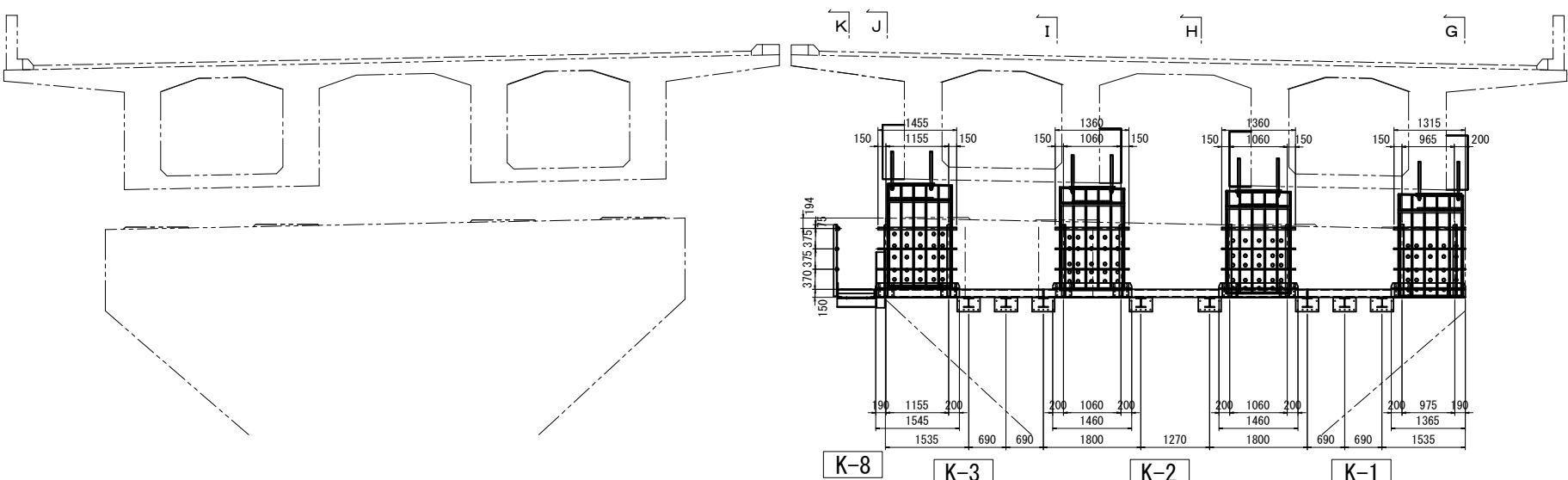
下り線

A－A断面



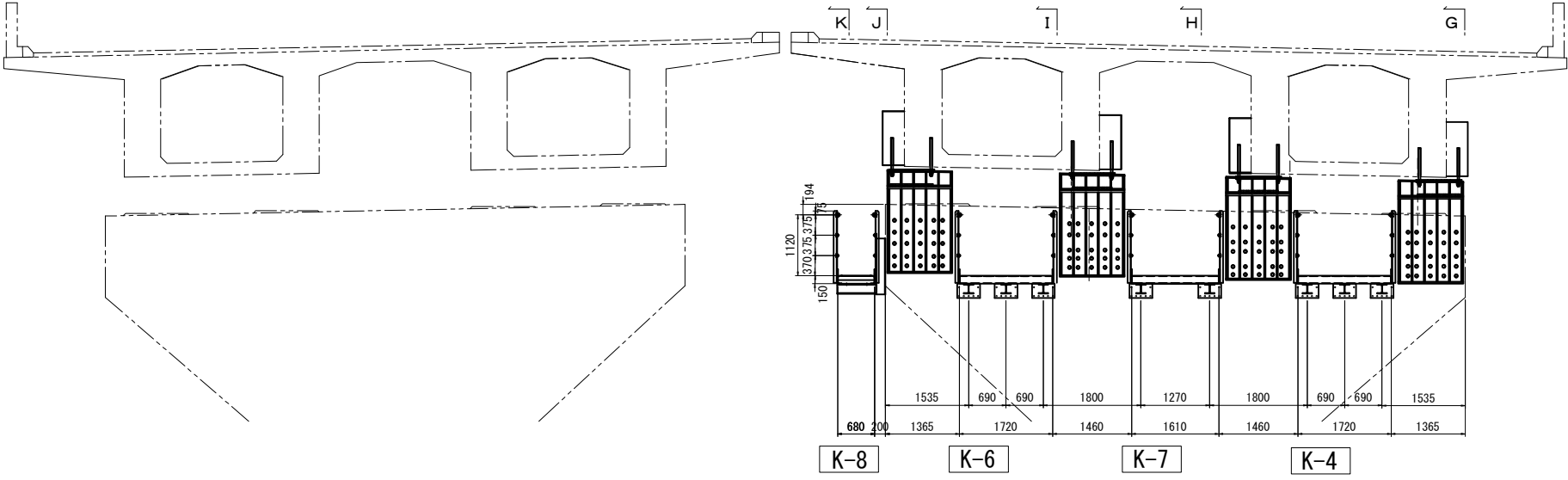
下り線

B－B断面

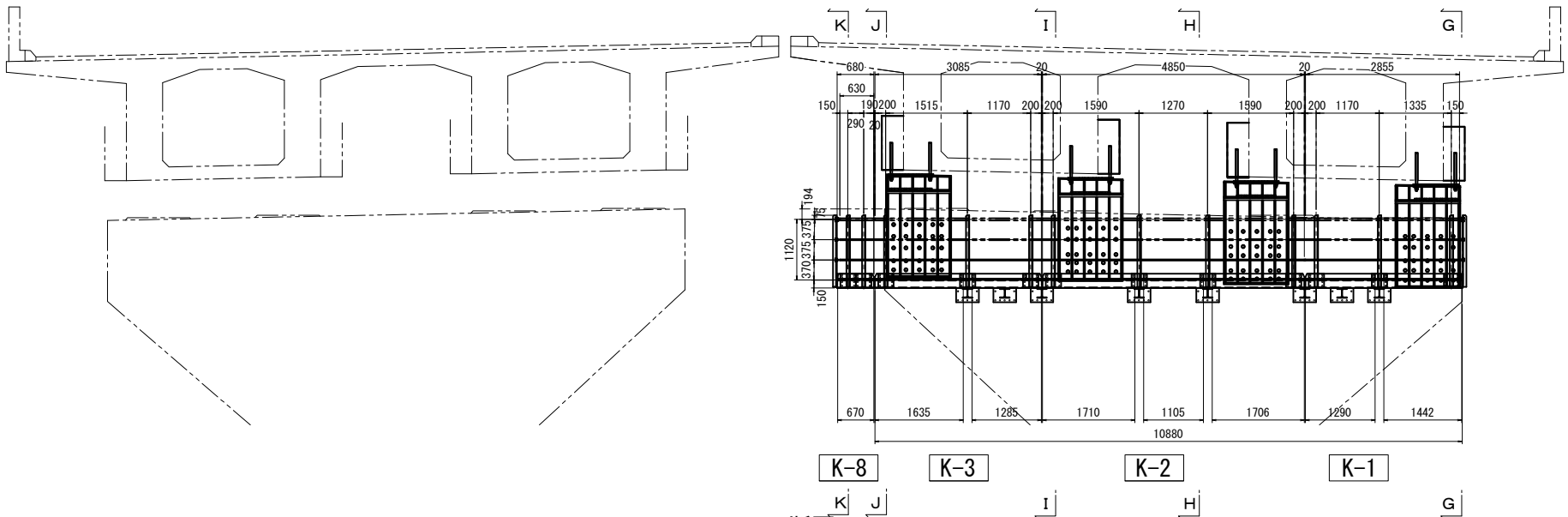


下り線

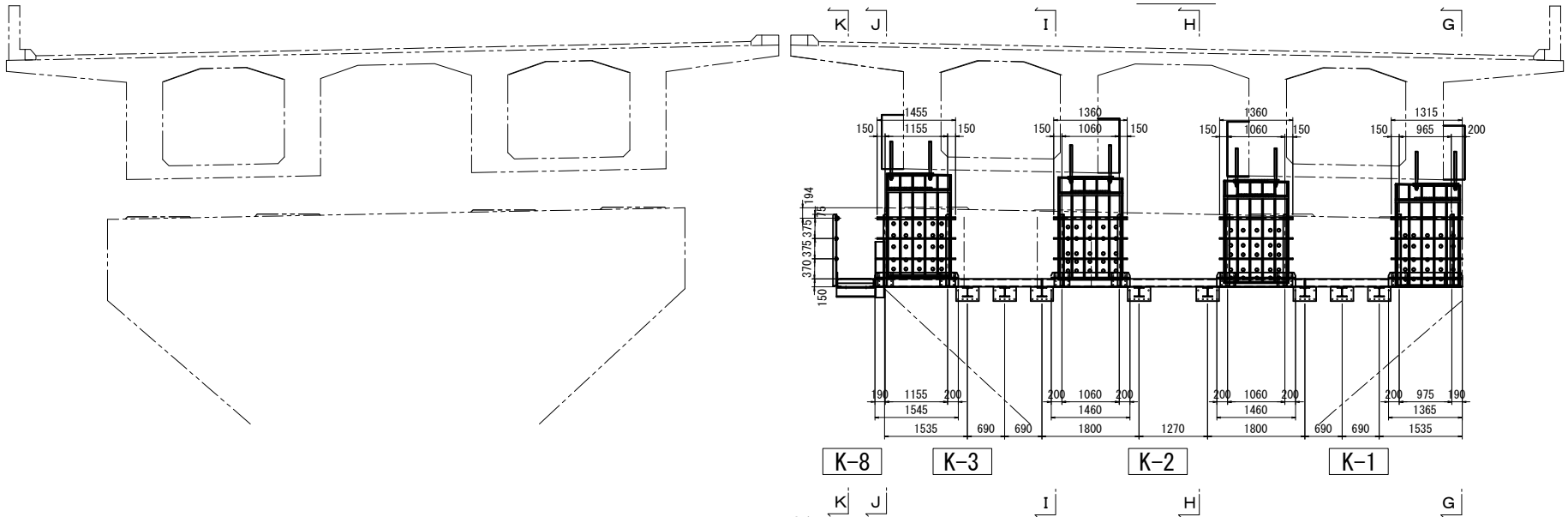
C－C断面



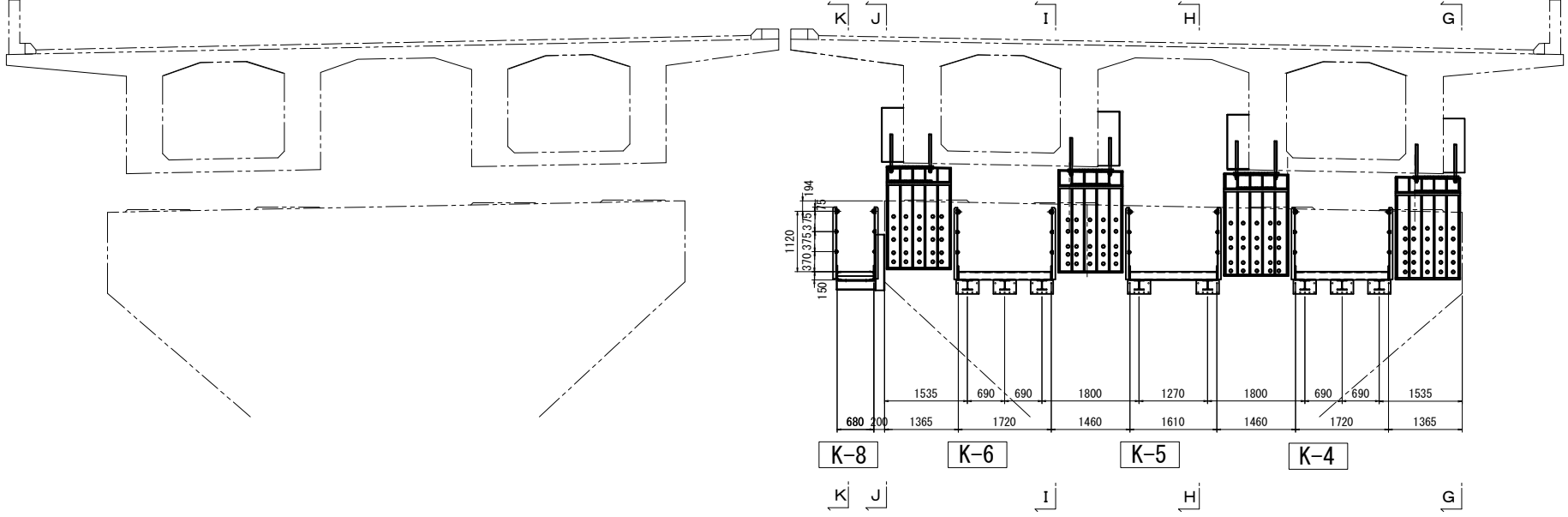
D-D断面



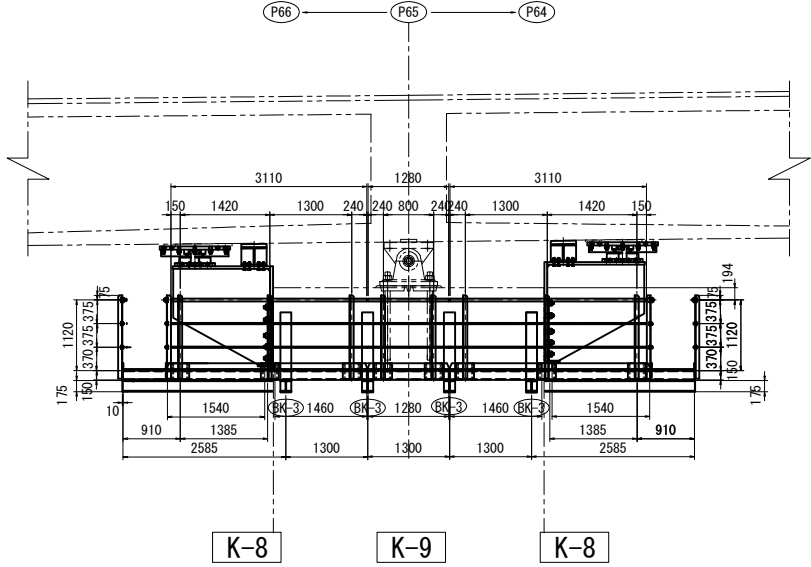
E-E断面



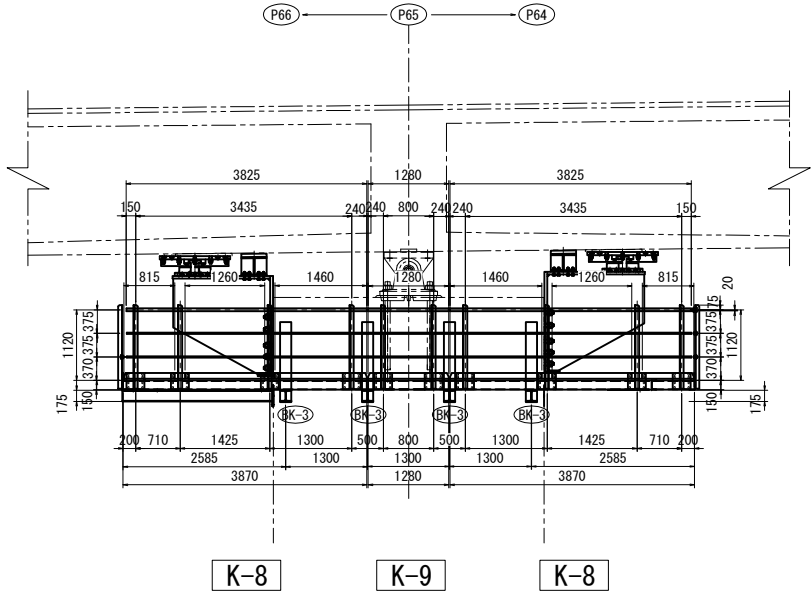
F-F断面



J-J断面

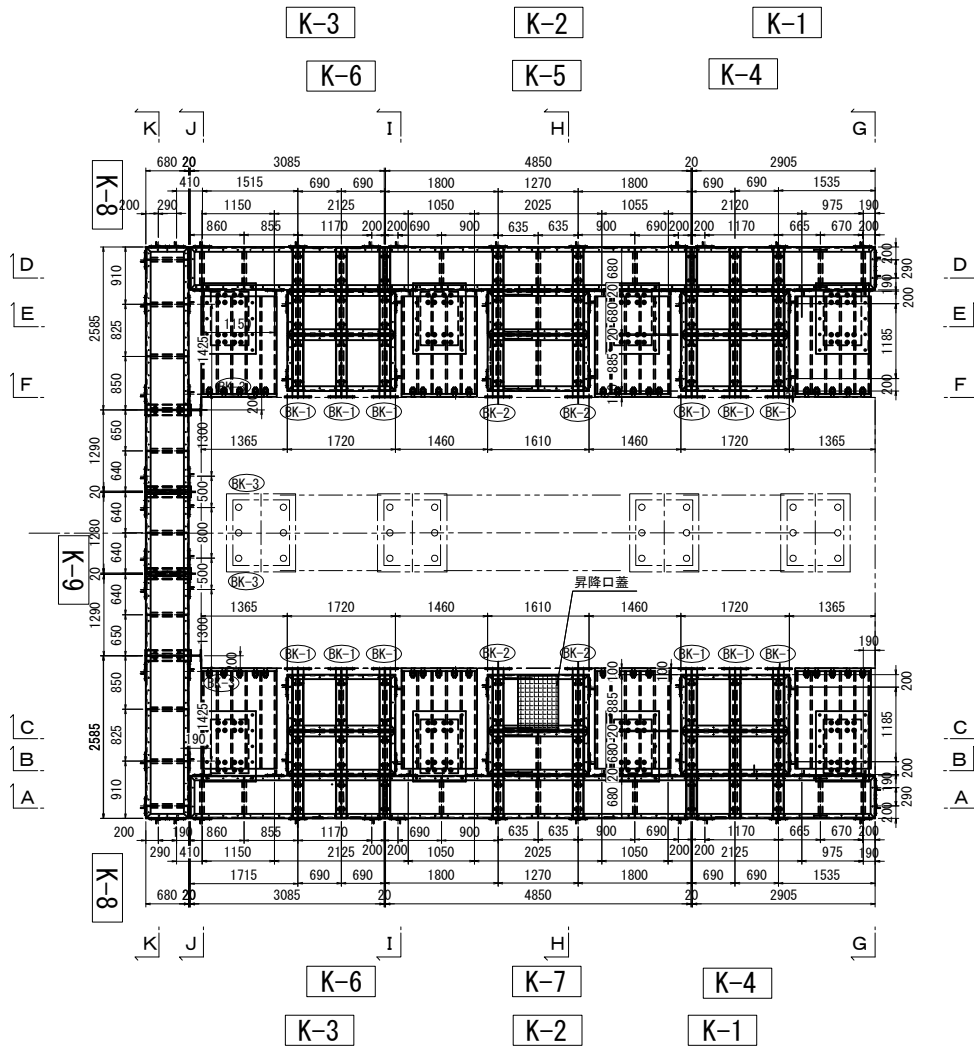
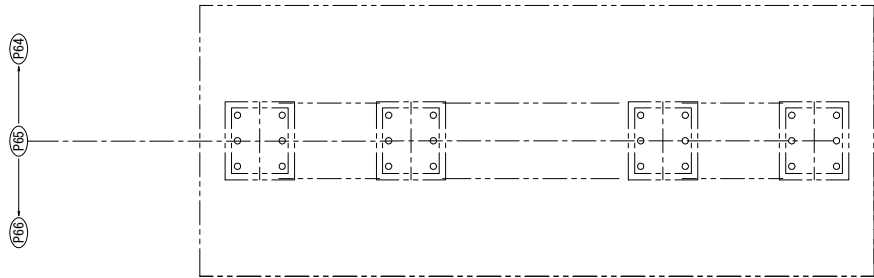


K-K断面



注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 5 橋脚 検査路設置図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	110 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		



下り線

上り線

K-1 (製作数=2組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2855$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1315$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 590$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2855$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1315$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 590$ (STK400)
- 7-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1442$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1290$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1365$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 660$
- 7-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 28-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 28-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 7-Uボルト 呼び 32C
- 14-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 2855$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 2905$
- 1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 4-FB $65 \times 6 \times 530$
- 4-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 2-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 28-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-2 (製作数=2組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 4850$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1360$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4850$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1360$ (STK400)
- 8-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1710$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1706$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1105$
- 8-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 32-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 32-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 8-Uボルト 呼び 32C
- 16-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 4790$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 4850$
- 2-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 5-FB $65 \times 6 \times 530$
- 5-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 2-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 44-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-3 (製作数=2組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 3085$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1455$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 3085$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1455$ (STK400)
- 5-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1545$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1285$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1635$
- 5-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 20-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 20-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 5-Uボルト 呼び 32C
- 10-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 3035$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 3085$
- 1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 4-FB $65 \times 6 \times 530$
- 4-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 30-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-4 (製作数=2組)

- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1585$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1585$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 680$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 885$
- 4-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 16-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 16-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1680$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $845 \times 3.2 \times 1680$ (SS400相当品)
- 4-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1720$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 885$
- 3-FB $65 \times 6 \times 530$
- 3-FB $65 \times 6 \times 735$
- 3-FB $75 \times 9 \times 667$
- 3-FB $75 \times 9 \times 872$
- 3-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 3-PL $160 \times 9 \times 865$ (SM400A)
- 42-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-5 (製作数=1組)

- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1585$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1585$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 680$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 885$
- 4-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 16-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 16-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1570$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $845 \times 3.2 \times 1570$ (SS400相当品)
- 4-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1610$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 885$
- 3-FB $65 \times 6 \times 530$
- 3-FB $65 \times 6 \times 735$
- 3-FB $75 \times 9 \times 667$
- 3-FB $75 \times 9 \times 872$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 2-PL $160 \times 9 \times 865$ (SM400A)
- 42-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-6 (製作数=2組)

- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1585$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1585$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 680$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 885$
- 4-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 16-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 16-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1680$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $845 \times 3.2 \times 1680$ (SS400相当品)
- 4-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1720$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 885$
- 3-FB $65 \times 6 \times 530$
- 3-FB $65 \times 6 \times 735$
- 3-FB $75 \times 9 \times 667$
- 3-FB $75 \times 9 \times 872$
- 3-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 3-PL $160 \times 9 \times 865$ (SM400A)
- 42-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-7 (製作数=1組)

- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1585$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1585$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 680$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 885$
- 4-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 16-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 16-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1570$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $845 \times 3.2 \times 1570$ (SS400相当品)
- 4-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1610$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 885$
- 3-FB $65 \times 6 \times 530$
- 3-FB $65 \times 6 \times 735$
- 3-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-FB $75 \times 9 \times 872$
- 2-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 2-PL $160 \times 9 \times 865$ (SM400A)
- 34-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-8 (製作数=2組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 3110$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 3825$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 630$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 3110$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 3825$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 630$ (STK400)
- 9-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1540$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1460$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 815$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1260$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1460$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 670$
- 9-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 36-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 36-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 9-Uボルト 呼び 32C
- 18-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 3820$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 3870$
- 1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 5-FB $65 \times 6 \times 530$
- 5-FB $75 \times 9 \times 667$
- 1-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 38-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-9 (製作数=1組)

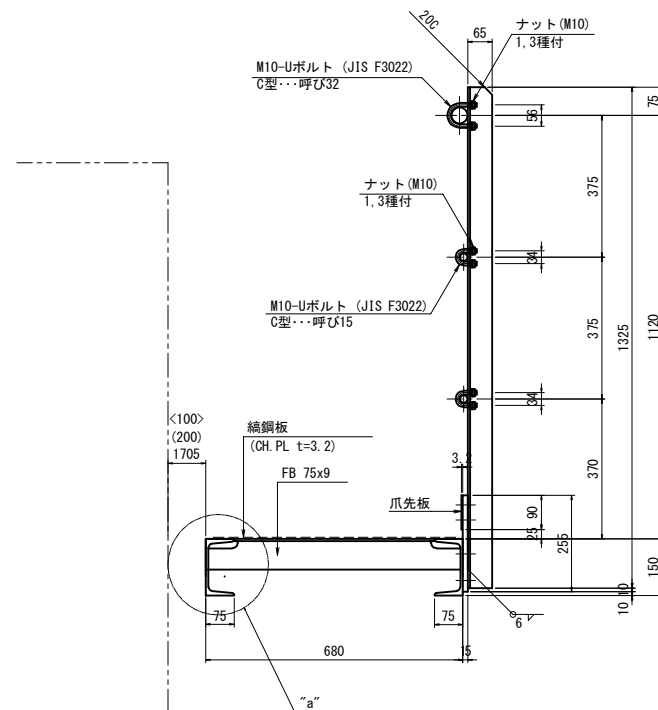
- 2-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1280$ (STK400)
- 4-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1280$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 2-PL $90 \times 3.2 \times 1280$
- 4-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 16-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 16-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 1220$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 1280$
- 2-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 1-FB $65 \times 6 \times 530$
- 1-FB $75 \times 9 \times 667$
- 2-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 12-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の付着料は、JIS H8641 HDZ35~HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 - 床材に縁鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
 - 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

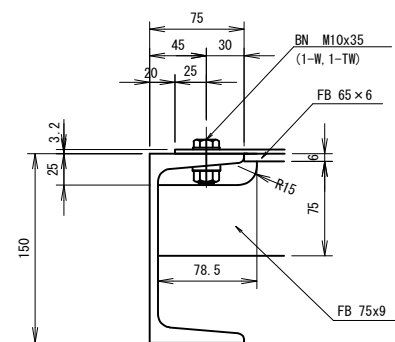
東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）		
	P 6 5 橋脚 検査路設置図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	111 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社		
	関東支社 千葉管理事務所		

手摺詳細図

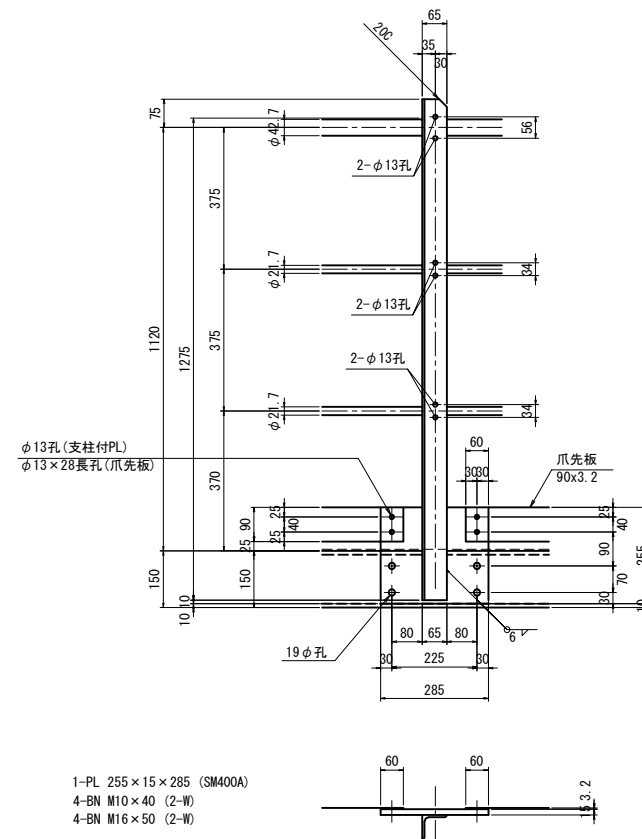
K-1 ~ K-3 (K-8) <K-4 ~ K-7>



a部詳細 S=1:6

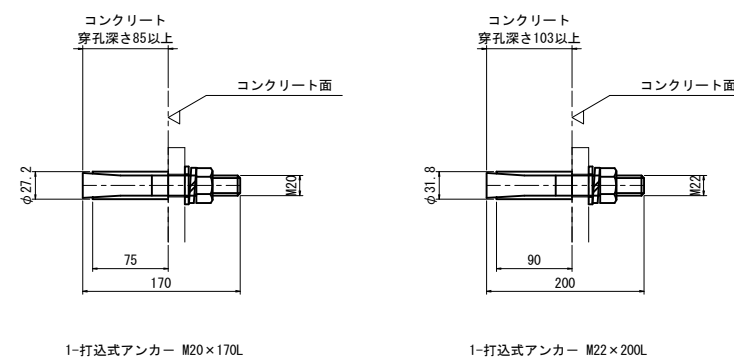


中間支柱部

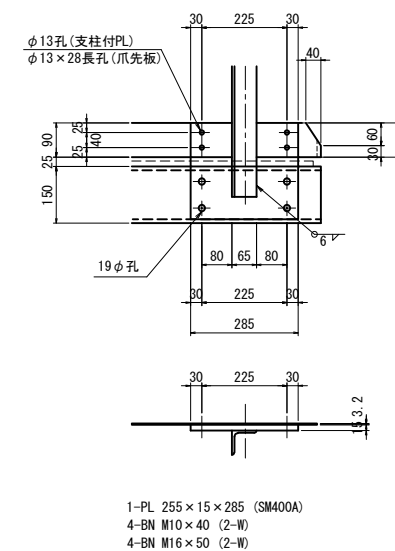


打込式アンカー詳細 S=1:3

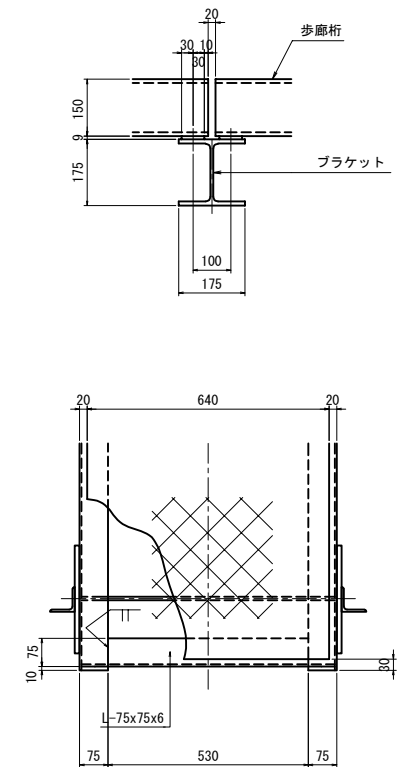
ブラケット用
(スリーブ打込式)



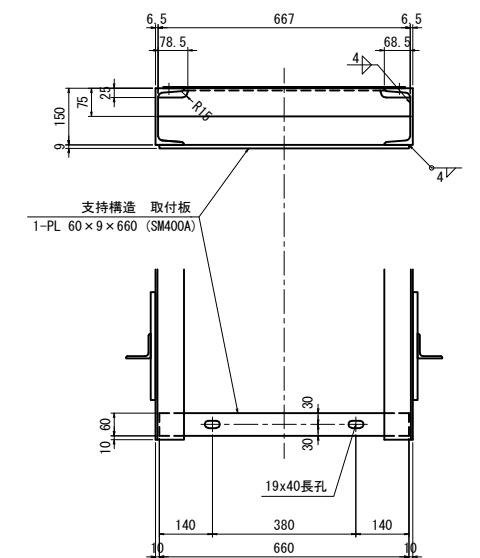
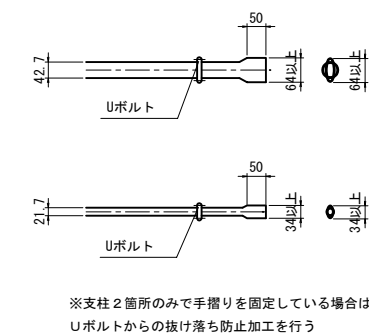
端支柱部



掛け違い部



手摺り抜け落ち防止加工詳細

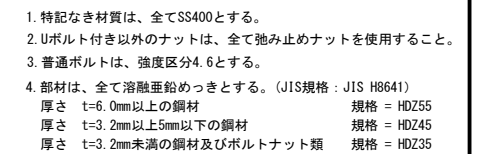
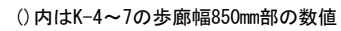


注記)

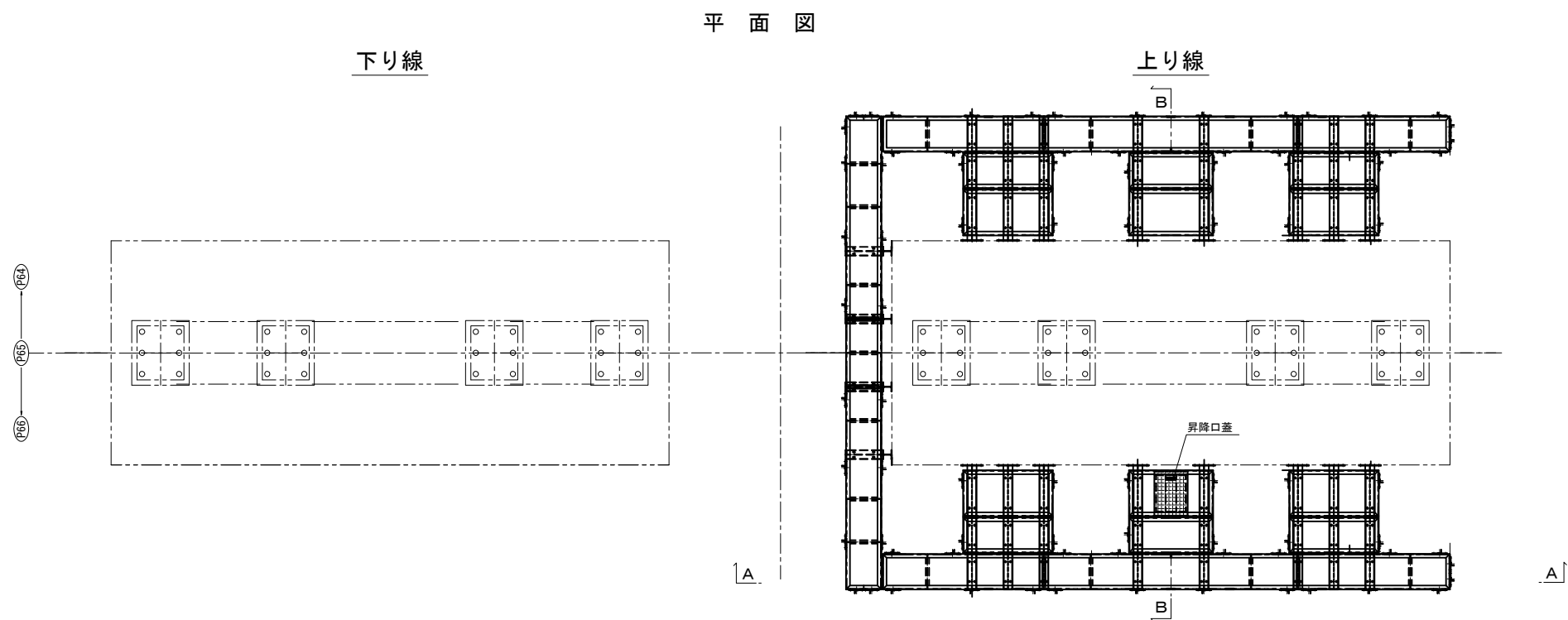
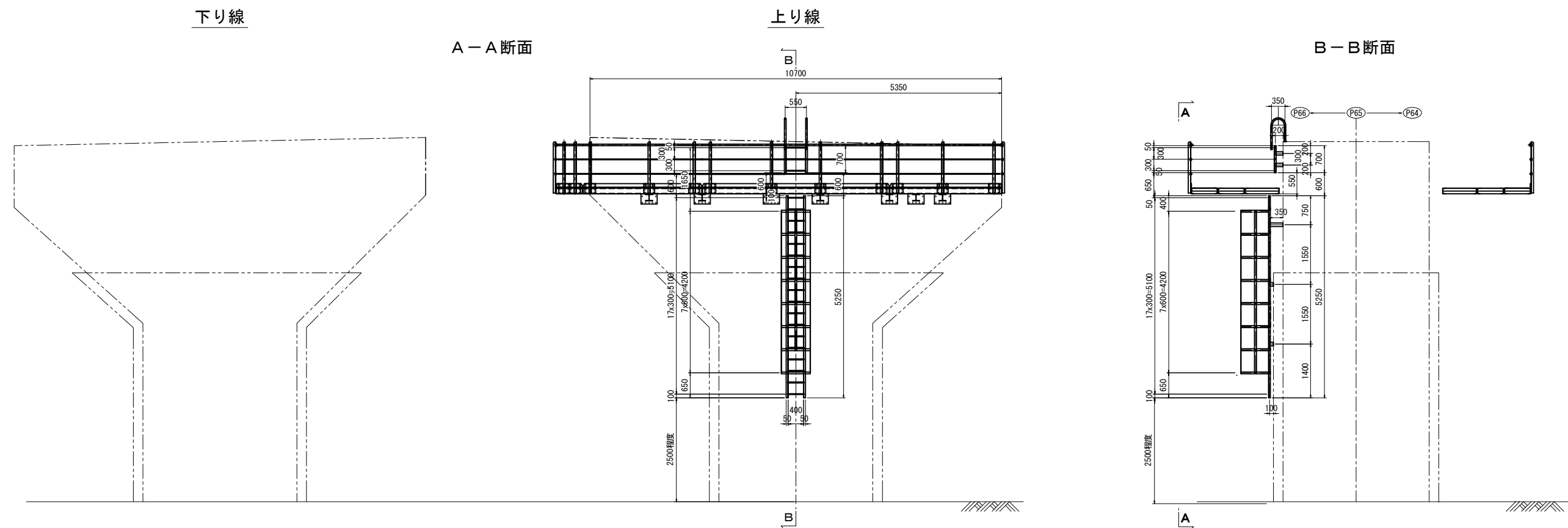
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格・JIS H8641)
- | | | | |
|----|-----------------------|----|---------|
| 厚さ | t=6.0mm以上の鋼材 | 規格 | = HDZ55 |
| 厚さ | t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 | 規格 | = HDZ45 |
| 厚さ | t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 | 規格 | = HDZ35 |

東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6.5 橋脚 検査路設置図（その４）		
縮 尺	図 示	図面番号	112 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

()内はK-4～7の歩廊幅850mm部の数値



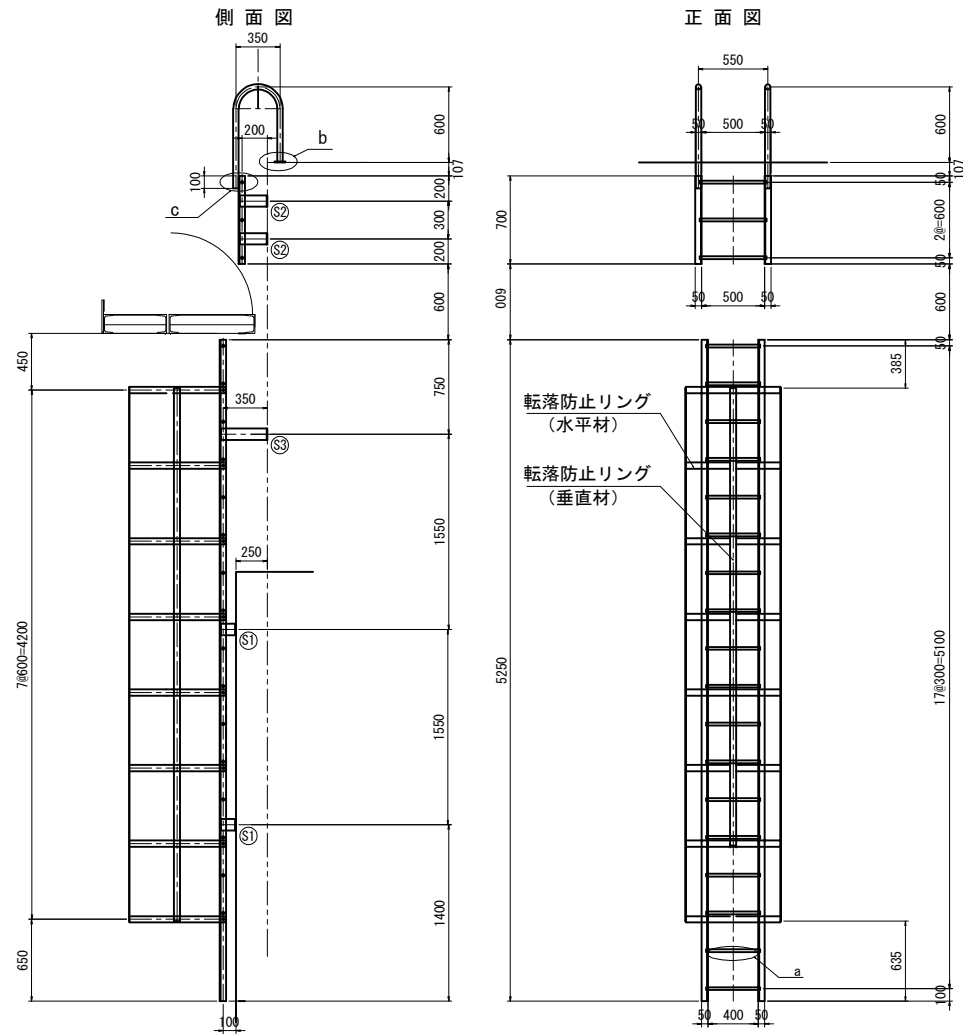
東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類		栄町高架橋（上り線） P 6 5橋脚 検査路設置図（その５）		
縮	尺	図 示	図面番号	113 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



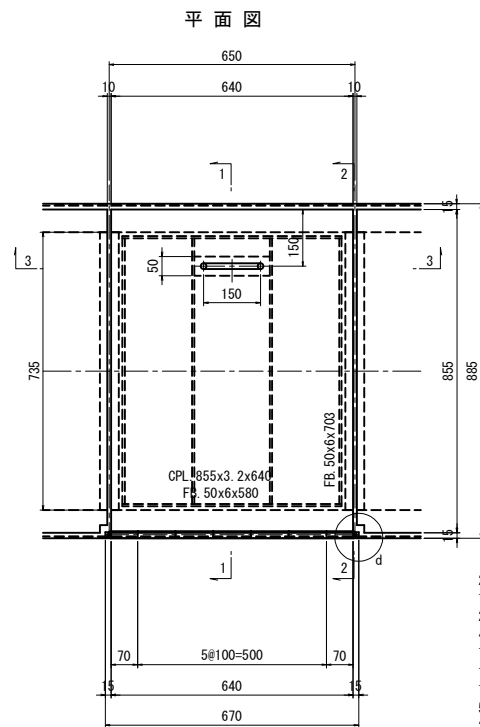
注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 5 橋脚 検査路設置図（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	114 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

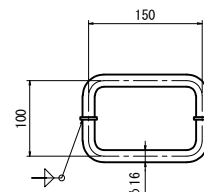
(N=1組)



昇降口蓋詳細 S=1:20



- 2-FB. 50 x 6 x 735
1-CPL. 855x3.2x640
2-FB. 50 x 6 x 580
4-FB. 50 x 6 x 703
1-FB. 50 x 6 x 200
1-R.B. ϕ 19 x 670 (SR235)
1-R.B. ϕ 16 x 500 (SR235)
5-Pipe. 20A x 100 (SGP)
2-Pipe. 20A x 70 (SGP)
2-平座金 18用
2-割ピン. 6.3 x 40 (SWRM3)



取手詳細 S=1:10

升降梯子

2-L	50 × 50 × 6 × 700
2-L	50 × 50 × 6 × 5250
18-RB	φ 22 × 430 (SR235)
3-RB	φ 22 × 530 (SR235)
2-PIPE	φ 42. 7x2. 3x1607 (STK400)

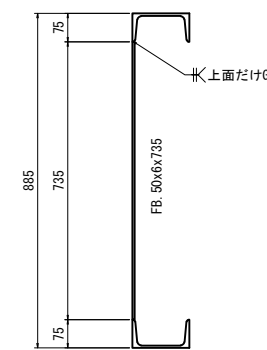
転落防止リング

8-FB	50 × 4.5 × 2082
3-FB	50 × 4.5 × 4230
16-BN	M16 × 40 (2-W)

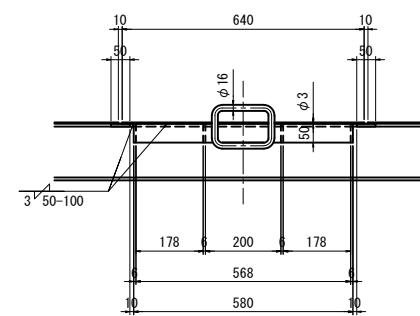
支持金具

天端支持
2-FB 90×6×200
4-打込式アンカー M16×125L

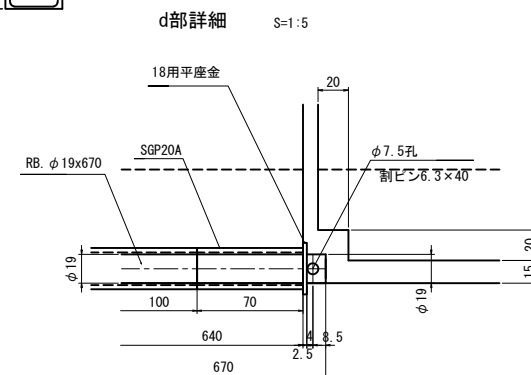
梯子支持
4-FB 90×6×318
2-FB 90×6×468
4-FB 90×6×218
10-打込式アンカー M16×125L
10-BN M16×40 (2-W)



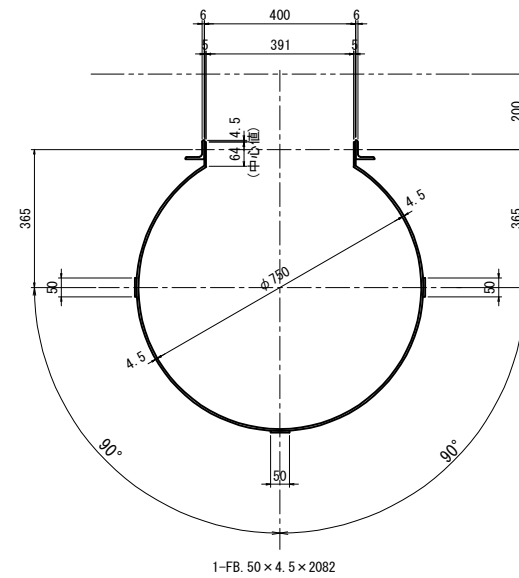
2-2断面



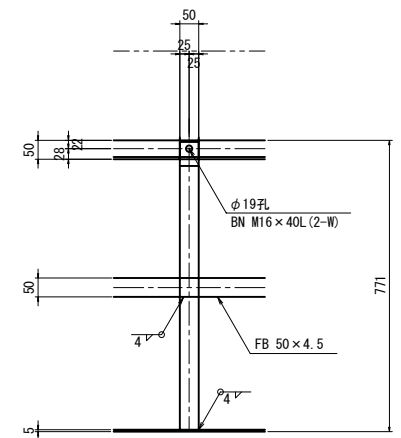
3-3断面



d部詳細

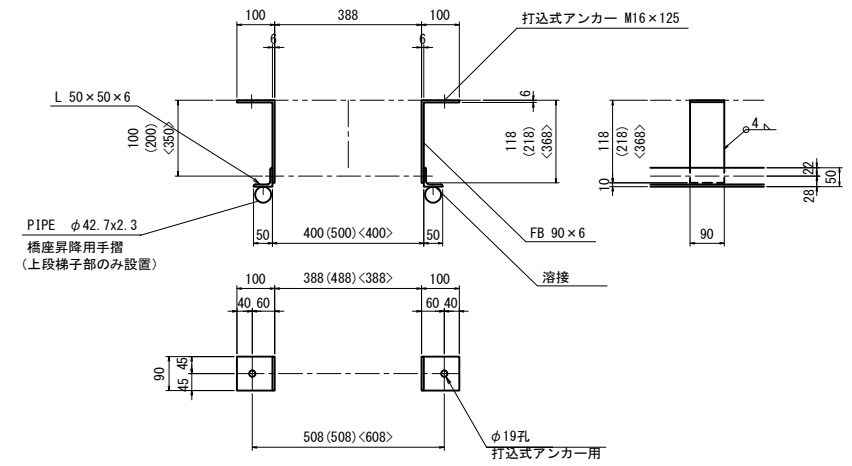


転落防止リング詳細 S=1:20

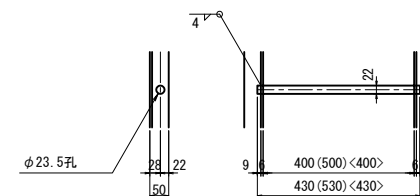


支持金具詳細

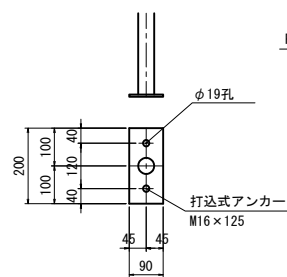
S1 (S2) <S3>



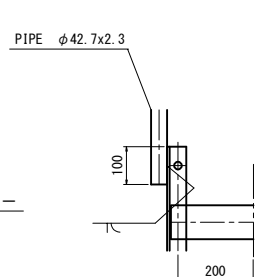
a 部詳細 S=1:20
S1 (S2) <S3>



b部詳細



C部詳細

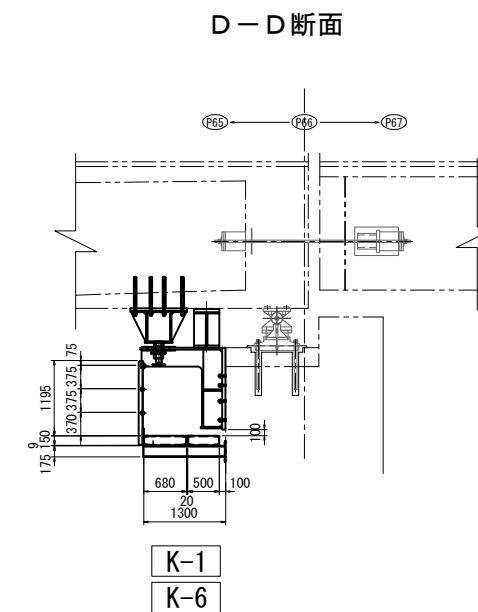
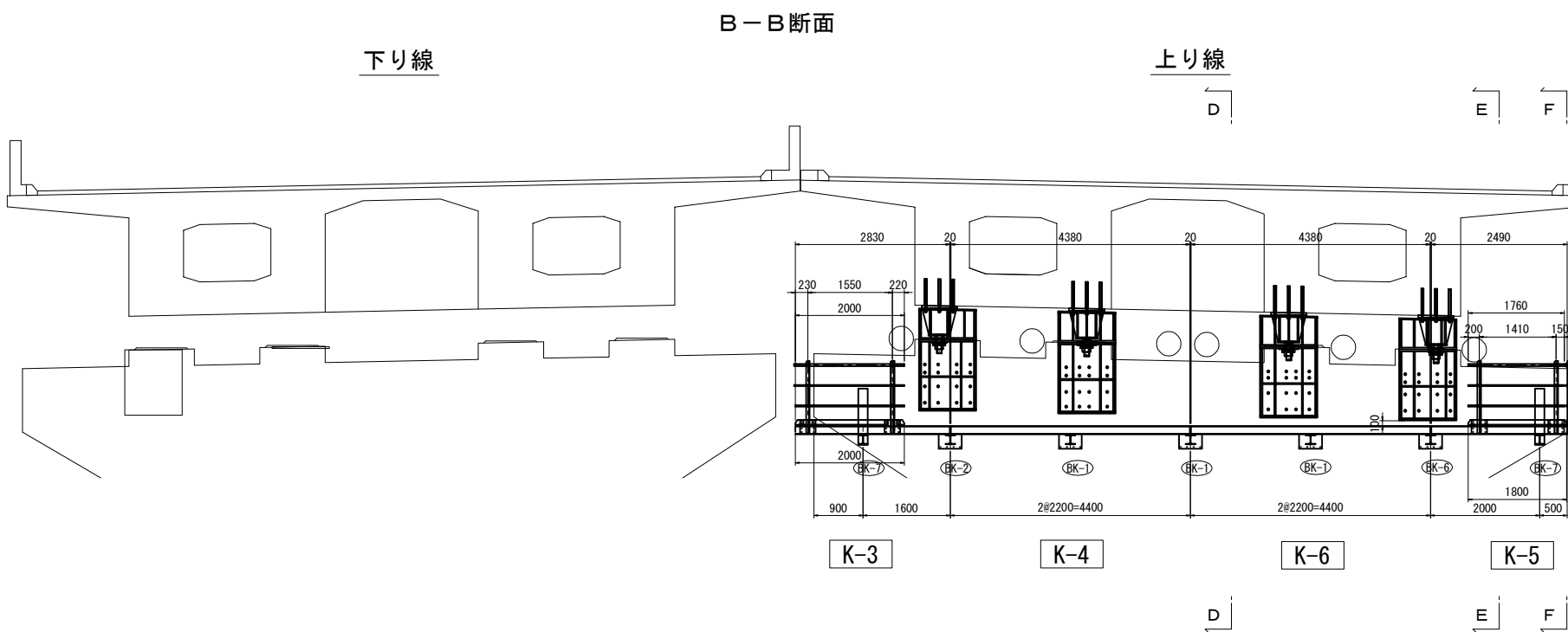
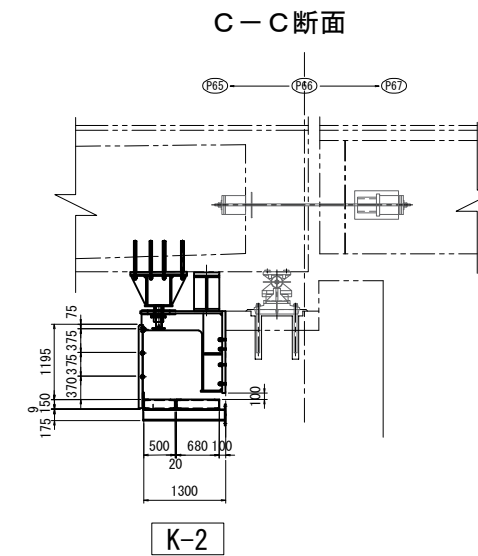
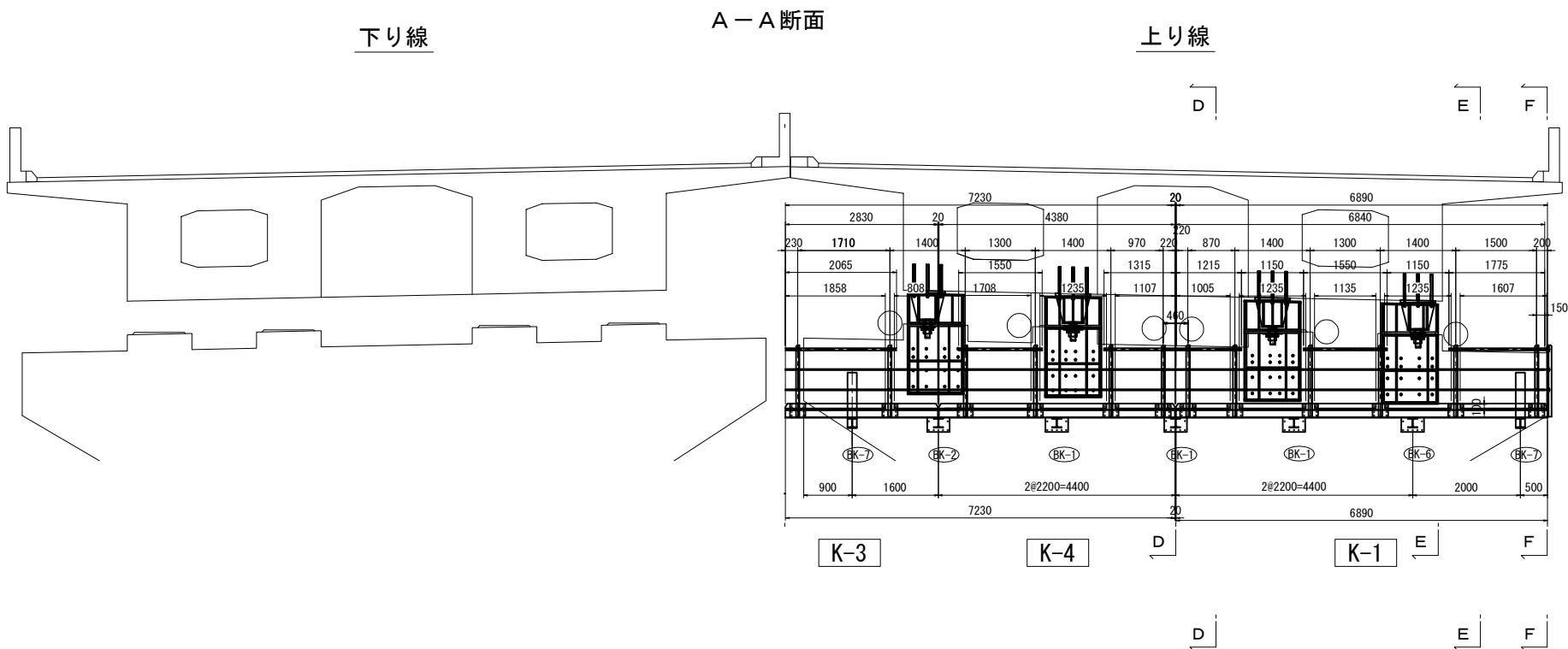


（注記）

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外の部分は、全て弛み止めナットを使用すること。
3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。（JIS規格：JIS H8641）

厚さ t=6.0mm以上の鋼材	規格 = HDZ55
厚さ t=3.2mm以上の鋼材	規格 = HDZ45
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類	規格 = HDZ35

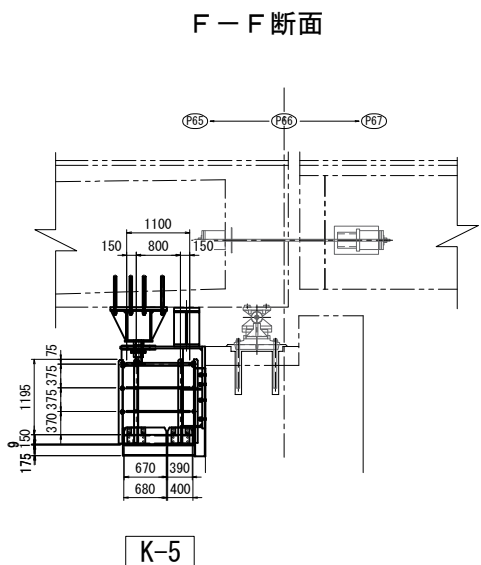
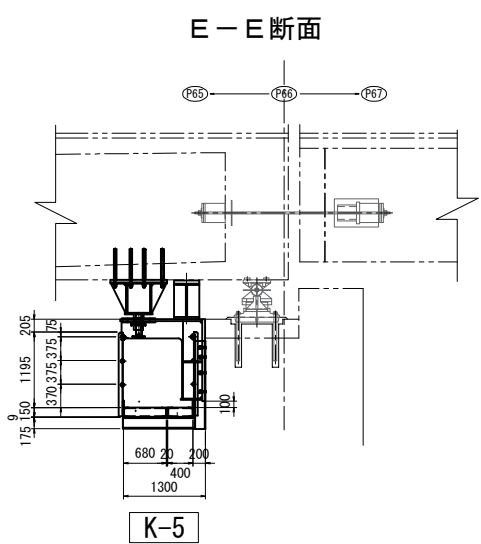
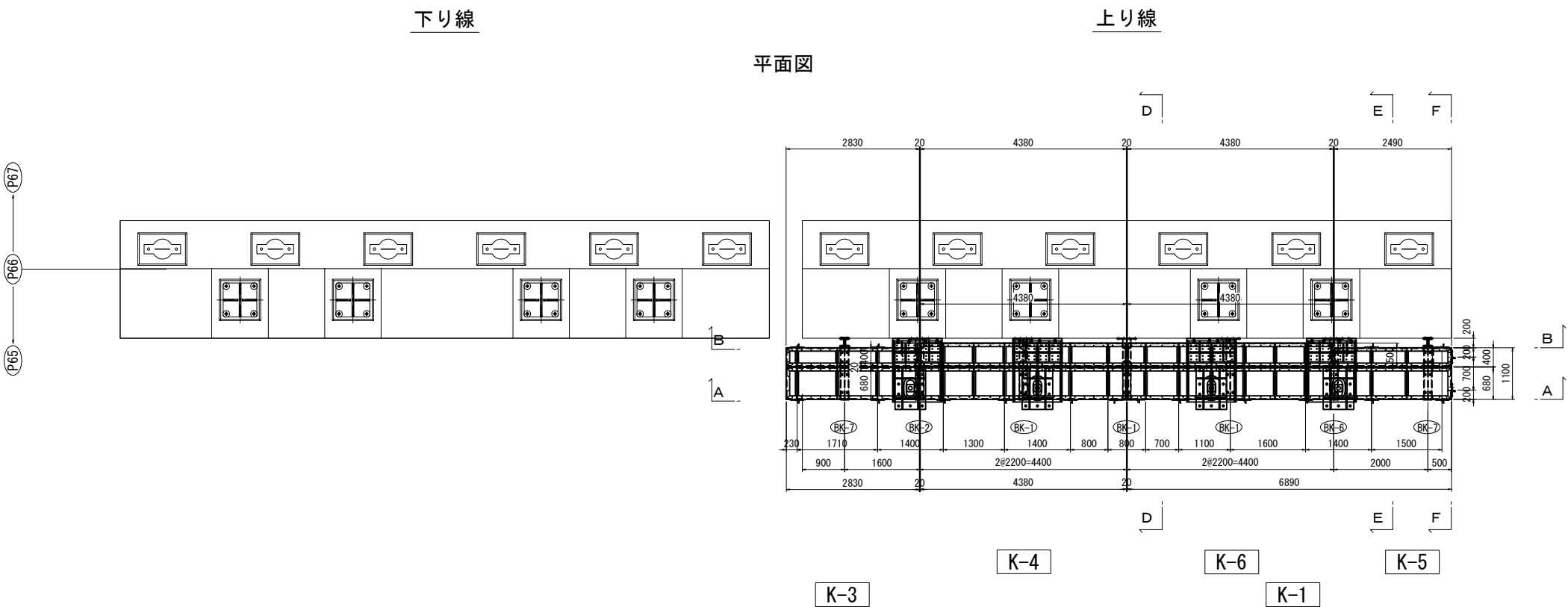
東関東自動車道			
下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 5 橋脚 検査路設置図（その 7）		
縮 尺	図 示	図面番号	115 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		



注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

項 目	数量 (kg)	備考
検査路 新設工	新 規	2,792

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 6 橋脚 検査路設置図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	116 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		



K-1 (製作数=1組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1775$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1550$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1215$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 6840$ (STK400)
- 7-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1607$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1235$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1135$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1235$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1005$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 670$
- 7-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 28-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 28-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 7-Uボルト 呼び 32C
- 14-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 6840$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 6890$
- 1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 8-FB $65 \times 6 \times 530$
- 8-FB $75 \times 9 \times 667$
- 3-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 70-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-3 (製作数=1組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2065$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2065$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2000$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2000$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 808$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1858$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 2000$
- 4-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 16-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 16-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 2780$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $360 \times 3.2 \times 2780$ (SS400相当品)
- 4-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 2830$
- 1-CH. PL $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 680$
- 1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 400$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 387$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 3-FB $65 \times 6 \times 250$
- 3-FB $75 \times 9 \times 387$
- 3-FB $65 \times 6 \times 530$
- 3-FB $75 \times 9 \times 667$
- 1-PL $160 \times 9 \times 380$ (SM400A)
- 1-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 380$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 56-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-4 (製作数=1組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1315$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1550$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 4380$ (STK400)
- 4-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1107$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1235$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1708$
- 4-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 16-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 16-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 8-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $640 \times 3.2 \times 4320$ (SS400相当品)
- 1-CH. PL $460 \times 3.2 \times 4320$ (SS400相当品)
- 4-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 4380$
- 2-L $75 \times 75 \times 6 \times 487$
- 2-L $75 \times 75 \times 6 \times 667$
- 6-FB $65 \times 6 \times 350$
- 6-FB $75 \times 9 \times 487$
- 6-FB $65 \times 6 \times 530$
- 6-FB $75 \times 9 \times 667$
- 1-PL $160 \times 9 \times 480$ (SM400A)
- 1-PL $160 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 2-PL $60 \times 9 \times 480$ (SM400A)
- 2-PL $60 \times 9 \times 660$ (SM400A)
- 84-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-5 (製作数=1組)

- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1760$ (STK400)
- 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 1100$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1760$ (STK400)
- 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 1100$ (STK400)
- 3-L $65 \times 65 \times 6 \times 1325$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 1800$
- 1-PL $90 \times 3.2 \times 390$
- 3-PL $255 \times 15 \times 285$ (SM400A)
- 12-BN $M16 \times 50$ (2-W付)
- 12-BN $M10 \times 40$ (2-W付)
- 3-Uボルト 呼び 32C
- 6-Uボルト 呼び 15C
- 1-CH. PL $360 \times 3.2 \times 2440$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 2490$
- 1-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 400$
- 1-L $75 \times 75 \times 6 \times 387$
- 2-FB $65 \times 6 \times 250$
- 2-FB $75 \times 9 \times 387$
- 1-PL $160 \times 9 \times 380$ (SM400A)
- 1-PL $60 \times 9 \times 380$ (SM400A)
- 28-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

K-6 (製作数=1組)

- 1-CH. PL $460 \times 3.2 \times 4320$ (SS400相当品)
- 2-CH $150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 4380$
- 2-L $75 \times 75 \times 6 \times 487$
- 6-FB $65 \times 6 \times 350$
- 6-FB $75 \times 9 \times 487$
- 1-PL $160 \times 9 \times 480$ (SM400A)
- 2-PL $60 \times 9 \times 480$ (SM400A)
- 42-BN $M10 \times 35$ (1-W, 1-TW付)

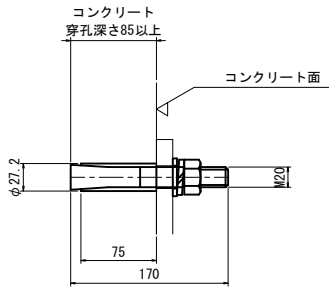
- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ35~HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
 - 床材に鋼鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を
間隔1m(0.7m²)程度に1箇所程度設けるのが良い。
 - 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
鋼板加工は、既設構造寸法確認後、製作を行うこと。

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 6 橋脚 検査路設置図（その2）			
縮 尺	図 示	図面番号	117 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

手摺詳細図

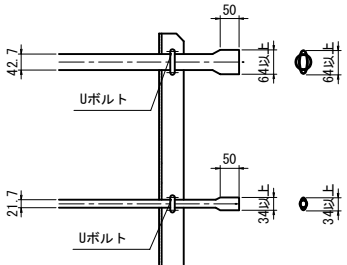
打込式アンカー詳細 S=1:6

ブラケット用
（スリーブ打込式）



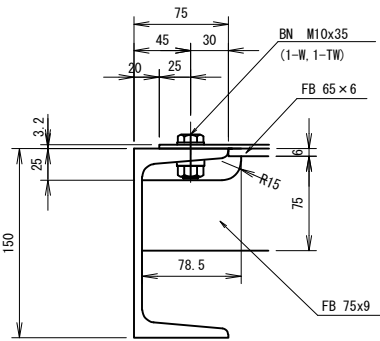
1-打込式アンカー M20×170L

手摺り抜け落ち防止加工詳細



※支柱2箇所のみで手摺りを固定している場合は
Uボルトからの抜け落ち防止加工を行う

a部詳細 S=1:6



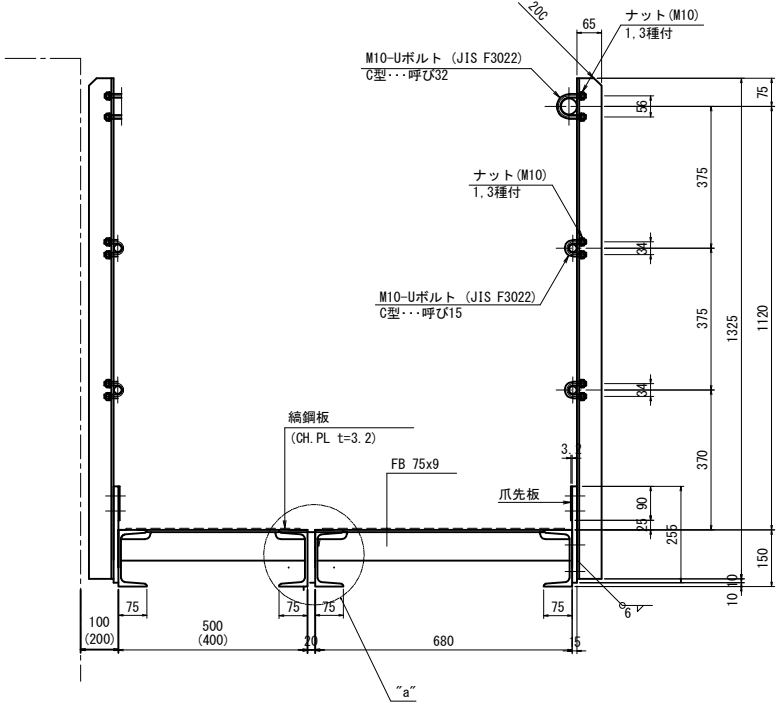
注記)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格：JIS H8641)
厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

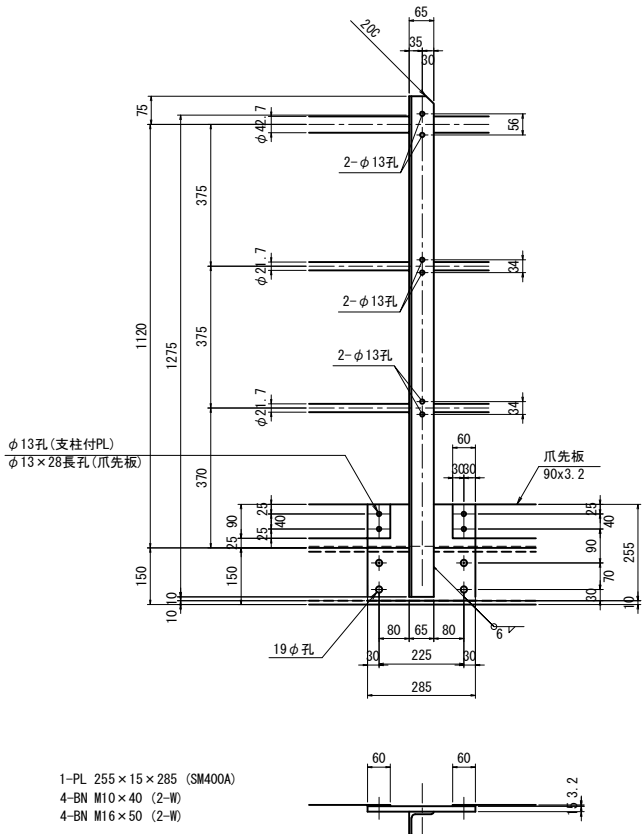
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 6 橋脚 検査路設置図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	118 / 144
設計会社名	北武コンサルタンツ株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

支柱部断面図

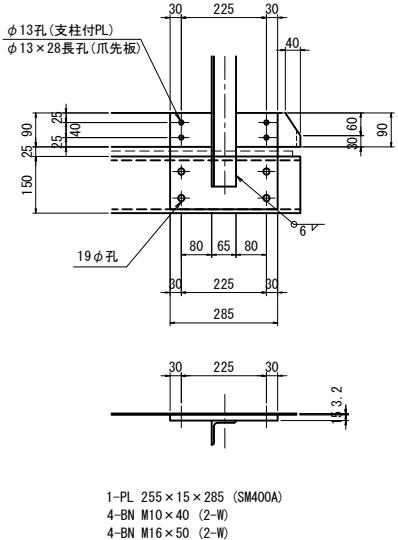
※○内はK-3、K-5歩廊部の寸法。内側手すりはK-3、K-5のみ設置



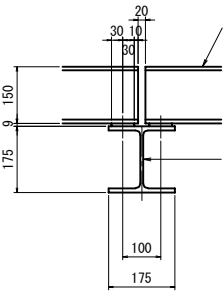
中間支柱部



端支柱部



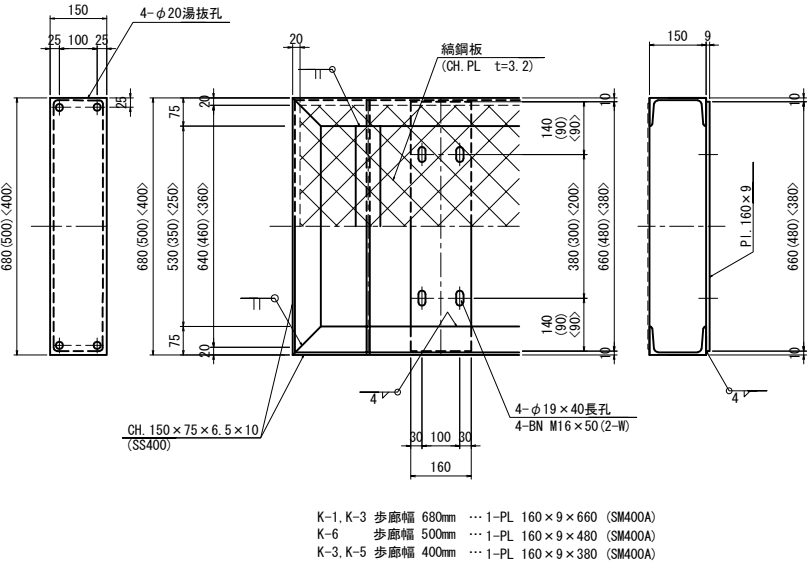
掛け違い部



歩廊詳細

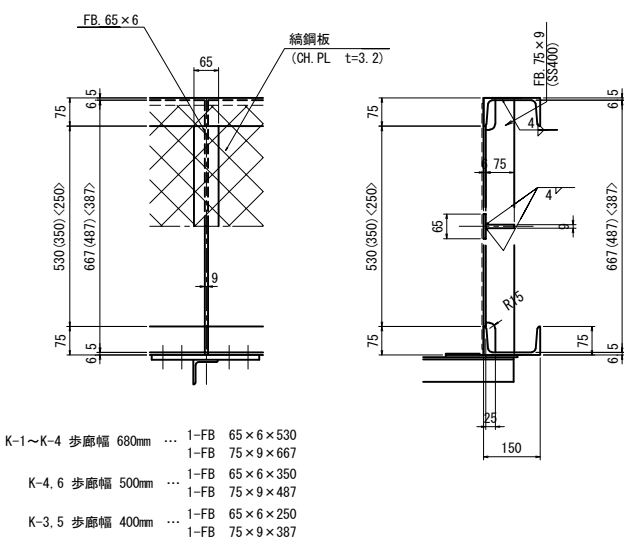
端部

K-1、K-3、(K-6)、<K-3、K-5>



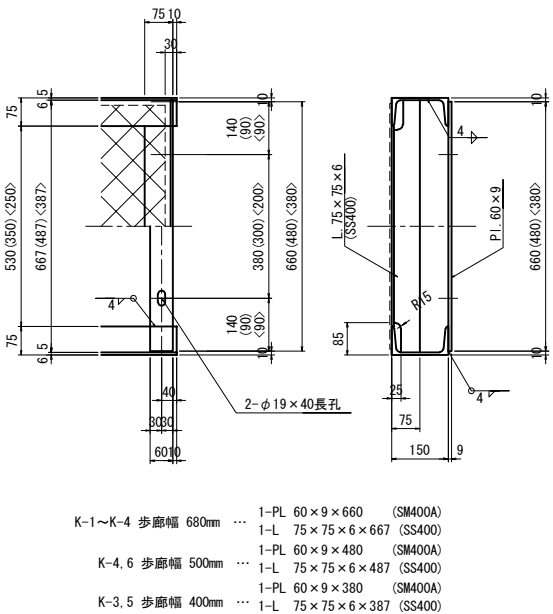
中間部

K-1~K-4、(K-4、6)、<K-3、5>



掛違い部

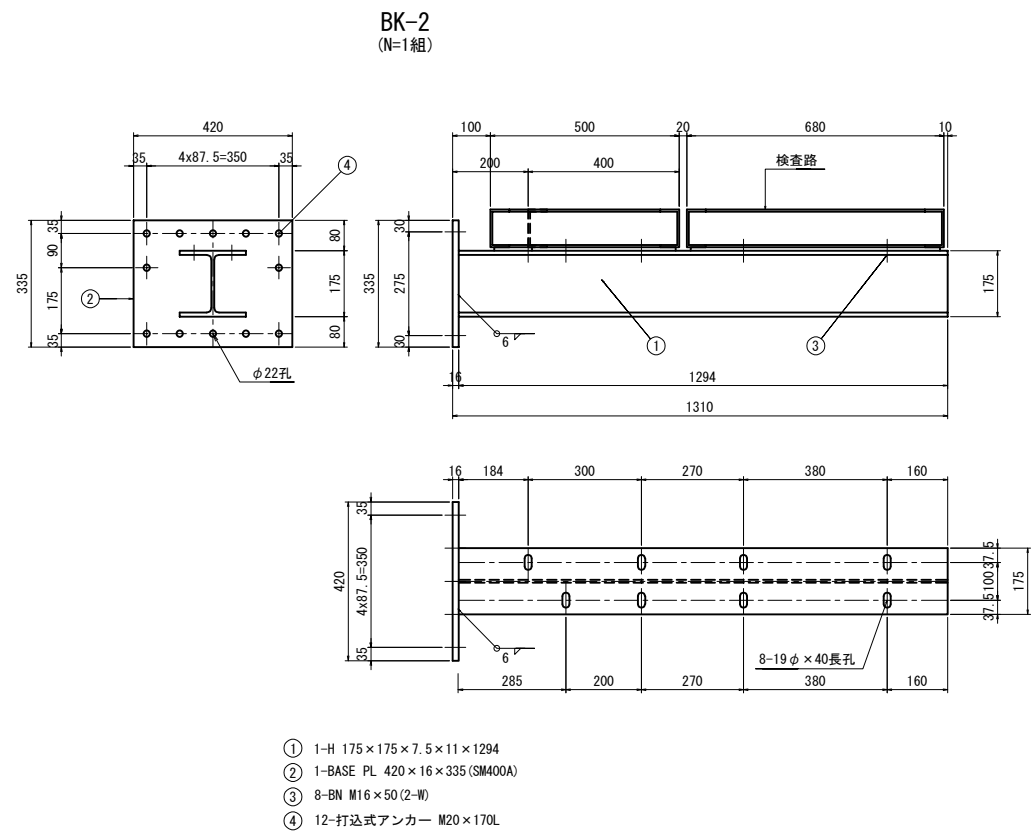
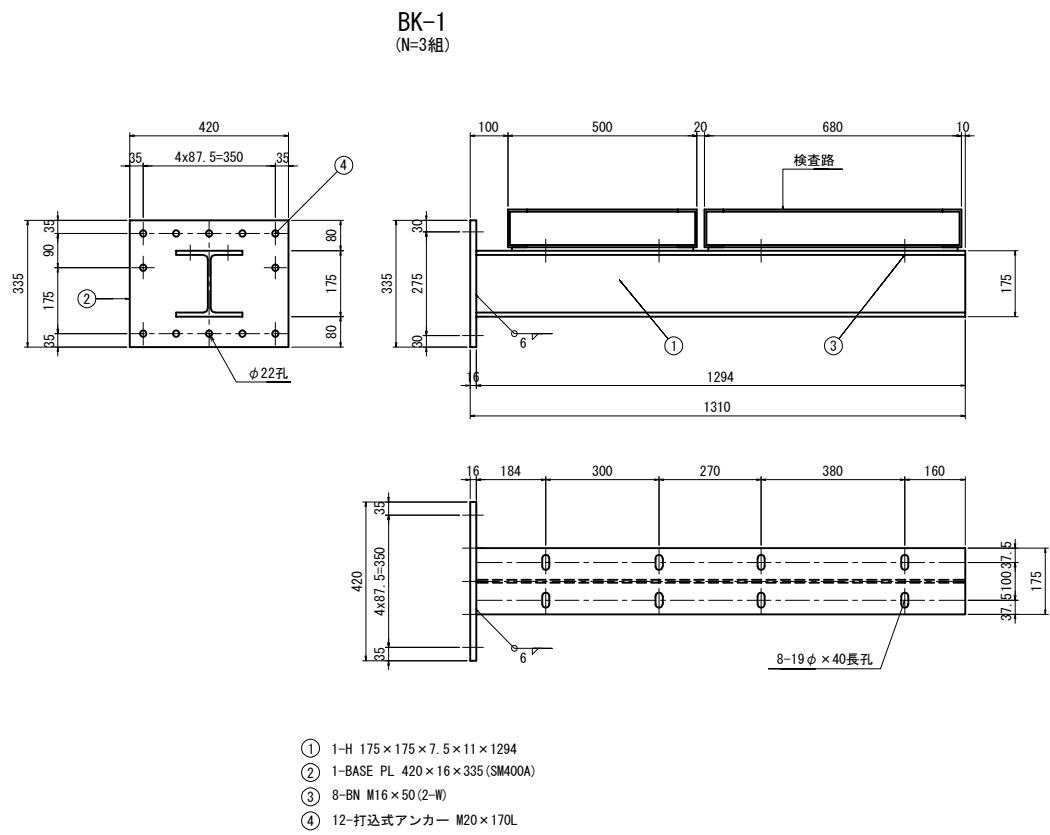
K-1~K-4、(K-4、6)、<K-3、5>



K-1~K-4 歩廊幅 680mm	1-FB 65×6×530
	1-FB 75×9×667
K-4、6 歩廊幅 500mm	1-FB 65×6×350
	1-FB 75×9×487
K-3、5 歩廊幅 400mm	1-FB 65×6×250
	1-FB 75×9×387

K-1~K-4 歩廊幅 680mm	1-PL 60×9×660 (SM400A)
	1-L 75×75×6×667 (SS400)
K-4、6 歩廊幅 500mm	1-PL 60×9×480 (SM400A)
	1-L 75×75×6×487 (SS400)
K-3、5 歩廊幅 400mm	1-PL 60×9×380 (SM400A)
	1-L 75×75×6×387 (SS400)

ブラケット詳細図



注記)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

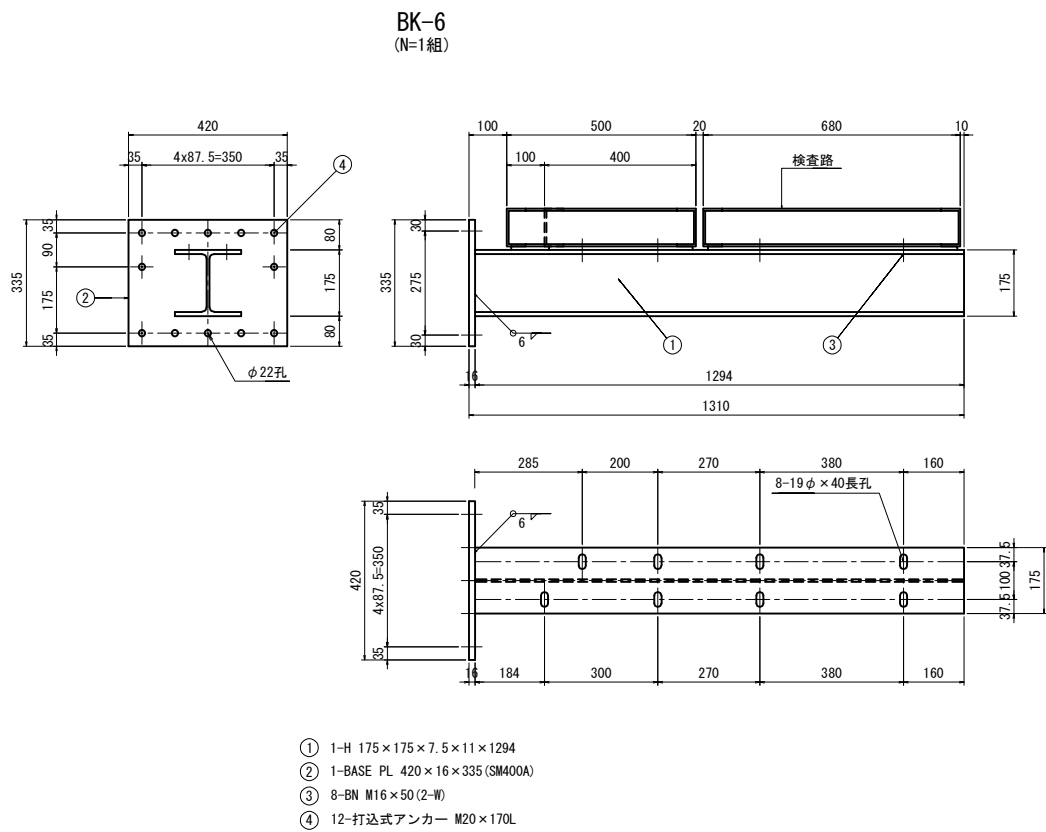
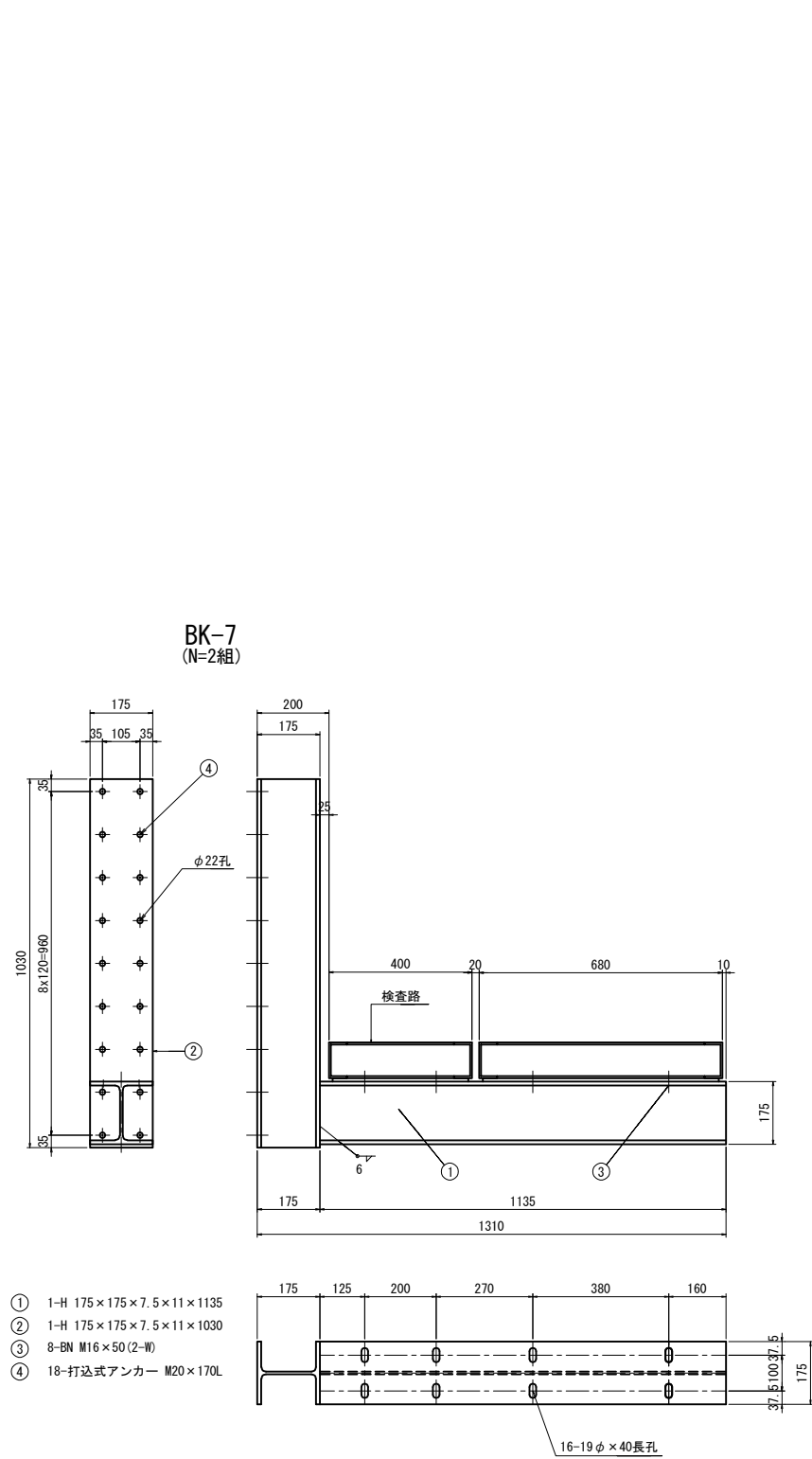
2. Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。

3. 普通ボルトは、強度区分4.6とする。

4. 部材は、全て溶融垂鉛めっきとする。(JIS規格：JIS H8641)

厚さ	t=6.0mm以上の鋼材	規格	= HDZ55
厚さ	t=3.2mm以上5mm以下の鋼材	規格	= HDZ45
厚さ	t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類	規格	= HDZ35

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 6 橋脚 検査路設置図（その4）		
	縮 尺	図 示	図面番号 119 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		

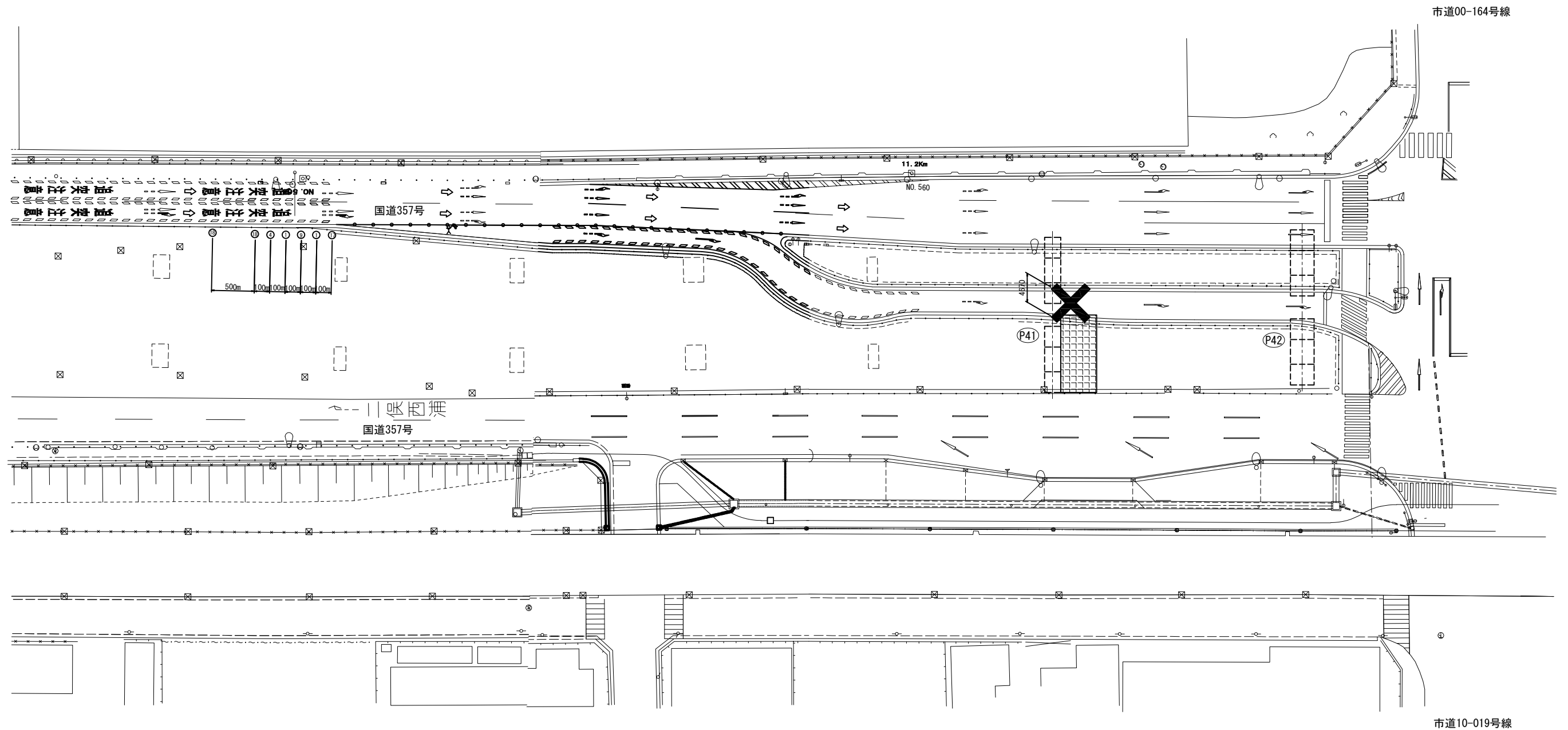


注記)

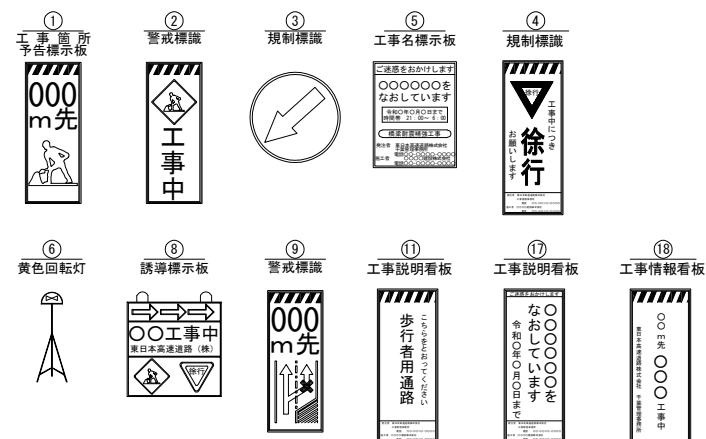
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て弛み止めナットを使用すること。
- 普通ボルトは、強度区分4.6とする。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。(JIS規格：JIS H8641)
厚さ t=6.0mm以上の鋼材 規格 = HDZ55
厚さ t=3.2mm以上5mm以下の鋼材 規格 = HDZ45
厚さ t=3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類 規格 = HDZ35

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 6 6 橋脚 検査路設置図（その5）			
	縮 尺	図 示	図面番号	120 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

P 4 1 橋脚 吊り足場設置撤去時(右折レーン部)



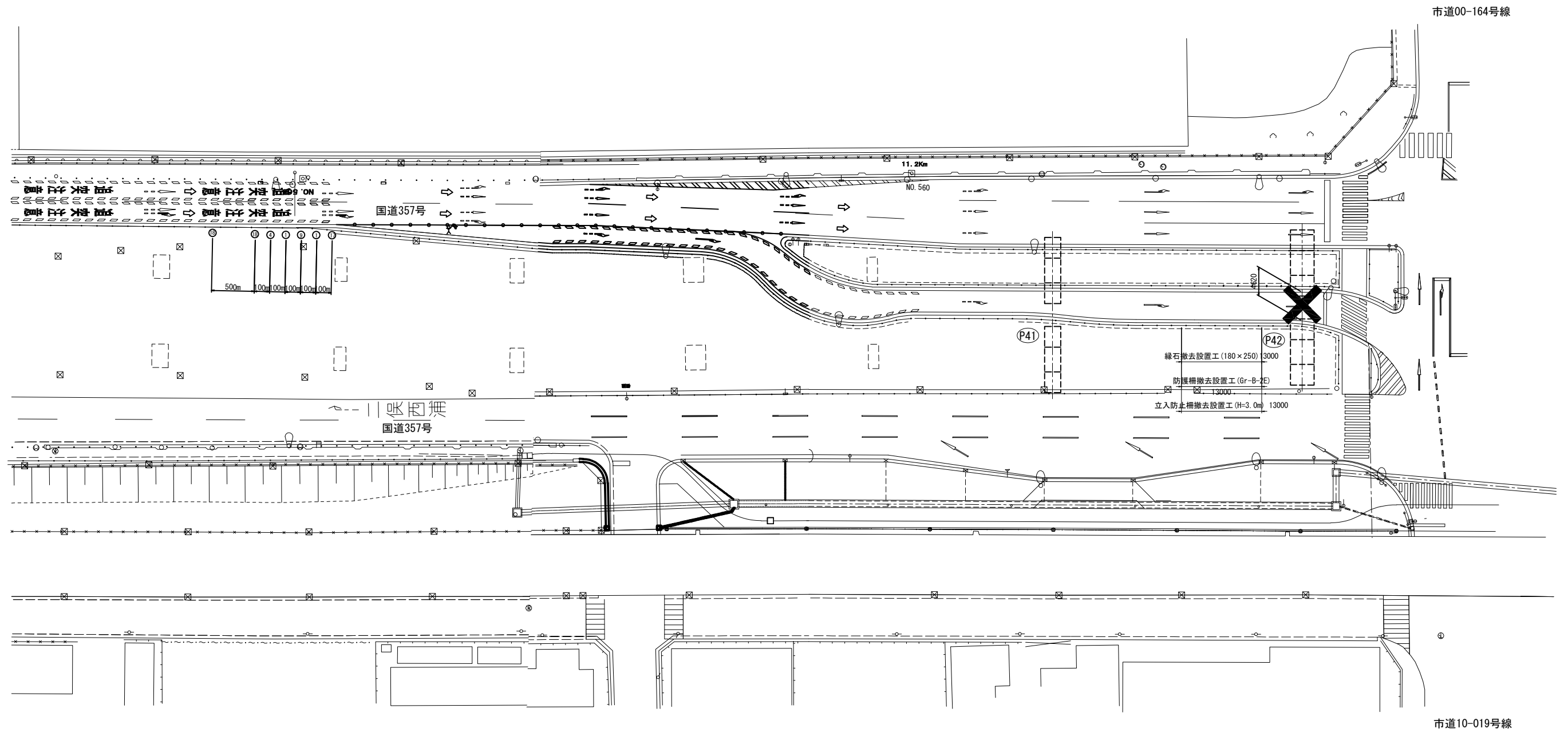
保安設備



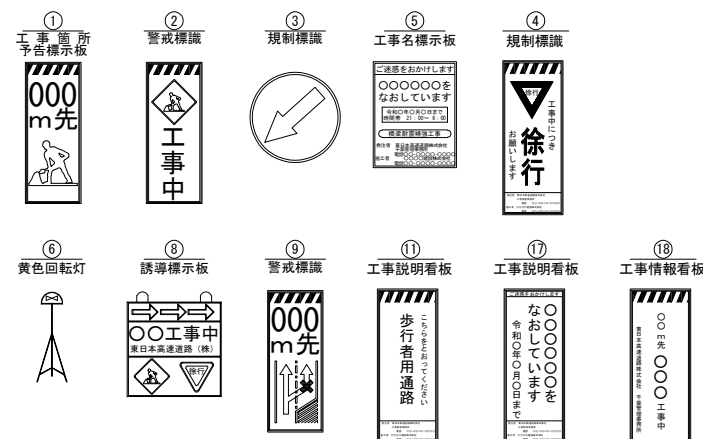
- 注記)
- 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 - 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員 A（1 級又は 2 級検定合格警備員）1 名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1 ～ 4 4 橋脚 交通規制図（その 1）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	121 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名	東日本高速道路株式会社			
事務所名	関東支社 千葉管理事務所			

P 4 2 橋脚 防護柵撤去設置時(右折レーン部)



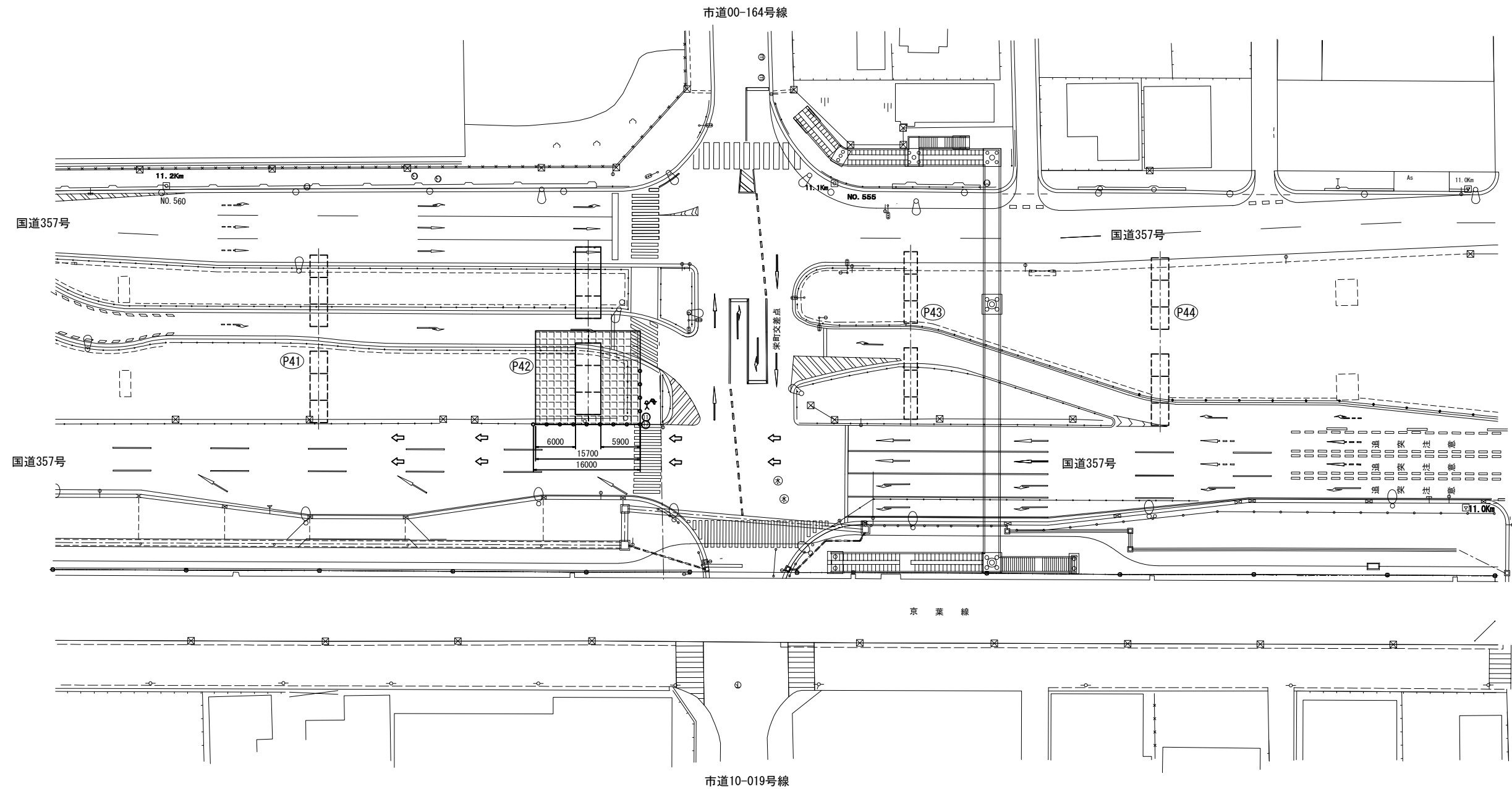
保安設備



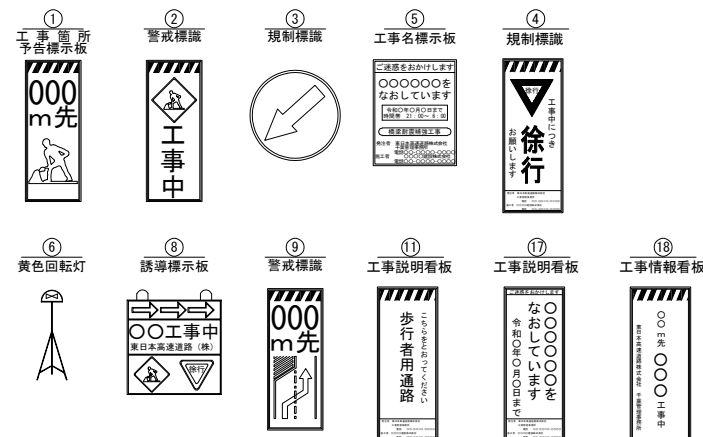
- 注記)
- 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 - 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員 A（1 級又は 2 級検定合格警備員）1 名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1～4 4 橋脚 交通規制図（その2）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	122 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

P 4 2 橋脚 吊り足場設置撤去時(国道本線部)



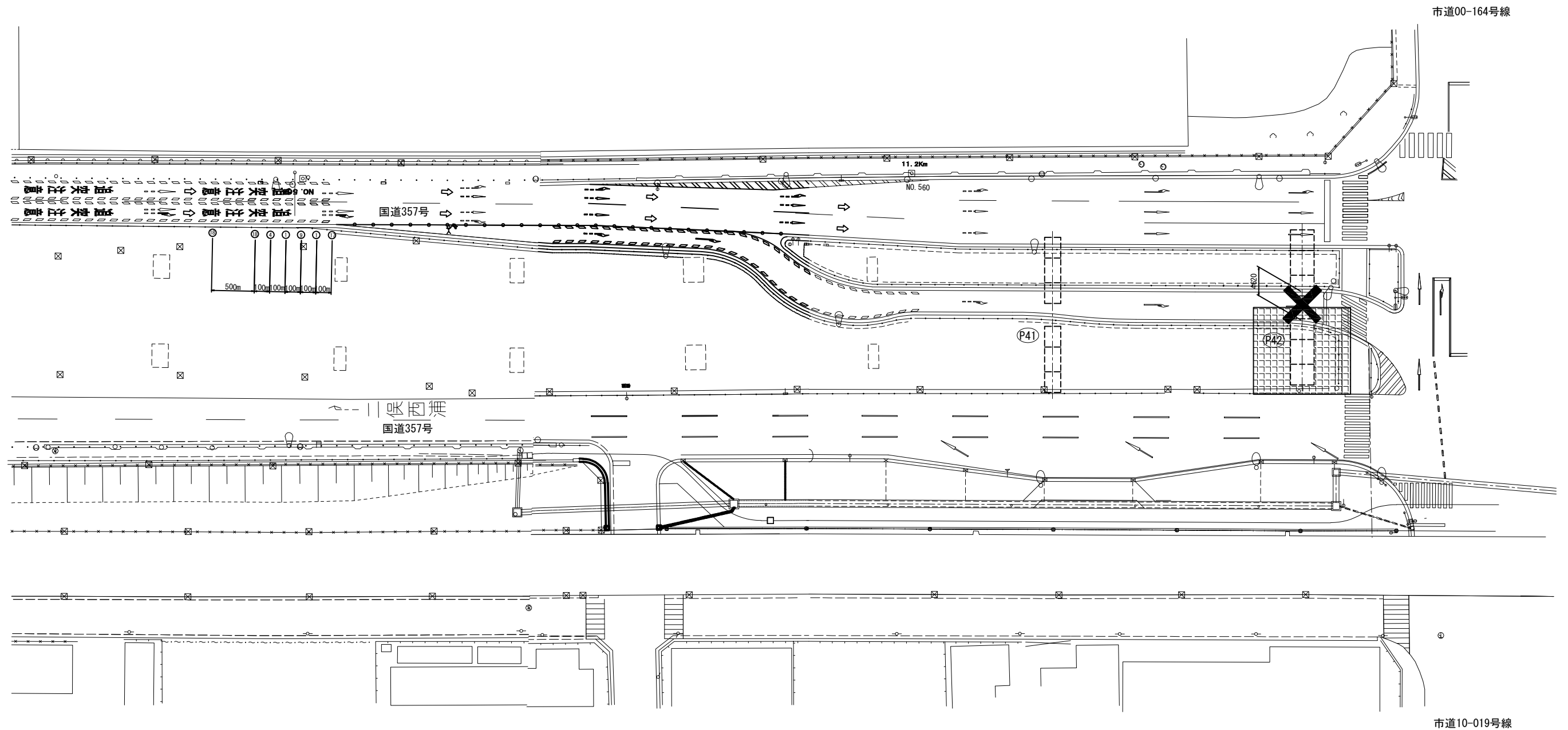
保安設備



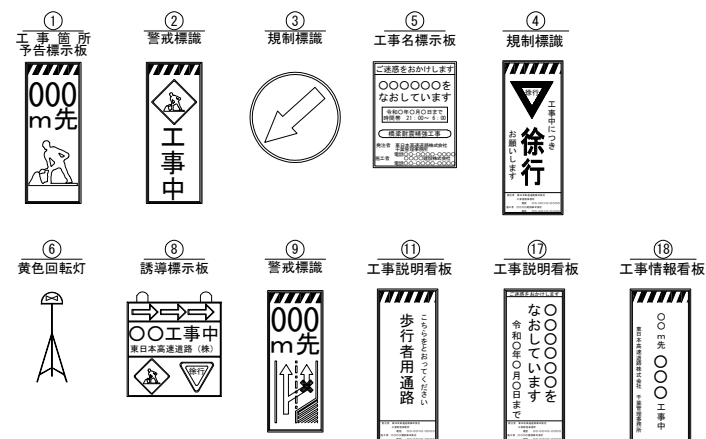
- 注記)
- 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 - 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員 A（1 級又は 2 級検定合格警備員）1 名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1～4 4 橋脚 交通規制図（その3）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	123 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

P 4 2 橋脚 吊り足場設置撤去時(右折レーン部)



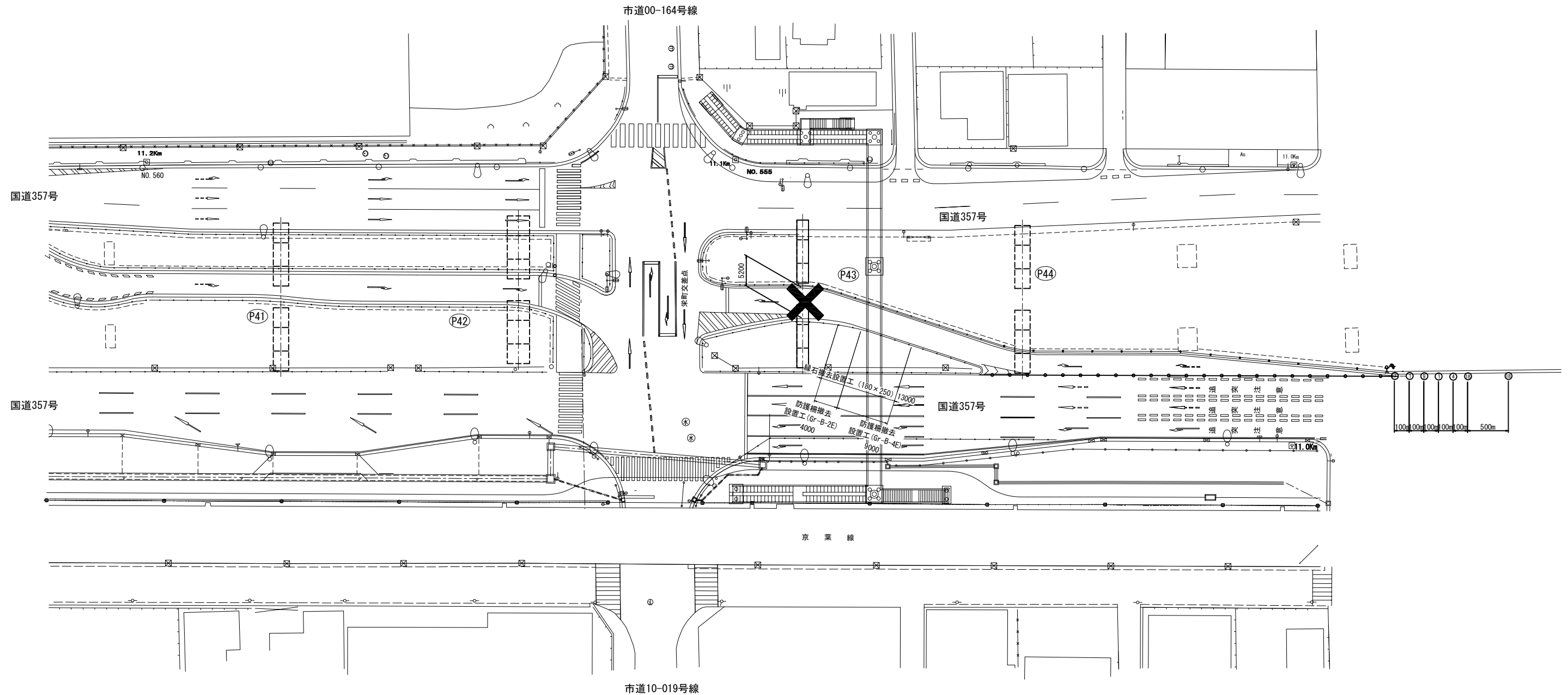
保安設備



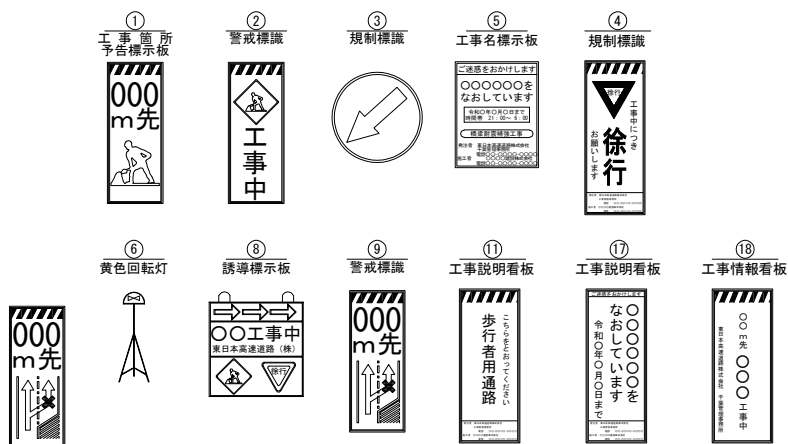
- 注記)
1. 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 2. 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員 A（1 級又は 2 級検定合格警備員）1 名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1～4 4 橋脚 交通規制図（その4）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	124 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

P 4 3 橋脚 防護柵撤去設置（右折レーン部）



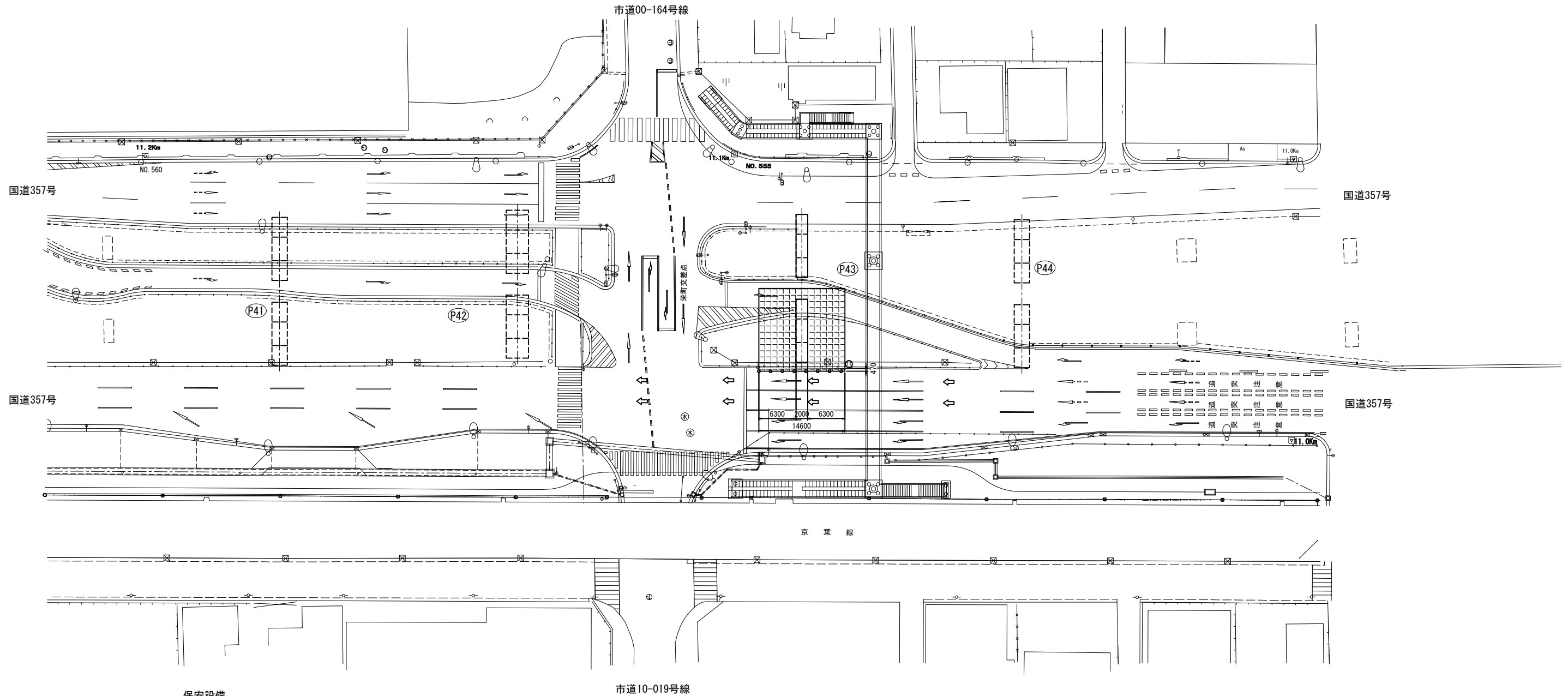
保安設備



- 注記)
- 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 - 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員A（1級又は2級検定合格警備員）1名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1～4 4 橋脚 交通規制図（その5）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	125 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名	東日本高速道路株式会社			
事務所名	関東支社 千葉管理事務所			

P 4 3 橋脚 吊り足場設置撤去時（国道本線部）



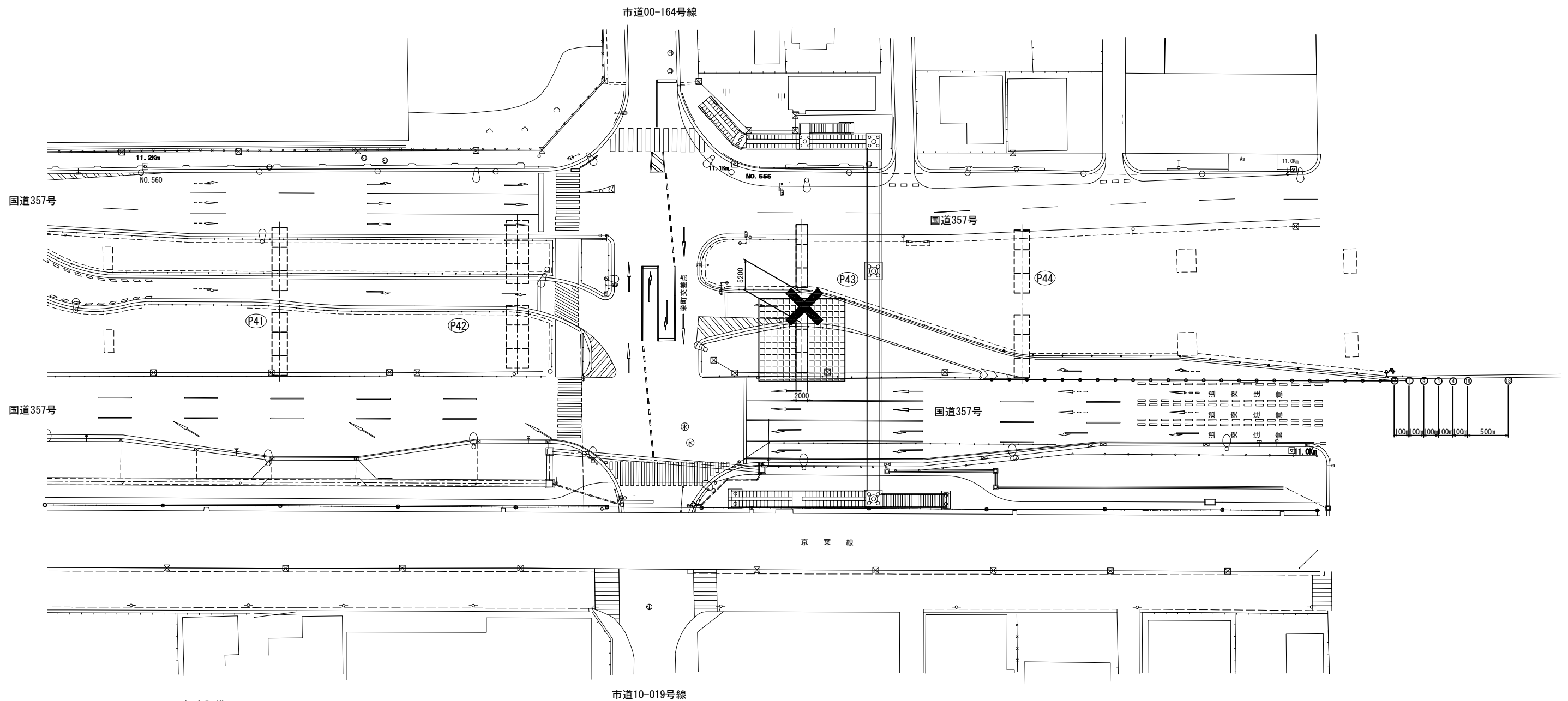
保安設備



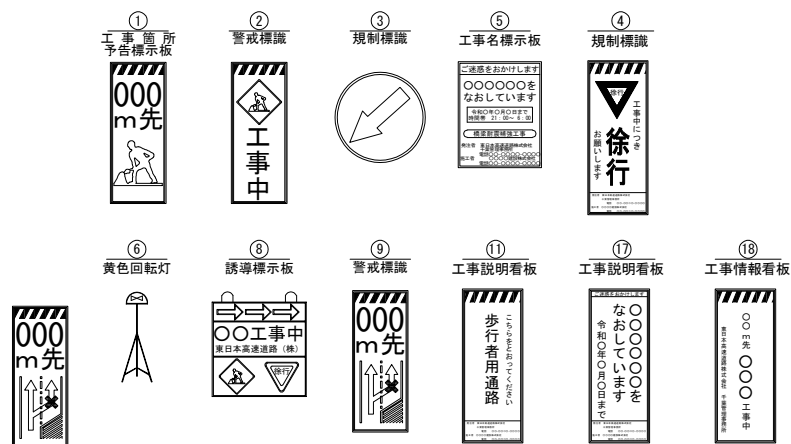
- 注記)
- 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 - 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員A（1級又は2級検定合格警備員）1名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1～4 4 橋脚 交通規制図（その6）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	126 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

P 4 3 橋脚 防護柵撤去設置・吊り足場設置撤去時（右折レーン部）



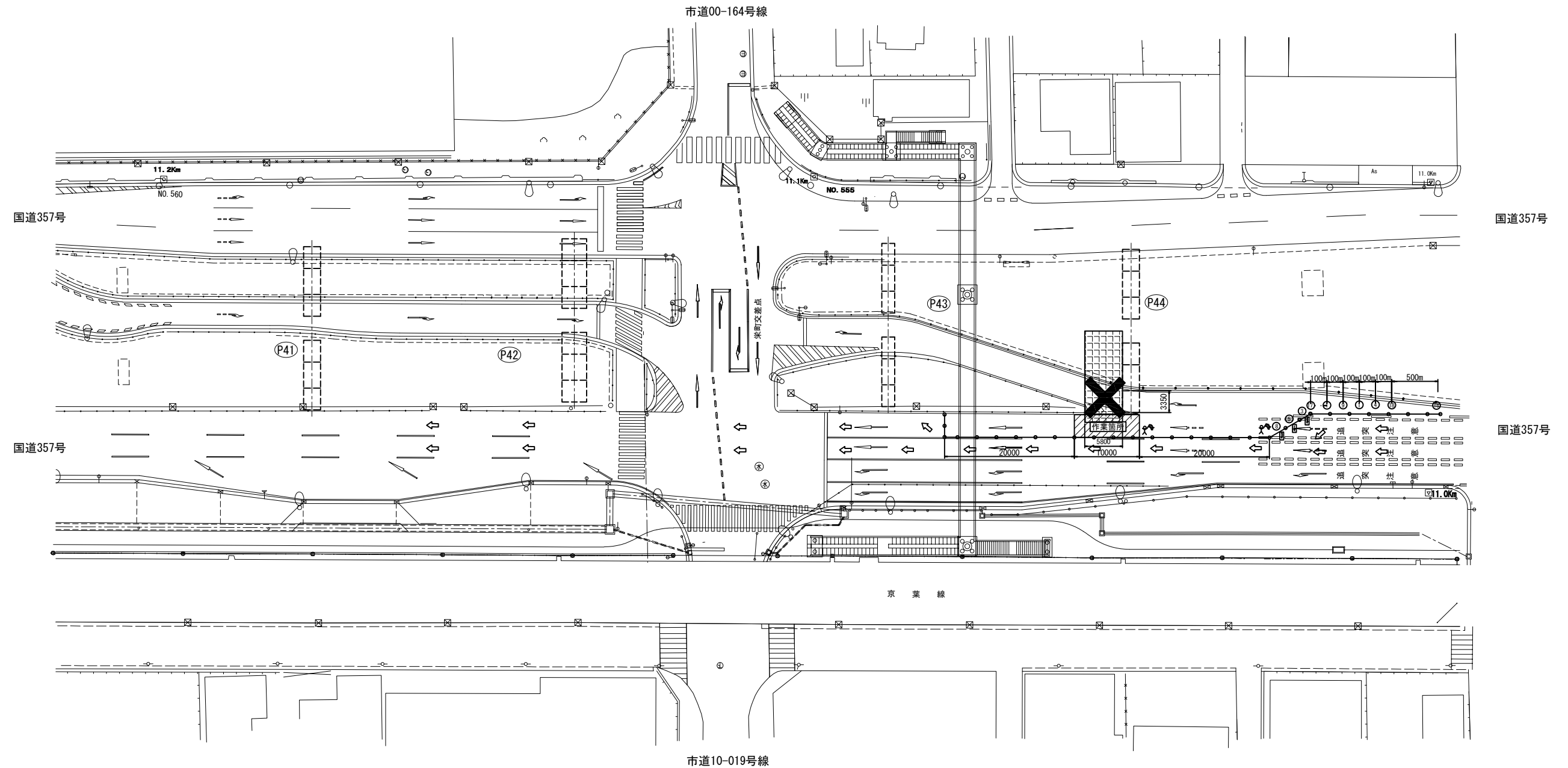
保安設備



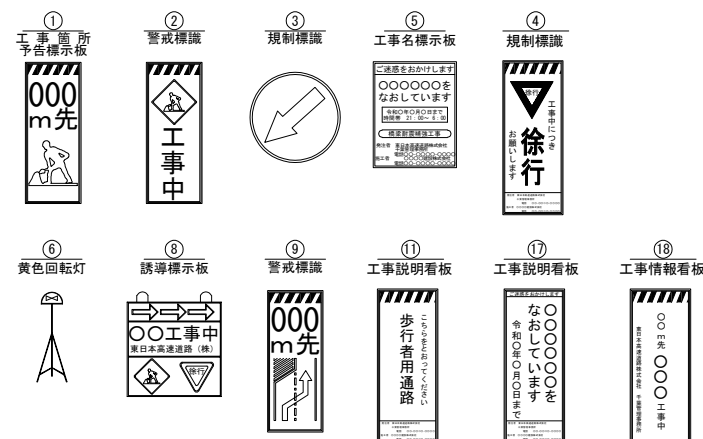
- 注記)
- 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 - 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員 A（1 級又は 2 級検定合格警備員）1 名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線） P 4 1～4 4 橋脚 交通規制図（その7）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	127 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

P 4 4 橋脚 吊り足場設置撤去時（右折レーン部）



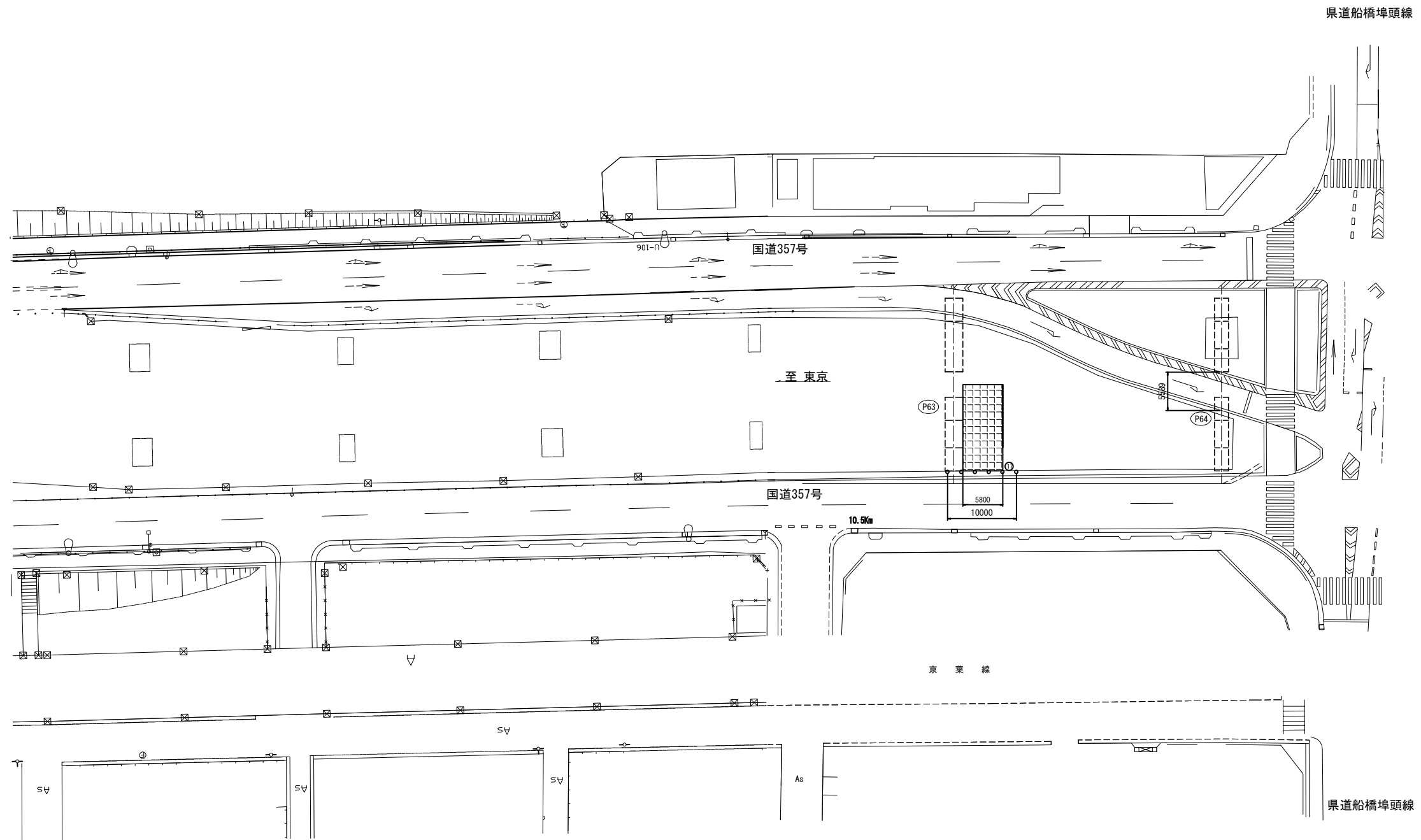
保安設備



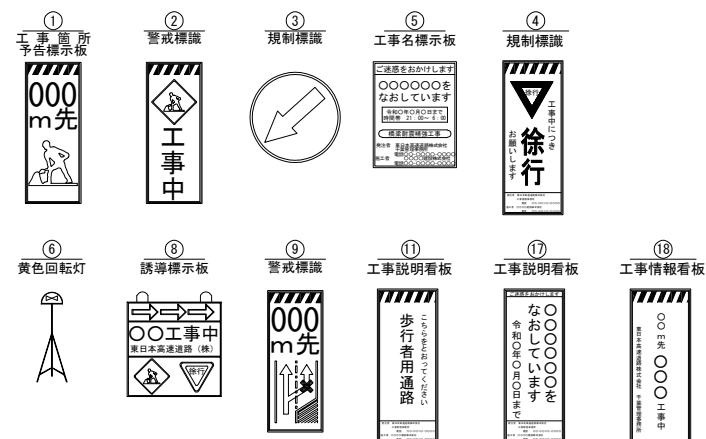
- 注記)
- 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 - 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員 A（1 級又は 2 級検定合格警備員）1 名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1～4 4 橋脚 交通規制図（その 8）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	128 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

P 6 3 橋脚 吊り足場設置撤去時



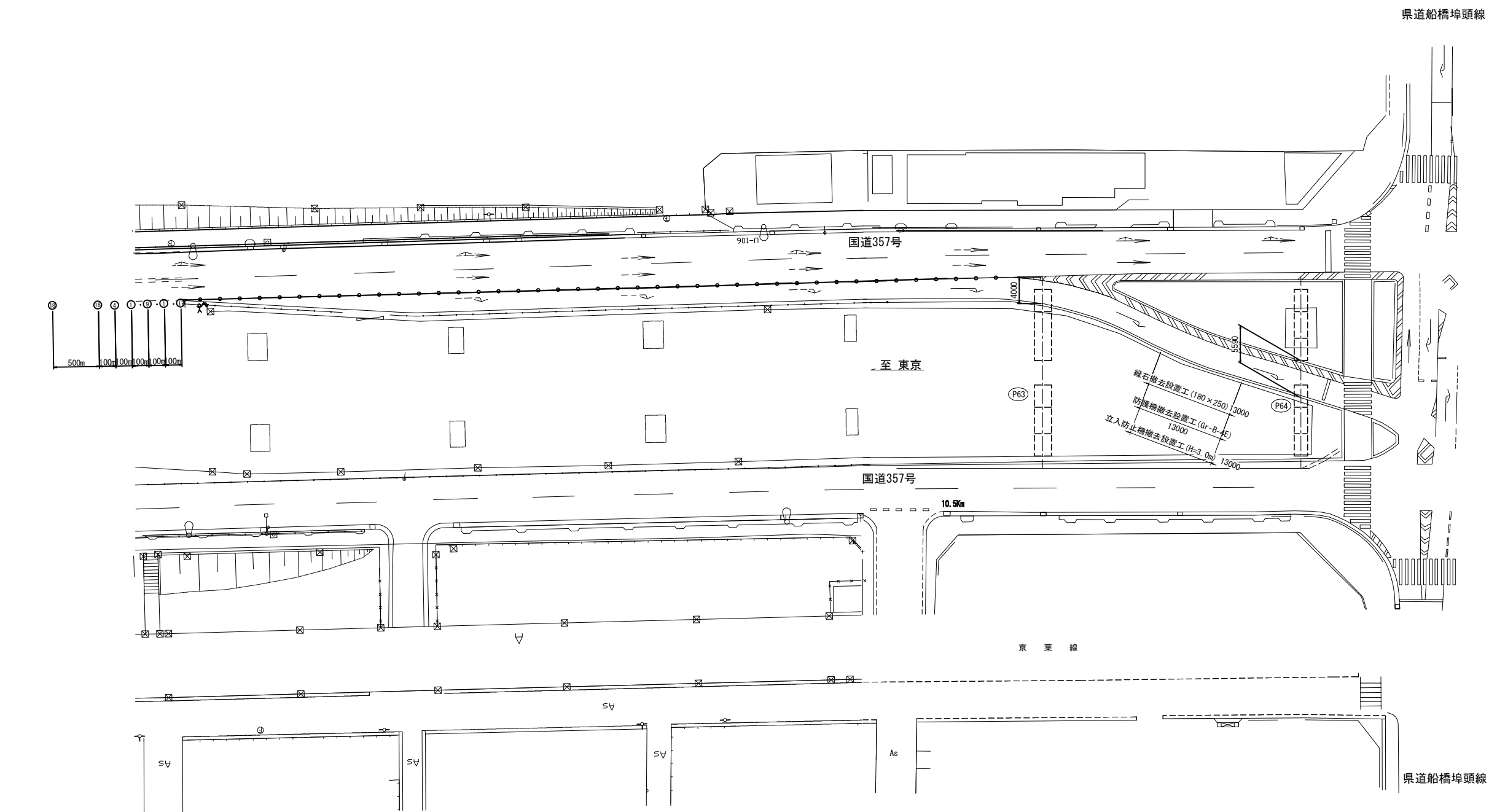
保安設備



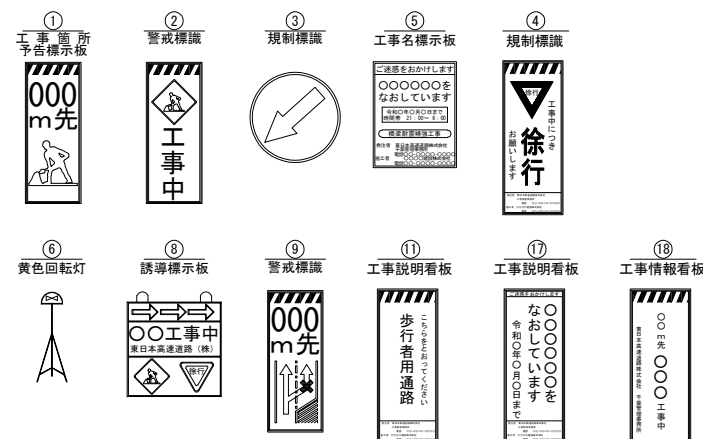
注記)
1. 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
2. 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員 A（1 級又は 2 級検定合格警備員）1 名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 3～6 6 橋脚 交通規制図（その 1）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	129 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

P 6 4 橋脚 防護柵撤去設置



保安設備

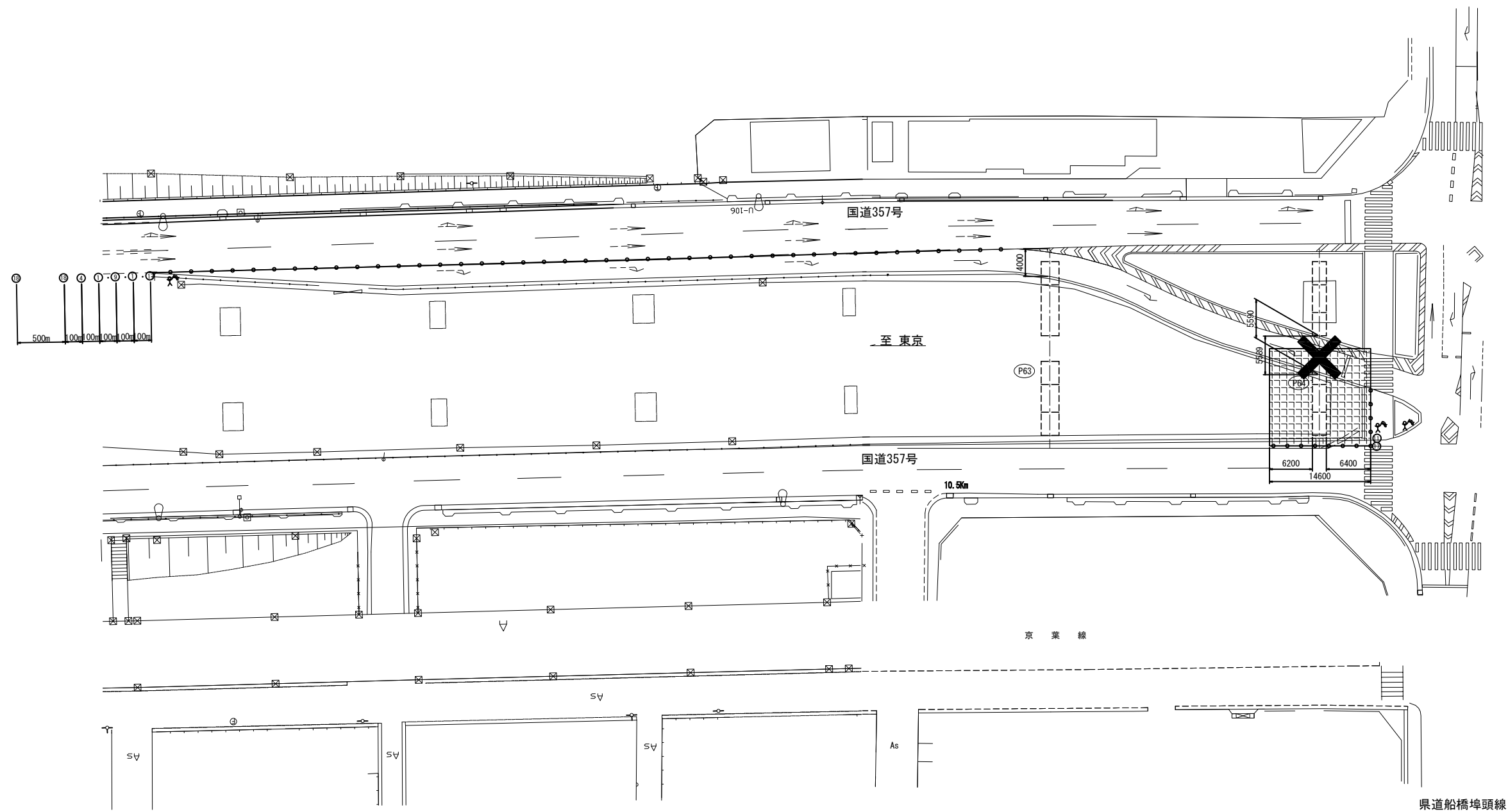


- 注記)
1. 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 2. 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員A（1級又は2級検定合格警備員）1名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 3～6 6 橋脚 交通規制図（その２）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	130 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名	東日本高速道路株式会社			
事務所名	関東支社 千葉管理事務所			

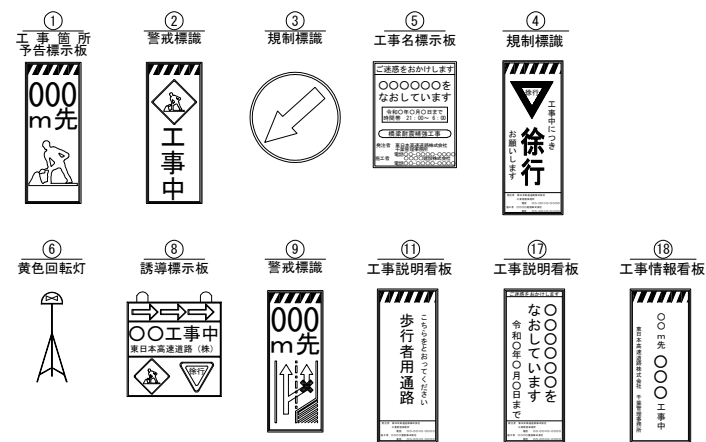
P 6 4 橋脚 吊り足場設置撤去時

県道船橋埠頭線



県道船橋埠頭線

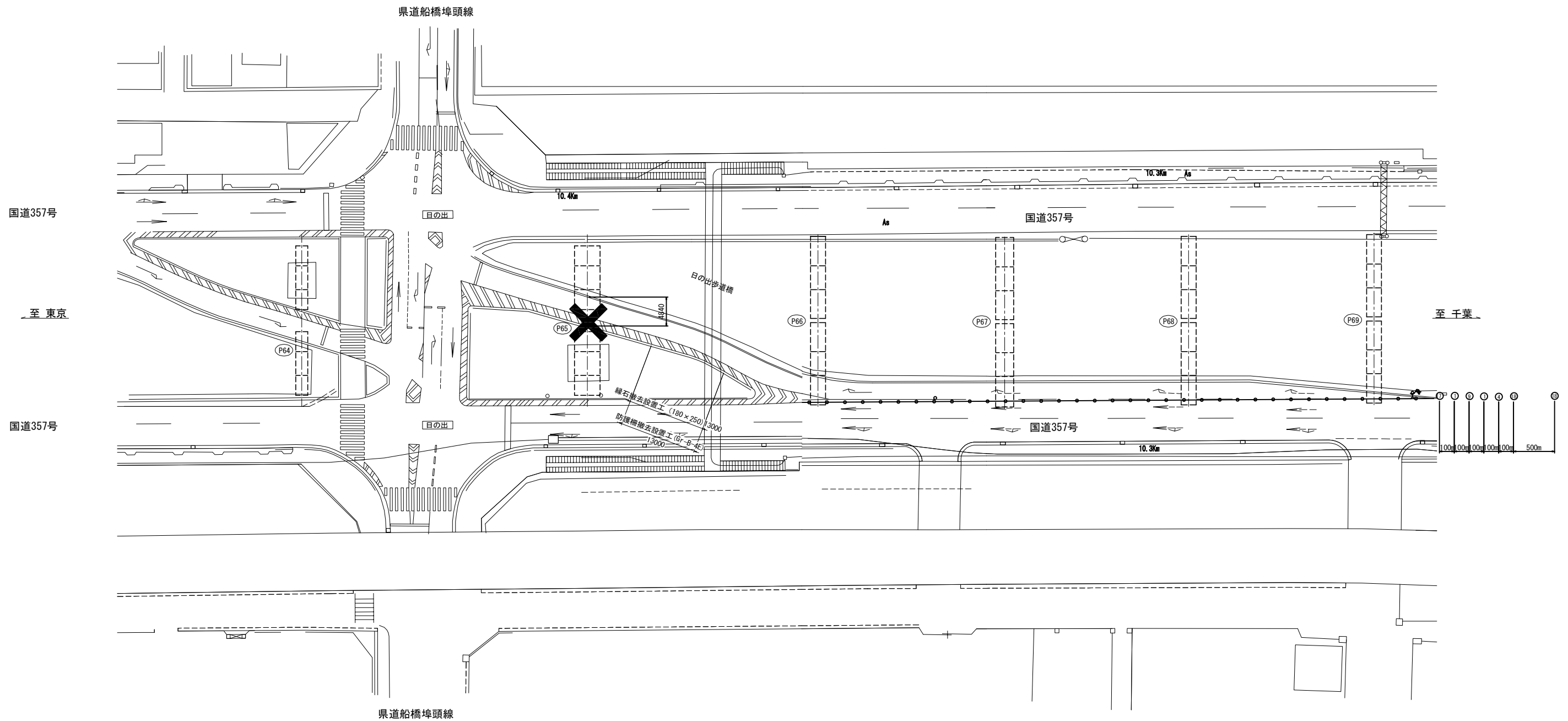
保安設備



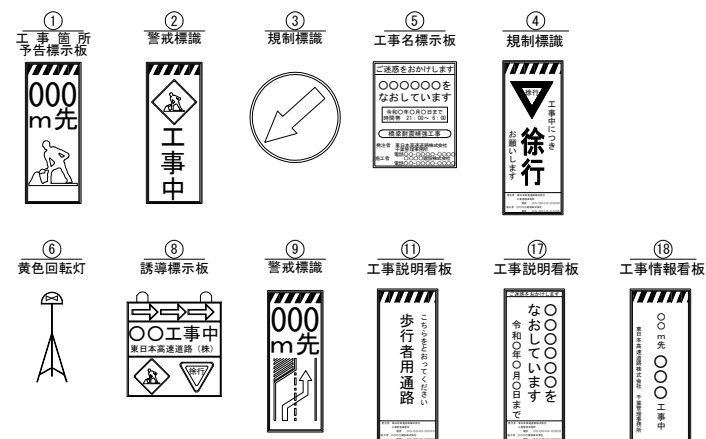
- 注記)
- 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 - 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員A（1級又は2級検定合格警備員）1名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 3 ～ 6 6 橋脚 交通規制図（その 3）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	131 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

P 6 5 橋脚 防護柵撤去設置時



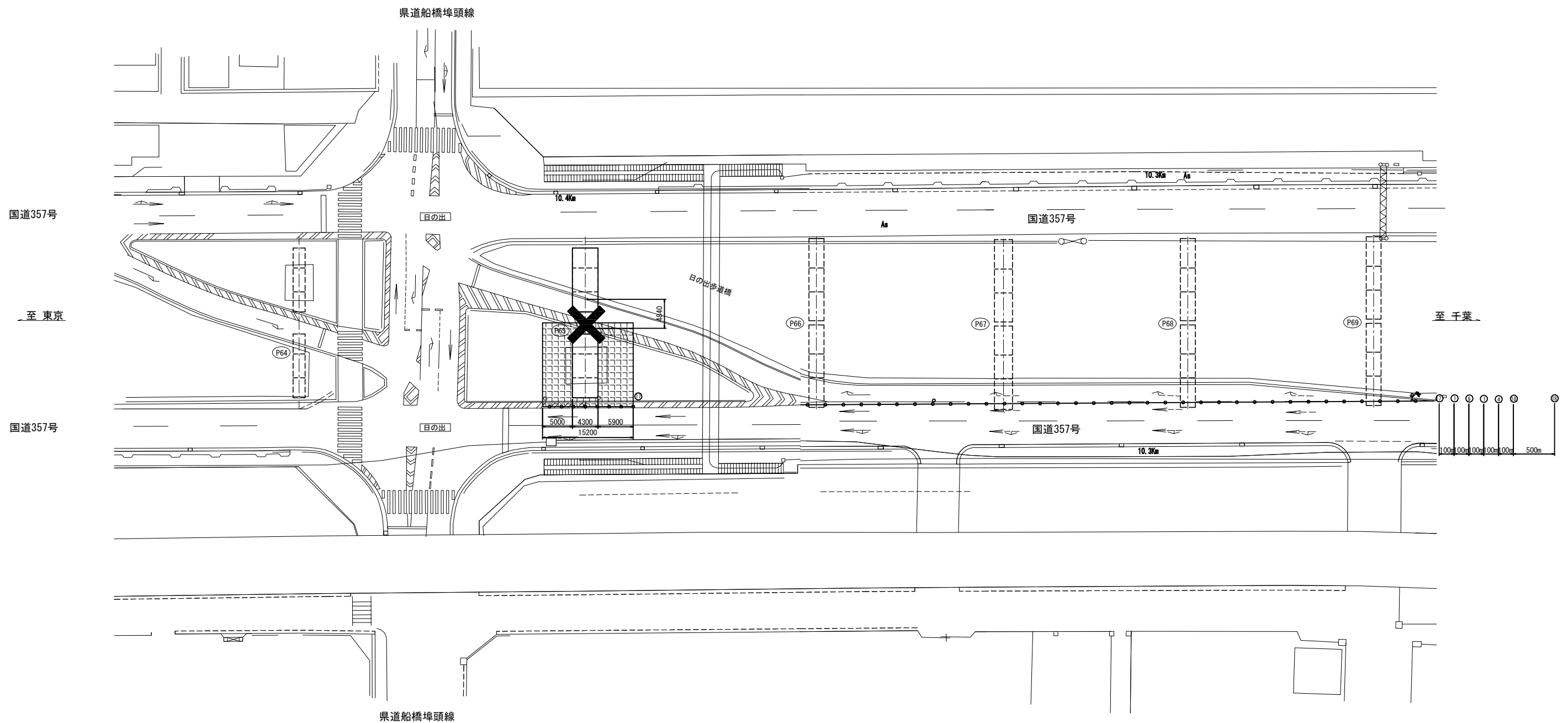
保安設備



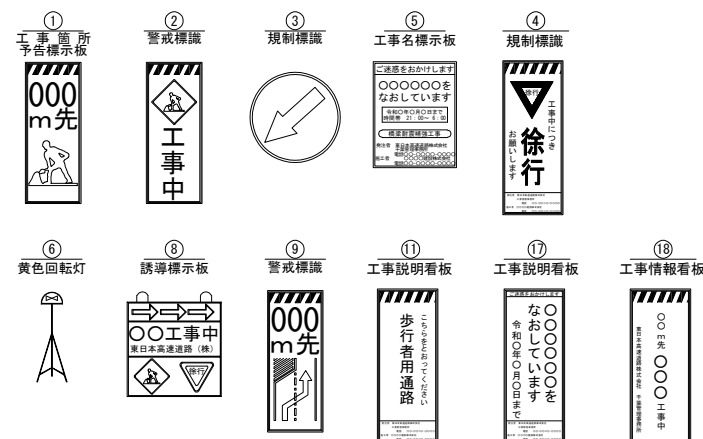
- 注記)
- 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 - 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員 A（1 級又は 2 級検定合格警備員）1 名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 3～6 6 橋脚 交通規制図（その4）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	132 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

P 6 5 橋脚 吊り足場設置撤去時



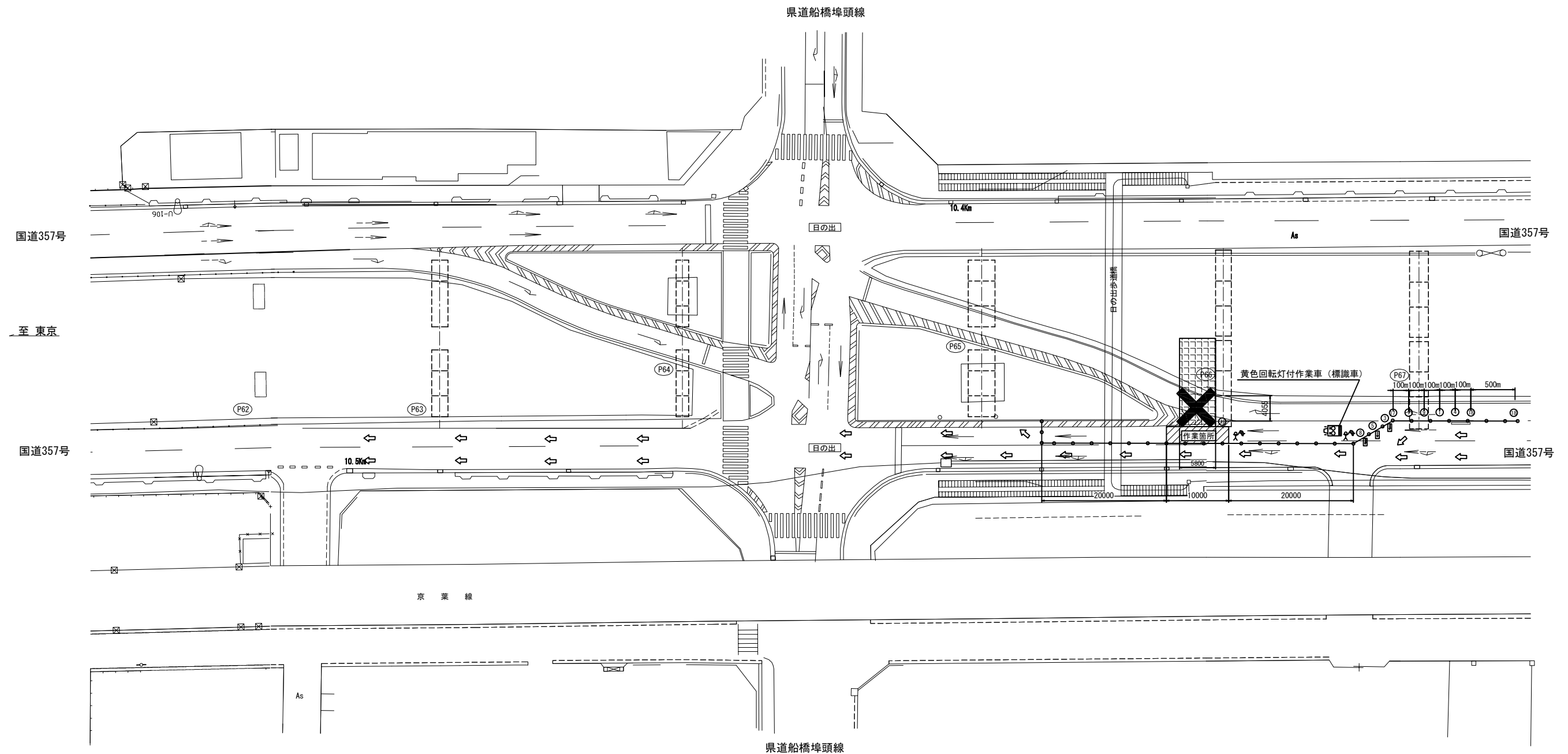
保安設備



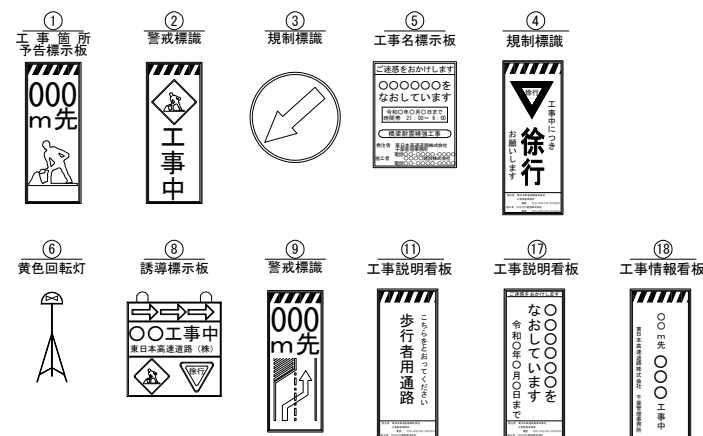
注記)
1. 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
2. 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員 A（1 級又は 2 級検定合格警備員）1 名以上必要。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 3～6 6 橋脚 交通規制図（その5）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	133 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

P 6 6 橋脚 吊り足場設置撤去時



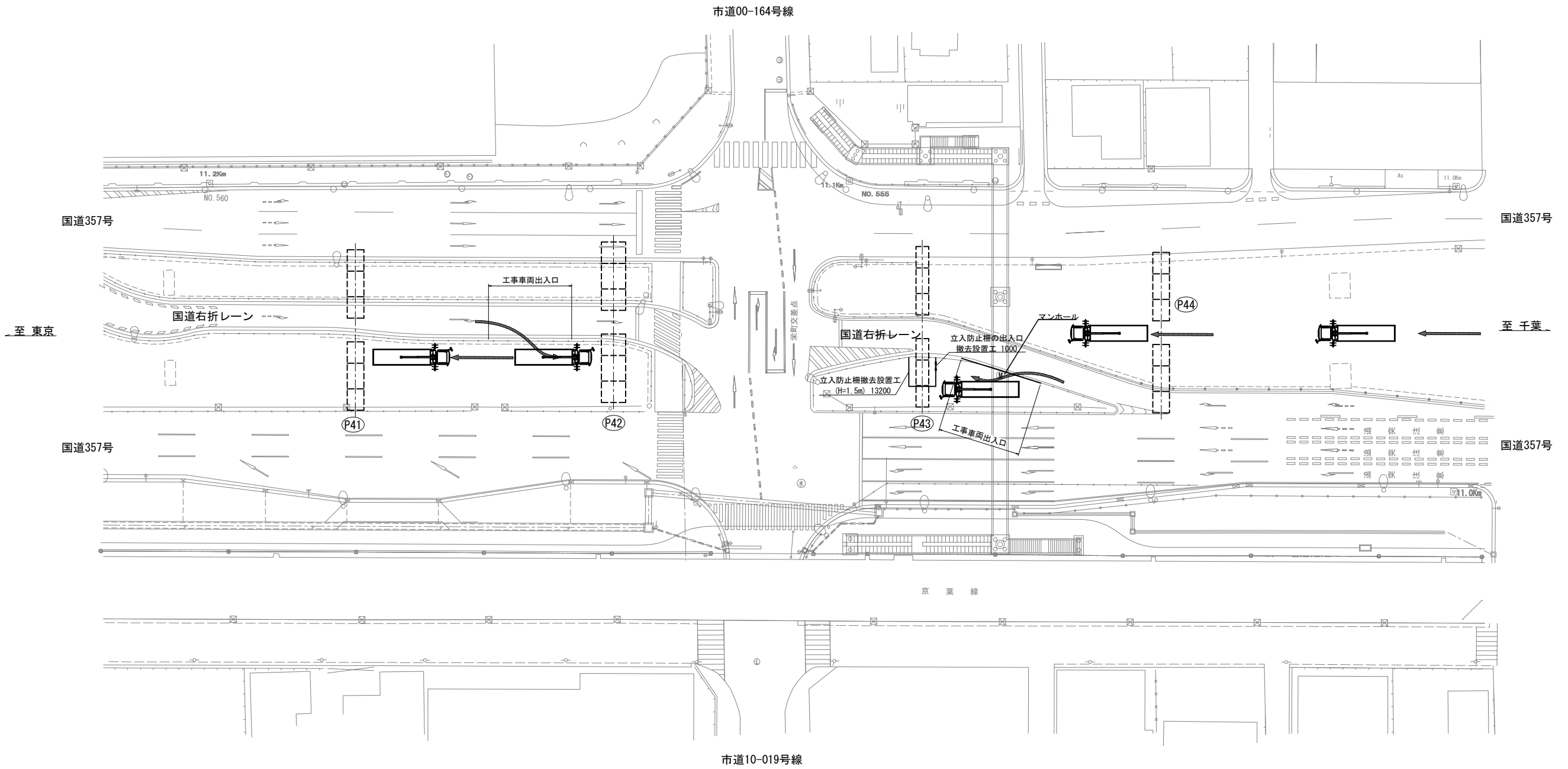
保安設備



- 注記)
1. 保安施設の設置については、国土交通省「道路工事保安施設設置基準」を基に配置している。
 2. 国道の交通誘導にあたって、交通誘導員のうち、交通誘導警備員 A（1 級又は 2 級検定合格警備員）1 名以上必要。

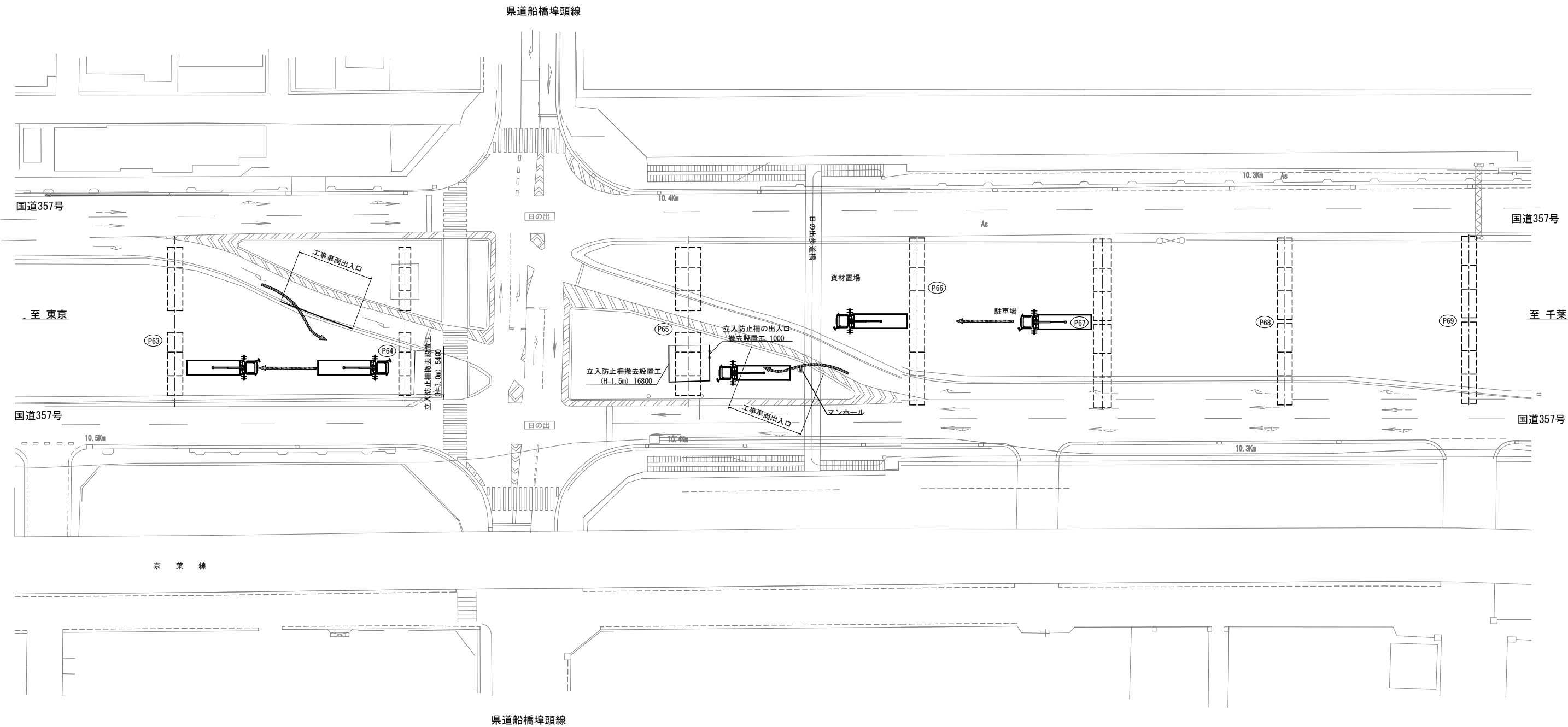
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 3～6 6 橋脚 交通規制図（その6）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	134 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

平面図



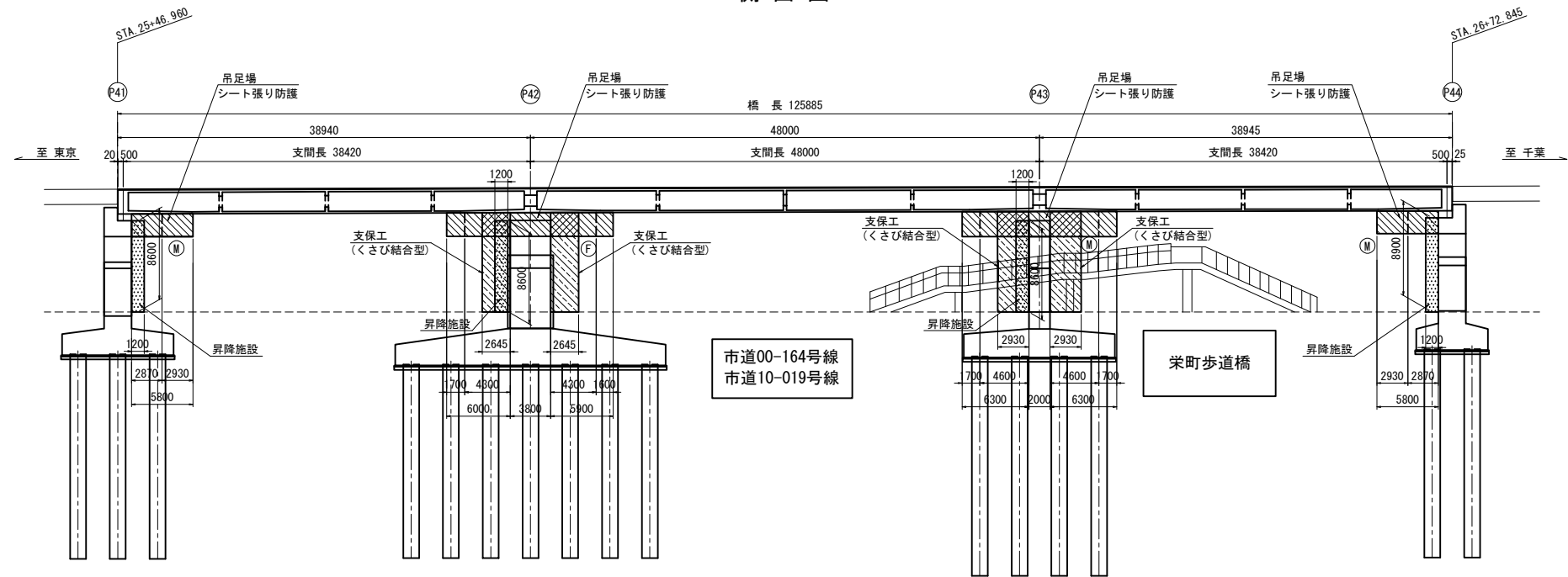
東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1～4 4 橋脚 施工概要図（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	135 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

平面図

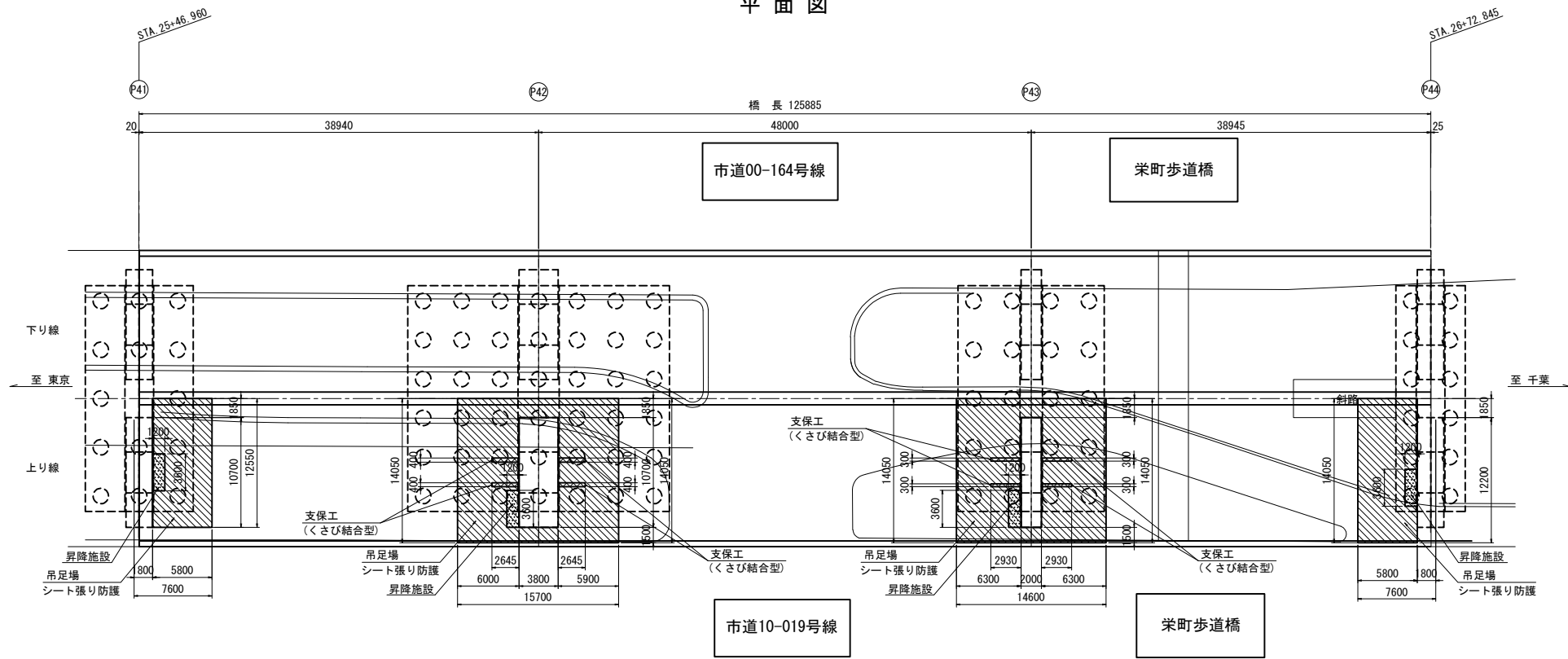


東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 63～66 橋脚 施工概要図（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	136 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

側面図



平面図

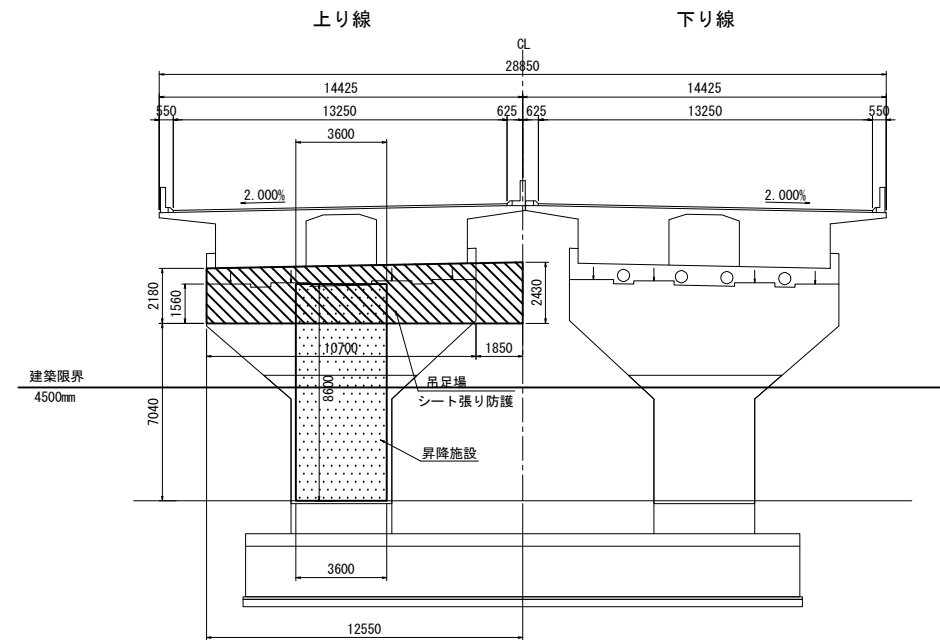


- 【凡例】
- 吊足場(防護工)
 - 昇降施設
 - 支保工
 - 支保工重複部

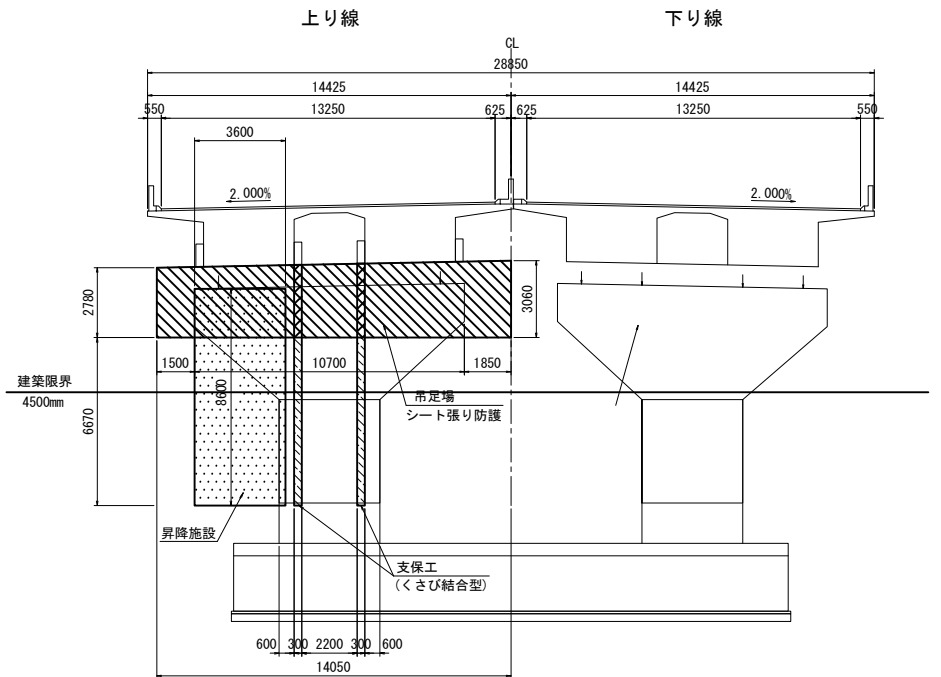
- 【注記】
- 図中寸法は既往資料(マイクロ図)、簡易計測を基に作成した復元寸法である。
 - 施工にあたっては、現地計測のうえ再確認を行い、施工に応じた足場形状とすること。
 - 寸法が異なる場合は、監督員と協議のうえ必要に応じ寸法を変更すること。
 - R/C拡幅に伴う足場支保(くさび結合型)の詳細寸法等はR/C拡幅支保工図(参考図)を参照すること。

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1 ～ 4 4 橋脚 仮設足場工図（その１）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	137 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

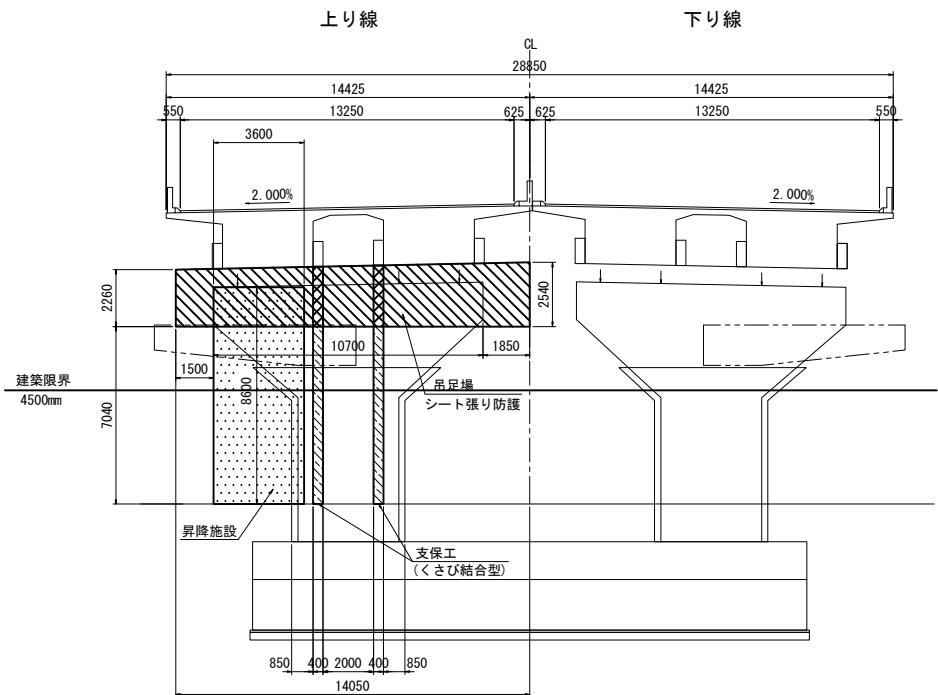
P41橋脚 断面図



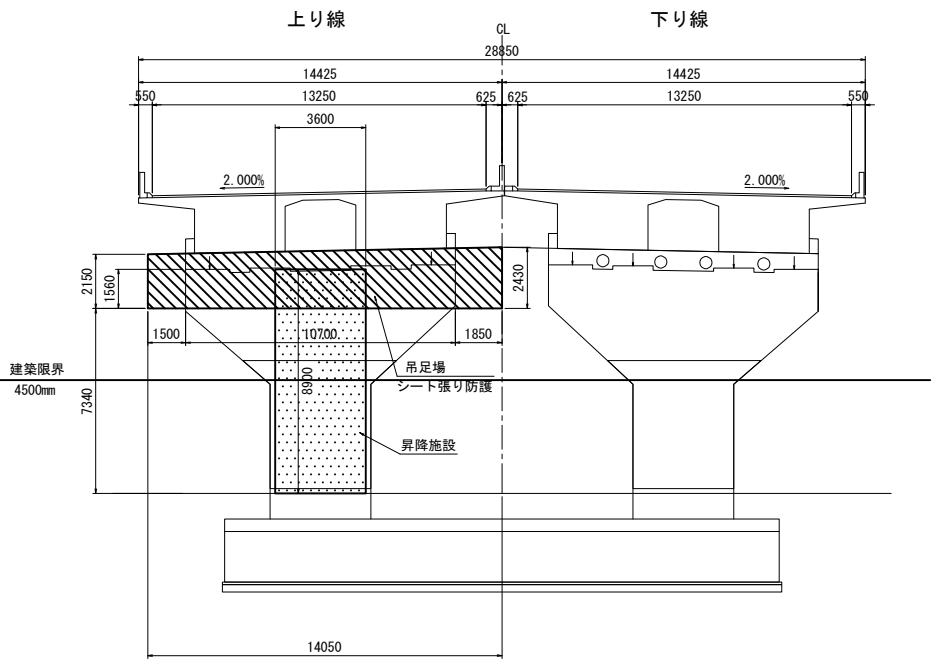
P43橋脚 断面図



P42橋脚 断面図



P44橋脚 断面図

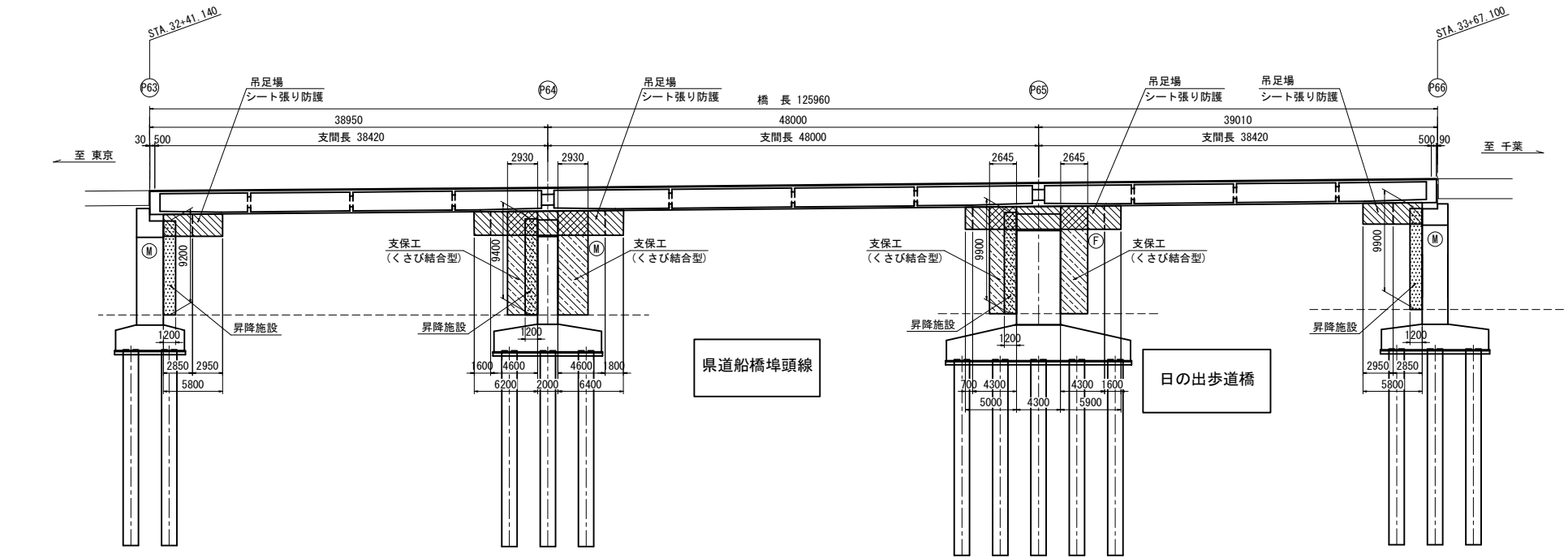


- 【凡例】
- 吊足場(防護工)
 - 昇降施設
 - 支保工
 - 支保工重複部

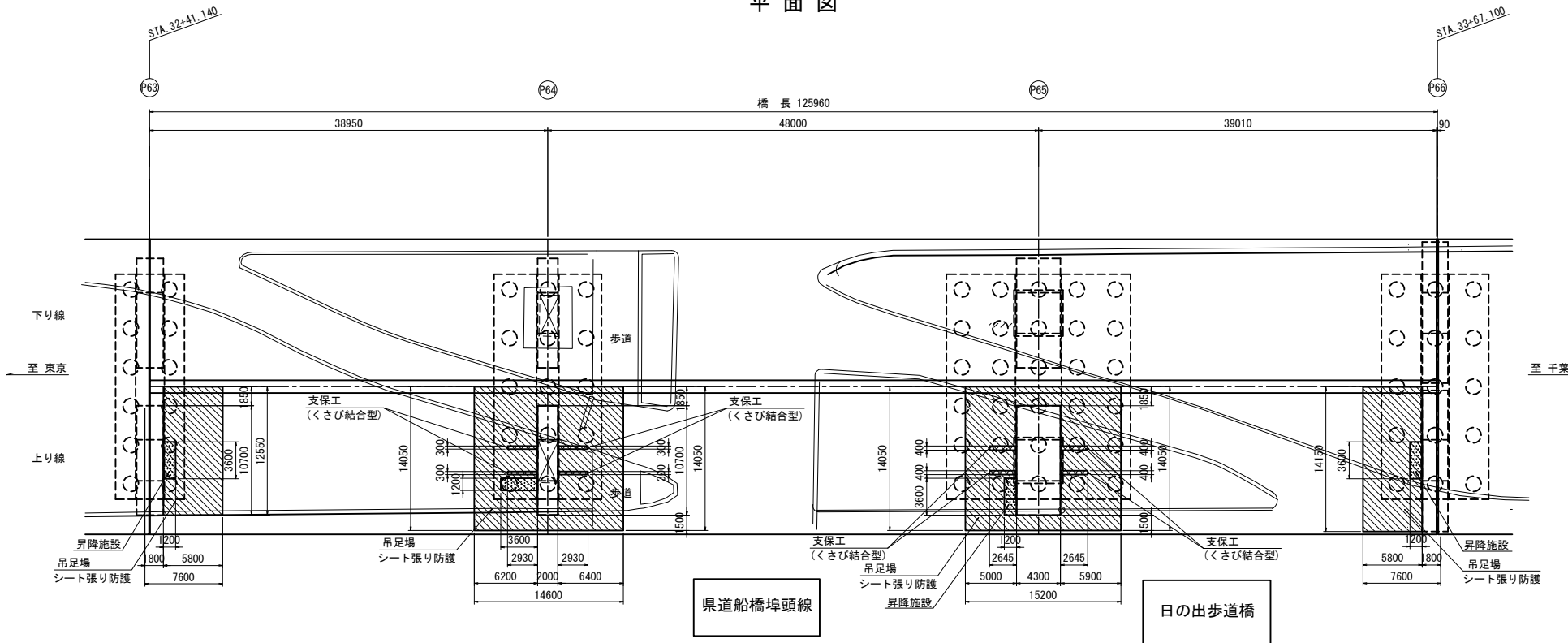
- 注記
- 図中寸法は既往資料(マイクロ図)、簡易計測を基に作成した復元寸法である。
 - 施工にあたっては、現地計測のうえ再確認を行い、施工に応じた足場形状とすること。
 - 寸法が異なる場合は、監督員と協議のうえ必要に応じ寸法を変更すること。
 - R C 拡幅に伴う足場支保(くさび結合型)の詳細寸法等は R C 拡幅支保工図(参考図)を参照すること。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 1 ～ 4 4 橋脚 仮設足場工図（その 2）（参考図）			
	縮 尺	図 示	図面番号	138 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

側 面 図



平 面 図

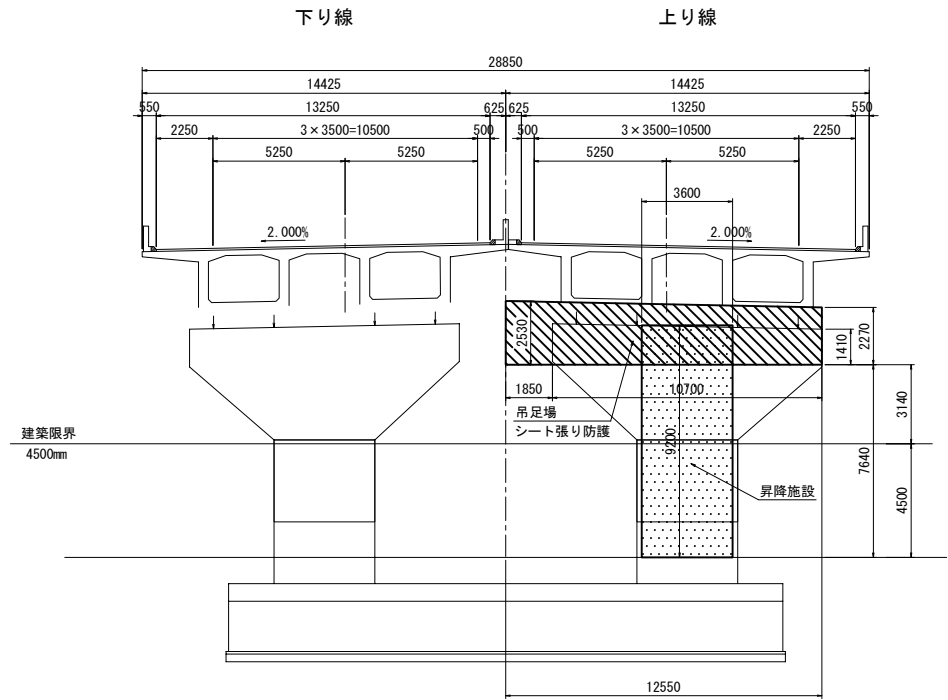


- 【凡例】
- 吊足場(防護工)
 - 昇降施設
 - 支保工
 - 支保工重複部

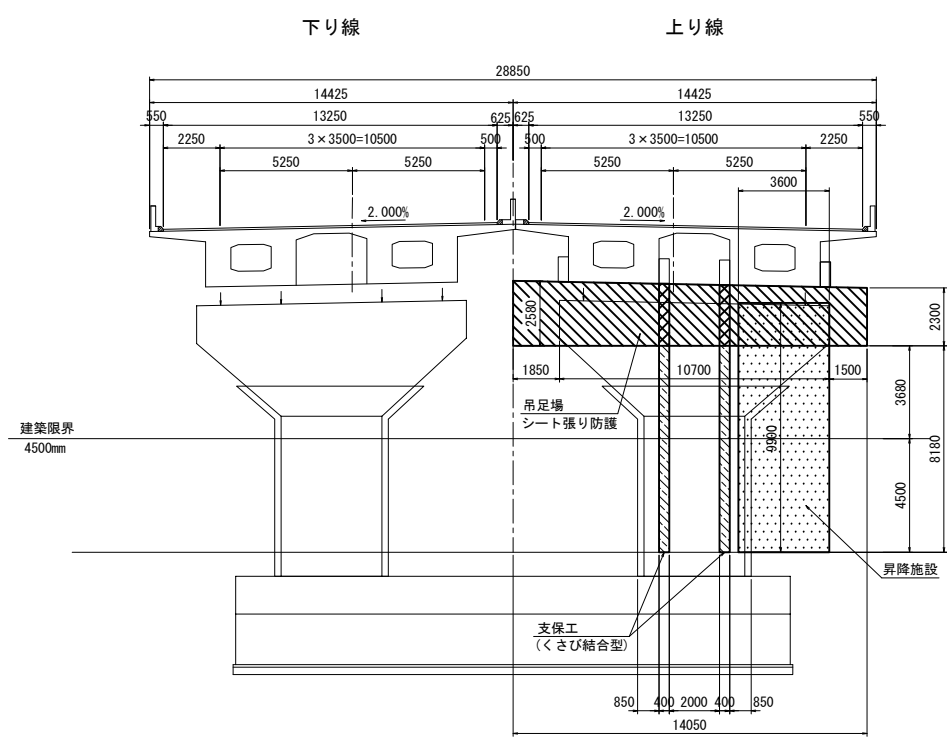
- 注記
1. 図中寸法は既往資料(マイクロ図)、簡易計測を基に作成した復元寸法である。
 2. 施工にあたっては、現地計測のうえ再確認を行い、施工に応じた足場形状とすること。
 3. 寸法が異なる場合は、監督員と協議のうえ必要に応じ寸法を変更すること。
 4. R C拡幅に伴う足場支保(くさび結合型)の詳細寸法等は R C拡幅支保工図(参考図)を参照すること。

東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 3～6 6 橋脚 仮設足場工図（その 1）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	139 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			

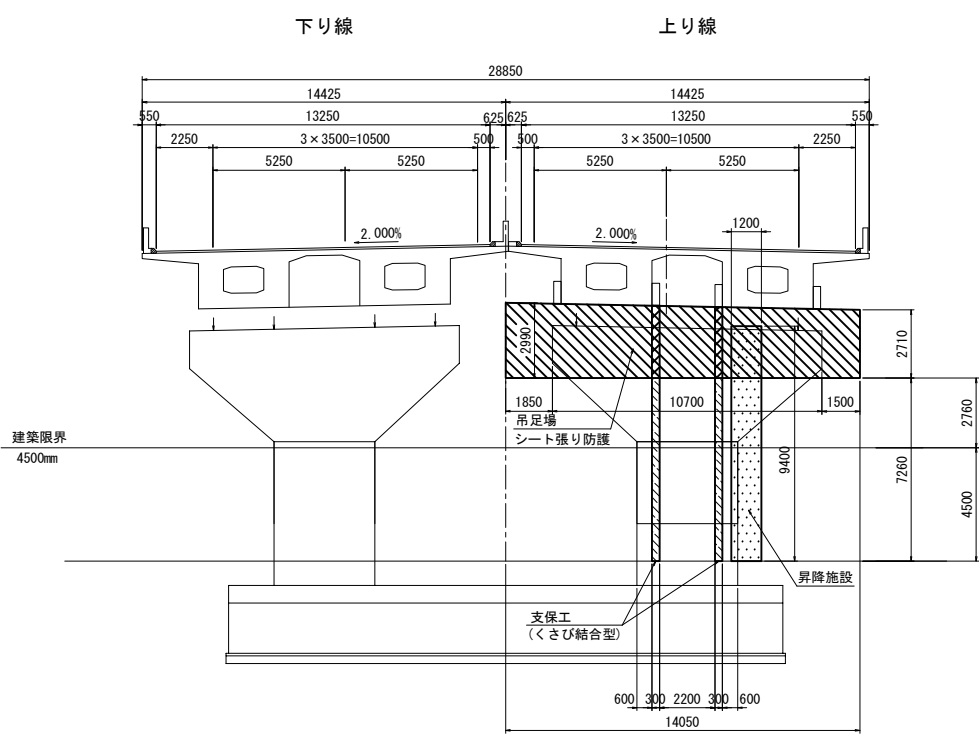
P63橋脚 断面図



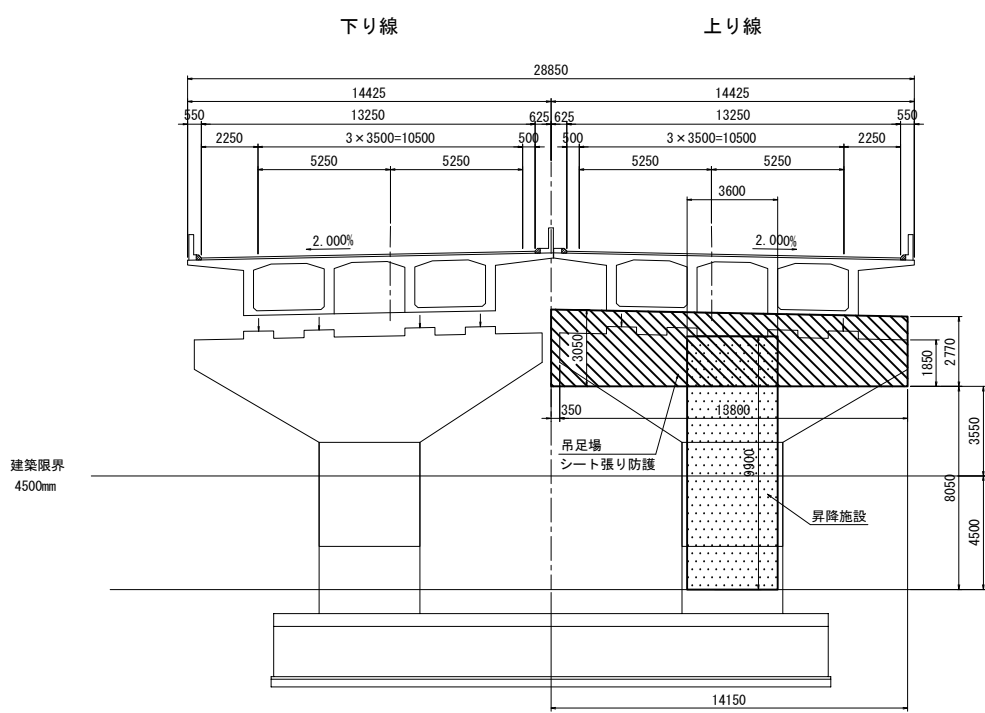
P65橋脚 断面図



P64橋脚 断面図



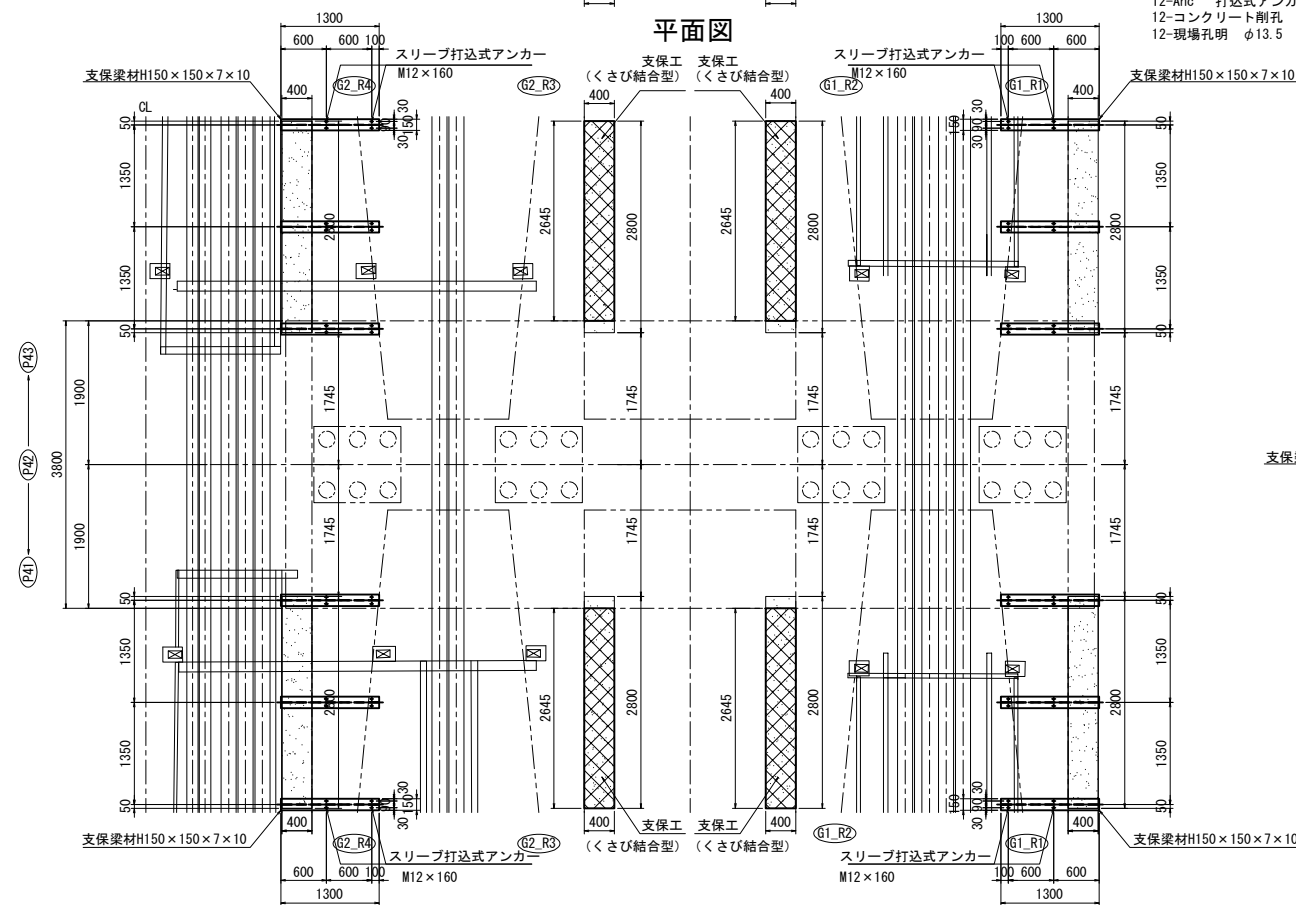
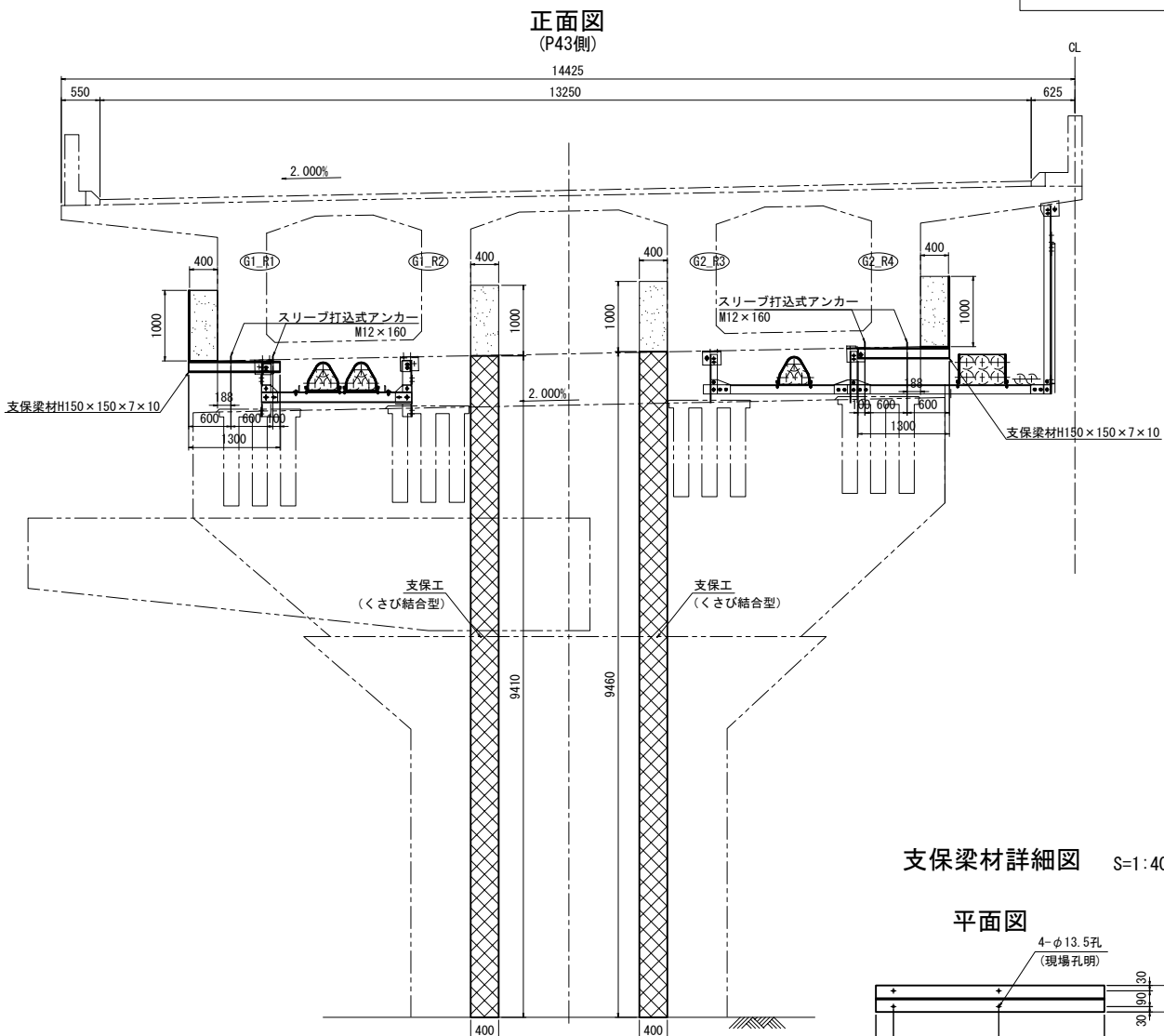
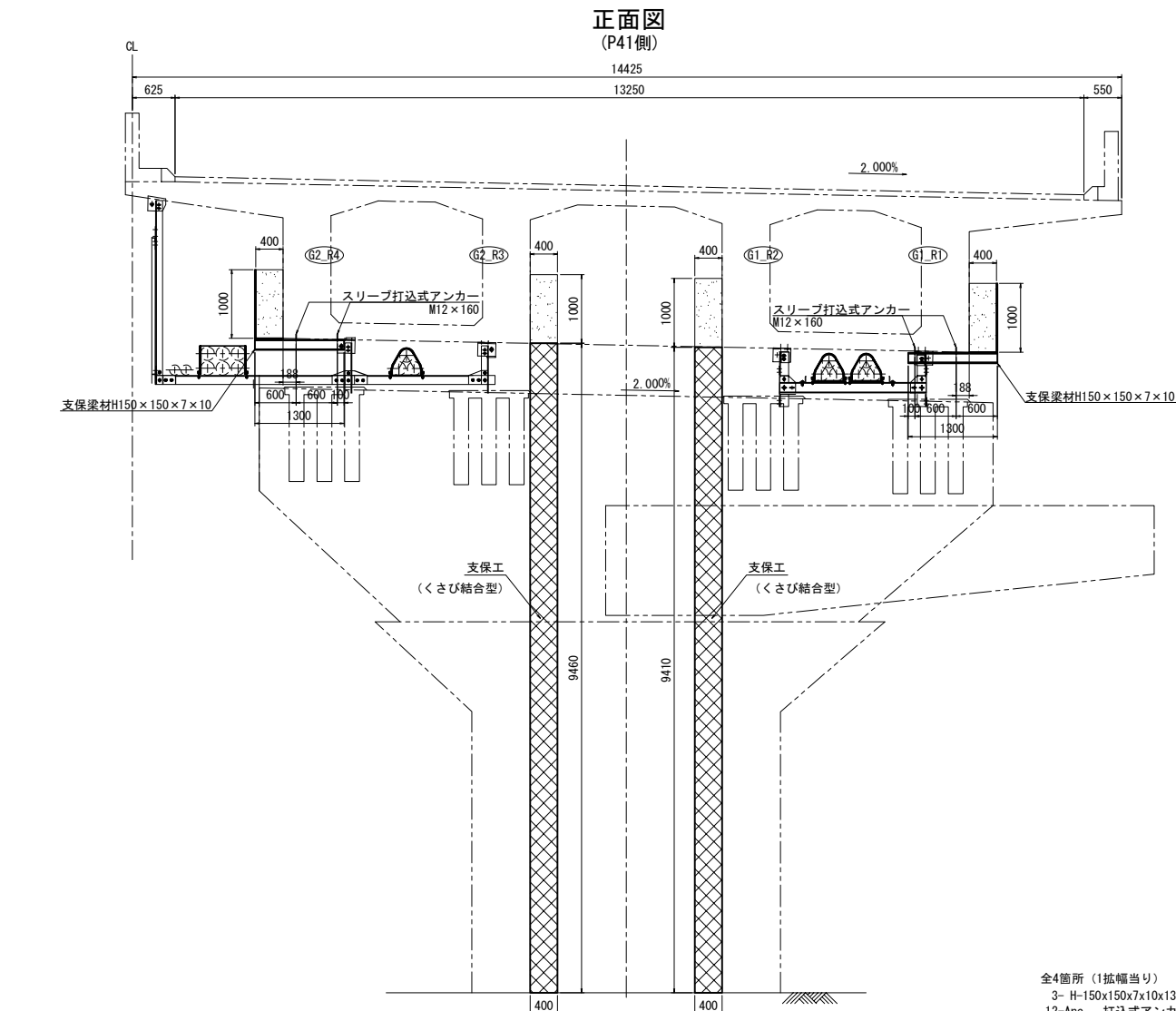
P66橋脚 断面図



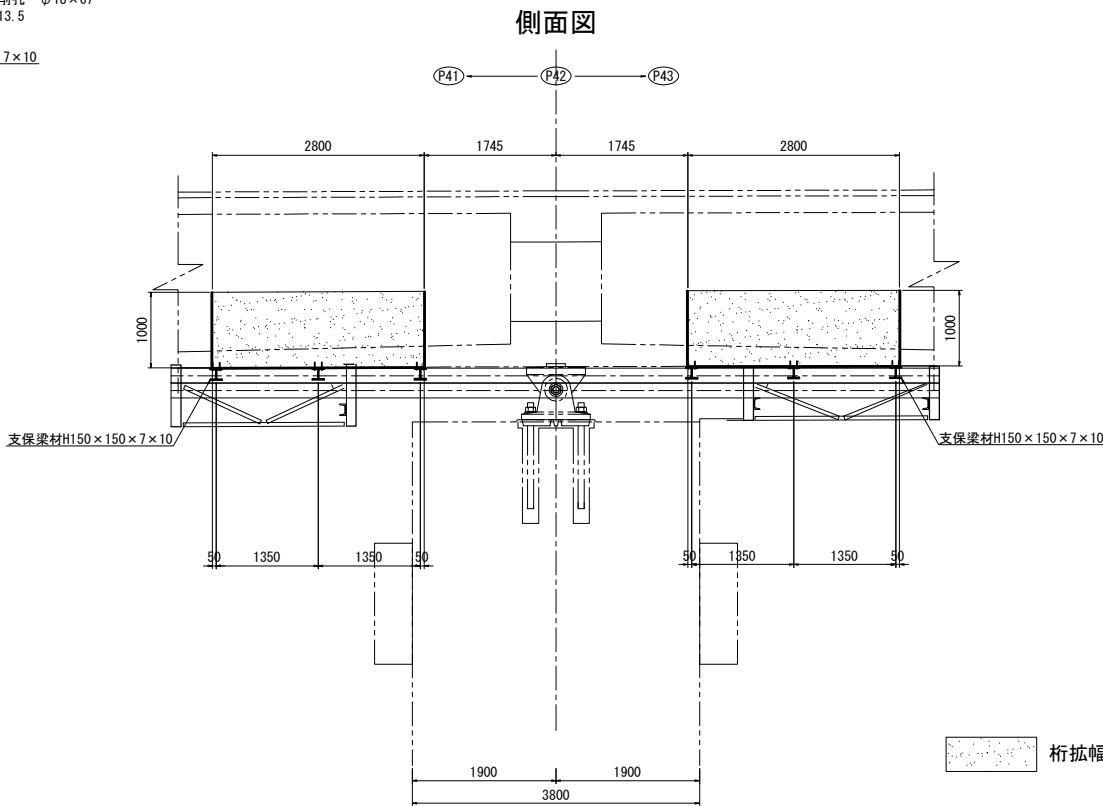
- 【凡例】
- 吊足場(防護工)
 - 昇降施設
 - 支保工
 - 支保工重複部

- 【注記】
- 図中寸法は既往資料(マイクロ図)、簡易計測を基に作成した復元寸法である。
 - 施工にあたっては、現地計測のうえ再確認を行い、施工に応じた足場形状とすること。
 - 寸法が異なる場合は、監督員と協議のうえ必要に応じ寸法を変更すること。
 - R C拡幅に伴う足場支保(くさび結合型)の詳細寸法等は R C拡幅支保工図(参考図)を参照すること。

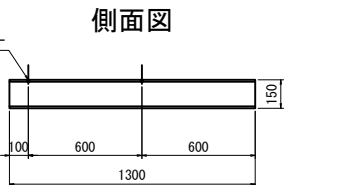
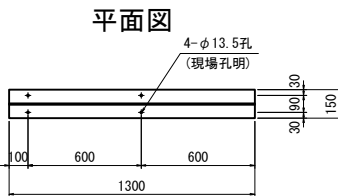
東関東自動車道				
下小野第二高架橋耐震補強工事				
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 63～66 橋脚 仮設足場工図（その2）（参考図）			
縮 尺	図 示	図面番号	140 / 144	
設計会社名	北武コンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所			



全4箇所 (1拡幅当り)
3-H-150x150x7x10x1300
12-Anc 打込式アンカー M12x160
12-コンクリート削孔 φ18x67
12-現場孔明 φ13.5



支保梁材詳細図 S=1:40

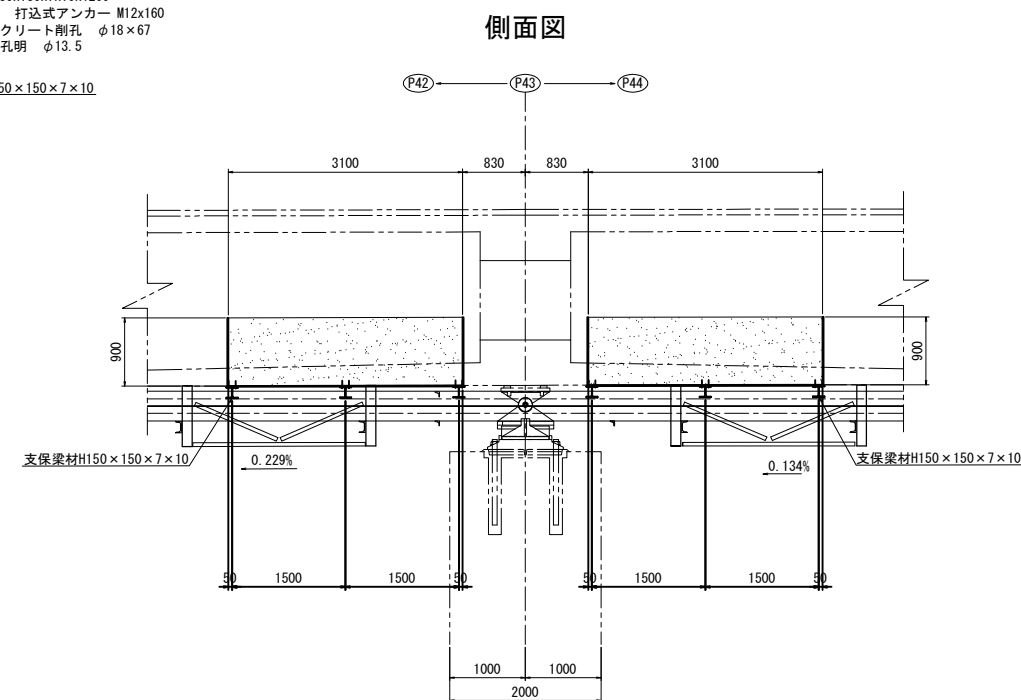
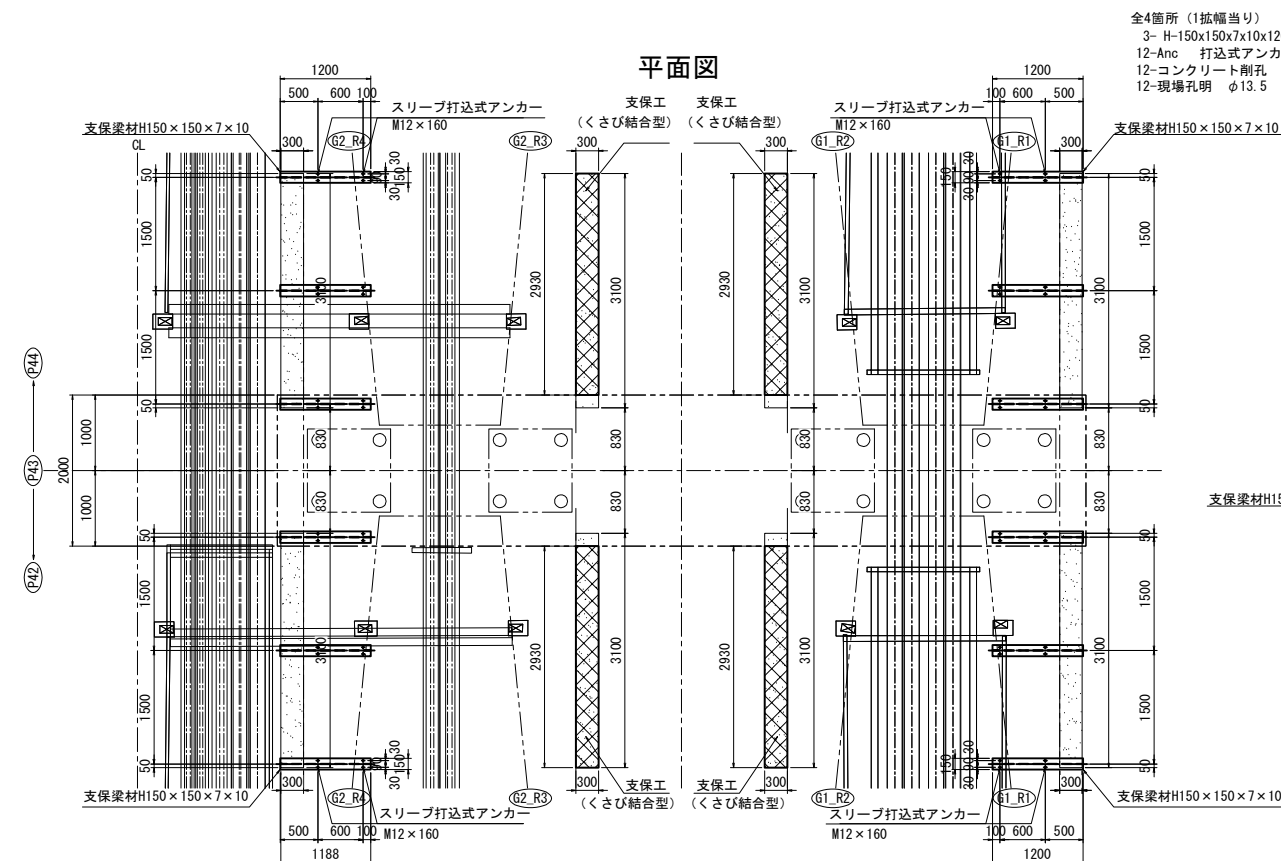
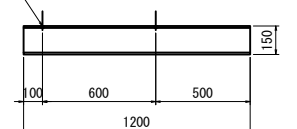
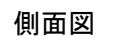
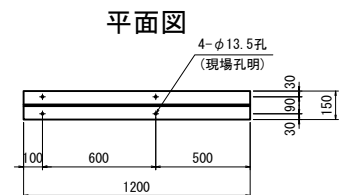
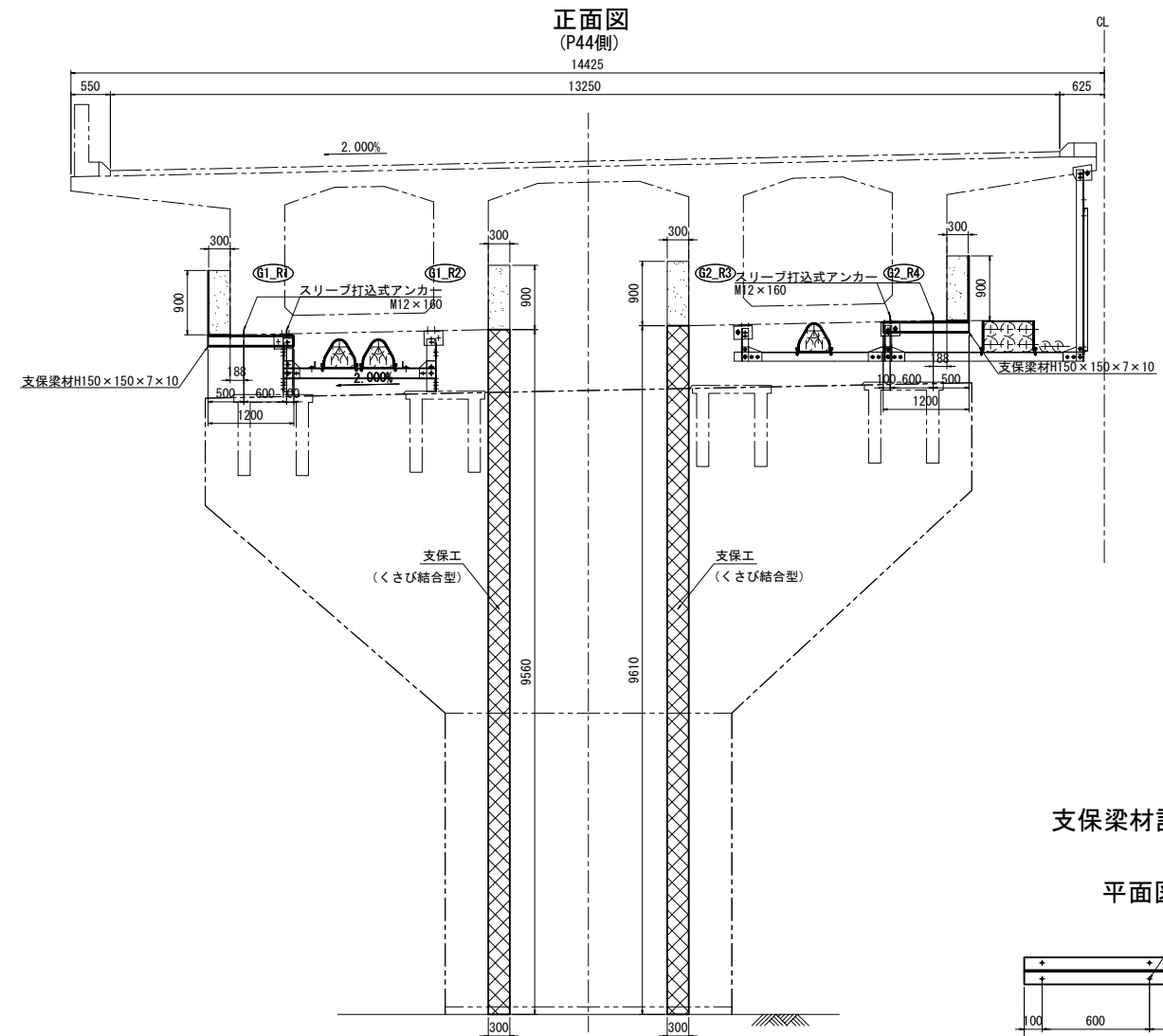
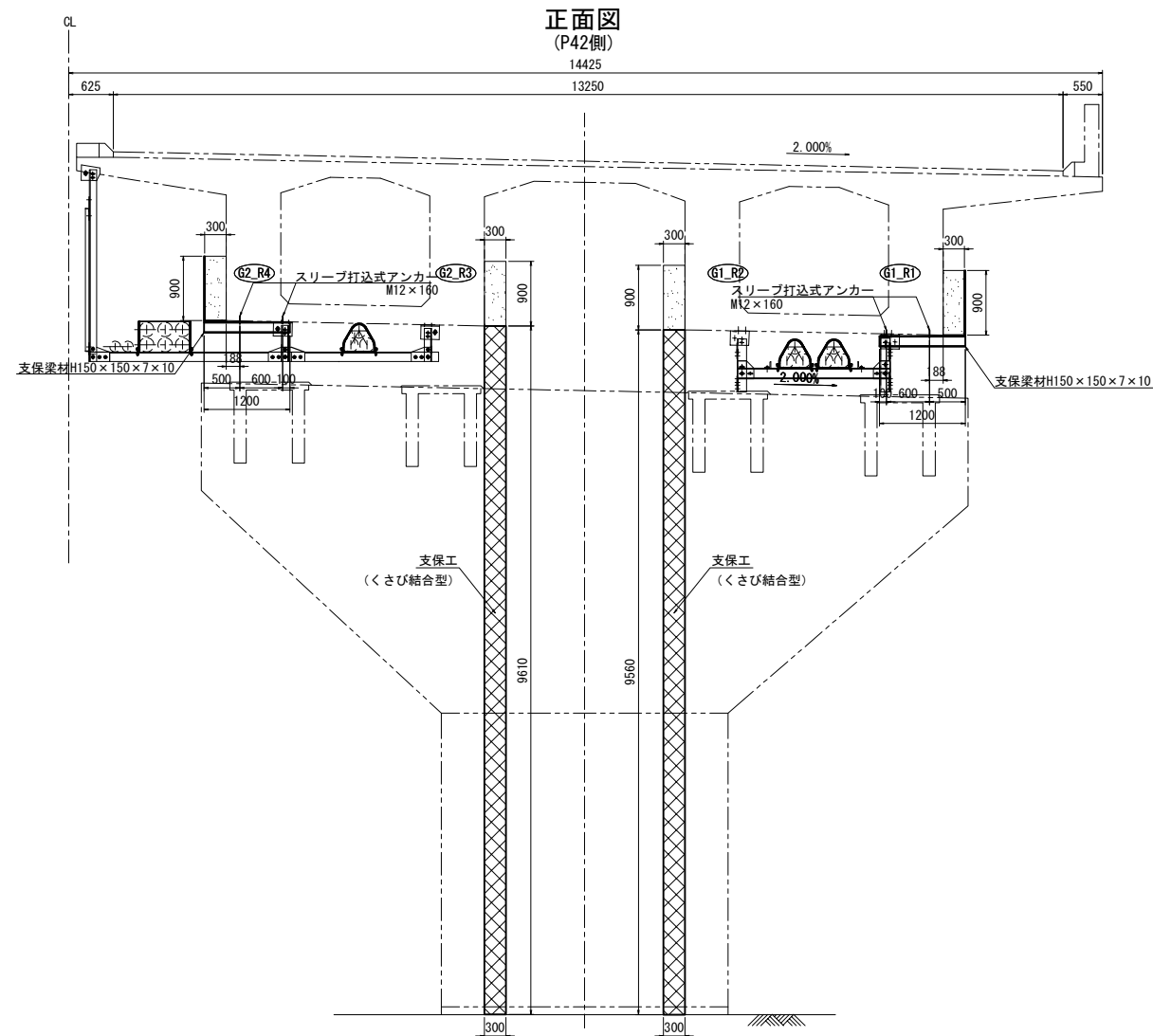


断面図



- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基いて作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 吊支保工の配置については、上部工の配筋を鉄筋探査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。
 4. 型枠を設置するための高さ等の調整は、現地計測にて確定した上で適宜決定すること。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 4 2 橋脚 桁拡幅工支保工図（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	141 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		

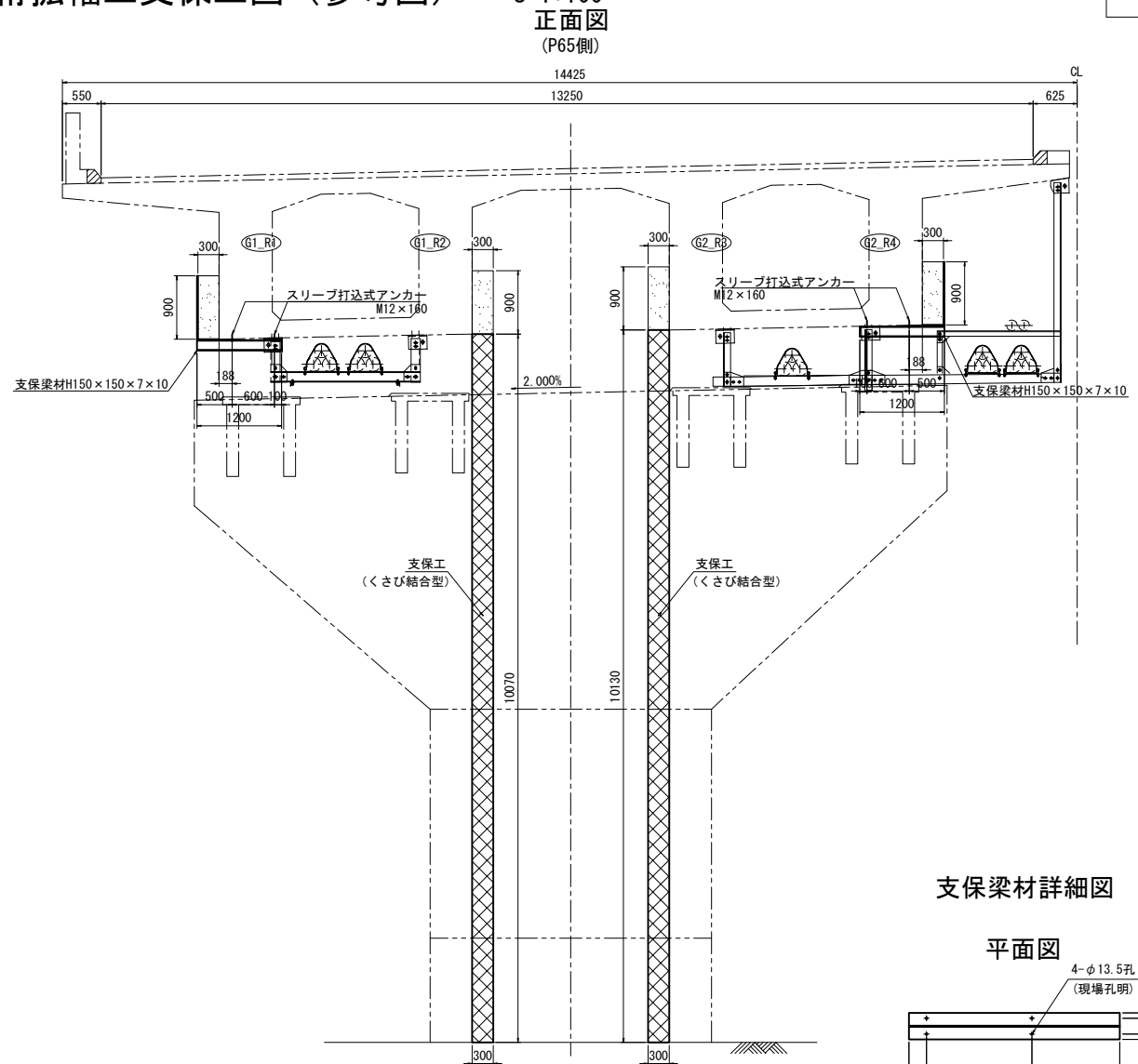
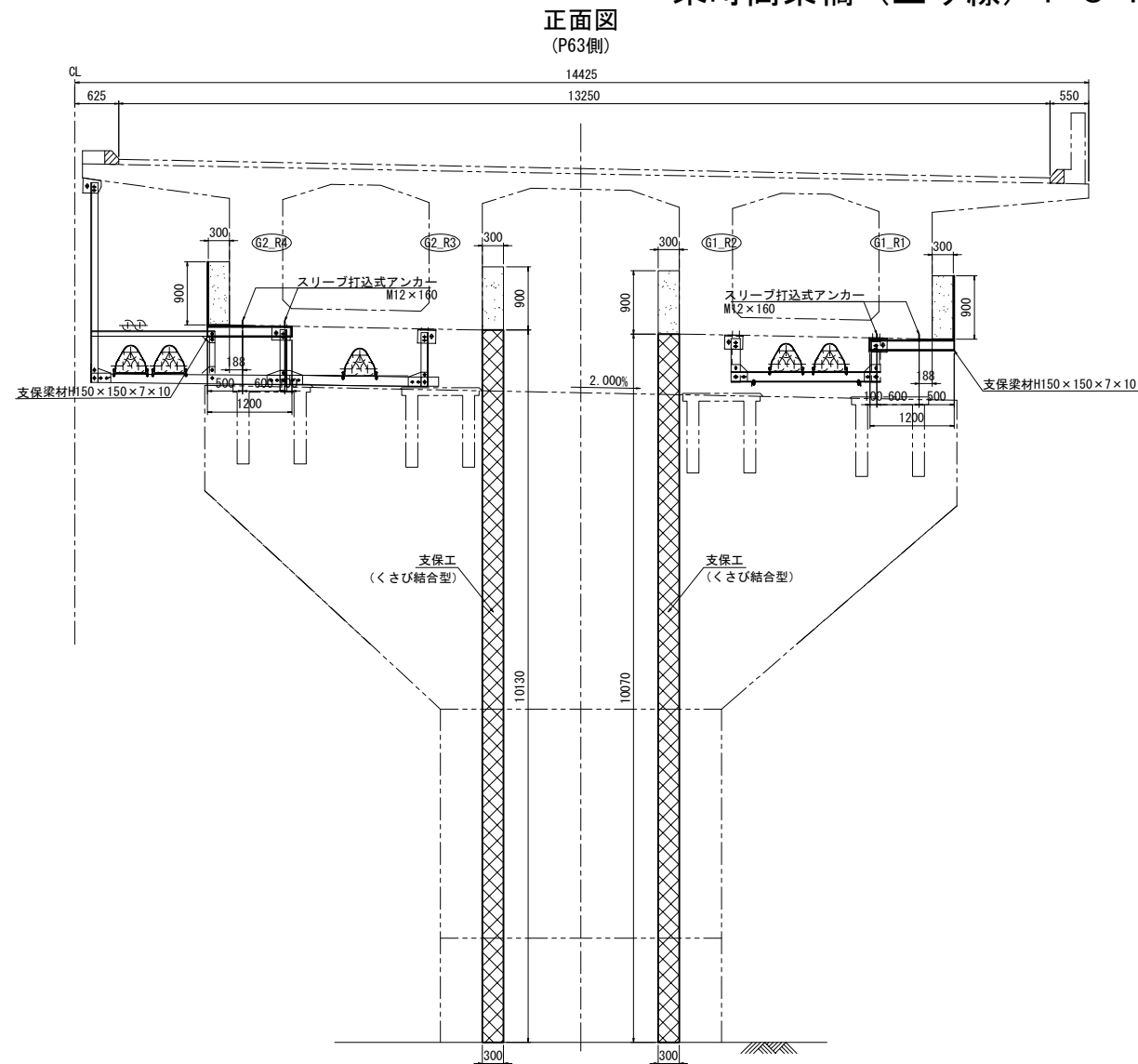


𣎵 𣎶 𣎷 𣎸 𣎹 𣎺 𣎻 𣎼 𣎽 𣎾 𣎿 𣏀 𣏁 𣏂 𣏃 𣏄 𣏅 𣏆 𣏇 𣏈 𣏉 𣏊 𣏋 𣏌 𣏍 𣏎 𣏏 𣏐 𣏑 𣏒 𣏓 𣏔 𣏕 𣏖 𣏗 𣏘 𣏙 𣏚 𣏛 𣏜 𣏝 𣏞 𣏟 𣏠 𣏡 𣏢 𣏣 𣏤 𣏥 𣏦 𣏧 𣏨 𣏩 𣏪 𣏫 𣏬 𣏭 𣏮 𣏯 𣏰 𣏱 𣏲 𣏳 𣏴 𣏵 𣏶 𣏷 𣏸 𣏹 𣏺 𣏻 𣏼 𣏽 𣏾 𣏿 𣐀 𣐁 𣐂 𣐃 𣐄 𣐅 𣐆 𣐇 𣐈 𣐉 𣐊 𣐋 𣐌 𣐍 𣐎 𣐏 𣐐 𣐑 𣐒 𣐓 𣐔 𣐕 𣐖 𣐗 𣐘 𣐙 𣐚 𣐛 𣐜 𣐝 𣐞 𣐟 𣐠 𣐡 𣐢 𣐣 𣐤 𣐥 𣐦 𣐧 𣐨 𣐩 𣐪 𣐫 𣐬 𣐭 𣐮 𣐯 𣐰 𣐱 𣐲 𣐳 𣐴 𣐵 𣐶 𣐷 𣐸 𣐹 𣐺 𣐻 𣐼 𣐽 𣐾 𣐿 𣑀 𣑁 𣑂 𣑃 𣑄 𣑅 𣑆 𣑇 𣑈 𣑉 𣑊 𣑋 𣑌 𣑍 𣑎 𣑏 𣑐 𣑑 𣑒 𣑓 𣑔 𣑕 𣑖 𣑗 𣑘 𣑙 𣑚 𣑛 𣑜 𣑝 𣑞 𣑟 𣑠 𣑡 𣑢 𣑣 𣑤 𣑥 𣑦 𣑧 𣑨 𣑩 𣑪 𣑫 𣑬 𣑭 𣑮 𣑯 𣑰 𣑱 𣑲 𣑳 𣑴 𣑵 𣑶 𣑷 𣑸 𣑹 𣑺 𣑻 𣑼 𣑽 𣑾 𣑿 𣒀 𣒁 𣒂 𣒃 𣒄 𣒅 𣒆 𣒇 𣒈 𣒉 𣒊 𣒋 𣒌 𣒍 𣒎 𣒏 𣒐 𣒑 𣒒 𣒓 𣒔 𣒕 𣒖 𣒗 𣒘 𣒙 𣒚 𣒛 𣒜 𣒝 𣒞 𣒟 𣒠 𣒡 𣒢 𣒣 𣒤 𣒥 𣒦 𣒧 𣒨 𣒩 𣒪 𣒫 𣒬 𣒭 𣒮 𣒯 𣒰 𣒱 𣒲 𣒳 𣒴 𣒵 𣒶 𣒷 𣒸 𣒹 𣒺 𣒻 𣒼 𣒽 𣒾 𣒿 𣓀 𣓁 𣓂 𣓃 𣓄 𣓅 𣓆 𣓇 𣓈 𣓉 𣓊 𣓋 𣓌 𣓍 𣓎 𣓏 𣓐 𣓑 𣓒 𣓓 𣓔 𣓕 𣓖 𣓗 𣓘 𣓙 𣓚 𣓛 𣓜 𣓝 𣓞 𣓟 𣓠 𣓡 𣓢 𣓣 𣓤 𣓥 𣓦 𣓧 𣓨 𣓩 𣓪 𣓫 𣓬 𣓭 𣓮 𣓯 𣓰 𣓱 𣓲 𣓳 𣓴 𣓵 𣓶 𣓷 𣓸 𣓹 𣓺 𣓻 𣓼 𣓽 𣓾 𣓿 𣔀 𣔁 𣔂 𣔃 𣔄 𣔅 𣔆 𣔇 𣔈 𣔉 𣔊 𣔋 𣔌 𣔍 𣔎 𣔏 𣔐 𣔑 𣔒 𣔓 𣔔 𣔕 𣔖 𣔗 𣔘 𣔙 𣔚 𣔛 𣔜 𣔝 𣔞 𣔟 𣔠 𣔡 𣔢 𣔣 𣔤 𣔥 𣔦 𣔧 𣔨 𣔩 𣔪 𣔫 𣔬 𣔭 𣔮 𣔯 𣔰 𣔱 𣔲 𣔳 𣔴 𣔵 𣔶 𣔷 𣔸 𣔹 𣔺 𣔻 𣔼 𣔽 𣔾 𣔿 𣕀 𣕁 𣕂 𣕃 𣕄 𣕅 𣕆 𣕇 𣕈 𣕉 𣕊 𣕋 𣕌 𣕍 𣕎 𣕏 𣕐 𣕑 𣕒 𣕓 𣕔 𣕕 𣕖 𣕗 𣕘 𣕙 𣕚 𣕛 𣕜 𣕝 𣕞 𣕟 𣕠 𣕡 𣕢 𣕣 𣕤 𣕥 𣕦 𣕧 𣕨 𣕩 𣕪 𣕫 𣕬 𣕭 𣕮 𣕯 𣕰 𣕱 𣕲 𣕳 𣕴 𣕵 𣕶 𣕷 𣕸 𣕹 𣕺 𣕻 𣕼 𣕽 𣕾 𣕿 𣖀 𣖁 𣖂 𣖃 𣖄 𣖅 𣖆 𣖇 𣖈 𣖉 𣖊 𣖋 𣖌 𣖍 𣖎 𣖏 𣖐 𣖑 𣖒 𣖓 𣖔 𣖕 𣖖 𣖗 𣖘 𣖙 𣖚 𣖛 𣖜 𣖝 𣖞 𣖟 𣖠 𣖡 𣖢 𣖣 𣖤 𣖥 𣖦 𣖧 𣖨 𣖩 𣖪 𣖫 𣖬 𣖭 𣖮 𣖯 𣖰 𣖱 𣖲 𣖳 𣖴 𣖵 𣖶 𣖷 𣖸 𣖹 𣖺 𣖻 𣖼 𣖽 𣖾 𣖿 𣗀 𣗁 𣗂 𣗃 𣗄 𣗅 𣗆 𣗇 𣗈 𣗉 𣗊 𣗋 𣗌 𣗍 𣗎 𣗏 𣗐 𣗑 𣗒 𣗓 𣗔 𣗕 𣗖 𣗗 𣗘 𣗙 𣗚 𣗛 𣗜 𣗝 𣗞 𣗟 𣗠 𣗡 𣗢 𣗣 𣗤 𣗥 𣗦 𣗧 𣗨 𣗩 𣗪 𣗫 𣗬 𣗭 𣗮 𣗯 𣗰 𣗱 𣗲 𣗳 𣗴 𣗵 𣗶 𣗷 𣗸 𣗹 𣗺 𣗻 𣗼 𣗽 𣗾 𣗿 𣘀 𣘁 𣘂 𣘃 𣘄 𣘅 𣘆 𣘇 𣘈 𣘉 𣘊 𣘋 𣘌 𣘍 𣘎 𣘏 𣘐 𣘑 𣘒 𣘓 𣘔 𣘕 𣘖 𣘗 𣘘 𣘙 𣘚 𣘛 𣘜 𣘝 𣘞 𣘟 𣘠 𣘡 𣘢 𣘣 𣘤 𣘥 𣘦 𣘧 𣘨 𣘩 𣘪 𣘫 𣘬 𣘭 𣘮 𣘯 𣘰 𣘱 𣘲 𣘳 𣘴 𣘵 𣘶 𣘷 𣘸 𣘹 𣘺 𣘻 𣘼 𣘽 𣘾 𣘿 𣙀 𣙁 𣙂 𣙃 𣙄 𣙅 𣙆 𣙇 𣙈 𣙉 𣙊 𣙋 𣙌 𣙍 𣙎 𣙏 𣙐 𣙑 𣙒 𣙓 𣙔 𣙕 𣙖 𣙗 𣙘 𣙙 𣙚 𣙛 𣙜 𣙝 𣙞 𣙟 𣙠 𣙡 𣙢 𣙣 𣙤 𣙥 𣙦 𣙧 𣙨 𣙩 𣙪 𣙫 𣙬 𣙭 𣙮 𣙯 𣙰 𣙱 𣙲 𣙳 𣙴 𣙵 𣙶 𣙷 𣙸 𣙹 𣙺 𣙻 𣙼 𣙽 𣙾 𣙿 𣚀 𣚁 𣚂 𣚃 𣚄 𣚅 𣚆 𣚇 𣚈 𣚉 𣚊 𣚋 𣚌 𣚍 𣚎 𣚏 𣚐 𣚑 𣚒 𣚓 𣚔 𣚕 𣚖 𣚗 𣚘 𣚙 𣚚 𣚛 𣚜 𣚝 𣚞 𣚟 𣚠 𣚡 𣚢 𣚣 𣚤 𣚥 𣚦 𣚧 𣚨 𣚩 𣚪 𣚫 𣚬 𣚭 𣚮 𣚯 𣚰 𣚱 𣚲 𣚳 𣚴 𣚵 𣚶 𣚷 𣚸 𣚹 𣚺 𣚻 𣚼 𣚽 𣚾 𣚿 𣛀 𣛁 𣛂 𣛃 𣛄 𣛅 𣛆 𣛇 𣛈 𣛉 𣛊 𣛋 𣛌 𣛍 𣛎 𣛏 𣛐 𣛑 𣛒 𣛓 𣛔 𣛕 𣛖 𣛗 𣛘 𣛙 𣛚 𣛛 𣛜 𣛝 𣛞 𣛟 𣛠 𣛡 𣛢 𣛣 𣛤 𣛥 𣛦 𣛧

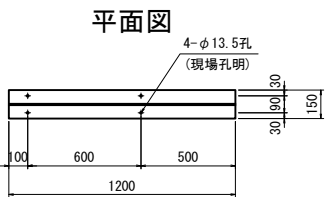
注記)

1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面を基に本図を行なっている。
2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
3. 吊支保工の配置については、上部工の筋筋探査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。
4. 型枠を設置する時の高さ等の調整は、現地計測にて確定した上で適宜決定すること。

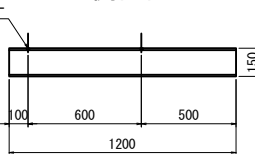
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	矢野高架橋（上り線）P43橋脚 桁幅補工支保工図（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	142 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉管理事務所		



支保梁材詳細図 S=1:40



側面図



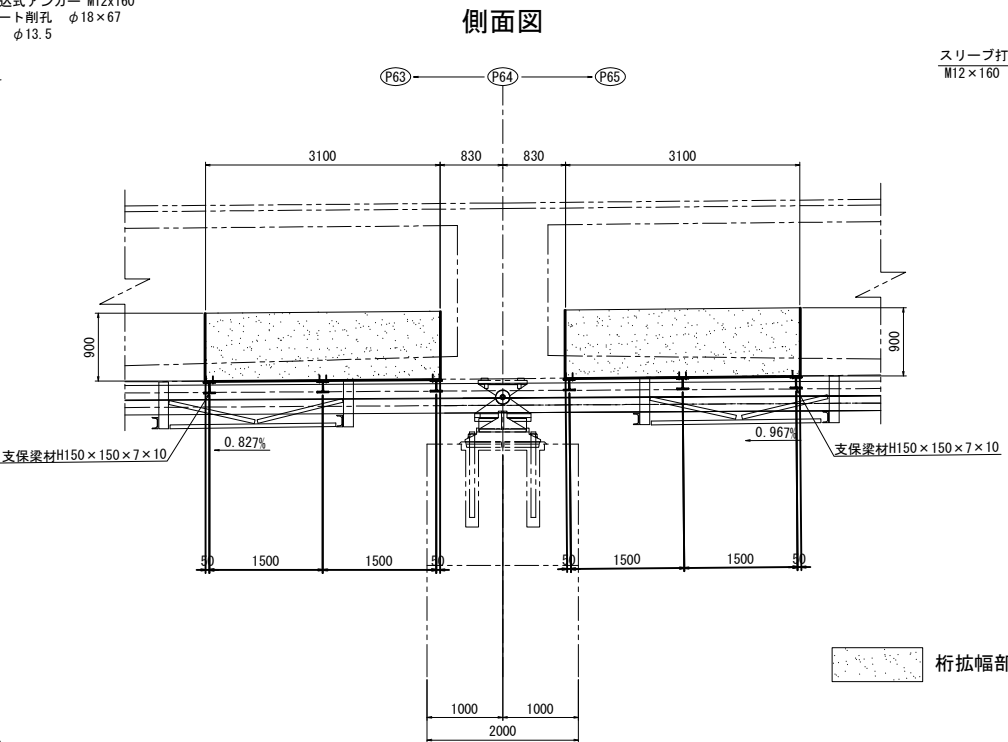
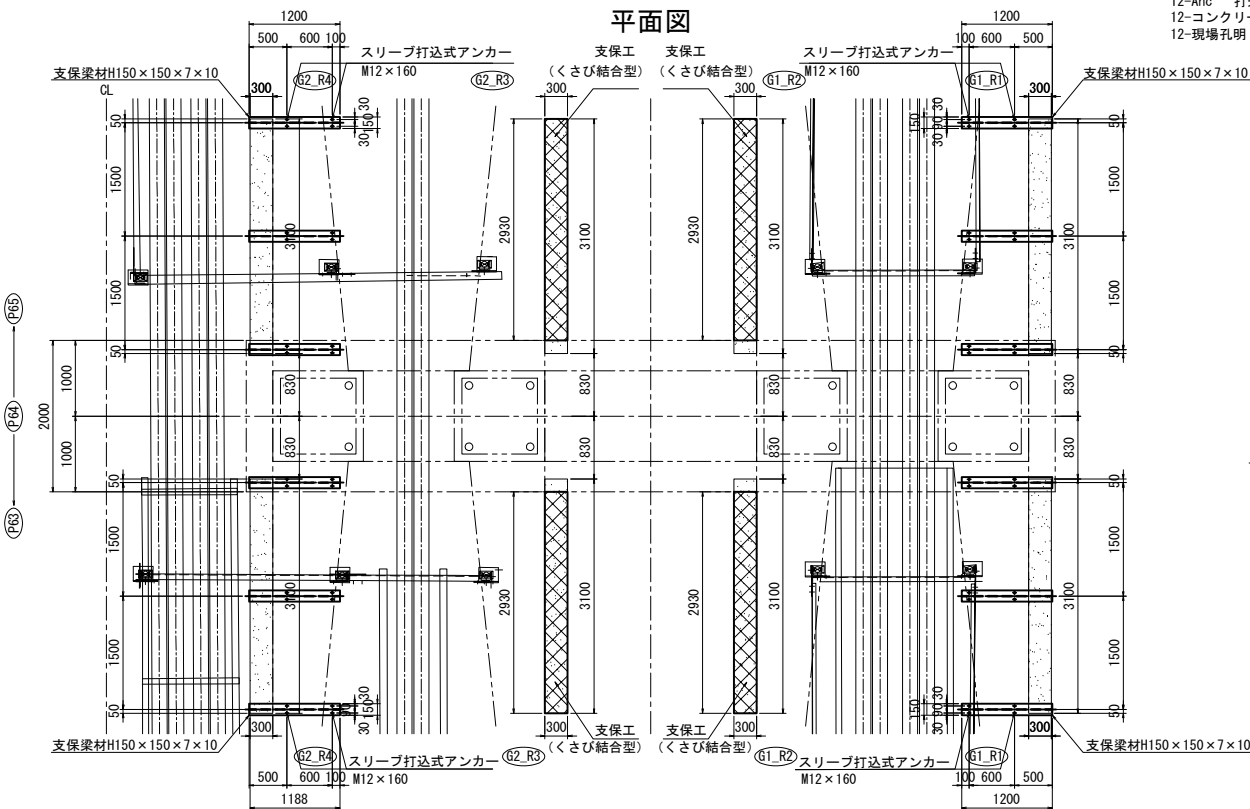
断面図



注記)

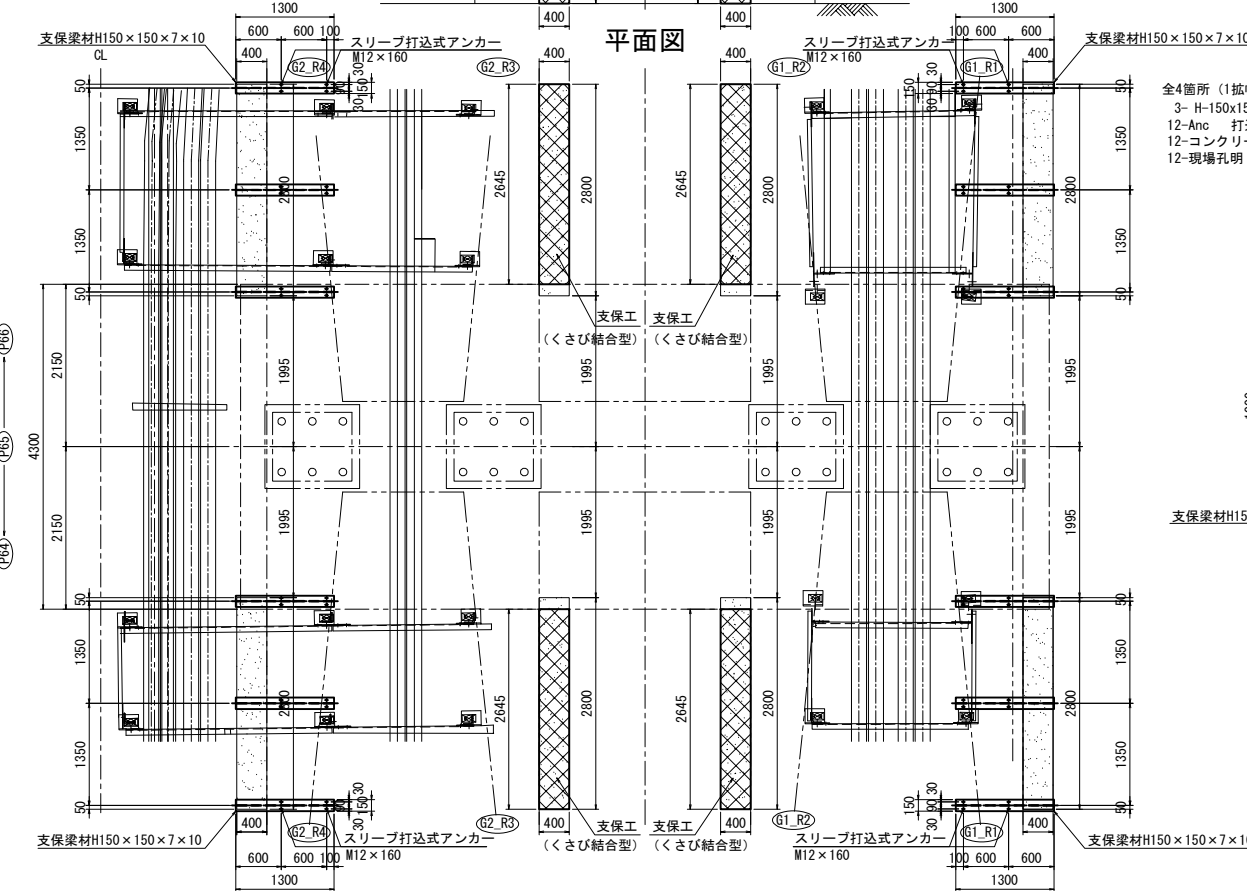
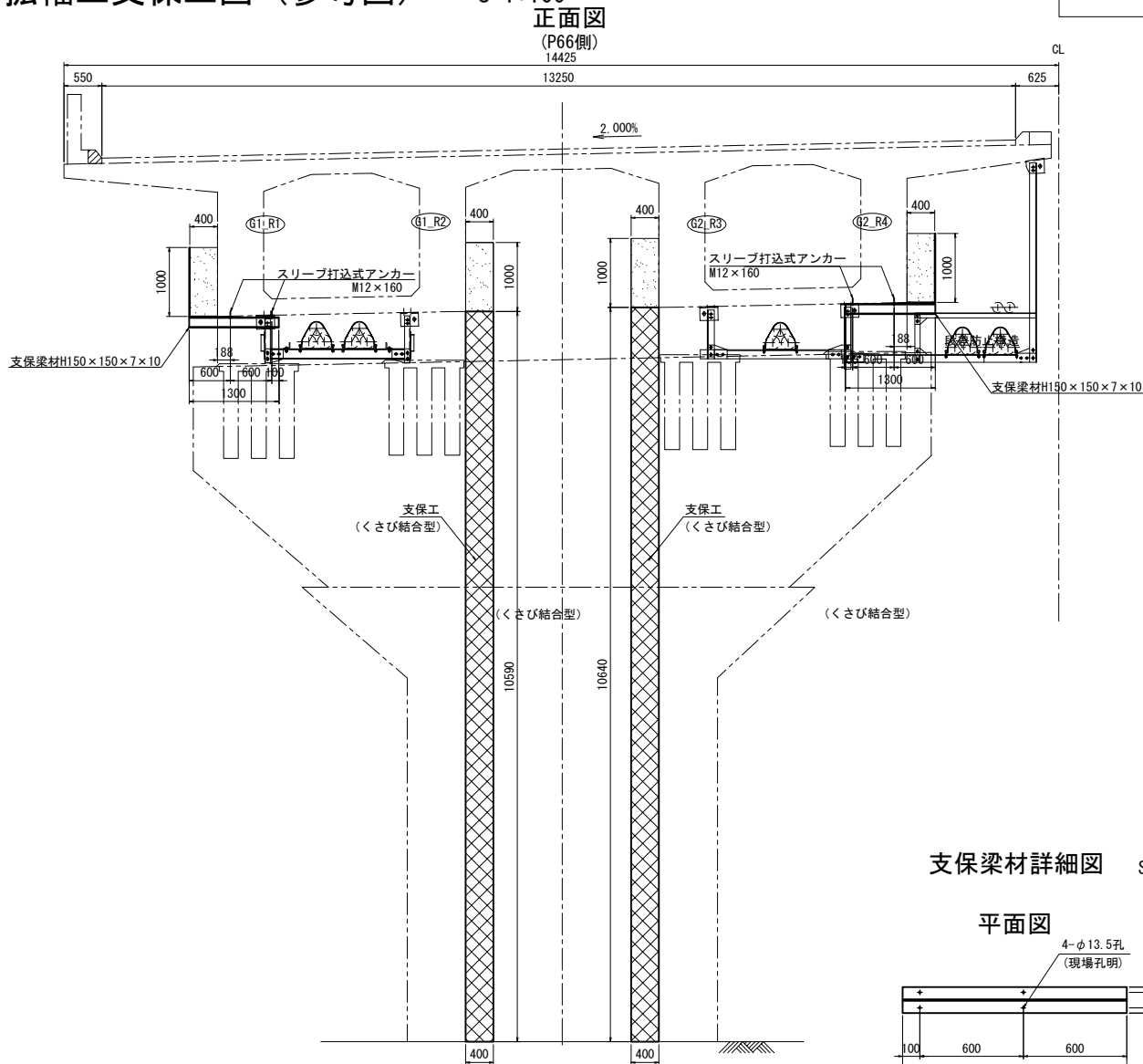
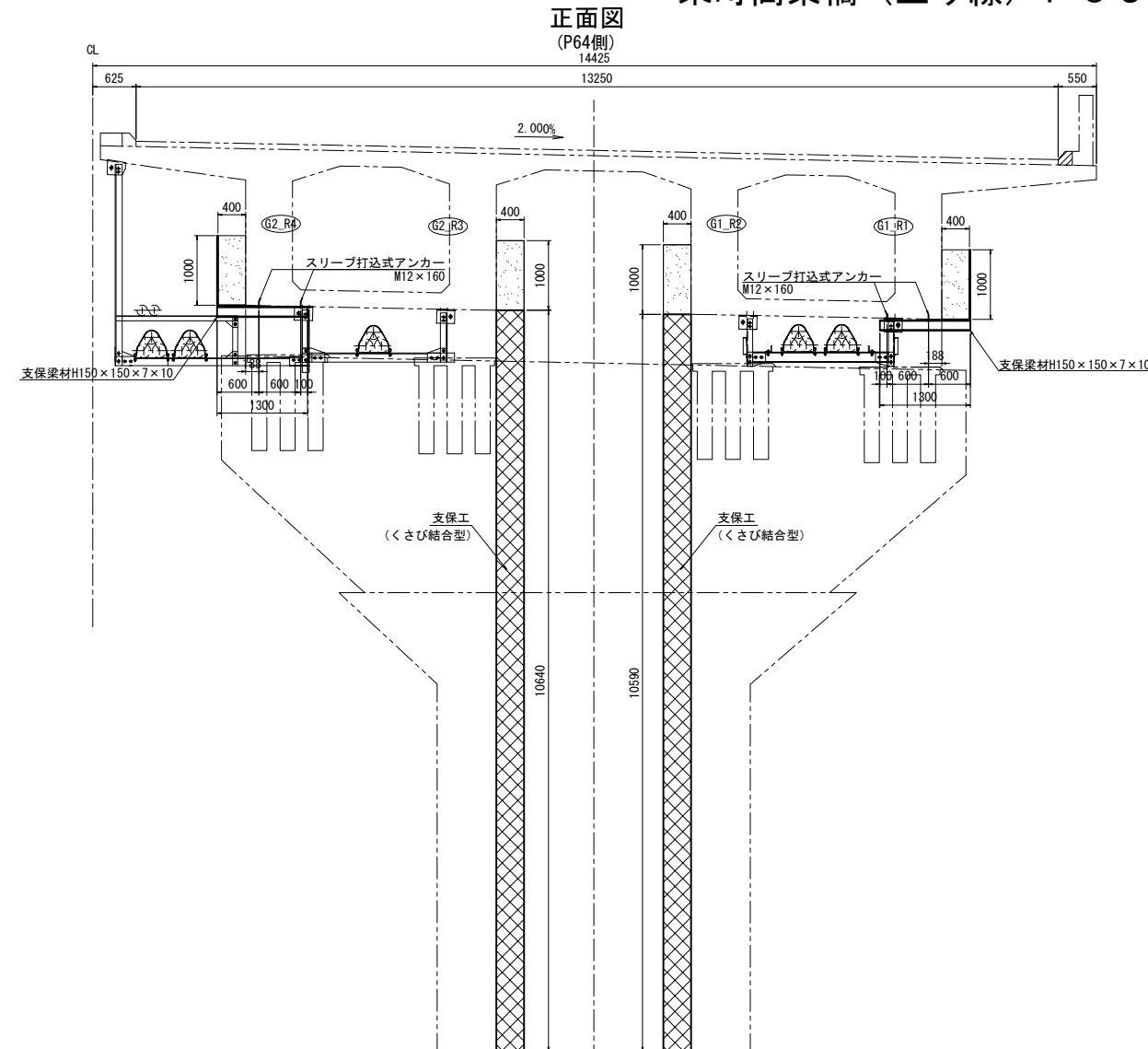
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基に作図を行なっている。
2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
3. 吊支保工の配置については、上部工の配筋を鉄筋探査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。
4. 型枠を設置するための高さ等の調整は、現地計測にて確定した上で適宜決定すること。

全4箇所 (1桁幅当り)
3- H-150x150x7x10x1200
12-Ano 打込式アンカー M12x160
12-コンクリート削孔 φ18x67
12-現場孔明 φ13.5

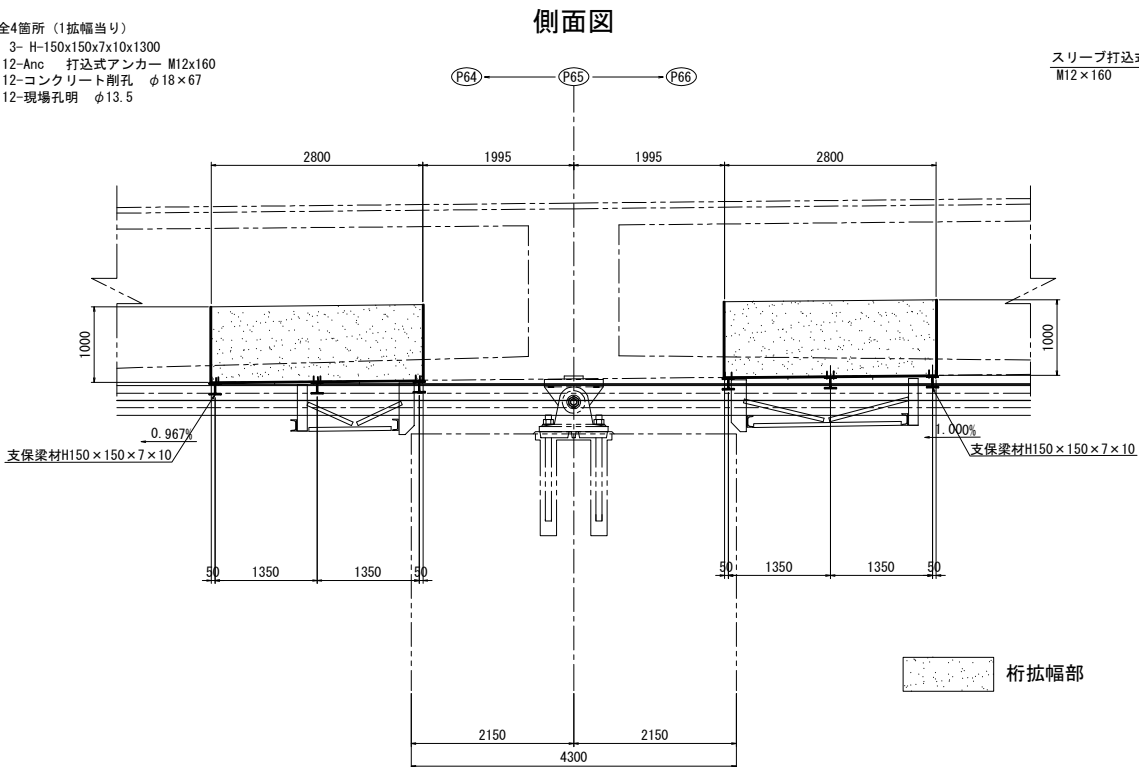


桁拡幅部

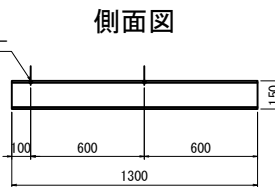
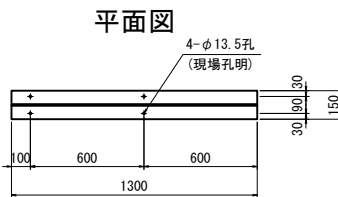
東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 4 橋脚 桁拡幅工支保工図（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	143 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		



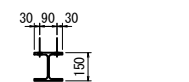
全4箇所 (1拡幅当り)
3-H-150x150x7x10x1300
12-Anc 打込式アンカー M12x160
12-コンクリート削孔 φ18x67
12-現場孔明 φ13.5



支保梁材詳細図 S=1:40



断面図



- 注記)
1. 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて竣工図面に基いて作図を行なっている。
 2. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 3. 吊支保工の配置については、上部工の配筋を鉄筋検査するとともに、東京電力のケーブル位置等を現地計測にて確定した上で決定すること。
 4. 型枠を設置するための高さ等の調整は、現地計測にて確定した上で適宜決定すること。

東関東自動車道 下小野第二高架橋耐震補強工事			
図面の種類	栄町高架橋（上り線）P 6 5 橋脚 桁拡幅工支保工図（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	144 / 144
設計会社名	北武コンサルタント株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 千葉管理事務所		